

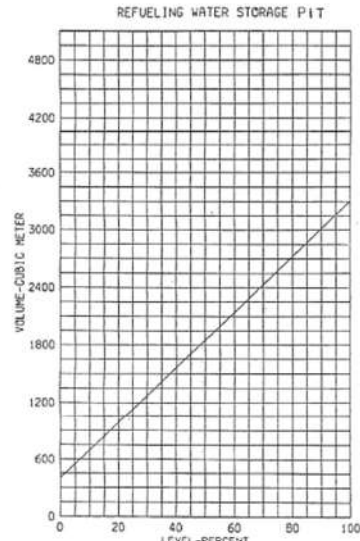

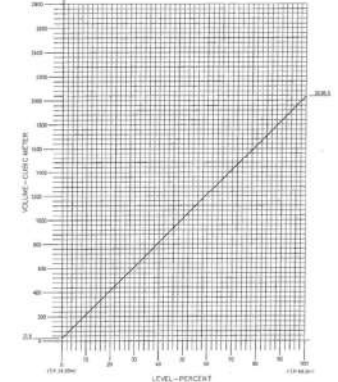
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																															
(e) 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	(e) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器への注水量)	(e) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他グループを除く) による推定方法について (原子炉格納容器への注水量)																																																																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器への注水量</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要パラメータ</td> <td>格納容器スプレイ積算流量</td> <td>0~1,700m³/h (0~10,000m³)</td> <td>重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。</td> </tr> <tr> <td>高圧注入流量</td> <td>0~400m³/h</td> <td>320m³/h</td> </tr> <tr> <td>余熱除去流量</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>1,250m³/h</td> </tr> <tr> <td>低圧代替低圧注水積算流量</td> <td>0~160m³/h (0~10,000m³)</td> <td>重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">代替パラメータ</td> <td>①燃料取扱替用水ビット水位</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②復水ビット水位</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計測目的</td> <td colspan="3"> 重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器への注水量を監視する目的は、格納容器スプレイポンプ等の注水設備が正常に機能していることを確認することである。 特に原子炉冷却材喪失事故時において、原子炉格納容器の健全性の維持には格納容器スプレイポンプ等による原子炉格納容器への注水が必要となるが、それら設備が正常に機能していることを確認し、もし機能していないと判断される場合には必要な措置を行う必要がある。 このような場合、注水設備が正常に機能していることを確認できることが重要となる。 </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 原子炉格納容器への注水量の主要パラメータである格納容器スプレイ積算流量、高圧注入流量、余熱除去流量及び、低圧代替低圧注水積算流量の計測が困難になった場合、代替パラメータの①燃料取扱替用水ビット水位、②復水ビット水位又は③格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化により、原子炉格納容器への注水量を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 なお、本代替パラメータによる原子炉格納容器への注水量の推定において優先して使用されるパラメータは、プラント状態の影響を受けない①燃料取扱替用水ビット水位である。 </td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器への注水量				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器スプレイ積算流量	0~1,700m ³ /h (0~10,000m ³)	重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。	高圧注入流量	0~400m ³ /h	320m ³ /h	余熱除去流量	0~1,300m ³ /h	1,250m ³ /h	低圧代替低圧注水積算流量	0~160m ³ /h (0~10,000m ³)	重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。	代替パラメータ	①燃料取扱替用水ビット水位			②復水ビット水位			③格納容器再循環サンプ水位 (広域)			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器への注水量を監視する目的は、格納容器スプレイポンプ等の注水設備が正常に機能していることを確認することである。 特に原子炉冷却材喪失事故時において、原子炉格納容器の健全性の維持には格納容器スプレイポンプ等による原子炉格納容器への注水が必要となるが、それら設備が正常に機能していることを確認し、もし機能していないと判断される場合には必要な措置を行う必要がある。 このような場合、注水設備が正常に機能していることを確認できることが重要となる。			原子炉格納容器への注水量の主要パラメータである格納容器スプレイ積算流量、高圧注入流量、余熱除去流量及び、低圧代替低圧注水積算流量の計測が困難になった場合、代替パラメータの①燃料取扱替用水ビット水位、②復水ビット水位又は③格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化により、原子炉格納容器への注水量を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 なお、本代替パラメータによる原子炉格納容器への注水量の推定において優先して使用されるパラメータは、プラント状態の影響を受けない①燃料取扱替用水ビット水位である。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器への注水量</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">主要パラメータ</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)</td> <td>0~220m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> <td>0~220m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器代替スプレイ流量</td> <td>0~100m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> <td>0~200m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水流量</td> <td>0~110m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①復水貯蔵タンク水位 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器下部注水流量の代替)</td> <td>0~3,200m³</td> <td>0~3,173m³</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">代替パラメータ</td> <td>①原子炉格納容器下部水位 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)</td> <td>0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.9m (0.P.~2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①ドライウェル水位 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)</td> <td>0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P.1170mm, 1380mm, 1490mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②原子炉格納容器下部水位 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器下部注水流量の代替)</td> <td>0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.9m (0.P.~2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②ドライウェル水位 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器下部注水流量の代替)</td> <td>0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P.1170mm, 1380mm, 1490mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③ドライウェル温度 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)</td> <td>0~300℃</td> <td>140℃以下</td> </tr> <tr> <td>③ドライウェル圧力 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>330kPa[gage]以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">代替パラメータ</td> <td>①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (AM用消火水積算流量) の代替</td> <td>0~1,300m³/h (0~10,000m³)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>① (格納容器スプレイ流量) (AM用消火水積算流量) の代替</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>□/h</td> </tr> <tr> <td>②格納容器再循環サンプ水位 (広域) (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量、高圧注入流量、低圧注入流量、[充てん流量]、[格納容器スプレイ流量]及び[AM用消火水積算流量]の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>①補助給水ビット水位 (代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器への注水量				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)	0~220m ³ /h	—	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)	0~220m ³ /h	—	原子炉格納容器代替スプレイ流量	0~100m ³ /h	—	代替循環冷却ポンプ出口流量	0~200m ³ /h	—	原子炉格納容器下部注水流量	0~110m ³ /h	—	①復水貯蔵タンク水位 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器下部注水流量の代替)	0~3,200m ³	0~3,173m ³	代替パラメータ	①原子炉格納容器下部水位 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)	0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.9m (0.P.~2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)	—	①ドライウェル水位 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)	0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P.1170mm, 1380mm, 1490mm)	—	②原子炉格納容器下部水位 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器下部注水流量の代替)	0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.9m (0.P.~2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)	—	②ドライウェル水位 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器下部注水流量の代替)	0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P.1170mm, 1380mm, 1490mm)	—	③ドライウェル温度 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)	0~300℃	140℃以下	③ドライウェル圧力 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)	0~1MPa[abs]	330kPa[gage]以下	代替パラメータ	①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (AM用消火水積算流量) の代替	0~1,300m ³ /h (0~10,000m ³)	—	① (格納容器スプレイ流量) (AM用消火水積算流量) の代替	0~1,300m ³ /h	□/h	②格納容器再循環サンプ水位 (広域) (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量、高圧注入流量、低圧注入流量、[充てん流量]、[格納容器スプレイ流量]及び[AM用消火水積算流量]の代替)	0~100%	100%	①補助給水ビット水位 (代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替)	0~100%	100%	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器への注水量</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">主要パラメータ</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> <td>0~1,300m³/h (0~10,000m³)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td>0~200m³/h (0~10,000m³)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高圧注入流量</td> <td>0~350m³/h</td> <td>280m³/h</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量</td> <td>0~1,100m³/h</td> <td>1,090m³/h</td> </tr> <tr> <td>[充てん流量]</td> <td>0~70m³/h</td> <td>56.8m³/h</td> </tr> <tr> <td>[格納容器スプレイ流量]</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>□/h</td> </tr> <tr> <td>[AM用消火水積算流量]</td> <td>0~250m³/h (0~999,999m³)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替パラメータ</td> <td>①燃料取扱替用水ビット水位 (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量、高圧注入流量、低圧注入流量、[充てん流量]及び[格納容器スプレイ流量]の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (AM用消火水積算流量) の代替</td> <td>0~1,300m³/h (0~10,000m³)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>① (格納容器スプレイ流量) (AM用消火水積算流量) の代替</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>□/h</td> </tr> <tr> <td>②格納容器再循環サンプ水位 (広域) (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量、高圧注入流量、低圧注入流量、[充てん流量]、[格納容器スプレイ流量]及び[AM用消火水積算流量]の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>①補助給水ビット水位 (代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器への注水量				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	0~1,300m ³ /h (0~10,000m ³)	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	0~200m ³ /h (0~10,000m ³)	—	高圧注入流量	0~350m ³ /h	280m ³ /h	低圧注入流量	0~1,100m ³ /h	1,090m ³ /h	[充てん流量]	0~70m ³ /h	56.8m ³ /h	[格納容器スプレイ流量]	0~1,300m ³ /h	□/h	[AM用消火水積算流量]	0~250m ³ /h (0~999,999m ³)	—	代替パラメータ	①燃料取扱替用水ビット水位 (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量、高圧注入流量、低圧注入流量、[充てん流量]及び[格納容器スプレイ流量]の代替)	0~100%	100%	①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (AM用消火水積算流量) の代替	0~1,300m ³ /h (0~10,000m ³)	—	① (格納容器スプレイ流量) (AM用消火水積算流量) の代替	0~1,300m ³ /h	□/h	②格納容器再循環サンプ水位 (広域) (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量、高圧注入流量、低圧注入流量、[充てん流量]、[格納容器スプレイ流量]及び[AM用消火水積算流量]の代替)	0~100%	100%	①補助給水ビット水位 (代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替)	0~100%	100%	<p>相違理由</p> <p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>
原子炉格納容器への注水量																																																																																																																																																		
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																																															
主要パラメータ	格納容器スプレイ積算流量	0~1,700m ³ /h (0~10,000m ³)	重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。																																																																																																																																															
	高圧注入流量	0~400m ³ /h	320m ³ /h																																																																																																																																															
	余熱除去流量	0~1,300m ³ /h	1,250m ³ /h																																																																																																																																															
	低圧代替低圧注水積算流量	0~160m ³ /h (0~10,000m ³)	重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。																																																																																																																																															
代替パラメータ	①燃料取扱替用水ビット水位																																																																																																																																																	
	②復水ビット水位																																																																																																																																																	
	③格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																																	
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器への注水量を監視する目的は、格納容器スプレイポンプ等の注水設備が正常に機能していることを確認することである。 特に原子炉冷却材喪失事故時において、原子炉格納容器の健全性の維持には格納容器スプレイポンプ等による原子炉格納容器への注水が必要となるが、それら設備が正常に機能していることを確認し、もし機能していないと判断される場合には必要な措置を行う必要がある。 このような場合、注水設備が正常に機能していることを確認できることが重要となる。																																																																																																																																																	
	原子炉格納容器への注水量の主要パラメータである格納容器スプレイ積算流量、高圧注入流量、余熱除去流量及び、低圧代替低圧注水積算流量の計測が困難になった場合、代替パラメータの①燃料取扱替用水ビット水位、②復水ビット水位又は③格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化により、原子炉格納容器への注水量を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 なお、本代替パラメータによる原子炉格納容器への注水量の推定において優先して使用されるパラメータは、プラント状態の影響を受けない①燃料取扱替用水ビット水位である。																																																																																																																																																	
原子炉格納容器への注水量																																																																																																																																																		
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																																															
主要パラメータ	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)	0~220m ³ /h	—																																																																																																																																															
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)	0~220m ³ /h	—																																																																																																																																															
	原子炉格納容器代替スプレイ流量	0~100m ³ /h	—																																																																																																																																															
	代替循環冷却ポンプ出口流量	0~200m ³ /h	—																																																																																																																																															
	原子炉格納容器下部注水流量	0~110m ³ /h	—																																																																																																																																															
	①復水貯蔵タンク水位 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器下部注水流量の代替)	0~3,200m ³	0~3,173m ³																																																																																																																																															
代替パラメータ	①原子炉格納容器下部水位 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)	0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.9m (0.P.~2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)	—																																																																																																																																															
	①ドライウェル水位 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)	0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P.1170mm, 1380mm, 1490mm)	—																																																																																																																																															
	②原子炉格納容器下部水位 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器下部注水流量の代替)	0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.9m (0.P.~2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)	—																																																																																																																																															
	②ドライウェル水位 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器下部注水流量の代替)	0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P.1170mm, 1380mm, 1490mm)	—																																																																																																																																															
	③ドライウェル温度 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)	0~300℃	140℃以下																																																																																																																																															
	③ドライウェル圧力 (原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量の代替)	0~1MPa[abs]	330kPa[gage]以下																																																																																																																																															
代替パラメータ	①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (AM用消火水積算流量) の代替	0~1,300m ³ /h (0~10,000m ³)	—																																																																																																																																															
	① (格納容器スプレイ流量) (AM用消火水積算流量) の代替	0~1,300m ³ /h	□/h																																																																																																																																															
	②格納容器再循環サンプ水位 (広域) (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量、高圧注入流量、低圧注入流量、[充てん流量]、[格納容器スプレイ流量]及び[AM用消火水積算流量]の代替)	0~100%	100%																																																																																																																																															
①補助給水ビット水位 (代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替)	0~100%	100%																																																																																																																																																
原子炉格納容器への注水量																																																																																																																																																		
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																																															
主要パラメータ	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	0~1,300m ³ /h (0~10,000m ³)	—																																																																																																																																															
	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	0~200m ³ /h (0~10,000m ³)	—																																																																																																																																															
	高圧注入流量	0~350m ³ /h	280m ³ /h																																																																																																																																															
	低圧注入流量	0~1,100m ³ /h	1,090m ³ /h																																																																																																																																															
	[充てん流量]	0~70m ³ /h	56.8m ³ /h																																																																																																																																															
	[格納容器スプレイ流量]	0~1,300m ³ /h	□/h																																																																																																																																															
	[AM用消火水積算流量]	0~250m ³ /h (0~999,999m ³)	—																																																																																																																																															
代替パラメータ	①燃料取扱替用水ビット水位 (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量、高圧注入流量、低圧注入流量、[充てん流量]及び[格納容器スプレイ流量]の代替)	0~100%	100%																																																																																																																																															
	①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (AM用消火水積算流量) の代替	0~1,300m ³ /h (0~10,000m ³)	—																																																																																																																																															
	① (格納容器スプレイ流量) (AM用消火水積算流量) の代替	0~1,300m ³ /h	□/h																																																																																																																																															
	②格納容器再循環サンプ水位 (広域) (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量、高圧注入流量、低圧注入流量、[充てん流量]、[格納容器スプレイ流量]及び[AM用消火水積算流量]の代替)	0~100%	100%																																																																																																																																															
①補助給水ビット水位 (代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替)	0~100%	100%																																																																																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

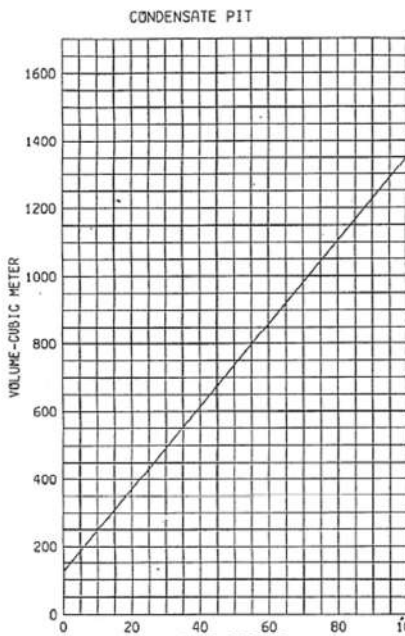
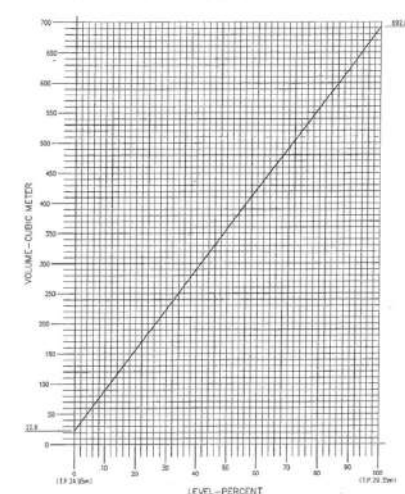
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>①燃料取扱用水ピット水位 燃料取扱用水ピットの水位容量曲線を用いて、水位の変化量から注水した水量を推定する。</p> 	<table border="1" data-bbox="672 159 1209 303"> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>③ドライウェル圧力 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) の代替)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>300Pa[gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>④圧力制御装置圧力 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) の代替)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>210Pa[gage] 以下</td> </tr> </table> <p>計測目的 重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器への注水量を監視する目的は、原子炉格納容器への注水設備が機能していることの確認である。 原子炉格納容器への注水量の主要パラメータの計測が困難になった場合、以下のとおり代替パラメータにより原子炉格納容器への注水量を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①復水貯蔵タンク水位 復水貯蔵タンクを水源としている場合は、復水貯蔵タンク水位の変化量から流出量を算出し、復水貯蔵タンクから原子炉格納容器以外への注水量を減算することで原子炉格納容器下部注水流量を推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。なお、原子炉格納容器への注水状況を原子炉格納容器内の圧力及び温度にて併せて確認する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p> <p>②原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位 図 58-8-8 を用いて、原子炉格納容器下部水位及びドライウェル水位から注水量を算出する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>  <p>図 58-8-8 原子炉格納容器水位と注水量の関係</p> <p>③④ドライウェル温度、ドライウェル圧力、圧力制御装置圧力 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系としての系統構成が確立された状態で、復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ (タイプ1) が動作している場合、若しくは代替復水冷却系による原子炉格納容器への注水時にはスプレイ機能が確保されていると考えられる。その上でドライウェル温度、ドライウェル圧力及び圧力制御装置圧力が低下傾向にあることで、原子炉格納容器代替スプレイ機能が又は代替復水冷却系による原子炉格納容器への注水機能が確保されていることを推定する。</p>	代替パラメータ	③ドライウェル圧力 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) の代替)	0~1MPa[abs]	300Pa[gage] 以下	代替パラメータ	④圧力制御装置圧力 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) の代替)	0~1MPa[abs]	210Pa[gage] 以下	<table border="1" data-bbox="1254 143 1814 207"> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>② (ろ過水タンク水位) (AM用消火水積算流量) の代替</td> <td>0~20,000mm</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>計測目的 重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器への注水量を監視する目的は、原子炉格納容器への注水設備が機能していることの確認である。</p> <p>原子炉格納容器への注水量の主要パラメータであるB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、高圧注入流量、低圧注入流量、充てん流量 (自主対策設備)、格納容器スプレイ流量 (自主対策設備) 及びAM用消火水積算流量 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、以下のとおり代替パラメータにより原子炉格納容器への注水量を推定することができる。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①燃料取扱用水ピット水位及び補助給水ピット水位 ・燃料取扱用水ピット水位 第 12 図を用いて、燃料取扱用水ピット水位から注水量を算出する。燃料取扱用水ピットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>  <p>第 12 図 燃料取扱用水ピットの水位と水量の相関図</p>	代替パラメータ	② (ろ過水タンク水位) (AM用消火水積算流量) の代替	0~20,000mm	—	<p>相違理由</p>
代替パラメータ	③ドライウェル圧力 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) の代替)	0~1MPa[abs]	300Pa[gage] 以下												
代替パラメータ	④圧力制御装置圧力 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) の代替)	0~1MPa[abs]	210Pa[gage] 以下												
代替パラメータ	② (ろ過水タンク水位) (AM用消火水積算流量) の代替	0~20,000mm	—												

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

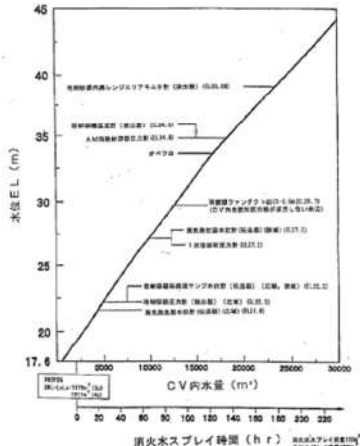
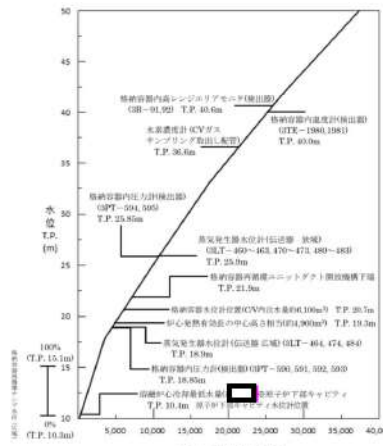
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>②復水ピット水位</p> <p>復水ピットの水位容量曲線を用いて、水位の変化量から注水した水量を推定する。</p> 	<p>①復水貯蔵タンク水位</p> <p>復水貯蔵タンク水位による推定方法は、復水貯蔵タンクを水源として使用し、かつ、復水貯蔵タンクを水源とした他の系統への使用量が把握できる場合に適用できる。 本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できる。</p> <p>①②原子伊格納容器下部水位、ドライウェル水位</p> <p>原子伊格納容器下部への注水した場合は、計測範囲内において適用可能である。なお、原子伊格納容器下部への注水の目的は、原子伊格納容器下部に落下した燃料芯の冷却であり、原子伊格納容器下部水位及びドライウェル水位より、初期水張り時及び原子伊格納容器破損後における原子伊格納容器下部への注水状況を把握できる。</p> <p>また、原子伊格納容器代替スプレイ冷却系によるスプレイ実施時には、原子伊格納容器下部水位及びドライウェル水位によるスプレイ水の蓄水状況により原子伊格納容器代替スプレイ系による注水状況を把握できる。</p> <p>②③ドライウェル温度、ドライウェル圧力、圧力制御室圧力</p> <p>原子伊格納容器代替スプレイ冷却系としての系統構成が確立された状態で、復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ(タイプ1)が動作している場合、若しくは代替蓄積冷却系による原子伊格納容器への注水時にはドライウェル温度、ドライウェル圧力及び圧力制御室圧力が低下傾向であることを確認することで、原子伊格納容器への注水機能が確保されていると判断できるため、原子伊格納容器への注水の確保を把握する上で適用できる。</p> <p>[誤差による影響について]</p> <p>原子伊格納容器への注水量を監視する目的は、注水設備による原子伊格納容器へ注水されていることの傾向を把握することであり、代替パラメータ(復水貯蔵タンク水位)による推定は、水源の水位変化量から注水量の傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(復水貯蔵タンク水位の誤差：±21a)</p> <p>代替パラメータ(原子伊格納容器下部水位、ドライウェル水位)による推定では、注水先の水位から注水量の傾向が把握でき、計器誤差(原子伊格納容器下部水位の誤差：±5→10mm、ドライウェル水位の誤差：±1→10mm)を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ(ドライウェル温度、ドライウェル圧力、圧力制御室圧力)による推定は、流量の確保の把握のみであり、計器誤差(ドライウェル温度の誤差：±2.7℃、ドライウェル圧力の誤差の誤差：±0.000MPa、圧力制御室圧力の誤差：±0.000MPa)を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>・補助給水ピット水位</p> <p>第13図を用いて、補助給水ピット水位から注水量を算出する。補助給水ピットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>  <p>第13図 補助給水ピットの水位と水量の相関図</p> <p>①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p> <p>原子伊格納容器内に注水を行っている期間の積算流量より、注水量を推定する。</p> <p>①[格納容器スプレイ流量]</p> <p>原子伊格納容器内に注水を行っている期間の格納容器スプレイ流量(自主対策設備)の指示値を時間積分することにより、注水量を推定する。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>③格納容器再循環サンプ水位 (広域)</p> <p>原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係をj用いて、水位の変化量から注水した水量を推定する。</p>  <p>消火水スプレイ時間 (hr) <small>消火水ポンプ出力110% / 0.75 x 1.1 x 噴霧器3000 / 70%</small></p>		<p>②格納容器再循環サンプ水位 (広域)</p> <p>第 14 図を用いて、格納容器再循環サンプ水位 (広域) から注水量を算出する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>  <p>推定方法</p> <p>第 14 図 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位と原子炉格納容器内水量の相関図</p> <p> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

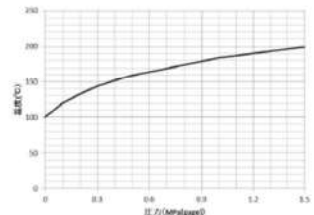
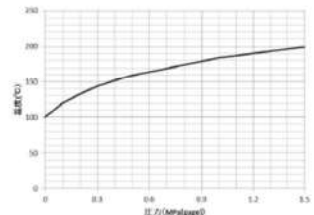
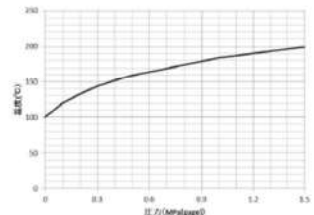
大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">推定の評価</p> <p>①燃料取扱用水ピット水位 燃料取扱用水ピット水位による推定方法は、燃料取扱用水ピットを水源として使用し、かつ、燃料取扱用水ピットを水源とし原子炉格納容器以外へ注水するポンプが作動していない、又はその注水量が把握できる場合に適用できる。 本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、これはプラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できるものである。</p> <p>②復水ピット水位 復水ピット水位による推定方法は、①における適用条件のうち、水源を復水ピットとして使用している場合に限り適用可能である。 本推定方法は、水源を燃料取扱用水ピットから復水ピットとした場合に適用可能である。 本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、これはプラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できるものである。</p> <p>③格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (広域) による推定方法は、格納容器再循環サンプ水位の計測範囲内において適用可能である。 条件が限定されるものの、①及び②による推定方法が優先されるため、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉格納容器への注水量を推定する手段として用いることは可能であり、格納容器スプレイポンプ等の注水設備が正常に機能していることを確認する上で妥当なものである。 これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるための必要な状態を把握できる。</p>		<p style="text-align: center;">推定方法</p> <p>② (ろ過水タンク水位) 第 15 図を用いて、ろ過水タンク水位 (自主対策設備) から注水量を算出する。</p> <p style="text-align: center;">第 15 図 ろ過水タンクの水位と水量の相関図</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

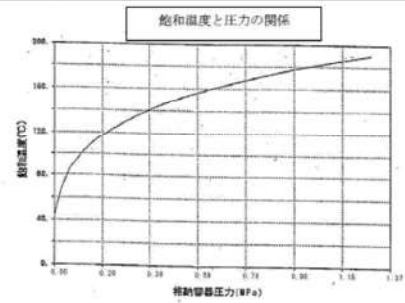
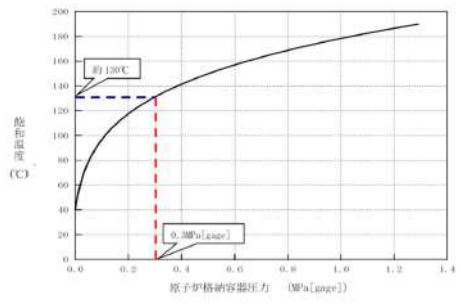
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>①燃料取替用水ビット水位及び補助給水ビット水位</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ビット水位 燃料取替用水ビット水位による推定方法は、燃料取替用水ビットを水源として使用し、かつ、燃料取替用水ビットを水源とした他の系統への使用量が把握できる場合に適用できる。 本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できる。 ・補助給水ビット水位 補助給水ビット水位による推定方法は、原子格納容器への注水の水源を燃料取替用水ビットから補助給水ビットに切り替えた場合に適用できる。 本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できる。 <p>①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) 及び [格納容器スプレイ流量] B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) 及び格納容器スプレイ流量 (自主対策設備) による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。また、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) 及び格納容器スプレイ流量 (自主対策設備) による推定方法は、当該流量計を使用するポンプにより注水している場合に適用可能である。</p> <p>②格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (広域) による推定方法は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の計測範囲内において適用できる。 なお、本推定方法の適用条件は、格納容器バイパスが発生していない場合に限定されるもの、①による推定方法が優先されるため、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>③ろ過水タンク水位 ろ過水タンク水位 (自主対策設備) による推定方法は、ろ過水タンク水位 (自主対策設備) を水源として使用し、かつ、ろ過水タンク水位 (自主対策設備) を水源とした他の系統への使用量が把握できる場合に適用できる。 本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できる。</p> <p>[誤差による影響について] 原子格納容器への注水量を監視する目的は、注水設備により原子格納容器へ注水されていることの傾向を把握することであり、代替パラメータ (燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位及びろ過水タンク水位 (自主対策設備)) による推定は、水源の水位変化量から注水量の傾向が把握でき、計器誤差 (燃料取替用水ビット水位の誤差：±1.0%、補助給水ビット水位の誤差：±1.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用)、格納容器スプレイ流量 (自主対策設備)) による推定は、注水設備による原子格納容器への注水量が把握でき、計器誤差 (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) の誤差：±11.3%/h) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (格納容器再循環サンプ水位 (広域)) による推定は、注水先の水位から注水量の傾向が把握でき、計器誤差 (格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差：±2.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

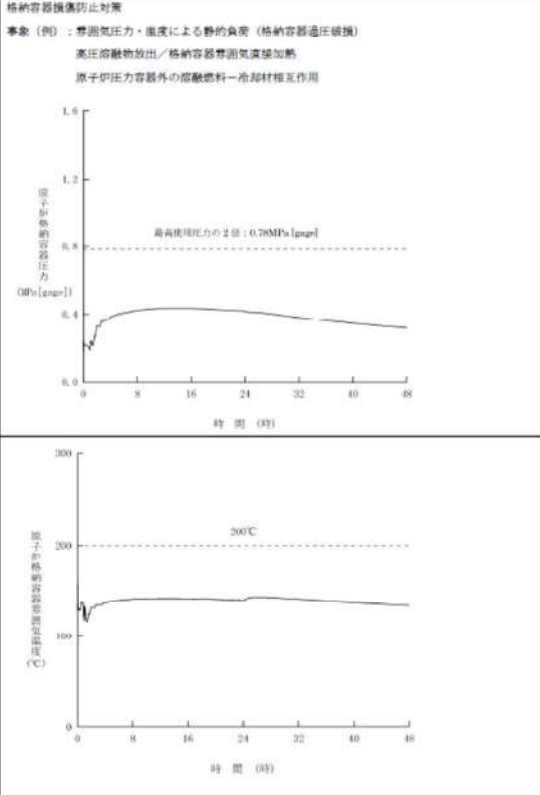
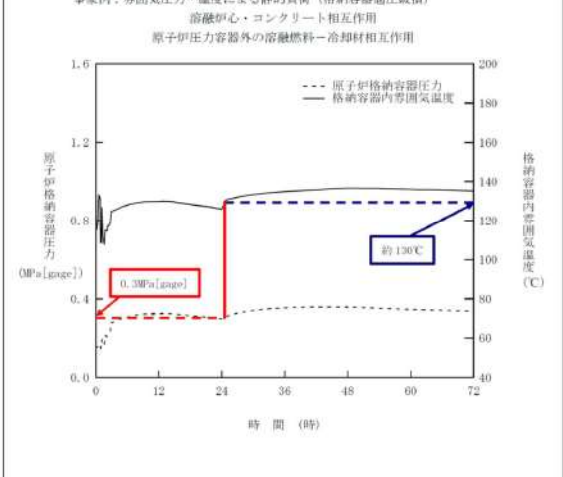
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
(f) 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	(f) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の温度)	(f) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ループを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の温度)																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の温度</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内温度</td> <td>0~220℃</td> <td>最大値:約132℃</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">① 格納容器圧力 (広域) ② AM用格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3"> 重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認をすることである。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び貯蔵炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、線と措置が取られない場合には、原子炉格納容器内の温度が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 線と措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視することが重要である。 </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3"> 原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が困難になった場合、代替パラメータの①格納容器圧力 (広域) 又は②AM用格納容器圧力により原子炉格納容器内の温度を推定する。 格納容器圧力 (広域) 又はAM用格納容器圧力による推定の方法では、原子炉格納容器内が飽和状態である範囲で適用する。 原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。 したがって、現在の格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器圧力より概略の温度を推定する。 ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。 </td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の温度				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内温度	0~220℃	最大値:約132℃	代替パラメータ	① 格納容器圧力 (広域) ② AM用格納容器圧力			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認をすることである。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び貯蔵炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、線と措置が取られない場合には、原子炉格納容器内の温度が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 線と措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が困難になった場合、代替パラメータの①格納容器圧力 (広域) 又は②AM用格納容器圧力により原子炉格納容器内の温度を推定する。 格納容器圧力 (広域) 又はAM用格納容器圧力による推定の方法では、原子炉格納容器内が飽和状態である範囲で適用する。 原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。 したがって、現在の格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器圧力より概略の温度を推定する。 ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の温度</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要パラメータ</td> <td>ドライウエル温度</td> <td>0~300℃</td> <td>140℃以下</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室内空気温度</td> <td>0~300℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度</td> <td>0~200℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>0~700℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替パラメータ</td> <td>①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>330kPa[gage]以下</td> </tr> <tr> <td>①サブプレッションプール水温度 (圧力抑制室内空気温度の代替)</td> <td>0~200℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>①圧力抑制室内空気温度 (サブプレッションプール水温度の代替)</td> <td>0~300℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>②圧力抑制室圧力 (ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度の代替)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>210kPa[gage]以下</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3"> 重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。 原子炉格納容器内の温度の主要パラメータであるドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の計測が困難になった場合、代替パラメータのドライウエル圧力、サブプレッションプール水温度、圧力抑制室内空気温度及び圧力抑制室圧力により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①ドライウエル圧力 ドライウエル圧力が過去の温度、圧力履歴から飽和状態であると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図58-8-9よりドライウエル温度の推定を行う。 推定可能範囲：100℃~185℃ </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">  <p>図 58-8-9 飽和温度/圧力の関係を利用した温度の推定</p> ①圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度 圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、以下のとおり代替パラメータにより推定する。 ・圧力抑制室内空気温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチャンネル内の空気温度と水が平衡状態であると仮定し、サブプレッションプール水温度により推定する。 </td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の温度				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	ドライウエル温度	0~300℃	140℃以下	圧力抑制室内空気温度	0~300℃	97℃以下	サブプレッションプール水温度	0~200℃	97℃以下	原子炉格納容器下部温度	0~700℃	—	代替パラメータ	①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)	0~1MPa[abs]	330kPa[gage]以下	①サブプレッションプール水温度 (圧力抑制室内空気温度の代替)	0~200℃	97℃以下	①圧力抑制室内空気温度 (サブプレッションプール水温度の代替)	0~300℃	97℃以下	②圧力抑制室圧力 (ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度の代替)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage]以下	計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。 原子炉格納容器内の温度の主要パラメータであるドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の計測が困難になった場合、代替パラメータのドライウエル圧力、サブプレッションプール水温度、圧力抑制室内空気温度及び圧力抑制室圧力により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①ドライウエル圧力 ドライウエル圧力が過去の温度、圧力履歴から飽和状態であると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図58-8-9よりドライウエル温度の推定を行う。 推定可能範囲：100℃~185℃			推定方法	 <p>図 58-8-9 飽和温度/圧力の関係を利用した温度の推定</p> ①圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度 圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、以下のとおり代替パラメータにより推定する。 ・圧力抑制室内空気温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチャンネル内の空気温度と水が平衡状態であると仮定し、サブプレッションプール水温度により推定する。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の温度</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内温度</td> <td>0~220℃</td> <td>最大値:約124℃</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3"> 重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。 原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (AM用) により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①②原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) 原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。 したがって、現在の原子炉格納容器内が以下のような条件により飽和状態と判断される場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して第16図より原子炉格納容器内温度を推定する。 ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次冷却系又は原子炉格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。 原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。 圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用) 温度パラメータ ①格納容器内温度 注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ②高压注入流量 ③低圧注入流量 ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 推定可能範囲：100℃~180℃ </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3"> 原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。 圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用) 温度パラメータ ①格納容器内温度 注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ②高压注入流量 ③低圧注入流量 ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 推定可能範囲：100℃~180℃ </td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の温度				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内温度	0~220℃	最大値:約124℃	代替パラメータ	①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用)			計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。 原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (AM用) により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①②原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) 原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。 したがって、現在の原子炉格納容器内が以下のような条件により飽和状態と判断される場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して第16図より原子炉格納容器内温度を推定する。 ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次冷却系又は原子炉格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。 原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。 圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用) 温度パラメータ ①格納容器内温度 注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ②高压注入流量 ③低圧注入流量 ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 推定可能範囲：100℃~180℃			推定方法	原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。 圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用) 温度パラメータ ①格納容器内温度 注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ②高压注入流量 ③低圧注入流量 ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 推定可能範囲：100℃~180℃			
原子炉格納容器内の温度																																																																																													
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																										
主要パラメータ	格納容器内温度	0~220℃	最大値:約132℃																																																																																										
代替パラメータ	① 格納容器圧力 (広域) ② AM用格納容器圧力																																																																																												
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認をすることである。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び貯蔵炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、線と措置が取られない場合には、原子炉格納容器内の温度が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 線と措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視することが重要である。																																																																																												
推定方法	原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が困難になった場合、代替パラメータの①格納容器圧力 (広域) 又は②AM用格納容器圧力により原子炉格納容器内の温度を推定する。 格納容器圧力 (広域) 又はAM用格納容器圧力による推定の方法では、原子炉格納容器内が飽和状態である範囲で適用する。 原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。 したがって、現在の格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器圧力より概略の温度を推定する。 ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。																																																																																												
原子炉格納容器内の温度																																																																																													
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																										
主要パラメータ	ドライウエル温度	0~300℃	140℃以下																																																																																										
	圧力抑制室内空気温度	0~300℃	97℃以下																																																																																										
	サブプレッションプール水温度	0~200℃	97℃以下																																																																																										
	原子炉格納容器下部温度	0~700℃	—																																																																																										
代替パラメータ	①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)	0~1MPa[abs]	330kPa[gage]以下																																																																																										
	①サブプレッションプール水温度 (圧力抑制室内空気温度の代替)	0~200℃	97℃以下																																																																																										
	①圧力抑制室内空気温度 (サブプレッションプール水温度の代替)	0~300℃	97℃以下																																																																																										
	②圧力抑制室圧力 (ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度の代替)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage]以下																																																																																										
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。 原子炉格納容器内の温度の主要パラメータであるドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の計測が困難になった場合、代替パラメータのドライウエル圧力、サブプレッションプール水温度、圧力抑制室内空気温度及び圧力抑制室圧力により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①ドライウエル圧力 ドライウエル圧力が過去の温度、圧力履歴から飽和状態であると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図58-8-9よりドライウエル温度の推定を行う。 推定可能範囲：100℃~185℃																																																																																												
推定方法	 <p>図 58-8-9 飽和温度/圧力の関係を利用した温度の推定</p> ①圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度 圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、以下のとおり代替パラメータにより推定する。 ・圧力抑制室内空気温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチャンネル内の空気温度と水が平衡状態であると仮定し、サブプレッションプール水温度により推定する。																																																																																												
原子炉格納容器内の温度																																																																																													
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																										
主要パラメータ	格納容器内温度	0~220℃	最大値:約124℃																																																																																										
代替パラメータ	①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用)																																																																																												
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。 原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (AM用) により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①②原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) 原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。 したがって、現在の原子炉格納容器内が以下のような条件により飽和状態と判断される場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して第16図より原子炉格納容器内温度を推定する。 ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次冷却系又は原子炉格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。 原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。 圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用) 温度パラメータ ①格納容器内温度 注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ②高压注入流量 ③低圧注入流量 ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 推定可能範囲：100℃~180℃																																																																																												
推定方法	原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。 圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用) 温度パラメータ ①格納容器内温度 注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ②高压注入流量 ③低圧注入流量 ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 推定可能範囲：100℃~180℃																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。</p> <p>圧力パラメータ ①格納容器圧力 (広域) ②AM用格納容器圧力</p> <p>温度パラメータ ①格納容器内温度</p> <p>注入量パラメータ ①格納容器スプレイ積算流量 ②高圧注入流量 ③余熱除去流量 ④恒設代替低圧注水積算流量</p> <p>原子炉格納容器の健全性の確認で原子炉格納容器内の温度の監視が重要となる格納容器破損防止対策の有効性評価の解析結果を例に挙げ、推定の適用性について確認した結果、雰囲気圧力・濃度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 等の場合、事象初期において一時的に原子炉格納容器内が過熱状態に至るものの、その後ほとんどの期間で原子炉格納容器内は飽和状態に維持される。</p> <p>また、過熱状態において本推定方法は適用できないが、その期間は一時的なものであり、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>よって、本推定方法を原子炉格納容器内の温度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の温度推移の把握、除熱操作判断において妥当である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p> 	<p>推定方法</p> <p>・サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションプール内の空気温度と水温が平衡状態であると仮定し、圧力抑制室内空気温度により推定する。</p> <p>②圧力抑制室圧力 ①ドライウエル圧力による推定方法と同様。</p> <p>①ドライウエル圧力 ドライウエル圧力による推定手順は、原子炉格納容器内が飽和状態のみに限定される。ただし、重大事故等時の有効性評価 (雰囲気圧力・濃度による静的負荷 (格納容器過圧・過熱破損) において、原子炉格納容器内は概ね飽和に近い状態に維持されることから、原子炉格納容器の過熱破損防止対策に必要な情報を得ることができる。</p> <p>①圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度 原子炉格納容器内の各部の温度を同等の仕様の温度計で計測することにより、原子炉格納容器の過熱破損防止対策に必要な情報を得ることができる。</p> <p>②圧力抑制室圧力 ①ドライウエル圧力と同様。</p> <p>なお、原子炉格納容器内は空素などの非凝縮性ガスが存在することから、原子炉格納容器内は完全には飽和状態にはならず、非凝縮性ガスの分圧分だけ原子炉格納容器内の圧力が高くなるため、本推定手段を用いると推定値より実際の原子炉格納容器内の温度は低くなる傾向と推測される。</p> <p>[誤差による影響について] 原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器の過熱破損防止を把握することであり、代替パラメータ (ドライウエル圧力及び圧力抑制室圧力) による推定は、圧力を温度に換算して原子炉格納容器内の温度の傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(例えば、ドライウエル圧力: 約0.427MPa[gage] (飽和温度: 約154℃) に対して、ドライウエル圧力の誤差: ±0.000MPa[gage] から温度に換算した場合は154±1℃程度。) 代替パラメータ (圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度) による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差 (圧力抑制室内空気温度の誤差: ±1.1℃、サブプレッションプール水温度の誤差: ±1.2℃) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>本推定方法は、この様な差が生じることを把握しながら推定することで原子炉格納容器内の温度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の温度推移の把握、除熱操作判断をする上で適用できる。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>推定の評価</p> <p>①②原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM 用) 原子炉格納容器の健全性の確認で原子炉格納容器内の温度の監視が重要となる原子炉格納容器破損防止対策の有効性評価の解析結果を例に挙げ、推定の適用性について確認した結果、雰囲気圧力・濃度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 等の場合、事象初期において一時的に原子炉格納容器内が過熱状態に至るものの、その後ほとんどの期間で原子炉格納容器内は飽和状態に維持される。</p> <p>また、過熱状態において本推定方法は適用できないが、その期間は一時的なものであり、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>よって、本推定方法を原子炉格納容器内の温度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の温度推移の把握、除熱操作判断において妥当である。</p> <p>なお、原子炉格納容器内は空素等の非凝縮性ガスが存在することから、原子炉格納容器内は完全には飽和状態にはならず、非凝縮性ガスの分圧分だけ原子炉格納容器内の圧力が高くなるため、本推定手段を用いると推定値より実際の原子炉格納容器内の温度は低くなる傾向と推測される。</p> <p>[誤差による影響について] 原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過熱破損防止を把握することであり、代替パラメータ (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM 用)) による推定は、圧力を温度に換算して原子炉格納容器内の温度の傾向が把握でき、計器誤差 (原子炉格納容器圧力の誤差: ±0.004MPa、格納容器圧力 (AM 用) の誤差: ±0.015MPa) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>本推定方法は、このような差が生じることを把握しながら推定することで原子炉格納容器内の温度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の温度推移の把握、除熱操作判断をする上で適用できる。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p> 	<p>相違理由</p>

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>格納容器過温防止対策</p> <p>事象 (例) : 券囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 高压溶融物放出 / 格納容器券囲気温度増加 原子炉圧力容器外の溶融燃料 - 冷却材相互作用</p>  <p>原子炉熱格納容器圧力 (MPa [gauge])</p> <p>時間 (時)</p> <p>最高使用圧力の 2 倍 (0.78MPa [gauge])</p> <p>原子炉熱格納容器券囲気温度 (°C)</p> <p>時間 (時)</p> <p>200°C</p>		<p>事象例：券囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 溶融炉心・コンクリート相互作用 原子炉圧力容器外の溶融燃料 - 冷却材相互作用</p>  <p>原子炉熱格納容器圧力 (MPa [gauge])</p> <p>時間 (時)</p> <p>0.38MPa [gauge]</p> <p>約 130°C</p> <p>格納容器内券囲気温度 (°C)</p> <p>時間 (時)</p> <p>第 17 図 券囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 溶融炉心・コンクリート相互作用 原子炉熱格納容器外の溶融燃料 - 冷却材相互作用の解析結果</p>	

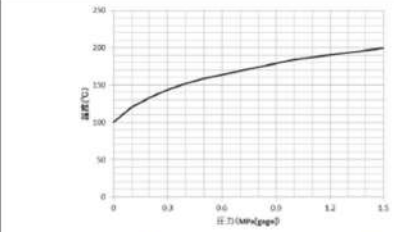
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p>(g) 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について</p>	<p>(g) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の圧力)</p>	<p>(g) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ループを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の圧力)</p>																																																																									
<table border="1" data-bbox="73 231 651 1053"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の圧力</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器圧力 (広域) (AM用格納容器圧力)</td> <td>-50~450kPa (0~1.5MPa)</td> <td>最大値：約300kPa (最大値：約300kPa)</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①AM用格納容器圧力 (①格納容器圧力 (狭域)) ②格納容器内温度 (②格納容器内温度)</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認である。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び溶融炉心の融解熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取れない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 緩和措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視することが重要である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである格納容器圧力 (広域) の計測が困難になった場合、代替パラメータのAM用格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 なお、代替パラメータのうち、直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測できるAM用格納容器圧力が優先する。 AM用格納容器圧力による推定の方法では、格納容器圧力 (広域) と同じ圧力を計測することにより原子炉格納容器内の圧力を計測ことができ、プラント状態に依存することなく適用可能である。 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。 本推定方法は原子炉格納容器が飽和状態である範囲で適用でき、現在の原子炉格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器内温度より観測の原子炉格納容器内の圧力を推定する。 ・これまでに換熱炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態と推移していること。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の圧力				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器圧力 (広域) (AM用格納容器圧力)	-50~450kPa (0~1.5MPa)	最大値：約300kPa (最大値：約300kPa)	代替パラメータ	①AM用格納容器圧力 (①格納容器圧力 (狭域)) ②格納容器内温度 (②格納容器内温度)			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認である。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び溶融炉心の融解熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取れない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 緩和措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである格納容器圧力 (広域) の計測が困難になった場合、代替パラメータのAM用格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 なお、代替パラメータのうち、直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測できるAM用格納容器圧力が優先する。 AM用格納容器圧力による推定の方法では、格納容器圧力 (広域) と同じ圧力を計測することにより原子炉格納容器内の圧力を計測ことができ、プラント状態に依存することなく適用可能である。 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。 本推定方法は原子炉格納容器が飽和状態である範囲で適用でき、現在の原子炉格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器内温度より観測の原子炉格納容器内の圧力を推定する。 ・これまでに換熱炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態と推移していること。			<table border="1" data-bbox="658 231 1236 1053"> <thead> <tr> <th colspan="4">※：重要監視パラメータの常用計器</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>ドライウエル圧力 圧力抑制室圧力</td> <td>0~1MPa[abs] 0~1MPa[abs]</td> <td>330kPa[gage] 以下 210kPa[gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>①圧力抑制室圧力 (ドライウエル圧力の代替) ①ドライウエル圧力 (圧力抑制室圧力の代替) ②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替) ②圧力抑制室内空気温度 (圧力抑制室圧力の代替) ③ [ドライウエル圧力] * (ドライウエル圧力の代替) ③ [圧力抑制室圧力] * (圧力抑制室圧力の代替)</td> <td>0~1MPa[abs] 0~1MPa[abs] 0~300℃ 0~300℃ 0~600kPa[abs] 0~600kPa[abs]</td> <td>210kPa[gage] 以下 330kPa[gage] 以下 140℃以下 97℃以下 330kPa[gage] 以下 210kPa[gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータであるドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータの圧力抑制室圧力、ドライウエル圧力、ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度により原子炉格納容器内の圧力を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①ドライウエル圧力及び圧力抑制室圧力 圧力抑制室水位が真空破損位置以下においては、ドライウエルとサブプレッションチャンセルはベント管内の水位に応じた水頭分の圧力差を維持して、同様の圧力挙動を示す。従って、ドライウエル圧力の計測が困難になった場合、圧力抑制室圧力により推定する。(圧力抑制室圧力を推定する場合はドライウエル圧力により推定) ②ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度 原子炉格納容器内過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-10 よりドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の推定を行う。 推定可能範囲：0~1.0MPa[abs] ③ [ドライウエル圧力] 及び [圧力抑制室圧力] 常用計器で原子炉格納容器内の圧力を計測することにより推定する。</td> </tr> </tbody> </table>	※：重要監視パラメータの常用計器				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	ドライウエル圧力 圧力抑制室圧力	0~1MPa[abs] 0~1MPa[abs]	330kPa[gage] 以下 210kPa[gage] 以下	代替パラメータ	①圧力抑制室圧力 (ドライウエル圧力の代替) ①ドライウエル圧力 (圧力抑制室圧力の代替) ②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替) ②圧力抑制室内空気温度 (圧力抑制室圧力の代替) ③ [ドライウエル圧力] * (ドライウエル圧力の代替) ③ [圧力抑制室圧力] * (圧力抑制室圧力の代替)	0~1MPa[abs] 0~1MPa[abs] 0~300℃ 0~300℃ 0~600kPa[abs] 0~600kPa[abs]	210kPa[gage] 以下 330kPa[gage] 以下 140℃以下 97℃以下 330kPa[gage] 以下 210kPa[gage] 以下	計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。			推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータであるドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータの圧力抑制室圧力、ドライウエル圧力、ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度により原子炉格納容器内の圧力を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①ドライウエル圧力及び圧力抑制室圧力 圧力抑制室水位が真空破損位置以下においては、ドライウエルとサブプレッションチャンセルはベント管内の水位に応じた水頭分の圧力差を維持して、同様の圧力挙動を示す。従って、ドライウエル圧力の計測が困難になった場合、圧力抑制室圧力により推定する。(圧力抑制室圧力を推定する場合はドライウエル圧力により推定) ②ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度 原子炉格納容器内過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-10 よりドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の推定を行う。 推定可能範囲：0~1.0MPa[abs] ③ [ドライウエル圧力] 及び [圧力抑制室圧力] 常用計器で原子炉格納容器内の圧力を計測することにより推定する。			<table border="1" data-bbox="1243 231 1821 1053"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の圧力</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)</td> <td>0~0.35MPa[gage] 0~1.0MPa[gage]</td> <td>最大値： 約0.241MPa[gage] —</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替) ① [格納容器圧力 (狭域)] (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替) ①原子炉格納容器圧力 (格納容器圧力 (AM用) の代替) ②格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替)</td> <td>0~1.0MPa[gage] -10~30kPa[gage] 0~0.35MPa[gage] 0~220℃</td> <td>— — 最大値： 約0.241MPa[gage] 最大値：約124℃</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである原子炉格納容器圧力、格納容器圧力 (AM用) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備)、原子炉格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器圧力 (AM用)、[格納容器圧力 (狭域)] 及び原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備) 及び原子炉格納容器圧力により、原子炉格納容器内の圧力を直接測定する。 ②格納容器内温度 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の圧力				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	0~0.35MPa[gage] 0~1.0MPa[gage]	最大値： 約0.241MPa[gage] —	代替パラメータ	①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替) ① [格納容器圧力 (狭域)] (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替) ①原子炉格納容器圧力 (格納容器圧力 (AM用) の代替) ②格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替)	0~1.0MPa[gage] -10~30kPa[gage] 0~0.35MPa[gage] 0~220℃	— — 最大値： 約0.241MPa[gage] 最大値：約124℃	計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。			推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである原子炉格納容器圧力、格納容器圧力 (AM用) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備)、原子炉格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器圧力 (AM用)、[格納容器圧力 (狭域)] 及び原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備) 及び原子炉格納容器圧力により、原子炉格納容器内の圧力を直接測定する。 ②格納容器内温度 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。			
原子炉格納容器内の圧力																																																																											
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																								
主要パラメータ	格納容器圧力 (広域) (AM用格納容器圧力)	-50~450kPa (0~1.5MPa)	最大値：約300kPa (最大値：約300kPa)																																																																								
代替パラメータ	①AM用格納容器圧力 (①格納容器圧力 (狭域)) ②格納容器内温度 (②格納容器内温度)																																																																										
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認である。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び溶融炉心の融解熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取れない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 緩和措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視することが重要である。																																																																										
推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである格納容器圧力 (広域) の計測が困難になった場合、代替パラメータのAM用格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 なお、代替パラメータのうち、直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測できるAM用格納容器圧力が優先する。 AM用格納容器圧力による推定の方法では、格納容器圧力 (広域) と同じ圧力を計測することにより原子炉格納容器内の圧力を計測ことができ、プラント状態に依存することなく適用可能である。 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。 本推定方法は原子炉格納容器が飽和状態である範囲で適用でき、現在の原子炉格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器内温度より観測の原子炉格納容器内の圧力を推定する。 ・これまでに換熱炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態と推移していること。																																																																										
※：重要監視パラメータの常用計器																																																																											
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																								
主要パラメータ	ドライウエル圧力 圧力抑制室圧力	0~1MPa[abs] 0~1MPa[abs]	330kPa[gage] 以下 210kPa[gage] 以下																																																																								
代替パラメータ	①圧力抑制室圧力 (ドライウエル圧力の代替) ①ドライウエル圧力 (圧力抑制室圧力の代替) ②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替) ②圧力抑制室内空気温度 (圧力抑制室圧力の代替) ③ [ドライウエル圧力] * (ドライウエル圧力の代替) ③ [圧力抑制室圧力] * (圧力抑制室圧力の代替)	0~1MPa[abs] 0~1MPa[abs] 0~300℃ 0~300℃ 0~600kPa[abs] 0~600kPa[abs]	210kPa[gage] 以下 330kPa[gage] 以下 140℃以下 97℃以下 330kPa[gage] 以下 210kPa[gage] 以下																																																																								
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。																																																																										
推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータであるドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータの圧力抑制室圧力、ドライウエル圧力、ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度により原子炉格納容器内の圧力を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①ドライウエル圧力及び圧力抑制室圧力 圧力抑制室水位が真空破損位置以下においては、ドライウエルとサブプレッションチャンセルはベント管内の水位に応じた水頭分の圧力差を維持して、同様の圧力挙動を示す。従って、ドライウエル圧力の計測が困難になった場合、圧力抑制室圧力により推定する。(圧力抑制室圧力を推定する場合はドライウエル圧力により推定) ②ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度 原子炉格納容器内過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-10 よりドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の推定を行う。 推定可能範囲：0~1.0MPa[abs] ③ [ドライウエル圧力] 及び [圧力抑制室圧力] 常用計器で原子炉格納容器内の圧力を計測することにより推定する。																																																																										
原子炉格納容器内の圧力																																																																											
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																								
主要パラメータ	原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	0~0.35MPa[gage] 0~1.0MPa[gage]	最大値： 約0.241MPa[gage] —																																																																								
代替パラメータ	①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替) ① [格納容器圧力 (狭域)] (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替) ①原子炉格納容器圧力 (格納容器圧力 (AM用) の代替) ②格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替)	0~1.0MPa[gage] -10~30kPa[gage] 0~0.35MPa[gage] 0~220℃	— — 最大値： 約0.241MPa[gage] 最大値：約124℃																																																																								
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。																																																																										
推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである原子炉格納容器圧力、格納容器圧力 (AM用) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備)、原子炉格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器圧力 (AM用)、[格納容器圧力 (狭域)] 及び原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備) 及び原子炉格納容器圧力により、原子炉格納容器内の圧力を直接測定する。 ②格納容器内温度 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

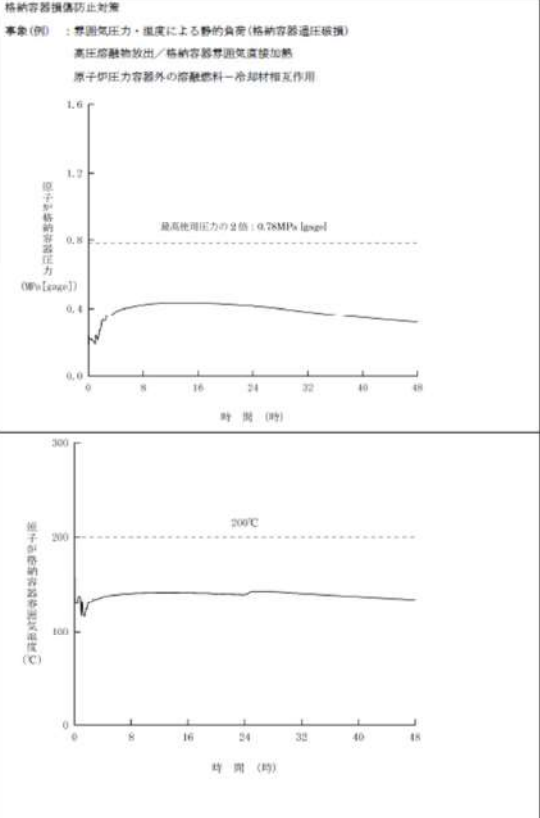
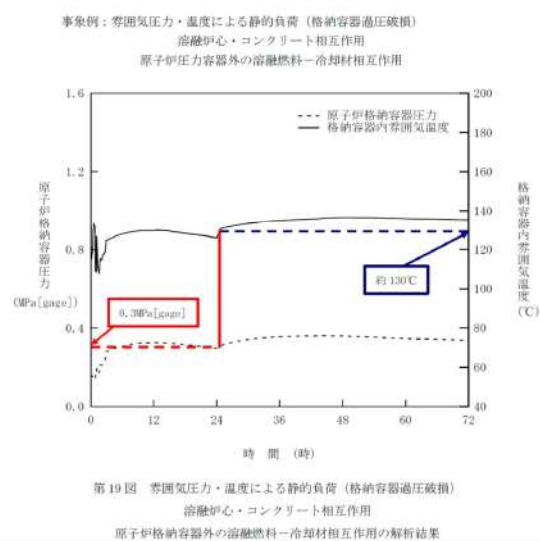
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。</p> <p>圧力パラメータ ①格納容器圧力 (広域) ②AM用格納容器圧力</p> <p>温度パラメータ ①格納容器内温度</p> <p>注入量パラメータ ①格納容器スプレイ積算流量 ②高圧注入流量 ③余熱除去流量 ④低圧代替低圧注水積算流量</p> <p>①AM用格納容器圧力 (①格納容器圧力 (広域)) AM用格納容器圧力 (格納容器圧力 (広域)) による推定は直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測するものであり、かつ、プラント状態に依存することなく適用可能であるため、推定方法として妥当である。</p> <p>②格納容器内温度 (②格納容器内温度) 原子炉格納容器の健全性の観点で原子炉格納容器内の圧力の監視が重要となる格納容器破損防止対策の有効性評価の解析結果を例に挙げ、推定の妥当性及び適用性について確認する。</p> <p>有効性評価のうち、曹温気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 等の場合、事故初期において一時的に原子炉格納容器内が過熱状態に至るものの、その後はほとんどの期間で原子炉格納容器内は飽和状態に維持される。</p> <p>また、過熱状態において本推定方法は適用できないが、その期間は一時的なものであり、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉格納容器内の圧力を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の圧力推移の把握、除熱操作判断において妥当である。</p> <p>これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>推定方法</p>  <p>図 58-8-10 飽和温度/圧力の関係を利用した温度の推定</p> <p>推定の評価</p> <p>①ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力 原子炉格納容器内のドライウエル側又はサブプレッションチェンバ側の圧力を同じ仕様の圧力計で計測することにより、原子炉格納容器の過圧破損防止対策に必要な情報を得ることができる。</p> <p>なお、ドライウエルスプレイ時は、圧力抑制室圧力<ドライウエル圧力の関係になるため、真空破損装置により差圧 6.9kPa 以内で推移する。(代替曹温冷却運転時や原子炉格納容器ベント前まではほぼ同じ挙動)</p> <p>また、サブプレッションチェンバ側の除熱 (原子炉格納容器ベントやサブプレッションプール水冷却モード等) を実施する時は、圧力抑制室圧力<ドライウエル圧力の関係になるため、ドライウエル側からベント管を通してサブプレッションチェンバ側へ圧力があがるため、ドライウエル圧力からサブプレッションチェンバ内の水頭圧分 (水面からクワンカマ下端までの高さ) を引いた値が圧力抑制室圧力と同じ挙動を示す。(例えば、NRI レベル：水面から約 3.5m の時、水頭圧は約 12.5kPa であり、ドライウエル圧力=圧力抑制室圧力+12.5kPa の関係) (例えば、外部水源注水量限界 (真空破損装置下層-0.4m)：水面から約 5.5m の時、水頭圧は約 31.4kPa であり、ドライウエル圧力=圧力抑制室圧力+31.4kPa の関係)</p> <p>②ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度 ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度による推定手順は、原子炉格納容器内が飽和状態にあることが限定される。ただし、重大事故等時の有効性評価 (曹温気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過熱破損) において、原子炉格納容器内は概ね飽和に近い状態に維持されることから、原子炉格納容器の過圧破損防止対策に必要な情報を得ることができる。</p> <p>③ [ドライウエル圧力] 及び [圧力抑制室圧力] 監視可能であれば、常用計器で原子炉格納容器内の圧力を計測することにより、原子炉格納容器の過圧破損防止対策に必要な情報を得ることができる。</p> <p>[誤差による影響について] 原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することであり、代替パラメータ (ドライウエル圧力及び圧力抑制室圧力) による推定は、同一物理量からの推定であり、真空破損装置、ベント管を介してそれぞれ均圧されることから、原子炉格納容器内の圧力の傾向が把握でき、計器誤差 (ドライウエル圧力の誤差：±0.000MPa、圧力抑制室圧力の誤差：±0.000MPa) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p>	<p>推定方法</p> <p>本推定方法は原子炉格納容器内が飽和状態である範囲で適用でき、現在の原子炉格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器内温度より概略の原子炉格納容器内の圧力を推定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに損傷の中心を冷却するための水が1次冷却系又は原子炉格納容器内に入力されていること。 過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していること。 <p>原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。</p> <p>圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用)</p> <p>温度パラメータ ①格納容器内温度</p> <p>注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ②高圧注入流量 ③低圧注入流量 ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</p> <p>推定可能範囲：0～1.0MPa [gauge]</p> <p>推定の評価</p> <p>①格納容器圧力 (AM用)、[格納容器圧力 (狭域)] 及び原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用) による推定は直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測するものであり、かつ、プラント状態に依存することなく適用可能であるため、推定方法として妥当である。</p> <p>・ [格納容器圧力 (狭域)] 格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備) による推定は直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測するものであり、かつ、プラント状態に依存することなく適用可能であるため、推定方法として妥当である。</p> <p>・ 原子炉格納容器圧力 原子炉格納容器圧力による推定は直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測するものであり、かつ、プラント状態に依存することなく適用可能であるため、推定方法として妥当である。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>飽和温度と圧力の関係</p> <p>縦軸: 飽和温度 (°C) [0, 40, 80, 120, 160, 200]</p> <p>横軸: 格納容器圧力 (MPa) [0.00, 0.20, 0.40, 0.60, 0.80, 1.00, 1.20, 1.40]</p>	<p>推定の評価</p> <p>代替パラメータ (ドライウェル温度、圧力抑制室内空気温度) による推定は、圧力に換算して原子炉格納容器内の圧力の傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(例えば、ドライウェル圧力: 約 0.427MPa[gage] (飽和温度: 約 154°C) に対してドライウェル温度の誤差: 約 ±2.7°C から圧力に換算した場合は、0.427±0.04MPa[gage]程度)。</p> <p>なお、原子炉格納容器内は、窒素などの非凝縮性ガスが存在することから、原子炉格納容器内は完全には飽和状態にならず、非凝縮性ガスの分圧だけ原子炉格納容器内の圧力が高くなるため、本推定手段を用いると推定値より実際の圧力は高くなると推定される。</p> <p>本推定方法は、この様な差が生じることを把握しながら推定することで原子炉格納容器内の圧力を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の圧力推移の把握、除熱操作判断をする上で適用できる。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>推定の評価</p> <p>②格納容器内温度</p> <p>原子炉格納容器の健全性の観点で原子炉格納容器内の圧力の監視が重要となる原子炉格納容器破損防止対策の有効性評価の解析結果を例に挙げ、推定の妥当性及び適用性について確認する。</p> <p>有効性評価のうち、零圧気圧・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 等の場合、事故初期において一時的に原子炉格納容器内が過熱状態に至るものの、その後ほとんどの期間で原子炉格納容器内は飽和状態に維持される。</p> <p>また、過熱状態において本推定方法は適用できないが、その期間は一時的なものであり、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>[誤差による影響について]</p> <p>原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することであり、代替パラメータ (格納容器圧力 (AM 用)、格納容器圧力 (喪域) (自主対策設備)、原子炉格納容器圧力) による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差 (格納容器圧力 (AM 用) の誤差: ±0.015MPa、原子炉格納容器圧力の誤差: ±0.004MPa) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (格納容器内温度) による推定は、圧力に換算して原子炉格納容器内の圧力の傾向が把握でき、計器誤差 (格納容器内温度の誤差: ±4.4°C) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>なお、原子炉格納容器内は窒素等の非凝縮性ガスが存在することから、原子炉格納容器内は完全には飽和状態にならず、非凝縮性ガスの分圧だけ原子炉格納容器内の圧力が高くなるため、本推定手段を用いると推定値より実際の圧力は高くなると推定される。</p> <p>本推定方法は、この様な差が生じることを把握しながら推定することで原子炉格納容器内の圧力を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の圧力推移の把握、除熱操作判断をする上で適用できる。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p> <p>縦軸: 飽和温度 (°C) [0, 40, 80, 120, 140, 160, 180, 200]</p> <p>横軸: 原子炉格納容器圧力 (MPa[gage]) [0.0, 0.2, 0.4, 0.6, 0.8, 1.0, 1.2, 1.4]</p> <p>注: 約 130°C, 0.3MPa[gage]</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>格納容器損傷防止対策</p> <p>事象(例)：雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 高温溶融物放出 / 格納容器雰囲気加熱 原子炉圧力容器外の溶融燃料-冷却材相互作用</p>  <p>原子炉格納容器圧力 (MPa [gauge])</p> <p>時間 (時)</p> <p>最高使用圧力の2倍: 0.78MPa [gauge]</p> <p>200°C</p> <p>原子炉格納容器内雰囲気温度 (°C)</p> <p>時間 (時)</p>		<p>事象例：雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 溶融炉心・コンクリート相互作用 原子炉圧力容器外の溶融燃料-冷却材相互作用</p>  <p>原子炉格納容器圧力 (MPa [gauge])</p> <p>時間 (時)</p> <p>0.3MPa [gauge]</p> <p>約130°C</p> <p>格納容器内雰囲気温度 (°C)</p> <p>第19図 雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 溶融炉心・コンクリート相互作用 原子炉格納容器外の溶融燃料-冷却材相互作用の解析結果</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

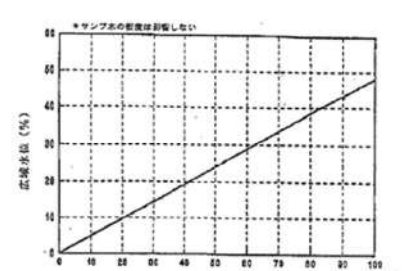
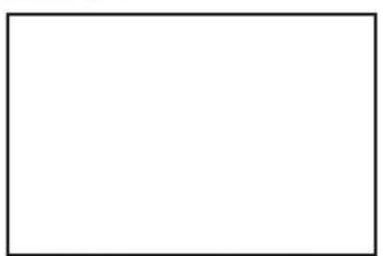
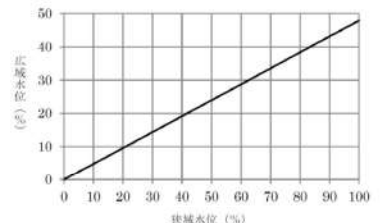
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																						
(h) 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	(h) 主要パラメータの代替パラメータ（他チャンネルを除く）による推定方法について（原子炉格納容器内の水位）	(h) 主要パラメータの代替パラメータ（他チャンネル及び他ループを除く）による推定方法について（原子炉格納容器内の水位（1））																																																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の水位（1）</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> <td>0～100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①格納容器再循環サンプ水位（狭域） ②原子炉下部キャビティ水位 ③原子炉格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。 特に重大事故において、原子炉圧力容器破損に伴い原子炉格納容器内に放出された溶融炉心の冷却のため、原子炉圧力容器破損前に原子炉格納容器に水張りをする必要があり、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器の水張りの状態を確認できることが重要である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである格納容器再循環サンプ水位（広域）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器再循環サンプ水位（狭域）、原子炉下部キャビティ水位又は原子炉格納容器水位により原子炉格納容器内の水位を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の水位（1）				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器再循環サンプ水位（広域）	0～100%	100%	代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位（狭域） ②原子炉下部キャビティ水位 ③原子炉格納容器水位			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。 特に重大事故において、原子炉圧力容器破損に伴い原子炉格納容器内に放出された溶融炉心の冷却のため、原子炉圧力容器破損前に原子炉格納容器に水張りをする必要があり、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器の水張りの状態を確認できることが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである格納容器再循環サンプ水位（広域）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器再循環サンプ水位（狭域）、原子炉下部キャビティ水位又は原子炉格納容器水位により原子炉格納容器内の水位を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の水位</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">主要パラメータ</td> <td>圧力抑制室水位</td> <td>0～5α (0.P. -3900mm～1100mm)</td> <td>0.05α (0.P. -3850mm)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部水位</td> <td>0.5α, 1.0α, 1.5α, 2.0α, 2.5α, 2.8α (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 200mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル水位</td> <td>0.02α, 0.25α, 0.34α (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">代替パラメータ</td> <td>①減圧代替注水ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0～120m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系A系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）</td> <td>0～220m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）</td> <td>0～220m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①減圧代替注水ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0～100m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①原子炉降熱時冷却ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0～150m³/h</td> <td>0～90.8m³/h</td> </tr> <tr> <td>①減圧炉心スプレイポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0～1,500m³/h</td> <td>(高圧側) 0～218m³/h (低圧側) 0～1,650m³/h</td> </tr> <tr> <td>①原子炉格納容器代替スプレイ流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0～100m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①原子炉格納容器下部注水流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0～110m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①原子炉格納容器代替スプレイ流量 (原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替)</td> <td>0～100m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替)</td> <td>0～200m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視する目的は、サブプレッションチャンバからのベントを実施する際の圧力抑制室水位の確認及び溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器下部（圧力容器ベグスタール部及びドライウェル下部）への注水量の確認である。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の水位				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	圧力抑制室水位	0～5α (0.P. -3900mm～1100mm)	0.05α (0.P. -3850mm)	原子炉格納容器下部水位	0.5α, 1.0α, 1.5α, 2.0α, 2.5α, 2.8α (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 200mm)	—	ドライウェル水位	0.02α, 0.25α, 0.34α (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)	—	代替パラメータ	①減圧代替注水ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～120m ³ /h	—	①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系A系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～220m ³ /h	—	①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～220m ³ /h	—	①減圧代替注水ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～100m ³ /h	—	①原子炉降熱時冷却ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～150m ³ /h	0～90.8m ³ /h	①減圧炉心スプレイポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～1,500m ³ /h	(高圧側) 0～218m ³ /h (低圧側) 0～1,650m ³ /h	①原子炉格納容器代替スプレイ流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～100m ³ /h	—	①原子炉格納容器下部注水流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～110m ³ /h	—	①原子炉格納容器代替スプレイ流量 (原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替)	0～100m ³ /h	—	①代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替)	0～200m ³ /h	—	計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視する目的は、サブプレッションチャンバからのベントを実施する際の圧力抑制室水位の確認及び溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器下部（圧力容器ベグスタール部及びドライウェル下部）への注水量の確認である。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の水位（1）</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主要パラメータ</td> <td>格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> <td>0～100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位（狭域）</td> <td>0～100%</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">代替パラメータ</td> <td>①格納容器再循環サンプ水位（狭域） (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)</td> <td>0～100%</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>①格納容器再循環サンプ水位（広域） (格納容器再循環サンプ水位（狭域）の代替)</td> <td>0～100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②原子炉下部キャビティ水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)</td> <td>ON-OFF</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②格納容器水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)</td> <td>ON-OFF</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③燃料取替用水ヒット水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)</td> <td>0～100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>③補助給水ヒット水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)</td> <td>0～100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>③B系格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)</td> <td>0～1,300m³/h (0～10,000m³)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の水位（1）				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器再循環サンプ水位（広域）	0～100%	100%	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	0～100%	100%以上	代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位（狭域） (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	0～100%	100%以上	①格納容器再循環サンプ水位（広域） (格納容器再循環サンプ水位（狭域）の代替)	0～100%	100%	②原子炉下部キャビティ水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	ON-OFF	—	②格納容器水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	ON-OFF	—	③燃料取替用水ヒット水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	0～100%	100%	③補助給水ヒット水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	0～100%	100%	③B系格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	0～1,300m ³ /h (0～10,000m ³)	—	計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。			
原子炉格納容器内の水位（1）																																																																																																																									
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																						
主要パラメータ	格納容器再循環サンプ水位（広域）	0～100%	100%																																																																																																																						
代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位（狭域） ②原子炉下部キャビティ水位 ③原子炉格納容器水位																																																																																																																								
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。 特に重大事故において、原子炉圧力容器破損に伴い原子炉格納容器内に放出された溶融炉心の冷却のため、原子炉圧力容器破損前に原子炉格納容器に水張りをする必要があり、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器の水張りの状態を確認できることが重要である。																																																																																																																								
推定方法	原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである格納容器再循環サンプ水位（広域）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器再循環サンプ水位（狭域）、原子炉下部キャビティ水位又は原子炉格納容器水位により原子炉格納容器内の水位を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。																																																																																																																								
原子炉格納容器内の水位																																																																																																																									
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																						
主要パラメータ	圧力抑制室水位	0～5α (0.P. -3900mm～1100mm)	0.05α (0.P. -3850mm)																																																																																																																						
	原子炉格納容器下部水位	0.5α, 1.0α, 1.5α, 2.0α, 2.5α, 2.8α (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 200mm)	—																																																																																																																						
	ドライウェル水位	0.02α, 0.25α, 0.34α (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)	—																																																																																																																						
代替パラメータ	①減圧代替注水ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～120m ³ /h	—																																																																																																																						
	①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系A系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～220m ³ /h	—																																																																																																																						
	①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～220m ³ /h	—																																																																																																																						
	①減圧代替注水ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～100m ³ /h	—																																																																																																																						
	①原子炉降熱時冷却ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～150m ³ /h	0～90.8m ³ /h																																																																																																																						
	①減圧炉心スプレイポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～1,500m ³ /h	(高圧側) 0～218m ³ /h (低圧側) 0～1,650m ³ /h																																																																																																																						
	①原子炉格納容器代替スプレイ流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～100m ³ /h	—																																																																																																																						
	①原子炉格納容器下部注水流量 (圧力抑制室水位の代替)	0～110m ³ /h	—																																																																																																																						
	①原子炉格納容器代替スプレイ流量 (原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替)	0～100m ³ /h	—																																																																																																																						
	①代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替)	0～200m ³ /h	—																																																																																																																						
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視する目的は、サブプレッションチャンバからのベントを実施する際の圧力抑制室水位の確認及び溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器下部（圧力容器ベグスタール部及びドライウェル下部）への注水量の確認である。																																																																																																																								
	原子炉格納容器内の水位（1）																																																																																																																								
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																						
主要パラメータ	格納容器再循環サンプ水位（広域）	0～100%	100%																																																																																																																						
	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	0～100%	100%以上																																																																																																																						
代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位（狭域） (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	0～100%	100%以上																																																																																																																						
	①格納容器再循環サンプ水位（広域） (格納容器再循環サンプ水位（狭域）の代替)	0～100%	100%																																																																																																																						
	②原子炉下部キャビティ水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	ON-OFF	—																																																																																																																						
	②格納容器水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	ON-OFF	—																																																																																																																						
	③燃料取替用水ヒット水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	0～100%	100%																																																																																																																						
	③補助給水ヒット水位 (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	0～100%	100%																																																																																																																						
	③B系格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） (格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替)	0～1,300m ³ /h (0～10,000m ³)	—																																																																																																																						
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。																																																																																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

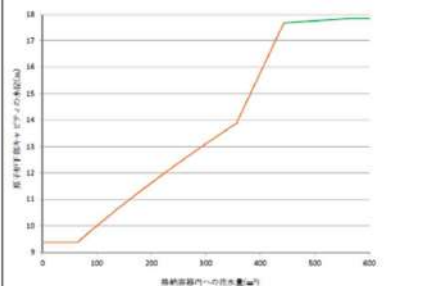

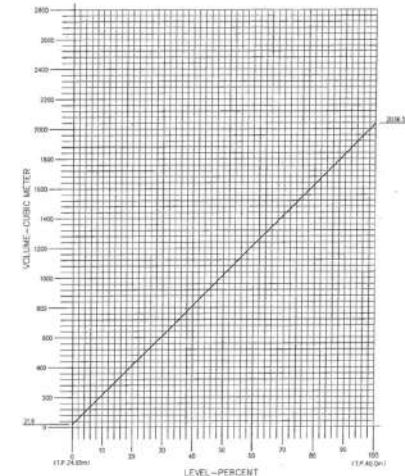
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>①格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</p> <p>格納容器再循環サンプの狭域水位と広域水位の相関図を用いて、その対応から水位を推定する。</p>  <p>図 19 再循環サンプ狭域水位と広域水位の相関図</p>	<p>原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の計測が困難になった場合、代替パラメータにより原子炉格納容器内の水位を推定することができる。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①外部水漏れによる注水流量 (高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高圧炉心スプレイスポンプ出口流量、原子炉格納容器代替スプレイ流量、原子炉格納容器下部注水流量)</p> <p>圧力抑制室水位の監視が不可能となった場合には、図58-8-11を用いて直前まで判明していた圧力抑制室水位に相当するプール水体積に外部水漏れを用いた注水量 (高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高圧炉心スプレイスポンプ出口流量、原子炉格納容器代替スプレイ流量、原子炉格納容器下部注水流量)を加算し圧力抑制室水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲の目安：通常水位\sim5m</p>  <p>図 58-8-11 圧力抑制室水位とプール水の体積の関係</p> <p>②残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量、原子炉格納容器下部注水流量、原子炉格納容器下部水位及びドライウェル水位の監視が不可能となった場合には、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量及び原子炉格納容器下部注水流量から注水量を算出し、図58-8-12を用いて水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：0m\sim約4.1m</p> <p>推定方法</p>	<p>原子炉格納容器内の水位 (1) の主要パラメータである格納容器再循環サンプ水位 (広域) の計測が不可能となった場合、測定範囲内であれば、格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 又は原子炉下部キャビティ水位及び格納容器水位並びに注水源である燃料取扱用水ピット水位、補助給水ピット水位、B系格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、相関関係があり連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位 (狭域) を優先して使用し推定する。なお、溶融炉心の冷却に必要な水位を確認する場合は、格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位により確認する。また、注水量による原子炉格納容器内水位の推定は、炉心注水及び格納容器スプレイでの注水量の合計値と水位の相関関係により推定する。</p> <p>原子炉格納容器内の水位 (1) の主要パラメータである格納容器再循環サンプ水位 (狭域) の計測が不可能となった場合、代替パラメータである格納容器再循環サンプ水位 (広域) により、広域水位と狭域水位の相関図を用いて推定する。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 及び格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) と格納容器再循環サンプ水位 (広域) の相関図を用いて、その対応から水位を推定する。</p>  <p>図 20 格納容器再循環サンプ水位狭域水位と広域水位の相関図</p> <p>②原子炉下部キャビティ水位及び格納容器水位</p> <p>原子炉下部キャビティ水位が液面を感知する水位、格納容器水位が液面を感知する水位と格納容器再循環サンプ水位 (広域) の相関を用いて、その対応から水位を推定する。</p>	<p>相違理由</p>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

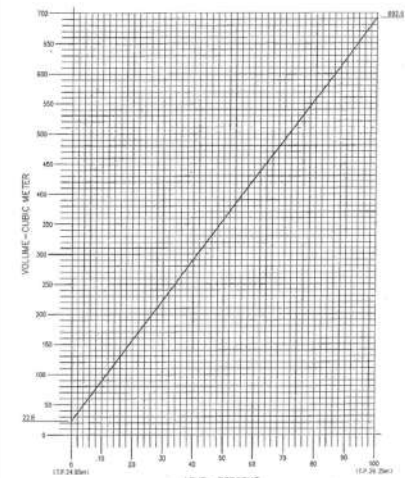
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>②原子炉下部キャピタリ水位 原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p>  <p>③原子炉格納容器水位 原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。(②と同様)</p>	<p>推定方法</p>  <p>図58-8-12 原子炉格納容器水位と注水量の関係</p> <p>②復水貯蔵タンク水位 復水貯蔵タンクを水源としている場合は、復水貯蔵タンク水位の変化量から圧力制御室水位を推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。なお、原子炉格納容器への注水状況を原子炉格納容器内の圧力及び温度にて併せて確認する。</p> <p>推定の詳細</p> <p>①外部水源による注水量 (高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、炭疽駆動低圧注水系ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高圧中心スプレイレイン系ポンプ出口流量、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量、原子炉格納容器下部注水流量) 外部水源による注水量を用いた推定方法は、注水量による推定であり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>②残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量、代替循環冷却ポンプ出口流量、原子炉格納容器下部注水流量、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量、代替循環冷却ポンプ出口流量及び原子炉格納容器下部注水流量による推定方法は、注水量による推定であり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>③復水貯蔵タンク水位 復水貯蔵タンク水位による推定方法は、復水貯蔵タンクを水源として使用し、かつ、復水貯蔵タンクを水源とした給水の流量が把握できる場合に適用できる。 上記の推定方法は、注水流量及び水源の水位変化から算出した水量がすべてサブプレッションチャンセルへ移行する場合を想定しており、圧力制御室水位の計測目的であるサブプレッションチャンセルからのベント操作を判断 (通常運転水位+約2mを把握すること) から考えると保守的な評価となることから問題ない。</p> <p>[異常による影響について] 原子炉格納容器内の水位を監視する目的は、サブプレッションチャンセルからのベントを実施する際の圧力制御室水位の確認及び崩壊炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器下部への注水量を把握することであり、代替パラメータ (外部水源による注水流量) による推定は、注水設備による原子炉格納容器への注水量から注水水位の傾向が把握</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>推定方法</p> <p>③燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量 ・燃料取替用水ビット水位 燃料取替用水ビットの水位容量曲線を用いて、水位の変化量から注水した水量を算出し、それを基に、原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>  <p>第21図 燃料取替用水ビットの水位と水量の相関図</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>①格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) による推定方法は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) と針測範囲が重複している範囲内において同等の針測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。 なお、格納容器再循環サンプ水位 (広域) と比して針測範囲が限定されるものの、格納容器再循環サンプ水位 (狭域) を監視することで原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>②原子炉下部キャビティ水位 原子炉下部キャビティ水位による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。原子炉下部キャビティ水位が液面を感知するまで水位が上昇しているかどうかにより、原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>③原子炉格納容器水位 原子炉格納容器水位による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。原子炉格納容器水位が液面を感知するまで水位が上昇しているかどうかにより、原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉格納容器内の水位を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器の水溜りの状態の確認において妥当なものである。 これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>図で、計器誤差 (高圧代替注水ポンプ出口流量の誤差: $\pm 1.9\text{m}^3/\text{h}$、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) の誤差: $\pm 3.6\text{m}^3/\text{h}$、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) の誤差: $\pm 3.6\text{m}^3/\text{h}$、直流駆動低圧注水ポンプ出口流量の誤差: $\pm 1.6\text{m}^3/\text{h}$、原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量の誤差: $\pm 2.4\text{m}^3/\text{h}$、高圧炉心スプレイレインポンプ出口流量の誤差: $\pm 2.4\text{m}^3/\text{h}$、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量の誤差: $\pm 1.6\text{m}^3/\text{h}$、原子炉格納容器下部注水流量の誤差: $\pm 1.8\text{m}^3/\text{h}$) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。 (サプレッションチェンジャー底部から3.5m (通常水位) において、外部水溜りによる注水流量の誤差から、1時間運転時の圧力抑制室水位に換算した場合の誤差は約$\pm 0.04\text{m}$である。)</p> <p>代替パラメータ (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器下部注水流量、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量、代替循環冷却ポンプ出口流量) による推定は、注水設備による原子炉格納容器への注水量から注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) の誤差: $\pm 3.6\text{m}^3/\text{h}$、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) の誤差: $\pm 3.6\text{m}^3/\text{h}$、原子炉格納容器下部注水流量の誤差: $\pm 1.8\text{m}^3/\text{h}$、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量の誤差: $\pm 1.6\text{m}^3/\text{h}$、代替循環冷却ポンプ出口流量の誤差: $\pm 3.2\text{m}^3/\text{h}$) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。 (原子炉格納容器代替スプレイレイン流量の誤差: 約$1.6\text{m}^3/\text{h}$から、原子炉格納容器下部水位に換算した場合の誤差は約$6.7\text{cm}/\text{h}$であり、有効性評価における$88\text{m}^3/\text{h}$、1時間で水溜りを想定すると誤差: 約$\pm 0.07\text{m}$、また、ドライウェル水位に換算した場合の誤差は約$0.4\text{cm}/\text{h}$であり、有効性評価における$88\text{m}^3/\text{h}$、0.9時間で水溜りを想定すると誤差: 約$\pm 0.00\text{m}$) 代替パラメータ (復水貯蔵タンク水位) による推定は、水源の水位変化量から、注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより、重大事故等時の対策を実施することが可能である。(復水貯蔵タンク水位の誤差: $\pm 21\text{m}^3$) 以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>・補助給水ビット水位 補助給水ビットの水位容量曲線を用いて、水位の変化量から注水した水量を算出し、それに基づき、原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>  <p>第22図 補助給水ビットの水位と水量の相関図</p> <p>・B系格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量 流量積算量に基づき、原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div data-bbox="1256 150 1814 699"> <p>推定方法</p> <p>第23図 原子炉格納容器の水位と水量の相関図</p> </div> <div data-bbox="1256 703 1814 997"> <p>推定の評価</p> <p>①格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 及び格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) による推定方法は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) と計測範囲が重複している範囲内において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。 なお、格納容器再循環サンプ水位 (広域) と比較して計測範囲が限定されるもの、格納容器再循環サンプ水位 (狭域) を監視することで原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>・格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (広域) による推定方法は、格納容器再循環サンプ水位 (狭域) と計測範囲が重複している範囲内において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。これにより、原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> </div> <div data-bbox="1384 1013 1780 1034"> <p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>②原子炉下部キャビティ水位及び格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。原子炉下部キャビティ水位が液面を感知するまで水位が上昇しているかどうかにより、原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。 格納容器水位による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。格納容器水位が液面を感知するまで水位が上昇しているかどうかにより、原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>③燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の水位変化及び流量積算量による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。また、積算流量による推定方法は、当該流量計を使用するポンプにより注水している場合に適用可能である。</p> <p>[誤差による影響について] 原子炉格納容器内の水位 (1) を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認であり、代替パラメータ (格納容器再循環サンプ水位 (狭域)、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位) による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差 (格納容器再循環サンプ水位 (狭域) の誤差: ±1.5%、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差: ±2.0%、原子炉下部キャビティ水位の誤差: -0 mm/+60mm、格納容器水位の誤差: -60mm/+0 mm) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位) による推定は、水源の水位変化量から、注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差 (燃料取替用水ビット水位の誤差: ±1.0%、補助給水ビット水位の誤差: ±1.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量) による推定は、注水設備による原子炉格納容器への注水量から注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差 (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) の誤差: ±11.3m³/h、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の誤差: ±1.7m³/h) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
<p>(i) 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について</p> <table border="1" data-bbox="73 236 656 874"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の水位 (2)</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>原子炉格納容器水位</td> <td>ON-OFF</td> <td>重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①格納容器スプレイ積算流量 ②償却代替低圧注水積算流量</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3"> 重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高濃度の原子炉冷却材及び溶融炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取られない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 ここで緩和措置として実施する代替格納容器スプレイ等の注水量が増大すれば、計器等が水没する可能性があるため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視することが重要である。 </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3"> 原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである原子炉格納容器水位の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器スプレイ積算流量、償却代替低圧注水積算流量及び低圧注水スプレイ積算流量と格納容器内水量と格納容器水位との関係から原子炉格納容器内の水位を推定する。 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の水位 (2)			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	原子炉格納容器水位	ON-OFF	重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。	代替パラメータ	①格納容器スプレイ積算流量 ②償却代替低圧注水積算流量			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高濃度の原子炉冷却材及び溶融炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取られない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 ここで緩和措置として実施する代替格納容器スプレイ等の注水量が増大すれば、計器等が水没する可能性があるため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである原子炉格納容器水位の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器スプレイ積算流量、償却代替低圧注水積算流量及び低圧注水スプレイ積算流量と格納容器内水量と格納容器水位との関係から原子炉格納容器内の水位を推定する。				<p>(i) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他グループを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の水位 (2))</p> <table border="1" data-bbox="1238 236 1821 1058"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の水位 (2)</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位</td> <td>ON-OFF</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替パラメータ</td> <td>①格納容器再循環サンプ水位 (広域) (原子炉下部キャビティ水位の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>①燃料取替用水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>①補助給水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)</td> <td>0~1,300m³/h (0~10,000m³)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)</td> <td>0~200m³/h (0~10,000m³)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3"> 重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。また、原子炉下部キャビティ水位を監視する目的は、原子炉下部キャビティへ溶融炉心冷却に必要な水量の有無の確認である。 </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3"> 原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである格納容器水位の計測が不可能となった場合、代替パラメータの燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。また、注水量による原子炉格納容器内水位の推定は、炉心注水及び格納容器スプレイでの注水量の合計値と水位の相関関係により推定する。 原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである原子炉下部キャビティ水位の計測が不可能となった場合、測定範囲内であれば、格納容器再循環サンプ水位 (広域) 又は注水源である燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、連続的な水位監視ができる格納容器再循 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の水位 (2)			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位	ON-OFF	—	代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位 (広域) (原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%	①燃料取替用水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%	①補助給水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%	①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~1,300m ³ /h (0~10,000m ³)	—		①代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~200m ³ /h (0~10,000m ³)	—	計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。また、原子炉下部キャビティ水位を監視する目的は、原子炉下部キャビティへ溶融炉心冷却に必要な水量の有無の確認である。			推定方法	原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである格納容器水位の計測が不可能となった場合、代替パラメータの燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。また、注水量による原子炉格納容器内水位の推定は、炉心注水及び格納容器スプレイでの注水量の合計値と水位の相関関係により推定する。 原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである原子炉下部キャビティ水位の計測が不可能となった場合、測定範囲内であれば、格納容器再循環サンプ水位 (広域) 又は注水源である燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、連続的な水位監視ができる格納容器再循			
項目		原子炉格納容器内の水位 (2)																																																												
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																											
主要パラメータ	原子炉格納容器水位	ON-OFF	重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。																																																											
代替パラメータ	①格納容器スプレイ積算流量 ②償却代替低圧注水積算流量																																																													
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高濃度の原子炉冷却材及び溶融炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取られない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 ここで緩和措置として実施する代替格納容器スプレイ等の注水量が増大すれば、計器等が水没する可能性があるため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視することが重要である。																																																													
推定方法	原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである原子炉格納容器水位の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器スプレイ積算流量、償却代替低圧注水積算流量及び低圧注水スプレイ積算流量と格納容器内水量と格納容器水位との関係から原子炉格納容器内の水位を推定する。																																																													
項目	原子炉格納容器内の水位 (2)																																																													
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																											
主要パラメータ	格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位	ON-OFF	—																																																											
代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位 (広域) (原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%																																																											
	①燃料取替用水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%																																																											
	①補助給水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%																																																											
	①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~1,300m ³ /h (0~10,000m ³)	—																																																											
	①代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~200m ³ /h (0~10,000m ³)	—																																																											
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。また、原子炉下部キャビティ水位を監視する目的は、原子炉下部キャビティへ溶融炉心冷却に必要な水量の有無の確認である。																																																													
推定方法	原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである格納容器水位の計測が不可能となった場合、代替パラメータの燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。また、注水量による原子炉格納容器内水位の推定は、炉心注水及び格納容器スプレイでの注水量の合計値と水位の相関関係により推定する。 原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである原子炉下部キャビティ水位の計測が不可能となった場合、測定範囲内であれば、格納容器再循環サンプ水位 (広域) 又は注水源である燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、連続的な水位監視ができる格納容器再循																																																													

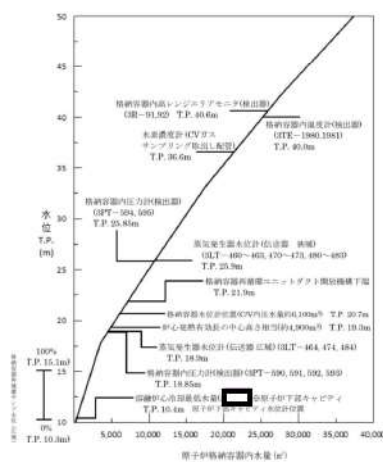
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>推定の詳細</p> <p>①格納容器スプレイ積算流量 格納容器スプレイ積算流量による推定方法は、原子炉格納容器内への注水手段として A 格納容器スプレイポンプを使用している場合に適用可能である。本推定方法は、プラント状態に依存することなく適用できる。</p> <p>②低設代替低圧注水積算流量 低設代替低圧注水積算流量及び格納容器スプレイ積算流量による推定方法は、原子炉格納容器内への注水手段として低設代替低圧注水ポンプを使用している場合に適用可能である。本推定方法は、プラント状態に依存することなく適用できる。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉圧力容器内の水位を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水位有無の確認をする上で妥当である。 これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>		<p>推定方法</p> <p>・補助給水ピット水位 補助給水ピットの水位容量曲線を用いて、水位の変化量から注水した水量を算出し、それを基に、原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p> <p>第 25 図 補助給水ピットの水位と水量の相関図</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>・ B-1 格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM 用)、代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量 流量積算量を基に、原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係をj用いて、水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>  <p>第 26 図 原子炉格納容器の水位と水量の相関図</p> <p> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>①格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (広域) による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の上昇傾向を監視することで原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>①燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の水位変化及び流量積算量による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。また、積算流量による推定方法は、当該流量計を使用するポンプにより注水している場合に適用可能である。</p> <p>[誤差による影響について] 原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認、原子炉下部キャビティの溶融炉心冷却に必要な水量の有無の確認であり、代替パラメータ (格納容器再循環サンプ水位 (広域)) による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差 (格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差: ±2.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。 代替パラメータ (燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位) による推定は、水源の水位変化量から、注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差 (燃料取替用水ビット水位の誤差: ±1.0%、補助給水ビット水位の誤差: ±1.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。 代替パラメータ (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量) による推定は、注水設備による原子炉格納容器への注水量から注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差 (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) の誤差: ±11.3m³/h、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の誤差: ±1.7m³/h) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																			
(j) 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	(i) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の水素濃度)	(j) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他グループを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の水素濃度)																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の水素濃度</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>可搬型格納容器 水素ガス濃度</td> <td>0~20vol%</td> <td>重大事故等時に使用する設備のため、 設計基準事故時は値なし。</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">静的触媒式水素再結合装置温度監視装置 原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、格納容器水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかの確認である。 特に重大事故において、ジルコニウム-水反応等によって発生した水素が燃焼し燃焼した場合には、原子炉格納容器の破損に至る可能性がある。 ここで、原子炉格納容器の除熱が確立された場合にも、水素気が凝縮されることにより相対的な水素濃度が上昇することで水素が燃焼する可能性がある。 このため、事故時の対応手段を判断する上で格納容器内の水素濃度を監視することが重要である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである可搬型格納容器内水素濃度計測装置の計測が困難になった場合、代替パラメータの静的触媒式水素再結合装置温度監視装置又は原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置により、原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。 静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 原子炉格納容器内の水素濃度と静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動特性 (水素処理特性) の関係から、静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の水素濃度				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	可搬型格納容器 水素ガス濃度	0~20vol%	重大事故等時に使用する設備のため、 設計基準事故時は値なし。	代替パラメータ	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置 原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、格納容器水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかの確認である。 特に重大事故において、ジルコニウム-水反応等によって発生した水素が燃焼し燃焼した場合には、原子炉格納容器の破損に至る可能性がある。 ここで、原子炉格納容器の除熱が確立された場合にも、水素気が凝縮されることにより相対的な水素濃度が上昇することで水素が燃焼する可能性がある。 このため、事故時の対応手段を判断する上で格納容器内の水素濃度を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである可搬型格納容器内水素濃度計測装置の計測が困難になった場合、代替パラメータの静的触媒式水素再結合装置温度監視装置又は原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置により、原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。 静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 原子炉格納容器内の水素濃度と静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動特性 (水素処理特性) の関係から、静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">原子炉格納容器内の水素濃度</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内水素濃度 (D/W)</td> <td>0~100vol%</td> <td>0~1.9vol%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内水素濃度 (S/C)</td> <td>0~100vol%</td> <td>0~1.0vol%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内雰囲気水素濃度</td> <td>0~20vol%</td> <td>0~1.9vol%</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①格納容器内雰囲気水素濃度 (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) の代替) 0~100vol% 0~1.9vol%</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">②格納容器内水素濃度 (S/C) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替) 0~100vol% 0~1.0vol%</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">③格納容器内水素濃度 (D/W) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替) 0~100vol% 0~1.9vol%</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器内水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。 ②格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 及び格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 又は格納容器内雰囲気水素濃度による推定は、原則的に原子炉格納容器内の水素濃度を計測するものであり、それぞれ異なる計測原理で計測することから、推定方法として妥当である。 [鋼蓋による影響について] 原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C)、格納容器内雰囲気水素濃度) による推定は、同一物理量からの推定であり、原子炉格納容器内の水素濃度の傾向が把握でき、計器誤差 (格納容器内水素濃度 (D/W) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内水素濃度 (S/C) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内雰囲気水素濃度の誤差: ±0.6vol% (0~30vol%)、±2.0vol% (0~100vol%)) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。 以上より、これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</td> </tr> <tr> <td>推定の評価</td> <td colspan="3">静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを確認できる。原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置は水素濃度を0% (wet) 以下に抑える機能があり、事象進展に伴い原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動が収束した状態では、原子炉格納容器内の水素発生が低減しており、以降は静的触媒式水素再結合装置温度監視装置により水素濃度低減が可能であるため、大規模な水素燃焼が生じない領域であると判断できる。 以上より、水素燃焼を防止する観点において、本推定方法は原子炉格納容器内の水素濃度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかを確認する上で妥当である。 本代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の水素濃度			項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内水素濃度 (D/W)	0~100vol%	0~1.9vol%		格納容器内水素濃度 (S/C)	0~100vol%	0~1.0vol%		格納容器内雰囲気水素濃度	0~20vol%	0~1.9vol%	代替パラメータ	①格納容器内雰囲気水素濃度 (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) の代替) 0~100vol% 0~1.9vol%				②格納容器内水素濃度 (S/C) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替) 0~100vol% 0~1.0vol%				③格納容器内水素濃度 (D/W) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替) 0~100vol% 0~1.9vol%			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。			推定方法	原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器内水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。 ②格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 及び格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 又は格納容器内雰囲気水素濃度による推定は、原則的に原子炉格納容器内の水素濃度を計測するものであり、それぞれ異なる計測原理で計測することから、推定方法として妥当である。 [鋼蓋による影響について] 原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C)、格納容器内雰囲気水素濃度) による推定は、同一物理量からの推定であり、原子炉格納容器内の水素濃度の傾向が把握でき、計器誤差 (格納容器内水素濃度 (D/W) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内水素濃度 (S/C) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内雰囲気水素濃度の誤差: ±0.6vol% (0~30vol%)、±2.0vol% (0~100vol%)) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。 以上より、これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。			推定の評価	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを確認できる。原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置は水素濃度を0% (wet) 以下に抑える機能があり、事象進展に伴い原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動が収束した状態では、原子炉格納容器内の水素発生が低減しており、以降は静的触媒式水素再結合装置温度監視装置により水素濃度低減が可能であるため、大規模な水素燃焼が生じない領域であると判断できる。 以上より、水素燃焼を防止する観点において、本推定方法は原子炉格納容器内の水素濃度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかを確認する上で妥当である。 本代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の水素濃度</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内水素濃度</td> <td>0~20vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①原子炉格納容器内水素処理装置温度 0~800℃ —</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">②格納容器水素イグナイタ温度 0~800℃ —</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">③ [ガス分析計による水素濃度] 0~100vol% —</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度又はガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) により原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度 原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作時の温度特性から、原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。 ② [ガス分析計による水素濃度] 自主対策設備であるガス分析器が使用可能であれば、本分析器は水分を除いた各ガス組成について計測可能であり、直接ドライ水素濃度が確認できるため、ガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) の結果に基づき水素濃度を監視する。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の水素濃度				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内水素濃度	0~20vol%	—	代替パラメータ	①原子炉格納容器内水素処理装置温度 0~800℃ —				②格納容器水素イグナイタ温度 0~800℃ —				③ [ガス分析計による水素濃度] 0~100vol% —			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。			推定方法	原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度又はガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) により原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度 原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作時の温度特性から、原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。 ② [ガス分析計による水素濃度] 自主対策設備であるガス分析器が使用可能であれば、本分析器は水分を除いた各ガス組成について計測可能であり、直接ドライ水素濃度が確認できるため、ガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) の結果に基づき水素濃度を監視する。			
原子炉格納容器内の水素濃度																																																																																																						
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																			
主要パラメータ	可搬型格納容器 水素ガス濃度	0~20vol%	重大事故等時に使用する設備のため、 設計基準事故時は値なし。																																																																																																			
代替パラメータ	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置 原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置																																																																																																					
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、格納容器水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかの確認である。 特に重大事故において、ジルコニウム-水反応等によって発生した水素が燃焼し燃焼した場合には、原子炉格納容器の破損に至る可能性がある。 ここで、原子炉格納容器の除熱が確立された場合にも、水素気が凝縮されることにより相対的な水素濃度が上昇することで水素が燃焼する可能性がある。 このため、事故時の対応手段を判断する上で格納容器内の水素濃度を監視することが重要である。																																																																																																					
推定方法	原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである可搬型格納容器内水素濃度計測装置の計測が困難になった場合、代替パラメータの静的触媒式水素再結合装置温度監視装置又は原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置により、原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。 静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 原子炉格納容器内の水素濃度と静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動特性 (水素処理特性) の関係から、静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。																																																																																																					
原子炉格納容器内の水素濃度																																																																																																						
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																			
主要パラメータ	格納容器内水素濃度 (D/W)	0~100vol%	0~1.9vol%																																																																																																			
	格納容器内水素濃度 (S/C)	0~100vol%	0~1.0vol%																																																																																																			
	格納容器内雰囲気水素濃度	0~20vol%	0~1.9vol%																																																																																																			
代替パラメータ	①格納容器内雰囲気水素濃度 (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) の代替) 0~100vol% 0~1.9vol%																																																																																																					
	②格納容器内水素濃度 (S/C) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替) 0~100vol% 0~1.0vol%																																																																																																					
	③格納容器内水素濃度 (D/W) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替) 0~100vol% 0~1.9vol%																																																																																																					
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。																																																																																																					
推定方法	原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器内水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。 ②格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 及び格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 又は格納容器内雰囲気水素濃度による推定は、原則的に原子炉格納容器内の水素濃度を計測するものであり、それぞれ異なる計測原理で計測することから、推定方法として妥当である。 [鋼蓋による影響について] 原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C)、格納容器内雰囲気水素濃度) による推定は、同一物理量からの推定であり、原子炉格納容器内の水素濃度の傾向が把握でき、計器誤差 (格納容器内水素濃度 (D/W) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内水素濃度 (S/C) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内雰囲気水素濃度の誤差: ±0.6vol% (0~30vol%)、±2.0vol% (0~100vol%)) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。 以上より、これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。																																																																																																					
推定の評価	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを確認できる。原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置は水素濃度を0% (wet) 以下に抑える機能があり、事象進展に伴い原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動が収束した状態では、原子炉格納容器内の水素発生が低減しており、以降は静的触媒式水素再結合装置温度監視装置により水素濃度低減が可能であるため、大規模な水素燃焼が生じない領域であると判断できる。 以上より、水素燃焼を防止する観点において、本推定方法は原子炉格納容器内の水素濃度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかを確認する上で妥当である。 本代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。																																																																																																					
原子炉格納容器内の水素濃度																																																																																																						
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																			
主要パラメータ	格納容器内水素濃度	0~20vol%	—																																																																																																			
代替パラメータ	①原子炉格納容器内水素処理装置温度 0~800℃ —																																																																																																					
	②格納容器水素イグナイタ温度 0~800℃ —																																																																																																					
	③ [ガス分析計による水素濃度] 0~100vol% —																																																																																																					
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。																																																																																																					
推定方法	原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度又はガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) により原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度 原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作時の温度特性から、原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。 ② [ガス分析計による水素濃度] 自主対策設備であるガス分析器が使用可能であれば、本分析器は水分を除いた各ガス組成について計測可能であり、直接ドライ水素濃度が確認できるため、ガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) の結果に基づき水素濃度を監視する。																																																																																																					

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>① 原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度 原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるか否かを確認できる。格納容器水素イグナイタは水素濃度を 8 vol% (wet) 以下に抑える機能があり、事象進展に伴い格納容器水素イグナイタの作動が収束した状態では、原子炉格納容器内の水素発生が低減しており、以降は原子炉格納容器内水素処理装置により水素濃度低減が可能であるため、大規模な水素燃焼が生じない領域であると判断できる。</p> <p>② [ガス分析計による水素濃度] ガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) の推定は、直接的に原子炉格納容器内の水素濃度を計測するものであり、推定方法として妥当である。</p> <p>[誤差による影響について] 原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度) による推定は、装置の作動状況により水素濃度の傾向が把握でき、計器誤差 (原子炉格納容器内水素処理装置温度の誤差: ±12.3℃、格納容器水素イグナイタ温度の誤差: ±12.3℃) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (ガス分析計による水素濃度 (自主対策設備)) による推定は、同一物理量からの推定であり、原子炉格納容器内の水素濃度の傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
		<p>(k) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ループを除く) による推定方法について (アニュラス部の水素濃度)</p> <table border="1" data-bbox="1256 233 1812 419"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">アニュラス部の水素濃度</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主要パラメータ</td> <td>アニュラス水素濃度 (可搬型)</td> <td>0 ~ 20vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>[アニュラス水素濃度]</td> <td>0 ~ 20vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替パラメータ</td> <td>① [アニュラス水素濃度] (アニュラス水素濃度 (可搬型) の代替)</td> <td>0 ~ 20vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>② [アニュラス水素濃度 (可搬型)] ([アニュラス水素濃度] の代替)</td> <td>0 ~ 20vol%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>計測目的 重大事故等時において、主要パラメータにてアニュラス部の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器からの水素漏えいがあるかどうかの確認である。</p> <p>推定方法 アニュラス部の水素濃度の主要パラメータであるアニュラス水素濃度 (可搬型) の監視が不可能となった場合、監視可能であれば、アニュラス水素濃度 (自主対策設備) により推定する。 アニュラス部の水素濃度の主要パラメータであるアニュラス水素濃度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合、アニュラス水素濃度 (可搬型) により推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ① [アニュラス水素濃度] 自主対策設備であるアニュラス水素濃度が使用可能であれば、アニュラス水素濃度 (自主対策設備) により推定する。アニュラス部の温度や放射線の環境条件により指示値に影響があるため、参考値として扱う。 ②アニュラス水素濃度 (可搬型) アニュラス水素濃度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、アニュラス水素濃度 (可搬型) により推定する。</p> <p>推定の評価 ① [アニュラス水素濃度] アニュラス水素濃度 (自主対策設備) による推定は、直接的にアニュラス部の水素濃度を計測するものであり、推定方法として妥当である。 ②アニュラス水素濃度 (可搬型) アニュラス水素濃度 (可搬型) による推定は、直接的にアニュラス部の水素濃度を計測するものであり、推定方法として妥当である。</p> <p>推定の評価 [誤差による影響について] アニュラス部の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器からの水素漏えいを把握することであり、代替パラメータ (アニュラス水素濃度 (自主対策設備)、アニュラス水素濃度 (可搬型)) による推定は、同一物理量からの推定であり、アニュラス部の水素濃度の傾向を把握でき、計器誤差 (アニュラス水素濃度 (可搬型) の誤差: ±1.15vol%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。 以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	項目	アニュラス部の水素濃度			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	アニュラス水素濃度 (可搬型)	0 ~ 20vol%	—	[アニュラス水素濃度]	0 ~ 20vol%	—	代替パラメータ	① [アニュラス水素濃度] (アニュラス水素濃度 (可搬型) の代替)	0 ~ 20vol%	—	② [アニュラス水素濃度 (可搬型)] ([アニュラス水素濃度] の代替)	0 ~ 20vol%	—	
項目	アニュラス部の水素濃度																							
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																					
主要パラメータ	アニュラス水素濃度 (可搬型)	0 ~ 20vol%	—																					
	[アニュラス水素濃度]	0 ~ 20vol%	—																					
代替パラメータ	① [アニュラス水素濃度] (アニュラス水素濃度 (可搬型) の代替)	0 ~ 20vol%	—																					
	② [アニュラス水素濃度 (可搬型)] ([アニュラス水素濃度] の代替)	0 ~ 20vol%	—																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

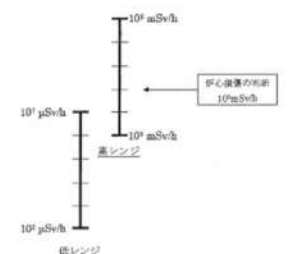
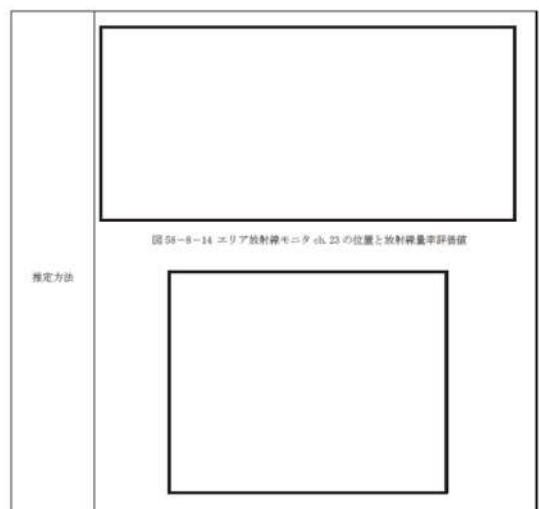
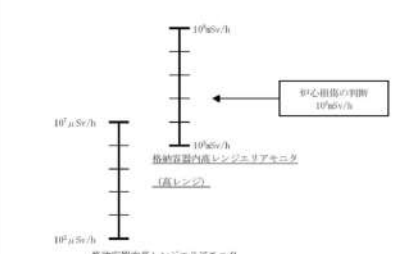
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
(k) - 1 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	(j) 主要パラメータの代替パラメータ（他チャンネルを除く）による推定方法について（原子炉格納容器内の放射線量率）	(1) 主要パラメータの代替パラメータ（他チャンネル及び他グループを除く）による推定方法について（原子炉格納容器内の放射線量率（1））																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内高レンジ エリアモニタ (高レンジ)</td> <td>10²~10⁴ μSv/h</td> <td>10²μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10²μSv/h 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷の判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保水が喪失することにより1次系保水水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が選れると炉心損傷に至る。 このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）により原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の放射線量率			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内高レンジ エリアモニタ (高レンジ)	10 ² ~10 ⁴ μSv/h	10 ² μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10 ² μSv/h 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	代替パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷の判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保水が喪失することにより1次系保水水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が選れると炉心損傷に至る。 このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）により原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。			<p style="text-align: center;">*有効監視パラメータ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内空気放射線モニタ (A/C)</td> <td>10²Sv/h~10⁵Sv/h</td> <td>10⁵Sv/h未満</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>① [エリア放射線モニタ]</td> <td>10²Sv/h~10⁵Sv/h</td> <td>10⁵Sv/h未満</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">① [エリア放射線モニタ] 重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、燃料損傷を推定することである。 原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内空気放射線モニタ (A/C) 及び格納容器内空気放射線モニタ (S/C) の計測が困難になった場合、エリア放射線モニタの指示値を用いて、原子炉格納容器内の放射線量率を推定できる。 推定方法は、以下のとおりである。 ① [エリア放射線モニタ] 原子炉格納容器内の線量が上昇した場合には、エリア放射線モニタの指示値が上昇すると推定されることから、その上昇分より原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 燃料破砕等により燃料内の放射性物質が原子炉圧力容器外に放出された場合、放射性物質（主に希ガス）が原子炉格納容器内空間に充満することになる。このとき、原子炉格納容器貫通部の配管内にも放射性物質が充満するものと考えられる。この配管内の放射性物質を線源として、配管近傍は放射線量率が上昇することが予想される。 [評価条件] ・原子炉格納容器内への希ガス放出量は燃料内希ガスの100%、50%、2%とし、線源は希ガスのみを考慮する。 ・燃料から放出された希ガスが原子炉格納容器内に均一に充満すると仮定し、原子炉格納容器貫通部の配管内にも原子炉格納容器内と同濃度で充満するものと仮定し、この配管内希ガスを線源とする。 ・原子炉格納容器内希ガスは原子炉格納容器空間容積の等価体積半球内に希ガスが充満するとして評価する。 図 58-8-13 及び図 58-8-14 は、エリア放射線モニタ位置におけるガンマ線放射線量率を示す。これらのガンマ線量率における原子炉格納容器内の放射線量率を図 58-8-15 に示す。</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">図 58-8-13 エリア放射線モニタ cL.9 の位置と放射線量率評価値</p>	項目	原子炉格納容器内の放射線量率			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内空気放射線モニタ (A/C)	10 ² Sv/h~10 ⁵ Sv/h	10 ⁵ Sv/h未満	代替パラメータ	① [エリア放射線モニタ]	10 ² Sv/h~10 ⁵ Sv/h	10 ⁵ Sv/h未満	計測目的	① [エリア放射線モニタ] 重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、燃料損傷を推定することである。 原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内空気放射線モニタ (A/C) 及び格納容器内空気放射線モニタ (S/C) の計測が困難になった場合、エリア放射線モニタの指示値を用いて、原子炉格納容器内の放射線量率を推定できる。 推定方法は、以下のとおりである。 ① [エリア放射線モニタ] 原子炉格納容器内の線量が上昇した場合には、エリア放射線モニタの指示値が上昇すると推定されることから、その上昇分より原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 燃料破砕等により燃料内の放射性物質が原子炉圧力容器外に放出された場合、放射性物質（主に希ガス）が原子炉格納容器内空間に充満することになる。このとき、原子炉格納容器貫通部の配管内にも放射性物質が充満するものと考えられる。この配管内の放射性物質を線源として、配管近傍は放射線量率が上昇することが予想される。 [評価条件] ・原子炉格納容器内への希ガス放出量は燃料内希ガスの100%、50%、2%とし、線源は希ガスのみを考慮する。 ・燃料から放出された希ガスが原子炉格納容器内に均一に充満すると仮定し、原子炉格納容器貫通部の配管内にも原子炉格納容器内と同濃度で充満するものと仮定し、この配管内希ガスを線源とする。 ・原子炉格納容器内希ガスは原子炉格納容器空間容積の等価体積半球内に希ガスが充満するとして評価する。 図 58-8-13 及び図 58-8-14 は、エリア放射線モニタ位置におけるガンマ線放射線量率を示す。これらのガンマ線量率における原子炉格納容器内の放射線量率を図 58-8-15 に示す。			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率（1）</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> <td>10²~10⁴μSv/h</td> <td>10²μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10²μSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>①格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ② [モニタリングポスト及びモニタリングステーション]</td> <td>10²~10⁴μSv/h 低レンジ：8.7×10⁻⁴~1.0×10⁻⁶Gy/h 高レンジ：1.0×10²~1.0×10⁶Gy/h</td> <td>同上 同上</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率（1）を監視する目的は、炉心損傷の判断である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率（1）の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の計測が不可能となった場合、格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション（自主対策設備）の指示の上昇を傾向監視し、急上昇（バックラウンド値より数倍から1桁以上上昇）により、炉心損傷のおそれが生じているか否かを推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）、モニタリングポスト及びモニタリングステーション 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション（自主対策設備）により原子炉格納容器内の放射線量率（1）を推定する。 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）と格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の計測範囲の関係は、以下のとおりである。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の放射線量率（1）			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	10 ² ~10 ⁴ μSv/h	10 ² μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10 ² μSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	代替パラメータ	①格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ② [モニタリングポスト及びモニタリングステーション]	10 ² ~10 ⁴ μSv/h 低レンジ：8.7×10 ⁻⁴ ~1.0×10 ⁻⁶ Gy/h 高レンジ：1.0×10 ² ~1.0×10 ⁶ Gy/h	同上 同上	計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率（1）を監視する目的は、炉心損傷の判断である。			推定方法	原子炉格納容器内の放射線量率（1）の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の計測が不可能となった場合、格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション（自主対策設備）の指示の上昇を傾向監視し、急上昇（バックラウンド値より数倍から1桁以上上昇）により、炉心損傷のおそれが生じているか否かを推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）、モニタリングポスト及びモニタリングステーション 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション（自主対策設備）により原子炉格納容器内の放射線量率（1）を推定する。 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）と格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の計測範囲の関係は、以下のとおりである。			
項目		原子炉格納容器内の放射線量率																																																																		
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																	
主要パラメータ	格納容器内高レンジ エリアモニタ (高レンジ)	10 ² ~10 ⁴ μSv/h	10 ² μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10 ² μSv/h 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																																	
代替パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）																																																																			
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷の判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保水が喪失することにより1次系保水水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が選れると炉心損傷に至る。 このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。																																																																			
推定方法	原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）により原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。																																																																			
項目	原子炉格納容器内の放射線量率																																																																			
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																	
主要パラメータ	格納容器内空気放射線モニタ (A/C)	10 ² Sv/h~10 ⁵ Sv/h	10 ⁵ Sv/h未満																																																																	
代替パラメータ	① [エリア放射線モニタ]	10 ² Sv/h~10 ⁵ Sv/h	10 ⁵ Sv/h未満																																																																	
計測目的	① [エリア放射線モニタ] 重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、燃料損傷を推定することである。 原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内空気放射線モニタ (A/C) 及び格納容器内空気放射線モニタ (S/C) の計測が困難になった場合、エリア放射線モニタの指示値を用いて、原子炉格納容器内の放射線量率を推定できる。 推定方法は、以下のとおりである。 ① [エリア放射線モニタ] 原子炉格納容器内の線量が上昇した場合には、エリア放射線モニタの指示値が上昇すると推定されることから、その上昇分より原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 燃料破砕等により燃料内の放射性物質が原子炉圧力容器外に放出された場合、放射性物質（主に希ガス）が原子炉格納容器内空間に充満することになる。このとき、原子炉格納容器貫通部の配管内にも放射性物質が充満するものと考えられる。この配管内の放射性物質を線源として、配管近傍は放射線量率が上昇することが予想される。 [評価条件] ・原子炉格納容器内への希ガス放出量は燃料内希ガスの100%、50%、2%とし、線源は希ガスのみを考慮する。 ・燃料から放出された希ガスが原子炉格納容器内に均一に充満すると仮定し、原子炉格納容器貫通部の配管内にも原子炉格納容器内と同濃度で充満するものと仮定し、この配管内希ガスを線源とする。 ・原子炉格納容器内希ガスは原子炉格納容器空間容積の等価体積半球内に希ガスが充満するとして評価する。 図 58-8-13 及び図 58-8-14 は、エリア放射線モニタ位置におけるガンマ線放射線量率を示す。これらのガンマ線量率における原子炉格納容器内の放射線量率を図 58-8-15 に示す。																																																																			
項目	原子炉格納容器内の放射線量率（1）																																																																			
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																	
主要パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	10 ² ~10 ⁴ μSv/h	10 ² μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10 ² μSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																																	
代替パラメータ	①格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ② [モニタリングポスト及びモニタリングステーション]	10 ² ~10 ⁴ μSv/h 低レンジ：8.7×10 ⁻⁴ ~1.0×10 ⁻⁶ Gy/h 高レンジ：1.0×10 ² ~1.0×10 ⁶ Gy/h	同上 同上																																																																	
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率（1）を監視する目的は、炉心損傷の判断である。																																																																			
推定方法	原子炉格納容器内の放射線量率（1）の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の計測が不可能となった場合、格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション（自主対策設備）の指示の上昇を傾向監視し、急上昇（バックラウンド値より数倍から1桁以上上昇）により、炉心損傷のおそれが生じているか否かを推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）、モニタリングポスト及びモニタリングステーション 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション（自主対策設備）により原子炉格納容器内の放射線量率（1）を推定する。 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）と格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の計測範囲の関係は、以下のとおりである。																																																																			
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。																																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			
<p>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>炉心損傷の判断基準のひとつである 10^3mSv/h は格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の上限 $10^2 \mu\text{Sv/h}$ を上回るため、当該パラメータで直接的に把握することは困難である。</p> <p>しかしながら、炉心損傷のおそれが生じている場合は、原子炉格納容器内の放射線量率は 10^3mSv/h に向けて急激に上昇すると考えられるため、格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の指示値が急激な上昇を示し、かつ、計測範囲の上限に到達することを確認することで炉心損傷のおそれが生じていることの有無を判断することができる。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉格納容器内の放射線量率を推定する手段として用いることは目的に照らし合わせて可能であり、炉心損傷の判断に使用することは妥当である。</p> <p>これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策を成功させるために必要な状態を把握できる。</p>	<p>推定方法</p> <p>推定の評価</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>推定方法</p> <p>推定可能範囲：$10^1 \sim 10^2 \mu\text{Sv/h}$</p> <p>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション (自主対策設備) による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>炉心損傷の判断基準のひとつである 10^3mSv/h は格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の上限 $10^2 \mu\text{Sv/h}$ を上回るため、当該パラメータで直接的に把握することは困難である。</p> <p>しかしながら、炉心損傷のおそれが生じている場合は、原子炉格納容器内の放射線量率は 10^3mSv/h に向けて急激に上昇すると考えられるため、格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション (自主対策設備) の指示値が急激な上昇を示し、かつ、計測範囲の上限に到達することを確認することで炉心損傷のおそれが生じていることの有無を判断することができる。</p> <p>[誤差による影響について]</p> <p>原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷の判断であり、代替パラメータ (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)、モニタリングポスト及びモニタリングステーション (自主対策設備)) による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差 (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の誤差：$4.7 \times 10^{+1} \sim 1.8 \times 10^0 \mu\text{Sv/h}$ (N: 2~7)) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	
	<p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
<p>(k) - 2 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について</p> <table border="1" data-bbox="85 212 631 754"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内高レンジ エリアモニタ (低レンジ)</td> <td>$10^2 \sim 10^7$ $\mu\text{Sv/h}$</td> <td>10^0mSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷に至っていないことの判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保水が流出することにより1次系保水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が覆れると炉心損傷に至る。このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) にて推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の放射線量率			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内高レンジ エリアモニタ (低レンジ)	$10^2 \sim 10^7$ $\mu\text{Sv/h}$	10^0mSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	代替パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷に至っていないことの判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保水が流出することにより1次系保水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が覆れると炉心損傷に至る。このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) にて推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。				<p>(m) 主要パラメータの代替パラメータ（他チャンネル及び他グループを除く）による推定方法について（原子炉格納容器内の放射線量率（2））</p> <table border="1" data-bbox="1252 236 1816 1026"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率（2）</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要パラメータ</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td>$10^2 \sim 10^5 \mu\text{Sv/h}$</td> <td>$10^0 \text{mSv/h}$ 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td>[格納容器じんあいモニタ]</td> <td>$10 \sim 10^6 \text{cpm}$</td> <td>バックグラウンドレベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[格納容器ガスモニタ]</td> <td>$10 \sim 10^7 \text{cpm}$</td> <td>バックグラウンドレベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[エアロックエリアモニタ]</td> <td>$1 \sim 10^2 \mu\text{Sv/h}$</td> <td>$10^0 \text{mSv/h}$ 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替パラメータ</td> <td>[炉内核計装区域エリアモニタ]</td> <td>$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>① 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の代替)</td> <td>$10^2 \sim 10^6 \text{mSv/h}$</td> <td>$10^0 \text{mSv/h}$ 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td>② [エアロックエリアモニタ] (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の代替)</td> <td>$1 \sim 10^2 \mu\text{Sv/h}$</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>② [炉内核計装区域エリアモニタ] (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の代替)</td> <td>$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>① 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ([格納容器じんあいモニタ]、 [格納容器ガスモニタ]、 [エアロックエリアモニタ] 及び [炉内核計装区域エリアモニタ] の代替)</td> <td>$10^2 \sim 10^5 \mu\text{Sv/h}$</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の放射線量率（2）			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	$10^2 \sim 10^5 \mu\text{Sv/h}$	10^0mSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	[格納容器じんあいモニタ]	$10 \sim 10^6 \text{cpm}$	バックグラウンドレベルを超える	[格納容器ガスモニタ]	$10 \sim 10^7 \text{cpm}$	バックグラウンドレベルを超える	[エアロックエリアモニタ]	$1 \sim 10^2 \mu\text{Sv/h}$	10^0mSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	代替パラメータ	[炉内核計装区域エリアモニタ]	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	同上	① 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の代替)	$10^2 \sim 10^6 \text{mSv/h}$	10^0mSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	② [エアロックエリアモニタ] (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の代替)	$1 \sim 10^2 \mu\text{Sv/h}$	同上	② [炉内核計装区域エリアモニタ] (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の代替)	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	同上	① 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ([格納容器じんあいモニタ]、 [格納容器ガスモニタ]、 [エアロックエリアモニタ] 及び [炉内核計装区域エリアモニタ] の代替)	$10^2 \sim 10^5 \mu\text{Sv/h}$	同上	
項目		原子炉格納容器内の放射線量率																																																												
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																											
主要パラメータ	格納容器内高レンジ エリアモニタ (低レンジ)	$10^2 \sim 10^7$ $\mu\text{Sv/h}$	10^0mSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																											
代替パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																													
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷に至っていないことの判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保水が流出することにより1次系保水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が覆れると炉心損傷に至る。このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。																																																													
推定方法	原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) にて推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。																																																													
項目	原子炉格納容器内の放射線量率（2）																																																													
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																											
主要パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	$10^2 \sim 10^5 \mu\text{Sv/h}$	10^0mSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																											
	[格納容器じんあいモニタ]	$10 \sim 10^6 \text{cpm}$	バックグラウンドレベルを超える																																																											
	[格納容器ガスモニタ]	$10 \sim 10^7 \text{cpm}$	バックグラウンドレベルを超える																																																											
	[エアロックエリアモニタ]	$1 \sim 10^2 \mu\text{Sv/h}$	10^0mSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																											
代替パラメータ	[炉内核計装区域エリアモニタ]	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	同上																																																											
	① 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の代替)	$10^2 \sim 10^6 \text{mSv/h}$	10^0mSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10^0mSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																											
	② [エアロックエリアモニタ] (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の代替)	$1 \sim 10^2 \mu\text{Sv/h}$	同上																																																											
	② [炉内核計装区域エリアモニタ] (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の代替)	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	同上																																																											
① 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ([格納容器じんあいモニタ]、 [格納容器ガスモニタ]、 [エアロックエリアモニタ] 及び [炉内核計装区域エリアモニタ] の代替)	$10^2 \sim 10^5 \mu\text{Sv/h}$	同上																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="286 215 539 464" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="114 518 629 810" data-label="Text"> <p>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) の計測範囲のうち、炉心損傷の判断の値となる 10^1mSv/h 未満に指示値がある場合は、炉心損傷の判断基準のひとつを満足していないことを確認でき、炉心損傷に至っていないことを判断できる。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉格納容器内の放射線量を推定する手段として用いることは目的に照らし合わせて可能であり、炉心損傷に至っていないことの判断に使用することは妥当である。</p> <p>これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策を成功させるために必要な状態を把握できる。</p> </div>		<div data-bbox="1256 161 1809 316" data-label="Text"> <p>計測目的</p> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率 (2) を監視する目的は、炉心損傷に至っていないことの判断である。</p> <p>特に重大事故等時において、安全注入に期待できない場合、1次冷却系保有水が流出することにより1次冷却系保有水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、処置が遅れると炉心損傷に至る。</p> <p>このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。</p> </div> <div data-bbox="1256 320 1809 783" data-label="Text"> <p>推定方法</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) ② [エアロックエリアモニタ] ③ [炉内核計装区域エリアモニタ] ④格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) <p>原子炉格納容器内の放射線量率 (2) の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) により原子炉格納容器内の放射線量率を推定する (自主対策設備である格納容器じんあいモニタ、格納容器ガスモニタ、エアロックエリアモニタ及び炉内核計装区域エリアモニタの計測が不可能となった場合、主要パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) を代替パラメータとして用いて原子炉格納容器内の放射線量率を計測する)。</p> <p>また、エアロックエリアモニタ (自主対策設備) 及び炉内核計装区域エリアモニタ (自主対策設備) の指示の上昇傾向を監視し、炉心損傷のおそれが生じていない放射線量率であることを推定する。なお、格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) の測定範囲より低く、エアロックエリアモニタ及び炉内核計装区域エリアモニタの測定範囲より高い場合は、その間の放射線量率と推定する。</p> <p>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)、格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)、エアロックエリアモニタ及び炉内核計装区域エリアモニタの計測範囲の関係は、以下のとおりである。</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div data-bbox="1256 145 1809 587"> <p>推定方法</p> <p>推定可能範囲： 格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) : $10^3 \sim 10^4 \mu\text{Sv/h}$ 格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) : $10^2 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$ [エアロックエリアモニタ] 及び [炉内核計装区域エリアモニタ] : $1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$</p> </div> <div data-bbox="1256 592 1809 1002"> <p>推定の評価</p> <p>格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。 格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) の計測範囲のうち、炉心損傷の判断の値となる $10^3 \mu\text{Sv/h}$ 未満に指示値がある場合は、炉心損傷の判断基準のひとつを満足していないことを確認でき、炉心損傷に至っていないことを判断できる。 また、エアロックエリアモニタ (自主対策設備) 及び炉内核計装区域エリアモニタ (自主対策設備) の計測範囲のうち、炉心損傷の判断の値となる $10^3 \mu\text{Sv/h}$ 未満に指示値がある場合は、炉心損傷の判断基準のひとつを満足していないことを確認でき、炉心損傷に至っていないことを判断できる。なお、格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) の測定範囲より低く、エアロックエリアモニタ (自主対策設備) 及び炉内核計装区域エリアモニタ (自主対策設備) の測定範囲より高い場合は、その間の放射線量率と推定する。</p> <p>[誤差による影響について] 原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷に至っていないことの判断であり、代替パラメータ (格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)、格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)、エアロックエリアモニタ (自主対策設備)、炉内核計装区域エリアモニタ (自主対策設備)) による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差 (格納容器内高レンジエ</p> </div> <div data-bbox="1256 1007 1809 1198"> <p>推定の評価</p> <p>モニタ (高レンジ) の誤差: $4.7 \times 10^3 \sim 1.8 \times 10^4 \mu\text{Sv/h}$ (N: 3 ~ 8)、格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) の誤差: $4.7 \times 10^2 \sim 1.8 \times 10^3 \mu\text{Sv/h}$ (N: 2 ~ 7) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																						
	<p>(k) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (未臨界の維持又は監視)</p> <table border="1" data-bbox="672 231 1220 1029"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: right;">*有効監視パラメータ</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>未臨界の維持又は監視</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主要パラメータ</td> <td>起動領域モニタ</td> <td>計測範囲 中性子源領域 $10^3\text{cps} \sim 30^3\text{cps}$ $(1 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (1 \times 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$ 中間領域 0~40%、又は0~125% $(1 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2 \times 10^5\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$</td> <td>定格出力の約8倍</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>0~125% $(1.2 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.6 \times 10^5\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$</td> <td>定格出力の約6倍</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[制御棒位置指示系]*</td> <td>全挿入~全引抜</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替パラメータ</td> <td>①平均出力領域モニタ (起動領域モニタ、[制御棒位置指示系]*の代替)</td> <td>0~125% $(1.2 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.6 \times 10^5\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$</td> <td>定格出力の約8倍</td> </tr> <tr> <td>② [制御棒位置指示系]* (起動領域モニタ、平均出力領域モニタの代替)</td> <td>全挿入~全引抜</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3"> 重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。 未臨界を監視する主要パラメータである起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタを推定する場合は起動領域モニタにて推定) により推定する。 [制御棒位置指示系]による制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。 </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3"> 推定方法は、以下のとおりである。 ① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ 起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタにより推定する。 平均出力領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの起動領域モニタにより推定する。 ② [制御棒位置指示系] 全制御棒が全挿入位置であれば原子炉は停止状態にあるため、制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。 </td> </tr> <tr> <td>推定の評価</td> <td colspan="3"> ① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ 起動領域モニタ又は平均出力領域モニタによる推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ② [制御棒位置指示系] 制御棒は、原子炉が低圧状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを全制御棒が全挿入位置にあることで確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 </td> </tr> </tbody> </table>	*有効監視パラメータ				項目	監視パラメータ	未臨界の維持又は監視	設計基準	主要パラメータ	起動領域モニタ	計測範囲 中性子源領域 $10^3\text{cps} \sim 30^3\text{cps}$ $(1 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (1 \times 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$ 中間領域 0~40%、又は0~125% $(1 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2 \times 10^5\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約8倍	平均出力領域モニタ	0~125% $(1.2 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.6 \times 10^5\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約6倍		[制御棒位置指示系]*	全挿入~全引抜	—	代替パラメータ	①平均出力領域モニタ (起動領域モニタ、[制御棒位置指示系]*の代替)	0~125% $(1.2 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.6 \times 10^5\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約8倍	② [制御棒位置指示系]* (起動領域モニタ、平均出力領域モニタの代替)	全挿入~全引抜	—	計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。 未臨界を監視する主要パラメータである起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタを推定する場合は起動領域モニタにて推定) により推定する。 [制御棒位置指示系]による制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。			推定方法	推定方法は、以下のとおりである。 ① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ 起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタにより推定する。 平均出力領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの起動領域モニタにより推定する。 ② [制御棒位置指示系] 全制御棒が全挿入位置であれば原子炉は停止状態にあるため、制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。			推定の評価	① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ 起動領域モニタ又は平均出力領域モニタによる推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ② [制御棒位置指示系] 制御棒は、原子炉が低圧状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを全制御棒が全挿入位置にあることで確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。			<p>(n) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ループを除く) による推定方法について (未臨界の維持又は監視)</p> <table border="1" data-bbox="1254 231 1814 1053"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: right;">未臨界の維持又は監視</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要パラメータ</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>0~120% $(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^{10}\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$</td> <td>最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> <td>$10^{11} \sim 5 \times 10^{13}\text{A}$ $(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$</td> <td>最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>$1 \sim 10^6\text{cps}$ $(10^1 \sim 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$</td> <td>最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>[中間領域起動率] [中性子源領域起動率]</td> <td>-0.5~5.00PM -0.5~5.00PM</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">代替パラメータ</td> <td>①出力領域中性子束 (中間領域中性子束の代替)</td> <td>0~120% $(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^{10}\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$</td> <td>最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>①中間領域中性子束 (出力領域中性子束、中性子源領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)</td> <td>$10^{11} \sim 5 \times 10^{13}\text{A}$ $(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$</td> <td>最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>①中性子源領域中性子束 (中間領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)</td> <td>$1 \sim 10^6\text{cps}$ $(10^1 \sim 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$</td> <td>最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>②1次冷却材温度 (広域一高温側) (出力領域中性子束の代替)</td> <td>0~400℃</td> <td>最大値：約340℃</td> </tr> <tr> <td>②1次冷却材温度 (広域一低温側) (出力領域中性子束の代替)</td> <td>0~400℃</td> <td>最大値：約339℃</td> </tr> <tr> <td>②ほう酸タンク水位 (出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>② [中性子源領域起動率] ([中間領域起動率]の代替)</td> <td>-0.5~5.00PM</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>② [中間領域起動率] ([中性子源領域起動率]の代替)</td> <td>-0.5~5.00PM</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	未臨界の維持又は監視				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	出力領域中性子束	0~120% $(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^{10}\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	中間領域中性子束	$10^{11} \sim 5 \times 10^{13}\text{A}$ $(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	中性子源領域中性子束	$1 \sim 10^6\text{cps}$ $(10^1 \sim 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	[中間領域起動率] [中性子源領域起動率]	-0.5~5.00PM -0.5~5.00PM	—	代替パラメータ	①出力領域中性子束 (中間領域中性子束の代替)	0~120% $(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^{10}\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	①中間領域中性子束 (出力領域中性子束、中性子源領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)	$10^{11} \sim 5 \times 10^{13}\text{A}$ $(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	①中性子源領域中性子束 (中間領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)	$1 \sim 10^6\text{cps}$ $(10^1 \sim 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	②1次冷却材温度 (広域一高温側) (出力領域中性子束の代替)	0~400℃	最大値：約340℃	②1次冷却材温度 (広域一低温側) (出力領域中性子束の代替)	0~400℃	最大値：約339℃	②ほう酸タンク水位 (出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束の代替)	0~100%	100%		② [中性子源領域起動率] ([中間領域起動率]の代替)	-0.5~5.00PM	—		② [中間領域起動率] ([中性子源領域起動率]の代替)	-0.5~5.00PM	—	
*有効監視パラメータ																																																																																									
項目	監視パラメータ	未臨界の維持又は監視	設計基準																																																																																						
主要パラメータ	起動領域モニタ	計測範囲 中性子源領域 $10^3\text{cps} \sim 30^3\text{cps}$ $(1 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (1 \times 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$ 中間領域 0~40%、又は0~125% $(1 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2 \times 10^5\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約8倍																																																																																						
	平均出力領域モニタ	0~125% $(1.2 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.6 \times 10^5\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約6倍																																																																																						
	[制御棒位置指示系]*	全挿入~全引抜	—																																																																																						
代替パラメータ	①平均出力領域モニタ (起動領域モニタ、[制御棒位置指示系]*の代替)	0~125% $(1.2 \times 10^3\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.6 \times 10^5\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約8倍																																																																																						
	② [制御棒位置指示系]* (起動領域モニタ、平均出力領域モニタの代替)	全挿入~全引抜	—																																																																																						
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。 未臨界を監視する主要パラメータである起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタを推定する場合は起動領域モニタにて推定) により推定する。 [制御棒位置指示系]による制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。																																																																																								
推定方法	推定方法は、以下のとおりである。 ① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ 起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタにより推定する。 平均出力領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの起動領域モニタにより推定する。 ② [制御棒位置指示系] 全制御棒が全挿入位置であれば原子炉は停止状態にあるため、制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。																																																																																								
推定の評価	① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ 起動領域モニタ又は平均出力領域モニタによる推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ② [制御棒位置指示系] 制御棒は、原子炉が低圧状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを全制御棒が全挿入位置にあることで確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。																																																																																								
未臨界の維持又は監視																																																																																									
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																						
主要パラメータ	出力領域中性子束	0~120% $(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^{10}\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																						
	中間領域中性子束	$10^{11} \sim 5 \times 10^{13}\text{A}$ $(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																						
	中性子源領域中性子束	$1 \sim 10^6\text{cps}$ $(10^1 \sim 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																						
	[中間領域起動率] [中性子源領域起動率]	-0.5~5.00PM -0.5~5.00PM	—																																																																																						
代替パラメータ	①出力領域中性子束 (中間領域中性子束の代替)	0~120% $(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^{10}\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																						
	①中間領域中性子束 (出力領域中性子束、中性子源領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)	$10^{11} \sim 5 \times 10^{13}\text{A}$ $(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																						
	①中性子源領域中性子束 (中間領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)	$1 \sim 10^6\text{cps}$ $(10^1 \sim 10^6\text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1})$	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																						
	②1次冷却材温度 (広域一高温側) (出力領域中性子束の代替)	0~400℃	最大値：約340℃																																																																																						
	②1次冷却材温度 (広域一低温側) (出力領域中性子束の代替)	0~400℃	最大値：約339℃																																																																																						
	②ほう酸タンク水位 (出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束の代替)	0~100%	100%																																																																																						
	② [中性子源領域起動率] ([中間領域起動率]の代替)	-0.5~5.00PM	—																																																																																						
	② [中間領域起動率] ([中性子源領域起動率]の代替)	-0.5~5.00PM	—																																																																																						

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由				
	<p>【顕微による影響について】</p> <p>未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを把握することであり、代替パラメータ (起動領域モニタ、平均出力領域モニタ) による推定は、同一物理量からの推定であり、原子炉が停止していることを把握でき、計測誤差 (起動領域モニタの誤差：中性子源領域±0.14 デカード (7.25×10³~1.38×10⁶cps)、中間領域±1.4% (奇数レンジ)±4.4% (偶数レンジ)、平均出力領域モニタの誤差：±2.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (制御棒位置指示系) による推定は、制御棒の位置からの推定であり、原子炉が停止していることを把握でき、重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1256 161 1339 256">計測目的</td> <td data-bbox="1339 161 1816 256"> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 256 1339 1018">推定方法</td> <td data-bbox="1339 256 1816 1018"> <p>(1) 出力領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束、1 次冷却材温度 (広域—高温側) 及び 1 次冷却材温度 (広域—低温側) 又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 中間領域中性子束</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束により推定する。</p> <p>② 1 次冷却材温度 (広域—高温側)、1 次冷却材温度 (広域—低温側)</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の差により推定する。推定は出力領域中性子束の計測範囲を包絡する中間領域中性子束を優先する。また、1 次冷却材ポンプが運転中である場合、出力領域中性子束の計測範囲であれば、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の温度差の相関関係から推定する。</p> <p>③ ほう酸タンク水位</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量を炉心へ注入することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>(2) 中間領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束若しくは中性子源領域中性子束又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束</p> <p>中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束の測定範囲であれば、出力領域中性子束による推定を行い、代替パラメータの中性子源領域中性子束の測定範囲であれば、中性子源領域中性子束により推定する。</p> </td> </tr> </table>	計測目的	<p>重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。</p>	推定方法	<p>(1) 出力領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束、1 次冷却材温度 (広域—高温側) 及び 1 次冷却材温度 (広域—低温側) 又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 中間領域中性子束</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束により推定する。</p> <p>② 1 次冷却材温度 (広域—高温側)、1 次冷却材温度 (広域—低温側)</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の差により推定する。推定は出力領域中性子束の計測範囲を包絡する中間領域中性子束を優先する。また、1 次冷却材ポンプが運転中である場合、出力領域中性子束の計測範囲であれば、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の温度差の相関関係から推定する。</p> <p>③ ほう酸タンク水位</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量を炉心へ注入することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>(2) 中間領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束若しくは中性子源領域中性子束又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束</p> <p>中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束の測定範囲であれば、出力領域中性子束による推定を行い、代替パラメータの中性子源領域中性子束の測定範囲であれば、中性子源領域中性子束により推定する。</p>	
計測目的	<p>重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。</p>						
推定方法	<p>(1) 出力領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束、1 次冷却材温度 (広域—高温側) 及び 1 次冷却材温度 (広域—低温側) 又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 中間領域中性子束</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束により推定する。</p> <p>② 1 次冷却材温度 (広域—高温側)、1 次冷却材温度 (広域—低温側)</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の差により推定する。推定は出力領域中性子束の計測範囲を包絡する中間領域中性子束を優先する。また、1 次冷却材ポンプが運転中である場合、出力領域中性子束の計測範囲であれば、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の温度差の相関関係から推定する。</p> <p>③ ほう酸タンク水位</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量を炉心へ注入することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>(2) 中間領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束若しくは中性子源領域中性子束又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束</p> <p>中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束の測定範囲であれば、出力領域中性子束による推定を行い、代替パラメータの中性子源領域中性子束の測定範囲であれば、中性子源領域中性子束により推定する。</p>						

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>②ほう酸タンク水位 中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量を炉心へ注入することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>(3) 中性子源領域中性子束 未臨界を監視する主要パラメータである中性子源領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>①中間領域中性子束 中性子源領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束の測定範囲であれば、中間領域中性子束による推定を行う。なお、中間領域中性子束の測定範囲下限以下の場合は、測定範囲下限より低い範囲であると推定する。</p> <p>③ほう酸タンク水位 中性子源領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータのほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量を炉心へ注入することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>(4) [中間領域起動率] 未臨界を監視する主要パラメータである中間領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束、中性子源領域中性子束又は中性子源領域起動率 (自主対策設備) により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>①中間領域中性子束 中間領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束により推定する。</p> <p>①中性子源領域中性子束、② [中性子源領域起動率] 中性子源領域中性子束の測定範囲の場合、代替パラメータの中性子源領域中性子束及び中性子源領域起動率 (自主対策設備) により推定する。</p> <p>(5) [中性子源領域起動率] 未臨界を監視する主要パラメータである中性子源領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中性子源領域中性子束、中間領域中性子束又は中間領域起動率 (自主対策設備) により推定する。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由				
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1256 161 1339 379">推定方法</td> <td data-bbox="1339 161 1814 379"> 推定方法は以下のとおりである。 ①中性子源領域中性子束 中性子源領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中性子源領域中性子束により推定する。 ②中間領域中性子束、③ [中間領域起動率] 中間領域中性子束の測定範囲の場合、代替パラメータの中間領域中性子束及び中間領域起動率 (自主対策設備) により推定する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 379 1339 1018">推定の評価</td> <td data-bbox="1339 379 1814 1018"> (1) 出力領域中性子束 ① 中間領域中性子束 中間領域中性子束による推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ② 1 次冷却材温度 (広域-高温側)、1 次冷却材温度 (広域-低温側) 1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の差による推定は、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の温度差の相関関係から原子炉出力を推定するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ③ ほう酸タンク水位 ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 (2) 中間領域中性子束 ① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束 出力領域中性子束又は中性子源領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ③ ほう酸タンク水位 ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 </td> </tr> </table>	推定方法	推定方法は以下のとおりである。 ①中性子源領域中性子束 中性子源領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中性子源領域中性子束により推定する。 ②中間領域中性子束、③ [中間領域起動率] 中間領域中性子束の測定範囲の場合、代替パラメータの中間領域中性子束及び中間領域起動率 (自主対策設備) により推定する。	推定の評価	(1) 出力領域中性子束 ① 中間領域中性子束 中間領域中性子束による推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ② 1 次冷却材温度 (広域-高温側)、1 次冷却材温度 (広域-低温側) 1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の差による推定は、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の温度差の相関関係から原子炉出力を推定するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ③ ほう酸タンク水位 ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 (2) 中間領域中性子束 ① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束 出力領域中性子束又は中性子源領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ③ ほう酸タンク水位 ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。	
推定方法	推定方法は以下のとおりである。 ①中性子源領域中性子束 中性子源領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中性子源領域中性子束により推定する。 ②中間領域中性子束、③ [中間領域起動率] 中間領域中性子束の測定範囲の場合、代替パラメータの中間領域中性子束及び中間領域起動率 (自主対策設備) により推定する。						
推定の評価	(1) 出力領域中性子束 ① 中間領域中性子束 中間領域中性子束による推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ② 1 次冷却材温度 (広域-高温側)、1 次冷却材温度 (広域-低温側) 1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の差による推定は、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の温度差の相関関係から原子炉出力を推定するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ③ ほう酸タンク水位 ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 (2) 中間領域中性子束 ① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束 出力領域中性子束又は中性子源領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ③ ほう酸タンク水位 ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>③中性子源領域中性子束 ①中間領域中性子束 中間領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>⑤ほう酸タンク水位 ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>(4) [中間領域起動率] ①中間領域中性子束 中間領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>①中性子源領域中性子束、② [中性子源領域起動率] 中性子源領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。また、中性子源領域起動率（自主対策設備）による推定は、直接的に計測した原子炉出力から原子炉出力の変化率を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>(5) [中性子源領域起動率] ①中性子源領域中性子束 中性子源領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>①中間領域中性子束、② [中間領域起動率] 中間領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。また、中間領域起動率（自主対策設備）による推定は、直接的に計測した原子炉出力から原子炉出力の変化率を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>[誤差による影響について] 未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを把握することであり、代替パラメータ（出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束、中間領域起動率（自主対策設備）、中性子源領域起動率（自主対策設備））による推定は、同一物量からの推定であり、原子炉が停止していることを把握でき、計器誤差（出力領域中性子束の誤差：±1.0%、中間領域中性子束の誤差：5.4×10⁻³～1.9×10⁻³（N：-11～-3）、中</p> <p>推定の評価</p> <p>中性子源領域中性子束の誤差：6.6×10⁻⁴～1.6×10⁻³eps（N：0～6）を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ（1次冷却材温度（広域～高温側）、1次冷却材温度（広域～低温側））による推定は、1次冷却材温度（広域～高温側）と1次冷却材温度（広域～低温側）の温度差と原子炉出力の相関関係から原子炉が停止していることを把握でき、計器誤差（1次冷却材温度（広域～高温側）の誤差：±4.4℃、1次冷却材温度（広域～低温側）の誤差：±4.4℃）を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ（ほう酸タンク水位）による推定は、原子炉へのほう酸水注入量により未臨界状態であるか否かを把握でき、計器誤差（ほう酸タンク水位の誤差：±1.0%）を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																						
	<p>(1) 主要パラメータの代替パラメータ（他チャンネルを除く）による推定方法について（最終ヒートシンクの確保）</p> <table border="1" data-bbox="672 231 1227 1061"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">最終ヒートシンクの確保</th> </tr> <tr> <th></th> <th>監視パラメータ</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">代替格納冷却系</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温</td> <td>0~260℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去蒸気熱交換器入口温度</td> <td>0~300℃</td> <td>最大値：186℃</td> </tr> <tr> <td>代替格納冷却ポンプ出口流量</td> <td>0~280m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">原子炉格納容器フィルタベント系</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位 (広帯域)</td> <td>0~3,850mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力 (広帯域)</td> <td>-0.1MPa~1MPa[gauge]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口圧力 (広帯域)</td> <td>-0.1MPa~1MPa[gauge]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置温度</td> <td>0~260℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> <td>10⁻⁶Bq/l~10⁻⁸Bq/l</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度</td> <td>0~30vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口酸素濃度</td> <td>0~10vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">酸化強化ベント系</td> </tr> <tr> <td>酸化強化ベント系放射線モニタ</td> <td>10⁻⁶Bq/l~10⁻⁸Bq/l</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">残留熱除去系</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去蒸気熱交換器入口温度</td> <td>0~300℃</td> <td>最大値：186℃</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去蒸気熱交換器出口温度</td> <td>0~300℃</td> <td>最大値：186℃</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>0~1,500m³/h</td> <td>0~1,120m³/h</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">代替格納冷却系</td> </tr> <tr> <td>①圧力制御室内空気温度 (サブプレッションプール水温の代替)</td> <td>0~360℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>②サブプレッションプール水温 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)</td> <td>0~260℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>③圧力制御室水位 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>0~5m (0, P, -3900mm~1100mm)</td> <td>0, 0.5m (0, P, -3450mm)</td> </tr> <tr> <td>④原子炉水位 (広帯域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>-3,800mm~1,500mm^①</td> <td>有燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ②</td> </tr> <tr> <td>⑤原子炉水位 (燃料域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>-3,800mm~1,300mm^①</td> <td>有燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,400mm) ②</td> </tr> <tr> <td>⑥原子炉水位 (SA広帯域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>-3,800mm~1,500mm^①</td> <td>有燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ②</td> </tr> <tr> <td>⑦原子炉水位 (SA燃料域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>-3,800mm~1,300mm^①</td> <td>有燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,400mm) ②</td> </tr> <tr> <td>⑧原子炉格納容器下部水位 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)</td> <td>0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.9m (0, P, -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑨ドライウェル水位 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)</td> <td>0.02m, 0.25m, 0.53m (0, P, 1170mm, 1380mm, 1450mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑩ドライウェル温度 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)</td> <td>0~360℃</td> <td>146℃以下</td> </tr> <tr> <td>⑪ドライウェル圧力 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>330kPa[gauge] 以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	最終ヒートシンクの確保			監視パラメータ	設計基準	代替格納冷却系			サブプレッションプール水温	0~260℃	97℃以下	残留熱除去蒸気熱交換器入口温度	0~300℃	最大値：186℃	代替格納冷却ポンプ出口流量	0~280m ³ /h	—	原子炉格納容器フィルタベント系			フィルタ装置水位 (広帯域)	0~3,850mm	—	フィルタ装置入口圧力 (広帯域)	-0.1MPa~1MPa[gauge]	—	フィルタ装置出口圧力 (広帯域)	-0.1MPa~1MPa[gauge]	—	フィルタ装置温度	0~260℃	—	フィルタ装置出口放射線モニタ	10 ⁻⁶ Bq/l~10 ⁻⁸ Bq/l	—	フィルタ装置出口水素濃度	0~30vol%	—	フィルタ装置出口酸素濃度	0~10vol%	—	酸化強化ベント系			酸化強化ベント系放射線モニタ	10 ⁻⁶ Bq/l~10 ⁻⁸ Bq/l	—	残留熱除去系			残留熱除去蒸気熱交換器入口温度	0~300℃	最大値：186℃	残留熱除去蒸気熱交換器出口温度	0~300℃	最大値：186℃	残留熱除去系ポンプ出口流量	0~1,500m ³ /h	0~1,120m ³ /h	代替格納冷却系			①圧力制御室内空気温度 (サブプレッションプール水温の代替)	0~360℃	97℃以下	②サブプレッションプール水温 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~260℃	97℃以下	③圧力制御室水位 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	0~5m (0, P, -3900mm~1100mm)	0, 0.5m (0, P, -3450mm)	④原子炉水位 (広帯域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3,800mm~1,500mm ^①	有燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ②	⑤原子炉水位 (燃料域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3,800mm~1,300mm ^①	有燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,400mm) ②	⑥原子炉水位 (SA広帯域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3,800mm~1,500mm ^①	有燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ②	⑦原子炉水位 (SA燃料域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3,800mm~1,300mm ^①	有燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,400mm) ②	⑧原子炉格納容器下部水位 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.9m (0, P, -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)	—	⑨ドライウェル水位 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0.02m, 0.25m, 0.53m (0, P, 1170mm, 1380mm, 1450mm)	—	⑩ドライウェル温度 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~360℃	146℃以下	⑪ドライウェル圧力 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~1MPa[abs]	330kPa[gauge] 以下	<p>(o) 主要パラメータの代替パラメータ（他チャンネル及び他ループを除く）による推定方法について（最終ヒートシンクの確保）</p> <table border="1" data-bbox="1254 231 1814 1061"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">最終ヒートシンクの確保</th> </tr> <tr> <th></th> <th>監視パラメータ</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>0~0.35MPa[gauge]</td> <td>最大値： 約0.241MPa[gauge]</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>[原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)]</td> <td>0~1.0MPa[gauge]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>[C, D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量]</td> <td>0~120m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度</td> <td>0~200℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>[C, D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度]</td> <td>0~100℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>[B-原子炉補機冷却水戻り母管温度]</td> <td>0~100℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>0~8.5MPa[gauge]</td> <td>最大値： 約7.8MPa[gauge]</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>0~100%</td> <td>最大値：100%以上 最小値：0%以下</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>0~100%</td> <td>最大値：100%以上 最小値：0%以下</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> <td>0~130m³/h</td> <td>50m³/h</td> </tr> <tr> <td>[主蒸気流量]</td> <td>0~2,000t/h</td> <td>最大値：約4,836t/h</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td>①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替)</td> <td>0~1.0MPa[gauge]</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	最終ヒートシンクの確保			監視パラメータ	設計基準	格納容器内自然対流冷却			原子炉格納容器圧力	0~0.35MPa[gauge]	最大値： 約0.241MPa[gauge]	原子炉補機冷却水サージタンク水位	0~100%	100%	[原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)]	0~1.0MPa[gauge]	—	[C, D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量]	0~120m ³ /h	—	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	0~200℃	—	[C, D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度]	0~100℃	—	[B-原子炉補機冷却水戻り母管温度]	0~100℃	—	蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却			主蒸気ライン圧力	0~8.5MPa[gauge]	最大値： 約7.8MPa[gauge]	蒸気発生器水位 (狭域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下	蒸気発生器水位 (広域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下	補助給水流量	0~130m ³ /h	50m ³ /h	[主蒸気流量]	0~2,000t/h	最大値：約4,836t/h	格納容器内自然対流冷却			①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替)	0~1.0MPa[gauge]	—	
項目	最終ヒートシンクの確保																																																																																																																																																								
	監視パラメータ	設計基準																																																																																																																																																							
代替格納冷却系																																																																																																																																																									
サブプレッションプール水温	0~260℃	97℃以下																																																																																																																																																							
残留熱除去蒸気熱交換器入口温度	0~300℃	最大値：186℃																																																																																																																																																							
代替格納冷却ポンプ出口流量	0~280m ³ /h	—																																																																																																																																																							
原子炉格納容器フィルタベント系																																																																																																																																																									
フィルタ装置水位 (広帯域)	0~3,850mm	—																																																																																																																																																							
フィルタ装置入口圧力 (広帯域)	-0.1MPa~1MPa[gauge]	—																																																																																																																																																							
フィルタ装置出口圧力 (広帯域)	-0.1MPa~1MPa[gauge]	—																																																																																																																																																							
フィルタ装置温度	0~260℃	—																																																																																																																																																							
フィルタ装置出口放射線モニタ	10 ⁻⁶ Bq/l~10 ⁻⁸ Bq/l	—																																																																																																																																																							
フィルタ装置出口水素濃度	0~30vol%	—																																																																																																																																																							
フィルタ装置出口酸素濃度	0~10vol%	—																																																																																																																																																							
酸化強化ベント系																																																																																																																																																									
酸化強化ベント系放射線モニタ	10 ⁻⁶ Bq/l~10 ⁻⁸ Bq/l	—																																																																																																																																																							
残留熱除去系																																																																																																																																																									
残留熱除去蒸気熱交換器入口温度	0~300℃	最大値：186℃																																																																																																																																																							
残留熱除去蒸気熱交換器出口温度	0~300℃	最大値：186℃																																																																																																																																																							
残留熱除去系ポンプ出口流量	0~1,500m ³ /h	0~1,120m ³ /h																																																																																																																																																							
代替格納冷却系																																																																																																																																																									
①圧力制御室内空気温度 (サブプレッションプール水温の代替)	0~360℃	97℃以下																																																																																																																																																							
②サブプレッションプール水温 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~260℃	97℃以下																																																																																																																																																							
③圧力制御室水位 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	0~5m (0, P, -3900mm~1100mm)	0, 0.5m (0, P, -3450mm)																																																																																																																																																							
④原子炉水位 (広帯域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3,800mm~1,500mm ^①	有燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ②																																																																																																																																																							
⑤原子炉水位 (燃料域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3,800mm~1,300mm ^①	有燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,400mm) ②																																																																																																																																																							
⑥原子炉水位 (SA広帯域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3,800mm~1,500mm ^①	有燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ②																																																																																																																																																							
⑦原子炉水位 (SA燃料域) (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3,800mm~1,300mm ^①	有燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,400mm) ②																																																																																																																																																							
⑧原子炉格納容器下部水位 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.9m (0, P, -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)	—																																																																																																																																																							
⑨ドライウェル水位 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0.02m, 0.25m, 0.53m (0, P, 1170mm, 1380mm, 1450mm)	—																																																																																																																																																							
⑩ドライウェル温度 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~360℃	146℃以下																																																																																																																																																							
⑪ドライウェル圧力 (代替格納冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~1MPa[abs]	330kPa[gauge] 以下																																																																																																																																																							
項目	最終ヒートシンクの確保																																																																																																																																																								
	監視パラメータ	設計基準																																																																																																																																																							
格納容器内自然対流冷却																																																																																																																																																									
原子炉格納容器圧力	0~0.35MPa[gauge]	最大値： 約0.241MPa[gauge]																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却水サージタンク水位	0~100%	100%																																																																																																																																																							
[原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)]	0~1.0MPa[gauge]	—																																																																																																																																																							
[C, D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量]	0~120m ³ /h	—																																																																																																																																																							
格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	0~200℃	—																																																																																																																																																							
[C, D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度]	0~100℃	—																																																																																																																																																							
[B-原子炉補機冷却水戻り母管温度]	0~100℃	—																																																																																																																																																							
蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却																																																																																																																																																									
主蒸気ライン圧力	0~8.5MPa[gauge]	最大値： 約7.8MPa[gauge]																																																																																																																																																							
蒸気発生器水位 (狭域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下																																																																																																																																																							
蒸気発生器水位 (広域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下																																																																																																																																																							
補助給水流量	0~130m ³ /h	50m ³ /h																																																																																																																																																							
[主蒸気流量]	0~2,000t/h	最大値：約4,836t/h																																																																																																																																																							
格納容器内自然対流冷却																																																																																																																																																									
①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替)	0~1.0MPa[gauge]	—																																																																																																																																																							

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																																																																												
	<table border="1"> <tr> <td>②圧力抑制室圧力 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>210kPa[gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>③原子炉圧力容器温度 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>0~500℃</td> <td>最大値：297℃</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">原子炉格納容器フィルタベント系</td> </tr> <tr> <td>①ドライウェル圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>330kPa[gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>①圧力抑制室圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>210kPa[gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>①格納容器内水素濃度 (D/W) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)</td> <td>0~100%vol</td> <td>0~1.9%vol</td> </tr> <tr> <td>①格納容器内水素濃度 (S/O) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)</td> <td>0~100%vol</td> <td>0~1.9%vol</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">残留熱除去系</td> </tr> <tr> <td>①原子炉圧力容器温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)</td> <td>0~500℃</td> <td>最大値：297℃</td> </tr> <tr> <td>①サブプレッションプール水温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)</td> <td>0~200℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>①残留熱除去系熱交換器入口温度 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)</td> <td>0~300℃</td> <td>最大値：180℃</td> </tr> <tr> <td>①圧力抑制室水位 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)</td> <td>0~5m (0.P.-3900mm~1100mm)</td> <td>0.05m (0.P.-3850mm)</td> </tr> <tr> <td>②原子炉補機冷却水系統流量 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)</td> <td>0~4,000m³/h</td> <td>0~2,800m³/h</td> </tr> <tr> <td>②残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (残留熱除去系熱交換器出口流量の代替)</td> <td>0~1,500m³/h</td> <td>0~950m³/h</td> </tr> <tr> <td>②残留熱除去系ポンプ出口圧力 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)</td> <td>0~4MPa[gage]</td> <td>最大値：3.73MPa[gage]</td> </tr> <tr> <td colspan="3">* 1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 1.313m 上のところとする (ドライヤスカート底部付近)。 * 2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 900cm 上のところとする (有燃燃料棒頂部付近)。</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="2">重大事故等において、主要パラメータにて最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかの確認である。なお、最終ヒートシンクの確保はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせるにより監視が可能である。</td> </tr> <tr> <td>検定方法</td> <td colspan="2">1. 代替循環冷却系 (1) サブプレッションプール水温度 ①圧力抑制室内空気温度 サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチェンバ内の空気温度と水蒸気が平衡状態であると仮定し、圧力抑制室内空気温度により推定する。 (2) 残留熱除去系熱交換器入口温度 ①サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッションプール水温度により残留熱除去系熱交換器入口温度を推定する。 (3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉圧力容器への注水) ①圧力抑制室水位 原子炉圧力容器への注水時において代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、水頭である圧力抑制室水位の変化により注水量を推定する。</td> </tr> </table>	②圧力抑制室圧力 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage] 以下	③原子炉圧力容器温度 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	0~500℃	最大値：297℃	原子炉格納容器フィルタベント系			①ドライウェル圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)	0~1MPa[abs]	330kPa[gage] 以下	①圧力抑制室圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage] 以下	①格納容器内水素濃度 (D/W) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)	0~100%vol	0~1.9%vol	①格納容器内水素濃度 (S/O) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)	0~100%vol	0~1.9%vol	残留熱除去系			①原子炉圧力容器温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~500℃	最大値：297℃	①サブプレッションプール水温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~200℃	97℃以下	①残留熱除去系熱交換器入口温度 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)	0~300℃	最大値：180℃	①圧力抑制室水位 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)	0~5m (0.P.-3900mm~1100mm)	0.05m (0.P.-3850mm)	②原子炉補機冷却水系統流量 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)	0~4,000m ³ /h	0~2,800m ³ /h	②残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (残留熱除去系熱交換器出口流量の代替)	0~1,500m ³ /h	0~950m ³ /h	②残留熱除去系ポンプ出口圧力 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)	0~4MPa[gage]	最大値：3.73MPa[gage]	* 1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 1.313m 上のところとする (ドライヤスカート底部付近)。 * 2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 900cm 上のところとする (有燃燃料棒頂部付近)。			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかの確認である。なお、最終ヒートシンクの確保はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせるにより監視が可能である。		検定方法	1. 代替循環冷却系 (1) サブプレッションプール水温度 ①圧力抑制室内空気温度 サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチェンバ内の空気温度と水蒸気が平衡状態であると仮定し、圧力抑制室内空気温度により推定する。 (2) 残留熱除去系熱交換器入口温度 ①サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッションプール水温度により残留熱除去系熱交換器入口温度を推定する。 (3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉圧力容器への注水) ①圧力抑制室水位 原子炉圧力容器への注水時において代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、水頭である圧力抑制室水位の変化により注水量を推定する。		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">代替パラメータ</td> <td>①格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力、(C、D)格納容器再循環ユニット補機冷却水流量)及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)</td> <td>0~220℃</td> <td>最大値：約 124℃</td> </tr> <tr> <td>①格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (原子炉補機冷却水サージタンク水位、[C、D]原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度)及び[B]原子炉補機冷却水戻り母管温度)の代替)</td> <td>0~200℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替パラメータ</td> <td>①原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) ([原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)]の代替)</td> <td>0~1.0MPa[gage]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①原子炉格納容器圧力 ((C、D)格納容器再循環ユニット補機冷却水流量)及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)</td> <td>0~0.35MPa[gage]</td> <td>最大値：約 0.241MPa[gage]</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align:center">蒸気発生器 2 次側からの除熱による発電用原子炉の冷却</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>① 1 次冷却材温度 (広域-低置側) (主蒸気ライン圧力、蒸気発生器水位 (狭域) 及び蒸気発生器水位 (広域) の代替)</td> <td>0~400℃</td> <td>最大値：約 339℃</td> </tr> </table>	代替パラメータ	①格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力、(C、D)格納容器再循環ユニット補機冷却水流量)及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)	0~220℃	最大値：約 124℃	①格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (原子炉補機冷却水サージタンク水位、[C、D]原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度)及び[B]原子炉補機冷却水戻り母管温度)の代替)	0~200℃	—	代替パラメータ	①原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) ([原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)]の代替)	0~1.0MPa[gage]	—	①原子炉格納容器圧力 ((C、D)格納容器再循環ユニット補機冷却水流量)及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)	0~0.35MPa[gage]	最大値：約 0.241MPa[gage]	蒸気発生器 2 次側からの除熱による発電用原子炉の冷却				代替パラメータ	① 1 次冷却材温度 (広域-低置側) (主蒸気ライン圧力、蒸気発生器水位 (狭域) 及び蒸気発生器水位 (広域) の代替)	0~400℃	最大値：約 339℃	
②圧力抑制室圧力 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage] 以下																																																																													
③原子炉圧力容器温度 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	0~500℃	最大値：297℃																																																																													
原子炉格納容器フィルタベント系																																																																															
①ドライウェル圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)	0~1MPa[abs]	330kPa[gage] 以下																																																																													
①圧力抑制室圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage] 以下																																																																													
①格納容器内水素濃度 (D/W) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)	0~100%vol	0~1.9%vol																																																																													
①格納容器内水素濃度 (S/O) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)	0~100%vol	0~1.9%vol																																																																													
残留熱除去系																																																																															
①原子炉圧力容器温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~500℃	最大値：297℃																																																																													
①サブプレッションプール水温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~200℃	97℃以下																																																																													
①残留熱除去系熱交換器入口温度 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)	0~300℃	最大値：180℃																																																																													
①圧力抑制室水位 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)	0~5m (0.P.-3900mm~1100mm)	0.05m (0.P.-3850mm)																																																																													
②原子炉補機冷却水系統流量 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)	0~4,000m ³ /h	0~2,800m ³ /h																																																																													
②残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (残留熱除去系熱交換器出口流量の代替)	0~1,500m ³ /h	0~950m ³ /h																																																																													
②残留熱除去系ポンプ出口圧力 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)	0~4MPa[gage]	最大値：3.73MPa[gage]																																																																													
* 1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 1.313m 上のところとする (ドライヤスカート底部付近)。 * 2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 900cm 上のところとする (有燃燃料棒頂部付近)。																																																																															
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかの確認である。なお、最終ヒートシンクの確保はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせるにより監視が可能である。																																																																														
検定方法	1. 代替循環冷却系 (1) サブプレッションプール水温度 ①圧力抑制室内空気温度 サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチェンバ内の空気温度と水蒸気が平衡状態であると仮定し、圧力抑制室内空気温度により推定する。 (2) 残留熱除去系熱交換器入口温度 ①サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッションプール水温度により残留熱除去系熱交換器入口温度を推定する。 (3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉圧力容器への注水) ①圧力抑制室水位 原子炉圧力容器への注水時において代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、水頭である圧力抑制室水位の変化により注水量を推定する。																																																																														
代替パラメータ	①格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力、(C、D)格納容器再循環ユニット補機冷却水流量)及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)	0~220℃	最大値：約 124℃																																																																												
	①格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (原子炉補機冷却水サージタンク水位、[C、D]原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度)及び[B]原子炉補機冷却水戻り母管温度)の代替)	0~200℃	—																																																																												
代替パラメータ	①原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) ([原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)]の代替)	0~1.0MPa[gage]	—																																																																												
	①原子炉格納容器圧力 ((C、D)格納容器再循環ユニット補機冷却水流量)及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)	0~0.35MPa[gage]	最大値：約 0.241MPa[gage]																																																																												
蒸気発生器 2 次側からの除熱による発電用原子炉の冷却																																																																															
代替パラメータ	① 1 次冷却材温度 (広域-低置側) (主蒸気ライン圧力、蒸気発生器水位 (狭域) 及び蒸気発生器水位 (広域) の代替)	0~400℃	最大値：約 339℃																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>②原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉圧力容器への注水時において代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、注水先の原子炉水位の水位変化により代替循環冷却ポンプ出口流量を推定する。(詳細は、(d) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉圧力容器への注水量) 参照)</p> <p>③原子炉圧力容器温度 原子炉圧力容器への注水時において代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度により最終ヒートシンクが確保されていることを確認する。</p> <p>(3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉格納容器への注水) 原子炉格納容器への注水時において代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、原子炉格納容器下部水位、ドライウエル水位の水位変化により代替循環冷却ポンプ出口流量を推定する。(詳細は、(a) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器への注水量) 参照)</p> <p>②ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力 原子炉格納容器への注水時において代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力により最終ヒートシンクが確保されていることを確認する。</p> <p>2. 原子炉格納容器フィルタベント系 (1) フィルタ装置入口圧力 (広帯域) ①ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力 フィルタ装置入口圧力 (広帯域) の監視が不可能となった場合は、ドライウエル圧力又は圧力抑制室圧力の傾向監視により原子炉格納容器フィルタベント系の健全性を推定する。</p> <p>(2) フィルタ装置出口圧力 (広帯域) ①ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力 フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の監視が不可能となった場合は、ドライウエル圧力又は圧力抑制室圧力の傾向監視により原子炉格納容器フィルタベント系の健全性を推定する。</p> <p>(3) フィルタ装置出口水素濃度 ①格納容器内水素濃度 (D/N)、格納容器内水素濃度 (S/C) フィルタ装置出口水素濃度の監視が不可能となった場合は、原子炉格納容器内の水素が原子炉格納容器フィルタベント系の配管内を通過することから、格納容器内水素濃度 (D/N)、格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。</p> <p>3. 残留熱除去系 (1) 残留熱除去系熱交換器入口温度 ①原子炉圧力容器温度、サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度、サブプレッションプール水温度により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(2) 残留熱除去系熱交換器出口温度 ①残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度の監視が不可能となった場合は、残留熱除去系熱交換器の熱交換量評価から残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。</p> <p>②原子炉補機冷却水系系統流量、残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 原子炉補機冷却水系の流量が確保されていることで残留熱除去系熱交換器出口側が冷却されるため、これを利用して最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p>	<p>②1次冷却材温度 (広域-高価側) (主蒸気ライン圧力、蒸気発生器水位 (狭域) 及び蒸気発生器水位 (広域) の代替) 0~400℃ 最大値: 約340℃</p> <p>①蒸気発生器水位 (広域) (蒸気発生器水位 (狭域)、補助給水流速及び主蒸気流量) の代替 0~100% 最大値: 100%以上 最小値: 0%以下</p> <p>①蒸気発生器水位 (狭域) (蒸気発生器水位 (広域)、補助給水流速及び主蒸気流量) の代替 0~100% 最大値: 100%以上 最小値: 0%以下</p> <p>①補助給水ヒット水位 (補助給水流速の代替) 0~100% 100%</p> <p>①主蒸気ライン圧力 (主蒸気流量) の代替 0~8.5MPa[gauge] 最大値: 約7.5MPa[gauge]</p> <p>②補助給水流速 (主蒸気流量) の代替 0~130m³/h 50m³/h</p> <p>計測目的 重大事故等時において、主要パラメータにて最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかの確認である。 なお、最終ヒートシンクの確保はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせることにより監視が可能である。</p> <p>推定方法 1. 格納容器内自然対流冷却 (1) 原子炉格納容器圧力 ①格納容器圧力 (AM用) 原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合には、格納容器圧力 (AM用) により推定する。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>③ 残留熱除去系ポンプ出口流量 ① 圧力抑制室水位 残留熱除去系ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、水源である圧力抑制室水位の変化量により注水量を推定する。</p> <p>② 残留熱除去系ポンプ出口圧力 残留熱除去系ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、残留熱除去系ポンプ出口圧力から残留熱除去系ポンプの注水特性 (図58-8-16) を用いて、残留熱除去系ポンプ出口流量が確保されていることを推定する。</p>  <p>図58-8-16 残留熱除去系ポンプによる注水特性</p> <p>1. 代替循環冷却系 (1) サプレッションプール水温度 ① 圧力抑制室内空気温度 サプレッションチャンセル内の温度を同等の仕様の温度計で計測することにより、サプレッションプール水温度を推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(圧力抑制室内空気温度の誤差：±0.1℃)</p> <p>(2) 残留熱除去系熱交換器入口温度 ① サプレッションプール水温度 代替循環冷却ポンプはサプレッションプール側を吸い込み口としていることから、サプレッションプール水温度により残留熱除去系熱交換器入口温度を推定することができる。</p> <p>(3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉压力容器への注水) ① 圧力抑制室水位 圧力抑制室水位による推定方法は、水位の変化量から原子炉へ注水された量を推定するが、原子炉压力容器からサプレッション・チャンセルへ原子炉冷却材が流入するため、炉心冷却状態を併せて確認することで適用できる。(圧力抑制室水位の誤差：±0.03m)</p> <p>② 原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位による推定方法は、最終熱除去に必要な注水量と原子炉水位変化量に相当する水量の和を利用し炉心冷却状態を把握する上で適用でき、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(原子炉水位 (広帯域) の誤差：±40mm、原子炉水位 (燃料域) の誤差：±4mm、原子炉水位 (SA広帯域) の誤差：±45mm、原子炉水位 (SA燃料域) の誤差：±43mm)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">特記の内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>① 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合には、原子炉格納容器内の雰囲気温度と水温が平衡状態にあると仮定し、格納容器内温度により推定する。</p> <p>[補足] 本推定方法は原子炉格納容器内が飽和状態である範囲で適用でき、現在の原子炉格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器内温度より概略の原子炉格納容器内の圧力を推定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次冷却系又は原子炉格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していること。 <p>原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。</p> <p>圧力パラメータ ① 原子炉格納容器圧力 ② 格納容器圧力 (AM用)</p> <p>温度パラメータ ① 格納容器内温度</p> <p>注入量パラメータ ① B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ② 高圧注入流量 ③ 低圧注入流量 ④ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</p> <p>推定可能範囲：0 ~ 1.0MPa [gauge]</p> <p>(2) 原子炉補機冷却水サージタンク水位 ① 格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 原子炉補機冷却水サージタンク水位の監視が不可能となった場合には、可搬型温度計設置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) の傾向監視により原子炉格納容器内の除熱のための原子炉補機冷却水系が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(3) [原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)] ① 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用) (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) により原子炉格納容器内の除熱のための原子炉補機冷却水系が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>③原子炉圧力容器温度 除熱対象である原子炉圧力容器温度の低下傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(原子炉圧力容器温度の誤差：±5.3℃)</p> <p>(3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉格納容器への注水) ①原子炉格納容器下部水位、ドライウエル水位 原子炉格納容器下部水位、ドライウエル水位による原子炉格納容器下部への灌水状況を把握することにより、代替循環冷却系による原子炉格納容器へ注水されていることの傾向を把握することが可能である。(原子炉格納容器下部水位の誤差：-5～+10mm、ドライウエル水位の誤差：-5～+10mm)</p> <p>②ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力 ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の低下傾向を確認することで、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(ドライウエル温度の誤差：±2.7℃、ドライウエル圧力の誤差：±0.000MPa、圧力抑制室圧力の誤差：±0.000MPa)</p> <p>2. 原子炉格納容器フィルタベント系 (1) フィルタ装置入口圧力 (広域域) ①ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力 ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の低下傾向から原子炉格納容器ベントの実施を確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(ドライウエル圧力の誤差：±0.000MPa、圧力抑制室圧力の誤差：±0.000MPa)</p> <p>(2) フィルタ装置出口圧力 (広域域) ①ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力 ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の低下傾向から原子炉格納容器ベントの実施を確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(ドライウエル圧力の誤差：±0.000MPa、圧力抑制室圧力の誤差：±0.000MPa)</p> <p>(3) フィルタ装置出口水素濃度 ①格納容器内水素濃度 (B)①、格納容器内水素濃度 (S)① 格納容器内水素濃度 (B)①、格納容器内水素濃度 (S)①による推定は、それぞれ異なる計測原理で計測することから推定方法として妥当である。(格納容器内水素濃度 (B)①の誤差：±2.0vol%、格納容器内水素濃度 (S)①の誤差：±2.0vol%)</p> <p>3. 残留熱除去系による冷却 (1) 残留熱除去系熱交換器入口温度 ①原子炉圧力容器温度、サブプレッションプール水温度 除熱対象である原子炉圧力容器温度、サブプレッションプール水温度の低下傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(原子炉圧力容器温度の誤差：±5.3℃、サブプレッションプール水温度の誤差：±1.2℃)</p> <p>(2) 残留熱除去系熱交換器出口温度 ①残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器の熱交換率評価から、残留熱除去系熱交換器入口温度により残留熱除去系熱交換器出口温度を推定することができる。(残留熱除去系熱交換器入口温度の誤差：±3.1℃)</p> <p>②原子炉補機冷却水系系統流量、残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 原子炉補機冷却水系の流量が確保されていることで残留熱除去系熱交換器出口が冷却されるため、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(原子炉補機冷却水系系統流量の誤差：±66m³/h、残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量の誤差：±24t/h)</p>	<p>(4) [C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量] ①格納容器内温度、原子炉格納容器圧力 C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(5) 格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 ①格納容器内温度、原子炉格納容器圧力 可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) の監視が不可能となった場合には、格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(6) [C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度] ①格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(7) [B-原子炉補機冷却水戻り母管温度] ①格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 B-原子炉補機冷却水戻り母管温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>2. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (1) 主蒸気ライン圧力 ①1次冷却材温度 (広域-低温側) 主蒸気ライン圧力の監視が不可能となった場合には、1次冷却系が灌水状態で蒸気発生器2次側が飽和状態であれば、飽和温度 / 圧力の関係を利用して1次冷却材温度 (広域-低温側) により主蒸気ライン圧力を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。なお、蒸気発生器2次側が飽和状態になるまで (未飽和状態) は不確かさが生じることを考慮する。</p> <p>②1次冷却材温度 (広域-高温側) 主蒸気ライン圧力の監視が不可能となった場合には、1次冷却系が灌水状態で蒸気発生器2次側が飽和状態であれば、飽和温度 / 圧力の関係を利用して1次冷却材温度 (広域-高温側) により主蒸気ライン圧力を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。なお、蒸気発生器2次側が飽和状態になるまで (未飽和状態) は不確かさが生じることを考慮する。</p> <p>(2) 蒸気発生器水位 (狭域) ①蒸気発生器水位 (広域)</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 残留熱除去系ポンプ出口流量</p> <p>①圧力制御室水位 圧力制御室水位による推定方法は、水位の変化量から原子炉へ注水された量を推定するが、原子炉圧力容器からサブプレッション・チャンセルへ原子炉冷却材が流入するため、炉心冷却状態を併せて確認することで適用できる。(圧力制御室水位の誤差：±0.03m)</p> <p>②残留熱除去系ポンプ出口圧力 残留熱除去系ポンプ出口圧力による推定方法は、残留熱除去系ポンプの注水特性から残留熱除去系ポンプ出口流量を推定し、原子炉圧力容器温度、サブプレッションプール水温度の低下傾向を併せて確認することで除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(図 58-8-16「残留熱除去系ポンプによる注水特性」より、例えば、流量1,100m³/hに対して、残留熱除去系ポンプ出口圧力の誤差：±0.03MPaから流量に換算した場合は1,100±30m³/h程度である。)</p> <p>最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかを把握することであり、代替パラメータによる推定は、除熱が適切に行われていることの傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより、重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心保護防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>蒸気発生器水位 (狭域) の監視が不可能となった場合には、相関係のある蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視により、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>①1次冷却材温度 (広域-低温側) , ②1次冷却材温度 (広域-高温側) 蒸気発生器水位 (狭域) の監視が不可能となった場合には、1次冷却材温度 (広域-低温側) , 1次冷却材温度 (広域-高温側) の傾向監視により、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(3)蒸気発生器水位 (広域) ①蒸気発生器水位 (狭域) 蒸気発生器水位 (広域) の監視が不可能となった場合には、測定範囲内であれば蒸気発生器水位 (狭域) にて推定する。</p> <p>①1次冷却材温度 (広域-低温側) , ②1次冷却材温度 (広域-高温側) 蒸気発生器水位 (広域) の監視が不可能となった場合には、1次冷却材温度 (広域-低温側) , 1次冷却材温度 (広域-高温側) の傾向監視により、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。 なお、蒸気発生器がドライアウトした場合、1次冷却材温度 (広域-低温側) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) が上昇傾向となることで推定することができる。</p> <p>(4)補助給水流量 ①補助給水ビット水位 蒸気発生器への注水時において補助給水流量の監視が不可能となった場合には、水源である補助給水ビット水位の傾向監視により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>①蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器への注水時において補助給水流量の監視が不可能となった場合には、注入先の蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>①蒸気発生器水位 (狭域) 蒸気発生器への注水時において補助給水流量の監視が不可能となった場合には、注入先の蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(5) [主蒸気流量] ①主蒸気ライン圧力 主蒸気流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、主蒸気ラ</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>イン圧力の傾向監視により、蒸気発生器2次側による除熱状態を監視し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>推定方法 ①蒸気発生器水位（狭域）、蒸気発生器水位（広域）、②補助給水流量 主蒸気流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合には、蒸気発生器水位（狭域）及び蒸気発生器水位（広域）並びに補助給水流量の傾向監視により、主蒸気流量（自主対策設備）を推定する。</p> <p>推定の評価 1. 格納容器内自然対流冷却 (1) 原子炉格納容器圧力 ①格納容器圧力 (AM用) 格納容器圧力 (AM用) の低下傾向を確認することで、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、原子炉格納容器圧力の計測範囲において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。（格納容器圧力 (AM用) の誤差：±0.015MPa） ①格納容器内温度 格納容器内温度の低下傾向を確認することで、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、原子炉格納容器内が飽和状態である場合にその飽和圧力の推定が可能であるため、原子炉格納容器圧力の推定に有効である。（格納容器内温度の誤差：±4.4℃） (2) 原子炉補機冷却水サージタンク水位 ①格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 除熱対象である原子炉格納容器内の温度を示す可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度）の低下傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。（可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度）の誤差：± (0.45℃ + 読み値の0.5%)） (3) (原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)) ①原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) 原子炉補機冷却水サージタンク内の圧力を同等の仕様の圧力計で計測することにより、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用) (自主対策設備) を推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用) (自主対策設備) の計測範囲において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。（原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) の誤差：±0.016MPa）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(4)〔C、D〕格納容器再循環ユニット補機冷却水流量</p> <p>①格納容器内温度、原子炉格納容器圧力</p> <p>除熱対象である格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。（格納容器内温度の誤差：±4.4℃、原子炉格納容器圧力の誤差：±0.004MPa）</p> <p>(5)格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度</p> <p>①格納容器内温度、原子炉格納容器圧力</p> <p>除熱対象である格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。（格納容器内温度の誤差：±4.4℃、原子炉格納容器圧力の誤差：±0.004MPa）</p> <p>(6)〔C、D〕原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度</p> <p>①格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度</p> <p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）による推定は、格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度の温度差の減少傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。（可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の誤差：±(0.45℃+読み値の0.5%)）</p> <p>(7)〔B〕原子炉補機冷却水戻り母管温度</p> <p>①格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度</p> <p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）による推定は、格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度の温度差の減少傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。（可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の誤差：±(0.45℃+読み値の0.5%)）</p> <p>2.蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却</p> <p>(1)主蒸気ライン圧力</p> <p>①1次冷却材温度（広域-低温側）</p> <p>1次冷却材温度（広域-低温側）による推定方法は、1次冷却系が過水状態で蒸気発生器2次側が飽和状態の場合、飽和温度／圧力の関係を利用して1次冷却材温度から主蒸気ライン圧力を推定し、蒸気発生器2次側圧力の低下傾向を確認することで除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。（1次冷却材温度（広域-低温側）：±4.4℃）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>②1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側) による推定方法は、1次冷却系が沸水状態で蒸気発生器2次側が飽和状態の場合、飽和温度/圧力の関係を利用して1次冷却材温度から主蒸気ライン圧力を推定し、蒸気発生器2次側圧力の低下傾向を確認することで除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(1次冷却材温度 (広域-高温側) : ±4.4℃)</p> <p>(2)蒸気発生器水位 (狭域) ①蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視により、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、蒸気発生器水位 (狭域) の計測範囲において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。(蒸気発生器水位 (広域) の誤差: ±1.25%)</p> <p>①1次冷却材温度 (広域-低温側) , ②1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) の傾向監視による蒸気発生器水位 (狭域) の推定方法は、1次冷却材温度が低下又は安定していることを確認することができれば、1次冷却系を除熱するのに十分な蒸気発生器2次側保有水量が確保されていることを推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。なお、1次冷却材温度が上昇している場合は、1次冷却系を除熱することが可能なだけの蒸気発生器の保有水量が残存していない、若しくは蒸気発生器がドライアウトしていることが推定できる。(1次冷却材温度 (広域-低温側) : ±4.4℃, 1次冷却材温度 (広域-高温側) : ±4.4℃)</p> <p>(3)蒸気発生器水位 (広域) ①蒸気発生器水位 (狭域) 蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視により、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、蒸気発生器水位 (広域) と計測範囲が重複している範囲において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。(蒸気発生器水位 (狭域) の誤差: ±1.0%)</p> <p>②1次冷却材温度 (広域-低温側) , ②1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) の傾向監視による蒸気発生器水位 (広域) の推定方法は、1次冷却材温度が低下又は安定していることを確認することができれば、1次冷却系を除熱するのに十分な蒸気発生器2次側保有水量が確保されていることを推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。なお、1次冷却材温度が上昇している場合は、1次冷却系を除熱することが可能なだけの蒸気発生器の保有水量が残存していない、若しくは蒸気発生器がドライアウト</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>トしていることが推定できる。(1次冷却材温度(広域-低温側)：±4.4℃、1次冷却材温度(広域-高温側)：±4.4℃)</p> <p>(4) 補助給水流量 ①補助給水ビット水位 補助給水ビット水位の傾向監視により蒸気発生器への給水状況を確認することで、蒸気発生器における除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用可能である。(補助給水ビット水位の誤差：±1.0%)</p> <p>②蒸気発生器水位(広域) 蒸気発生器水位(広域)の傾向監視による補助給水流量の推定方法は、蒸気発生器水位(広域)が上昇または安定していることを確認することができれば、1次冷却系を除熱するのに十分な補助給水流量が確保されていることを推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。なお、蒸気発生器水位(広域)が低下若しくは水位下幅を示している場合は、1次冷却系を除熱することが可能なだけの補助給水流量が確保されていない、若しくは補助給水に失敗していることが推定できる。(蒸気発生器水位(広域)の誤差：±1.25%)</p> <p>③蒸気発生器水位(狭域) 蒸気発生器水位(狭域)の傾向監視による補助給水流量の推定方法は、蒸気発生器水位(狭域)が上昇または安定していることを確認することができれば、1次冷却系を除熱するのに十分な補助給水流量が確保されていることを推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。なお、蒸気発生器水位(狭域)が低下している場合は、1次冷却系を除熱することが可能なだけの補助給水流量が確保されていない、若しくは補助給水に失敗していることが推定できる。(蒸気発生器水位(狭域)の誤差：±1.0%)</p> <p>(5) [主蒸気流量] ①主蒸気ライン圧力 主蒸気ライン圧力の傾向監視による主蒸気流量(自主対策設備)の推定方法は、主蒸気ライン圧力が低下又は主蒸気速がし弁/主蒸気安全弁設定圧近傍で安定していることを確認することができれば、1次冷却系を除熱することが可能なだけの主蒸気流量(自主対策設備)が確保されていることを推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。なお、主蒸気ライン圧力が上昇している場合、1次冷却系を除熱することが可能なだけの主蒸気流量(自主対策設備)が確保されていないことが推定できる。(主蒸気ライン圧力の誤差：±0.085MPa)</p>	<p>相違理由</p>
		<p>推定の評価</p> <p>①蒸気発生器水位(狭域)、②蒸気発生器水位(広域)、③補助給水流量 蒸気発生器水位(狭域)及び蒸気発生器水位(広域)並びに補助給水流量による主蒸気流量(自主対策設備)の推定方法は、補助給水流量から、蒸気発生器の水位変化から求められる蒸気発生器2次側保有水量の増加量(微分値)を差し引くことにより、主蒸気流量(自主対策設備)を推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(蒸気発生器水位(狭域)の誤差：±1.0%、蒸気発生器水位(広域)の誤差：±1.25%、補助給水流量の誤差：±2.66%/h)</p> <p>最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかを把握することであり、代替パラメータによる推定は、除熱が適切に行われていることの傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより、重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																									
	<p>(m) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (格納容器バイパスの監視)</p> <table border="1" data-bbox="667 236 1220 1045"> <thead> <tr> <th colspan="3">*有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用料器</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">格納容器バイパスの監視</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">原子炉圧力容器内の状態</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> <td>-3,800mm~1,500mm^①</td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm)^②</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> <td>-3,800mm~1,300mm^③</td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm)^④</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA広帯域)</td> <td>-3,800mm~1,500mm^①</td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm)^②</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>-3,800mm~1,300mm^③</td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm)^④</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>0~10MPa [gage]</td> <td>最大値：約8.1MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>0~11MPa [gage]</td> <td>最大値：約8.1MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td colspan="3">原子炉格納容器内の状態</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル温度</td> <td>0~300℃</td> <td>146℃以下</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル圧力</td> <td>0~1MPa [abs]</td> <td>330kPa [gage] 以下</td> </tr> <tr> <td colspan="3">原子炉建屋内の状態</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブロアポンプ出口圧力</td> <td>0~12MPa [gage]</td> <td>最大値：10.0MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>残熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>0~8MPa [gage]</td> <td>最大値：3.7MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレーポンプ出口圧力</td> <td>0~2MPa [gage]</td> <td>最大値：4.4MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td colspan="3">原子炉圧力容器内の状態</td> </tr> <tr> <td>①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>-3,800mm~1,500mm^①</td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm)^②</td> </tr> <tr> <td>①原子炉水位 (SA燃料域) (原子炉水位 (燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>-3,800mm~1,300mm^③</td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm)^④</td> </tr> <tr> <td>①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>-3,800mm~1,500mm^①</td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm)^②</td> </tr> <tr> <td>①原子炉水位 (燃料域) (原子炉水位 (SA燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>-3,800mm~1,300mm^③</td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm)^④</td> </tr> <tr> <td>①原子炉圧力 (SA) (原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>0~11MPa [gage]</td> <td>最大値：約8.1MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>①原子炉圧力 (原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>0~10MPa [gage]</td> <td>最大値：約8.1MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>②原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>0~500℃</td> <td>最大値：297℃</td> </tr> <tr> <td colspan="3">原子炉格納容器内の状態</td> </tr> <tr> <td>①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)</td> <td>0~1MPa [abs]</td> <td>330kPa [gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>①圧力抑制装置圧力 (ドライウエル圧力の代替)</td> <td>0~1MPa [abs]</td> <td>210kPa [gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替)</td> <td>0~300℃</td> <td>146℃以下</td> </tr> <tr> <td>③ [ドライウエル圧力] (ドライウエル圧力の代替)</td> <td>0~600kPa [gage]</td> <td>330kPa [gage] 以下</td> </tr> </tbody> </table>	*有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用料器			項目	格納容器バイパスの監視		監視パラメータ	設計基準	原子炉圧力容器内の状態			原子炉水位 (広帯域)	-3,800mm~1,500mm ^①	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ^②	原子炉水位 (燃料域)	-3,800mm~1,300mm ^③	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) ^④	原子炉水位 (SA広帯域)	-3,800mm~1,500mm ^①	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ^②	原子炉水位 (SA燃料域)	-3,800mm~1,300mm ^③	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) ^④	原子炉圧力	0~10MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]	原子炉圧力 (SA)	0~11MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]	原子炉格納容器内の状態			ドライウエル温度	0~300℃	146℃以下	ドライウエル圧力	0~1MPa [abs]	330kPa [gage] 以下	原子炉建屋内の状態			蒸気発生器ブロアポンプ出口圧力	0~12MPa [gage]	最大値：10.0MPa [gage]	残熱除去ポンプ出口圧力	0~8MPa [gage]	最大値：3.7MPa [gage]	低圧炉心スプレーポンプ出口圧力	0~2MPa [gage]	最大値：4.4MPa [gage]	原子炉圧力容器内の状態			①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,500mm ^①	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ^②	①原子炉水位 (SA燃料域) (原子炉水位 (燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,300mm ^③	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) ^④	①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,500mm ^①	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ^②	①原子炉水位 (燃料域) (原子炉水位 (SA燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,300mm ^③	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) ^④	①原子炉圧力 (SA) (原子炉圧力 (SA) の代替)	0~11MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]	①原子炉圧力 (原子炉圧力 (SA) の代替)	0~10MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]	②原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	0~500℃	最大値：297℃	原子炉格納容器内の状態			①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)	0~1MPa [abs]	330kPa [gage] 以下	①圧力抑制装置圧力 (ドライウエル圧力の代替)	0~1MPa [abs]	210kPa [gage] 以下	②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替)	0~300℃	146℃以下	③ [ドライウエル圧力] (ドライウエル圧力の代替)	0~600kPa [gage]	330kPa [gage] 以下	<p>(p) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他グループを除く) による推定方法について (格納容器バイパスの監視)</p> <table border="1" data-bbox="1249 236 1814 1045"> <thead> <tr> <th colspan="3">格納容器バイパスの監視</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">監視パラメータ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>監視パラメータ</td> <td>計測範囲</td> </tr> <tr> <td></td> <td>監視パラメータ</td> <td>設計基準</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">主要パラメータ</td> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>0~100%</td> <td>最大値：100%以上 最小値：0%以下</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>0~8.0MPa [gage]</td> <td>最大値： 約7.8MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>0~21.0MPa [gage]</td> <td>最大値： 約17.8MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>[復水器排気ガスモニタ]</td> <td>10~10⁵cpm</td> <td>バックグラウンド レベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]</td> <td>10~10⁵cpm</td> <td>バックグラウンド レベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[高感度型主蒸気管モニタ]</td> <td>1~10⁶cpm</td> <td>バックグラウンド レベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[排気筒ガスモニタ]</td> <td>10~10⁵cpm</td> <td>バックグラウンド レベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]</td> <td>10~10⁵cpm</td> <td>バックグラウンド レベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]</td> <td>10~10⁵cpm</td> <td>バックグラウンド レベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[補助建屋サンプタンク水位]</td> <td>0~100%</td> <td>0~100%</td> </tr> <tr> <td>[余熱除去ポンプ出口圧力]</td> <td>0~5.0MPa [gage]</td> <td>0.89~4.2MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>[加圧器速がシタンク圧力]</td> <td>0~1.0MPa [gage]</td> <td>0.021MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>[加圧器速がシタンク水位]</td> <td>0~100%</td> <td>55~75%</td> </tr> <tr> <td>[加圧器速がシタンク温度]</td> <td>0~150℃</td> <td>49℃以下</td> </tr> <tr> <td>[余熱除去冷却器入口温度]</td> <td>0~200℃</td> <td>10~177℃</td> </tr> <tr> <td>[余熱除去冷却器出口温度]</td> <td>0~200℃</td> <td>10~177℃</td> </tr> </tbody> </table>	格納容器バイパスの監視			項目	監視パラメータ	設計基準	監視パラメータ				監視パラメータ	計測範囲		監視パラメータ	設計基準	主要パラメータ	蒸気発生器水位 (狭域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下	主蒸気ライン圧力	0~8.0MPa [gage]	最大値： 約7.8MPa [gage]	1次冷却材圧力 (広域)	0~21.0MPa [gage]	最大値： 約17.8MPa [gage]	[復水器排気ガスモニタ]	10~10 ⁵ cpm	バックグラウンド レベルを超える	[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]	10~10 ⁵ cpm	バックグラウンド レベルを超える	[高感度型主蒸気管モニタ]	1~10 ⁶ cpm	バックグラウンド レベルを超える	[排気筒ガスモニタ]	10~10 ⁵ cpm	バックグラウンド レベルを超える	[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]	10~10 ⁵ cpm	バックグラウンド レベルを超える	[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]	10~10 ⁵ cpm	バックグラウンド レベルを超える	[補助建屋サンプタンク水位]	0~100%	0~100%	[余熱除去ポンプ出口圧力]	0~5.0MPa [gage]	0.89~4.2MPa [gage]	[加圧器速がシタンク圧力]	0~1.0MPa [gage]	0.021MPa [gage]	[加圧器速がシタンク水位]	0~100%	55~75%	[加圧器速がシタンク温度]	0~150℃	49℃以下	[余熱除去冷却器入口温度]	0~200℃	10~177℃	[余熱除去冷却器出口温度]	0~200℃	10~177℃	
*有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用料器																																																																																																																																																												
項目	格納容器バイパスの監視																																																																																																																																																											
	監視パラメータ	設計基準																																																																																																																																																										
原子炉圧力容器内の状態																																																																																																																																																												
原子炉水位 (広帯域)	-3,800mm~1,500mm ^①	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ^②																																																																																																																																																										
原子炉水位 (燃料域)	-3,800mm~1,300mm ^③	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) ^④																																																																																																																																																										
原子炉水位 (SA広帯域)	-3,800mm~1,500mm ^①	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ^②																																																																																																																																																										
原子炉水位 (SA燃料域)	-3,800mm~1,300mm ^③	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) ^④																																																																																																																																																										
原子炉圧力	0~10MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]																																																																																																																																																										
原子炉圧力 (SA)	0~11MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]																																																																																																																																																										
原子炉格納容器内の状態																																																																																																																																																												
ドライウエル温度	0~300℃	146℃以下																																																																																																																																																										
ドライウエル圧力	0~1MPa [abs]	330kPa [gage] 以下																																																																																																																																																										
原子炉建屋内の状態																																																																																																																																																												
蒸気発生器ブロアポンプ出口圧力	0~12MPa [gage]	最大値：10.0MPa [gage]																																																																																																																																																										
残熱除去ポンプ出口圧力	0~8MPa [gage]	最大値：3.7MPa [gage]																																																																																																																																																										
低圧炉心スプレーポンプ出口圧力	0~2MPa [gage]	最大値：4.4MPa [gage]																																																																																																																																																										
原子炉圧力容器内の状態																																																																																																																																																												
①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,500mm ^①	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ^②																																																																																																																																																										
①原子炉水位 (SA燃料域) (原子炉水位 (燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,300mm ^③	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) ^④																																																																																																																																																										
①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,500mm ^①	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) ^②																																																																																																																																																										
①原子炉水位 (燃料域) (原子炉水位 (SA燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,300mm ^③	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) ^④																																																																																																																																																										
①原子炉圧力 (SA) (原子炉圧力 (SA) の代替)	0~11MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]																																																																																																																																																										
①原子炉圧力 (原子炉圧力 (SA) の代替)	0~10MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]																																																																																																																																																										
②原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	0~500℃	最大値：297℃																																																																																																																																																										
原子炉格納容器内の状態																																																																																																																																																												
①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)	0~1MPa [abs]	330kPa [gage] 以下																																																																																																																																																										
①圧力抑制装置圧力 (ドライウエル圧力の代替)	0~1MPa [abs]	210kPa [gage] 以下																																																																																																																																																										
②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替)	0~300℃	146℃以下																																																																																																																																																										
③ [ドライウエル圧力] (ドライウエル圧力の代替)	0~600kPa [gage]	330kPa [gage] 以下																																																																																																																																																										
格納容器バイパスの監視																																																																																																																																																												
項目	監視パラメータ	設計基準																																																																																																																																																										
	監視パラメータ																																																																																																																																																											
	監視パラメータ	計測範囲																																																																																																																																																										
	監視パラメータ	設計基準																																																																																																																																																										
主要パラメータ	蒸気発生器水位 (狭域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下																																																																																																																																																									
	主蒸気ライン圧力	0~8.0MPa [gage]	最大値： 約7.8MPa [gage]																																																																																																																																																									
	1次冷却材圧力 (広域)	0~21.0MPa [gage]	最大値： 約17.8MPa [gage]																																																																																																																																																									
	[復水器排気ガスモニタ]	10~10 ⁵ cpm	バックグラウンド レベルを超える																																																																																																																																																									
	[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]	10~10 ⁵ cpm	バックグラウンド レベルを超える																																																																																																																																																									
	[高感度型主蒸気管モニタ]	1~10 ⁶ cpm	バックグラウンド レベルを超える																																																																																																																																																									
	[排気筒ガスモニタ]	10~10 ⁵ cpm	バックグラウンド レベルを超える																																																																																																																																																									
	[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]	10~10 ⁵ cpm	バックグラウンド レベルを超える																																																																																																																																																									
	[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]	10~10 ⁵ cpm	バックグラウンド レベルを超える																																																																																																																																																									
	[補助建屋サンプタンク水位]	0~100%	0~100%																																																																																																																																																									
	[余熱除去ポンプ出口圧力]	0~5.0MPa [gage]	0.89~4.2MPa [gage]																																																																																																																																																									
	[加圧器速がシタンク圧力]	0~1.0MPa [gage]	0.021MPa [gage]																																																																																																																																																									
	[加圧器速がシタンク水位]	0~100%	55~75%																																																																																																																																																									
	[加圧器速がシタンク温度]	0~150℃	49℃以下																																																																																																																																																									
	[余熱除去冷却器入口温度]	0~200℃	10~177℃																																																																																																																																																									
[余熱除去冷却器出口温度]	0~200℃	10~177℃																																																																																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align:center;">原子炉建屋内の状態</td> </tr> <tr> <td style="width:10%;">①原子炉圧力</td> <td style="width:30%;">0~10MPa[gauge]</td> <td style="width:10%;">最大値：約8.11MPa[gauge]</td> <td style="width:50%;"></td> </tr> <tr> <td>①原子炉圧力 (SA)</td> <td>0~11MPa[gauge]</td> <td>最大値：約8.11MPa[gauge]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② [エア放熱線モニタ] *</td> <td>10 %Sv/h~16Sv/h</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4"> * 1：計装範囲の事は、原子炉圧力容器管レベルより1.313cm上のところとする (ドライヤースカート底部付近)。 * 2：計装範囲の事は、原子炉圧力容器管レベルより900cm上のところとする (有効燃料棒燃焼付近)。 重大事故等時において、主要パラメータにて格納容器バイパスの監視をする目的は、原子炉格納容器外にて冷却材漏えい事象が発生しているかどうかの確認である。なお、格納容器バイパス発生監視はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせることでより監視が可能である。 </td> </tr> <tr> <td colspan="4">計測目的</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> 1. 原子炉圧力容器内の状態 ①原子炉水位 (SA 広帯域)、原子炉水位 (SA 燃料域)、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域) 同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の水位を計測することにより推定する。 ②原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) 同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の圧力を計測することにより推定する。 ③原子炉圧力容器温度、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA 広帯域)、原子炉水位 (SA 燃料域) 飽和温度/圧力の関係を利用し、図 58-8-3 を用いて原子炉圧力容器温度より原子炉圧力を推定する。原子炉圧力容器内が飽和状態でない場合は、不確かさが生じることを考慮する。 推定可能範囲：全範囲 2. 原子炉格納容器内の状態 ①ドライウェル圧力 ドライウェル圧力が過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-9 よりドライウェル温度の推定を行う。 推定可能範囲：100℃~185℃ ②ドライウェル温度 原子炉格納容器が過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-10 よりドライウェル圧力の推定を行う。 推定可能範囲：0~1.0MPa[abs] ③ [ドライウェル圧力] 常用計器でドライウェル圧力を計測することにより推定する。 </td> </tr> <tr> <td colspan="4"> 3. 原子炉建屋内の状態 ①原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) 格納容器バイパスが発生した場合は、原子炉冷却材圧力バウンダリと接続された系統で、高圧設計部分と低圧設計部分のインターフェイスとなる配管のうち、隔離弁の漏洩失敗等により低圧設計部分が原子炉圧力により過圧され破裂することを想定していることから、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) により推定する。 ② [エア放熱線モニタ] エリア放熱線モニタ (有効監視パラメータ) により格納容器バイパスの発生を推定する。 </td> </tr> </table>	原子炉建屋内の状態				①原子炉圧力	0~10MPa[gauge]	最大値：約8.11MPa[gauge]		①原子炉圧力 (SA)	0~11MPa[gauge]	最大値：約8.11MPa[gauge]		② [エア放熱線モニタ] *	10 %Sv/h~16Sv/h	—		* 1：計装範囲の事は、原子炉圧力容器管レベルより1.313cm上のところとする (ドライヤースカート底部付近)。 * 2：計装範囲の事は、原子炉圧力容器管レベルより900cm上のところとする (有効燃料棒燃焼付近)。 重大事故等時において、主要パラメータにて格納容器バイパスの監視をする目的は、原子炉格納容器外にて冷却材漏えい事象が発生しているかどうかの確認である。なお、格納容器バイパス発生監視はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせることでより監視が可能である。				計測目的				1. 原子炉圧力容器内の状態 ①原子炉水位 (SA 広帯域)、原子炉水位 (SA 燃料域)、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域) 同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の水位を計測することにより推定する。 ②原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) 同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の圧力を計測することにより推定する。 ③原子炉圧力容器温度、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA 広帯域)、原子炉水位 (SA 燃料域) 飽和温度/圧力の関係を利用し、図 58-8-3 を用いて原子炉圧力容器温度より原子炉圧力を推定する。原子炉圧力容器内が飽和状態でない場合は、不確かさが生じることを考慮する。 推定可能範囲：全範囲 2. 原子炉格納容器内の状態 ①ドライウェル圧力 ドライウェル圧力が過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-9 よりドライウェル温度の推定を行う。 推定可能範囲：100℃~185℃ ②ドライウェル温度 原子炉格納容器が過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-10 よりドライウェル圧力の推定を行う。 推定可能範囲：0~1.0MPa[abs] ③ [ドライウェル圧力] 常用計器でドライウェル圧力を計測することにより推定する。				3. 原子炉建屋内の状態 ①原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) 格納容器バイパスが発生した場合は、原子炉冷却材圧力バウンダリと接続された系統で、高圧設計部分と低圧設計部分のインターフェイスとなる配管のうち、隔離弁の漏洩失敗等により低圧設計部分が原子炉圧力により過圧され破裂することを想定していることから、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) により推定する。 ② [エア放熱線モニタ] エリア放熱線モニタ (有効監視パラメータ) により格納容器バイパスの発生を推定する。				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width:10%;">代替パラメータ</td> <td style="width:10%;">①蒸気発生器水位 (広域) (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)</td> <td style="width:10%;">0~100%</td> <td style="width:10%;">最大値：100%以上 最小値：0%以下</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>①蒸気発生器水位 (狭域) (1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>最大値：100%以上 最小値：0%以下</td> </tr> <tr> <td>①主蒸気ライン圧力 (蒸気発生器水位 (狭域)、1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)</td> <td>0~8.5MPa[gauge]</td> <td>最大値：約7.8MPa[gauge]</td> </tr> <tr> <td>①補助給水流量 (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)</td> <td>0~130m³/h</td> <td>50m³/h</td> </tr> <tr> <td>① [加圧器圧力] (1次冷却材圧力 (広域) の代替)</td> <td>11.0~17.5MPa[gauge]</td> <td>最大値：約17.5MPa[gauge]</td> </tr> </table>	代替パラメータ	①蒸気発生器水位 (広域) (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下		①蒸気発生器水位 (狭域) (1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下	①主蒸気ライン圧力 (蒸気発生器水位 (狭域)、1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)	0~8.5MPa[gauge]	最大値：約7.8MPa[gauge]	①補助給水流量 (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)	0~130m ³ /h	50m ³ /h	① [加圧器圧力] (1次冷却材圧力 (広域) の代替)	11.0~17.5MPa[gauge]	最大値：約17.5MPa[gauge]	
原子炉建屋内の状態																																																				
①原子炉圧力	0~10MPa[gauge]	最大値：約8.11MPa[gauge]																																																		
①原子炉圧力 (SA)	0~11MPa[gauge]	最大値：約8.11MPa[gauge]																																																		
② [エア放熱線モニタ] *	10 %Sv/h~16Sv/h	—																																																		
* 1：計装範囲の事は、原子炉圧力容器管レベルより1.313cm上のところとする (ドライヤースカート底部付近)。 * 2：計装範囲の事は、原子炉圧力容器管レベルより900cm上のところとする (有効燃料棒燃焼付近)。 重大事故等時において、主要パラメータにて格納容器バイパスの監視をする目的は、原子炉格納容器外にて冷却材漏えい事象が発生しているかどうかの確認である。なお、格納容器バイパス発生監視はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせることでより監視が可能である。																																																				
計測目的																																																				
1. 原子炉圧力容器内の状態 ①原子炉水位 (SA 広帯域)、原子炉水位 (SA 燃料域)、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域) 同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の水位を計測することにより推定する。 ②原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) 同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の圧力を計測することにより推定する。 ③原子炉圧力容器温度、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA 広帯域)、原子炉水位 (SA 燃料域) 飽和温度/圧力の関係を利用し、図 58-8-3 を用いて原子炉圧力容器温度より原子炉圧力を推定する。原子炉圧力容器内が飽和状態でない場合は、不確かさが生じることを考慮する。 推定可能範囲：全範囲 2. 原子炉格納容器内の状態 ①ドライウェル圧力 ドライウェル圧力が過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-9 よりドライウェル温度の推定を行う。 推定可能範囲：100℃~185℃ ②ドライウェル温度 原子炉格納容器が過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-10 よりドライウェル圧力の推定を行う。 推定可能範囲：0~1.0MPa[abs] ③ [ドライウェル圧力] 常用計器でドライウェル圧力を計測することにより推定する。																																																				
3. 原子炉建屋内の状態 ①原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) 格納容器バイパスが発生した場合は、原子炉冷却材圧力バウンダリと接続された系統で、高圧設計部分と低圧設計部分のインターフェイスとなる配管のうち、隔離弁の漏洩失敗等により低圧設計部分が原子炉圧力により過圧され破裂することを想定していることから、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) により推定する。 ② [エア放熱線モニタ] エリア放熱線モニタ (有効監視パラメータ) により格納容器バイパスの発生を推定する。																																																				
代替パラメータ	①蒸気発生器水位 (広域) (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下																																																	
	①蒸気発生器水位 (狭域) (1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下																																																	
	①主蒸気ライン圧力 (蒸気発生器水位 (狭域)、1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)	0~8.5MPa[gauge]	最大値：約7.8MPa[gauge]																																																	
	①補助給水流量 (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)	0~130m ³ /h	50m ³ /h																																																	
	① [加圧器圧力] (1次冷却材圧力 (広域) の代替)	11.0~17.5MPa[gauge]	最大値：約17.5MPa[gauge]																																																	

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>1. 原子炉圧力容器内の状態</p> <p>①原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域)、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域) 同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の水位を計測することができ、適用可能である。(原子炉水位 (SA広帯域) の誤差: ±45mm、原子炉水位 (SA燃料域) の誤差: ±43mm、原子炉水位 (広帯域) の誤差: ±46mm、原子炉水位 (燃料域) の誤差: ±44mm)</p> <p>②原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) 同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の圧力を計測することができ、適用可能である。(原子炉圧力の誤差: ±0.07MPa、原子炉圧力 (SA) の誤差: ±0.09MPa)</p> <p>③原子炉圧力容器温度、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して推定することで原子炉圧力の傾向を把握でき、計器誤差 (原子炉圧力容器温度の誤差: ±0.5℃) を考慮した上で対応することにより重大事故等の対策を実施することが可能である。</p> <p>2. 原子炉格納容器内の状態</p> <p>①ドライウエル圧力 ドライウエル圧力による推定手順は、原子炉格納容器内が飽和状態にあることが限定される。ただし、重大事故等時の有効性評価 (雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破壊)) において、原子炉格納容器は概ね飽和に近い状態で維持されることから、適用可能である。(ドライウエル圧力の誤差: ±0.006MPa)</p> <p>②圧力抑制室圧力 原子炉格納容器内の圧力抑制室側の圧力を同じ仕様の圧力計で計測することができ、適用可能である。(圧力抑制室圧力の誤差: ±0.006MPa)</p> <p>③ドライウエル温度 ドライウエル温度による推定手順は、原子炉格納容器内が飽和状態にあることが限定される。ただし、重大事故等時の有効性評価 (雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破壊)) において、原子炉格納容器は概ね飽和に近い状態で維持されることから、適用可能である。(例えば、ドライウエル圧力: 約0.427MPa[gage] (飽和温度: 約154℃) に対してドライウエル温度の誤差: 約±0.7℃から圧力に換算した場合は、0.427±0.040MPa[gage]程度)。</p> <p>④ [ドライウエル圧力] 監視可能であれば常用計器でドライウエル圧力を計測することができる。</p> <p>3. 原子炉建屋内の状態</p> <p>①原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) 格納容器バイパスが発生した場合 (発生場所の隔離まで) は、原子炉圧力と破断箇所が同様の傾向を示すことから、破断検知をする上で適用可能である。(原子炉圧力の誤差: ±0.07MPa、原子炉圧力 (SA) の誤差: ±0.09MPa)</p> <p>② [エリア放射線モニタ] エリア放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示上昇傾向を把握することにより、格納容器バイパスが発生したことを推定することができ、適用可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心保護防止対策及び格納容器破断防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>①加圧器水位 ([排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンブタンク水位]、[余熱除去ポンプ出口圧力]、[加圧器逃がしタンク圧力]、[加圧器逃がしタンク水位]、[加圧器逃がしタンク温度]、[余熱除去冷却器入口温度]及び[余熱除去冷却器出口温度]の代替)</p> <p>①格納容器再循環サンブタンク水位 (広域) ([1次冷却材圧力 (広域)、[排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンブタンク水位]及び[余熱除去ポンプ出口圧力]の代替)</p> <p>③1次冷却材温度 (広域-高温側) ([1次冷却材圧力 (広域) の代替)</p> <p>③1次冷却材温度 (広域-低温側) ([1次冷却材圧力 (広域) の代替)</p> <p>①1次冷却材圧力 (広域) ([排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンブタンク水位]、[余熱除去ポンプ出口圧力]、[加圧器逃がしタンク圧力]、[加圧器逃がしタンク水位]、[加圧器逃がしタンク温度]、[余熱除去冷却器入口温度]及び[余熱除去冷却器出口温度]の代替)</p>	<p>0 ~ 100% 最大値: 約 99% 最小値: 0%以下</p> <p>0 ~ 100% 100%</p> <p>0 ~ 400℃ 最大値: 約 340℃</p> <p>0 ~ 400℃ 最大値: 約 339℃</p> <p>0 ~ 21.0MPa[gage] 最大値: 約 17.8MPa[gage]</p>

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由								
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1258 153 1335 354">代替 パラメータ</td> <td data-bbox="1335 153 1518 354">② [格納容器サブ水位] ([加圧器速がシタンク圧力]、[加圧器速がシタンク水位] 及び [加圧器速がシタンク温度] の代替)</td> <td data-bbox="1518 153 1648 354">0 ~ 100%</td> <td data-bbox="1648 153 1809 354">—</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1335 248 1518 354">② [余熱除去ポンプ出口圧力] ([余熱除去冷却器入口温度] 及び [余熱除去冷却器出口温度] の代替)</td> <td data-bbox="1518 248 1648 354">0 ~ 5.0MPa [gauge]</td> <td data-bbox="1648 248 1809 354">0.89 ~ 4.2MPa [gauge]</td> </tr> </table>	代替 パラメータ	② [格納容器サブ水位] ([加圧器速がシタンク圧力]、[加圧器速がシタンク水位] 及び [加圧器速がシタンク温度] の代替)	0 ~ 100%	—		② [余熱除去ポンプ出口圧力] ([余熱除去冷却器入口温度] 及び [余熱除去冷却器出口温度] の代替)	0 ~ 5.0MPa [gauge]	0.89 ~ 4.2MPa [gauge]	
代替 パラメータ	② [格納容器サブ水位] ([加圧器速がシタンク圧力]、[加圧器速がシタンク水位] 及び [加圧器速がシタンク温度] の代替)	0 ~ 100%	—								
	② [余熱除去ポンプ出口圧力] ([余熱除去冷却器入口温度] 及び [余熱除去冷却器出口温度] の代替)	0 ~ 5.0MPa [gauge]	0.89 ~ 4.2MPa [gauge]								
		<p>計測目的</p> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて格納容器バイパスの監視をする目的は、原子炉格納容器外にて冷却材漏えい事象が発生しているかどうかの確認である。</p> <p>なお、格納容器バイパス発生監視はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせることで監視が可能である。</p>									
		<p>推定方法</p> <p>格納容器バイパスの監視の主要パラメータである蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力等の監視が不可能になった場合には、1 次冷却系及び 2 次冷却系並びに原子炉格納容器内外における状態変化により格納容器バイパスの発生状況を推定する。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>(1) 蒸気発生器水位 (狭域) ① 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (広域) の上昇を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。</p> <p>② 主蒸気ライン圧力、② 補助給水流量 蒸気発生器水位 (狭域) の計測が不可能となった場合には、主蒸気ライン圧力の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。</p> <p>(2) 主蒸気ライン圧力 ① 蒸気発生器水位 (広域)、補助給水流量 主蒸気ライン圧力の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。</p>									

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>② 蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力、格納容器再循環サンプ水位 (広域)</p> <p>1 次冷却材圧力 (広域) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の上昇により蒸気発生器伝熱管破損を推定し、蒸気発生器伝熱管破損がないこと並びに格納容器再循環サンプ水位 (広域) の上昇がないことでインターフェイスシステム LOCA を推定する。</p> <p>③ 1 次冷却材温度 (広域-高温側)、1 次冷却材温度 (広域-低温側)</p> <p>1 次冷却材圧力 (広域) の計測が不可能となった場合には、飽和温度 / 圧力の関係を利用し、第 2 図を用いて 1 次冷却材温度 (広域-高温側) 又は 1 次冷却材温度 (広域-低温側) より原子炉圧力容器内の圧力を推定する。この推定方法では、原子炉圧力容器内が飽和状態にない場合は、不確かさが生じることを考慮する。</p> <p>(4) [復水器排気ガスモニタ]</p> <p>① 蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力</p> <p>復水器排気ガスモニタ (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視を行う。</p> <p>(5) [蒸気発生器ブローダウン水モニタ]</p> <p>① 蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力</p> <p>蒸気発生器ブローダウン水モニタ (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視を行う。</p> <p>(6) [高感度型主蒸気管モニタ]</p> <p>① 蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力</p> <p>高感度型主蒸気管モニタ (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視を行う。</p> <p>(7) [排気筒ガスモニタ]</p> <p>① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力</p> <p>排気筒ガスモニタ (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(8) [排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]</p> <p>① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）（自主対策設備）の計測が不可能となった場合には、1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位（広域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により、インターフェイスシステムLOCAの傾向監視を行う。</p> <p>(9) [排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）] ① 1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位（広域）、蒸気発生器水位（狭域）、主蒸気ライン圧力 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）（自主対策設備）の計測が不可能となった場合には、1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位（広域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により、インターフェイスシステムLOCAの傾向監視を行う。</p> <p>(10) [補助建屋サンプタンク水位] ① 1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位（広域）、蒸気発生器水位（狭域）、主蒸気ライン圧力 補助建屋サンプタンク水位（自主対策設備）の計測が不可能となった場合には、1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位（広域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により、インターフェイスシステムLOCAの傾向監視を行う。</p> <p>(11) [余熱除去ポンプ出口圧力] ① 1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位（広域）、蒸気発生器水位（狭域）、主蒸気ライン圧力 余熱除去ポンプ出口圧力（自主対策設備）の計測が不可能となった場合には、1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位（広域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により、インターフェイスシステムLOCAの傾向監視を行う。</p> <p>(12) [加圧器逃がしタンク圧力] ① 1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位 加圧器逃がしタンク圧力（自主対策設備）の計測が不可能となった場合には、1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステムLOCAの傾向監視を行う。</p> <p>② [格納容器サンプ水位] 加圧器逃がしタンク圧力（自主対策設備）の計測が不可能となった場合には、格納容器サンプ水位（自主対策設備）が使用可能であれば、格納容器サンプ水位（自主対策設備）の上昇がないことの確認により、インターフェイスシステムLOCAの傾向監視を行う。</p> <p>(13) [加圧器逃がしタンク水位] ① 1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位 加圧器逃がしタンク水位（自主対策設備）の計測が不可能となった場合には、</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>① 1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>② [格納容器サンプ水位] 加圧器逃がしタンク水位 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、格納容器サンプ水位 (自主対策設備) が使用可能であれば、格納容器サンプ水位 (自主対策設備) の上昇がないことの確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(14) [加圧器逃がしタンク温度] ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位 加圧器逃がしタンク温度 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>② [格納容器サンプ水位] 加圧器逃がしタンク温度 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、格納容器サンプ水位 (自主対策設備) が使用可能であれば、格納容器サンプ水位 (自主対策設備) の上昇がないことの確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(15) [余熱除去冷却器入口温度] ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位 余熱除去冷却器入口温度 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>② [余熱除去ポンプ出口圧力] 余熱除去冷却器入口温度 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) が使用可能であれば、余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) の上昇により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(16) [余熱除去冷却器出口温度] ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位 余熱除去冷却器出口温度 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>② [余熱除去ポンプ出口圧力] 余熱除去冷却器出口温度 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) が使用可能であれば、余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) の上昇により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(1) 蒸気発生器水位 (狭域)</p> <p>① 蒸気発生器水位 (広域)</p> <p>蒸気発生器水位 (広域) で蒸気発生器内の水位を計測することができ、プラント状態に依存することなく適用可能である。(蒸気発生器水位 (広域) の誤差: ±1.25%)</p> <p>② 主蒸気ライン圧力、補助給水流量</p> <p>蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、1次冷却材が蒸気発生器伝熱管破損部から2次側に漏えいすることで蒸気発生器2次側の圧力が上昇傾向となるとともに補助給水流量が減少傾向となることを利用して推定することで蒸気発生器内の水位の傾向を把握でき、計測誤差 (主蒸気ライン圧力の誤差: ±0.08MPa、補助給水流量の誤差: ±2.6m³/h) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(2) 主蒸気ライン圧力</p> <p>① 蒸気発生器水位 (広域)、補助給水流量</p> <p>蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、1次冷却材が蒸気発生器伝熱管破損部から2次側に漏えいすることで蒸気発生器2次側の水位が上昇傾向となるとともに補助給水流量が減少傾向となることを利用して、蒸気発生器水位 (広域) 及び補助給水流量により推定することで、主蒸気ライン圧力の傾向を把握でき、計測誤差 (蒸気発生器水位 (広域) の誤差: ±1.25%、補助給水流量の誤差: ±2.6m³/h) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(3) 1次冷却材圧力 (広域)</p> <p>① [加圧器圧力]</p> <p>同じ仕様のもので加圧器内の圧力を計測することにより推定する。</p> <p>② 蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力、格納容器再循環サンプ水位 (広域)</p> <p>蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力が変化することを利用して、蒸気発生器伝熱管破損に伴う蒸気発生器2次側の状態を把握でき、計測誤差 (蒸気発生器水位 (狭域) の誤差: ±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差: ±0.08MPa) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>インターフェイシステム LOCA が発生した場合、格納容器再循環サンプ水位 (広域) が変化しないことを利用して、原子炉格納容器外へ漏えいが生じていることを推定することで原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差: ±2.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>② 1次冷却材温度（広域-高温側）、1次冷却材温度（広域-低温側） 1次冷却材温度（広域-高温側）と1次冷却材温度（広域-低温側）の差により、原子炉出力/1次冷却材温度（広域-高温側）と1次冷却材温度（広域-低温側）の温度差の関係を利用して推定することで原子炉出力を把握でき、計測誤差（1次冷却材温度（広域-高温側）：±4.4℃、1次冷却材温度（広域-低温側）：±4.4℃）を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>なお、本推定手順は原子炉圧力容器内が飽和状態にあることが限定されるものの、原子炉圧力容器内の圧力は上記①で推定ができるため、事故収束を行う上で問題とならない。</p> <p>(4) [復水器排気ガスモニタ] ① 蒸気発生器水位（狭域）、主蒸気ライン圧力 蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力が変化することを利用して、蒸気発生器伝熱管破損に伴う蒸気発生器2次側の状態を把握でき、計測誤差(蒸気発生器水位(狭域)の誤差:±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差:±0.085MPa)を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(5) [蒸気発生器ブローダウン水モニタ] ① 蒸気発生器水位（狭域）、主蒸気ライン圧力 蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力が変化することを利用して、蒸気発生器伝熱管破損に伴う蒸気発生器2次側の状態を把握でき、計測誤差(蒸気発生器水位(狭域)の誤差:±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差:±0.085MPa)を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(6) [高感度型主蒸気管モニタ] ① 蒸気発生器水位（狭域）、主蒸気ライン圧力 蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力が変化することを利用して、蒸気発生器伝熱管破損に伴う蒸気発生器2次側の状態を把握でき、計測誤差(蒸気発生器水位(狭域)の誤差:±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差:±0.085MPa)を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(7) [排気筒ガスモニタ] ① 1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位（広域）、蒸気発生器水位（狭域）、主蒸気ライン圧力 インターフェイスシステムLOCAが発生した場合、1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力が変化する一方、格納容器再循環サンプ水位（広域）には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステムLOCAに伴う1次冷却系及び2次冷却系並びに原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差（1次冷却材圧力（広域）の</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>誤差：±0.25MPa、加圧器水位の誤差：±1.0%、蒸気発生器水位 (狭域) の誤差：±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差：±0.085MPa、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差：±2.0% を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(8) [排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)] ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力 インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力が変化する一方、格納容器再循環サンプ水位 (広域) には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステム LOCA に伴う1次冷却系及び2次冷却系並びに原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差：±0.25MPa、加圧器水位の誤差：±1.0%、蒸気発生器水位 (狭域) の誤差：±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差：±0.085MPa、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差：±2.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(9) [排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)] ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力 インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力が変化する一方、格納容器再循環サンプ水位 (広域) には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステム LOCA に伴う1次冷却系及び2次冷却系並びに原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差：±0.25MPa、加圧器水位の誤差：±1.0%、蒸気発生器水位 (狭域) の誤差：±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差：±0.085MPa、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差：±2.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(10) [補助建屋サンプタンク水位] ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力 インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力が変化する一方、格納容器再循環サンプ水位 (広域) には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステム LOCA に伴う1次冷却系及び2次冷却系並びに原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差：±0.25MPa、加圧器水位の誤差：±1.0%、蒸気発生器水位 (狭域) の誤差：±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差：±0.085MPa、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差：±2.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>(11) [余熱除去ポンプ出口圧力] ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力 インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力が変化する一方、格納容器再循環サンプ水位 (広域) には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステム LOCA に伴う 1 次冷却系及び 2 次冷却系並びに原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1 次冷却材圧力 (広域) の誤差: ±0.25MPa、加圧器水位の誤差: ±1.0%、蒸気発生器水位 (狭域) の誤差: ±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差: ±0.085MPa、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差: ±2.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(12) [加圧器逃がしタンク圧力] ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位 インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA に伴う 1 次冷却系及び原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1 次冷却材圧力 (広域) の誤差: ±0.25MPa、加圧器水位の誤差: ±1.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>② [格納容器サンプ水位] インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、格納容器サンプ水位 (自主対策設備) の上昇がないことの確認により、インターフェイスシステム LOCA に伴う 1 次冷却系及び原子炉格納容器内外の状態を把握することが可能である。</p> <p>(13) [加圧器逃がしタンク水位] ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位 インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA に伴う 1 次冷却系及び原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1 次冷却材圧力 (広域) の誤差: ±0.25MPa、加圧器水位の誤差: ±1.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>② [格納容器サンプ水位] インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、格納容器サンプ水位 (自主対策設備) の上昇がないことの確認により、インターフェイスシステム LOCA に伴う 1 次冷却系及び原子炉格納容器内外の状態を把握することが可能である。</p> <p>(14) [加圧器逃がしタンク温度] ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位 インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1 次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>推定の評価</p>

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA に伴う 1 次冷却系及び原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1 次冷却材圧力 (広域) の誤差: $\pm 0.25\text{MPa}$、加圧器水位の誤差: $\pm 1.0\%$) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>② [格納容器サンプ水位] インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、格納容器サンプ水位 (自主対策設備) の上昇がないことの確認により、インターフェイスシステム LOCA に伴う 1 次冷却系及び原子炉格納容器内外の状態を把握することが可能である。</p> <p>(15) [余熱除去冷却器入口温度] ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位 インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位が変化することを利用して、インターフェイスシステム LOCA に伴う 1 次冷却系及び原子炉格納容器内の状態を把握でき、計測誤差 (1 次冷却材圧力 (広域) の誤差: $\pm 0.25\text{MPa}$、加圧器水位の誤差: $\pm 1.0\%$) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>② [余熱除去ポンプ出口圧力] インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) が変化することを利用して、インターフェイスシステム LOCA に伴う 1 次冷却系及び原子炉格納容器内の状態を把握することが可能である。</p> <p>(16) [余熱除去冷却器出口温度] ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位 インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位が変化することを利用して、インターフェイスシステム LOCA に伴う 1 次冷却系及び格納容器内の状態を把握でき、計測誤差 (1 次冷却材圧力 (広域) の誤差: $\pm 0.25\text{MPa}$、加圧器水位の誤差: $\pm 1.0\%$) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>② [余熱除去ポンプ出口圧力] インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) が変化することを利用して、インターフェイスシステム LOCA に伴う 1 次冷却系及び原子炉格納容器内の状態を把握することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																														
	<p>(n) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (水源の確保)</p> <table border="1" data-bbox="672 236 1220 997"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">水源の確保</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主要パラメータ</td> <td>淡水貯蔵タンク水位</td> <td>0~3,200m³</td> <td>0~3,173m³</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> <td>0~5m (0. P. -2900mm~1100mm)</td> <td>0.05m (0. P. -3850mm)</td> </tr> <tr> <td rowspan="20">代替パラメータ</td> <td>①高圧代替注水ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~120m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~220m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~220m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①高圧駆動低圧注水ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~100m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~150m³/h</td> <td>0~90.0m³/h</td> </tr> <tr> <td>①高圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~1,500m³/h</td> <td>(高圧側) 0~318m³/h (低圧側) 0~1,050m³/h</td> </tr> <tr> <td>①原子炉格納容器下部注水流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~110m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①代替循環冷却ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~200m³/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①残留熱除去系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~1,500m³/h</td> <td>0~1,136m³/h</td> </tr> <tr> <td>①低圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~1,500m³/h</td> <td>0~1,050m³/h</td> </tr> <tr> <td>②高圧代替注水ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~1.9MPa [gage]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②高圧駆動低圧注水ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~2MPa [gage]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②代替循環冷却ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~4MPa [gage]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~1.9MPa [gage]</td> <td>最大値：11.9MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>②高圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~1.2MPa [gage]</td> <td>最大値：10.9MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>②残留熱除去系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~4MPa [gage]</td> <td>最大値：3.7MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>②低圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~6MPa [gage]</td> <td>最大値：4.4MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>②淡水移送ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~1.5MPa [gage]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③原子炉水位 (広帯域) (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>-3,800mm~1,500mm²</td> <td>有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-7,832mm~-1,470mm)²</td> </tr> <tr> <td>③原子炉水位 (燃料域) (淡水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>-3,800mm~1,300mm²</td> <td>有効燃料棒底部程度~ レベル8 (-3,702mm~-5,600mm)²</td> </tr> </tbody> </table>	項目	水源の確保			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	淡水貯蔵タンク水位	0~3,200m ³	0~3,173m ³	圧力抑制室水位	0~5m (0. P. -2900mm~1100mm)	0.05m (0. P. -3850mm)	代替パラメータ	①高圧代替注水ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~120m ³ /h	—	①残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~220m ³ /h	—	①残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~220m ³ /h	—	①高圧駆動低圧注水ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~100m ³ /h	—	①原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~150m ³ /h	0~90.0m ³ /h	①高圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~1,500m ³ /h	(高圧側) 0~318m ³ /h (低圧側) 0~1,050m ³ /h	①原子炉格納容器下部注水流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~110m ³ /h	—	①代替循環冷却ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~200m ³ /h	—	①残留熱除去系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~1,500m ³ /h	0~1,136m ³ /h	①低圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~1,500m ³ /h	0~1,050m ³ /h	②高圧代替注水ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~1.9MPa [gage]	—	②高圧駆動低圧注水ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~2MPa [gage]	—	②代替循環冷却ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~4MPa [gage]	—	②原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~1.9MPa [gage]	最大値：11.9MPa [gage]	②高圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~1.2MPa [gage]	最大値：10.9MPa [gage]	②残留熱除去系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~4MPa [gage]	最大値：3.7MPa [gage]	②低圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~6MPa [gage]	最大値：4.4MPa [gage]	②淡水移送ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~1.5MPa [gage]	—	③原子炉水位 (広帯域) (淡水貯蔵タンク水位の代替)	-3,800mm~1,500mm ²	有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-7,832mm~-1,470mm) ²	③原子炉水位 (燃料域) (淡水貯蔵タンク水位の代替)	-3,800mm~1,300mm ²	有効燃料棒底部程度~ レベル8 (-3,702mm~-5,600mm) ²	<p>(q) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他グループを除く) による推定方法について (水源の確保)</p> <table border="1" data-bbox="1254 236 1803 1061"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">水源の確保</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">主要パラメータ</td> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット水位</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">代替パラメータ</td> <td>①格納容器再循環サンプ水位 (広域) (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~1,300m³/h (0~10,000m³)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>② (格納容器スプレイ流量) (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>□ h</td> </tr> <tr> <td>②高圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~350m³/h</td> <td>280m³/h</td> </tr> <tr> <td>②低圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~1,100m³/h</td> <td>1,090m³/h</td> </tr> <tr> <td>② (充てん流量) (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~70m³/h</td> <td>56.8m³/h</td> </tr> <tr> <td>②代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (燃料取替用水ビット水位及び補助給水ビット水位の代替)</td> <td>0~200m³/h (0~10,000m³)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①補助給水流量 (補助給水ビット水位の代替)</td> <td>0~130m³/h</td> <td>50m³/h</td> </tr> <tr> <td>① (緊急ほう酸注入ライン流量) (ほう酸タンク水位の代替)</td> <td>0~35m³/h</td> <td>13.6m³/h</td> </tr> <tr> <td>②出力領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)</td> <td>0~120% (3.3×10⁸~ 1.2×10¹⁰cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>②中間領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)</td> <td>10¹¹~5×10¹⁰A (1.3×10⁸~6.6× 10⁹cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 検囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	項目	水源の確保			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	燃料取替用水ビット水位	0~100%	100%	補助給水ビット水位	0~100%	100%	ほう酸タンク水位	0~100%	100%	代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位 (広域) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~100%	100%	②B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~1,300m ³ /h (0~10,000m ³)	—	② (格納容器スプレイ流量) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~1,300m ³ /h	□ h	②高圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~350m ³ /h	280m ³ /h	②低圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~1,100m ³ /h	1,090m ³ /h	② (充てん流量) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~70m ³ /h	56.8m ³ /h	②代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (燃料取替用水ビット水位及び補助給水ビット水位の代替)	0~200m ³ /h (0~10,000m ³)	—	①補助給水流量 (補助給水ビット水位の代替)	0~130m ³ /h	50m ³ /h	① (緊急ほう酸注入ライン流量) (ほう酸タンク水位の代替)	0~35m ³ /h	13.6m ³ /h	②出力領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)	0~120% (3.3×10 ⁸ ~ 1.2×10 ¹⁰ cm ⁻² ・s ⁻¹)	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	②中間領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)	10 ¹¹ ~5×10 ¹⁰ A (1.3×10 ⁸ ~6.6× 10 ⁹ cm ⁻² ・s ⁻¹)	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	
項目	水源の確保																																																																																																																																
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																														
主要パラメータ	淡水貯蔵タンク水位	0~3,200m ³	0~3,173m ³																																																																																																																														
	圧力抑制室水位	0~5m (0. P. -2900mm~1100mm)	0.05m (0. P. -3850mm)																																																																																																																														
代替パラメータ	①高圧代替注水ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~120m ³ /h	—																																																																																																																														
	①残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~220m ³ /h	—																																																																																																																														
	①残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~220m ³ /h	—																																																																																																																														
	①高圧駆動低圧注水ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~100m ³ /h	—																																																																																																																														
	①原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~150m ³ /h	0~90.0m ³ /h																																																																																																																														
	①高圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~1,500m ³ /h	(高圧側) 0~318m ³ /h (低圧側) 0~1,050m ³ /h																																																																																																																														
	①原子炉格納容器下部注水流量 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~110m ³ /h	—																																																																																																																														
	①代替循環冷却ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~200m ³ /h	—																																																																																																																														
	①残留熱除去系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~1,500m ³ /h	0~1,136m ³ /h																																																																																																																														
	①低圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~1,500m ³ /h	0~1,050m ³ /h																																																																																																																														
	②高圧代替注水ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~1.9MPa [gage]	—																																																																																																																														
	②高圧駆動低圧注水ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~2MPa [gage]	—																																																																																																																														
	②代替循環冷却ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~4MPa [gage]	—																																																																																																																														
	②原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~1.9MPa [gage]	最大値：11.9MPa [gage]																																																																																																																														
	②高圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~1.2MPa [gage]	最大値：10.9MPa [gage]																																																																																																																														
	②残留熱除去系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~4MPa [gage]	最大値：3.7MPa [gage]																																																																																																																														
	②低圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~6MPa [gage]	最大値：4.4MPa [gage]																																																																																																																														
	②淡水移送ポンプ出口圧力 (淡水貯蔵タンク水位の代替)	0~1.5MPa [gage]	—																																																																																																																														
	③原子炉水位 (広帯域) (淡水貯蔵タンク水位の代替)	-3,800mm~1,500mm ²	有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-7,832mm~-1,470mm) ²																																																																																																																														
	③原子炉水位 (燃料域) (淡水貯蔵タンク水位の代替)	-3,800mm~1,300mm ²	有効燃料棒底部程度~ レベル8 (-3,702mm~-5,600mm) ²																																																																																																																														
項目	水源の確保																																																																																																																																
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																														
主要パラメータ	燃料取替用水ビット水位	0~100%	100%																																																																																																																														
	補助給水ビット水位	0~100%	100%																																																																																																																														
	ほう酸タンク水位	0~100%	100%																																																																																																																														
代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位 (広域) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~100%	100%																																																																																																																														
	②B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~1,300m ³ /h (0~10,000m ³)	—																																																																																																																														
	② (格納容器スプレイ流量) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~1,300m ³ /h	□ h																																																																																																																														
	②高圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~350m ³ /h	280m ³ /h																																																																																																																														
	②低圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~1,100m ³ /h	1,090m ³ /h																																																																																																																														
	② (充てん流量) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~70m ³ /h	56.8m ³ /h																																																																																																																														
	②代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (燃料取替用水ビット水位及び補助給水ビット水位の代替)	0~200m ³ /h (0~10,000m ³)	—																																																																																																																														
	①補助給水流量 (補助給水ビット水位の代替)	0~130m ³ /h	50m ³ /h																																																																																																																														
	① (緊急ほう酸注入ライン流量) (ほう酸タンク水位の代替)	0~35m ³ /h	13.6m ³ /h																																																																																																																														
	②出力領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)	0~120% (3.3×10 ⁸ ~ 1.2×10 ¹⁰ cm ⁻² ・s ⁻¹)	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																																																														
②中間領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)	10 ¹¹ ~5×10 ¹⁰ A (1.3×10 ⁸ ~6.6× 10 ⁹ cm ⁻² ・s ⁻¹)	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="674 156 763 244">代替 パラメータ</td> <td data-bbox="763 156 943 244">①原子炉水位 (SA広帯域) (復水貯蔵タンク水位の代替) -3,800mm~1,500mm²</td> <td data-bbox="943 156 1223 244">有効燃料棒底部程度~ レベル4-8 (-7,832mm~1,470mm) [※] 有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-3,702mm~5,600mm) [※]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="674 244 763 339">計測目的</td> <td colspan="2" data-bbox="763 244 1223 339">*1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより1,313cm上のところとする (ドライヤースカート底部付近)。 *2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより900cm上のところとする (有効燃料棒底部付近)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="674 339 763 871">推定方法</td> <td colspan="2" data-bbox="763 339 1223 871"> <p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの流量と経過時間より算出した注水量から推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。 推定可能範囲: 0~3,200m³</p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 サブプレッションチェンバを水源とする代替循環冷却ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量から代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレィ系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッションチェンバのプール水が確保されていることを推定する。</p> <p>③原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域) 注水先である原子炉水位を計測することにより、水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることを推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="674 871 763 1473">推定の詳細</td> <td colspan="2" data-bbox="763 871 1223 1473"> <p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの注水量による推定方法は、直前まで判明していた復水貯蔵タンクの水位を用いて推定するため、プラントの状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 本推定方法の目的は、代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレィ系ポンプ運転時における水源である圧力抑制帯水位の確保を確認することであり、これらのポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源である</p> </td> </tr> </table>	代替 パラメータ	①原子炉水位 (SA広帯域) (復水貯蔵タンク水位の代替) -3,800mm~1,500mm ²	有効燃料棒底部程度~ レベル4-8 (-7,832mm~1,470mm) [※] 有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-3,702mm~5,600mm) [※]	計測目的	*1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより1,313cm上のところとする (ドライヤースカート底部付近)。 *2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより900cm上のところとする (有効燃料棒底部付近)		推定方法	<p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの流量と経過時間より算出した注水量から推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。 推定可能範囲: 0~3,200m³</p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 サブプレッションチェンバを水源とする代替循環冷却ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量から代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレィ系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッションチェンバのプール水が確保されていることを推定する。</p> <p>③原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域) 注水先である原子炉水位を計測することにより、水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることを推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p>		推定の詳細	<p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの注水量による推定方法は、直前まで判明していた復水貯蔵タンクの水位を用いて推定するため、プラントの状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 本推定方法の目的は、代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレィ系ポンプ運転時における水源である圧力抑制帯水位の確保を確認することであり、これらのポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源である</p>		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1258 156 1326 212">代替 パラメータ</td> <td data-bbox="1326 156 1527 212">②中性子源領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)</td> <td data-bbox="1527 156 1807 212">1~10⁶cps (10⁴~10⁷cm⁻²・ s⁻¹) 最大値: 定格出力の約194倍 (別群群飛び出し)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1258 212 1326 994">推定方法</td> <td colspan="2" data-bbox="1326 212 1807 994"> <p>①格納容器再循環サンプ水位 (広域) 注入先である格納容器再循環サンプ水位 (広域) を計測することにより、水源である燃料取替用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取替用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>②燃料取替用水ビットを水源とするポンプ注水量 燃料取替用水ビットを水源とするB-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)、格納容器スプレィ流量 (自主対策設備)、高圧注入流量、低圧注入流量、充てん流量 (自主対策設備) 及び代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量から格納容器スプレィポンプ、高圧注入ポンプ、余熱除去ポンプ、充てんポンプ及び代替格納容器スプレィポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である燃料取替用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取替用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>③補助給水ビットを水源とするポンプ注水量 補助給水ビットを水源とする補助給水流量及び代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量から補助給水ポンプ及び代替格納容器スプレィポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である補助給水ビット水位が確保されていることを推定する。補助給水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>④ほう酸タンクを水源とするポンプ注水量 ほう酸タンクを水源とする緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) からほう酸ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるほう酸タンク水位が確保されていることを推定する。</p> </td> </tr> </table>	代替 パラメータ	②中性子源領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)	1~10 ⁶ cps (10 ⁴ ~10 ⁷ cm ⁻² ・ s ⁻¹) 最大値: 定格出力の約194倍 (別群群飛び出し)	推定方法	<p>①格納容器再循環サンプ水位 (広域) 注入先である格納容器再循環サンプ水位 (広域) を計測することにより、水源である燃料取替用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取替用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>②燃料取替用水ビットを水源とするポンプ注水量 燃料取替用水ビットを水源とするB-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)、格納容器スプレィ流量 (自主対策設備)、高圧注入流量、低圧注入流量、充てん流量 (自主対策設備) 及び代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量から格納容器スプレィポンプ、高圧注入ポンプ、余熱除去ポンプ、充てんポンプ及び代替格納容器スプレィポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である燃料取替用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取替用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>③補助給水ビットを水源とするポンプ注水量 補助給水ビットを水源とする補助給水流量及び代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量から補助給水ポンプ及び代替格納容器スプレィポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である補助給水ビット水位が確保されていることを推定する。補助給水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>④ほう酸タンクを水源とするポンプ注水量 ほう酸タンクを水源とする緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) からほう酸ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるほう酸タンク水位が確保されていることを推定する。</p>		
代替 パラメータ	①原子炉水位 (SA広帯域) (復水貯蔵タンク水位の代替) -3,800mm~1,500mm ²	有効燃料棒底部程度~ レベル4-8 (-7,832mm~1,470mm) [※] 有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-3,702mm~5,600mm) [※]																			
計測目的	*1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより1,313cm上のところとする (ドライヤースカート底部付近)。 *2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより900cm上のところとする (有効燃料棒底部付近)																				
推定方法	<p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの流量と経過時間より算出した注水量から推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。 推定可能範囲: 0~3,200m³</p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 サブプレッションチェンバを水源とする代替循環冷却ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量から代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレィ系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッションチェンバのプール水が確保されていることを推定する。</p> <p>③原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域) 注水先である原子炉水位を計測することにより、水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることを推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p>																				
推定の詳細	<p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの注水量による推定方法は、直前まで判明していた復水貯蔵タンクの水位を用いて推定するため、プラントの状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 本推定方法の目的は、代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレィ系ポンプ運転時における水源である圧力抑制帯水位の確保を確認することであり、これらのポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源である</p>																				
代替 パラメータ	②中性子源領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)	1~10 ⁶ cps (10 ⁴ ~10 ⁷ cm ⁻² ・ s ⁻¹) 最大値: 定格出力の約194倍 (別群群飛び出し)																			
推定方法	<p>①格納容器再循環サンプ水位 (広域) 注入先である格納容器再循環サンプ水位 (広域) を計測することにより、水源である燃料取替用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取替用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>②燃料取替用水ビットを水源とするポンプ注水量 燃料取替用水ビットを水源とするB-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)、格納容器スプレィ流量 (自主対策設備)、高圧注入流量、低圧注入流量、充てん流量 (自主対策設備) 及び代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量から格納容器スプレィポンプ、高圧注入ポンプ、余熱除去ポンプ、充てんポンプ及び代替格納容器スプレィポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である燃料取替用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取替用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>③補助給水ビットを水源とするポンプ注水量 補助給水ビットを水源とする補助給水流量及び代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量から補助給水ポンプ及び代替格納容器スプレィポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である補助給水ビット水位が確保されていることを推定する。補助給水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>④ほう酸タンクを水源とするポンプ注水量 ほう酸タンクを水源とする緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) からほう酸ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるほう酸タンク水位が確保されていることを推定する。</p>																				

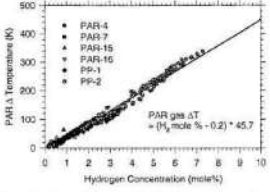
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>圧力制御室水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>②復水貯蔵タンクを水源とするポンプ出口圧力 本推定方法の目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水における水源である復水貯蔵タンク水位の確保を確認することであり、高圧代替注水系ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、原子炉隔離時冷却系ポンプ、高圧炉心スプレイ系ポンプ及び復水移送ポンプが正常に動作していることをポンプ出口圧力で確認することで、必要な水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>③サブプレッションチャンバを水源とするポンプ出口圧力 本推定方法の目的は、代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプ運転時における水源であるサブプレッションチャンバのブル水位の確保を確認することであり、代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプが正常に動作していることをポンプ出口圧力で確認することで、必要な水源であるサブプレッションチャンバのブル水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>④原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA 広帯域)、原子炉水位 (SA 燃料域) 本推定方法の目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水における水源である復水貯蔵タンクの水位の確保を確認することであり、注水先の原子炉水位の水位変化を確認することで、必要な水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>[誤差による影響について] 水源の確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水が継続可能であるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量及び出口圧力、サブプレッションチャンバを水源とするポンプ注水量及び出口圧力) による推定は、注水設備によるパラメータから必要な水源が確保されていることの傾向を把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(高圧代替注水系ポンプ出口流量の誤差: ±1.9m³/h、残留熱除去系高圧ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) の誤差: ±3.6m³/h、残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン流量) の誤差: ±3.6m³/h、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量の誤差: ±1.6m³/h、代替循環冷却ポンプ出口流量の誤差: ±3.3m³/h、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量の誤差: ±2.4m³/h、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量の誤差: ±3.4m³/h、残留熱除去系ポンプ出口流量の誤差: ±2.6m³/h、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量の誤差: ±2.4m³/h、原子炉格納容器下層注水流量の誤差: ±1.8m³/h、高圧代替注水系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.1MPa、直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.01MPa、代替循環冷却ポンプ出口圧力の誤差: ±0.02MPa、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.1MPa、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.08MPa、残留熱除去系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.02MPa、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.02MPa、復水移送ポンプ出口圧力の誤差: ±0.01MPa、原子炉水位 (広帯域) の誤差: ±45mm、原子炉水位 (燃料域) の誤差: ±44mm、原子炉水位 (SA 広帯域) の誤差: ±45mm、原子炉水位 (SA 燃料域) の誤差: ±43mm)</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>②ほう酸タンクを水源とする炉心への負の反応度添加 ほう酸タンクを水源とする炉心への負の反応度添加から出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束の指示が低下していることを把握することにより、水源であるほう酸タンク水位が確保されていることを推定する。</p> <p>①格納容器再循環サンプ水位 (広域) 本推定方法の目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水における水源である燃料取替用水ピットの水位の確保を確認することであり、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化を確認することで、必要な水源である燃料取替用水ピット水位が確保されていることを推定できることから、適用可能である。なお、燃料取替用水ピット以外からの注水がないことを前提とする。</p> <p>②燃料取替用水ピットを水源とするポンプ注水量 本推定方法の目的は、格納容器スプレイポンプ、高圧注入ポンプ、余熱除去ポンプ、充てんポンプ及び代替格納容器スプレイポンプ運転時における水源である燃料取替用水ピット水位の確保を確認することであり、これらのポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源である燃料取替用水ピット水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。なお、燃料取替用水ピット以外からの注水がないことを前提とする。</p> <p>③補助給水ピットを水源とするポンプ注水量 本推定方法の目的は、補助給水ポンプ及び代替格納容器スプレイポンプ運転時における水源である補助給水ピット水位の確保を確認することであり、これらのポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源である補助給水ピット水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。なお、補助給水ピット以外からの注水がないことを前提とする。</p> <p>①ほう酸タンクを水源とするポンプ注水量 本推定方法の目的は、ほう酸タンク運転時における水源であるほう酸タンク水位の確保を確認することであり、このポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源であるほう酸タンク水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>②ほう酸タンクを水源とする炉心への負の反応度添加 本推定方法の目的は、炉心への負の反応度添加時における水源であるほう酸タンク水位の確保を確認することであり、出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束の指示が低下していることを確認することで、必要な水源であるほう酸タンク水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>[誤差による影響について] 水源の確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水が継続可能であるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (格納容器再循環サンプ水位 (広域)、燃料取替用水ピットを水源とするポンプ注水量、補助給水ピットを水源とするポンプ注水量、ほう酸タンクを水源とするポンプ注水量) による推定は、注水設備によるパラメータから必要な水源が確保されていることの傾向を把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差: ±2.0%、B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の誤差: ±11.3m³/h、高圧注入流量の誤差: ±2.7m³/h、低圧注入流量の誤差: ±8.9m³/h、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の誤差: ±1.7m³/h、補助給水流量の誤差: ±2.6m³/h) 代替パラメータ (ほう酸タンクを水源とする炉心への負の反応度添加) による推定は、炉心へのほう酸水注入に伴う負の反応度が追加されていることを出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束を傾向監視することにより水源の有無を把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(出力領域中性子束の誤差: ±1.0%、中間領域中性子束の誤差: $5.4 \times 10^{11} \sim 1.9 \times 10^{10}$ A (N: -11 ~ -3)、中性子源領域中性子束の誤差: $6.6 \times 10^{11} \sim 1.6 \times 10^{10}$ cps (N: 0 ~ 6))</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

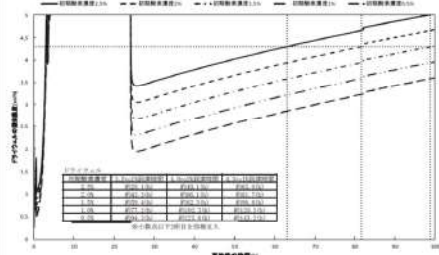
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>(a) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉建屋内の水素濃度)</p> <table border="1" data-bbox="667 229 1227 347"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">原子炉建屋内水素濃度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>原子炉建屋内水素濃度</td> <td>0~10vol%</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>①静的触媒式水素再結合装置動作監視装置</td> <td>0~500℃</td> </tr> </tbody> </table> <p>計測目的 重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉建屋内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器からの水素漏えいがあるかどうかの検定である。</p> <p>推定方法 原子炉建屋内の水素濃度の主要パラメータである原子炉建屋内水素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの静的触媒式水素再結合装置動作監視装置により推定する。推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 原子炉建屋内水素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 (静的触媒式水素再結合装置入口/出口の差温度から水素濃度を推定) により推定する。</p> <p>推定可能範囲：0~約4vol%</p>  <p>Fig. 13. PAR gas ΔT as a function of hydrogen concentration.</p> <p>図 58-8-17 静的触媒式水素再結合装置の入口/出口の差温度と水素濃度の関係</p> <p>【出典】 Nuclear Technology Vol. 129 Mar. 2000 TESTING A PASSIVE AUTOCATALYTIC RECOMBINER IN THE SIRTSEY FACILITY THOMAS K. BLANCHAT Sandia National Laboratories</p> <p>②静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 原子炉建屋内の水素が静的触媒式水素再結合装置で処理された場合、発熱反応が生じ、装置の入口と出口温度に差が生じる。これを計測することにより静的触媒式水素再結合装置に入る水素濃度が推定することができることから、原子炉建屋水素濃度の推定方法として妥当である。</p> <p>【誤差による影響について】 原子炉建屋内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器からの水素漏えいを把握することであり、代替パラメータ (静的触媒式水素再結合装置動作監視装置) による静的触媒式水素再結合装置の動作有無並びに入口及び出口の差温度の状況から水素漏えいの傾向を把握でき、計測誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の負荷を軽減することが可能である。(静的触媒式水素再結合装置動作監視装置の温度計の誤差：約±5.0℃から差温度として最大11.0℃程度の誤差)</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	項目	原子炉建屋内水素濃度			監視パラメータ	計測範囲	主要パラメータ	原子炉建屋内水素濃度	0~10vol%	代替パラメータ	①静的触媒式水素再結合装置動作監視装置	0~500℃		
項目	原子炉建屋内水素濃度														
	監視パラメータ	計測範囲													
主要パラメータ	原子炉建屋内水素濃度	0~10vol%													
代替パラメータ	①静的触媒式水素再結合装置動作監視装置	0~500℃													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																									
	<p>(p) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の酸素濃度)</p> <table border="1" data-bbox="674 240 1227 368"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の酸素濃度</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内空気酸素濃度</td> <td>0~30vol%</td> <td>約4.3vol%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替パラメータ</td> <td>①格納容器内空気放射線モニタ(D/R)</td> <td>10⁻⁵Sv/h~10⁵Sv/h</td> <td>10⁵Sv/h未達</td> </tr> <tr> <td>②格納容器内空気放射線モニタ(S/C)</td> <td>10⁻⁵Sv/h~10⁵Sv/h</td> <td>10⁵Sv/h未達</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計測目的</td> <td>①ドライウェル圧力</td> <td>0~1MPa(abs)</td> <td>330kPa(gage)以下</td> </tr> <tr> <td>②圧力制御室圧力</td> <td>0~1MPa(abs)</td> <td>210kPa(gage)以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の酸素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。</p> <p>原子炉格納容器内の酸素濃度の主要パラメータである格納容器内空気酸素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内空気放射線モニタ(D/R)及び格納容器内空気放射線モニタ(S/C)にて中心損傷を判断した後、評価結果(解析結果)により格納容器内空気酸素濃度を推定する。</p> <p>また、事故後の原子炉格納容器内の圧力を監視することで、原子炉格納容器内への空気流入有無を把握し、水素が燃焼を生じる可能性を推定する。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①格納容器内空気放射線モニタ(D/R)、格納容器内空気放射線モニタ(S/C) 格納容器内空気酸素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内空気放射線モニタ(D/R)及び格納容器内空気放射線モニタ(S/C)にて中心損傷を判断した後、初期酸素濃度と可燃性ガス濃度制御系の性能評価に用いている保守的なG値(沸騰状態の場合G(02)=0.4、G(02)=0.2、非沸騰状態の場合G(02)=0.25、G(02)=0.125)を入力とした評価結果(解析結果)により推定する。</p> <p>推定可能範囲：0~約5vol%</p>  <p>図 58-8-18 格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器内酸素濃度 (ドライウェル) (原子炉格納容器内への空気供給なし) (ドライ条件)</p>	項目	原子炉格納容器内の酸素濃度			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内空気酸素濃度	0~30vol%	約4.3vol%	代替パラメータ	①格納容器内空気放射線モニタ(D/R)	10 ⁻⁵ Sv/h~10 ⁵ Sv/h	10 ⁵ Sv/h未達	②格納容器内空気放射線モニタ(S/C)	10 ⁻⁵ Sv/h~10 ⁵ Sv/h	10 ⁵ Sv/h未達	計測目的	①ドライウェル圧力	0~1MPa(abs)	330kPa(gage)以下	②圧力制御室圧力	0~1MPa(abs)	210kPa(gage)以下		
項目	原子炉格納容器内の酸素濃度																											
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																									
主要パラメータ	格納容器内空気酸素濃度	0~30vol%	約4.3vol%																									
代替パラメータ	①格納容器内空気放射線モニタ(D/R)	10 ⁻⁵ Sv/h~10 ⁵ Sv/h	10 ⁵ Sv/h未達																									
	②格納容器内空気放射線モニタ(S/C)	10 ⁻⁵ Sv/h~10 ⁵ Sv/h	10 ⁵ Sv/h未達																									
計測目的	①ドライウェル圧力	0~1MPa(abs)	330kPa(gage)以下																									
	②圧力制御室圧力	0~1MPa(abs)	210kPa(gage)以下																									

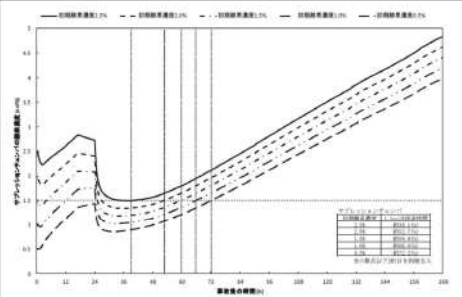
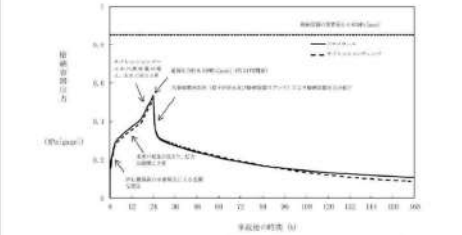
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>標準方法</p> </div> <div style="width: 60%;"> <p>図 58-8-19 格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器内酸素濃度 (サブプレッションフェーズ) (原子炉格納容器内への窒素供給なし) (ドライ条件)</p> <p>図 58-8-20 格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器内酸素濃度 (ドライフェーズ) (原子炉格納容器内への窒素供給なし) (ウェット条件)</p> </div> <div style="width: 20%;"></div> </div>		

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	 <p>図 58-8-21 格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器内酸素濃度 (サブプレッションフェーズ) (原子炉格納容器内への蒸気供給なし) (ウェット条件)</p> <p>①ドライウェル圧力、圧力抑圧室圧力 原子炉格納容器内の酸素を把握する目的としては、事故後の原子炉格納容器内の水素が燃焼を生じる可能性の把握である。 ドライウェル圧力又は圧力抑圧室圧力により、原子炉格納容器内の圧力が正圧であることを確認することで、事故後の原子炉格納容器内への空気 (酸素) の流入有無を把握し、水素燃焼の可能性を推定する。 なお、非常時操作手順において、原子炉格納容器内の圧力を変化させる原子炉格納容器スプレイ実施時には、原子炉格納容器内への空気 (酸素) の流入防止を目的として、ドライウェル圧力又は圧力抑圧室圧力が 13.7kPa [gauge] 以上であることを確認してスプレイ操作を判断することとしている。 格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器圧力の変化を図 58-8-22 に示す。有効性評価の結果では、格納容器圧力が正圧に保たれる結果となっており、原子炉格納容器への空気流入の可能性がないことを確認している。</p>  <p>図 58-8-22 格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器圧力の推移</p>		

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	<p>①格納容器内蒸気放射線モニタ (D/Q)、格納容器内蒸気放射線モニタ (S/C) 炉心損傷直後の初期熱源濃度と保守的な値を入力とした評価結果 (解析結果) では、実際の原子炉格納容器内の熱源濃度よりも高く評価されることになるが、原子炉格納容器内の水素燃焼を防止する目的のためには、妥当な推定手段である。</p> <p>②ドライウェル圧力、圧力抑制室圧力 格納容器内圧力を確認し、事故後の原子炉格納容器内への空気 (酸素) の流入有無を把握することは、炉心損傷直後の初期熱源濃度と可燃性ガス濃度制御系の性能評価に用いている保守的な値を入力とした評価結果 (解析結果) の信頼性を上げることとなることから、原子炉格納容器内での水素燃焼の可能性を把握する目的のためには、妥当な推定手段である。</p> <p>推定の評価 【酸素による影響について】 原子炉格納容器内の熱源濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (格納容器内蒸気放射線モニタ (D/Q)、格納容器内蒸気放射線モニタ (S/C)、ドライウェル圧力、圧力抑制室圧力) による原子炉格納容器内の熱源濃度の傾向及び原子炉格納容器への空気流入の有無の傾向を把握でき、計器誤差 (格納容器内蒸気放射線モニタ (D/Q) の誤差: ±0.29 デカード (B.2×10⁻⁵ Sv/h~1.9×10⁻⁵ Sv/h)、格納容器内蒸気放射線モニタ (S/C) の誤差: ±0.29 デカード (B.2×10⁻⁵ Sv/h~1.9×10⁻⁵ Sv/h)、ドライウェル圧力の誤差: ±0.000MPa、圧力抑制室圧力の誤差: ±0.000MPa) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

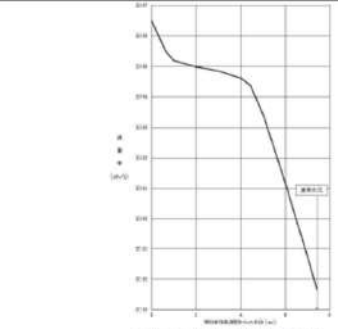
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
	<p>(q) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (使用済燃料プールの監視)</p> <table border="1" data-bbox="672 236 1227 1050"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">使用済燃料プールの監視</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要パラメータ</td> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)</td> <td>0~7.010mm^g 0~150℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)</td> <td>-4.300mm~7.300mm^g 0~120℃</td> <td>0.P.32895mm 最大値: 65℃</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)</td> <td>10⁴nSv/h~10⁶nSv/h 10⁴nSv/h~10⁶nSv/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">代替パラメータ</td> <td>①使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)</td> <td>-4.300mm~7.300mm^g 0~120℃</td> <td>0.P.32895mm 最大値: 65℃</td> </tr> <tr> <td>①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)</td> <td>0~7.010mm^g</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)</td> <td>0~150℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) ②使用済燃料プール監視カメラの代替)</td> <td>10⁴nSv/h~10⁶nSv/h 10⁴nSv/h~10⁶nSv/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) ③使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) の代替)</td> <td>10⁴nSv/h~10⁶nSv/h 10⁴nSv/h~10⁶nSv/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②使用済燃料プール監視カメラ ③使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) の代替)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">*1: 計測範囲の聖は、使用済燃料貯蔵ラック上層 (0.P.23920mm) のところとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計測目的 重大事故等において、主要パラメータにて使用済燃料プールを監視する目的は、使用済燃料プール内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することである。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">推定方法 使用済燃料プール監視の主要パラメータである使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 及び使用済燃料プール監視カメラにより推定する。 使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。 使用済燃料プール監視カメラによる監視が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) により推定する。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	使用済燃料プールの監視			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)	0~7.010mm ^g 0~150℃	—	使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)	-4.300mm~7.300mm ^g 0~120℃	0.P.32895mm 最大値: 65℃	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h 10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h	—	使用済燃料プール監視カメラ	—	—	代替パラメータ	①使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)	-4.300mm~7.300mm ^g 0~120℃	0.P.32895mm 最大値: 65℃	①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)	0~7.010mm ^g	—	①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)	0~150℃	—	①使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) ②使用済燃料プール監視カメラの代替)	10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h 10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h	—	②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) ③使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) の代替)	10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h 10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h	—	②使用済燃料プール監視カメラ ③使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) の代替)	—	—	*1: 計測範囲の聖は、使用済燃料貯蔵ラック上層 (0.P.23920mm) のところとする。			計測目的 重大事故等において、主要パラメータにて使用済燃料プールを監視する目的は、使用済燃料プール内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することである。			推定方法 使用済燃料プール監視の主要パラメータである使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 及び使用済燃料プール監視カメラにより推定する。 使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。 使用済燃料プール監視カメラによる監視が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) により推定する。			<p>(r) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他グループを除く) による推定方法について (使用済燃料ピットの監視)</p> <table border="1" data-bbox="1254 236 1814 1050"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">使用済燃料ピットの監視</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">主要パラメータ</td> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用)</td> <td>T.P.25.24~ T.P.32.76m</td> <td rowspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>T.P.21.30~ T.P.32.76m</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>0~100℃</td> <td rowspan="4">—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット可搬型エアロモニタ</td> <td>10nSv/h~ 1,000nSv/h</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピット水位〕</td> <td>T.P.32.26~ T.P.32.76m</td> <td>T.P.32.66m</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピット温度〕</td> <td>0~100℃</td> <td>52℃以下</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピットエアロモニタ〕</td> <td>i~10⁴nSv/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水温計〕</td> <td>-40~510℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水位計〕</td> <td>0.6~16m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水位・水温計〕</td> <td>30m 0~100℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>①使用済燃料ピット水位 (可搬型) 〔使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット監視カメラ、〔使用済燃料ピット水位〕、〔携帯型水位計〕及び〔携帯型水位・水温計〕の代替)</td> <td>T.P.21.30~ T.P.32.76m</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	使用済燃料ピットの監視			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	使用済燃料ピット水位 (AM用)	T.P.25.24~ T.P.32.76m	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	T.P.21.30~ T.P.32.76m	使用済燃料ピット温度 (AM用)	0~100℃	—	使用済燃料ピット可搬型エアロモニタ	10nSv/h~ 1,000nSv/h	使用済燃料ピット監視カメラ	—	〔使用済燃料ピット水位〕	T.P.32.26~ T.P.32.76m	T.P.32.66m	〔使用済燃料ピット温度〕	0~100℃	52℃以下	〔使用済燃料ピットエアロモニタ〕	i~10 ⁴ nSv/h	—	〔携帯型水温計〕	-40~510℃	—	〔携帯型水位計〕	0.6~16m	—	〔携帯型水位・水温計〕	30m 0~100℃	—	代替パラメータ	①使用済燃料ピット水位 (可搬型) 〔使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット監視カメラ、〔使用済燃料ピット水位〕、〔携帯型水位計〕及び〔携帯型水位・水温計〕の代替)	T.P.21.30~ T.P.32.76m	—	
項目	使用済燃料プールの監視																																																																																												
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																										
主要パラメータ	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)	0~7.010mm ^g 0~150℃	—																																																																																										
	使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)	-4.300mm~7.300mm ^g 0~120℃	0.P.32895mm 最大値: 65℃																																																																																										
	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h 10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h	—																																																																																										
	使用済燃料プール監視カメラ	—	—																																																																																										
代替パラメータ	①使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)	-4.300mm~7.300mm ^g 0~120℃	0.P.32895mm 最大値: 65℃																																																																																										
	①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)	0~7.010mm ^g	—																																																																																										
	①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)	0~150℃	—																																																																																										
	①使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) ②使用済燃料プール監視カメラの代替)	10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h 10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h	—																																																																																										
	②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) ③使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) の代替)	10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h 10 ⁴ nSv/h~10 ⁶ nSv/h	—																																																																																										
	②使用済燃料プール監視カメラ ③使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) の代替)	—	—																																																																																										
	*1: 計測範囲の聖は、使用済燃料貯蔵ラック上層 (0.P.23920mm) のところとする。																																																																																												
	計測目的 重大事故等において、主要パラメータにて使用済燃料プールを監視する目的は、使用済燃料プール内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することである。																																																																																												
	推定方法 使用済燃料プール監視の主要パラメータである使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 及び使用済燃料プール監視カメラにより推定する。 使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。 使用済燃料プール監視カメラによる監視が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) により推定する。																																																																																												
	項目	使用済燃料ピットの監視																																																																																											
監視パラメータ		計測範囲	設計基準																																																																																										
主要パラメータ	使用済燃料ピット水位 (AM用)	T.P.25.24~ T.P.32.76m	—																																																																																										
	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	T.P.21.30~ T.P.32.76m																																																																																											
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	0~100℃	—																																																																																										
	使用済燃料ピット可搬型エアロモニタ	10nSv/h~ 1,000nSv/h																																																																																											
	使用済燃料ピット監視カメラ	—																																																																																											
	〔使用済燃料ピット水位〕	T.P.32.26~ T.P.32.76m		T.P.32.66m																																																																																									
	〔使用済燃料ピット温度〕	0~100℃	52℃以下																																																																																										
	〔使用済燃料ピットエアロモニタ〕	i~10 ⁴ nSv/h	—																																																																																										
	〔携帯型水温計〕	-40~510℃	—																																																																																										
	〔携帯型水位計〕	0.6~16m	—																																																																																										
〔携帯型水位・水温計〕	30m 0~100℃	—																																																																																											
代替パラメータ	①使用済燃料ピット水位 (可搬型) 〔使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット監視カメラ、〔使用済燃料ピット水位〕、〔携帯型水位計〕及び〔携帯型水位・水温計〕の代替)	T.P.21.30~ T.P.32.76m	—																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>測定方法は、以下のとおりである。</p> <p>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) により使用済燃料プールの冷却状況を推定する。 推定可能範囲：有効燃料棒下端近傍～有効燃料棒頂部+7.3m</p> <p>②代替パラメータの使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) により水位/放射線量の関係を利用して図58-8-23より必要な水位が確保されていることを推定するとともに使用済燃料プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) ①使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) により使用済燃料プールの冷却状況を推定する。 推定可能範囲：使用済燃料貯蔵ラック上端近傍～有効燃料棒頂部+約7m</p> <p>②代替パラメータの使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) により水位/放射線量の関係を利用して図58-8-23より必要な水位が確保されていることを推定するとともに使用済燃料プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) ①使用済燃料プール放射線モニタ (高線量、低線量) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 及び使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) により水位/放射線量の関係を利用して図58-8-23より必要な水遮蔽が確保されていることを推定する。 推定可能範囲：5.4×10⁻⁵Sv/h～10⁻⁶Sv/h</p> <p>②使用済燃料プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料プール監視カメラ ①使用済燃料プール監視カメラによる監視が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) 及び使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) により使用済燃料プールの状態を監視する。 推定可能範囲：各計測設備の計測範囲</p>	<p>①使用済燃料ビット水位 (AM用) (使用済燃料ビット水位 (可搬型)、使用済燃料ビット温度 (AM用)、使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ビット監視カメラ、〔使用済燃料ビット水位〕、〔携帯型水位計〕及び〔携帯型水位・水温計〕の代替)</p> <p>T.P.25.24～ T.P.32.76m</p> <p>—</p> <p>①〔使用済燃料ビット水位〕 (使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用済燃料ビット水位 (可搬型) の代替)</p> <p>T.P.32.26～ T.P.32.76m</p> <p>—</p> <p>①使用済燃料ビット温度 (AM用) (使用済燃料ビット監視カメラ、〔使用済燃料ビット温度〕、〔携帯型水温計〕及び〔携帯型水位・水温計〕の代替)</p> <p>0～100℃</p> <p>—</p> <p>①〔使用済燃料ビット温度〕 (使用済燃料ビット温度 (AM用) の代替)</p> <p>0～100℃</p> <p>—</p> <p>①使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ (使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用済燃料ビット水位 (可搬型)、使用済燃料ビット監視カメラ及び〔使用済燃料ビットエリアモニタ〕の代替)</p> <p>10nSv/h～ 1,000nSv/h</p> <p>—</p> <p>①〔使用済燃料ビットエリアモニタ〕 (使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用済燃料ビット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ビット可搬型エリアモニタの代替)</p> <p>1～10⁶µSv/h</p> <p>—</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
	<p>推定方法</p>  <p>図 58-8-23 水位と放射線量率の関係</p> <p>推定の評価</p> <p>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ①使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) による推定方法は、使用済燃料プール水位及び温度を計測することができ、使用済燃料プールの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラ 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 及び使用済燃料プール監視カメラによる推定方法は、水位/放射線量率の関係を利用して必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料プールの状態を監視できることから、使用済燃料プールの監視を行う上で適切である。</p> <p>使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) ①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) による推定方法は、使用済燃料プール水位及び温度を計測することができ、使用済燃料プールの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラ 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 及び使用済燃料プール監視カメラによる推定方法は、水位/放射線量率の関係を利用して必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料プールの監視ができることから、使用済燃料プールの状態の監視を行う上で適切である。</p> <p>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) ①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) による推定方法は、水位/放射線量率の関係を利用して、必要な水位が確保されていることを推定でき、使用済燃料プールの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料プール監視カメラ 使用済燃料プール監視カメラによる推定方法は、使用済燃料プールの状態の監視を行う上で適切である。</p>	<table border="1" data-bbox="1256 156 1809 295"> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>②使用済燃料ビット監視カメラ (使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用済燃料ビット水位 (可搬型)、使用済燃料ビット温度 (AM用) 及び使用済燃料ビット可搬型エリアモニタの代替)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>計測目的</p> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて使用済燃料ビットを監視する目的は、使用済燃料ビット内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することである。</p> <p>推定方法</p> <p>使用済燃料ビット監視の主要パラメータである使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用済燃料ビット水位 (可搬型)、使用済燃料ビット温度 (AM用)、使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ビット監視カメラについて、下記のとおり推定する。</p> <p>使用済燃料ビット水位 (AM用) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ビット水位 (可搬型) により使用済燃料ビットの水位を推定する。また、使用済燃料ビット可搬型エリアモニタによる放射線量率と水位の関係を利用して相関図より必要な水位が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビットの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料ビット水位 (可搬型) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ビット水位 (AM用) により使用済燃料ビットの冷却状況を推定する。また、使用済燃料ビット可搬型エリアモニタによる放射線量率と水位の関係を利用して相関図より必要な水位が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビットの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料ビット温度 (AM用) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ビット水位 (AM用) の傾向監視により使用済燃料ビットの冷却状況を推定するとともに、使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビットの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料ビット可搬型エリアモニタによる計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ビット水位 (AM用) により水位を計測した後、水位と放射線量率の関係を利用して相関図より必要な水遮蔽が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビットの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料ビット監視カメラによる監視が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用済燃料ビット水位 (可搬型)、使</p>	代替パラメータ	②使用済燃料ビット監視カメラ (使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用済燃料ビット水位 (可搬型)、使用済燃料ビット温度 (AM用) 及び使用済燃料ビット可搬型エリアモニタの代替)	—	—	
代替パラメータ	②使用済燃料ビット監視カメラ (使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用済燃料ビット水位 (可搬型)、使用済燃料ビット温度 (AM用) 及び使用済燃料ビット可搬型エリアモニタの代替)	—	—				

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	<p>推定の詳細</p> <p>使用済燃料プール監視カメラ ①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルス式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 上記パラメータによる推定方法は、使用済燃料プールの状態の監視を行う上で適切である。</p> <p>[誤差による影響について] 使用済燃料プールを監視する目的は、使用済燃料プール内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することであり、代替パラメータ (使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルス式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)) による使用済燃料プール内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握でき、計器誤差 (使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) の誤差: ±1.5℃、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルス式) の誤差: ±245mm (水位) ±3.4℃ (温度)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量) の誤差: ±0.29 デカード (5.2mSv/h~1.9×10⁴mSv/h)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (低線量) の誤差: ±0.29 デカード (5.2×10⁻⁴mSv/h~1.9×10⁴mSv/h)) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、使用済燃料プールにおける燃料損傷防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>推定方法</p> <p>使用済燃料ピット温度 (AM 用) 及び使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料ピット水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</p> <p>使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM 用) により温度を推定する。</p> <p>使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの放射線量率を推定する。</p> <p>携帯型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM 用) により温度を推定する。</p> <p>携帯型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</p> <p>携帯型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を、使用済燃料ピット温度 (AM 用) により温度を</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>(1) 使用済燃料ピット水位 (AM 用) ①使用済燃料ピット水位 (可搬型)、 [使用済燃料ピット水位] 使用済燃料ピット水位 (AM 用) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) により使用済燃料ピットの水位を推定する。</p> <p>②使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、 [使用済燃料ピットエアモニタ]、 使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) による放射線量率と水位の関係を利用して相関図より必要な水位が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>(2) 使用済燃料ピット水位 (可搬型) ①使用済燃料ピット水位 (AM 用)、 [使用済燃料ピット水位] 使用済燃料ピット水位 (可搬型) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (自主対</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>策設備) により使用済燃料ピットの冷却状況を推定する。</p> <p>②使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、[使用済燃料ピットエアモニタ]、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) による放射線量率と水位の関係を利用して相関図より必要な水位が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>(3) 使用済燃料ピット温度 (AM 用) ① [使用済燃料ピット温度] 使用済燃料ピット温度 (AM 用) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) により使用済燃料ピットの温度を推定する。</p> <p>②使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット温度 (AM 用) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (AM 用) の傾向監視により使用済燃料ピットの冷却状況を推定するとともに、使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>(4) 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ ① [使用済燃料ピットエアモニタ] 使用済燃料ピット温度 (AM 用) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) により使用済燃料ピットの放射線量率を推定する。</p> <p>②使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット可搬型エアモニタによる計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (AM 用) により水位を計測した後、水位と放射線量率の関係を利用して相関図より必要な水遮蔽が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>(5) 使用済燃料ピット監視カメラ ①使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用)、使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラによる監視が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用) 及び使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p style="text-align: center;">泊発電所 3 号炉</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">第 27 図 使用済燃料ピットの水深と放射線量率の相関図</p> <p>(6) [使用済燃料ピット水位] ①使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合、使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</p> <p>推定方法</p> <p>(7) [使用済燃料ピット温度] ①使用済燃料ピット温度 (AM 用) 使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合、使用済燃料ピット温度 (AM 用) により温度を推定する。</p> <p>(8) [使用済燃料ピットエリアモニタ] ①使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ピットエリアモニタ (自主対策設備) の監視が不可能となった場合、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの放射線量率を推定する。</p> <p>(9) [携帯型水温計] ①使用済燃料ピット温度 (AM 用) 携帯型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合、使用済燃料ピット温度 (AM 用) により温度を推定する。</p> <p>(10) [携帯型水位計] ①使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型) 携帯型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合、使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由				
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1256 185 1339 256">推定方法</td> <td data-bbox="1339 185 1812 323"> (1) [携帯型水位・水温計] ①使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用) 携帯型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合、使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット (可搬型) により水位を、使用済燃料ピット温度 (AM 用) により温度を推定する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 676 1339 700">推定の評価</td> <td data-bbox="1339 323 1812 1050"> (1)使用済燃料ピット水位 (AM 用) ①使用済燃料ピット水位 (可搬型)、[使用済燃料ピット水位] 使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、[使用済燃料ピットエアモニタ]、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料ピットの状態を監視できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 (2)使用済燃料ピット水位 (可搬型) ①使用済燃料ピット水位 (AM 用)、[使用済燃料ピット水位] 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、[使用済燃料ピットエアモニタ]、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料ピットの状態を監視できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 (3)使用済燃料ピット温度 (AM 用) ① [使用済燃料ピット温度] 使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット温度を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを </td> </tr> </table>	推定方法	(1) [携帯型水位・水温計] ①使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用) 携帯型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合、使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット (可搬型) により水位を、使用済燃料ピット温度 (AM 用) により温度を推定する。	推定の評価	(1)使用済燃料ピット水位 (AM 用) ①使用済燃料ピット水位 (可搬型)、[使用済燃料ピット水位] 使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、[使用済燃料ピットエアモニタ]、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料ピットの状態を監視できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 (2)使用済燃料ピット水位 (可搬型) ①使用済燃料ピット水位 (AM 用)、[使用済燃料ピット水位] 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、[使用済燃料ピットエアモニタ]、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料ピットの状態を監視できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 (3)使用済燃料ピット温度 (AM 用) ① [使用済燃料ピット温度] 使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット温度を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを	
推定方法	(1) [携帯型水位・水温計] ①使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用) 携帯型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合、使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット (可搬型) により水位を、使用済燃料ピット温度 (AM 用) により温度を推定する。						
推定の評価	(1)使用済燃料ピット水位 (AM 用) ①使用済燃料ピット水位 (可搬型)、[使用済燃料ピット水位] 使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、[使用済燃料ピットエアモニタ]、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料ピットの状態を監視できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 (2)使用済燃料ピット水位 (可搬型) ①使用済燃料ピット水位 (AM 用)、[使用済燃料ピット水位] 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、[使用済燃料ピットエアモニタ]、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料ピットの状態を監視できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 (3)使用済燃料ピット温度 (AM 用) ① [使用済燃料ピット温度] 使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット温度を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。 ②使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを						

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>推定できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>(4) 使用済燃料ピット可搬型エアロモニタ ① [使用済燃料ピットエアロモニタ] 使用済燃料ピットエアロモニタ (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピットの放射線量率を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>② 使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>(5) 使用済燃料ピット監視カメラ ① 使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用)、使用済燃料ピット可搬型エアロモニタ 上記パラメータによる推定方法は、使用済燃料ピットの状態の監視を行う上で適切である。</p> <p>(6) [使用済燃料ピット水位] ① 使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) による推定方法は、使用済燃料ピット水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>(7) [使用済燃料ピット温度] ① 使用済燃料ピット温度 (AM 用) 使用済燃料ピット温度 (AM 用) による推定方法は、使用済燃料ピット温度を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>(8) [使用済燃料ピットエアロモニタ] ① 使用済燃料ピット可搬型エアロモニタ 使用済燃料ピット可搬型エアロモニタによる推定方法は、使用済燃料ピットの放射線量率を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>(9) [携帯型水温計] ① 使用済燃料ピット温度 (AM 用) 使用済燃料ピット温度 (AM 用) による推定方法は、使用済燃料ピット温度を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>(10) [携帯型水位計] ① 使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) による</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>推定方法は、使用済燃料ピットの水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>(11) [携帯型水位・水温計] ①使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用) 使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) による推定方法は、使用済燃料ピットの水位を計測することができ、使用済燃料ピット温度 (AM 用) による推定方法は、使用済燃料ピットの温度を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>[誤差による影響について] 使用済燃料ピットを監視する目的は、使用済燃料ピット内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することであり、代替パラメータ (使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット水位 (自主対策設備)、使用済燃料ピット温度 (AM 用)、使用済燃料ピット温度 (自主対策設備)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピットエリアモニタ (自主対策設備)、使用済燃料ピット監視カメラ) による使用済燃料ピット内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握でき、計器誤差 (使用済燃料ピット水位 (AM 用) の誤差: ±0.17m、使用済燃料ピット水位 (可搬型) の誤差: ±0.89m、使用済燃料ピット温度 (AM 用) の誤差: ±2.3℃、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの誤差: $6.4 \times 10^{-4} \sim 1.5 \times 10^{-6} \text{ Sv/h}$ (N: 1 ~ 9)) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、使用済燃料ピットにおける燃料損傷防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

灰色:女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字:設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)
青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)
緑字:記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																												
	(参考) 表 58-8-1 計装設備の計器誤差について(2/3)	(参考) 第1表 計装設備の計器誤差について(2/2)																																																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>誤差</th> <th>取付箇所</th> <th>誤差*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補給冷却水サージタンク水位</td> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>周辺補給棟 T.P. 43.6a</td> <td>±1.0%</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用海水ピット水位</td> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>周辺補給棟 T.P. 24.9a</td> <td>±1.0%</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. 17.6a</td> <td>±1.0%</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット水位</td> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>周辺補給棟 T.P. 24.9a</td> <td>±1.0%</td> </tr> <tr> <td>可搬型燃料貯蔵容器濃度計測ユニット</td> <td>熱伝導式検出器</td> <td>0~20vol%</td> <td>1</td> <td>周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)</td> <td>±1.15vol%</td> </tr> <tr> <td>可搬型プールの濃度計測ユニット</td> <td>熱伝導式検出器</td> <td>0~20vol%</td> <td>1</td> <td>周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)</td> <td>±1.15vol%</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水サージタンク圧力(可搬型)</td> <td>ブルドン管型(液性変形)</td> <td>0~1.00MPa</td> <td>1</td> <td>周辺補給棟 T.P. 43.6a (原子炉補助建屋 T.P. 43.6a 及び緊急時対応用機械室内に保管)</td> <td>±0.010MPa</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可搬型温度計測装置(格納容器内)</td> <td>測温抵抗体</td> <td>0~200℃</td> <td>1</td> <td>周辺補給棟 T.P. 17.6a</td> <td rowspan="2">±0.43℃+読み取り0.5%</td> </tr> <tr> <td>測温抵抗体</td> <td>0~200℃</td> <td>2</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. 17.6a 及び緊急時対応用機械室内に保管</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位(専用)</td> <td>電流式水位検出器</td> <td>T.P. 25.24~32.76a</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟</td> <td>±0.17a</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位(可搬型)</td> <td>フロート式水位検出器</td> <td>T.P. 21.30~32.76a</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟</td> <td>±0.10a</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度(専用)</td> <td>測温抵抗体</td> <td>0~100℃</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟</td> <td>±2.3℃</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット可搬型モニタ</td> <td>半導体検出器、NaI (TI) シンチレーション検出器</td> <td>10dsv/h~1,000dsv/h</td> <td>1</td> <td>周辺補給棟 T.P. 33.1a、原子炉補助建屋 T.P. 33.1a 又は最外</td> <td>4×10⁻⁴~1.5×10⁻³dsv/h</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>赤外線カメラ</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>燃料取扱棟</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ監視装置</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>5</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> <tr> <td>格納容器内表面温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>15</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*	原子炉補給冷却水サージタンク水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 43.6a	±1.0%	燃料取扱用海水ピット水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 24.9a	±1.0%	ほう酸タンク水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	原子炉補助建屋 T.P. 17.6a	±1.0%	補助給水ピット水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 24.9a	±1.0%	可搬型燃料貯蔵容器濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)	±1.15vol%	可搬型プールの濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)	±1.15vol%	原子炉補給冷却水サージタンク圧力(可搬型)	ブルドン管型(液性変形)	0~1.00MPa	1	周辺補給棟 T.P. 43.6a (原子炉補助建屋 T.P. 43.6a 及び緊急時対応用機械室内に保管)	±0.010MPa	可搬型温度計測装置(格納容器内)	測温抵抗体	0~200℃	1	周辺補給棟 T.P. 17.6a	±0.43℃+読み取り0.5%	測温抵抗体	0~200℃	2	原子炉補助建屋 T.P. 17.6a 及び緊急時対応用機械室内に保管	使用済燃料ピット水位(専用)	電流式水位検出器	T.P. 25.24~32.76a	2	燃料取扱棟	±0.17a	使用済燃料ピット水位(可搬型)	フロート式水位検出器	T.P. 21.30~32.76a	2	燃料取扱棟	±0.10a	使用済燃料ピット温度(専用)	測温抵抗体	0~100℃	2	燃料取扱棟	±2.3℃	使用済燃料ピット可搬型モニタ	半導体検出器、NaI (TI) シンチレーション検出器	10dsv/h~1,000dsv/h	1	周辺補給棟 T.P. 33.1a、原子炉補助建屋 T.P. 33.1a 又は最外	4×10 ⁻⁴ ~1.5×10 ⁻³ dsv/h	使用済燃料ピット監視カメラ	赤外線カメラ	—	1	燃料取扱棟	—	使用済燃料ピット監視カメラ監視装置	—	—	1	—	—	原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃	格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>誤差</th> <th>取付箇所</th> <th>誤差*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>5</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> <tr> <td>格納容器内表面温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>15</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*	原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃	格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃	
名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*																																																																																																																										
原子炉補給冷却水サージタンク水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 43.6a	±1.0%																																																																																																																										
燃料取扱用海水ピット水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 24.9a	±1.0%																																																																																																																										
ほう酸タンク水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	原子炉補助建屋 T.P. 17.6a	±1.0%																																																																																																																										
補助給水ピット水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 24.9a	±1.0%																																																																																																																										
可搬型燃料貯蔵容器濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)	±1.15vol%																																																																																																																										
可搬型プールの濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)	±1.15vol%																																																																																																																										
原子炉補給冷却水サージタンク圧力(可搬型)	ブルドン管型(液性変形)	0~1.00MPa	1	周辺補給棟 T.P. 43.6a (原子炉補助建屋 T.P. 43.6a 及び緊急時対応用機械室内に保管)	±0.010MPa																																																																																																																										
可搬型温度計測装置(格納容器内)	測温抵抗体	0~200℃	1	周辺補給棟 T.P. 17.6a	±0.43℃+読み取り0.5%																																																																																																																										
	測温抵抗体	0~200℃	2	原子炉補助建屋 T.P. 17.6a 及び緊急時対応用機械室内に保管																																																																																																																											
使用済燃料ピット水位(専用)	電流式水位検出器	T.P. 25.24~32.76a	2	燃料取扱棟	±0.17a																																																																																																																										
使用済燃料ピット水位(可搬型)	フロート式水位検出器	T.P. 21.30~32.76a	2	燃料取扱棟	±0.10a																																																																																																																										
使用済燃料ピット温度(専用)	測温抵抗体	0~100℃	2	燃料取扱棟	±2.3℃																																																																																																																										
使用済燃料ピット可搬型モニタ	半導体検出器、NaI (TI) シンチレーション検出器	10dsv/h~1,000dsv/h	1	周辺補給棟 T.P. 33.1a、原子炉補助建屋 T.P. 33.1a 又は最外	4×10 ⁻⁴ ~1.5×10 ⁻³ dsv/h																																																																																																																										
使用済燃料ピット監視カメラ	赤外線カメラ	—	1	燃料取扱棟	—																																																																																																																										
使用済燃料ピット監視カメラ監視装置	—	—	1	—	—																																																																																																																										
原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										
格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										
名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*																																																																																																																										
原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										
格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>誤差</th> <th>取付箇所</th> <th>誤差*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>5</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> <tr> <td>格納容器内表面温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>15</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*	原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃	格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																												
名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*																																																																																																																										
原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										
格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										

*1:検出器へデータ表示値の誤差を示す。ただし、「原子炉補給冷却水サージタンク圧力(可搬型)」は計器単体の誤差、「可搬型温度計測装置(格納容器内)測温ユニット入口温度/出口温度」は検出器へ可搬型温度計測装置の誤差を示す。(詳細設計により、今後変更となる可能性がある。)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																						
	<p>(参考) 表58-8-1 計装設備の計器誤差について(3 / 3)</p> <table border="1" data-bbox="667 209 1227 308"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計器範囲</th> <th>精度</th> <th>実行装置</th> <th>公差*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料プールの温度監視用熱電対 (高精度、監視用)</td> <td rowspan="2">電線系</td> <td>10%\pm0.1</td> <td>1</td> <td>原子炉電圧地上側 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> <td>±0.20%\pm0.1 ±0.01%\pm0.1</td> </tr> <tr> <td>10%\pm0.1</td> <td>1</td> <td>原子炉電圧地下側 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> <td>±0.20%\pm0.1 ±0.01%\pm0.1</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プールの温度</td> <td>可視光センサー</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>原子炉電圧地上側 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計器範囲の単位は、原子炉出力監視用レベルより1.315倍の値とすると一致する。(原子炉建屋原子炉棟内) ※2 計器範囲の単位は、原子炉出力監視用レベルより99%の値とすると一致する。(原子炉建屋原子炉棟内) ※3 計器範囲の単位は、原子炉出力監視用レベルより99%の値とすると一致する。(原子炉建屋原子炉棟内) ※4 計器範囲の単位は、ドライウェット状態での値とすると一致する。 ※5 検出器の種類は、検出器の種類と検出器の種類と一致する。 ※6 計器範囲の単位は、使用済燃料貯蔵タンクの温度 (注)と一致する。 ※7 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※8 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※9 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※10 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※11 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※12 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※13 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※14 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※15 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※16 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※17 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※18 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※19 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※20 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※21 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※22 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※23 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※24 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※25 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※26 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※27 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※28 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※29 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※30 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※31 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※32 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※33 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※34 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※35 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※36 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※37 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※38 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※39 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※40 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※41 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※42 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※43 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※44 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※45 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※46 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※47 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※48 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※49 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※50 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※51 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※52 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※53 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※54 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※55 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※56 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※57 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※58 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※59 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※60 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※61 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※62 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※63 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※64 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※65 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※66 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※67 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※68 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※69 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※70 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※71 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※72 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※73 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※74 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※75 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※76 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※77 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※78 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※79 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※80 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※81 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※82 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※83 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※84 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※85 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※86 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※87 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※88 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※89 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※90 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※91 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※92 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※93 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※94 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※95 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※96 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※97 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※98 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※99 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。 ※100 検出器の種類は、検出器の種類と一致する。</p>	名称	検出器の種類	計器範囲	精度	実行装置	公差*	使用済燃料プールの温度監視用熱電対 (高精度、監視用)	電線系	10% \pm 0.1	1	原子炉電圧地上側 (原子炉建屋原子炉棟内)	±0.20% \pm 0.1 ±0.01% \pm 0.1	10% \pm 0.1	1	原子炉電圧地下側 (原子炉建屋原子炉棟内)	±0.20% \pm 0.1 ±0.01% \pm 0.1	使用済燃料プールの温度	可視光センサー	-	1	原子炉電圧地上側 (原子炉建屋原子炉棟内)	-		
名称	検出器の種類	計器範囲	精度	実行装置	公差*																				
使用済燃料プールの温度監視用熱電対 (高精度、監視用)	電線系	10% \pm 0.1	1	原子炉電圧地上側 (原子炉建屋原子炉棟内)	±0.20% \pm 0.1 ±0.01% \pm 0.1																				
		10% \pm 0.1	1	原子炉電圧地下側 (原子炉建屋原子炉棟内)	±0.20% \pm 0.1 ±0.01% \pm 0.1																				
使用済燃料プールの温度	可視光センサー	-	1	原子炉電圧地上側 (原子炉建屋原子炉棟内)	-																				

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

58-10 可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理について

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定可能範囲	台数	選定	電源	検出器の種類	可搬型計測器	測定装置	備考
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路温度 (広域)	0~400°C	0~500°C	4	A	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度	重大事故等における原子炉圧力容器内の状態を監視し、自然対流により、低い温度を示す1次冷却回路温度 (広域) を検出する。測定は各4ループの温度を行う。	
	1次冷却回路温度 (広域)	0~400°C	0~500°C	4	B	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度		
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路温度 (広域)	0~400°C	0~500°C	2	C, D	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。	
	加圧器水位	0~100%	0~100%	2	A, E	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。	
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位	0~100%	0~100%	1	B	可搬型検出器	可	中央制御室		
	加圧器水位	0~100%	0~100%	3	3					
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器水位	0~100%	0~100%	2	A, E	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。	
	加圧器水位	0~100%	0~100%	2	C, D	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。	
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器水位	0~100%	0~100%	1	B	可搬型検出器	可	中央制御室		
	加圧器水位	0~100%	0~100%	1	B	可搬型検出器	可	中央制御室		

□: 温度・水位・流量・圧力計測用
 □: 温度計測用

女川原子力発電所2号炉

58-9 可搬型計測器について

表 58-9-1 可搬型計測器の必要台数整理 (1/3)

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定可能範囲	台数	選定	電源	検出器の種類	可搬型計測器	測定装置	備考
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路温度 (広域)	0~400°C	0~500°C	4	A	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度	重大事故等における原子炉圧力容器内の状態を監視し、自然対流により、低い温度を示す1次冷却回路温度 (広域) を検出する。測定は各4ループの温度を行う。	
	1次冷却回路温度 (広域)	0~400°C	0~500°C	4	B	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度		
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路温度 (広域)	0~400°C	0~500°C	2	C, D	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。	
	加圧器水位	0~100%	0~100%	2	A, E	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。	
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位	0~100%	0~100%	1	B	可搬型検出器	可	中央制御室		
	加圧器水位	0~100%	0~100%	3	3					
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器水位	0~100%	0~100%	2	A, E	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。	
	加圧器水位	0~100%	0~100%	2	C, D	可搬型検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。	
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器水位	0~100%	0~100%	1	B	可搬型検出器	可	中央制御室		
	加圧器水位	0~100%	0~100%	1	B	可搬型検出器	可	中央制御室		

泊発電所3号炉

58-9 可搬型計測器及び可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) について

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定可能範囲	重要計測数	必要計測数	電源	検出器の種類	可搬型計測器	測定装置	備考
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路温度 (広域)	0~400°C	0~500°C	3	3	A	計測用検出器	可	安全計測装置	重大事故等における原子炉圧力容器内の状態を監視し、自然対流により、低い温度を示す1次冷却回路温度 (広域) を検出する。測定は各4ループの温度を行う。
	1次冷却回路温度 (広域)	0~400°C	0~500°C	3	3	A, B	計測用検出器	可	安全計測装置	
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路温度 (広域)	0~400°C	0~500°C	2	1	C, D	計測用検出器	可	安全計測装置	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。
	加圧器水位	0~100%	0~100%	2	1	A, B	差圧式水位検出器	可	安全計測装置	複数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器水位	0~100%	0~100%	1	1	A	差圧式水位検出器	可	安全計測装置	
	加圧器水位	0~100%	0~100%	3	3					
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器水位	0~100%	0~100%	2	2	A, B	差圧式流量検出器	可	安全計測装置	複数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。
	加圧器水位	0~100%	0~100%	2	2	C, D	差圧式流量検出器	可	安全計測装置	
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器水位	0~100%	0~100%	1	1	A	差圧式流量検出器	可	安全計測装置	
	加圧器水位	0~100%	0~100%	1	1	A	差圧式流量検出器	可	安全計測装置	

□: 温度・水位・流量・圧力計測用 (可搬型計測器)
 □: 温度計測用 (可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度))

相違理由

【大飯】 設備名称の相違
 【女川】 設備構成の相違 (相違理由③)

【女川】 炉型の相違
 ・女川については、PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。

【大飯】 設備構成の相違
 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる計器数の相違や計測範囲等の相違はあるが、可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数の考え方は同様。以降、同表において同じ。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理(5/5)

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定可能範囲	必要台数	必要設置位置	可搬型計測器	測定箇所	備考
水質	燃料取替用水ピット水位	0~100%	-	2	C,D	可	1次蒸気電磁器盤	測定対象箇所が複数台存在するが、代表して1台を測定する。
	ほうろくタンク水位	0~100%	-	2	C,D	可	1次蒸気電磁器盤	測定対象箇所が複数台存在するが、代表して1台を測定する。
	汽水ピット水位	0~100%	-	2	C,D	可	1次蒸気電磁器盤	測定対象箇所が複数台存在するが、代表して1台を測定する。
可搬型温度計測装置 (格納容器内温度/ユニット入口温度/出口温度 (S.A. 内))		0~200℃	-	3	-	-	原子炉周辺の構造	-

: 温度・水位・流量・圧力計測用
 : 温度計測用

配置台数：可搬型計測器 (温度・水位・流量・圧力計測用) を3号及び4号炉それぞれ4号和それぞれ40個 (計測時故障を考慮したる割合含む)
 : 可搬型温度計測装置 (温度測定用) を3号及び4号炉それぞれ3個、故障時及び5分間の予備として1個保管する。
 (注1) : 全交流動力電源喪失時は、炉外核計装盤及び放射線監視盤に対して専用の可搬型バッテリーにより電源供給されるため、当該の現設監視計器は使用可能である。
 (注2) : 上部と下部の中性子基準均値
 (注3) : 輸送器取り付け部に基準配管に水を溜とした構造体 (コンデンサボックス) があり、蒸気発生器の急激な減圧やドライアウト時に、基準配管の水が蒸発し、嵩めて不確か水位を示す可能性がある。

可搬型計測器及び可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) の必要台数整理 (5/5)

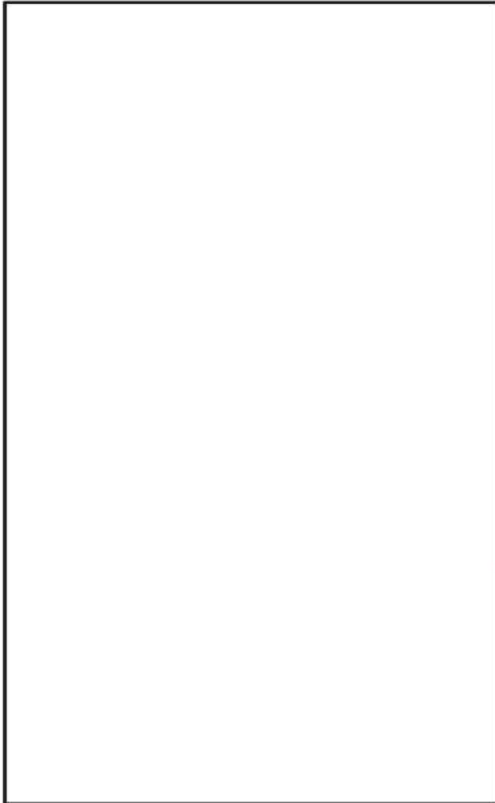
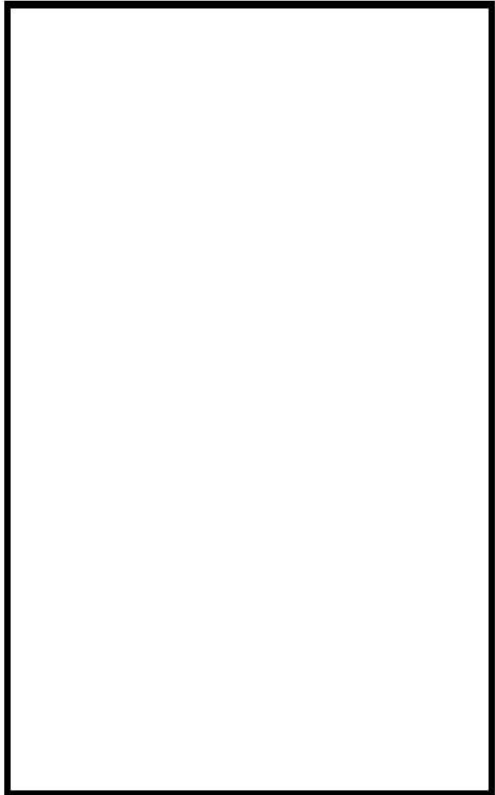
分類	監視パラメータ	計測範囲	測定可能範囲	必要台数	必要設置位置	可搬型計測器	備考
水質の監視	燃料取替用水ピット水位	0~100%	-	2	A, B 計測用	可	監視対象箇所が複数台存在するが、代表して1台を測定する。
	ほうろくタンク水位	0~100%	-	2	A, B 計測用	可	監視対象箇所が複数台存在するが、代表して1台を測定する。
	補助給水ピット水位	0~100%	-	2	A, B 計測用	可	監視対象箇所が複数台存在するが、代表して1台を測定する。
使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位 (0M用)	1.5±2.24 ~±2.70m	-	2	電圧	可	監視対象箇所が複数台存在するが、代表して1台を測定する。
	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1.5±2.30 ~±2.70m	-	2	A 電圧	可	監視対象箇所が複数台存在するが、代表して1台を測定する。
	使用済燃料ピット温度 (0M用)	0~100℃	-	2	A 電圧	可	監視対象箇所が複数台存在するが、代表して1台を測定する。
使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度 (可搬型)	100℃/分~ 1,000℃/分	-	1	B 交流電圧	-	可搬型計測器での計測対象外
	使用済燃料ピット監視カメラ	-	-	1	A 計測用	-	可搬型計測器での計測対象外

: 温度・水位・流量・圧力計測用 (可搬型計測器)
 : 温度計測用 (可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度))

配置台数：可搬型計測器 (温度・水位・流量・圧力計測用) を3号炉1台、計測時故障を考慮したる割合として1個保管する。
 : 可搬型温度計測装置 (温度測定用) を3号炉、故障時及び5分間の予備として1個保管する。
 (注1) : 全交流動力電源喪失時は、水素監視装置、放射線監視装置、燃料監視装置及び使用済燃料ピット監視カメラに対して、常設代替交流電源設備 (代替電源用電機) により給電されるため監視可能である。
 (注2) : 上部と下部の中性子基準均値
 (注3) : 輸送器取り付け部に基準配管に水を溜とした構造体 (コンデンサボックス) があり、蒸気発生器の急激な減圧やドライアウト時に、基準配管の水が蒸発し、嵩めて不確か水位を示す可能性がある。

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>(以降、大飯該当資料なし)</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-size: small;">図 58-9-1-1 可搬型計測器接続配線図へのアクセスルート (制御室奥奥上 3 階) 枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-size: small;">第 1 図 可搬型計測器接続配線図へのアクセスルート 枠囲みの内容は防護措置に係り、以下のとおりで公開できません。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・泊は女川実績を反映し、可搬型計測器及び可搬型温度計測装置へのアクセスルート図を記載している。</p>

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	

第 2 図 可燃性ガス計測装置 (格納容器内可燃性ガス検出器) のアラームループ (注)
 枠内みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	

第二号 可搬型温度計測装置 (格納容器内循環ユニット入口温度/出口温度) 温度計測所へのアクセスルート (2/3)
 利用時の内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	

第 2 図 可搬型固定計測装置(格納容器再循環)システム(3/3)
 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色: 女川2号炉の記載のうち, BWR固有の設備や対応手段であり, 泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>58-8 審査会合会議資料</p> <p>重大事故等時における格納容器内計器の耐環境性について</p> <p>1. 重大事故等時における格納容器内の環境について 重大事故等時の環境下で最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、格納容器内設置の計器であり、大飯3,4号機の重大事故シーケンスにおける格納容器内の圧力、温度、積算線量の最大値は表1のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="98 874 607 1090"> <caption>表1 重大事故シーケンスにおける格納容器内環境</caption> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>最大値</th> <th>最大値となるシナリオ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧力</td> <td>0.43MPa</td> <td>格納容器過温破損 格納容器雰囲気直接加熱</td> </tr> <tr> <td>温度</td> <td>144℃</td> <td>格納容器過圧破損 溶融炉心・コンクリート相互作用</td> </tr> <tr> <td>積算線量</td> <td></td> <td>格納容器過圧破損</td> </tr> </tbody> </table> <p>格納容器内に設置する計器について、表1の環境下における機能健全性を評価する。</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	パラメータ	最大値	最大値となるシナリオ	圧力	0.43MPa	格納容器過温破損 格納容器雰囲気直接加熱	温度	144℃	格納容器過圧破損 溶融炉心・コンクリート相互作用	積算線量		格納容器過圧破損	<p>58-10 主要パラメータの耐環境性について</p> <p>計装設備の耐環境性について</p> <p>重大事故等対処設備である重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備について、耐環境性を整理した結果は以下のとおりである。</p> <p>1. 原子炉格納容器内 原子炉格納容器内の重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備については、想定される原子炉格納容器内の温度、圧力及び放射線量に対して健全性を確認している。 なお、中性子束計測装置については、重大事故等の発生初期の計測機能を求められるものであるため、設計基準対象施設としての設備仕様で要求機能を満足する。</p> <table border="1" data-bbox="680 874 1214 938"> <caption>表 58-10-1 重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>温度</th> <th>圧力</th> <th>放射線量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境条件</td> <td>200℃ (最大)</td> <td>0.85MPa[auge] (最大)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		温度	圧力	放射線量	環境条件	200℃ (最大)	0.85MPa[auge] (最大)		<p>58-10 主要パラメータの耐環境性について</p> <p>計装設備の耐環境性について</p> <p>重大事故等対処設備である重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備について、耐環境性を整理した結果は以下のとおりである。</p> <p>1. 原子炉格納容器内 原子炉格納容器内の重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備については、想定される原子炉格納容器内の温度、圧力及び放射線量に対して健全性を確認している。 なお、中性子束計測装置については、重大事故等の発生初期の計測機能を求められるものであるため、設計基準対象施設としての設備仕様で要求機能を満足する。</p> <table border="1" data-bbox="1254 874 1812 967"> <caption>表 58-10-1 重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>温度</th> <th>圧力</th> <th>放射線量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境条件</td> <td>約141℃ (最大)</td> <td>約0.300MPa[auge] (最大)</td> <td>0.58Gy 以下</td> </tr> </tbody> </table>		温度	圧力	放射線量	環境条件	約141℃ (最大)	約0.300MPa[auge] (最大)	0.58Gy 以下	<p>相違理由</p> <p>【女川】炉型の相違 ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための設備が異なるため、環境条件については比較対象外とする。</p> <p>【大飯】資料番号の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備構成の相違 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる設備構成の相違により、想定する環境条件が異なる。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
パラメータ	最大値	最大値となるシナリオ																													
圧力	0.43MPa	格納容器過温破損 格納容器雰囲気直接加熱																													
温度	144℃	格納容器過圧破損 溶融炉心・コンクリート相互作用																													
積算線量		格納容器過圧破損																													
	温度	圧力	放射線量																												
環境条件	200℃ (最大)	0.85MPa[auge] (最大)																													
	温度	圧力	放射線量																												
環境条件	約141℃ (最大)	約0.300MPa[auge] (最大)	0.58Gy 以下																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
	<p>表 58-10-2 耐環境試験の評価結果</p> <table border="1" data-bbox="672 191 1220 582"> <thead> <tr> <th>パラメータ名</th> <th>検出器の種類</th> <th>耐環境試験条件</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>熱電対</td> <td rowspan="10"></td> <td>耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室内空気温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度</td> <td>潤滑抵抗体</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (D/W)</td> <td>水素吸蔵材料式水素検出器</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</div> <p>2. 原子炉建屋原子炉棟内、原子炉建屋付属棟内、その他の建屋内及び屋外</p> <p>重大事故等時の原子炉建屋原子炉棟内、原子炉建屋付属棟内、その他建屋内及び屋外については、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備について、それぞれの設置場所における重大事故等時の環境条件に対する耐環境性を有する設計とする。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	パラメータ名	検出器の種類	耐環境試験条件	評価	原子炉圧力容器温度	熱電対		耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。	ドライウェル温度	熱電対	同上	圧力抑制室内空気温度	熱電対	同上	サブプレッションプール水温度	潤滑抵抗体	同上	原子炉格納容器下部水位	電極式水位検出器	同上	原子炉格納容器下部温度	熱電対	同上	ドライウェル水位	電極式水位検出器	同上	格納容器内水素濃度 (D/W)	水素吸蔵材料式水素検出器	同上	<p>表 58-10-2 耐環境試験の評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1254 191 1814 861"> <thead> <tr> <th>パラメータ名</th> <th>検出器の種類</th> <th>耐環境試験条件</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>弾性圧力検出器</td> <td rowspan="10" style="background-color: black;"></td> <td>耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> <td rowspan="6">蒸圧式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器水位</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td rowspan="4">潤滑抵抗体</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度</td> <td rowspan="2">熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器水素イグナイタ温度</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td rowspan="2">電離箱</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div> <p>2. 原子炉建屋内及び原子炉補助建屋内</p> <p>重大事故等時の原子炉建屋内及び原子炉補助建屋内については、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備について、それぞれの設置場所における重大事故等時の環境条件に対する耐環境性を有する設計とする。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	パラメータ名	検出器の種類	耐環境試験条件	評価	1次冷却材圧力 (広域)	弾性圧力検出器		耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。	加圧器水位	蒸圧式水位検出器	同上	原子炉容器水位	同上	蒸気発生器水位 (狭域)	同上	蒸気発生器水位 (広域)	同上	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	同上	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	同上	1次冷却材温度 (広域-高温側)	潤滑抵抗体	同上	1次冷却材温度 (広域-低温側)	同上	格納容器内温度	同上	原子炉格納容器内水素処理装置温度	熱電対	同上	格納容器水素イグナイタ温度	同上	格納容器水位	電極式水位検出器	同上	原子炉下部キャビティ水位	電離箱	同上	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	同上	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	同上	<p>【女川】建屋名称の相違 【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】建屋名称の相違</p>
パラメータ名	検出器の種類	耐環境試験条件	評価																																																																								
原子炉圧力容器温度	熱電対		耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。																																																																								
ドライウェル温度	熱電対		同上																																																																								
圧力抑制室内空気温度	熱電対		同上																																																																								
サブプレッションプール水温度	潤滑抵抗体		同上																																																																								
原子炉格納容器下部水位	電極式水位検出器		同上																																																																								
原子炉格納容器下部温度	熱電対		同上																																																																								
ドライウェル水位	電極式水位検出器		同上																																																																								
格納容器内水素濃度 (D/W)	水素吸蔵材料式水素検出器		同上																																																																								
パラメータ名	検出器の種類		耐環境試験条件	評価																																																																							
1次冷却材圧力 (広域)	弾性圧力検出器			耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。																																																																							
加圧器水位	蒸圧式水位検出器	同上																																																																									
原子炉容器水位		同上																																																																									
蒸気発生器水位 (狭域)		同上																																																																									
蒸気発生器水位 (広域)		同上																																																																									
格納容器再循環サンプ水位 (広域)		同上																																																																									
格納容器再循環サンプ水位 (狭域)		同上																																																																									
1次冷却材温度 (広域-高温側)	潤滑抵抗体	同上																																																																									
1次冷却材温度 (広域-低温側)		同上																																																																									
格納容器内温度		同上																																																																									
原子炉格納容器内水素処理装置温度		熱電対	同上																																																																								
格納容器水素イグナイタ温度	同上																																																																										
格納容器水位	電極式水位検出器	同上																																																																									
原子炉下部キャビティ水位	電離箱	同上																																																																									
格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)		同上																																																																									
格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	同上																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>別紙-1</p> <p>2. 事故時模擬試験の方法</p> <p>格納容器内設置計器のうち重大事故等時に監視機能を期待される計器については、PWR電力共同研究等にてIEEE-323に準拠した耐環境試験として、事故時環境暴露試験および事故時放射線照射試験を実施する。</p> <p>○事故時環境暴露試験 試験装置の中に設置した計器に対して、事故時環境(温度、圧力、蒸気スプレイ)を印加し、監視機能を維持できることを確認する。</p> <p>○事故時放射線照射試験 試験装置の中に設置した計器に対して、事故時に想定される積算線量を印加し、監視機能を維持できることを確認する。</p> <div data-bbox="85 842 640 1126" style="border: 1px solid black; height: 178px; width: 248px;"></div> <p>図1 事故時模擬試験概要</p> <div data-bbox="141 1161 577 1185" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>	<p>別紙-1</p> <p>1. 原子炉格納容器内設置計器の事故時の環境について 重大事故等時の環境下で最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、原子炉格納容器内に設置している計器であり、想定される原子炉格納容器内の温度、圧力及び放射線量は、温度：200℃、圧力：0.854MPa [gage]及び放射線量：[]である。</p> <p>2. 試験方法 原子炉格納容器内設置計器のうち、重大事故等時に監視機能を期待される計器については、重大事故等時環境試験を実施している。</p> <div data-bbox="719 842 1133 1142" style="text-align: center;"> </div> <p>試験装置の中に設置した試験体に対して重大事故等時環境(温度、圧力、蒸気)を印加し、監視機能を維持できることを確認。</p> <p>図58-10-1 蒸気暴露試験装置イメージ図</p> <div data-bbox="741 1289 1155 1313" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</div>	<p>別紙-1</p> <p>1. 原子炉格納容器内設置計器の事故時の環境について 重大事故等時の環境下で最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、原子炉格納容器内に設置している計器であり、想定される原子炉格納容器内の温度、圧力及び放射線量は、温度：約141℃、圧力：0.360MPa [gage]及び放射線量：0.5MGy以下である。</p> <p>2. 試験方法 原子炉格納容器内設置計器のうち、重大事故等時に監視機能を期待される計器については、重大事故等時環境試験を実施している。</p> <div data-bbox="1256 842 1812 1126" style="border: 1px solid black; height: 178px; width: 248px;"></div> <p>図58-10-1 蒸気暴露試験装置イメージ図</p> <div data-bbox="1312 1161 1749 1185" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div>	<p>【大飯】資料構成の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載表現の相違</p>

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																	
<p>3. 試験結果</p> <p>事故時模擬試験において印加された事故時環境の実測値(表2)が重大事故シナリオの最大値を上回るとともに、事故時模擬試験後の性能試験にて各計器の健全性に問題ないことを確認した。</p> <p>表2 事故時模擬試験時の圧力、温度、積算線量の実測値</p> <table border="1" data-bbox="91 432 636 683"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検出器種類</th> <th rowspan="2">監視計器</th> <th colspan="3">事故時模擬試験時の最大値</th> </tr> <tr> <th>圧力 [MPa (gauge)]</th> <th>温度 [℃]</th> <th>積算線量 [MGy]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">伝送器*<!--1</td--> <td>1次冷却材圧力</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> </td></tr> <tr> <td>加圧器圧力</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">温度計**3 (RTD)</td> <td>1次冷却材高温側温度 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材低温側温度 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エリアモニタ**3</td> <td>格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>格納容器高レンジモニタ (高レンジ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: PWR 電力共同研究「新型耐環境性伝送器開発に関する研究」ほか ※2: メーカー試験 ※3: PWR 電力共同研究「事故時(177Cs)の耐環境性評価研究」</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。</p>	検出器種類	監視計器	事故時模擬試験時の最大値			圧力 [MPa (gauge)]	温度 [℃]	積算線量 [MGy]	伝送器* 1</td <td>1次冷却材圧力</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td>	1次冷却材圧力	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	加圧器圧力	加圧器水位	蒸気発生器水位 (狭域)	蒸気発生器水位 (広域)	格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	温度計**3 (RTD)	1次冷却材高温側温度 (狭域)	1次冷却材低温側温度 (広域)	エリアモニタ**3	格納容器内温度	格納容器高レンジモニタ (高レンジ)	<p>3. 原子炉格納容器内設置計器の事故時耐環境性試験結果</p> <p>重大事故等時環境試験の結果、温度200℃以上、圧力0.854MPa [gage]以上、積算線量 [Redacted] (無機物で構成している検出器は除く)の重大事故等時環境の印加に対し、試験中及び試験後の監視機能に問題がないことを確認しており、同試験条件が原子炉格納容器内の環境条件の最高値を満足することから、計器の健全性に問題はない。</p> <p>表 58-10-3 耐環境性試験の評価結果 (原子炉格納容器内設置計器)</p> <table border="1" data-bbox="685 432 1211 810"> <thead> <tr> <th>パラメータ名</th> <th>検出器の種類</th> <th>耐環境試験条件</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>熱電対</td> <td rowspan="10">[Redacted]</td> <td>耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室内空気温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度</td> <td>測温抵抗体</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (B/W) / 格納容器内水素濃度 (S/W)</td> <td>水素吸蔵材柱式水素検出器</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p>	パラメータ名	検出器の種類	耐環境試験条件	評価	原子炉圧力容器温度	熱電対	[Redacted]	耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。	ドライウェル温度	熱電対	同上	圧力制御室内空気温度	熱電対	同上	サブプレッションプール水温度	測温抵抗体	同上	原子炉格納容器下部水位	電極式水位検出器	同上	原子炉格納容器下部温度	熱電対	同上	ドライウェル水位	電極式水位検出器	同上	格納容器内水素濃度 (B/W) / 格納容器内水素濃度 (S/W)	水素吸蔵材柱式水素検出器	同上	<p>3. 原子炉格納容器内設置計器の事故時耐環境性試験結果</p> <p>重大事故等時環境試験の結果、温度141℃以上、圧力0.360MPa [gage]以上、積算線量0.5MGy以上 (無機物で構成している検出器は除く)の重大事故等時環境の印加に対し、試験中及び試験後の監視機能に問題がないことを確認しており、同試験条件が原子炉格納容器内の環境条件の最高値を満足することから、計器の健全性に問題はない。</p> <p>表 58-10-3 耐環境性試験の評価結果 (原子炉格納容器内設置計器)</p> <table border="1" data-bbox="1256 432 1809 1098"> <thead> <tr> <th>パラメータ名</th> <th>検出器の種類</th> <th>耐環境試験条件</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>弾性圧力検出器</td> <td rowspan="10">[Redacted]</td> <td>耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> <td rowspan="10">差圧式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器水位</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td rowspan="3">測温抵抗体</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度</td> <td rowspan="2">熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器水素イグナイタ温度</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td rowspan="2">電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> <td rowspan="2">電離箱</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	パラメータ名	検出器の種類	耐環境試験条件	評価	1次冷却材圧力 (広域)	弾性圧力検出器	[Redacted]	耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。	加圧器水位	差圧式水位検出器	同上	原子炉容器水位	同上	蒸気発生器水位 (狭域)	同上	蒸気発生器水位 (広域)	同上	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	同上	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	同上	1次冷却材温度 (広域-高温側)	測温抵抗体	同上	1次冷却材温度 (広域-低温側)	同上	格納容器内温度	同上	原子炉格納容器内水素処理装置温度	熱電対	同上	格納容器水素イグナイタ温度	同上	格納容器水位	電極式水位検出器	同上	原子炉下部キャビティ水位	同上	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	電離箱	同上	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	同上	<p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>・大飯では原子炉格納容器内の重要な監視パラメータのみ記載し、重要代替パラメータは記載していないが、泊では原子炉格納容器内の重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを記載している。</p>
検出器種類			監視計器	事故時模擬試験時の最大値																																																																																																
	圧力 [MPa (gauge)]	温度 [℃]		積算線量 [MGy]																																																																																																
伝送器* 1</td <td>1次冷却材圧力</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td>	1次冷却材圧力	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]																																																																																																
	加圧器圧力																																																																																																			
	加圧器水位																																																																																																			
	蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																																			
蒸気発生器水位 (広域)																																																																																																				
格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)																																																																																																				
格納容器再循環ポンプ水位 (広域)																																																																																																				
温度計**3 (RTD)	1次冷却材高温側温度 (狭域)																																																																																																			
	1次冷却材低温側温度 (広域)																																																																																																			
エリアモニタ**3	格納容器内温度																																																																																																			
	格納容器高レンジモニタ (高レンジ)																																																																																																			
パラメータ名	検出器の種類				耐環境試験条件	評価																																																																																														
原子炉圧力容器温度	熱電対	[Redacted]	耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。																																																																																																	
ドライウェル温度	熱電対		同上																																																																																																	
圧力制御室内空気温度	熱電対		同上																																																																																																	
サブプレッションプール水温度	測温抵抗体		同上																																																																																																	
原子炉格納容器下部水位	電極式水位検出器		同上																																																																																																	
原子炉格納容器下部温度	熱電対		同上																																																																																																	
ドライウェル水位	電極式水位検出器		同上																																																																																																	
格納容器内水素濃度 (B/W) / 格納容器内水素濃度 (S/W)	水素吸蔵材柱式水素検出器		同上																																																																																																	
パラメータ名	検出器の種類		耐環境試験条件	評価																																																																																																
1次冷却材圧力 (広域)	弾性圧力検出器		[Redacted]	耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。																																																																																																
加圧器水位	差圧式水位検出器	同上																																																																																																		
原子炉容器水位		同上																																																																																																		
蒸気発生器水位 (狭域)		同上																																																																																																		
蒸気発生器水位 (広域)		同上																																																																																																		
格納容器再循環サンプ水位 (広域)		同上																																																																																																		
格納容器再循環サンプ水位 (狭域)		同上																																																																																																		
1次冷却材温度 (広域-高温側)		測温抵抗体		同上																																																																																																
1次冷却材温度 (広域-低温側)				同上																																																																																																
格納容器内温度				同上																																																																																																
原子炉格納容器内水素処理装置温度		熱電対	同上																																																																																																	
格納容器水素イグナイタ温度	同上																																																																																																			
格納容器水位	電極式水位検出器	同上																																																																																																		
原子炉下部キャビティ水位		同上																																																																																																		
格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	電離箱	同上																																																																																																		
格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)		同上																																																																																																		

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
	<p>表 58-10-4 重大事故等時における耐環境条件^{※1, 2, 3}</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">類型化区分</th> <th colspan="4">環境条件</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>圧力</th> <th>湿度</th> <th>放射線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内</td> <td>A</td> <td>200℃</td> <td>0.63MPa [abs]</td> <td>従来設計と同等 (100%)^{※4}、又はそれ以下</td> <td>従来設計と同等 (100%)^{※4}、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補助格納容器内^{※5}</td> <td>B</td> <td>従来設計と同等 (100%)^{※4}、又はそれ以下</td> <td>0.4MPa [abs]、又はそれ以下</td> <td>従来設計と同等 (100%)^{※4}、又はそれ以下</td> <td>従来設計と同等 (100%)^{※4}、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の建屋内</td> <td>C</td> <td>通常状態における設計値と同等</td> <td>大気圧相当</td> <td>通常状態における設計値と同等</td> <td>設置場所及び原子炉補助格納容器内での放射線レベルの範囲が可及的に異なる場所あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>D</td> <td>外気温 (最大約 37℃)</td> <td>大気圧</td> <td>通常状態における設計値と同等</td> <td>設置場所及び原子炉補助格納容器内の放射線レベルの範囲が可及的に異なる場所あり</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 表中は各環境条件項目の最大値を記載する。また、評価値は詳細評価により今後見直す可能性もある。 ※2 設備設置場所や設備の固有の条件 (付近に発熱源や線源があるもの) の影響を受けるものは個別に評価する。 ※3 炉心損傷の有無、設備の設置場所等により大きく異なるため、それらの影響が大きいものは個別に評価する。 ※4 機器の仕様等については使用済燃料プール施設の設計を考慮する。また、格納容器バイパス (インターフェイスシステムLOCA) 等の原子炉格納容器内への影響が大きいため、必要に応じて個別に設定する。 ※5 従来設計は非常状態における安全系統器の設計値の一例を示す。 ※6 原子炉補助格納容器内の設計値の一例を示す。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	設置場所	類型化区分	環境条件				備考	温度	圧力	湿度	放射線	原子炉格納容器内	A	200℃	0.63MPa [abs]	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下		原子炉補助格納容器内 ^{※5}	B	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	0.4MPa [abs]、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下		その他の建屋内	C	通常状態における設計値と同等	大気圧相当	通常状態における設計値と同等	設置場所及び原子炉補助格納容器内での放射線レベルの範囲が可及的に異なる場所あり		屋外	D	外気温 (最大約 37℃)	大気圧	通常状態における設計値と同等	設置場所及び原子炉補助格納容器内の放射線レベルの範囲が可及的に異なる場所あり		<p>表 58-10-4 重大事故等時における耐環境条件^{※1, 2, 3}</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">類型化区分</th> <th colspan="4">環境条件</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>圧力</th> <th>湿度</th> <th>放射線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内</td> <td>A</td> <td>141℃</td> <td>0.360MPa [abs]</td> <td>従来設計と同等 (100%)^{※4}、又はそれ以下</td> <td>従来設計と同等 (100%)^{※4}、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内</td> <td>Ba</td> <td>112℃、又はそれ以下</td> <td>大気圧相当</td> <td>従来設計と同等 (100%)^{※4}、又はそれ以下</td> <td>50mGy/h、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Bb</td> <td>100℃</td> <td>大気圧相当</td> <td>100%</td> <td>0.15mGy/h、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Bc</td> <td>50℃、又はそれ以下</td> <td>大気圧相当</td> <td>従来設計と同等 (100%)^{※4}、又はそれ以下</td> <td>20mGy/h、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他副置建屋内^{※6}</td> <td>Bd</td> <td>60℃、又はそれ以下</td> <td>大気圧相当</td> <td>従来設計と同等 (100%)^{※4}、又はそれ以下</td> <td>100mGy/h、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>C</td> <td>外気温 (38℃)</td> <td>大気圧</td> <td>通常状態における設計値と同等</td> <td>10mGy/h、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 表中は各環境条件の項目の最大値を記載する。また、評価値は詳細評価により今後見直す可能性もある。 ※2 設備設置場所や設備の固有の条件 (付近に発熱源や線源があるもの) の影響を受けるものは個別に評価する。 ※3 炉心損傷の有無、設備の設置場所等により大きく異なるため、それらの影響が大きいものは個別に評価する。 ※4 格納容器バイパス (インターフェイスシステム LOCA) 及び蒸気発生器伝熱管破損時に破損側蒸気発生器の隔離に失敗する事故時) 及び使用済燃料ピットにおける重大事故に達するおそれがある事故時の周辺の格納容器、燃料取扱機、原子炉補助格納容器等の環境への影響が大きいため、必要な設備が設定される事象については、個別に設定する。 ※5 格納容器バイパス (インターフェイスシステム LOCA) 時に使用が期待される安全補機室及び周辺区画の設備の設置箇所。 ※6 使用済燃料ピットにおける重大事故に達するおそれがある事故時に使用が期待される使用済燃料ピット及び周辺区画に設置する設備の設置箇所。 ※7 格納容器バイパス (蒸気発生器伝熱管破損時に破損側蒸気発生器の隔離に失敗する事故) 時に使用が期待される主蒸気管密及び周辺の区画の設備の設置箇所。 ※8 インターフェイスシステム LOCA 時、使用済燃料ピットにおける重大事故に達するおそれがある事故時、蒸気発生器伝熱管破損時に破損側蒸気発生器の隔離に失敗する事故時に使用されるが、それらの事故の影響を受けない設備又はそれらの事故以外の事故時に使用が期待される設備の、周辺補機室、原子炉補助格納容器等の設置箇所。 ※9 従来設計値は非常状態における安全系統器の設計値の一例を示す。</p>	設置場所	類型化区分	環境条件				備考	温度	圧力	湿度	放射線	原子炉格納容器内	A	141℃	0.360MPa [abs]	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下		原子炉格納容器内	Ba	112℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	50mGy/h、又はそれ以下		Bb	100℃	大気圧相当	100%	0.15mGy/h、又はそれ以下		Bc	50℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	20mGy/h、又はそれ以下		その他副置建屋内 ^{※6}	Bd	60℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	100mGy/h、又はそれ以下		屋外	C	外気温 (38℃)	大気圧	通常状態における設計値と同等	10mGy/h、又はそれ以下		<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】記載方針の相違 ・女川では設置場所耐環境条件を分類しているが、泊では設置場所に加えインターフェイスシステムLOCAや使用済燃料ピット事故等の事故により影響を受ける場所も分類し、より詳細な分類としている。</p>
設置場所	類型化区分			環境条件					備考																																																																																				
		温度	圧力	湿度	放射線																																																																																								
原子炉格納容器内	A	200℃	0.63MPa [abs]	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下																																																																																								
原子炉補助格納容器内 ^{※5}	B	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	0.4MPa [abs]、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下																																																																																								
その他の建屋内	C	通常状態における設計値と同等	大気圧相当	通常状態における設計値と同等	設置場所及び原子炉補助格納容器内での放射線レベルの範囲が可及的に異なる場所あり																																																																																								
屋外	D	外気温 (最大約 37℃)	大気圧	通常状態における設計値と同等	設置場所及び原子炉補助格納容器内の放射線レベルの範囲が可及的に異なる場所あり																																																																																								
設置場所	類型化区分	環境条件				備考																																																																																							
		温度	圧力	湿度	放射線																																																																																								
原子炉格納容器内	A	141℃	0.360MPa [abs]	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下																																																																																								
原子炉格納容器内	Ba	112℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	50mGy/h、又はそれ以下																																																																																								
	Bb	100℃	大気圧相当	100%	0.15mGy/h、又はそれ以下																																																																																								
	Bc	50℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	20mGy/h、又はそれ以下																																																																																								
その他副置建屋内 ^{※6}	Bd	60℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) ^{※4} 、又はそれ以下	100mGy/h、又はそれ以下																																																																																								
屋外	C	外気温 (38℃)	大気圧	通常状態における設計値と同等	10mGy/h、又はそれ以下																																																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>(参考) 大飯3、4号炉 原子炉格納容器内の放射線環境について</p> <p>1. はじめに 原子炉格納容器（C/V）内に設置されている計装設備の耐放射線に対する要求条件を確認するため、シビアアクシデント（SA）時のC/V内の放射線環境を評価した。</p> <p>2. 評価条件 SA時にC/V内に放出された核分裂生成物（FP）がC/V空間に均一に分布するとし、第1表に示す条件に基づき、C/V内の放射線量を評価した。</p> <p style="text-align: center;">第1表 評価条件</p> <table border="1" data-bbox="91 582 633 879"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>条件</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線源強度</td> <td>炉心 55GW ウラン炉心</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線量評価モデル</td> <td>事象 AM 策考慮の過圧破損（大LOCA+ECCS 注入失敗+CV スプレイ失敗）</td> <td>当該事象を模擬したC/V内へのFP量の時間変化を考慮</td> </tr> <tr> <td></td> <td>形状・評価点 C/V 自由体積を保存した半球モデル 評価点は、半球面の中心</td> <td>壁面設置の計器が180度方向から放射線照射を受けることを模擬</td> </tr> <tr> <td></td> <td>密度 C/V内に存在する水分を考慮し、C/V空間に均質化した嵩密度</td> <td>当該事象を模擬したC/V内の水分量の時間変化を考慮</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 評価結果 解析の結果、SA時に想定される放射線積算値は であることを確認した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	項目	条件	備考	線源強度	炉心 55GW ウラン炉心		線量評価モデル	事象 AM 策考慮の過圧破損（大LOCA+ECCS 注入失敗+CV スプレイ失敗）	当該事象を模擬したC/V内へのFP量の時間変化を考慮		形状・評価点 C/V 自由体積を保存した半球モデル 評価点は、半球面の中心	壁面設置の計器が180度方向から放射線照射を受けることを模擬		密度 C/V内に存在する水分を考慮し、C/V空間に均質化した嵩密度	当該事象を模擬したC/V内の水分量の時間変化を考慮			<p>【大飯】資料構成の相違（女川実績の反映）</p>
項目	条件	備考																
線源強度	炉心 55GW ウラン炉心																	
線量評価モデル	事象 AM 策考慮の過圧破損（大LOCA+ECCS 注入失敗+CV スプレイ失敗）	当該事象を模擬したC/V内へのFP量の時間変化を考慮																
	形状・評価点 C/V 自由体積を保存した半球モデル 評価点は、半球面の中心	壁面設置の計器が180度方向から放射線照射を受けることを模擬																
	密度 C/V内に存在する水分を考慮し、C/V空間に均質化した嵩密度	当該事象を模擬したC/V内の水分量の時間変化を考慮																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(大飯該当資料なし。以降同様。)</p>	<p>58-11 パラメータの抽出について</p> <p>1. 設置許可基準規則の第58条における計装設備 設置許可基準規則第58条で抽出されたパラメータは、その他の条文にて主要設備を用いた炉心損傷防止及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態として抽出された計装設備であり、各条文との関連性を明確にしたものを表58-11-1に示す。</p> <p>2. 重大事故等対策の有効性評価において期待する計装設備 重大事故等対策の有効性評価において必要なパラメータは、炉心損傷防止及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な判断及び監視に用いる計装設備であり、これらが本条文中で適切に抽出されていることを表58-11-2に示す。</p>	<p>58-11 パラメータの抽出について</p> <p>1. 設置許可基準規則の第58条における計装設備 設置許可基準規則第58条で抽出されたパラメータは、その他の条文にて主要設備を用いた炉心損傷防止及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態として抽出された計装設備であり、各条文との関連性を明確にしたものを表58-11-1に示す。</p> <p>2. 重大事故等対策の有効性評価において期待する計装設備 重大事故等対策の有効性評価において必要なパラメータは、炉心損傷防止及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な判断及び監視に用いる計装設備であり、これらが本条文中で適切に抽出されていることを表58-11-2に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>表 58-11-1 設置許可基準規程の第 58 条における計装設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th><th>15</th><th>16</th><th>17</th><th>18</th><th>19</th><th>20</th><th>21</th><th>22</th><th>23</th><th>24</th><th>25</th><th>26</th><th>27</th><th>28</th><th>29</th><th>30</th><th>31</th><th>32</th><th>33</th><th>34</th><th>35</th><th>36</th><th>37</th><th>38</th><th>39</th><th>40</th><th>41</th><th>42</th><th>43</th><th>44</th><th>45</th><th>46</th><th>47</th><th>48</th><th>49</th><th>50</th><th>51</th><th>52</th><th>53</th><th>54</th><th>55</th><th>56</th><th>57</th><th>58</th><th>59</th><th>60</th><th>61</th><th>62</th><th>63</th><th>64</th><th>65</th><th>66</th><th>67</th><th>68</th><th>69</th><th>70</th><th>71</th><th>72</th><th>73</th><th>74</th><th>75</th><th>76</th><th>77</th><th>78</th><th>79</th><th>80</th><th>81</th><th>82</th><th>83</th><th>84</th><th>85</th><th>86</th><th>87</th><th>88</th><th>89</th><th>90</th><th>91</th><th>92</th><th>93</th><th>94</th><th>95</th><th>96</th><th>97</th><th>98</th><th>99</th><th>100</th> </tr> </thead> </table>	項目	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	<p>表 58-11-1 設置許可基準規程の第 58 条における計装設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th><th>15</th><th>16</th><th>17</th><th>18</th><th>19</th><th>20</th><th>21</th><th>22</th><th>23</th><th>24</th><th>25</th><th>26</th><th>27</th><th>28</th><th>29</th><th>30</th><th>31</th><th>32</th><th>33</th><th>34</th><th>35</th><th>36</th><th>37</th><th>38</th><th>39</th><th>40</th><th>41</th><th>42</th><th>43</th><th>44</th><th>45</th><th>46</th><th>47</th><th>48</th><th>49</th><th>50</th><th>51</th><th>52</th><th>53</th><th>54</th><th>55</th><th>56</th><th>57</th><th>58</th><th>59</th><th>60</th><th>61</th><th>62</th><th>63</th><th>64</th><th>65</th><th>66</th><th>67</th><th>68</th><th>69</th><th>70</th><th>71</th><th>72</th><th>73</th><th>74</th><th>75</th><th>76</th><th>77</th><th>78</th><th>79</th><th>80</th><th>81</th><th>82</th><th>83</th><th>84</th><th>85</th><th>86</th><th>87</th><th>88</th><th>89</th><th>90</th><th>91</th><th>92</th><th>93</th><th>94</th><th>95</th><th>96</th><th>97</th><th>98</th><th>99</th><th>100</th> </tr> </thead> </table>	項目	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	<p>表 58-11-1 設置許可基準規程の第 58 条における計装設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th><th>15</th><th>16</th><th>17</th><th>18</th><th>19</th><th>20</th><th>21</th><th>22</th><th>23</th><th>24</th><th>25</th><th>26</th><th>27</th><th>28</th><th>29</th><th>30</th><th>31</th><th>32</th><th>33</th><th>34</th><th>35</th><th>36</th><th>37</th><th>38</th><th>39</th><th>40</th><th>41</th><th>42</th><th>43</th><th>44</th><th>45</th><th>46</th><th>47</th><th>48</th><th>49</th><th>50</th><th>51</th><th>52</th><th>53</th><th>54</th><th>55</th><th>56</th><th>57</th><th>58</th><th>59</th><th>60</th><th>61</th><th>62</th><th>63</th><th>64</th><th>65</th><th>66</th><th>67</th><th>68</th><th>69</th><th>70</th><th>71</th><th>72</th><th>73</th><th>74</th><th>75</th><th>76</th><th>77</th><th>78</th><th>79</th><th>80</th><th>81</th><th>82</th><th>83</th><th>84</th><th>85</th><th>86</th><th>87</th><th>88</th><th>89</th><th>90</th><th>91</th><th>92</th><th>93</th><th>94</th><th>95</th><th>96</th><th>97</th><th>98</th><th>99</th><th>100</th> </tr> </thead> </table>	項目	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	<p>相違理由</p> <p>【女川】炉型の相違 ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。</p>
項目	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																																																																																																										
項目	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																																																																																																										
項目	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																																																																																																										

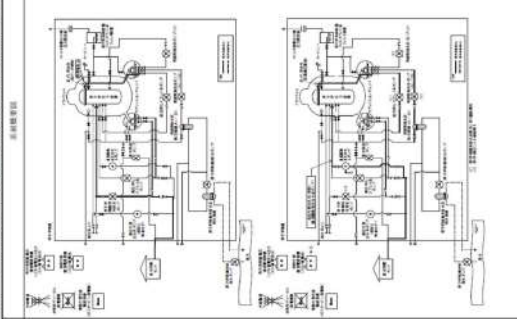
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (7/36)</p>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (7/36)</p>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (7/36)</p>	
<p>図 58-11-2-37-1 図 58-11-2-37-2</p>	<p>図 58-11-2-37-1 図 58-11-2-37-2</p>	<p>図 58-11-2-37-1 図 58-11-2-37-2</p>	
<p>図 58-11-2-37-1 図 58-11-2-37-2</p>	<p>図 58-11-2-37-1 図 58-11-2-37-2</p>	<p>図 58-11-2-37-1 図 58-11-2-37-2</p>	

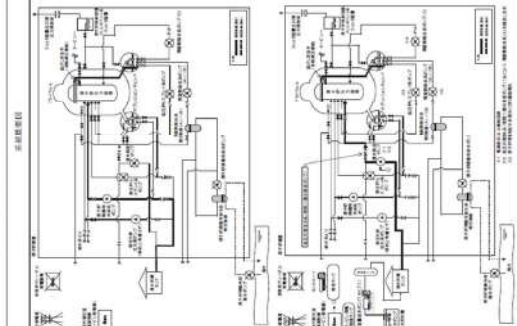
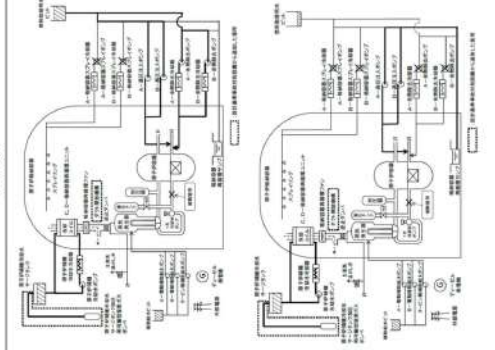
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																																																		
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (11/26)</p> <p>シナリオ 2.1.3 原子炉冷却系 断熱喪失 (ツツ管)</p>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (11/26)</p> 	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (11/26)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>シナリオ</th> <th>若林機組別</th> <th>期待する設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">2.1.3</td> <td rowspan="20">原子炉冷却系 断熱喪失 (ツツ管)</td> <td rowspan="20">若林機組別</td> <td>可搬式ポンプ (冷却)</td> <td>19 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>アモニウム系減圧炉内冷却装置</td> <td>22 条 (体系設計)</td> </tr> <tr> <td>緊急冷却システム</td> <td>20 条 (附ばく装置)</td> </tr> <tr> <td>緑化炉 (冷却)</td> <td>23 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>アモニウム系空気浄化設備</td> <td>ダクト、</td> </tr> <tr> <td>ポンプ、</td> <td>24 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>ポンプ、</td> <td>25 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中央制御室空調装置</td> <td>ダクト、</td> </tr> <tr> <td>ポンプ、</td> <td>26 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中央制御室</td> <td>27 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中央制御室</td> <td>28 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>比力削減用中性子棒</td> <td>29 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中性子制御用中性子棒</td> <td>30 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中性子制御用中性子棒</td> <td>31 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中性子制御用中性子棒</td> <td>32 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中性子制御用中性子棒</td> <td>33 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中性子制御用中性子棒</td> <td>34 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中性子制御用中性子棒</td> <td>35 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中性子制御用中性子棒</td> <td>36 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中性子制御用中性子棒</td> <td>37 条 (設備)</td> </tr> <tr> <td>中性子制御用中性子棒</td> <td>38 条 (設備)</td> </tr> </tbody> </table>	No	シナリオ	若林機組別	期待する設備	分類	2.1.3	原子炉冷却系 断熱喪失 (ツツ管)	若林機組別	可搬式ポンプ (冷却)	19 条 (設備)	アモニウム系減圧炉内冷却装置	22 条 (体系設計)	緊急冷却システム	20 条 (附ばく装置)	緑化炉 (冷却)	23 条 (設備)	アモニウム系空気浄化設備	ダクト、	ポンプ、	24 条 (設備)	ポンプ、	25 条 (設備)	中央制御室空調装置	ダクト、	ポンプ、	26 条 (設備)	中央制御室	27 条 (設備)	中央制御室	28 条 (設備)	比力削減用中性子棒	29 条 (設備)	中性子制御用中性子棒	30 条 (設備)	中性子制御用中性子棒	31 条 (設備)	中性子制御用中性子棒	32 条 (設備)	中性子制御用中性子棒	33 条 (設備)	中性子制御用中性子棒	34 条 (設備)	中性子制御用中性子棒	35 条 (設備)	中性子制御用中性子棒	36 条 (設備)	中性子制御用中性子棒	37 条 (設備)	中性子制御用中性子棒	38 条 (設備)	<p>相違理由</p>
No	シナリオ	若林機組別	期待する設備	分類																																																	
2.1.3	原子炉冷却系 断熱喪失 (ツツ管)	若林機組別	可搬式ポンプ (冷却)	19 条 (設備)																																																	
			アモニウム系減圧炉内冷却装置	22 条 (体系設計)																																																	
			緊急冷却システム	20 条 (附ばく装置)																																																	
			緑化炉 (冷却)	23 条 (設備)																																																	
			アモニウム系空気浄化設備	ダクト、																																																	
			ポンプ、	24 条 (設備)																																																	
			ポンプ、	25 条 (設備)																																																	
			中央制御室空調装置	ダクト、																																																	
			ポンプ、	26 条 (設備)																																																	
			中央制御室	27 条 (設備)																																																	
			中央制御室	28 条 (設備)																																																	
			比力削減用中性子棒	29 条 (設備)																																																	
			中性子制御用中性子棒	30 条 (設備)																																																	
			中性子制御用中性子棒	31 条 (設備)																																																	
			中性子制御用中性子棒	32 条 (設備)																																																	
			中性子制御用中性子棒	33 条 (設備)																																																	
			中性子制御用中性子棒	34 条 (設備)																																																	
			中性子制御用中性子棒	35 条 (設備)																																																	
			中性子制御用中性子棒	36 条 (設備)																																																	
			中性子制御用中性子棒	37 条 (設備)																																																	
中性子制御用中性子棒	38 条 (設備)																																																				

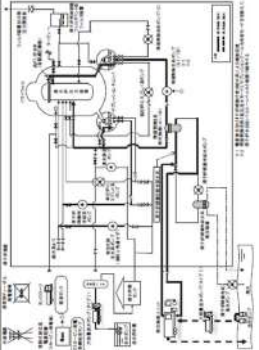
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいては期待する設備とその分類について (13/36)</p> 	<p>期待する設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 14 各炉内循環炉内冷却ポンプ (機上/機下用圧力調整) 17 各 冷却ポンプ 18 各 冷却ポンプ 19 各 冷却ポンプ 20 各 冷却ポンプ 21 各 冷却ポンプ 22 各 冷却ポンプ 23 各 冷却ポンプ 24 各 冷却ポンプ 25 各 冷却ポンプ 26 各 冷却ポンプ 27 各 冷却ポンプ 28 各 冷却ポンプ 29 各 冷却ポンプ 30 各 冷却ポンプ 31 各 冷却ポンプ 32 各 冷却ポンプ 33 各 冷却ポンプ 34 各 冷却ポンプ 35 各 冷却ポンプ 36 各 冷却ポンプ 37 各 冷却ポンプ 38 各 冷却ポンプ 39 各 冷却ポンプ 40 各 冷却ポンプ 41 各 冷却ポンプ 42 各 冷却ポンプ 43 各 冷却ポンプ 44 各 冷却ポンプ 45 各 冷却ポンプ 46 各 冷却ポンプ 47 各 冷却ポンプ 48 各 冷却ポンプ 49 各 冷却ポンプ 50 各 冷却ポンプ 51 各 冷却ポンプ 52 各 冷却ポンプ 53 各 冷却ポンプ 54 各 冷却ポンプ 55 各 冷却ポンプ 56 各 冷却ポンプ 57 各 冷却ポンプ 58 各 冷却ポンプ 59 各 冷却ポンプ 60 各 冷却ポンプ 61 各 冷却ポンプ 62 各 冷却ポンプ 63 各 冷却ポンプ 64 各 冷却ポンプ 65 各 冷却ポンプ 66 各 冷却ポンプ 67 各 冷却ポンプ 68 各 冷却ポンプ 69 各 冷却ポンプ 70 各 冷却ポンプ 71 各 冷却ポンプ 72 各 冷却ポンプ 73 各 冷却ポンプ 74 各 冷却ポンプ 75 各 冷却ポンプ 76 各 冷却ポンプ 77 各 冷却ポンプ 78 各 冷却ポンプ 79 各 冷却ポンプ 80 各 冷却ポンプ 81 各 冷却ポンプ 82 各 冷却ポンプ 83 各 冷却ポンプ 84 各 冷却ポンプ 85 各 冷却ポンプ 86 各 冷却ポンプ 87 各 冷却ポンプ 88 各 冷却ポンプ 89 各 冷却ポンプ 90 各 冷却ポンプ 91 各 冷却ポンプ 92 各 冷却ポンプ 93 各 冷却ポンプ 94 各 冷却ポンプ 95 各 冷却ポンプ 96 各 冷却ポンプ 97 各 冷却ポンプ 98 各 冷却ポンプ 99 各 冷却ポンプ 100 各 冷却ポンプ 	<p>シナリオ T.L.4 原子炉冷却系 喪失</p> <p>系統概要図</p>  <p>期待する設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 17 各炉内循環炉内冷却ポンプ (機上/機下用圧力調整) 18 各 冷却ポンプ 19 各 冷却ポンプ 20 各 冷却ポンプ 21 各 冷却ポンプ 22 各 冷却ポンプ 23 各 冷却ポンプ 24 各 冷却ポンプ 25 各 冷却ポンプ 26 各 冷却ポンプ 27 各 冷却ポンプ 28 各 冷却ポンプ 29 各 冷却ポンプ 30 各 冷却ポンプ 31 各 冷却ポンプ 32 各 冷却ポンプ 33 各 冷却ポンプ 34 各 冷却ポンプ 35 各 冷却ポンプ 36 各 冷却ポンプ 37 各 冷却ポンプ 38 各 冷却ポンプ 39 各 冷却ポンプ 40 各 冷却ポンプ 41 各 冷却ポンプ 42 各 冷却ポンプ 43 各 冷却ポンプ 44 各 冷却ポンプ 45 各 冷却ポンプ 46 各 冷却ポンプ 47 各 冷却ポンプ 48 各 冷却ポンプ 49 各 冷却ポンプ 50 各 冷却ポンプ 51 各 冷却ポンプ 52 各 冷却ポンプ 53 各 冷却ポンプ 54 各 冷却ポンプ 55 各 冷却ポンプ 56 各 冷却ポンプ 57 各 冷却ポンプ 58 各 冷却ポンプ 59 各 冷却ポンプ 60 各 冷却ポンプ 61 各 冷却ポンプ 62 各 冷却ポンプ 63 各 冷却ポンプ 64 各 冷却ポンプ 65 各 冷却ポンプ 66 各 冷却ポンプ 67 各 冷却ポンプ 68 各 冷却ポンプ 69 各 冷却ポンプ 70 各 冷却ポンプ 71 各 冷却ポンプ 72 各 冷却ポンプ 73 各 冷却ポンプ 74 各 冷却ポンプ 75 各 冷却ポンプ 76 各 冷却ポンプ 77 各 冷却ポンプ 78 各 冷却ポンプ 79 各 冷却ポンプ 80 各 冷却ポンプ 81 各 冷却ポンプ 82 各 冷却ポンプ 83 各 冷却ポンプ 84 各 冷却ポンプ 85 各 冷却ポンプ 86 各 冷却ポンプ 87 各 冷却ポンプ 88 各 冷却ポンプ 89 各 冷却ポンプ 90 各 冷却ポンプ 91 各 冷却ポンプ 92 各 冷却ポンプ 93 各 冷却ポンプ 94 各 冷却ポンプ 95 各 冷却ポンプ 96 各 冷却ポンプ 97 各 冷却ポンプ 98 各 冷却ポンプ 99 各 冷却ポンプ 100 各 冷却ポンプ 	<p>相違理由</p>

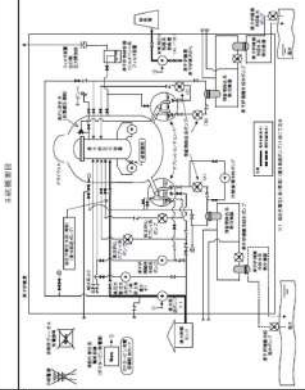
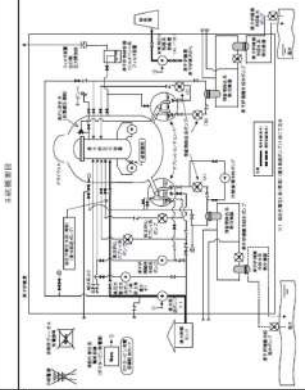
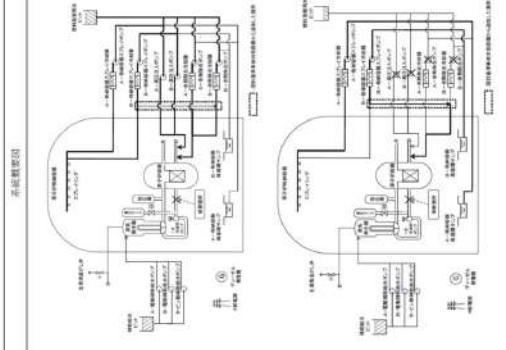
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (14/38)</p>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (14/38)</p> 	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (14/38)</p>	<p>相違理由</p>

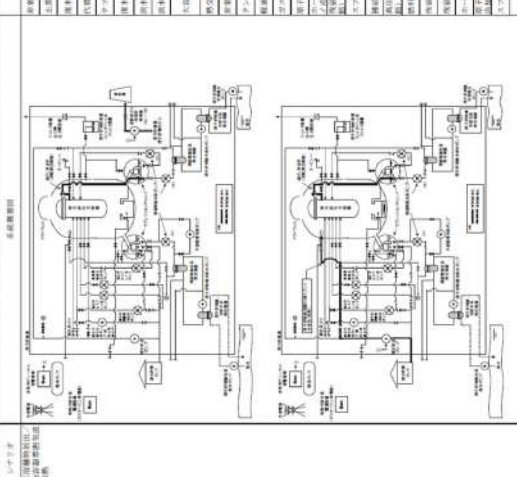
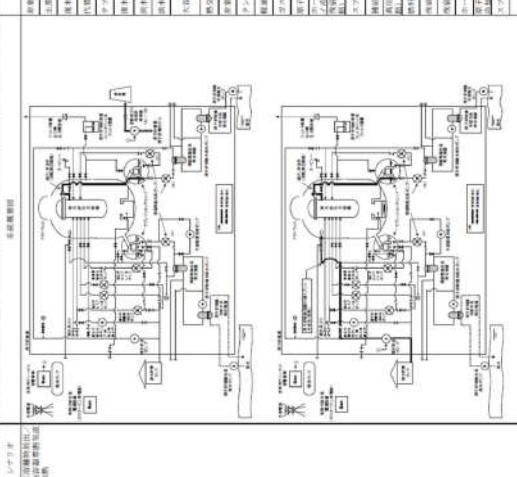
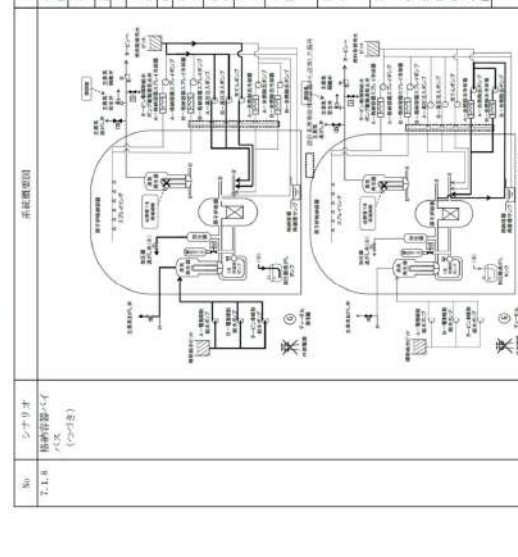
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (23/36)</p> 	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (23/36)</p> 	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (23/36)</p> 	<p>相違理由</p>

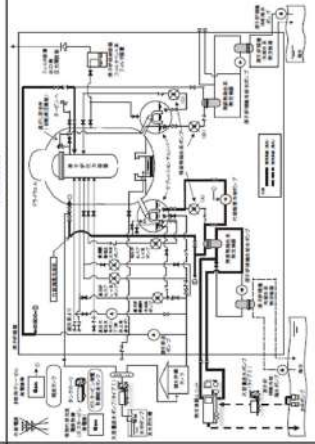
灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について(27/36)</p> 	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について(27/36)</p> 	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について(27/56)</p> 	<p>相違理由</p>

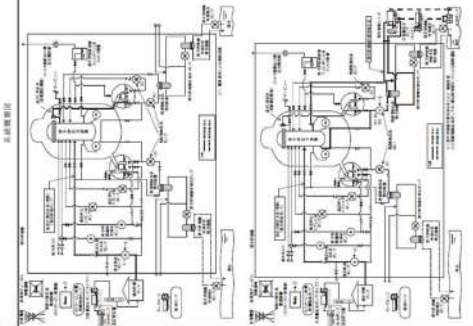
灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (29/36)</p>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (29/56)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>系統概要図</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>期待する設備</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>低圧貯留タンク水位</td> <td>51条 (本所) (設計設備)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器代替エアプレイ装置</td> <td>49条 (格納容器の冷却) 54条 (代替エアプレイ装置)</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室水位</td> <td>51条 (本所) (設計設備) 52条 (本所) (設計設備)</td> </tr> <tr> <td>汽機熱源冷却ポンプ出口流量</td> <td>56条 (代替熱源冷却)</td> </tr> <tr> <td>低圧貯留タンク内冷却ポンプ流量</td> <td>51条 (代替熱源冷却) 52条 (代替熱源冷却)</td> </tr> <tr> <td>サブプレッシャープール水温度</td> <td>54条 (格納容器冷却設備部)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内冷却ポンプ流量</td> <td>54条 (格納容器冷却設備部)</td> </tr> </table> </div> </div>	低圧貯留タンク水位	51条 (本所) (設計設備)	原子炉格納容器代替エアプレイ装置	49条 (格納容器の冷却) 54条 (代替エアプレイ装置)	圧力制御室水位	51条 (本所) (設計設備) 52条 (本所) (設計設備)	汽機熱源冷却ポンプ出口流量	56条 (代替熱源冷却)	低圧貯留タンク内冷却ポンプ流量	51条 (代替熱源冷却) 52条 (代替熱源冷却)	サブプレッシャープール水温度	54条 (格納容器冷却設備部)	格納容器内冷却ポンプ流量	54条 (格納容器冷却設備部)	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (29/56)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>シナリオ</th> <th>系統概要図</th> <th>期待する設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.1.8</td> <td>格納容器パイプス (ツブき)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">系統概要図</td> <td>主蒸気ウインピ力</td> <td>58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>蒸気発生器水位 (格納)</td> <td>58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補助給水ピット水位</td> <td>58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</td> <td>58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)</td> <td>58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	シナリオ	系統概要図	期待する設備	分類	7.1.8	格納容器パイプス (ツブき)	系統概要図	主蒸気ウインピ力	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)			蒸気発生器水位 (格納)	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)			蒸気発生器水位 (広域)	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)			補助給水ピット水位	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)			格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)			格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)	<p>相違理由</p>
低圧貯留タンク水位	51条 (本所) (設計設備)																																														
原子炉格納容器代替エアプレイ装置	49条 (格納容器の冷却) 54条 (代替エアプレイ装置)																																														
圧力制御室水位	51条 (本所) (設計設備) 52条 (本所) (設計設備)																																														
汽機熱源冷却ポンプ出口流量	56条 (代替熱源冷却)																																														
低圧貯留タンク内冷却ポンプ流量	51条 (代替熱源冷却) 52条 (代替熱源冷却)																																														
サブプレッシャープール水温度	54条 (格納容器冷却設備部)																																														
格納容器内冷却ポンプ流量	54条 (格納容器冷却設備部)																																														
No.	シナリオ	系統概要図	期待する設備	分類																																											
7.1.8	格納容器パイプス (ツブき)	系統概要図	主蒸気ウインピ力	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)																																											
			蒸気発生器水位 (格納)	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)																																											
			蒸気発生器水位 (広域)	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)																																											
			補助給水ピット水位	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)																																											
			格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)																																											
			格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)	58 未設計基準記項 (解析上使用を仮定)																																											

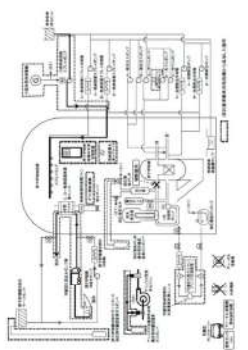
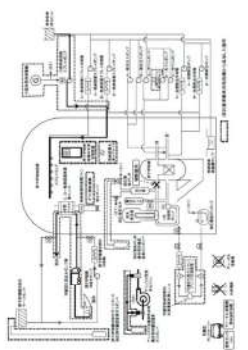
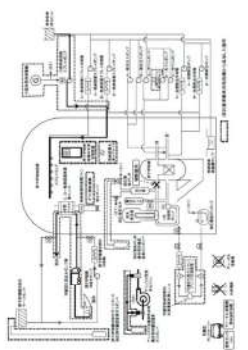
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (33/36)</p>	 <p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (33/36)</p>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (33/36)</p>																																																													
<p>シナリオ No. 7.2.1.1 常風圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損) (ツブネ)</p>	<p>期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="694 159 1220 1069"> <thead> <tr> <th>期待する設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低圧注入流量</td> <td>を仮定)</td> </tr> <tr> <td>燃料管管用水レベル水位</td> <td>を仮定)</td> </tr> <tr> <td>B-1格納容器スプレッドレイ冷却器出口機構破滅 (AM用)</td> <td>却条・51条・56条 (水漏)</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力 (AM用)</td> <td>却条・51条 (代替格納容器スプレッドレイ)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域一高温度)</td> <td>55条 (格納容器圧力確認)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域一低温度)</td> <td>55条 (原子炉状態確認)</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレッドレイ出口機構破滅</td> <td>55条 (原子炉状態確認)</td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>却条・51条 (注水確認)</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>55条 (代替格納容器スプレッドレイ)</td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計設置 (格納容器内蔵)</td> <td>55条 (格納容器圧力確認)</td> </tr> <tr> <td>格納容器入口流量/出口流量</td> <td>59条 (自然対流冷却)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</td> <td>55条 (格納容器圧力確認)</td> </tr> <tr> <td>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット</td> <td>52条 (格納容器圧力確認)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>53条 (格納容器圧力確認)</td> </tr> </tbody> </table>	期待する設備	分類	低圧注入流量	を仮定)	燃料管管用水レベル水位	を仮定)	B-1格納容器スプレッドレイ冷却器出口機構破滅 (AM用)	却条・51条・56条 (水漏)	格納容器圧力 (AM用)	却条・51条 (代替格納容器スプレッドレイ)	1次冷却材温度 (広域一高温度)	55条 (格納容器圧力確認)	1次冷却材温度 (広域一低温度)	55条 (原子炉状態確認)	代替格納容器スプレッドレイ出口機構破滅	55条 (原子炉状態確認)	格納容器水位	却条・51条 (注水確認)	原子炉下部キャビティ水位	55条 (代替格納容器スプレッドレイ)	可搬型温度計設置 (格納容器内蔵)	55条 (格納容器圧力確認)	格納容器入口流量/出口流量	59条 (自然対流冷却)	可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	55条 (格納容器圧力確認)	可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	52条 (格納容器圧力確認)		53条 (格納容器圧力確認)	<p>期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1288 159 1780 1069"> <thead> <tr> <th>期待する設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低圧注入流量</td> <td>を仮定)</td> </tr> <tr> <td>燃料管管用水レベル水位</td> <td>を仮定)</td> </tr> <tr> <td>B-1格納容器スプレッドレイ冷却器出口機構破滅 (AM用)</td> <td>却条・51条・56条 (水漏)</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力 (AM用)</td> <td>却条・51条 (代替格納容器スプレッドレイ)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域一高温度)</td> <td>55条 (格納容器圧力確認)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域一低温度)</td> <td>55条 (原子炉状態確認)</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレッドレイ出口機構破滅</td> <td>55条 (原子炉状態確認)</td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>却条・51条 (注水確認)</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>55条 (代替格納容器スプレッドレイ)</td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計設置 (格納容器内蔵)</td> <td>55条 (格納容器圧力確認)</td> </tr> <tr> <td>格納容器入口流量/出口流量</td> <td>59条 (自然対流冷却)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</td> <td>55条 (格納容器圧力確認)</td> </tr> <tr> <td>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット</td> <td>52条 (格納容器圧力確認)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>53条 (格納容器圧力確認)</td> </tr> </tbody> </table>	期待する設備	分類	低圧注入流量	を仮定)	燃料管管用水レベル水位	を仮定)	B-1格納容器スプレッドレイ冷却器出口機構破滅 (AM用)	却条・51条・56条 (水漏)	格納容器圧力 (AM用)	却条・51条 (代替格納容器スプレッドレイ)	1次冷却材温度 (広域一高温度)	55条 (格納容器圧力確認)	1次冷却材温度 (広域一低温度)	55条 (原子炉状態確認)	代替格納容器スプレッドレイ出口機構破滅	55条 (原子炉状態確認)	格納容器水位	却条・51条 (注水確認)	原子炉下部キャビティ水位	55条 (代替格納容器スプレッドレイ)	可搬型温度計設置 (格納容器内蔵)	55条 (格納容器圧力確認)	格納容器入口流量/出口流量	59条 (自然対流冷却)	可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	55条 (格納容器圧力確認)	可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	52条 (格納容器圧力確認)		53条 (格納容器圧力確認)	<p>相違理由</p>
期待する設備	分類																																																														
低圧注入流量	を仮定)																																																														
燃料管管用水レベル水位	を仮定)																																																														
B-1格納容器スプレッドレイ冷却器出口機構破滅 (AM用)	却条・51条・56条 (水漏)																																																														
格納容器圧力 (AM用)	却条・51条 (代替格納容器スプレッドレイ)																																																														
1次冷却材温度 (広域一高温度)	55条 (格納容器圧力確認)																																																														
1次冷却材温度 (広域一低温度)	55条 (原子炉状態確認)																																																														
代替格納容器スプレッドレイ出口機構破滅	55条 (原子炉状態確認)																																																														
格納容器水位	却条・51条 (注水確認)																																																														
原子炉下部キャビティ水位	55条 (代替格納容器スプレッドレイ)																																																														
可搬型温度計設置 (格納容器内蔵)	55条 (格納容器圧力確認)																																																														
格納容器入口流量/出口流量	59条 (自然対流冷却)																																																														
可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	55条 (格納容器圧力確認)																																																														
可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	52条 (格納容器圧力確認)																																																														
	53条 (格納容器圧力確認)																																																														
期待する設備	分類																																																														
低圧注入流量	を仮定)																																																														
燃料管管用水レベル水位	を仮定)																																																														
B-1格納容器スプレッドレイ冷却器出口機構破滅 (AM用)	却条・51条・56条 (水漏)																																																														
格納容器圧力 (AM用)	却条・51条 (代替格納容器スプレッドレイ)																																																														
1次冷却材温度 (広域一高温度)	55条 (格納容器圧力確認)																																																														
1次冷却材温度 (広域一低温度)	55条 (原子炉状態確認)																																																														
代替格納容器スプレッドレイ出口機構破滅	55条 (原子炉状態確認)																																																														
格納容器水位	却条・51条 (注水確認)																																																														
原子炉下部キャビティ水位	55条 (代替格納容器スプレッドレイ)																																																														
可搬型温度計設置 (格納容器内蔵)	55条 (格納容器圧力確認)																																																														
格納容器入口流量/出口流量	59条 (自然対流冷却)																																																														
可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	55条 (格納容器圧力確認)																																																														
可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	52条 (格納容器圧力確認)																																																														
	53条 (格納容器圧力確認)																																																														

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																																															
		<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (08/56)</p> <table border="1" data-bbox="1288 151 1803 965"> <thead> <tr> <th>シナリオ 7.2.4 本震動機</th> <th>系統概要図</th> <th>期待する設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td rowspan="15">  </td> <td>電源用 (本震動機)</td> <td>57 条 (原力電源)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉冷却用電源</td> <td>57 条 (交流電源)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉冷却用電源</td> <td>57 条 (直流電源)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料タンク (SA)</td> <td>57 条 (燃料貯蔵)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タービン駆動用給水ポンプ</td> <td>57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系) 57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系) 57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系) 57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器</td> <td>57 条 (蒸気発生器) (補助給水系) 57 条 (蒸気発生器) (補助給水系) 57 条 (蒸気発生器) (補助給水系) 57 条 (蒸気発生器) (補助給水系)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助給水ピット</td> <td>57 条 (補助給水ピット) (補助給水系) 57 条 (補助給水ピット) (補助給水系) 57 条 (補助給水ピット) (補助給水系) 57 条 (補助給水ピット) (補助給水系)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧器</td> <td>57 条 (加圧器) (補助給水系) 57 条 (加圧器) (補助給水系) 57 条 (加圧器) (補助給水系) 57 条 (加圧器) (補助給水系)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧器冷却し水</td> <td>57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧器冷却し水</td> <td>57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧器冷却し水</td> <td>57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧器冷却し水</td> <td>57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧器冷却し水</td> <td>57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧器冷却し水</td> <td>57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)</td> </tr> </tbody> </table>	シナリオ 7.2.4 本震動機	系統概要図	期待する設備	分類			電源用 (本震動機)	57 条 (原力電源)		原子炉冷却用電源	57 条 (交流電源)		原子炉冷却用電源	57 条 (直流電源)		燃料タンク (SA)	57 条 (燃料貯蔵)		タービン駆動用給水ポンプ	57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系) 57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系) 57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系) 57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系)		蒸気発生器	57 条 (蒸気発生器) (補助給水系) 57 条 (蒸気発生器) (補助給水系) 57 条 (蒸気発生器) (補助給水系) 57 条 (蒸気発生器) (補助給水系)		補助給水ピット	57 条 (補助給水ピット) (補助給水系) 57 条 (補助給水ピット) (補助給水系) 57 条 (補助給水ピット) (補助給水系) 57 条 (補助給水ピット) (補助給水系)		加圧器	57 条 (加圧器) (補助給水系) 57 条 (加圧器) (補助給水系) 57 条 (加圧器) (補助給水系) 57 条 (加圧器) (補助給水系)		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)	
シナリオ 7.2.4 本震動機	系統概要図	期待する設備	分類																																															
		電源用 (本震動機)	57 条 (原力電源)																																															
		原子炉冷却用電源	57 条 (交流電源)																																															
		原子炉冷却用電源	57 条 (直流電源)																																															
		燃料タンク (SA)	57 条 (燃料貯蔵)																																															
		タービン駆動用給水ポンプ	57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系) 57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系) 57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系) 57 条 (タービン駆動用給水ポンプ) (補助給水系)																																															
		蒸気発生器	57 条 (蒸気発生器) (補助給水系) 57 条 (蒸気発生器) (補助給水系) 57 条 (蒸気発生器) (補助給水系) 57 条 (蒸気発生器) (補助給水系)																																															
		補助給水ピット	57 条 (補助給水ピット) (補助給水系) 57 条 (補助給水ピット) (補助給水系) 57 条 (補助給水ピット) (補助給水系) 57 条 (補助給水ピット) (補助給水系)																																															
		加圧器	57 条 (加圧器) (補助給水系) 57 条 (加圧器) (補助給水系) 57 条 (加圧器) (補助給水系) 57 条 (加圧器) (補助給水系)																																															
		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)																																															
		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)																																															
		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)																																															
		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)																																															
		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)																																															
		加圧器冷却し水	57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系) 57 条 (加圧器冷却し水) (補助給水系)																																															

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由										
		<p>表 58-11-2 37 条 (重大事故対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (43/56)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1299 965 1438 1066">No.</th> <th data-bbox="1299 933 1438 965">シナリオ 想定事故 1 (C/F 型)</th> <th data-bbox="1299 523 1438 933">系統機能</th> <th data-bbox="1299 347 1438 523">期待する設備</th> <th data-bbox="1299 167 1438 347">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1299 965 1438 1066">7.3.1</td> <td data-bbox="1299 933 1438 965"></td> <td data-bbox="1299 523 1438 933"></td> <td data-bbox="1299 347 1438 523">使用済燃料ピット可搬型エリア モニタ 使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td data-bbox="1299 167 1438 347">54 条 (使用済燃料ピット上部放 射線量計測器) 58 条 (使用済燃料ピット状態 監視) 54 条 (使用済燃料ピット状態 監視) 58 条 (使用済燃料ピット状態 監視)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	シナリオ 想定事故 1 (C/F 型)	系統機能	期待する設備	分類	7.3.1			使用済燃料ピット可搬型エリア モニタ 使用済燃料ピット水位 (可搬型)	54 条 (使用済燃料ピット上部放 射線量計測器) 58 条 (使用済燃料ピット状態 監視) 54 条 (使用済燃料ピット状態 監視) 58 条 (使用済燃料ピット状態 監視)	
No.	シナリオ 想定事故 1 (C/F 型)	系統機能	期待する設備	分類									
7.3.1			使用済燃料ピット可搬型エリア モニタ 使用済燃料ピット水位 (可搬型)	54 条 (使用済燃料ピット上部放 射線量計測器) 58 条 (使用済燃料ピット状態 監視) 54 条 (使用済燃料ピット状態 監視) 58 条 (使用済燃料ピット状態 監視)									

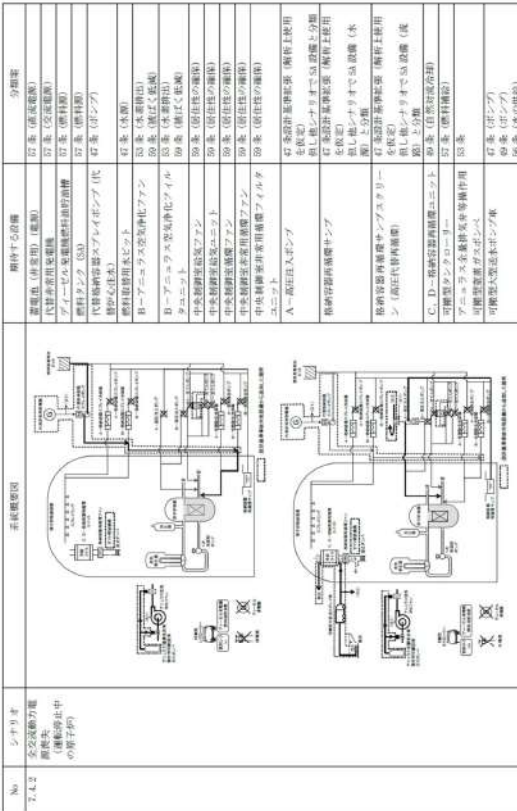
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由										
		<p>表 58-11-2 37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (48/56)</p> <table border="1" data-bbox="1301 161 1547 1114"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>シナリオ</th> <th>系統要項</th> <th>期待する設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.4.1</td> <td>瞬時熱除去機 駆動失 (余熱 除去系の故障 による停止時 希相臨状態 失) (運転停止中 の炉心の ツラツキ)</td> <td></td> <td> 口調整装置 原子炉格納容器圧力 炉圧入気機 格納容器内循環ポンプ水位 (圧検) 格納容器内循環ポンプ水位 (検知) 格納容器内温度 格納容器圧力 (AM 用) 可燃蒸気温度計兼設置 (格納容器再 循環ユニット入口直後) 出口直 後) </td> <td> 58 条 (注水確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条設計基準仕様 (燃料土使用 劣化注) 47 条 (水質) 47 条 (水質) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 49 条 (自然対流冷却) 58 条 (格納容器状態確認) </td> </tr> </tbody> </table>	No	シナリオ	系統要項	期待する設備	分類	7.4.1	瞬時熱除去機 駆動失 (余熱 除去系の故障 による停止時 希相臨状態 失) (運転停止中 の炉心の ツラツキ)		口調整装置 原子炉格納容器圧力 炉圧入気機 格納容器内循環ポンプ水位 (圧検) 格納容器内循環ポンプ水位 (検知) 格納容器内温度 格納容器圧力 (AM 用) 可燃蒸気温度計兼設置 (格納容器再 循環ユニット入口直後) 出口直 後)	58 条 (注水確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条設計基準仕様 (燃料土使用 劣化注) 47 条 (水質) 47 条 (水質) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 49 条 (自然対流冷却) 58 条 (格納容器状態確認)	
No	シナリオ	系統要項	期待する設備	分類									
7.4.1	瞬時熱除去機 駆動失 (余熱 除去系の故障 による停止時 希相臨状態 失) (運転停止中 の炉心の ツラツキ)		口調整装置 原子炉格納容器圧力 炉圧入気機 格納容器内循環ポンプ水位 (圧検) 格納容器内循環ポンプ水位 (検知) 格納容器内温度 格納容器圧力 (AM 用) 可燃蒸気温度計兼設置 (格納容器再 循環ユニット入口直後) 出口直 後)	58 条 (注水確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条設計基準仕様 (燃料土使用 劣化注) 47 条 (水質) 47 条 (水質) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 49 条 (自然対流冷却) 58 条 (格納容器状態確認)									

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>表 58-11-2-37 表 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (49/56)</p> 	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																																		
		<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (51/56)</p> <table border="1" data-bbox="1294 165 1626 1023"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>シナリオ</th> <th>系統範囲</th> <th>期待する設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">7.4.2</td> <td rowspan="14">全交直動力電 源喪失 (運転停止中 の原子炉 (ツウガキ))</td> <td rowspan="14"></td> <td>1 次冷却回路 (圧力一巡循環)</td> <td>56 条 (原子炉圧力維持)</td> </tr> <tr> <td>1 次冷却回路 (圧力二巡循環)</td> <td>56 条 (原子炉圧力維持)</td> </tr> <tr> <td>2 次冷却回路</td> <td>56 条 (原子炉圧力維持)</td> </tr> <tr> <td>1 次冷却回路 (圧力)</td> <td>56 条 (原子炉圧力維持)</td> </tr> <tr> <td>熱交換器冷却水ポンプ系統</td> <td>47 条 (本機)</td> </tr> <tr> <td>1 次冷却回路 ストレージタンク出 口閉鎖装置</td> <td>47 条 (代替冷却注水)</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却回路圧力</td> <td>56 条 (冷却回路圧力維持)</td> </tr> <tr> <td>高圧注入装置</td> <td>56 条 (高圧注入装置 (解放上専用 弁付))</td> </tr> <tr> <td>冷却回路高圧ポンプ本位 (圧 縮)</td> <td>47 条 (本機)</td> </tr> <tr> <td>冷却回路高圧ポンプ本位 (換 気)</td> <td>56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)</td> </tr> <tr> <td>冷却回路内圧</td> <td>56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)</td> </tr> <tr> <td>冷却回路圧力 (AM 用)</td> <td>56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)</td> </tr> <tr> <td>一階型風圧計測装置 (冷却回路高 圧側) / ネット入口風速 / 出口風 速</td> <td>56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	シナリオ	系統範囲	期待する設備	分類	7.4.2	全交直動力電 源喪失 (運転停止中 の原子炉 (ツウガキ))		1 次冷却回路 (圧力一巡循環)	56 条 (原子炉圧力維持)	1 次冷却回路 (圧力二巡循環)	56 条 (原子炉圧力維持)	2 次冷却回路	56 条 (原子炉圧力維持)	1 次冷却回路 (圧力)	56 条 (原子炉圧力維持)	熱交換器冷却水ポンプ系統	47 条 (本機)	1 次冷却回路 ストレージタンク出 口閉鎖装置	47 条 (代替冷却注水)	原子炉冷却回路圧力	56 条 (冷却回路圧力維持)	高圧注入装置	56 条 (高圧注入装置 (解放上専用 弁付))	冷却回路高圧ポンプ本位 (圧 縮)	47 条 (本機)	冷却回路高圧ポンプ本位 (換 気)	56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)	冷却回路内圧	56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)	冷却回路圧力 (AM 用)	56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)	一階型風圧計測装置 (冷却回路高 圧側) / ネット入口風速 / 出口風 速	56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)	
No.	シナリオ	系統範囲	期待する設備	分類																																	
7.4.2	全交直動力電 源喪失 (運転停止中 の原子炉 (ツウガキ))		1 次冷却回路 (圧力一巡循環)	56 条 (原子炉圧力維持)																																	
			1 次冷却回路 (圧力二巡循環)	56 条 (原子炉圧力維持)																																	
			2 次冷却回路	56 条 (原子炉圧力維持)																																	
			1 次冷却回路 (圧力)	56 条 (原子炉圧力維持)																																	
			熱交換器冷却水ポンプ系統	47 条 (本機)																																	
			1 次冷却回路 ストレージタンク出 口閉鎖装置	47 条 (代替冷却注水)																																	
			原子炉冷却回路圧力	56 条 (冷却回路圧力維持)																																	
			高圧注入装置	56 条 (高圧注入装置 (解放上専用 弁付))																																	
			冷却回路高圧ポンプ本位 (圧 縮)	47 条 (本機)																																	
			冷却回路高圧ポンプ本位 (換 気)	56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)																																	
			冷却回路内圧	56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)																																	
			冷却回路圧力 (AM 用)	56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)																																	
			一階型風圧計測装置 (冷却回路高 圧側) / ネット入口風速 / 出口風 速	56 条 (冷却回路高圧ポンプ本位)																																	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由										
		<p>表 58-11-2 37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (55/56)</p> <table border="1" data-bbox="1294 159 1608 1053"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>シナリオ</th> <th>系統範囲</th> <th>期待する設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.4.3</td> <td>原子炉冷却材の漏れ発生中の原子炉 (ツツク)</td> <td></td> <td>1 次冷却材温度 (広域-高温側) 1 次冷却材圧力 (広域) 1 次冷却材流量 (広域-低流量) 燃料冷却用ポンプ水位 原子炉格納容器圧力 高圧注入流量 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) 格納容器内温度 (LM 用) 格納容器圧力 (LM 用) 可燃物温度計用電源 (格納容器所) 循環ポンプネット入口温度/出口温度</td> <td>58 条 (原子炉冷却材) 45 条 (原子炉の冷却) 58 条 (原子炉冷却材) 47 条 (本体) 58 条 (本体) 58 条 (格納容器) 58 条設計基準 (格納容器) 58 条設計基準 (格納容器) 47 条 (本体) 58 条 (格納容器) 47 条 (本体) 58 条 (格納容器) 58 条 (格納容器) 49 条 (自然対流) 58 条 (格納容器)</td> </tr> </tbody> </table>	No	シナリオ	系統範囲	期待する設備	分類	7.4.3	原子炉冷却材の漏れ発生中の原子炉 (ツツク)		1 次冷却材温度 (広域-高温側) 1 次冷却材圧力 (広域) 1 次冷却材流量 (広域-低流量) 燃料冷却用ポンプ水位 原子炉格納容器圧力 高圧注入流量 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) 格納容器内温度 (LM 用) 格納容器圧力 (LM 用) 可燃物温度計用電源 (格納容器所) 循環ポンプネット入口温度/出口温度	58 条 (原子炉冷却材) 45 条 (原子炉の冷却) 58 条 (原子炉冷却材) 47 条 (本体) 58 条 (本体) 58 条 (格納容器) 58 条設計基準 (格納容器) 58 条設計基準 (格納容器) 47 条 (本体) 58 条 (格納容器) 47 条 (本体) 58 条 (格納容器) 58 条 (格納容器) 49 条 (自然対流) 58 条 (格納容器)	
No	シナリオ	系統範囲	期待する設備	分類									
7.4.3	原子炉冷却材の漏れ発生中の原子炉 (ツツク)		1 次冷却材温度 (広域-高温側) 1 次冷却材圧力 (広域) 1 次冷却材流量 (広域-低流量) 燃料冷却用ポンプ水位 原子炉格納容器圧力 高圧注入流量 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) 格納容器内温度 (LM 用) 格納容器圧力 (LM 用) 可燃物温度計用電源 (格納容器所) 循環ポンプネット入口温度/出口温度	58 条 (原子炉冷却材) 45 条 (原子炉の冷却) 58 条 (原子炉冷却材) 47 条 (本体) 58 条 (本体) 58 条 (格納容器) 58 条設計基準 (格納容器) 58 条設計基準 (格納容器) 47 条 (本体) 58 条 (格納容器) 47 条 (本体) 58 条 (格納容器) 58 条 (格納容器) 49 条 (自然対流) 58 条 (格納容器)									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(大飯該当資料なし)</p>	<p style="text-align: right;">別紙 1</p> <p>サブプレッションプール等水位上昇時の計装設備への影響について</p> <p>1. はじめに 格納容器破損防止対策において、外部水源による原子炉注水、格納容器スプレイを継続した場合、サブプレッションチェンバのプール水の水位は上昇するが、真空破壊装置が水没しないように外部水源注水量制限 (サブプレッションプール水位が通常水位+約2m) を設け、制限に達した場合は格納容器スプレイを停止する。</p> <p>有効性評価シナリオにおいて、最もサブプレッションチェンバ内の水位が上昇するシナリオは、格納容器過圧・過温破損 (代替循環冷却系を使用できない場合) シナリオであり、格納容器ベント実施による圧力低下によりサブプレッションチェンバのプール水の水位は、真空破壊装置下端付近まで上昇する評価となる。 また、格納容器下部注水及び格納容器スプレイを継続した場合、ドライウエル水位はベント管下端付近まで上昇する評価となる。</p> <p>ここでは、サブプレッションチェンバのプール水の水位及びドライウエル水位が上昇した場合の計装設備への影響を評価する。</p> <p>2. 評価結果 格納容器内に設置される重大事故等時に使用する計装設備は、原子炉圧力容器温度、ドライウエル温度、格納容器内水素濃度 (D/W)、ドライウエル水位、原子炉格納容器下部温度、原子炉格納容器下部水位、格納容器内水素濃度 (S/C)、圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度があり、サブプレッションプール水位及びドライウエル水位が上昇した場合の計装設備への影響を以下のとおり評価した。</p>	<p style="text-align: right;">別紙 1</p> <p>格納容器内水位上昇時の計装設備への影響について</p> <p>1. はじめに 格納容器破損防止対策において、外部水源による原子炉注水、格納容器スプレイを継続した場合、格納容器内の水位は上昇するが、格納容器再循環ユニットの吸気ダクトが水没しないように外部水源注水量制限 (格納容器再循環ユニットの吸気ダクト下端付近) を設け、制限に達した場合は格納容器注水を停止する。</p> <p>有効性評価シナリオにおいて、最も格納容器内の水位が上昇するシナリオは、格納容器過圧破損シナリオであり、外部水源による原子炉注水、格納容器スプレイ実施により格納容器内の水位は、格納容器再循環ユニットの吸気ダクト下端付近まで上昇する評価となる。</p> <p>ここでは、格納容器内の水位が上昇した場合の計装設備への影響を評価する。</p> <p>2. 評価結果 格納容器内に設置される重大事故等時に使用する計装設備は、1次冷却材温度 (広域-高温側)、1次冷却材温度 (広域-低温側)、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、原子炉容器水位、格納容器内温度、原子炉格納容器圧力、格納容器圧力 (AM用)、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、格納容器再循環サンプ水位 (狭域)、格納容器水位、原子炉下部キャビティ水位、格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)、格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)、出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束、蒸気発生器水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置及び格納容器水素イグナイタ温度監視装置があり、格納容器内水位が上昇した</p>	<p>・泊は、格納容器除熱手段として格納容器再循環ユニットによる自然対流冷却を行うこととしており、格納容器内の水位については格納容器再循環ユニットの給気ダクトが水没しないことを制限としている。</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>・外部水源による原子炉注水、格納容器スプレイを継続した場合としており、スプレイではなく注水とした。</p>

灰色: 女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	<p>第 1 表に格納容器内の計装設備の設置高さを、第 1 図に格納容器内の計装設備の配置を示す。</p> <p>(1) サプレッションプール水位が上昇した場合の計装設備への影響 サプレッションプール水位が真空破壊装置下端まで上昇した場合、格納容器内に設置される重大事故等時に使用する計装設備のうち、通常運転時から水面下に設置しているサプレッションプール水温度は水面以下となる状態が継続する。 サプレッションプール水温度は、検出器から電気貫通部までの間に接続部を設けない構造とすることで、水没により機能喪失しない設計としている。 また、重大事故等時の耐環境性向上 (格納容器の限界温度・圧力である 200℃、854kPa の蒸気条件下での健全性確保) を図る設計としている。</p> <p>(2) ドライウェル水位が上昇した場合の計装設備への影響 ドライウェル水位がベント管下端まで上昇した場合、格納容器内に設置される重大事故等時に使用する計装設備のうち、ドライウェル水位、原子炉格納容器下部温度及び原子炉格納容器下部水位は、ドライウェル水位の上昇により水没する。</p> <p>これらの重大事故等時に使用する計装設備は、検出器から電気貫通部までの間に接続部を設けない構造とすることで、水没により機能喪失しない設計としている。また、重大事故等時の耐環境性向上 (格納容器の限界温度・圧力である 200℃、854kPa の蒸気条件下での健全性確保) を図る設計としている。</p>	<p>場合の計装設備への影響を以下のとおり評価した。</p> <p>第 1 表に格納容器内の計装設備の設置高さを、第 1 図に格納容器内の計装設備の配置を示す。</p> <p>格納容器内水位が格納容器水位の検出器まで上昇した場合、格納容器内に設置される重大事故等時に使用する計装設備のうち、1 次冷却材温度 (広域-高温側)、1 次冷却材温度 (広域-低温側)、1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、原子炉容器水位、原子炉格納容器圧力、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、格納容器再循環サンプ水位 (狭域)、原子炉下部キャビティ水位、出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束、蒸気発生器水位 (広域) 並びに原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置及び格納容器水素イグナイタ温度監視装置の一部は、格納容器内水位の上昇により水没する。</p> <p>これらの重大事故等時に使用する計装設備は、水没後は機能維持を期待せず、水没しない位置に設置している重大事故等時に使用する計装設備を用いてプラント状態を監視する設計としている。また、重大事故等時の耐環境性向上 (重大事故等時の環境条件下 (最大約 141℃、約 0.360MPa の蒸気条件下) での健全性確保) を図る設計としている。</p>	<p>■記載方針の相違 ・PWR と BWR における耐環境性試験の相違。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
	<p>第1表 原子炉格納容器内の計装設備の設置高さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計装設備^{※1}</th> <th>個数</th> <th>検出器設置高さ</th> <th>影響評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①原子炉圧力容器温度</td> <td>5</td> <td></td> <td>原子炉圧力容器温度5個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。</td> </tr> <tr> <td>②ドライウエルト温度</td> <td>11</td> <td></td> <td>ドライウエルト温度11個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。</td> </tr> <tr> <td>③格納容器内水素濃度(0/W)</td> <td>2</td> <td></td> <td>格納容器内水素濃度(0/W)2個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。</td> </tr> <tr> <td>④ドライウエルト水位</td> <td>6</td> <td></td> <td>ドライウエルト水位(電極式)6個は水没するが、水位計であり、また、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。</td> </tr> <tr> <td>⑤原子炉格納容器下部温度</td> <td>12</td> <td></td> <td>原子炉格納容器下部温度12個は水没するが、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。</td> </tr> <tr> <td>⑥原子炉格納容器下部水位</td> <td>12</td> <td></td> <td>原子炉格納容器下部水位(電極式)12個は水没するが、水位計であり、また、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。</td> </tr> <tr> <td>⑦格納容器内水素濃度(S/C)</td> <td>2</td> <td></td> <td>格納容器内水素濃度(S/C)2個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。</td> </tr> <tr> <td>⑧圧力抑制室内空気温度</td> <td>4</td> <td></td> <td>圧力抑制室内空気温度4個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。</td> </tr> <tr> <td>⑨サブプレッショニングプール水温</td> <td>16</td> <td></td> <td>サブプレッショニングプールの水温16個は水没するが、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 表中の丸数字は第1図の丸数字に対応する。</p> <p>検出器の内容は品質検査の観点から公開できません。</p>	計装設備 ^{※1}	個数	検出器設置高さ	影響評価	①原子炉圧力容器温度	5		原子炉圧力容器温度5個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。	②ドライウエルト温度	11		ドライウエルト温度11個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。	③格納容器内水素濃度(0/W)	2		格納容器内水素濃度(0/W)2個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。	④ドライウエルト水位	6		ドライウエルト水位(電極式)6個は水没するが、水位計であり、また、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。	⑤原子炉格納容器下部温度	12		原子炉格納容器下部温度12個は水没するが、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。	⑥原子炉格納容器下部水位	12		原子炉格納容器下部水位(電極式)12個は水没するが、水位計であり、また、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。	⑦格納容器内水素濃度(S/C)	2		格納容器内水素濃度(S/C)2個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。	⑧圧力抑制室内空気温度	4		圧力抑制室内空気温度4個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。	⑨サブプレッショニングプール水温	16		サブプレッショニングプールの水温16個は水没するが、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。	<p>第1表 格納容器内の計装設備の設置高さ (1/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計装設備 (注1)</th> <th>個数</th> <th>検出器設置高さ</th> <th>影響評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td>3</td> <td>FL.T.P.17.8m</td> <td>1次冷却材温度(広域-高温側)3個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>② 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>3</td> <td>FL.T.P.17.8m</td> <td>1次冷却材温度(広域-低温側)3個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>③ 1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>2</td> <td>FL.T.P.17.8m</td> <td>1次冷却材圧力(広域)2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>④ 加圧器水位</td> <td>2</td> <td>FL.T.P.17.8m</td> <td>加圧器水位2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>⑤ 原子炉容器水位</td> <td>1</td> <td>FL.T.P.17.8m</td> <td>原子炉容器水位1個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>⑥ 格納容器内温度</td> <td>2</td> <td>FL.T.P.38.9m</td> <td>格納容器内温度2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 計装設備の番号は、第1図における計装設備の番号と同じ。</p>	計装設備 (注1)	個数	検出器設置高さ	影響評価	① 1次冷却材温度 (広域-高温側)	3	FL.T.P.17.8m	1次冷却材温度(広域-高温側)3個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	② 1次冷却材温度 (広域-低温側)	3	FL.T.P.17.8m	1次冷却材温度(広域-低温側)3個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	③ 1次冷却材圧力 (広域)	2	FL.T.P.17.8m	1次冷却材圧力(広域)2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	④ 加圧器水位	2	FL.T.P.17.8m	加圧器水位2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	⑤ 原子炉容器水位	1	FL.T.P.17.8m	原子炉容器水位1個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	⑥ 格納容器内温度	2	FL.T.P.38.9m	格納容器内温度2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	<p>相違理由</p> <p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータ (計装設備) が異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。
計装設備 ^{※1}	個数	検出器設置高さ	影響評価																																																																				
①原子炉圧力容器温度	5		原子炉圧力容器温度5個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。																																																																				
②ドライウエルト温度	11		ドライウエルト温度11個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。																																																																				
③格納容器内水素濃度(0/W)	2		格納容器内水素濃度(0/W)2個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。																																																																				
④ドライウエルト水位	6		ドライウエルト水位(電極式)6個は水没するが、水位計であり、また、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。																																																																				
⑤原子炉格納容器下部温度	12		原子炉格納容器下部温度12個は水没するが、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。																																																																				
⑥原子炉格納容器下部水位	12		原子炉格納容器下部水位(電極式)12個は水没するが、水位計であり、また、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。																																																																				
⑦格納容器内水素濃度(S/C)	2		格納容器内水素濃度(S/C)2個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。																																																																				
⑧圧力抑制室内空気温度	4		圧力抑制室内空気温度4個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。																																																																				
⑨サブプレッショニングプール水温	16		サブプレッショニングプールの水温16個は水没するが、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。																																																																				
計装設備 (注1)	個数	検出器設置高さ	影響評価																																																																				
① 1次冷却材温度 (広域-高温側)	3	FL.T.P.17.8m	1次冷却材温度(広域-高温側)3個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																																																																				
② 1次冷却材温度 (広域-低温側)	3	FL.T.P.17.8m	1次冷却材温度(広域-低温側)3個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																																																																				
③ 1次冷却材圧力 (広域)	2	FL.T.P.17.8m	1次冷却材圧力(広域)2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																																																																				
④ 加圧器水位	2	FL.T.P.17.8m	加圧器水位2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																																																																				
⑤ 原子炉容器水位	1	FL.T.P.17.8m	原子炉容器水位1個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																																																																				
⑥ 格納容器内温度	2	FL.T.P.38.9m	格納容器内温度2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉 (女川なし)	泊発電所3号炉	相違理由																												
第1表 格納容器内の計装設備の設置高さ (2/4)																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">計装設備 (注1)</th> <th style="width: 10%;">個数</th> <th style="width: 15%;">検出器 設置高さ</th> <th style="width: 45%;">影響評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㉑ 原子炉格納容器圧力</td> <td>2</td> <td>F.L.T.F.17.8m</td> <td>原子炉格納容器圧力2個の検出器は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> <tr> <td>㉒ 格納容器圧力 (AM用)</td> <td>2</td> <td>F.L.T.F.24.8m</td> <td>格納容器圧力 (AM用) の検出器2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> <tr> <td>㉓ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</td> <td>2</td> <td>F.L.T.F.12.1m</td> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> <tr> <td>㉔ 格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)</td> <td>2</td> <td>F.L.T.F.12.1m</td> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> <tr> <td>㉕ 格納容器水位</td> <td>1</td> <td style="background-color: #cccccc;"> </td> <td>格納容器水位1個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> <tr> <td>㉖ 原子炉下部キャビティ水位</td> <td>1</td> <td style="background-color: #cccccc;"> </td> <td>原子炉下部キャビティ水位1個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 計装設備の番号は、第1図における計装設備の番号と同じ。 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>				計装設備 (注1)	個数	検出器 設置高さ	影響評価	㉑ 原子炉格納容器圧力	2	F.L.T.F.17.8m	原子炉格納容器圧力2個の検出器は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。	㉒ 格納容器圧力 (AM用)	2	F.L.T.F.24.8m	格納容器圧力 (AM用) の検出器2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。	㉓ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2	F.L.T.F.12.1m	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。	㉔ 格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)	2	F.L.T.F.12.1m	格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。	㉕ 格納容器水位	1		格納容器水位1個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。	㉖ 原子炉下部キャビティ水位	1		原子炉下部キャビティ水位1個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。
計装設備 (注1)	個数	検出器 設置高さ	影響評価																												
㉑ 原子炉格納容器圧力	2	F.L.T.F.17.8m	原子炉格納容器圧力2個の検出器は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												
㉒ 格納容器圧力 (AM用)	2	F.L.T.F.24.8m	格納容器圧力 (AM用) の検出器2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												
㉓ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2	F.L.T.F.12.1m	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												
㉔ 格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)	2	F.L.T.F.12.1m	格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												
㉕ 格納容器水位	1		格納容器水位1個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												
㉖ 原子炉下部キャビティ水位	1		原子炉下部キャビティ水位1個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉 (女川なし)	泊発電所 3 号炉	相違理由
第 1 表 格納容器内の計装設備の設置高さ (3/4)			
(注 1) 計装設備の番号は、第 1 図における計装設備の番号と同じ。			

計装設備 (注 1)	個数	検出器 設置高さ	影響評価
⑬ 格納容器内高レンジエアリアモニタ (低レンジ)	2	F.L.T.P. 40.2m	格納容器内高レンジエアリアモニタ 2 個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。
⑭ 格納容器内高レンジエアリアモニタ (高レンジ)	2	F.L.T.P. 40.2m	格納容器内高レンジエアリアモニタ 2 個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。
⑮ 出力領域中性子束	4	T.P. 17.6m	出力領域中性子束 4 個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。
⑯ 中間領域中性子束	2	T.P. 17.6m	中間領域中性子束 2 個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。
⑰ 中性子源領域中性子束	2	T.P. 17.6m	中性子源領域中性子束 2 個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。
⑱ 蒸気発生器水位 (広域)	3	F.L.T.P. 17.8m	蒸気発生器水位 (広域) 3 個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉 (女川なし)	泊発電所 3 号炉	相違理由																
		<p>第 1 表 格納容器内の計装設備の設置高さ (4/4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">計装設備 (注 1)</th> <th style="width: 10%;">個数</th> <th style="width: 15%;">検出器 設置高さ</th> <th style="width: 45%;">影響評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㊸ 蒸気発生器水位 (表域)</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">F.L.T.P. 24.8m</td> <td>蒸気発生器水位 (表域) 6 個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>㊹ 原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置 5 個のうち一部の水没する検出器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>㊺ 格納容器水素イグナイター温度監視装置</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td>格納容器水素イグナイター温度監視装置 13 個のうち一部の水没する検出器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 計装設備の番号は、第 1 図における計装設備の番号と同じ。</p>	計装設備 (注 1)	個数	検出器 設置高さ	影響評価	㊸ 蒸気発生器水位 (表域)	6	F.L.T.P. 24.8m	蒸気発生器水位 (表域) 6 個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	㊹ 原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置	5		原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置 5 個のうち一部の水没する検出器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	㊺ 格納容器水素イグナイター温度監視装置	13		格納容器水素イグナイター温度監視装置 13 個のうち一部の水没する検出器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	<p>相違理由</p> <p style="text-align: center;">□ 特記事項の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>
計装設備 (注 1)	個数	検出器 設置高さ	影響評価																
㊸ 蒸気発生器水位 (表域)	6	F.L.T.P. 24.8m	蒸気発生器水位 (表域) 6 個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																
㊹ 原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置	5		原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置 5 個のうち一部の水没する検出器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																
㊺ 格納容器水素イグナイター温度監視装置	13		格納容器水素イグナイター温度監視装置 13 個のうち一部の水没する検出器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">第1図 原子炉格納容器内の計装設備の配置</p> <p style="text-align: center;">第1図 概略系統図</p> <p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="text-align: center;">第1図 概略系統図</p> <p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータ (計装設備) が異なるため、比較対象外としている。

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<p>(大飯該当資料なし)</p>	<p>別紙2</p> <p>原子炉格納容器下部水位及びドライウエル水位の計測設備について</p> <p>1. 概要</p> <p>原子炉格納容器下部水位及びドライウエル水位の監視のために設置する計測設備の概要を以下に示す。</p> <p>(1) 原子炉格納容器下部水位</p> <p>a. 設置目的</p> <p>原子炉格納容器下部水位検出器は、重大事故等時において、原子炉格納容器下部への注水による圧力容器ベデスタル部の蓄水状況を把握するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様</p> <p>主要仕様を表1に示す。</p> <table border="1" data-bbox="672 638 1220 766"> <caption>表1 原子炉格納容器下部水位の主要仕様</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲^{※1}</th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電極式水位検出器</td> <td>0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 500mm)</td> <td>12</td> <td>-5~+10mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 計測範囲の零は、原子炉格納容器下部(圧力容器ベデスタル底部)</p> <p>※2: センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> <p>c. 機器配置</p> <p>検出器の配置場所を図1及び図2に示す。</p> <p>(2) ドライウエル水位</p> <p>a. 設置目的</p> <p>ドライウエル水位検出器は、重大事故等時において、原子炉格納容器下部に落下した熔融炉心の冷却に必要な水深があることを把握するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様</p> <p>主要仕様を表2に示す。</p> <table border="1" data-bbox="672 1292 1220 1420"> <caption>表2 ドライウエル水位の主要仕様</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲^{※1}</th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電極式水位検出器</td> <td>0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)</td> <td>6</td> <td>-5~+10mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 計測範囲の零は、ドライウエル床面</p> <p>※2: センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	種類	計測範囲 ^{※1}	個数	誤差	耐環境試験条件	電極式水位検出器	0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 500mm)	12	-5~+10mm		種類	計測範囲 ^{※1}	個数	誤差	耐環境試験条件	電極式水位検出器	0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)	6	-5~+10mm		<p>別紙2</p> <p>格納容器内水位の計測設備について</p> <p>1. 概要</p> <p>格納容器内の水位の監視のために設置する計測設備の概要を以下に示す。</p> <p>(1) 原子炉下部キャビティ水位</p> <p>a. 設置目的</p> <p>原子炉下部キャビティ水位検出器は、重大事故等時において、原子炉格納容器下部への注水による原子炉下部キャビティの蓄水状況を把握するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様</p> <p>主要仕様を第1表に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1254 686 1803 782"> <caption>第1表 原子炉下部キャビティ水位の主要仕様</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電極式水位検出器</td> <td>ON-OFF (注1) T.P. []</td> <td>1</td> <td>+60mm/ -0mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1: 水位が検出器に到達した場合にONとなる。</p> <p>注2: センサは無機物で構成しており、十分な耐放射線性を有している。</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>c. 機器配置</p> <p>検出器の配置場所を第1図及び第2図に示す。</p> <p>(2) 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</p> <p>a. 設置目的</p> <p>格納容器再循環サンプ水位 (広域) は、重大事故等時において、熔融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量を把握するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様</p> <p>主要仕様を第2表に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1254 1292 1803 1388"> <caption>第2表 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の主要仕様</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~100% (T.P. 10.3~15.1m)</td> <td>2</td> <td>±2.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件	電極式水位検出器	ON-OFF (注1) T.P. []	1	+60mm/ -0mm		種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件	差圧式水位検出器	0~100% (T.P. 10.3~15.1m)	2	±2.0%		<p>■ 炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータ (計装設備) が異なるため、比較対象外としている。但し、資料構成は女川に合わせて作成した。以降、同資料において同じ。 <p>■ 図表付番の相違 (以降、同様の相違は記載省略する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊 (PWR) の格納容器再循環サンプ水位 (広域) は、設計基準事故対処設備でも使用する。
種類	計測範囲 ^{※1}	個数	誤差	耐環境試験条件																																							
電極式水位検出器	0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 500mm)	12	-5~+10mm																																								
種類	計測範囲 ^{※1}	個数	誤差	耐環境試験条件																																							
電極式水位検出器	0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)	6	-5~+10mm																																								
種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件																																							
電極式水位検出器	ON-OFF (注1) T.P. []	1	+60mm/ -0mm																																								
種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件																																							
差圧式水位検出器	0~100% (T.P. 10.3~15.1m)	2	±2.0%																																								

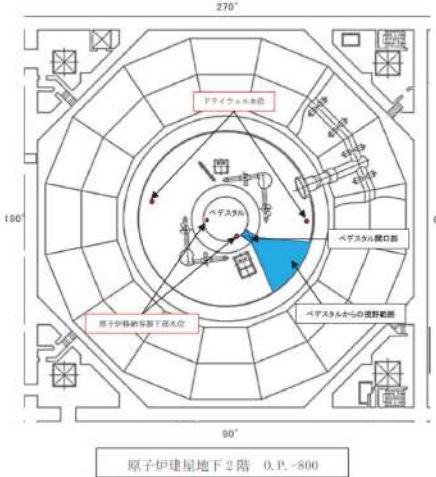
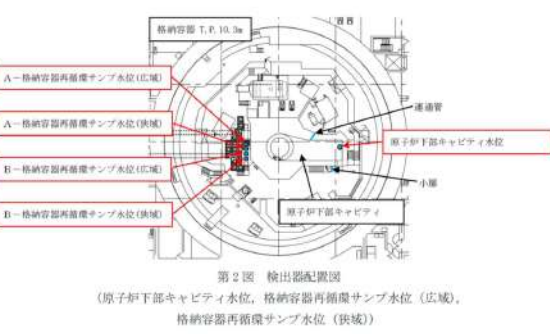
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>c. 機器配置 検出器の配置場所を図1及び図2に示す。</p>	<p>c. 機器配置 検出器の配置場所を第1図及び第2図に示す。</p> <p>(3) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</p> <p>a. 設置目的 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) は、重大事故等時において、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量を把握するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様 主要仕様を第3表に示す。</p> <p style="text-align: center;">第3表 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) の主要仕様</p> <table border="1" data-bbox="1256 555 1812 639"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>差圧式 水位検出器</td> <td>0~100% (T.P. 10.3~12.6m)</td> <td>2</td> <td>±1.5%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>c. 機器配置 検出器の配置場所を第1図及び第2図に示す。</p> <p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>(4) 格納容器水位</p> <p>a. 設置目的 格納容器水位は、重大事故等時において、格納容器注水を行う際の上限レベルを検知するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様 主要仕様を第4表に示す。</p> <p style="text-align: center;">第4表 格納容器水位の主要仕様</p> <table border="1" data-bbox="1263 1099 1805 1184"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電極式 水位検出器</td> <td>ON-OFF (注3) T.P. □</td> <td>1</td> <td>+0mm/ -60mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注3：水位が検出器に到達した場合にONとなる。 注4：センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <p>c. 機器配置 検出器の配置場所を第1図から第3図に示す。</p> <p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件	差圧式 水位検出器	0~100% (T.P. 10.3~12.6m)	2	±1.5%		種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件	電極式 水位検出器	ON-OFF (注3) T.P. □	1	+0mm/ -60mm		
種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件																			
差圧式 水位検出器	0~100% (T.P. 10.3~12.6m)	2	±1.5%																				
種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件																			
電極式 水位検出器	ON-OFF (注3) T.P. □	1	+0mm/ -60mm																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図2 原子炉格納容器下部水位及びドライウェル水位の検出器配置図 (2/2)</p>	 <p>第2図 検出器配置図 (原子炉下部キャビティ水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、格納容器再循環サンプ水位 (狭域))</p> <p>第3図 検出器配置図 (格納容器水位)</p>	<p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWRとBWRで想定される重大事故等、対処するための設備、原子炉格納容器の構造が異なるため、比較対象外とする。 ・なお、原子炉下部キャビティにはベダスタル開口部のような大きな開口部はなく、格納容器再循環サンプ水位は連通管及び小扉からも直接視認できない配置であるため「ベダスタルからの視野範囲」に相当する図示はしていない。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2. 圧力容器ベDESTAL内の熱源によるドライウエル水位検出器への影響</p> <p>ドライウエル水位は、溶融炉心が圧力容器ベDESTALへ落下した後の冷却を行うために監視が必要なパラメータであり、ドライウエル水位検出器は重大事故等時の原子炉格納容器内の環境において健全性を維持する必要がある。ドライウエル水位検出器は、300℃の環境下における健全性が確認されており、重大事故等時のドライウエル内の環境温度 (最大約180℃) に対して、検出器の健全性に問題はない。</p> <p>仮に圧力容器ベDESTAL開口部 (圧力容器ベDESTAL側) に熱源があった場合には図2に示すとおり、検出器は設置箇所が圧力容器ベDESTAL内から直接視認できる範囲にないことから、熱の影響を受けないと考えられる。また、検出器は多重化しており、片系が機能喪失した場合においても、もう片系の検出器によりドライウエル水位の監視が可能である。</p> <p>3. 格納容器スプレイによるドライウエル水位検出器及び原子炉格納容器下部水位検出器への影響</p> <p>ドライウエル水位及び原子炉格納容器下部水位の検知に使用する電極式水位検出器の構造を図3に示す。熱電対 (電極) は、保護管 (電極) に覆われており、開放部と通気孔を有した構造をしている。検出器は、縦向き (開放部が下方向) に設置され、ドライウエル水位の上昇時は、開放部から水が入り、内部の気体が通気孔から抜け電極間が導通状態となることで水位を検知し、水位低下時は、開放部及び通気孔から水が排出されることにより、電極間が非導通状態となる。</p> <p>電極式水位検出器は水没を考慮した設計としており、格納容器スプレイ水の被水による機能喪失はない。また、ケーブルについても、検出器と一体構造であり、原子炉格納容器の貫通部までの間に接続箇所を設けない設計としており、格納容器スプレイ水の被水による影響はない。</p> <p>誤検知が発生する状況として、大量の水が連続的に検出器に当たり続け、電極間が導通状態になることが考えられるが、ドライウエル水位検出器は、図1に示すとおり、ドライウエル床付近に設置する設計であり、格納容器スプレイを直接受けることはないため、誤検知は発生しない。また、原子炉格納容器下部水位検出器は、図2に示すとおり、圧力容器ベDESTAL開口部より離れた位置に設置する設計であり、格納容器スプレイ水が圧力容器ベDESTAL開口部より流れ込む際に被水することはなく、誤検知は発生しない。</p>	<p>2. 原子炉下部キャビティ内の熱源による格納容器再循環サンプル水位検出器への影響</p> <p>格納容器再循環サンプル水位 (広域) 及び格納容器再循環サンプル水位 (狭域) は、溶融炉心が原子炉下部キャビティへ落下した後の冷却を行うために監視が必要なパラメータであり、これらの検出器は重大事故等時の原子炉格納容器内の環境において健全性を維持する必要がある。これらの検出器は、約 [] の環境下における健全性が確認されており、重大事故等時の格納容器内の環境温度 (最大約141℃) に対して、検出器の健全性に問題はない。</p> <p>仮に原子炉キャビティ内に熱源があった場合には第2図に示すとおり、検出器は設置箇所が原子炉キャビティ内から直接視認できる範囲にないことから、熱の影響を受けないと考えられる。また、検出器は多重化しており、片系が機能喪失した場合においても、もう片系の検出器により格納容器再循環サンプル水位の監視が可能である。</p> <p>[] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>3. 格納容器スプレイによる原子炉下部キャビティ水位及び格納容器水位検出器への影響</p> <p>原子炉下部キャビティ水位及び格納容器水位の検知に使用する電極式水位検出器の構造を第4図に示す。</p> <p>検出器は、縦向きに設置され、格納容器内の水位の上昇時は、電極間が導通状態となることで水位を検知し、水位低下時は、電極間が非導通状態となる。</p> <p>電極式水位検出器は電極をカバーで覆うことで格納容器スプレイ水の被水による影響を抑止する構成としている。また、蒸気環境下におけるスプレイ試験を行い誤検知しないことを確認していることから、重大事故等時の環境においても測定が可能である。</p> <p>誤検知が発生する状況として、大量の水が連続的に検出器に当たり続け、電極間が導通状態になることが考えられるが、格納容器水位検出器は、第3図に示すとおり、格納容器スプレイ水が直接被水する階層 (T.P. 33.1m) よりも下層 (T.P. 17.8m) に設置する設計であり、格納容器スプレイを直接受けることはないため、誤検知は発生しない。また、原子炉下部キャビティ水位検出器は、第2図に示すとおり、原子炉容器下部より離れた位置に設置する設計であり、格納容器スプレイ水が連通管及び小扉より流れ込む際に被水することはなく、誤検知は発生しない。</p>	<p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BWR用に開発された電極式水位検出器であるため、比較対象外としている。 <p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BWR用に開発された電極式水位検出器であるため、比較対象外としている。 ・女川 (BWR) はシース熱電対と保護管で構成される電極間の導通を測定する構造であるのに対し、泊 (PWR) は2枚の電極間の導通を測定する単純な構造 (巻末参照) としている。 ・構造が相違しており、スプレイ水の被水影響が無いことについて、泊は実試験による動作確認を実施している。

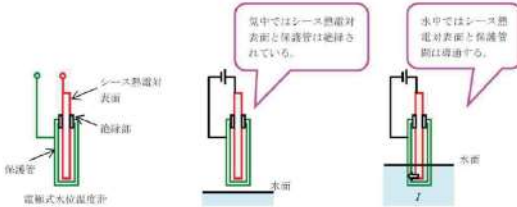
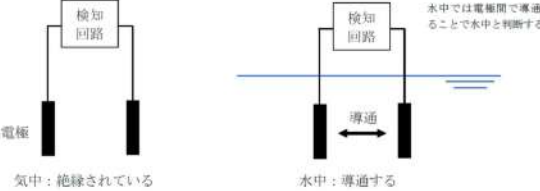
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="672 175 1227 367" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="840 375 1041 395" style="text-align: center;">図3 電極式水位検出器の構造</div> <div data-bbox="891 443 1227 475" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</div> <p data-bbox="667 550 1232 630">なお、電極式水位検出器については、検出器が水中と気中にある場合を判定するために、検出器を水中から気中、気中から水中と状態変化させた場合の試験を実施している。</p> <p data-bbox="667 638 1232 742">試験では、検出器を水中に1分間、水中から気中に取り出した状態で1分間を計3回連続で実施し、水中と気中での電流の挙動を測定しており、図4に示すとおり、流れる電流の差により気中と水中の判定が可能であることを確認している。</p> <p data-bbox="667 750 1232 829">そのため、原子炉圧力容器破損後の溶融炉心冷却における原子炉格納容器下部の水位管理のように、一度水位が形成された後の水位低下についても確実に検知が可能である。</p> <div data-bbox="667 869 1209 1125"> </div> <div data-bbox="772 1129 1097 1149" style="text-align: center;">図4 時間特性 (水 (沸騰状態), 印加電圧 1.0V)</div>	<div data-bbox="1355 151 1713 375"> </div> <div data-bbox="1377 391 1713 414" style="text-align: center;">第4図 電極式水位検出器の構造</div> <p data-bbox="1249 550 1814 630">なお、電極式水位検出器については、検出器が水中と気中にある場合を判定するために、検出器を水中から気中、気中から水中と状態変化させた場合の試験を実施している。</p> <p data-bbox="1249 638 1814 742">試験では、検出器を水中に1分間、水中から気中に取り出した状態で1分間を計3回連続で実施し、水中と気中での電流の挙動を測定しており、第5図に示すとおり、流れる電流の差により気中と水中の判定が可能であることを確認している。</p> <p data-bbox="1249 750 1814 805">そのため、長期間の格納容器水位管理のように、一度水位が形成された後の水位低下についても確実に検知が可能である。</p> <div data-bbox="1265 869 1814 1157"> </div> <div data-bbox="1344 1181 1736 1204" style="text-align: center;">第5図 時間特性 (水 (沸騰状態), 回路印加電圧 24VDC)</div>	<p data-bbox="1836 782 1937 805">■炉型の相違</p> <ul data-bbox="1836 813 2161 917" style="list-style-type: none"> ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータ (計装設備) が異なるため、比較対象外としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(参考) 電極式水位検出器の測定原理</p> <p>電極式水位検出器の構造を下図に示す。電極式水位検出器は、シース熱電対、保護管等から構成される。シース熱電対と保護管で構成される電極間の導通を測定することで、検出部が水中か気中を判定するものである。気中において保護管とシース熱電対表面は絶縁されているが、保護管とシース熱電対表面間に水がある場合には、導通し抵抗が低下する。</p>  <p>図 電極式水位検出器の測定原理</p>	<p>(参考) 電極式水位検出器の測定原理</p> <p>電極式水位検出器の構造を下図に示す。電極式水位検出器は、電極間の導通を測定することで、検出部が水中か気中を判定するものである。気中において電極間は絶縁されているが、電極間に水がある場合には、導通する。</p>  <p>図 電極式水位検出器の測定原理</p>	<p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BWR 用に開発された電極式水位検出器であるため、比較対象外としている。 ・泊 (PWR) は2枚の電極間の導通を測定する単純な構造を採用。抵抗値ではなく導通する電流値を計測する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

第1表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数 (2/5)

分類	名称	計測範囲	個数	設定個数の考え方
原子炉格納容器内の温度	ドライウェル温度	0~300℃	11	ドライウェル内の温度分布を把握するため、60°ワタングの構造（ドライウェル主フラッシュ部）に2個、過熱し安全弁出入口上部、バーニッシュエアロフタ上部及び電気配管貫通部の高さ（ドライウェル中部）に4個、換気扉出入口ハッチ下部及び中間体面換気扉出入口下部の高さ（ドライウェル下部）に3個、圧力容器→スタスタル上部に2個、合計11個の温度計を設置する。
	圧力抑制室内空気温度	0~300℃	1	サブレーションエアの温度分布を把握するため、約300mm間隔で設置している温度計を1個設置する。
	サブレーショングループ水温度	0~200℃	16	サブレーショングループ水温の監視を行うため、約22.5度間隔で設置している温度計を16個設置する。
原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器下部温度	0~700℃	12	原子炉格納容器下部に換気中心が落下した時において原子炉格納容器の損傷を検知するため、スタスタルの表面から設置高さ0.0m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 3.0m, 4.0m, 5.0m, 6.0m, 7.0m, 8.0m, 9.0m, 10.0m, 11.0m, 12.0m, 13.0m, 14.0m, 15.0m, 16.0m, 17.0m, 18.0m, 19.0m, 20.0m, 21.0m, 22.0m, 23.0m, 24.0m, 25.0m, 26.0m, 27.0m, 28.0m, 29.0m, 30.0m, 31.0m, 32.0m, 33.0m, 34.0m, 35.0m, 36.0m, 37.0m, 38.0m, 39.0m, 40.0m, 41.0m, 42.0m, 43.0m, 44.0m, 45.0m, 46.0m, 47.0m, 48.0m, 49.0m, 50.0m, 51.0m, 52.0m, 53.0m, 54.0m, 55.0m, 56.0m, 57.0m, 58.0m, 59.0m, 60.0m, 61.0m, 62.0m, 63.0m, 64.0m, 65.0m, 66.0m, 67.0m, 68.0m, 69.0m, 70.0m, 71.0m, 72.0m, 73.0m, 74.0m, 75.0m, 76.0m, 77.0m, 78.0m, 79.0m, 80.0m, 81.0m, 82.0m, 83.0m, 84.0m, 85.0m, 86.0m, 87.0m, 88.0m, 89.0m, 90.0m, 91.0m, 92.0m, 93.0m, 94.0m, 95.0m, 96.0m, 97.0m, 98.0m, 99.0m, 100.0m, 101.0m, 102.0m, 103.0m, 104.0m, 105.0m, 106.0m, 107.0m, 108.0m, 109.0m, 110.0m, 111.0m, 112.0m, 113.0m, 114.0m, 115.0m, 116.0m, 117.0m, 118.0m, 119.0m, 120.0m, 121.0m, 122.0m, 123.0m, 124.0m, 125.0m, 126.0m, 127.0m, 128.0m, 129.0m, 130.0m, 131.0m, 132.0m, 133.0m, 134.0m, 135.0m, 136.0m, 137.0m, 138.0m, 139.0m, 140.0m, 141.0m, 142.0m, 143.0m, 144.0m, 145.0m, 146.0m, 147.0m, 148.0m, 149.0m, 150.0m, 151.0m, 152.0m, 153.0m, 154.0m, 155.0m, 156.0m, 157.0m, 158.0m, 159.0m, 160.0m, 161.0m, 162.0m, 163.0m, 164.0m, 165.0m, 166.0m, 167.0m, 168.0m, 169.0m, 170.0m, 171.0m, 172.0m, 173.0m, 174.0m, 175.0m, 176.0m, 177.0m, 178.0m, 179.0m, 180.0m, 181.0m, 182.0m, 183.0m, 184.0m, 185.0m, 186.0m, 187.0m, 188.0m, 189.0m, 190.0m, 191.0m, 192.0m, 193.0m, 194.0m, 195.0m, 196.0m, 197.0m, 198.0m, 199.0m, 200.0m, 201.0m, 202.0m, 203.0m, 204.0m, 205.0m, 206.0m, 207.0m, 208.0m, 209.0m, 210.0m, 211.0m, 212.0m, 213.0m, 214.0m, 215.0m, 216.0m, 217.0m, 218.0m, 219.0m, 220.0m, 221.0m, 222.0m, 223.0m, 224.0m, 225.0m, 226.0m, 227.0m, 228.0m, 229.0m, 230.0m, 231.0m, 232.0m, 233.0m, 234.0m, 235.0m, 236.0m, 237.0m, 238.0m, 239.0m, 240.0m, 241.0m, 242.0m, 243.0m, 244.0m, 245.0m, 246.0m, 247.0m, 248.0m, 249.0m, 250.0m, 251.0m, 252.0m, 253.0m, 254.0m, 255.0m, 256.0m, 257.0m, 258.0m, 259.0m, 260.0m, 261.0m, 262.0m, 263.0m, 264.0m, 265.0m, 266.0m, 267.0m, 268.0m, 269.0m, 270.0m, 271.0m, 272.0m, 273.0m, 274.0m, 275.0m, 276.0m, 277.0m, 278.0m, 279.0m, 280.0m, 281.0m, 282.0m, 283.0m, 284.0m, 285.0m, 286.0m, 287.0m, 288.0m, 289.0m, 290.0m, 291.0m, 292.0m, 293.0m, 294.0m, 295.0m, 296.0m, 297.0m, 298.0m, 299.0m, 300.0m, 301.0m, 302.0m, 303.0m, 304.0m, 305.0m, 306.0m, 307.0m, 308.0m, 309.0m, 310.0m, 311.0m, 312.0m, 313.0m, 314.0m, 315.0m, 316.0m, 317.0m, 318.0m, 319.0m, 320.0m, 321.0m, 322.0m, 323.0m, 324.0m, 325.0m, 326.0m, 327.0m, 328.0m, 329.0m, 330.0m, 331.0m, 332.0m, 333.0m, 334.0m, 335.0m, 336.0m, 337.0m, 338.0m, 339.0m, 340.0m, 341.0m, 342.0m, 343.0m, 344.0m, 345.0m, 346.0m, 347.0m, 348.0m, 349.0m, 350.0m, 351.0m, 352.0m, 353.0m, 354.0m, 355.0m, 356.0m, 357.0m, 358.0m, 359.0m, 360.0m, 361.0m, 362.0m, 363.0m, 364.0m, 365.0m, 366.0m, 367.0m, 368.0m, 369.0m, 370.0m, 371.0m, 372.0m, 373.0m, 374.0m, 375.0m, 376.0m, 377.0m, 378.0m, 379.0m, 380.0m, 381.0m, 382.0m, 383.0m, 384.0m, 385.0m, 386.0m, 387.0m, 388.0m, 389.0m, 390.0m, 391.0m, 392.0m, 393.0m, 394.0m, 395.0m, 396.0m, 397.0m, 398.0m, 399.0m, 400.0m, 401.0m, 402.0m, 403.0m, 404.0m, 405.0m, 406.0m, 407.0m, 408.0m, 409.0m, 410.0m, 411.0m, 412.0m, 413.0m, 414.0m, 415.0m, 416.0m, 417.0m, 418.0m, 419.0m, 420.0m, 421.0m, 422.0m, 423.0m, 424.0m, 425.0m, 426.0m, 427.0m, 428.0m, 429.0m, 430.0m, 431.0m, 432.0m, 433.0m, 434.0m, 435.0m, 436.0m, 437.0m, 438.0m, 439.0m, 440.0m, 441.0m, 442.0m, 443.0m, 444.0m, 445.0m, 446.0m, 447.0m, 448.0m, 449.0m, 450.0m, 451.0m, 452.0m, 453.0m, 454.0m, 455.0m, 456.0m, 457.0m, 458.0m, 459.0m, 460.0m, 461.0m, 462.0m, 463.0m, 464.0m, 465.0m, 466.0m, 467.0m, 468.0m, 469.0m, 470.0m, 471.0m, 472.0m, 473.0m, 474.0m, 475.0m, 476.0m, 477.0m, 478.0m, 479.0m, 480.0m, 481.0m, 482.0m, 483.0m, 484.0m, 485.0m, 486.0m, 487.0m, 488.0m, 489.0m, 490.0m, 491.0m, 492.0m, 493.0m, 494.0m, 495.0m, 496.0m, 497.0m, 498.0m, 499.0m, 500.0m, 501.0m, 502.0m, 503.0m, 504.0m, 505.0m, 506.0m, 507.0m, 508.0m, 509.0m, 510.0m, 511.0m, 512.0m, 513.0m, 514.0m, 515.0m, 516.0m, 517.0m, 518.0m, 519.0m, 520.0m, 521.0m, 522.0m, 523.0m, 524.0m, 525.0m, 526.0m, 527.0m, 528.0m, 529.0m, 530.0m, 531.0m, 532.0m, 533.0m, 534.0m, 535.0m, 536.0m, 537.0m, 538.0m, 539.0m, 540.0m, 541.0m, 542.0m, 543.0m, 544.0m, 545.0m, 546.0m, 547.0m, 548.0m, 549.0m, 550.0m, 551.0m, 552.0m, 553.0m, 554.0m, 555.0m, 556.0m, 557.0m, 558.0m, 559.0m, 560.0m, 561.0m, 562.0m, 563.0m, 564.0m, 565.0m, 566.0m, 567.0m, 568.0m, 569.0m, 570.0m, 571.0m, 572.0m, 573.0m, 574.0m, 575.0m, 576.0m, 577.0m, 578.0m, 579.0m, 580.0m, 581.0m, 582.0m, 583.0m, 584.0m, 585.0m, 586.0m, 587.0m, 588.0m, 589.0m, 590.0m, 591.0m, 592.0m, 593.0m, 594.0m, 595.0m, 596.0m, 597.0m, 598.0m, 599.0m, 600.0m, 601.0m, 602.0m, 603.0m, 604.0m, 605.0m, 606.0m, 607.0m, 608.0m, 609.0m, 610.0m, 611.0m, 612.0m, 613.0m, 614.0m, 615.0m, 616.0m, 617.0m, 618.0m, 619.0m, 620.0m, 621.0m, 622.0m, 623.0m, 624.0m, 625.0m, 626.0m, 627.0m, 628.0m, 629.0m, 630.0m, 631.0m, 632.0m, 633.0m, 634.0m, 635.0m, 636.0m, 637.0m, 638.0m, 639.0m, 640.0m, 641.0m, 642.0m, 643.0m, 644.0m, 645.0m, 646.0m, 647.0m, 648.0m, 649.0m, 650.0m, 651.0m, 652.0m, 653.0m, 654.0m, 655.0m, 656.0m, 657.0m, 658.0m, 659.0m, 660.0m, 661.0m, 662.0m, 663.0m, 664.0m, 665.0m, 666.0m, 667.0m, 668.0m, 669.0m, 670.0m, 671.0m, 672.0m, 673.0m, 674.0m, 675.0m, 676.0m, 677.0m, 678.0m, 679.0m, 680.0m, 681.0m, 682.0m, 683.0m, 684.0m, 685.0m, 686.0m, 687.0m, 688.0m, 689.0m, 690.0m, 691.0m, 692.0m, 693.0m, 694.0m, 695.0m, 696.0m, 697.0m, 698.0m, 699.0m, 700.0m, 701.0m, 702.0m, 703.0m, 704.0m, 705.0m, 706.0m, 707.0m, 708.0m, 709.0m, 710.0m, 711.0m, 712.0m, 713.0m, 714.0m, 715.0m, 716.0m, 717.0m, 718.0m, 719.0m, 720.0m, 721.0m, 722.0m, 723.0m, 724.0m, 725.0m, 726.0m, 727.0m, 728.0m, 729.0m, 730.0m, 731.0m, 732.0m, 733.0m, 734.0m, 735.0m, 736.0m, 737.0m, 738.0m, 739.0m, 740.0m, 741.0m, 742.0m, 743.0m, 744.0m, 745.0m, 746.0m, 747.0m, 748.0m, 749.0m, 750.0m, 751.0m, 752.0m, 753.0m, 754.0m, 755.0m, 756.0m, 757.0m, 758.0m, 759.0m, 760.0m, 761.0m, 762.0m, 763.0m, 764.0m, 765.0m, 766.0m, 767.0m, 768.0m, 769.0m, 770.0m, 771.0m, 772.0m, 773.0m, 774.0m, 775.0m, 776.0m, 777.0m, 778.0m, 779.0m, 780.0m, 781.0m, 782.0m, 783.0m, 784.0m, 785.0m, 786.0m, 787.0m, 788.0m, 789.0m, 790.0m, 791.0m, 792.0m, 793.0m, 794.0m, 795.0m, 796.0m, 797.0m, 798.0m, 799.0m, 800.0m, 801.0m, 802.0m, 803.0m, 804.0m, 805.0m, 806.0m, 807.0m, 808.0m, 809.0m, 810.0m, 811.0m, 812.0m, 813.0m, 814.0m, 815.0m, 816.0m, 817.0m, 818.0m, 819.0m, 820.0m, 821.0m, 822.0m, 823.0m, 824.0m, 825.0m, 826.0m, 827.0m, 828.0m, 829.0m, 830.0m, 831.0m, 832.0m, 833.0m, 834.0m, 835.0m, 836.0m, 837.0m, 838.0m, 839.0m, 840.0m, 841.0m, 842.0m, 843.0m, 844.0m, 845.0m, 846.0m, 847.0m, 848.0m, 849.0m, 850.0m, 851.0m, 852.0m, 853.0m, 854.0m, 855.0m, 856.0m, 857.0m, 858.0m, 859.0m, 860.0m, 861.0m, 862.0m, 863.0m, 864.0m, 865.0m, 866.0m, 867.0m, 868.0m, 869.0m, 870.0m, 871.0m, 872.0m, 873.0m, 874.0m, 875.0m, 876.0m, 877.0m, 878.0m, 879.0m, 880.0m, 881.0m, 882.0m, 883.0m, 884.0m, 885.0m, 886.0m, 887.0m, 888.0m, 889.0m, 890.0m, 891.0m, 892.0m, 893.0m, 894.0m, 895.0m, 896.0m, 897.0m, 898.0m, 899.0m, 900.0m, 901.0m, 902.0m, 903.0m, 904.0m, 905.0m, 906.0m, 907.0m, 908.0m, 909.0m, 910.0m, 911.0m, 912.0m, 913.0m, 914.0m, 915.0m, 916.0m, 917.0m, 918.0m, 919.0m, 920.0m, 921.0m, 922.0m, 923.0m, 924.0m, 925.0m, 926.0m, 927.0m, 928.0m, 929.0m, 930.0m, 931.0m, 932.0m, 933.0m, 934.0m, 935.0m, 936.0m, 937.0m, 938.0m, 939.0m, 940.0m, 941.0m, 942.0m, 943.0m, 944.0m, 945.0m, 946.0m, 947.0m, 948.0m, 949.0m, 950.0m, 951.0m, 952.0m, 953.0m, 954.0m, 955.0m, 956.0m, 957.0m, 958.0m, 959.0m, 960.0m, 961.0m, 962.0m, 963.0m, 964.0m, 965.0m, 966.0m, 967.0m, 968.0m, 969.0m, 970.0m, 971.0m, 972.0m, 973.0m, 974.0m, 975.0m, 976.0m, 977.0m, 978.0m, 979.0m, 980.0m, 981.0m, 982.0m, 983.0m, 984.0m, 985.0m, 986.0m, 987.0m, 988.0m, 989.0m, 990.0m, 991.0m, 992.0m, 993.0m, 994.0m, 995.0m, 996.0m, 997.0m, 998.0m, 999.0m, 1000.0m, 1001.0m, 1002.0m, 1003.0m, 1004.0m, 1005.0m, 1006.0m, 1007.0m, 1008.0m, 1009.0m, 1010.0m, 1011.0m, 1012.0m, 1013.0m, 1014.0m, 1015.0m, 1016.0m, 1017.0m, 1018.0m, 1019.0m, 1020.0m, 1021.0m, 1022.0m, 1023.0m, 1024.0m, 1025.0m, 1026.0m, 1027.0m, 1028.0m, 1029.0m, 1030.0m, 1031.0m, 1032.0m, 1033.0m, 1034.0m, 1035.0m, 1036.0m, 1037.0m, 1038.0m, 1039.0m, 1040.0m, 1041.0m, 1042.0m, 1043.0m, 1044.0m, 1045.0m, 1046.0m, 1047.0m, 1048.0m, 1049.0m, 1050.0m, 1051.0m, 1052.0m, 1053.0m, 1054.0m, 1055.0m, 1056.0m, 1057.0m, 1058.0m, 1059.0m, 1060.0m, 1061.0m, 1062.0m, 1063.0m, 1064.0m, 1065.0m, 1066.0m, 1067.0m, 1068.0m, 1069.0m, 1070.0m, 1071.0m, 1072.0m, 1073.0m, 1074.0m, 1075.0m, 1076.0m, 1077.0m, 1078.0m, 1079.0m, 1080.0m, 1081.0m, 1082.0m, 1083.0m, 1084.0m, 1085.0m, 1086.0m, 1087.0m, 1088.0m, 1089.0m, 1090.0m, 1091.0m, 1092.0m, 1093.0m, 1094.0m, 1095.0m, 1096.0m, 1097.0m, 1098.0m, 1099.0m, 1100.0m, 1101.0m, 1102.0m, 1103.0m, 1104.0m, 1105.0m, 1106.0m, 1107.0m, 1108.0m, 1109.0m, 1110.0m, 1111.0m, 1112.0m, 1113.0m, 1114.0m, 1115.0m, 1116.0m, 1117.0m, 1118.0m, 1119.0m, 1120.0m, 1121.0m, 1122.0m, 1123.0m, 1124.0m, 1125.0m, 1126.0m, 1127.0m, 1128.0m, 1129.0m, 1130.0m, 1131.0m, 1132.0m, 1133.0m, 1134.0m, 1135.0m, 1136.0m, 1137.0m, 1138.0m, 1139.0m, 1140.0m, 1141.0m, 1142.0m, 1143.0m, 1144.0m, 1145.0m, 1146.0m, 1147.0m, 1148.0m, 1149.0m, 1150.0m, 1151.0m, 1152.0m, 1153.0m, 1154.0m, 1155.0m, 1156.0m, 1157.0m, 1158.0m, 1159.0m, 1160.0m, 1161.0m, 1162.0m, 1163.0m, 1164.0m, 1165.0m, 1166.0m, 1167.0m, 1168.0m, 1169.0m, 1170.0m, 1171.0m, 1172.0m, 1173.0m, 1174.0m, 1175.0m, 1176.0m, 1177.0m, 1178.0m, 1179.0m, 1180.0m, 1181.0m, 1182.0m, 1183.0m, 1184.0m, 1185.0m, 1186.0m, 1187.0m, 1188.0m, 1189.0m, 1190.0m, 1191.0m, 1192.0m, 1193.0m, 1194.0m, 1195.0m, 1196.0m, 1197.0m, 1198.0m, 1199.0m, 1200.0m, 1201.0m, 1202.0m, 1203.0m, 1204.0m, 1205.0m, 1206.0m, 1207.0m, 1208.0m, 1209.0m, 1210.0m, 1211.0m, 1212.0m, 1213.0m, 1214.0m, 1215.0m, 1216.0m, 1217.0m, 1218.0m, 1219.0m, 1220.0m, 1221.0m, 1222.0m, 1223.0m, 1224.0m, 1225.0m, 1226.0m, 1227.0m, 1228.0m, 1229.0m, 1230.0m, 1231.0m, 1232.0m, 1233.0m, 1234.0m, 1235.0m, 1236.0m, 1237.0m, 1238.0m, 1239.0m, 1240.0m, 1241.0m, 1242.0m, 1243.0m, 1244.0m, 1245.0m, 1246.0m, 1247.0m, 1248.0m, 1249.0m, 1250.0m, 1251.0m, 1252.0m, 1253.0m, 1254.0m, 1255.0m, 1256.0m, 1257.0m, 1258.0m, 1259.0m, 1260.0m, 1261.0m, 1262.0m, 1263.0m, 1264.0m, 1265.0m, 1266.0m, 1267.0m, 1268.0m, 1269.0m, 1270.0m, 1271.0m, 1272.0m, 1273.0m, 1274.0m, 1275.0m, 1276.0m, 1277.0m, 1278.0m, 1279.0m, 1280.0m, 1281.0m, 1282.0m, 1283.0m, 1284.0m, 1285.0m, 1286.0m, 1287.0m, 1288.0m, 1289.0m, 1290.0m, 1291.0m, 1292.0m, 1293.0m, 1294.0m, 1295.0m, 1296.0m, 1297.0m, 1298.0m, 1299.0m, 1300.0m, 1301.0m, 1302.0m, 1303.0m, 1304.0m, 1305.0m, 1306.0m, 1307.0m, 1308.0m, 1309.0m, 1310.0m, 1311.0m, 1312.0m, 1313.0m, 1314.0m, 1315.0m, 1316.0m, 1317.0m, 1318.0m, 1319.0m, 1320.0m, 1321.0m, 1322.0m, 1323.0m, 1324.0m, 1325.0m, 1326.0m, 1327.0m, 1328.0m, 1329.0m, 1330.0m, 1331.0m, 1332.0m, 1333.0m, 1334.0m, 1335.0m, 1336.0m, 1337.0m, 1338.0m, 1339.0m, 1340.0m, 1341.0m, 1342.0m, 1343.0m, 1344.0m, 1345.0m, 1346.0m, 1347.0m, 1348.0m, 1349.0m, 1350.0m, 1351.0m, 1352.0m, 1353.0m, 1354.0m, 1355.0m, 1356.0m, 1357.0m, 1358.0m, 1359.0m, 1360.0m, 1361.0m, 1362.0m, 1363.0m, 1364.0m, 1365.0m, 1366.0m, 1367.0m, 1368.0m, 1369.0m, 1370.0m, 1371.0m, 1372.0m, 1373.0m, 1374.0m, 1375.0m, 1376.0m, 1377.0m, 1378.0m, 1379.0m, 1380.0m, 1381.0m, 1382.0m, 1383.0m, 1384.0m, 1385.0m, 1386.0m, 1387.0m, 1388.0m, 1389.0m, 1390.0m, 1391.0m, 1392.0m, 1393.0m, 1394.0m, 1395.0m, 1396.0m, 1397.0m, 1398.0m, 1399.0m, 1400.0m, 1401.0m, 1402.0m

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数 (3/5)

分類	名称	計測範囲	個数	設定個数の考え方
原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 (DR)	0~100vol%	2	重大事故等時に原子炉格納容器内の水素濃度の可能性 (水素濃度:40vol%) 監視するため、ドライウエルとサブアラームの両方から検出する可能性のある範囲 (0~100vol%) を監視する。これにより、ドライウエルとサブアラームの両方から検出する可能性のある範囲 (0~100vol%) により計測可能と判断する。
	格納容器内水素濃度 (SC)	0~100vol%	2	
原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度	0~30vol%	2	重大事故等時に原子炉格納容器内の水素濃度の可能性 (水素濃度:40vol%) 監視するため、ドライウエルとサブアラームの両方から検出する可能性のある範囲 (0~100vol%) を監視する。これにより、ドライウエルとサブアラームの両方から検出する可能性のある範囲 (0~100vol%) により計測可能と判断する。
	格納容器内水素濃度	0~100vol%	2	
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器内空室気放射線モニタ (DR)	10 ⁻⁵ Sv/h~10 ⁻² Sv/h	2	安全機能の重要度分類は「2」(事故時監視) の設計要求により既に多量化された。ドライウエル及びサブアラームにより既に多量化された。2個を決定する。
	格納容器内空室気放射線モニタ (SC)	10 ⁻⁵ Sv/h~10 ⁻² Sv/h	2	
未編入の維持又は監視	格納容器内空室気放射線モニタ	中子下層領域 10 ⁻⁵ Sv/h~10 ⁻² Sv/h (1×10 ⁻⁵ cm ² ・s ⁻¹ ~1×10 ⁻² cm ² ・s ⁻¹) 中間領域 0~40%又は0~125% (1×10 ⁻⁵ cm ² ・s ⁻¹ ~2×10 ⁻² cm ² ・s ⁻¹)	8	原子炉出力を監視可能な設置の平均出力領域モニタを6子チャンネルを設定する。原子炉出力領域モニタ (DR) の検出範囲は、炉内124箇所により多量に配置されており、平均出力領域モニタは、そのうち03個 (A系17個×3チャンネル及びB系14個×3チャンネル) から構成されている。このため、1チャンネルでも未編入確認は可能であるが、単一故障を想定し、パラメータの監視機能喪失を防ぐため、A系3チャンネル、B系3チャンネルの全6チャンネルを設定する。

第1表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数 (3/4)

分類	名称	計測範囲	個数	設定個数の考え方
最終ヒートシフトの確保	蒸気発生器水位 (線感)	0~100%	6	安全機能の重要度分類は「2」(事故時監視) の設計要求により各グループごとに既に多量化された。2個ずつ、全3グループの合計6個を設定する。
	蒸気発生器水位 (点感)	0~100%	3	
	補助給水流量	0~120t/h	3	
水源の確保	主要ライン圧力	0~8.0MPa[Range]	6	安全機能の重要度分類は「2」(事故時監視) の設計要求により各グループごとに既に多量化された。2個ずつ、全3グループの合計6個を設定する。
	原子炉補給給水ポンプタンク水位	0~100%	2	
	原子炉補給給水ポンプタンク圧力 (可搬型)	0~1.0MPa[Range]	1	
	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	0~200℃	3	
	燃料放熱器冷却水タンク水位	0~100%	2	
アニュラス部の水素濃度	ほうろくタンク水位	0~100%	2	安全機能の重要度分類は「2」(事故時監視) の設計要求により既に多量化された。2個を設定する。
	補助給水タンク水位	0~100%	2	
アニュラス部の水素濃度	アニュラス水素濃度 (可搬型)	0~20vol%	1	重大事故等時にアニュラス部の水素濃度が変動する可能性のある範囲 (0~1vol%) を包摂する計測範囲を監視するため、新規に1個設置 (保管) する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数 (5/5)

分類	名称	計測範囲	個数	設定個数の考え方
原子炉格納容器内の水素濃度	静的触媒式水素再結合装置動作監視装置	0~500℃	8*	静的触媒式水素再結合装置 19 個の動作状況を広く監視するため、水平方向及び鉛直方向の位置関係を考慮し、互いに離れた位置にある 4 基を代表して、出入口に 1 個ずつ、合計 8 個を監視に設置する。
	格納容器内空気気体濃度	0~30vol.%	2	重大事故等時に原子炉格納容器内の水素濃度の可能性 (酸素濃度: 5vol.%) を監視するため、ドライウェルとサブプレッショナルチエントの運転切替 (サンプリング式) により計測可能な既設酸素濃度計を 2 個設置する。
使用済燃料プールの監視	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)	0~7.010mm ³ (0.P. 25920mm~32920mm) 0~150℃	1**	通常水位から使用済燃料プールの底部近傍まで監視可能な水位 (通常水位から使用済燃料プールの底部近傍まで監視可能な水位) に 1 個設置する。
	使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)	-4.200mm~3.300mm ³ (0.P. 21620mm~23220mm)	1	通常水位から使用済燃料プールの底部近傍まで監視可能な水位を設計を考慮し 1 個設置する。
	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	0~1200℃	1**	通常水位から使用済燃料プールの底部近傍まで水位変動した場合の放射線検出を監視可能な高線量・低線量モニタを新規に各 1 個設置する。
	使用済燃料プール監視カメラ	10msv/h~10 ⁴ msv/h 10 ⁴ msv/h~10 ⁶ msv/h	1	通常水位から使用済燃料プールの底部近傍まで監視可能な水位を監視カメラを使用済燃料プールの上部空間に 1 個設置する。

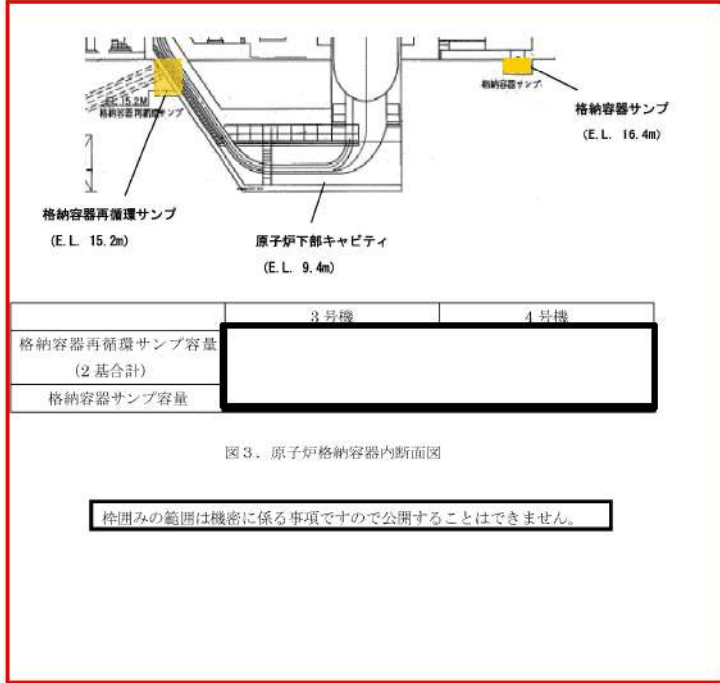
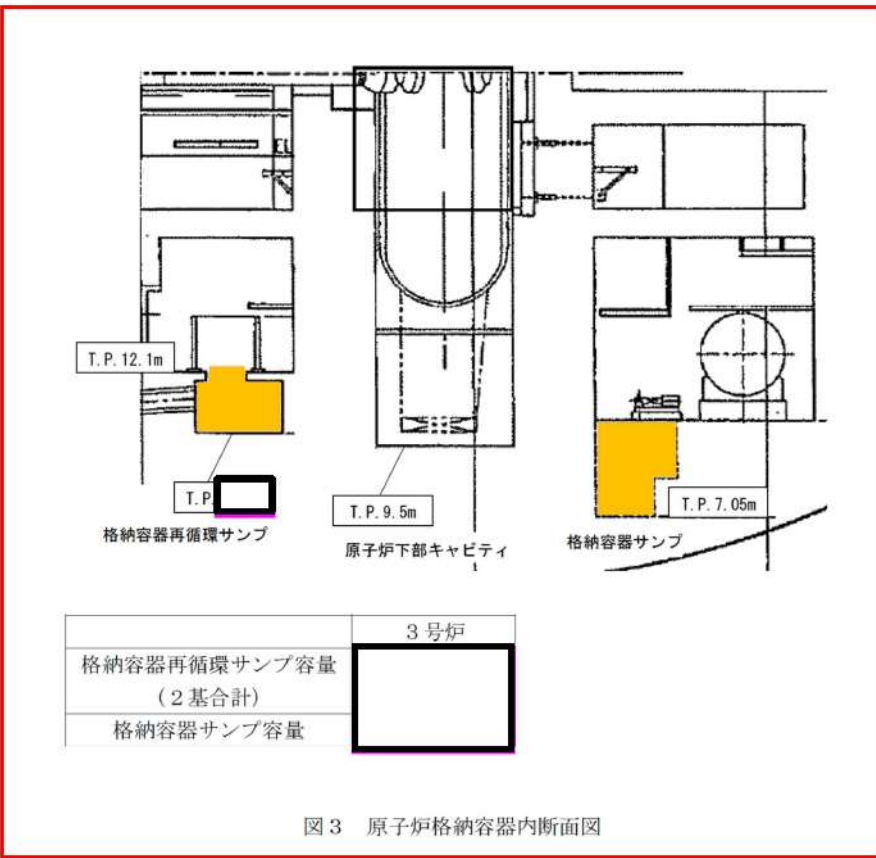
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

*1：計測範囲の寄は、原子炉圧力容器等レベルより1.315m上の上とする (ドライヤスカーコート底部付近)。
 *2：計測範囲の寄は、原子炉圧力容器等レベルより900mm上の上とする (ドライヤスカーコート底部付近)。
 *3：計測範囲の寄は、原子炉格納容器下部 (0.6kg放射線センサー底部) 上の上とする (4基が放射線センサーを設置する) のところとする。
 *4：計測範囲の寄は、ドライウェル床面 () のところとする。
 *5：定常出力時の値に示す。
 *6：上部出力領域モニタの検出値は124個であり、平均出力領域モニタの各チャンネルには、A系17個及びB系14個ずつの信号が入力される。
 *7：4個の静的触媒式水素再結合装置に対して、入口側及び出口側にそれぞれ1個設置。
 *8：計測範囲の寄は、使用済燃料プールの上部 (0.P. 25920mm) のところとする。
 *9：検出点15箇所。
 *10：検出点2箇所。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)


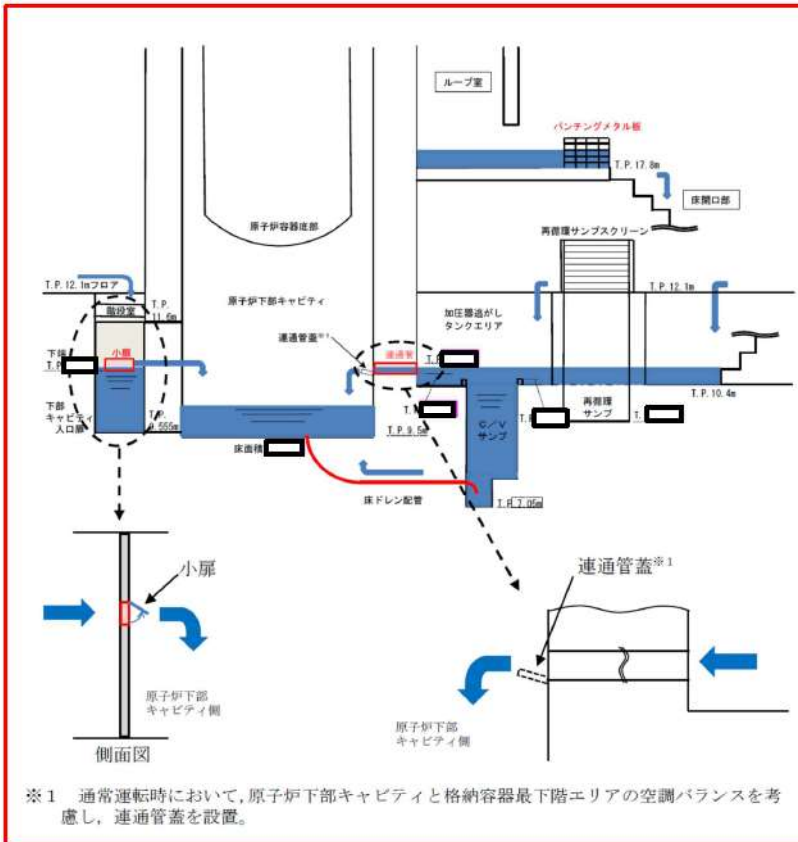
大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">原子炉下部キャビティへの流入経路について</p> <p>LOCA 時の RCS 破断水および原子炉格納容器に注水されたスプレイ水が原子炉下部キャビティへ流入する経路について、図1および図2に示す。</p> <p>図1 スプレイ水及びRCS破断水の原子炉下部キャビティへの流入経路 (断面図)</p>	<p>別紙4 (原子炉下部キャビティへの流入経路について) は、51条補足説明資料 (51-7) と同内容であるため、51条の比較表と同じ大飯との2連比較表としている。</p> <p style="text-align: right;">別紙4 記載表現の相違</p> <p style="text-align: center;">原子炉下部キャビティへの流入経路について</p> <p>LOCA時のRCS破断水および原子炉格納容器に注水されたスプレイ水が原子炉下部キャビティへ流入する経路について、図1および図2に示す。</p> <p>図1 スプレイ水及びRCS破断水の原子炉下部キャビティへの流入経路 (断面図)</p> <p style="text-align: center;">■ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="text-align: center;">設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由															
 <p>格納容器再循環サンブ (E.L. 15.2m)</p> <p>格納容器サンブ (E.L. 16.4m)</p> <p>原子炉下部キャビティ (E.L. 9.4m)</p> <table border="1" data-bbox="257 614 907 726"> <thead> <tr> <th></th> <th>3 号機</th> <th>4 号機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器再循環サンブ容量 (2 基合計)</td> <td style="background-color: black; color: black;">[Redacted]</td> <td style="background-color: black; color: black;">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>格納容器サンブ容量</td> <td style="background-color: black; color: black;">[Redacted]</td> <td style="background-color: black; color: black;">[Redacted]</td> </tr> </tbody> </table> <p>図 3 原子炉格納容器内断面図</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		3 号機	4 号機	格納容器再循環サンブ容量 (2 基合計)	[Redacted]	[Redacted]	格納容器サンブ容量	[Redacted]	[Redacted]	 <p>T.P. 12.1m</p> <p>T.P. 9.5m</p> <p>T.P. 7.05m</p> <p>格納容器再循環サンブ</p> <p>原子炉下部キャビティ</p> <p>格納容器サンブ</p> <table border="1" data-bbox="1120 798 1568 933"> <thead> <tr> <th></th> <th>3 号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器再循環サンブ容量 (2 基合計)</td> <td style="background-color: black; color: black;">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>格納容器サンブ容量</td> <td style="background-color: black; color: black;">[Redacted]</td> </tr> </tbody> </table> <p>図 3 原子炉格納容器内断面図</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>		3 号炉	格納容器再循環サンブ容量 (2 基合計)	[Redacted]	格納容器サンブ容量	[Redacted]	<p>設計方針の相違</p>
	3 号機	4 号機															
格納容器再循環サンブ容量 (2 基合計)	[Redacted]	[Redacted]															
格納容器サンブ容量	[Redacted]	[Redacted]															
	3 号炉																
格納容器再循環サンブ容量 (2 基合計)	[Redacted]																
格納容器サンブ容量	[Redacted]																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1. 原子炉下部キャビティへの流入箇所</p> <p>原子炉格納容器の最下階エリアからは、原子炉下部キャビティに通じる連通穴を経由して原子炉下部キャビティへ流入する。また、原子炉格納容器最下階フロアの水位上昇に伴い、小扉からも流入する。</p> <p>原子炉下部キャビティに流入する経路断面概要を図4に、また、最下階エリア及び原子炉下部キャビティの水位と原子炉格納容器内への注水量の関係を図5に示す。</p>  <p>図4. 原子炉下部キャビティまでの流入経路断面概要図</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>1. 原子炉下部キャビティへの流入箇所</p> <p>原子炉格納容器の最下階エリアからは、原子炉下部キャビティに通じる以下の開口部（連通管及び小扉）を経由して原子炉下部キャビティへ流入する。</p> <p>原子炉下部キャビティに流入する経路断面概要を図4に、また、最下階エリア及び原子炉下部キャビティの水位と原子炉格納容器内への注水量の関係を図5及び図6に示す。</p>  <p>図4 原子炉下部キャビティまでの流入経路断面概要図</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>※1 通常運転時において、原子炉下部キャビティと格納容器最下階エリアの空調バランスを考慮し、連通管蓋を設置。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>・泊3号炉は小扉が最下層フロア床レベルと同等の高さにある連通管とは異なる高さとなるためほぼ同時に流入する。</p> <p>設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="264 188 913 655" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="421 630 768 651" data-label="Caption"> <p>図5. 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係</p> </div> <p>本関係図の設定条件は以下のとおりである。</p> <p>(a) 解析コード MAAP によれば、MCCI の発生に対してもっとも影響の大きい「大 LOCA+ECCS 失敗+格納容器スプレイ失敗」において、原子炉容器破損時（約 1.4 時間後）に合計 60 トン^{※2}の熔融炉心及び熔融された炉内構造物等が原子炉下部キャビティに落下すると結果を得ている。この初期に落下する熔融炉心等の物量について、保守的に大飯 3,4 号機に装荷される炉心有効部の全量約 [] トンと設定し、これが原子炉下部キャビティに落下した際に蓄水した水により常温まで冷却するのに必要な水量として約 []^{※3}とした。解析結果によれば、原子炉容器破損時（約 1.4 時間後）における原子炉下部キャビティ水量は約 []³（水位として約 1.3m）であり、十分な水量が確保されている。</p> <p>※2：MAAP 解析では、初期炉心熱出力を [] 大きめに設定しており、また、炉心崩壊熱も大きめの発熱量で推移すると設定している。そのため、原子炉容器破損時間や熔融炉心等落下物量は実態よりも早め・大きめになり、数値は十分保守的である。</p> <p>※3：初期以降に落下する熔融炉心等の冷却に必要な冷却水については、スプレイ水等により最下階に溜まった水が連通穴等により適宜注水される。</p> <p>(b) 大破断 LOCA 時には短時間に大流量が原子炉格納容器内へ注水されるため、連通穴を主経路として原子炉下部キャビティに通水されるため、以下については考慮しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉容器外周隙間からの流入 <div data-bbox="338 1390 857 1417" data-label="Text"> <p>[] 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div data-bbox="1126 172 1883 667" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1182 639 1821 660" data-label="Caption"> <p>図5 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係（既設連通管のみから流入の場合）</p> </div> <p>本関係図の設定条件は以下のとおりである。</p> <p>(a) 解析コード MAAP によれば、MCCI の発生に対してもっとも影響の大きい「大破断 LOCA+ECCS 注入失敗+格納容器スプレイ失敗」において、原子炉容器破損時（約 1.6 時間後※2）に合計 [] トン^{※2}の熔融炉心、熔融された炉内構造物等が原子炉下部キャビティに落下すると結果を得ている。この初期に落下する熔融炉心等の物量について、保守的に泊 3 号機に装荷される炉心有効部の全量約 [] トンと設定し、これが原子炉下部キャビティに落下した際に蓄水した水により常温まで冷却するのに必要な水量として約 []^{※3}とした。解析結果によれば、原子炉容器破損時（約 1.4 時間後）における原子炉下部キャビティ水量は約 []³（水位として約 1.5m）であり、十分な水量が確保されている。</p> <p>※2 MAAP 解析では、初期炉心熱出力を 2% 大きめに設定しており、また、炉心崩壊熱も大きめの発熱量で推移すると想定している。そのため、原子炉容器破損時間や熔融炉心等落下物量は実態よりも早め・大きめになり、数値は十分保守的である。</p> <p>※3 初期以降に落下する熔融炉心等の冷却に必要な冷却水については、スプレイ水等により最下階に溜まった水が連通管等により適宜注水される。</p> <p>(b) 大破断 LOCA 時には短時間に大流量が原子炉格納容器内へ注水されるため、連通管を主経路として原子炉下部キャビティに通水されるため、上図においては以下については考慮しないこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 格納容器サンプルからのドレン配管逆流による流入 原子炉容器外周隙間からの流入 <div data-bbox="1417 1390 1937 1417" data-label="Text"> <p>[] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>設計方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊3号炉は下部キャビティ床にドレン配管があるため、ドレン配管から逆流する経路がある。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	<div data-bbox="1070 172 1951 687" style="border: 2px solid black; height: 323px; width: 393px; margin-bottom: 10px;"></div> <p data-bbox="1115 703 1827 724">図 6 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係 (追設小扉のみから流入の場合)</p> <p data-bbox="1081 751 1447 772">本関係図の設定条件は以下のとおりである。</p> <p data-bbox="1104 783 1731 804">(a) 溶融炉心等の物量及び必要な冷却水量の設定については、図 5 と同じ。</p> <p data-bbox="1104 815 1955 868">(b) 追設する小扉の流入性確認のため、上図においては保守的に以下については考慮しないこととした。</p> <ul data-bbox="1126 884 1554 975" style="list-style-type: none"> ・既設の連通管からの流入 ・格納容器サンプからのドレン配管逆流による流入 ・原子炉容器外周隙間からの流入 <p data-bbox="1104 1023 1955 1145">(c) 保守的に、大破断 LOCA 時の初期の流入水 (RCS 配管破断水 (約)) は、既設の連通管が設置されている加圧器逃がシタンクエリアに流入し、このうち当該エリアの容積に相当する水が滞留水になると仮定した。また加圧器逃がシタンクエリアが満水となった後にオーバーフローし、階段室及び下部キャビティに流入すると仮定した。</p> <p data-bbox="1104 1161 1955 1246">(d) 実際には RCS 配管破断水及びスプレイ水は、加圧器逃がシタンクエリア (既設連通管側) 及び階段室 (追設小扉側) に同時に流入し、階段室 (追設小扉側) にも早期に流入することから、上記は保守的な仮定である。</p> <p data-bbox="1346 1342 1944 1362" style="text-align: right;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1977 204 2101 225">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="1977 240 2123 432" style="list-style-type: none"> ・大飯では連通穴が 2 重化されていることから、小扉のみの流入による評価を行っていない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

相違理由

(1) 連通穴

原子炉下部キャビティへの流入経路として、炉内計装用シンプル配管室への連通穴を施工する。連通穴は1箇所のみでMCCI防止のために必要な原子炉下部キャビティ保有水を確保できることを確認しているが、2箇所設置することで多重性を持った設計とする。(図6)



図6. 連通穴施工イメージ

(2) 小扉

1箇所の連通穴からの流入のみでMCCI防止のために必要な原子炉下部キャビティ保有水を確保できることを確認しているが、原子炉格納容器最下階フロアの水位が上昇すれば、2箇所に設置する連通穴に加えて、小扉からも原子炉下部キャビティへ格納容器スプレイ水が流入する。(図7)

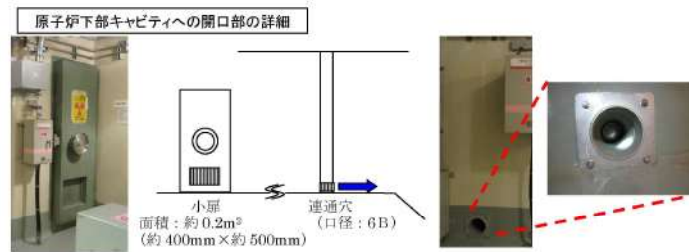


図7. 炉内計装用シンプル配管室入口小扉

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(1) 連通管

原子炉下部キャビティへの流入経路として、原子炉下部キャビティへの連通管を設置している。連通管は1箇所のみでMCCI防止のために必要な原子炉下部キャビティ保有水を確保できることを確認しているが、連通管と異なる位置に小扉を設置することで流路の多重性及び多様性を持った設計とする。(図7)

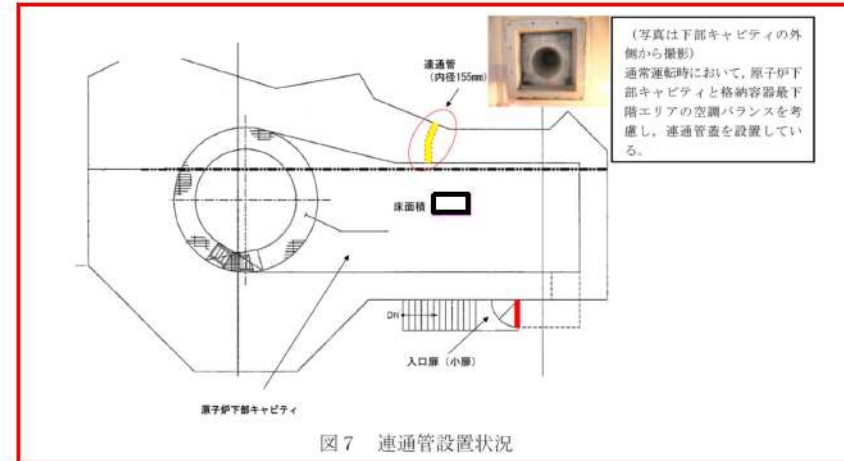


図7 連通管設置状況

(2) 小扉

連通管からの流入のみでMCCI防止のために必要な原子炉下部キャビティ保有水を確保できることを確認しているが、原子炉下部キャビティへの水の流入経路の多重性を確保するため、原子炉下部キャビティの入口扉に開口部(小扉)を設置し、小扉からも原子炉下部キャビティへ格納容器スプレイ水が流入する。(図8)

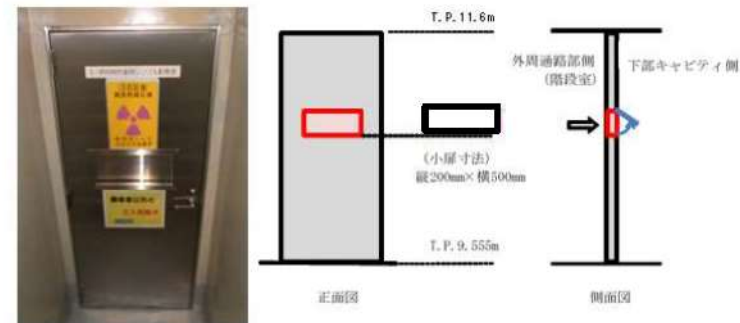


図8 □原子炉下部キャビティ入口扉小扉

□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

記載方針の相違
 ・泊3号炉は連通管を設置済みである。

設計方針の相違
 ・泊3号炉は連通管と異なる方向のほぼ同じ高さの連通管よりも大きい開口部を持つ小扉を設置することで多重性及び多様性を持つ設計としている。

設計方針の相違
 ・泊3号炉では、最下階フロアの水位上昇を待たずとも連通管と同じレベルにある小扉から格納容器スプレイ水が流入することで、多重性を確保した設計としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 原子炉下部キャビティへの流入健全性について</p> <p>(1) 原子炉下部キャビティ内側からの閉塞の可能性について</p> <p>溶融炉心が原子炉下部キャビティ室に落下した際、溶融炉心等で連通穴（内側）が閉塞しないことを以下のとおり確認した。</p> <p>○解析コード MAAP によれば、「大破断 LOCA+ECCS 注入失敗+格納容器スプレイ失敗」において、以下の合計約 [] トンの溶融炉心等が LOCA 後 4 時間までに原子炉から落下するとの結果を得ている。</p> <p>○上記の結果に解析結果が持つ不確定性を考慮し、保守的に以下を想定して、物量が多くなるよう炉内構造物等の重量を約 [] トンとし、合計 [] トン分が下部キャビティ室に堆積することを想定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に溶融が想定される箇所は、下部炉内構造物のうち、溶融炉心が下部プレナムへ落下する際に接触する構造物の表面の一部と、滞留する下部プレナム内にある構造物であるが、これらが多めに溶け込むことを想定して、下部炉心板以下の全構造物の溶融とする。 ・原子炉容器については、クリーブ破損により開口部を生じさせる形態となり、原子炉容器そのものは落下しない。（溶融炉心と接するため、微量に溶け込む。） ・原子炉容器下部の計装案内管については、原子炉容器との固定部が溶融されることにより、全てがその形状を保持したまま落下すること。 ・原子炉下部キャビティ室にあるサポート等が全て溶融すること。 	<p>2. 原子炉下部キャビティへの流入健全性について</p> <p>(1) 原子炉下部キャビティ内側からの閉塞の可能性について</p> <p>溶融炉心が原子炉下部キャビティに落下した際、溶融炉心等で連通管及び小扉が内側から閉塞しないことを以下のとおり確認した。</p> <p>○解析コード MAAP によれば、「大破断 LOCA+ECCS 注入失敗+格納容器スプレイ失敗」において、下表に示すとおり① 溶融炉心（全量）（約 [] トン）と② 炉内構造物等約 [] トンの合計約 [] トンの溶融炉心等が、LOCA 後 3 時間までに原子炉から落下するとの結果を得ている。</p> <p>○上記の結果に解析結果が持つ不確定性を考慮し、保守的に以下を想定して、物量が多くなるよう② 炉内構造物等の重量を約 [] トンとし、合計 [] トン分が原子炉下部キャビティに堆積することを想定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に溶融が想定される箇所は、下部炉内構造物のうち、溶融炉心が下部プレナムへ落下する際に接触する構造物の表面の一部と、滞留する下部プレナム内にある構造物であり、これらは約 [] トンである。これらが多めに溶け込むことを想定して、下部炉心板以下の全構造物約 [] トンの溶融とする。 ・原子炉容器については、クリーブ破損により開口部を生じさせる形態となり、原子炉容器そのものは落下しない。（溶融炉心と接するため、微量に溶け込む。） ・原子炉容器下部の計装案内管については、原子炉容器との固定部が溶融されることにより、全てがその形状を保持したまま落下すること。 ・原子炉下部キャビティにあるサポート等が全て溶融することを想定する。これらの総重量は [] トンである。 <p>以上を全て合計した約 [] トンに対して、保守的になるように切りが良い数値として、② 炉内構造物等の重量を約 [] トンと設定した。</p> <p>[] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>記載方針の相違 設計方針の相違 ・炉心及び炉内構造物の相違による重量の相違</p> <p>記載方針の相違 ・重量を明確化した</p> <p>記載方針の相違 ・想定する重量に対してより保守的に重慮を設定した</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
<table border="1" data-bbox="264 193 909 360"> <thead> <tr> <th>構成物</th> <th>材質</th> <th>重量 (MAAP)</th> <th>重量 (今回想定)</th> <th>比重*</th> <th>体積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① 溶融炉心（全量）</td> <td>UO₂</td> <td rowspan="2">[]</td> <td rowspan="2">[]</td> <td>約 11</td> <td rowspan="2">約 23m³</td> </tr> <tr> <td>ZrO₂</td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>② 炉内構造物等</td> <td>SUS304 等</td> <td></td> <td></td> <td>約 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>約 200 トン</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="302 363 465 384">※：空隙率を考慮せず</p> <p data-bbox="183 408 1048 536">以上のように保守的に設定した条件の場合において、原子炉下部キャビティ室に蓄積される溶融炉心等は約 [] となる。これら溶融炉心等が平均的に原子炉下部キャビティ室に堆積すると仮定した場合、原子炉下部キャビティ室の水平方向断面積は約 [] であるので、堆積高さは約 [] m となることから、原子炉下部キャビティ内側室床面から流入経路が閉塞することはない。</p> <div data-bbox="327 571 848 603" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> <p data-bbox="152 713 703 740">(2) 原子炉下部キャビティ外側からの閉塞の可能性について</p> <p data-bbox="203 748 1043 805">原子炉下部キャビティへの流入口である連通穴は、原子炉格納容器内に発生する可能性のあるデブリにより連通穴が閉塞することのない設計とする。</p> <p data-bbox="224 815 813 841">なお、連通穴を閉塞させる恐れのある異物は以下のとおりである。</p> <p data-bbox="215 849 1048 943">(a) プラント定期検査期間中に、原子炉格納容器内に検査機器等が多く持ち込まれるが、定期検査終了後、取り残された異物</p> <p data-bbox="215 917 685 943">(b) 設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物</p> <p data-bbox="174 984 586 1011">(a) 定期検査時に持ち込まれる異物について</p> <p data-bbox="183 1021 647 1046">①定期検査時の作業のため、一時的に使用する異物</p> <ul data-bbox="228 1054 508 1182" style="list-style-type: none"> ・テープ ・プラスチック、ビニール製品 ・ロープ ・ウェス、布切れ等 <p data-bbox="183 1192 253 1217">②対応</p> <p data-bbox="183 1225 1048 1319">定期検査期間中は異物が放置されていないことを目視により点検するとともに、放置された異物が発見された場合は原子炉起動までに除去する等の適切な措置を講じている。また、定期検査終了後には、異物等が残っていないことを原子炉格納容器内点検にて確認している。</p> <p data-bbox="203 1327 1030 1355">引き続き、適正に異物管理を実施することで、連通穴の健全性を確保することが可能である。</p>	構成物	材質	重量 (MAAP)	重量 (今回想定)	比重*	体積	① 溶融炉心（全量）	UO ₂	[]	[]	約 11	約 23m ³	ZrO ₂	約 6	② 炉内構造物等	SUS304 等			約 8		合計			約 200 トン			<table border="1" data-bbox="1182 170 1827 338"> <thead> <tr> <th>構成物</th> <th>材料</th> <th>重量 (解析)</th> <th>重量 (今回想定)</th> <th>比重*</th> <th>体積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① 溶融炉心（全量）</td> <td>UO₂</td> <td rowspan="2">[]</td> <td rowspan="2">[]</td> <td>約 11</td> <td rowspan="2">約 17m³</td> </tr> <tr> <td>ZrO₂</td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>② 炉内構造物等</td> <td>SUS304 等</td> <td></td> <td></td> <td>約 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1182 339 1339 360">※：空隙を考慮せず。</p> <p data-bbox="1093 408 1966 568">以上のように保守的に設定した条件の場合において、原子炉下部キャビティに蓄積される溶融炉心等は約 17m³ となる。これら溶融炉心等が平均的に原子炉下部キャビティに堆積すると仮定した場合、原子炉下部キャビティの水平方向断面積は約 [] m² であるので、堆積高さは約 [] m となる。原子炉下部キャビティへの連通管まで約 [] m 以上あることから、溶融炉心等の堆積高さを多めに見た場合でも原子炉下部キャビティへの連通管及び小扉が内側から閉塞することはない。</p> <div data-bbox="1458 592 1951 619" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>[] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div> <p data-bbox="1057 679 1608 707">(2) 原子炉下部キャビティ外側からの閉塞の可能性について</p> <p data-bbox="1115 715 1966 772">原子炉下部キャビティへの流入口である連通管と小扉は、原子炉格納容器内に発生する可能性のあるデブリにより閉塞することのない設計とする。</p> <p data-bbox="1131 782 1805 807">なお、連通管及び小扉を閉塞させる恐れのある異物は以下のとおりである。</p> <p data-bbox="1144 815 1966 909">(a) プラント定期事業者検査期間中に、原子炉格納容器内に検査機器等が多く持ち込まれるが、定期事業者検査終了後、取り残された異物</p> <p data-bbox="1144 884 1619 909">(b) 設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物</p> <p data-bbox="1115 951 1568 978">(a) 定期事業者検査時に持ち込まれる異物について</p> <p data-bbox="1131 986 1659 1013">①定期事業者検査時の作業のため、一時的に使用する異物</p> <ul data-bbox="1144 1021 1440 1149" style="list-style-type: none"> ・テープ ・プラスチック、ビニール製品 ・ロープ ・ウェス、布切れ等 <p data-bbox="1131 1158 1202 1184">②対応</p> <p data-bbox="1131 1192 1966 1319">定期事業者検査期間中は異物が放置されないことを目視により点検するとともに、放置された異物が発見された場合は原子炉起動までに除去する等の適切な措置を講じている。また、定期事業者検査終了後には、異物等が残っていないことを原子炉格納容器内点検にて確認している。</p> <p data-bbox="1131 1327 1966 1385">引き続き、適正に異物管理を実施することで、連通管及び小扉の健全性を確保することが可能である。</p>	構成物	材料	重量 (解析)	重量 (今回想定)	比重*	体積	① 溶融炉心（全量）	UO ₂	[]	[]	約 11	約 17m ³	ZrO ₂	約 6	② 炉内構造物等	SUS304 等			約 8		合計						<p data-bbox="1966 237 2121 263">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1966 272 2128 330">・想定する構成物の重量の相違</p> <p data-bbox="1966 510 2121 536">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1966 545 2128 636">・連通管及び小扉と体積高さの関係を明確化した。</p> <p data-bbox="1966 751 2101 777">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1966 786 2128 943">・泊では大飯における2重の連通穴と同等の多重性を確保するため、連通管と小扉を使用する。</p>
構成物	材質	重量 (MAAP)	重量 (今回想定)	比重*	体積																																																	
① 溶融炉心（全量）	UO ₂	[]	[]	約 11	約 23m ³																																																	
	ZrO ₂			約 6																																																		
② 炉内構造物等	SUS304 等			約 8																																																		
合計			約 200 トン																																																			
構成物	材料	重量 (解析)	重量 (今回想定)	比重*	体積																																																	
① 溶融炉心（全量）	UO ₂	[]	[]	約 11	約 17m ³																																																	
	ZrO ₂			約 6																																																		
② 炉内構造物等	SUS304 等			約 8																																																		
合計																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物について</p> <p>①想定する事故シーケンス</p> <p>連通穴による原子炉下部キャビティへの流入が想定される状況は、炉心損傷時であるが、炉心損傷に至る事故シーケンスとしては、主として1次冷却材管のLOCA又は過渡事象が起因となる。そのうち発生異物量が最大となる、1次冷却材管の大破断LOCAを想定して発生異物への対策を考察する。</p> <p>②大破断LOCA時に発生する異物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破損保温材（繊維質）：ロックウール、グラスウール ・破損保温材（粒子状）：ケイ酸カルシウム ・その他粒子状異物：塗装 ・堆積異物（繊維質、粒子） <p>上記異物のうち、各種保温材については、1次冷却材管の破断点を中心として想定される破損影響範囲において発生することから、ループ室内で発生する。それら以外の粒子状異物及び堆積異物に関してはループ室内外で発生する。</p>	<p>(b) 設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物について</p> <p>①想定する事故シーケンス</p> <p>連通管及び小扉による原子炉下部キャビティへの流入が想定される状況は、炉心損傷時であるが、炉心損傷に至る事故シーケンスとしては、主として1次冷却材管のLOCA又は過渡事象が起因となる。そのうち発生異物量が最大となる、1次冷却材の大破断LOCAを想定して発生異物への対策を考察する。</p> <p>②大破断LOCA時に発生する異物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破損保温材（繊維質）：ロックウール ・その他粒子状異物：塗装 ・堆積異物（繊維質、粒子） <p>上記異物のうち、各種保温材については、1次冷却材管の破断点を中心として想定される破損影響範囲において発生することから、ループ室内で発生する。それら以外の粒子状異物及び堆積異物に関してはループ室内外で発生する。</p>	<p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊ではデブリ対策として格納容器内でグラスウール及びケイ酸カルシウムを使用していない。

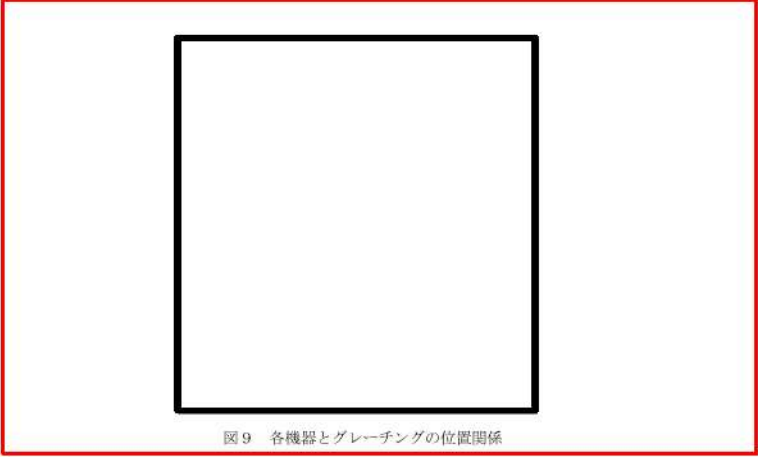
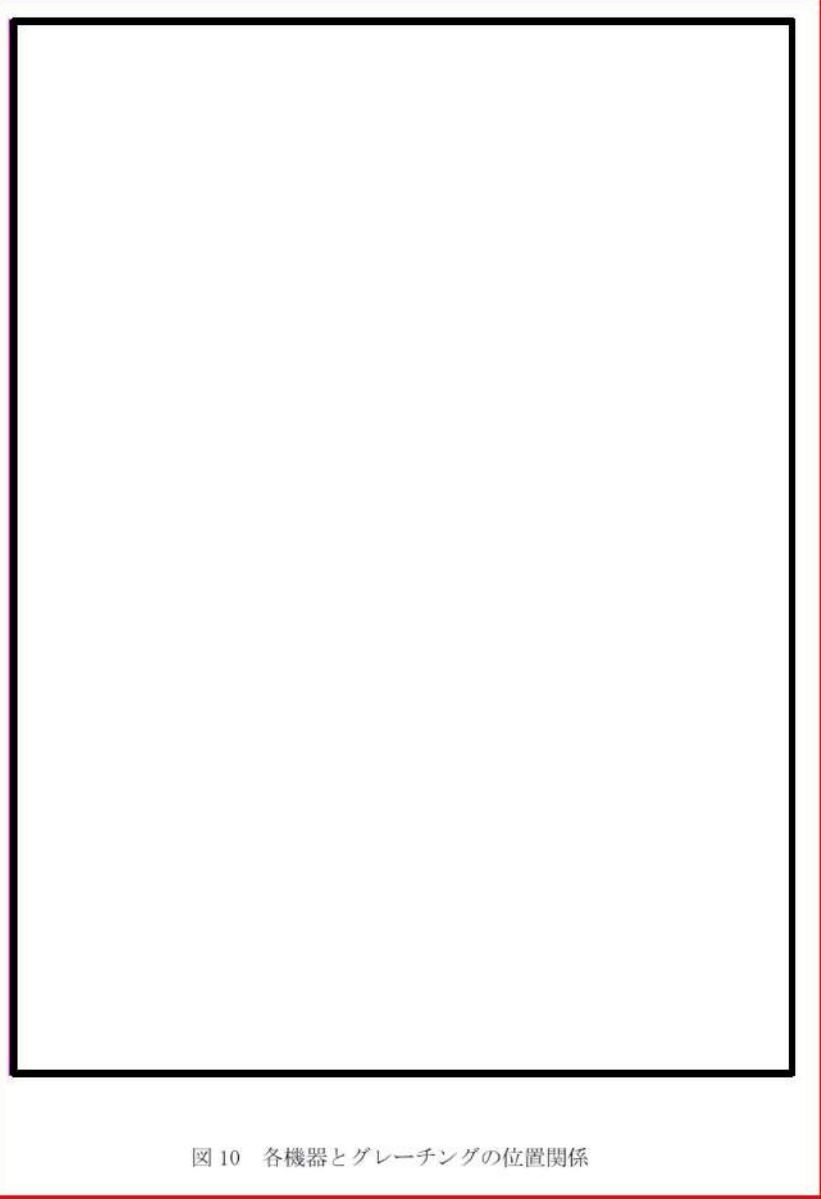

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>③対応</p> <p>i. ループ室内で発生する異物への対応</p> <p>大破断LOCA時にループ室内で発生する異物は、大部分が蒸気発生器保温材及び1次冷却材管保温材であり、ループ室内のグレーチングの開口部等を通じた大型保温材や、クロスオーバーレグの大型保温材が、万一連通穴（φ155mm）に到達することを防止するために、各ループ室最下階入口（5箇所）に、下部80cmに網目30mm×100mmのグレーチングを取り付けた金網扉を設置する。（図8）</p> <p>保温材等の異物は、ループ室入口の金網扉に至るまでにループ室各階の床グレーチングにて補足される。（図9）また、ループ室床面グレーチングとループ室入口の金網扉の網目の大きさは同じであり、ループ室床のグレーチングを通過した保温材等によりループ室入口の金網扉が閉塞することは無い。また、この網目を通る異物については連通穴（φ155mm）を閉塞させることは考えにくい。</p> <p>ii. ループ室外で発生する異物への対応</p> <p>大破断LOCA時にループ室外で発生する異物は、塗装等の粒子状異物及び堆積異物であるが、万一、ループ室床面（E.L.+17.6m）に落下しても、流路が複雑かつ長いこと等により、原子炉下部キャビティまで到達し難い。（図10）更に、連通穴は原子炉格納容器最下層床面近傍に位置しており、また穴径も155mmであることから、ループ室外で発生する塗装等の粒子状異物及び堆積異物が、連通穴を閉塞させるような大型の異物に該当するとは考えにくい。さらに、連通穴は複数設置することで多重性を持った設計としている。</p> <p>(d) まとめ</p> <p>プラント定期検査期間中に、原子炉格納容器内に検査機器等が多く持ち込まれるが、定期検査時及び終了後に異物が放置されていないことを目視により点検している。</p> <p>設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物は、発生異物量が最大となる1次冷却材管の大破断LOCAを想定している。連通穴を閉塞させるような大きな塊の保温材は大破断LOCA時にループ室で発生するものの、ループ室床面等のグレーチングで捕捉されるなど原子炉下部キャビティまで到達し難いが、さらにループ室出口に柵を設ける対策を講じている。さらに、原子炉下部キャビティへの流入経路である連通穴は複数確保して多重性を確保する。</p> <p>以上のことにより、原子炉下部キャビティへの流入の健全性を確保する。</p>	<p>③対応</p> <p>i. ループ室内で発生する異物への対応</p> <p>大破断LOCA時にループ室内で発生する異物は、大部分が蒸気発生器保温材及び1次冷却材管保温材であり、ループ室内のグレーチングの開口部等を通じた大型保温材や、クロスオーバーレグの大型保温材が、万一連通管（内径155mm）及び小扉（200mm×500mm）に到達することを防止するために、T.P.17.8mの外周通路部床面の階段開口部（2箇所）の手摺部に、グレーチングと同程度のメッシュ間隔のパンチングメタル板を設置する。（図9）（この他に機器搬入口の開口部が1箇所あり、既にグレーチングを設置している。）</p> <p>保温材等の異物は、T.P.17.8mの外周通路部床面の階段開口部の手摺部のパンチングメタル板に至るまでにループ室各階の床グレーチングにて捕捉される。（図10）また、ループ室床面グレーチングとパンチングメタル板の網目の大きさは同程度であり、ループ室床のグレーチングを通過した保温材等によりパンチングメタル板が閉塞することはない。また、この網目を通る異物については連通管（内径155mm）及び小扉（200mm×500mm）を閉塞させることは考えにくい。</p> <p>ii. ループ室外で発生する異物への対応</p> <p>大破断LOCA時にループ室外で発生する異物は、塗装等の粒子状異物及び堆積異物であるが、万一、ループ室床面（T.P.17.8m）に落下しても、流路が複雑かつ長いこと等により、原子炉下部キャビティまで到達し難い。（図11）更に、連通管及び小扉は原子炉格納容器最下層床面近傍に位置しており、また穴径及びサイズもそれぞれ155mm、200mm×500mmであることから、ループ室外で発生する塗装等の粒子状異物及び堆積異物が、連通管及び小扉を閉塞させるような大型の異物に該当するとは考えにくい。さらに、連通管（内径155mm）と小扉（200mm×500mm）をそれぞれ設置することで多重性を持った設計としている。</p> <p>(c) まとめ</p> <p>プラント定期事業者検査期間中に、原子炉格納容器内に検査機器等が多く持ち込まれるが、定期事業者検査時及び終了後に異物が放置されていないことを目視により点検している。</p> <p>設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物は、発生異物量が最大となる1次冷却材管の大破断LOCAを想定している。連通管及び小扉を閉塞させるような大きな塊の保温材は大破断LOCA時にループ室で発生するものの、ループ室床面等のグレーチングで捕捉されるなど原子炉下部キャビティまで到達し難いが、さらにT.P.17.8mの外周通路部床面の階段開口部の手摺部にパンチングメタル板を設ける対策を講じている。さらに、原子炉下部キャビティへの流入経路は連通管（内径155mm）と小扉（200mm×500mm）をそれぞれ設置することで多重性を確保する。</p> <p>以上のことにより、原子炉下部キャビティへの流入の健全性を確保する。</p>	<p>相違理由</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では設置場所の相違からパンチングメタル板を使用しているが、網目サイズをグレーチングと同程度とすることで異物の捕捉性能に相違はない。 <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ループ室床高さの設計が相違している。 <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では大飯における2重の連通穴と同等の多重性を確保するため、連通管と小扉を使用する。 <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造は異なるが、異物の捕捉性能は同等である。 <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開口部のサイズを明確化した。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<div data-bbox="203 284 972 1117" style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> <div data-bbox="481 1125 689 1145" style="text-align: center;"> <p>図 8 保温材等のデブリ対策</p> </div> <div data-bbox="331 1177 846 1204" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div data-bbox="1326 188 1518 295" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>大型の破損保温材等を捕捉するため、階段開口部周囲を囲むように手摺にパンチングメタルを設置した。(写真 A)</p> </div> <div data-bbox="1639 183 1899 287" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>T.P.17.8m フロア</p> <ul style="list-style-type: none"> → : 水平方向の水の流れ ⇩ : 下層階への水の流れ : 床開口部 </div> <div data-bbox="1124 406 1281 459" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>LOCA 発生場所 (ループ室内)</p> </div> <div data-bbox="1093 587 1288 742" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="1093 753 1377 810" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>機器搬入口の開口部には既にグレーチングが設置されており、大型の破損保温材等は捕捉される。</p> </div> <div data-bbox="1124 837 1388 1050" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="1102 1061 1400 1098" style="text-align: center;"> <p>(写真 A) 階段開口部に設置したパンチングメタル</p> </div> <div data-bbox="1429 769 1646 938" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="1662 837 1937 1050" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="1653 1061 1953 1098" style="text-align: center;"> <p>(写真 B) 階段開口部に設置したパンチングメタル</p> </div> <div data-bbox="1736 322 1921 529" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>LOCA 時の大型の破損保温材を含んだ水は、ループ室入口を経由し、階段開口部 2 箇所及び機器搬入口 1 箇所を通過して、最下階へ流下する。従ってこの 3 箇所で、大型の破損保温材等を捕捉できるよう、対処を図る。</p> </div> <div data-bbox="1736 630 1921 730" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>大型の破損保温材等を捕捉するため、階段開口部周囲を囲むように手摺にパンチングメタルを設置した。(写真 B)</p> </div> <div data-bbox="1393 1141 1639 1168" style="text-align: center;"> <p>図 9 保温材等のデブリ対策</p> </div> <div data-bbox="1249 1193 1713 1216" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p style="color: red;">設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)


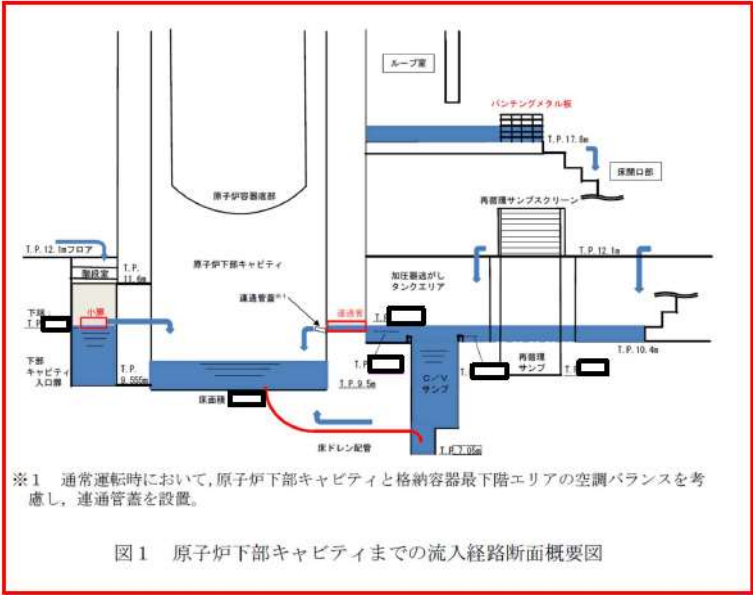
大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
 <p data-bbox="443 1193 725 1214">図 9 各機器とグレーチングの位置関係</p>	 <p data-bbox="1301 1321 1704 1342">図 10 各機器とグレーチングの位置関係</p> <p data-bbox="1272 1417 1816 1437">  枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	<p data-bbox="1973 308 2101 328">設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="224 167 963 614" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="268 614 907 638" data-label="Caption"> <p>図10-1 各ループ室から原子炉下部キャビティまでの流路（大飯3号機 断面図の例）</p> </div> <div data-bbox="324 646 840 678" data-label="Text"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> <div data-bbox="257 798 940 1204" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="280 1212 873 1236" data-label="Caption"> <p>図10-2 各ループ室から原子炉下部キャビティまでの流路（大飯3号機 17.6M 平面図）</p> </div> <div data-bbox="347 1268 817 1300" data-label="Text"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div data-bbox="1120 295 1915 1332" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="1736 502 1892 534" data-label="Text"> <p>床開口部</p> </div> <div data-bbox="1433 774 1590 805" data-label="Text"> <p>T. P. 17.8m フロア</p> </div> <div data-bbox="1198 1093 1254 1125" data-label="Text"> <p>小扉</p> </div> <div data-bbox="1758 1109 1814 1141" data-label="Text"> <p>連通管</p> </div> <div data-bbox="1433 1212 1590 1244" data-label="Text"> <p>T. P. 10.4m フロア</p> </div> <div data-bbox="1276 1244 1747 1300" data-label="Caption"> <p>図11 各ループ室から原子炉下部キャビティまでの流路（T. P. 17.8m/10.4m 平面図）</p> </div> <div data-bbox="1321 1332 1780 1364" data-label="Text"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. まとめ</p> <p>原子炉下部キャビティへ通じる炉内核計装用シンプル配管室への注水を確実にするために、以下の対策を実施する。(図11)</p> <p>①原子炉下部キャビティへの流入経路確保</p> <p>原子炉下部キャビティへ通じる炉内計装用シンプル配管室への連通穴2箇所設置。 また、炉内計装用シンプル配管入口扉に小扉を従来より設置している。</p> <p>②保温材等のデブリ対策</p> <p>各ループ室最下階入口（4箇所）にデブリ捕捉用の柵を設置する。</p> <p>これらの対策により、以下に示す効果が期待できることから、原子炉下部キャビティへの注水を確実に実施することができる。</p> <p>○大破断LOCAにより発生する保温材等のデブリは、デブリ捕捉用の柵により捕捉することができるため、連通穴にこれらのデブリが到達することはない。また、連通穴についてはデブリにより閉塞し難い構造であるため、外側から通水経路が閉塞することはない。</p> <p>○溶融炉心等が平均的に原子炉下部キャビティに堆積することを想定した場合においても、連通穴の設置高さは堆積高さより高いことから、内側から注水経路が閉塞することはない。</p>	<p>3. まとめ</p> <p>原子炉下部キャビティへの注水を確実にするために、以下の対策を実施する。(図12)</p> <p>① 原子炉下部キャビティへの流入経路確保</p> <p>原子炉下部キャビティ入口扉に小扉を設置。 また、原子炉下部キャビティへの連通管を従来より設置している。</p> <p>② 保温材等のデブリ対策</p> <p>T.P.17.8mの外周通路部床面の階段開口部（2箇所）の手摺部にデブリ捕捉用のパンチングメタル板を設置する。</p> <p>これらの対策により、以下に示す効果が期待できることから、原子炉下部キャビティへの注水を確実に実施することができる。</p> <p>○大破断LOCAにより発生する大型の保温材等のデブリは、デブリ捕捉用のパンチングメタル板及びグレーチングにより捕捉することができるため連通管及び小扉の外側にこれらのデブリが到達することはない。また、連通管及び小扉についてはデブリにより閉塞し難い構造であるため、外側から通水経路が閉塞することはない。</p> <p>○溶融炉心等が平均的に原子炉下部キャビティに堆積することを想定した場合においても、連通管及び小扉の設置高さは堆積高さより高いことから、内側から注水経路が閉塞することはない。</p>	<p>相違理由</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉は連通管と異なる方向のほぼ同じ高さに連通管よりも大きい開口部を持つ小扉を設置することで多重性及び多様性を持つ設計としている。 <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では設置場所の相違からパンチングメタル板を採用しているが、捕捉性能は同等である。 ・泊では床面開口部にグレーチングを設置している。

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別紙</p> <p style="text-align: center;">原子炉下部キャビティへの蓄水時間について</p> <p>1. 原子炉下部キャビティへの流入箇所</p> <p>原子炉格納容器の最下階エリアからは、図 1 に示すとおり原子炉下部キャビティに通じる連通穴を経由して原子炉下部キャビティへ流入する。また、原子炉格納容器最下階フロアの水位上昇に伴い、小扉からも流入する。</p> <p>図 2 に連通穴から原子炉下部キャビティへ流入する場合の、最下階エリア及び原子炉下部キャビティの水位と原子炉格納容器内への注水量の関係を示す。</p> <p>なお、解析コード MAAP によると、図 3 のとおり溶融炉心等を常温まで冷却するのに必要な水量を上回る冷却水が、原子炉容器破損時 (約 1.4 時間後) までに確保可能である。</p> <div style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;">  </div> <p style="text-align: center;">図 1. 原子炉下部キャビティまでの流入経路断面概要図</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p style="text-align: right;">別紙</p> <p style="text-align: center;">原子炉下部キャビティへの蓄水時間について</p> <p>1. 原子炉下部キャビティへの流入箇所</p> <p>原子炉格納容器の最下階エリアからは、図 1 に示すとおり原子炉下部キャビティに通じる開口部 (連通管及び小扉) を経由して原子炉下部キャビティへ流入する。</p> <p>図 2 及び図 3 に連通管又は小扉から原子炉下部キャビティへ流入する場合の、最下階エリア及び原子炉下部キャビティの水位と原子炉格納容器内への注水量の関係を示す。</p> <p>原子炉下部キャビティに通じる開口部は 2 箇所 (連通管及び小扉) あり、仮にどちらか一方が閉塞した場合においても、図 2 及び図 3 のとおり冷却に必要な冷却水の確保は可能である。</p> <p>なお、解析コード MAAP によると、図 4 のとおり溶融炉心等を常温まで冷却するのに必要な水量を上回る冷却水が、原子炉容器破損時 (約 1.6 時間後) までに確保可能である。</p> <div style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;">  </div> <p style="text-align: center;">図 1 原子炉下部キャビティまでの流入経路断面概要図</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊 3 号炉は小扉が、連通管とは同高きとなるため同様に流入する。 <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では大飯における 2 重の連通穴と同等の多重性を確保するため、連通管と小扉を使用する。 <p>設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	 <p data-bbox="1099 699 1912 722">図 3 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係(追設小扉のみから流入の場合)</p> <p data-bbox="1081 783 1447 804">本関係図の設定条件は以下のとおりである。</p> <p data-bbox="1104 818 1733 839">(a) 溶融炉心等の物量及び必要な冷却水量の設定については、図 2 と同じ。</p> <p data-bbox="1104 852 1749 873">(b) 追設する小扉の流入性確認のため、保守的に以下については考慮しない。</p> <ul data-bbox="1126 887 1554 975" style="list-style-type: none"> ・既設の連通管からの流入 ・格納容器サンプからのドレン配管逆流による流入 ・原子炉容器外周隙間からの流入 <p data-bbox="1104 989 1957 1114">(c) 保守的に、大破断 LOCA 時の初期の流入水 (RCS 配管破断水 (緑)) は、既設の連通管が設置されている加圧器逃がシタンクエリアに流入し、このうち当該エリアの容積に相当する水が滞留水になると仮定した。また加圧器逃がシタンクエリアが満水となった後にオーバーフローし、階段室及び下部キャビティに流入すると仮定した。</p> <p data-bbox="1104 1128 1957 1216">(d) 実際には RCS 配管破断水及びスプレイ水は、加圧器逃がシタンクエリア (既設連通管側) 及び階段室 (追設小扉側) に同時に流入し、階段室 (追設小扉側) にも早期に流入することから、上記は保守的な仮定である。</p> <p data-bbox="1462 1347 1948 1367">[] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1977 172 2101 193">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1977 207 2119 363">・大飯では連通穴が 2 重化されていることから、小扉のみの流入による評価を行っていない。</p>

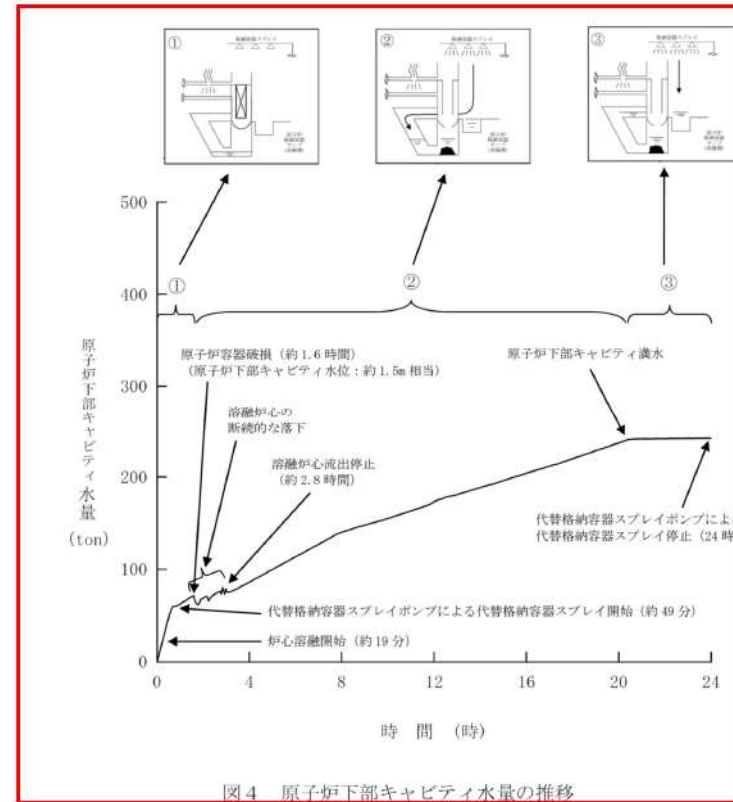
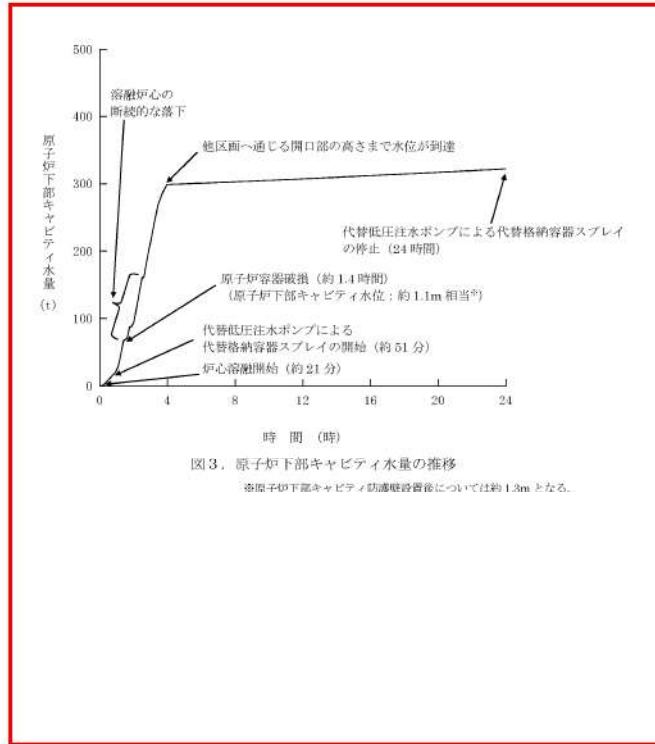
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

相違理由



設計方針の相違
 ・格納容器配置等の
 相違による

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について、次ページ以降に示す。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>重大事故等発生時に、原子炉格納容器（以下、「CV」という。）内の圧力、温度が上昇した場合における、CV内の冷却状況の確認方法について説明する。</p> <p>1. 現状と課題</p> <p>重大事故等時におけるCV内の冷却の確認については、重大事故等時において確認可能なCV内全体雰囲気圧力の圧力、温度計により、確認できるようになっている。</p> <p>しかしながら、よりの確に事故等対応の判断を行うためには、CV冷却が行われていることの確認を多様化することが望ましいことから、CV外に設置された温度計でのCV冷却状況確認の可否について検討した。</p> <p>大飯3号炉及び4号炉のCV外温度計の現状は下表のとおりであり、格納容器再循環ユニットの出口温度計だけが計測不可で、他の温度計はトレンド監視が可能である。</p>	<p>(女川該当資料なし)</p>	<p>別紙5</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について、次ページ以降に示す。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>重大事故等発生時に、原子炉格納容器内の圧力、温度が上昇した場合における、原子炉格納容器内の冷却状況の確認方法について説明する。</p> <p>1. 現状と課題</p> <p>重大事故等時における原子炉格納容器内の冷却の確認については、重大事故等時において確認可能な原子炉格納容器内全体雰囲気圧力の圧力、温度計により、確認できるようになっている。</p> <p>しかしながら、よりの確に事故等対応の判断を行うためには、原子炉格納容器冷却が行われていることの確認を多様化することが望ましいことから、原子炉格納容器外に設置された温度計での原子炉格納容器冷却状況確認の可否について検討した。</p> <p>泊3号炉の原子炉格納容器外温度計の現状は第1表のとおりであり、海水通水時の格納容器再循環ユニットの入口及び出口温度計だけがトレンド監視不可で、他の温度計はトレンド監視が可能である。</p>	<p>【大飯】資料構成の相違</p> <p>【大飯】用語の統一 「CV」→「原子炉格納容器」として統一。以下同じ。</p> <p>【大飯】申請プラントの相違</p> <p>【大飯】設計方針の相違</p> <p>【大飯】設備構成の相違</p> <p>・海水通水時において、大飯では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計上流より注水するが、泊では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計下流より注水するため、格納容器再循環ユニットの入口温度についてもトレンド監視不可となる。(可搬型温度計測装置の設置によって格納容器再循環ユニット入口温度および出口温度の監視可能となることは大飯と同様)。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>冷却モード</th> <th>対象ヒートシンク</th> <th>説明（CV外温度計の状況等）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余熱除去系再循環</td> <td>余熱除去冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）</td> <td>余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系再循環</td> <td>格納容器スプレイ冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）</td> <td>原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）</td> <td>格納容器再循環ユニット（原子炉補機冷却水冷却器）</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ユニット冷却（海水）</td> <td>格納容器再循環ユニット</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口温度）が、トレンド監視可能。格納容器再循環ユニット出口温度は指示計なし。</td> </tr> </tbody> </table>			冷却モード	対象ヒートシンク	説明（CV外温度計の状況等）	余熱除去系再循環	余熱除去冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）	余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。	格納容器スプレイ系再循環	格納容器スプレイ冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）	原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。	格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）	格納容器再循環ユニット（原子炉補機冷却水冷却器）	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。	格納容器再循環ユニット冷却（海水）	格納容器再循環ユニット	格納容器再循環ユニット入口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口温度）が、トレンド監視可能。格納容器再循環ユニット出口温度は指示計なし。	<p>第1表 原子炉格納容器外温度計の現状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>冷却モード</th> <th>対象ヒートシンク</th> <th>説明（原子炉格納容器外での温度監視方法等）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余熱除去系再循環</td> <td>余熱除去冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）</td> <td>余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口及び出口温度が、トレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系再循環</td> <td>格納容器スプレイ冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）</td> <td>格納容器スプレイ冷却器の出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度がトレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）</td> <td>格納容器再循環ユニット（原子炉補機冷却水冷却器）</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器の出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ユニット冷却（海水）</td> <td>格納容器再循環ユニット</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度ともに、トレンド監視不可。</td> </tr> </tbody> </table>			冷却モード	対象ヒートシンク	説明（原子炉格納容器外での温度監視方法等）	余熱除去系再循環	余熱除去冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）	余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口及び出口温度が、トレンド監視可能。	格納容器スプレイ系再循環	格納容器スプレイ冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）	格納容器スプレイ冷却器の出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度がトレンド監視可能。	格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）	格納容器再循環ユニット（原子炉補機冷却水冷却器）	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器の出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。	格納容器再循環ユニット冷却（海水）	格納容器再循環ユニット	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度ともに、トレンド監視不可。	<p>【大飯】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では格納容器スプレイ系再循環時において、格納容器スプレイ冷却器出口温度にてトレンド監視が可能。 <p>【大飯】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水通水時において、大飯では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計上流より注水するが、泊では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計下流より注水するため、格納容器再循環ユニットの入口温度についてもトレンド監視不可となる。（可搬型温度計測装置の設置によって格納容器再循環ユニット入口温度および出口温度の監視可能となることは大飯と同様） <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は有効性評価における記載表現と整合を図っている。想定する事故シナリオは大飯と同様。 <p>【大飯】解析結果の相違</p>
冷却モード	対象ヒートシンク	説明（CV外温度計の状況等）																																		
余熱除去系再循環	余熱除去冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）	余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。																																		
格納容器スプレイ系再循環	格納容器スプレイ冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）	原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。																																		
格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）	格納容器再循環ユニット（原子炉補機冷却水冷却器）	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。																																		
格納容器再循環ユニット冷却（海水）	格納容器再循環ユニット	格納容器再循環ユニット入口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口温度）が、トレンド監視可能。格納容器再循環ユニット出口温度は指示計なし。																																		
冷却モード	対象ヒートシンク	説明（原子炉格納容器外での温度監視方法等）																																		
余熱除去系再循環	余熱除去冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）	余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口及び出口温度が、トレンド監視可能。																																		
格納容器スプレイ系再循環	格納容器スプレイ冷却器（原子炉補機冷却水冷却器）	格納容器スプレイ冷却器の出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度がトレンド監視可能。																																		
格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）	格納容器再循環ユニット（原子炉補機冷却水冷却器）	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器の出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。																																		
格納容器再循環ユニット冷却（海水）	格納容器再循環ユニット	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度ともに、トレンド監視不可。																																		
<p>2. 対応内容</p> <p>重大事故等時において、CV冷却状況確認は、基本的にはCV圧力監視で対応可能であるが、それに加え、CV冷却状況確認手段に多様性を持たせるために、冷却不調の場合の追加対応であること及び計測が必要となるまでに時間的な余裕があることを踏まえて、記録機能を備えた可搬型の温度計を配備する。測定にあたっては、格納容器再循環ユニット入口配管及び出口配管にて温度を測定する。</p> <p>なお、重大事故等時の原子炉補機冷却水による自然対流冷却時に、沸騰防止のために原子炉補機冷却水サージタンクを加圧することから、既設圧力計の代替計器として可搬型の計器にてサージタンクの圧力を計測する。</p>	<p>2. 対応内容</p> <p>重大事故等時において、原子炉格納容器冷却状況確認は、基本的には原子炉格納容器圧力監視で対応可能であるが、それに加え、原子炉格納容器冷却状況確認手段に多様性を持たせるために、冷却不調の場合の追加対応であること及び計測が必要となるまでに時間的な余裕があることを踏まえて、記録機能を備えた可搬型の温度計を配備する。測定にあたっては、格納容器再循環ユニット入口配管及び出口配管にて温度を測定する。</p> <p>なお、重大事故等時の原子炉補機冷却水による自然対流冷却時に、沸騰防止のために原子炉補機冷却水サージタンクを加圧することから、既設圧力計の代替計器として可搬型の計器にてサージタンクの圧力を計測する。</p>	<p>3. 可搬型温度計測の概要</p> <p>(1) 温度計測機器の構成</p> <p>温度ロガー、温度センサー、データコレクタ（データ収集用）</p> <p>(2) 温度計の仕様</p> <p>測定範囲：約200℃まで計測可能</p> <p>（格納容器過温破損（全交流動力電源喪失+補助給水失敗）における原子炉格納容器雰囲気温度の最高値（約144℃）が計測可能であり、余裕をみても十分測定可能な範囲としている。）</p> <p>重量：約100g（1台当たり）</p>	<p>3. 可搬型温度計測の概要</p> <p>(1) 温度計測機器の構成</p> <p>温度ロガー、温度センサー、データコレクタ（データ収集用）</p> <p>(2) 温度計の仕様</p> <p>測定範囲：約200℃まで計測可能</p> <p>（雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過温破損）における原子炉格納容器雰囲気温度の最高値（約141℃）が計測可能であり、余裕をみても十分測定可能な範囲としている。）</p> <p>重量：約100g（1台当たり）</p>																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>温度センサー：配管表面に添付 SUSバンド等で配管に巻きつけ（取付け及び取外し可能）</p> <p>電源：リチウム電池（使用可能時間 約10ヶ月） データ保有量：約10日分（約1分間隔（プラントコンピューター（PCCS）相当）のデータ測定及び保有が可能）</p> <p>（3）温度計測体制 可搬型温度計測装置の配備に際しては、手順書を作成するとともに、必要な要員を配置し、教育・訓練等を実施する。</p> <p>具体的には、当該可搬型温度計測装置は大容量ポンプによる格納容器再循環ユニットへの海水の通水の際に使用するため、可搬型温度計測装置の設置は召集要員にて行うこととし、温度監視は運転員が行うこととし、社内マニュアルに反映する。</p> <p>（4）温度計取付け模式図</p>  <p>データコレクタ 温度ロガー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地に温度センサー及び温度ロガーを設置して温度測定を実施。 ・データの吸い上げは現場で可能。 ・データコレクタにより、温度のトレンドが確認可能。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>4. 重大事故等時の格納容器再循環ユニット出入口温度差の監視 重大事故等時において、格納容器内自然対流冷却を実施する場合は、原子炉補機冷却水配管に温度センサーを取り付け、被ばく低減のためCVから離れた場所で可搬型温度計測装置により温度を監視し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を実施した場合の格納容器再循環ユニット冷却水出入口温度差を表1に示す。また、重大事故等時の格納容器再循環ユニット</p>	<p>温度センサー：配管表面に添付 SUSバンド等で配管に巻きつけ（取付け及び取外し可能）</p> <p>電源：リチウム電池（使用可能時間 約10ヶ月） データ保有量：約10日分（約1分間隔（プラントコンピューター（PCCS）相当）のデータ測定及び保有が可能）</p> <p>（3）温度計測体制 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の配備に際しては、手順書を作成するとともに、必要な要員を配置し、教育、訓練等を実施する。</p> <p>具体的には、当該可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）は可搬型大型送水ポンプ車による格納容器再循環ユニットへの海水の通水の際に使用するため、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の設置は運転員にて行うこととし、温度監視は運転員が行うこととし、社内マニュアルに反映する。</p> <p>（4）温度計取付け模式図</p>  <p>温度ロガー データコレクタ 周辺補機種 T.P. 17.8a 周辺補機種 T.P. 10.3a(中間床) 温度計設置場所の例（泊3号炉）</p> <p>第1図 温度計取付け模式図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地に温度センサー及び温度ロガーを設置して温度測定を実施。 ・データの吸い上げは現場で可能。 ・データコレクタにより、温度のトレンドが確認可能。 <p>4. 重大事故等時の格納容器再循環ユニット出入口温度差の監視 重大事故等時において、格納容器内自然対流冷却を実施する場合は、原子炉補機冷却水配管に温度センサーを取り付け、被ばく低減のため原子炉格納容器から離れた場所で可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）により温度を監視し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を実施した場合の格納容器再循環ユニット冷却水出入口温度差を表2に示す。また、重大事故等時の格納容器再循環ユニット</p>	<p>温度センサー：配管表面に添付 SUSバンド等で配管に巻きつけ（取付け及び取外し可能）</p> <p>電源：リチウム電池（使用可能時間 約10ヶ月） データ保有量：約10日分（約1分間隔（プラントコンピューター（PCCS）相当）のデータ測定及び保有が可能）</p> <p>（3）温度計測体制 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の配備に際しては、手順書を作成するとともに、必要な要員を配置し、教育、訓練等を実施する。</p> <p>具体的には、当該可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）は可搬型大型送水ポンプ車による格納容器再循環ユニットへの海水の通水の際に使用するため、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の設置は運転員にて行うこととし、温度監視は運転員が行うこととし、社内マニュアルに反映する。</p> <p>（4）温度計取付け模式図</p>  <p>温度ロガー データコレクタ 周辺補機種 T.P. 17.8a 周辺補機種 T.P. 10.3a(中間床) 温度計設置場所の例（泊3号炉）</p> <p>第1図 温度計取付け模式図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地に温度センサー及び温度ロガーを設置して温度測定を実施。 ・データの吸い上げは現場で可能。 ・データコレクタにより、温度のトレンドが確認可能。 <p>4. 重大事故等時の格納容器再循環ユニット出入口温度差の監視 重大事故等時において、格納容器内自然対流冷却を実施する場合は、原子炉補機冷却水配管に温度センサーを取り付け、被ばく低減のため原子炉格納容器から離れた場所で可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）により温度を監視し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を実施した場合の格納容器再循環ユニット冷却水出入口温度差を表2に示す。また、重大事故等時の格納容器再循環ユニット</p>	<p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】体制の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

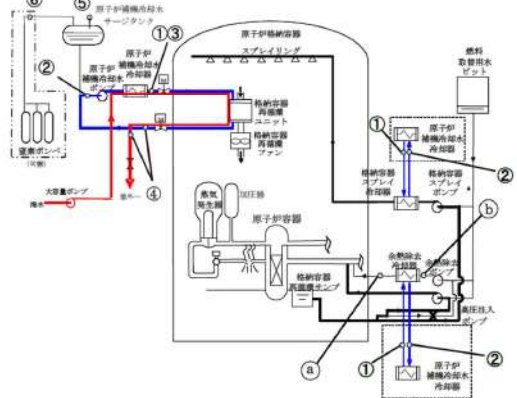
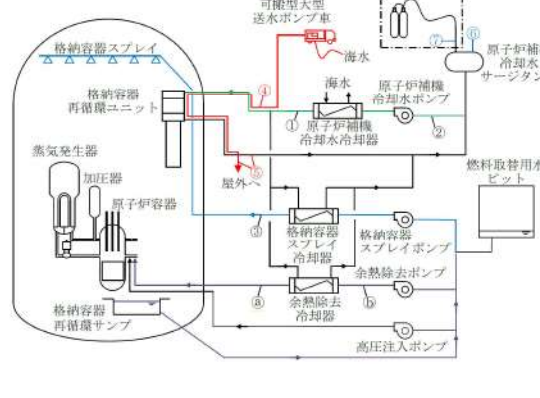
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
<p>の除熱性能曲線を図1に示す。この出入口温度差と実際の出入口温度差を比較し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <table border="1" data-bbox="85 247 638 359"> <thead> <tr> <th>C.V.圧力</th> <th>飽和蒸気温度 (°C)</th> <th>除熱量 (MW/台)</th> <th>冷却水流量 (m³/h)</th> <th>出入口温度差 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.282MPa[gage]時 (最高使用圧力時)</td> <td>約144</td> <td>約2.3</td> <td>141</td> <td>約75</td> </tr> <tr> <td>0.594MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)</td> <td>約168</td> <td>約13.0</td> <td>141</td> <td>約80</td> </tr> </tbody> </table> <p>表1 格納容器再循環ユニットによる格納容器自然対流冷却時の出入口温度</p>  <p>図1 重大事故時の格納容器再循環ユニットの除熱性能曲線 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>5. 原子炉補機冷却水サージタンク圧力計測の概要 原子炉補機冷却水サージタンク圧力を確認するため、既設圧力計と代替計器として可搬型の計器である原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力にて計測する。</p> <p>(1) 計器仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力仕様 (計測範囲) : 0.0~1.6 MPa タンク加圧目標 : 0.3MPa 	C.V.圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m ³ /h)	出入口温度差 (°C)	0.282MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	約144	約2.3	141	約75	0.594MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	約168	約13.0	141	約80	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>の除熱性能曲線を第2図に示す。この出入口温度差と実際の出入口温度差を比較し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>第2表 格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却時の出入口温度</p> <table border="1" data-bbox="1252 255 1816 383"> <thead> <tr> <th>格納容器圧力</th> <th>飽和蒸気温度 (°C)</th> <th>除熱量 (MW/台)</th> <th>冷却水流量 (m³/h)</th> <th>出入口温度差 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)</td> <td>132</td> <td>約6.8</td> <td>82</td> <td>約75</td> </tr> <tr> <td>0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)</td> <td>155</td> <td>約7.7</td> <td>82</td> <td>約85</td> </tr> </tbody> </table>  <p>第2図 重大事故等時の格納容器再循環ユニットの除熱性能曲線 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>5. 原子炉補機冷却水サージタンク圧力計測の概要 原子炉補機冷却水サージタンク圧力を確認するため、既設圧力計 (原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)) と代替計器として可搬型の計器である原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) にて計測する。</p> <p>(1) 計器仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)仕様 (計測範囲) : 0~1.0MPa[gage] 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)仕様 (計測範囲) : 0~1.0MPa[gage] タンク加圧目標 : 0.28MPa[gage] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【伊方3号炉補足資料抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧力計仕様 原子炉補機冷却水サージタンク広域圧力計 : 0~0.6MPa 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力計 : 0~1MPa タンク加圧目標 : 0.27MPa </div>	格納容器圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m ³ /h)	出入口温度差 (°C)	0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	132	約6.8	82	約75	0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	155	約7.7	82	約85	<p>トの除熱性能曲線を第2図に示す。この出入口温度差と実際の出入口温度差を比較し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>第2表 格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却時の出入口温度</p> <table border="1" data-bbox="1252 255 1816 383"> <thead> <tr> <th>格納容器圧力</th> <th>飽和蒸気温度 (°C)</th> <th>除熱量 (MW/台)</th> <th>冷却水流量 (m³/h)</th> <th>出入口温度差 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)</td> <td>132</td> <td>約6.8</td> <td>82</td> <td>約75</td> </tr> <tr> <td>0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)</td> <td>155</td> <td>約7.7</td> <td>82</td> <td>約85</td> </tr> </tbody> </table>  <p>第2図 重大事故等時の格納容器再循環ユニットの除熱性能曲線 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>5. 原子炉補機冷却水サージタンク圧力計測の概要 原子炉補機冷却水サージタンク圧力を確認するため、既設圧力計 (原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)) と代替計器として可搬型の計器である原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) にて計測する。</p> <p>(1) 計器仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)仕様 (計測範囲) : 0~1.0MPa[gage] 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)仕様 (計測範囲) : 0~1.0MPa[gage] タンク加圧目標 : 0.28MPa[gage] 	格納容器圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m ³ /h)	出入口温度差 (°C)	0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	132	約6.8	82	約75	0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	155	約7.7	82	約85	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】解析結果の相違</p> <p>【大飯】解析結果の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・既設圧力計名称の明確化</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・既設圧力計仕様を記載 (伊方と同様)</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】設備仕様の相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。(必要な範囲を計測できることに相違なし)</p>
C.V.圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m ³ /h)	出入口温度差 (°C)																																												
0.282MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	約144	約2.3	141	約75																																												
0.594MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	約168	約13.0	141	約80																																												
格納容器圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m ³ /h)	出入口温度差 (°C)																																												
0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	132	約6.8	82	約75																																												
0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	155	約7.7	82	約85																																												
格納容器圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m ³ /h)	出入口温度差 (°C)																																												
0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	132	約6.8	82	約75																																												
0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	155	約7.7	82	約85																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																													
<p>《参考図面》</p> <p>○大飯3号炉及び4号炉 温度計測計器 原子炉補機冷却水サージタンク圧力</p> 		<p>《参考図面》</p> <p>○泊3号炉 温度計測計器 原子炉補機冷却水サージタンク圧力</p> 	<p>【大飯】申請プラントの相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】海水通水箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯では大容量ポンプにて原子炉補機冷却水冷却器出口温度計上流より海水注水するが、泊では可搬型大型送水ポンプにて原子炉補機冷却水冷却器出口温度計下流より注水する。 																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>温度測定位置</th> <th>温度確認箇所及び確認方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 原子炉補機冷却水供給側</td> <td>PCCS</td> </tr> <tr> <td>② 原子炉補機冷却水戻り側</td> <td>PCCS</td> </tr> <tr> <td>③ 再循環ユニット入口温度</td> <td>可搬型温度計測装置</td> </tr> <tr> <td>④ 再循環ユニット出口温度</td> <td>可搬型温度計測装置</td> </tr> <tr> <td>⑤ 余热除去系再循環余热除去冷却器出口</td> <td>PCCS、記録計</td> </tr> <tr> <td>⑥ 余热除去系再循環余热除去冷却器入口</td> <td>PCCS、記録計</td> </tr> </tbody> </table> <p>※③、④の確認箇所は変更の可能性がある。</p>	温度測定位置	温度確認箇所及び確認方法	① 原子炉補機冷却水供給側	PCCS	② 原子炉補機冷却水戻り側	PCCS	③ 再循環ユニット入口温度	可搬型温度計測装置	④ 再循環ユニット出口温度	可搬型温度計測装置	⑤ 余热除去系再循環余热除去冷却器出口	PCCS、記録計	⑥ 余热除去系再循環余热除去冷却器入口	PCCS、記録計		<table border="1"> <thead> <tr> <th>温度測定位置</th> <th>温度確認箇所及び確認方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水</td> <td>PCCS</td> </tr> <tr> <td>② 原子炉補機冷却水戻り母管</td> <td>PCCS</td> </tr> <tr> <td>③ 格納容器スプレイ冷却器出口</td> <td>PCCS</td> </tr> <tr> <td>④ 格納容器再循環ユニット入口補機冷却水</td> <td>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)</td> </tr> <tr> <td>⑤ 格納容器再循環ユニット出口補機冷却水</td> <td>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)</td> </tr> <tr> <td>⑥ 余热除去冷却器出口</td> <td>PCCS</td> </tr> <tr> <td>⑦ 余热除去冷却器入口</td> <td>PCCS</td> </tr> </tbody> </table> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では格納容器スプレイ系再循環時において、格納容器スプレイ冷却器出口温度にてトレンド監視が可能であるため本表に当該計器を追記している。 泊3号炉は、デジタルプラントであるため、余热除去系冷却器出口及び入口温度を記録するアナログの記録計は設置していない。 	温度測定位置	温度確認箇所及び確認方法	① 原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水	PCCS	② 原子炉補機冷却水戻り母管	PCCS	③ 格納容器スプレイ冷却器出口	PCCS	④ 格納容器再循環ユニット入口補機冷却水	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	⑤ 格納容器再循環ユニット出口補機冷却水	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	⑥ 余热除去冷却器出口	PCCS	⑦ 余热除去冷却器入口	PCCS
温度測定位置	温度確認箇所及び確認方法																															
① 原子炉補機冷却水供給側	PCCS																															
② 原子炉補機冷却水戻り側	PCCS																															
③ 再循環ユニット入口温度	可搬型温度計測装置																															
④ 再循環ユニット出口温度	可搬型温度計測装置																															
⑤ 余热除去系再循環余热除去冷却器出口	PCCS、記録計																															
⑥ 余热除去系再循環余热除去冷却器入口	PCCS、記録計																															
温度測定位置	温度確認箇所及び確認方法																															
① 原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水	PCCS																															
② 原子炉補機冷却水戻り母管	PCCS																															
③ 格納容器スプレイ冷却器出口	PCCS																															
④ 格納容器再循環ユニット入口補機冷却水	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)																															
⑤ 格納容器再循環ユニット出口補機冷却水	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)																															
⑥ 余热除去冷却器出口	PCCS																															
⑦ 余热除去冷却器入口	PCCS																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>計器名称</th> <th>確認方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力</td> <td>指示計</td> </tr> <tr> <td>⑥ 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力</td> <td>現地指示計</td> </tr> </tbody> </table>	計器名称	確認方法	⑤ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力	指示計	⑥ 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力	現地指示計		<table border="1"> <thead> <tr> <th>計器名称</th> <th>確認方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑥ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)</td> <td>現場指示計</td> </tr> <tr> <td>⑦ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)</td> <td>現場指示計</td> </tr> </tbody> </table> <p>【大飯】設備名称及び記載表現の相違</p>	計器名称	確認方法	⑥ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	現場指示計	⑦ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	現場指示計																		
計器名称	確認方法																															
⑤ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力	指示計																															
⑥ 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力	現地指示計																															
計器名称	確認方法																															
⑥ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	現場指示計																															
⑦ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	現場指示計																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉圧力容器の水位の推定手段について</p> <p>1. 概要</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」第五十八条第1項(計装設備)、「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」及び1.15事故時の計装に関する手順等においては、重大事故等が発生し、計測機器の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備を設けることが要求されている。</p> <p>このうち、原子炉圧力容器(以下「原子炉容器」という)の水位として通常監視している加圧器水位の計測が困難になった場合、①原子炉水位の指示値より水位を確認、②1次冷却材圧力と1次冷却材高温側温度(広域)、サブクール度(CRT)指示値により、原子炉容器内のサブクール状態を監視することで原子炉容器の水位を推定することとしている。</p> <p>また、「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」1.2原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等においても、原子炉容器の水位を推定する手順等(手順、計測機器及び装備等)を整備することが要求されており、同様の推定を行うこととしている。</p> <p>2. 原子炉容器内の水位監視について</p> <p>PWRプラントにおいては、原子炉容器より上に位置する加圧器により通常運転や事故時の圧力及び1次系の保有水量の制御を行っており、加圧器の水位を計測することで、原子炉容器内の水位の状態を監視し、炉心の冷却状態を把握する上で重要となる原子炉容器内の保有水量の監視を行っている。</p> <p>したがって、重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータのうち、原子炉容器内の水位については、加圧器水位を主要パラメータとしており、加圧器水位の計測が困難になった場合、以下の推定手段を整備している。</p> <p>①原子炉水位による原子炉容器内の水位計測 ②1次冷却材圧力、1次冷却材高温側温度(広域)及びサブクール度(CRT)の計測値による水位の推定 (原子炉容器内のサブクール状態の監視)</p>	<p>(女川該当資料なし)</p>	<p>別紙6</p> <p>原子炉圧力容器の水位の推定手段について</p> <p>1. 概要</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」第五十八条第1項(計装設備)、「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」及び1.15事故時の計装に関する手順等においては、重大事故等が発生し、計測機器の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備を設けることが要求されている。</p> <p>このうち、原子炉圧力容器の水位として通常監視している加圧器水位の計測が困難になった場合、①原子炉容器水位の指示値より水位を確認、②1次冷却材圧力(広域)と1次冷却材温度(広域-高温側)、サブクール度指示値により、原子炉圧力容器内のサブクール状態を監視することで原子炉圧力容器の水位を推定することとしている。</p> <p>また、「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」1.2原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等においても、原子炉圧力容器の水位を推定する手順等(手順、計測機器、装備等)を整備することが要求されており、同様の推定を行うこととしている。</p> <p>2. 原子炉圧力容器内の水位監視について</p> <p>PWRプラントにおいては、原子炉圧力容器より上に位置する加圧器により通常運転や事故時の圧力及び1次冷却系の保有水量の制御を行っており、加圧器の水位を計測することで、原子炉圧力容器内の水位の状態を監視し、炉心の冷却状態を把握する上で重要となる原子炉圧力容器内の保有水量の監視を行っている。</p> <p>したがって、重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータのうち、原子炉圧力容器内の水位については、加圧器水位を主要パラメータとしており、加圧器水位の計測が困難になった場合、以下の推定手段を整備している。</p> <p>①原子炉容器水位による原子炉圧力容器内の水位計測 ②1次冷却材圧力(広域)、1次冷却材温度(広域-高温側)及びサブクール度の計測値による水位の推定 (原子炉圧力容器内のサブクール状態の監視)</p>	<p>【大飯】資料構成の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・以降、大飯が言い換えしていることに伴う相違は、相違理由の記載を省略する。</p> <p>【大飯】設備名称の相違 【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違 【大飯】設備名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉

項目	原子炉容器内の水位				
	監視パラメータ	対応設備	検出器	個数	計測範囲
主要パラメータ	加圧器水位	重大事故等対処設備	差圧式水位検出器	2	0~100% (加圧器側上端近傍~側下端近傍)
推定手段①	原子炉水位	重大事故等対処設備	差圧式水位検出器	1	0~100% (原子炉容器頂部~原子炉容器底部)
推定手段②	1次冷却材圧力	重大事故等対処設備	弾性圧力検出器	2	0~20.6MPa
	1次冷却材高温側温度(広域)	重大事故等対処設備	測温抵抗体	4	0~400℃
	サブクール度 (CRT)	多線性拡張設備	弾性圧力検出器 測温抵抗体	1	-200.0~200.0℃

【主要パラメータの考え方】

- 安全機能を有する計測制御装置の設計指針 (JEAG-4611) では、PWRの事故時の炉心冷却状態の確認手段として、MS-2の加圧器水位が対象パラメータとなっている。
- 原子炉水位は、重要度分類上MS-3であり、原子炉容器内の水位の主要パラメータとして、MS-2の加圧器水位を選定している

※:加圧器水位と原子炉水位の計測範囲において、約2.74mの間は連続した水位監視ができないが、その範囲は各々の計測範囲に比べ小さく、水位変化傾向により、その間に水位があることが推定できることから、原子炉容器内の水位監視に問題はない。

原子炉容器底部から原子炉容器頂部までの水位を計測する原子炉水位により、原子炉容器内の水位を確認する。

○測定原理
 差圧式水位検出器により、原子炉容器下部のコンジットチューブより分岐した受圧部 (高圧側) に加わる水頭圧と原子炉容器ペント管より分岐した受圧部 (低圧側) に加わる圧力との差

女川原子力発電所2号炉

※:加圧器水位と原子炉容器水位の計測範囲において、約0.04mの間は連続した水位監視ができないが、その範囲は各々の計測範囲に比べ小さく、水位変化傾向により、その間に水位があることが推定できることから、原子炉圧力容器内の水位監視に問題はない。

3. 原子炉容器水位計の概要
 原子炉容器底部から原子炉容器頂部までの水位を計測する原子炉容器水位により、原子炉圧力容器内の水位を確認する。

○測定原理
 差圧式水位検出器により、原子炉容器下部のコンジットチューブより分岐した受圧部 (高圧側) に加わる水頭圧と原子炉容器ペント管より分岐した受圧部 (低圧側) に加わる圧力との差

泊発電所3号炉

項目	原子炉圧力容器内の水位				
	監視パラメータ	対応設備	検出器	個数	計測範囲
主要パラメータ	加圧器水位	重大事故等対処設備	差圧式水位検出器	2	0~100% (加圧器側上端近傍~側下端近傍)
推定手段①	原子炉容器水位	重大事故等対処設備	差圧式水位検出器	1	0~100% (原子炉容器頂部~原子炉容器底部)
推定手段②	1次冷却材圧力(広域)	重大事故等対処設備	弾性圧力検出器	2	0~21.0MPa
	1次冷却材温度(広域-高温側)	重大事故等対処設備	測温抵抗体	3	0~400℃
	サブクール度	自主対策設備	弾性圧力検出器 測温抵抗体	1	-200~200℃

【主要パラメータの考え方】

- 安全機能を有する計測制御装置の設計指針 (JEAG-4611) では、PWRの事故時の炉心冷却状態の確認手段として、MS-2の加圧器水位が対象パラメータとなっている。
- 原子炉容器水位は、重要度分類上MS-3であり、原子炉圧力容器内の水位の主要パラメータとして、MS-2の加圧器水位を選定している。

※:加圧器水位と原子炉容器水位の計測範囲において、約0.04mの間は連続した水位監視ができないが、その範囲は各々の計測範囲に比べ小さく、水位変化傾向により、その間に水位があることが推定できることから、原子炉圧力容器内の水位監視に問題はない。

3. 原子炉容器水位計の概要
 原子炉容器底部から原子炉容器頂部までの水位を計測する原子炉容器水位により、原子炉圧力容器内の水位を確認する。

○測定原理
 差圧式水位検出器により、原子炉容器下部のコンジットチューブより分岐した受圧部 (高圧側) に加わる水頭圧と原子炉容器ペント管より分岐した受圧部 (低圧側) に加わる圧力との差

相違理由

【大飯】設備名称の相違

【大飯】設備構成の相違
 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違

【大飯】記載表現の相違

【大飯】設備仕様の相違
 ・加圧器水位計及び原子炉水位計の設置高さの差異による。

【大飯】設備名称の相違

【大飯】設備仕様の相違
 ・加圧器水位計及び原子炉水位計の設置高さの差異による。

【大飯】章立ての相違

【大飯】設備名称の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉

を検出することで、水位に比例した信号を検出し、信号演算処理後、指示、記録する。

項目	計器仕様	補足
計測範囲	0 ~ 100% (原子炉容器底部 ~ 原子炉容器頂部)	原子炉容器底部から原子炉容器頂部までの水位を確認可能であり、燃料集合体の冠水を確認可能である
検出器種類	差圧式水位検出器	水位に比例する水頭圧を検出することができる。
個数	1 (3号炉及び4号炉 各々)	-
精度		-
検出器の耐環境性	耐環境仕様	重大事故等時の温度、圧力、放射線に耐えることを確認。
耐震性	耐震Sクラス相当	-
電源	非常用電源から給電	-

3. 1次冷却材圧力、1次冷却材高温側温度(広域)及びサブクール度(CRT)による原子炉容器内の水位の推定手段

監視パラメータである1次冷却材圧力と1次冷却材高温側温度(広域)により、飽和蒸気-圧力曲線を基に原子炉容器内のサブクール状態、飽和状態又は過熱状態を監視することで、原子炉容器内の水位が、炉心上端以上、炉心上端近傍もしくは炉心上端未満の水位であることを推定する。

1次冷却材高温側温度(広域)が飽和温度を示し、炉心上端近傍と推定した場合においては、温度の推移による状態の傾向を監視することにより、温度が上昇する場合には炉心が露出状態であることを判断でき、温度が安定していれば炉心が冠水状態であることを判断できる。

なお、本パラメータによる原子炉容器内の水位の推定は、炉心損傷で原子炉容器が損傷に至っていない状態であれば、プラント状態に依存することなく適用できるものであり、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必

女川原子力発電所2号炉

大飯発電所3号炉

を検出することで、水位に比例した信号を検出し、信号演算処理後、表示、記録する。

項目	計器仕様	補足
計測範囲	0 ~ 100% (原子炉容器底部 ~ 原子炉容器頂部)	原子炉容器底部から原子炉容器頂部までの水位を確認可能であり、燃料集合体の冠水を確認可能である。
検出器種類	差圧式水位検出器	水位に比例する水頭圧を検出することができる。
個数	1	-
精度		-
検出器の耐環境性	耐環境仕様	重大事故等時の温度、圧力、放射線に耐えることを確認。
耐震性	耐震Sクラス相当	-
電源	非常用電源から給電	-

4. 1次冷却材圧力(広域)、1次冷却材温度(広域-高温側)及びサブクール度による原子炉圧力容器内の水位の推定手段

監視パラメータである1次冷却材圧力(広域)と1次冷却材温度(広域-高温側)により、飽和蒸気-圧力曲線を基に原子炉圧力容器内のサブクール状態、飽和状態又は過熱状態を監視することで、原子炉圧力容器内の水位が、炉心上端以上、炉心上端近傍もしくは炉心上端未満の水位であることを推定する。

1次冷却材温度(広域-高温側)が飽和温度を示し、炉心上端近傍と推定した場合においては、温度の推移による状態の傾向を監視することにより、温度が上昇する場合には炉心が露出状態であることを判断でき、温度が安定していれば炉心が冠水状態であることを判断できる。

なお、本パラメータによる原子炉圧力容器内の水位の推定は、炉心損傷で原子炉圧力容器が損傷に至っていない状態であれば、プラント状態に依存することなく適用できるものであり、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させ

相違理由

【大飯】設備構成の相違
 ・泊は計測結果を指示計や記録計に指示するのではなく、ディスプレイに盤面表示するため。

【大飯】設備名称の相違

【大飯】記載表現の相違
 ・大飯はツインプラントであるため、個数の表現が異なる。

【大飯】章立て及び設備名称の相違

【大飯】設備名称の相違

【大飯】設備名称の相違

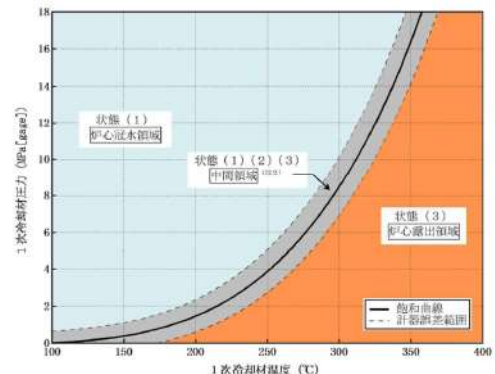
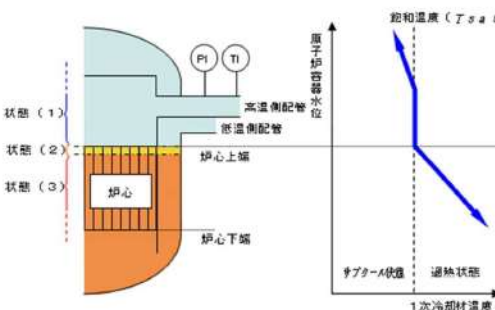
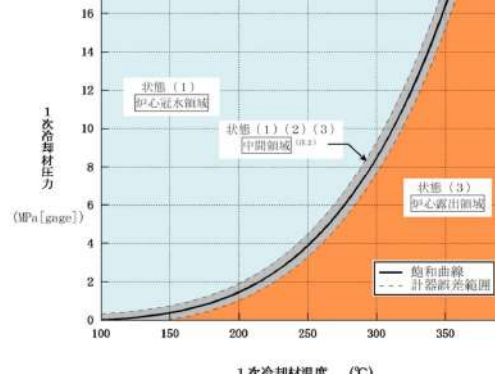
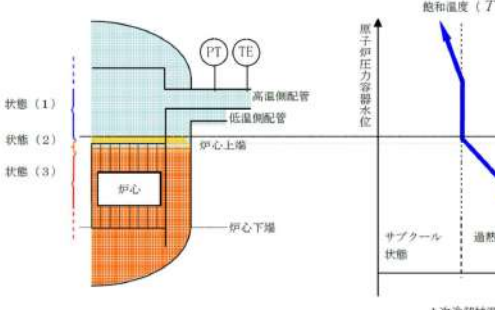
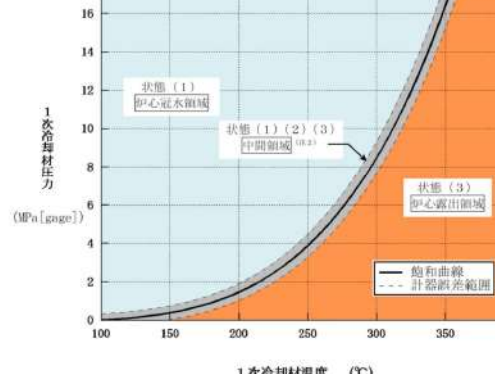
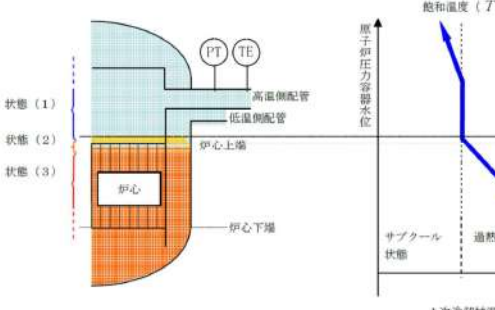
枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>要な状態を把握できる。</p> <p>○推定方法</p> <table border="1" data-bbox="91 225 651 357"> <thead> <tr> <th>監視計器</th> <th>使用用途</th> <th>得られる情報</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却材圧力</td> <td>飽和温度の推定</td> <td>飽和温度 (T_{sat})</td> <td>耐環境仕様</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1次冷却材高温側温度(広域)</td> <td>冷却材・蒸気の温度 (T)</td> <td>温度 (T)</td> <td rowspan="2">耐環境仕様</td> </tr> <tr> <td>温度監視</td> <td>飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT_{sat})</td> </tr> <tr> <td>サブクール度 (CRT)</td> <td>サブクール監視</td> <td>サブクール状態の監視</td> <td>通常仕様</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 原子炉容器内サブクール状態もしくは飽和状態 推定方法：$T \leq T_{sat}$ 水位：炉心上端以上 図1、2状態(1)に相当</p> <p>(2) 原子炉容器内飽和温度を上回る状態 推定方法：$T > T_{sat}$ (温度Tが過熱状態を指示、$\Delta T_{sat} = \text{小}$) 水位：炉心上端近傍 図1、2状態(2)に相当</p> <p>(3) 原子炉容器内飽和温度を大きく上回る状態 (過熱状態) 推定方法：$T \gg T_{sat}$ ($\Delta T_{sat} = \text{大}$) 水位：炉心上端未満 図1、2状態(3)に相当</p> <p>○原子炉容器内の水位の推移</p> <p>【炉心上端以上の水位の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 炉心の冠水状態の確認が可能。 <p>【炉心上端以下の水位の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水位の上昇傾向：ΔT_{sat} が大きい状態から小さい状態へ移行 水位の低下傾向：ΔT_{sat} が小さい状態から大きい状態へ移行 <p>(注1) 過熱度：$\Delta T_{sat} = T - T_{sat}$ (注2) 中間領域では炉心上端以上、炉心上端近傍もしくは炉心上端未満の水位である。温度の水位を監視することで、以下を推定することが可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度安定：炉心上端以上の水位がある ⇒ 状態(1) 温度急上昇：炉心上端近傍もしくは炉心上端未満 ⇒ 状態(2)、(3) 	監視計器	使用用途	得られる情報	備考	1次冷却材圧力	飽和温度の推定	飽和温度 (T_{sat})	耐環境仕様	1次冷却材高温側温度(広域)	冷却材・蒸気の温度 (T)	温度 (T)	耐環境仕様	温度監視	飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT_{sat})	サブクール度 (CRT)	サブクール監視	サブクール状態の監視	通常仕様		<p>るために必要な状態を把握できる。</p> <p>○推定方法</p> <table border="1" data-bbox="1263 225 1818 421"> <thead> <tr> <th>監視計器</th> <th>使用用途</th> <th>得られる情報</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却材圧力(広域)</td> <td>飽和温度の推定</td> <td>飽和温度 (T_{sat})</td> <td>耐環境仕様</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1次冷却材温度(広域-高温側)</td> <td>冷却材・蒸気の温度監視</td> <td>温度 (T)</td> <td rowspan="2">耐環境仕様</td> </tr> <tr> <td></td> <td>飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT_{sat})</td> </tr> <tr> <td>サブクール度</td> <td>サブクール監視</td> <td>サブクール状態の監視</td> <td>通常仕様</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 原子炉圧力容器内サブクール状態もしくは飽和状態 推定方法：$T \leq T_{sat}$ 水位：炉心上端以上……第1、2図の状態(1)に相当</p> <p>(2) 原子炉圧力容器内飽和温度を上回る状態 推定方法：$T > T_{sat}$ (温度Tが過熱状態を指示、$\Delta T_{sat}^{(注1)} = \text{小}$) 水位：炉心上端近傍……第1、2図の状態(2)に相当</p> <p>(3) 原子炉圧力容器内飽和温度を大きく上回る状態 (過熱状態) 推定方法：$T \gg T_{sat}$ ($\Delta T_{sat} = \text{大}$) 水位：炉心上端未満……第1、2図の状態(3)に相当</p> <p>○原子炉圧力容器内の水位の推移</p> <p>【炉心上端以上の水位の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 炉心の冠水状態の確認が可能 <p>【炉心上端以下の水位の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水位の上昇傾向：ΔT_{sat} が大きい状態から小さい状態へ移行 水位の低下傾向：ΔT_{sat} が小さい状態から大きい状態へ移行 <p>(注1) 過熱度：$\Delta T_{sat} = T - T_{sat}$ (注2) 中間領域では炉心上端以上、炉心上端近傍もしくは炉心上端部未満の水位である。温度の推移を監視することで、以下を推定することが可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度安定：炉心上端以上の水位がある ⇒ 状態(1) 温度急上昇：炉心上端近傍もしくは炉心上端部未満 ⇒ 状態(2)、(3) 	監視計器	使用用途	得られる情報	備考	1次冷却材圧力(広域)	飽和温度の推定	飽和温度 (T_{sat})	耐環境仕様	1次冷却材温度(広域-高温側)	冷却材・蒸気の温度監視	温度 (T)	耐環境仕様		飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT_{sat})	サブクール度	サブクール監視	サブクール状態の監視	通常仕様	<p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・泊は、理解しやすさの観点で注釈の紐づけを行っている。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・適正な表現とした。(「水位」→「推移」)</p>
監視計器	使用用途	得られる情報	備考																																				
1次冷却材圧力	飽和温度の推定	飽和温度 (T_{sat})	耐環境仕様																																				
1次冷却材高温側温度(広域)	冷却材・蒸気の温度 (T)	温度 (T)	耐環境仕様																																				
	温度監視	飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT_{sat})																																					
サブクール度 (CRT)	サブクール監視	サブクール状態の監視	通常仕様																																				
監視計器	使用用途	得られる情報	備考																																				
1次冷却材圧力(広域)	飽和温度の推定	飽和温度 (T_{sat})	耐環境仕様																																				
1次冷却材温度(広域-高温側)	冷却材・蒸気の温度監視	温度 (T)	耐環境仕様																																				
		飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT_{sat})																																					
サブクール度	サブクール監視	サブクール状態の監視	通常仕様																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図1 飽和蒸気-圧力曲線を基にした水位の推定</p>  <p>図2 原子炉容器の水位と水位変化の概念図</p> <p>【推定における不確かさの影響】 各監視パラメータには不確かさがあり、本推定においても不確かさを考慮する必要がある。例えば、炉心が冠水していない場合において、「過熱状態」にも係らず「飽和温度」と推定した場合においても、温度の推移による状態の傾向監視により、温度が上昇する場合は炉心が露出状態であることを判断でき、温度が安定していれば炉心が冠水状態であることを判断できる。したがって、不確かさを考慮しても、原子炉容器内の水位を推定することが可能である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	 <p>第1図 飽和蒸気-圧力曲線を基にした水位の推定</p>  <p>第2図 原子炉压力容器の水位と水位変化の概念図</p> <p>【推定における不確かさの影響】 各監視パラメータには不確かさがあり、本推定においても不確かさを考慮する必要がある。例えば、炉心が冠水していない場合において、「過熱状態」にも係らず「飽和温度」と推定した場合においても、温度の推移による状態の傾向監視により、温度が上昇する場合は炉心が露出状態であることを判断でき、温度が安定していれば炉心が冠水状態であることを判断できる。したがって、不確かさを考慮しても、原子炉压力容器内の水位を推定することが可能である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	 <p>第1図 飽和蒸気-圧力曲線を基にした水位の推定</p>  <p>第2図 原子炉压力容器の水位と水位変化の概念図</p> <p>【推定における不確かさの影響】 各監視パラメータには不確かさがあり、本推定においても不確かさを考慮する必要がある。例えば、炉心が冠水していない場合において、「過熱状態」にも係らず「飽和温度」と推定した場合においても、温度の推移による状態の傾向監視により、温度が上昇する場合は炉心が露出状態であることを判断でき、温度が安定していれば炉心が冠水状態であることを判断できる。したがって、不確かさを考慮しても、原子炉压力容器内の水位を推定することが可能である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>相違理由</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉 58-13	泊発電所3号炉 58-13	相違理由																																																						
<p>(大飯該当資料なし)</p>	<p style="text-align: center;">重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ</p> <p style="text-align: center;">表 58-13-1 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (1/8)</p> <table border="1" data-bbox="672 279 1220 638"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代表) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度 (0~500℃)</td> <td>熱電対</td> <td>・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) (※2)</td> <td>・計測範囲の冷却失敗の判断 ・断熱 (300℃) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA) (0~11MPa)</td> <td>弾性圧力検出器 (※2)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉圧力 (0~10MPa) ・原子炉圧力容器温度 (0~500℃) (※2)</td> <td>・重大事故等時において、原子炉圧力容器最高使用圧力 (H. 42MPa) の1.2倍 (10.3 MPa) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (広帯域) (※2) (-2,800~1,500mm)</td> <td rowspan="2">差圧式水位検出器 (※2)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (SA広帯域) (-2,800~1,500mm) (※2) ・原子炉水位 (SA燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2) (※2)</td> <td rowspan="2">・重大事故等時において、原子炉水位 (広帯域) 及び原子炉水位 (燃料域) において、原子炉水位計測範囲から有効燃料棒底部まで監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2)</td> <td>・高圧代替注水ポンプ出口流量 (0~120m³/h) (※2) ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) 及び圧力抑制室圧力 (0~1MPa) (abs) (※2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 複数ある重要代替計器等の代表を記載。 (※2) 計測範囲を超えない場合は、その理由を記載。 (※3) 原子炉圧力容器内の飽和状態と仮定し、原子炉圧力容器温度又は原子炉圧力を推定。 (※4) 隔壁ダイヤフラムにかかると原子炉圧力 (隔壁槽からの水頭圧を含む) と大気圧の差を計測。 (※5) 基準点 (0mm) はドライヤシステムに直設付設 (原子炉圧力容器センターより 1,313mm 上)。 (※6) 基準点 (0mm) は有効燃料棒頂部付設 (原子炉圧力容器センターより 900mm 上)。 (※7) 隔壁ダイヤフラムにかかると原子炉圧力 (隔壁槽からの水頭圧を含む) と原子炉圧力容器下部の節圧を計測。 (※8) 原子炉水位 (SA 広帯域) は他の広帯域の原子炉水位と、また、原子炉水位 (SA 燃料域) は他の燃料域の原子炉水位と同じ基準面にて計測器が異なる。 (※9) 原子炉圧力容器への注水量、融解熱除去による蒸気量及び炉前の水位から炉心の注水を推定。 (※10) LOCA の発生がなく、水位を主蒸気配管より上になるまで注水した場合には、原子炉圧力と圧力抑制室圧力の節圧から炉心の注水を推定。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(凡例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に記載がなければ、本表での圧力はゲージ圧を示す。 ・重要計器に故障の疑いがある場合の複数ある推定手段については、優先順位に応じて簡潔書きに記載する。 </div>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度 (0~500℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) (※2)	・計測範囲の冷却失敗の判断 ・断熱 (300℃) を監視可能。	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA) (0~11MPa)	弾性圧力検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉圧力 (0~10MPa) ・原子炉圧力容器温度 (0~500℃) (※2)	・重大事故等時において、原子炉圧力容器最高使用圧力 (H. 42MPa) の1.2倍 (10.3 MPa) を監視可能。	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域) (※2) (-2,800~1,500mm)	差圧式水位検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (SA広帯域) (-2,800~1,500mm) (※2) ・原子炉水位 (SA燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2) (※2)	・重大事故等時において、原子炉水位 (広帯域) 及び原子炉水位 (燃料域) において、原子炉水位計測範囲から有効燃料棒底部まで監視可能。	原子炉水位 (燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2)	・高圧代替注水ポンプ出口流量 (0~120m ³ /h) (※2) ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) 及び圧力抑制室圧力 (0~1MPa) (abs) (※2)	<p style="text-align: center;">重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ</p> <p style="text-align: center;">第1表 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (1/7)</p> <table border="1" data-bbox="1265 287 1803 598"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代表) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)</td> <td rowspan="2">熱電対</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)</td> <td>・1 及び冷却系最高使用温度 (0.4℃) 及び炉心の判断基準である 350℃ を超える温度を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>1 冷却材料温度 (広帯域) (0~500℃)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 冷却材料温度 (広帯域) (0~500℃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>1 冷却材料圧力 (広帯域) (0~21.6MPa)</td> <td rowspan="2">弾性圧力検出器 (※2)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 冷却材料温度 (広帯域) (0~500℃) (※2)</td> <td>・1 冷却系最高使用圧力 (17.10MPa) の1.2倍 (取替時の種類基準) である 20.10MPa を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (0~100%)</td> <td>・重大事故等時において、原子炉水位計測範囲から燃料棒頂部までの水位を監視可能。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>加圧器水位 (0~100%)</td> <td rowspan="2">差圧式水位検出器 (※2)</td> <td>・加圧器水位 (0~100%)</td> <td>・重大事故等時において、加圧器の下流に設置した加圧器上流側と加圧器から下流側へ流出するまでの水位を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (0~100%)</td> <td>・加圧器水位 (0~100%)</td> <td>・重大事故等時において、加圧器の下流に設置した加圧器上流側と加圧器から下流側へ流出するまでの水位を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 複数ある重要代替計器等の代表を記載。 (※2) 計測範囲を超えない場合は、その理由を記載。 (※3) 隔壁ダイヤフラムにかかると1 冷却材料圧力を計測。 (※4) 1 冷却材料の飽和状態にあると仮定し、原子炉圧力容器内の圧力を推定。 (※5) 隔壁ダイヤフラムにかかると加圧器圧力 (隔壁槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の節圧を計測。 (※6) 隔壁ダイヤフラムにかかると原子炉圧力と原子炉圧力容器下部の節圧を計測。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(凡例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に記載がなければ、本表での圧力はゲージ圧を示す。 ・重要計器に故障の疑いがある場合の複数ある推定手段については、優先順位に応じて簡潔書きに記載する。 </div>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)	原子炉圧力容器内の温度	1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)	・1 及び冷却系最高使用温度 (0.4℃) 及び炉心の判断基準である 350℃ を超える温度を監視可能。	1 冷却材料温度 (広帯域) (0~500℃)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 冷却材料温度 (広帯域) (0~500℃)	原子炉圧力容器内の圧力	1 冷却材料圧力 (広帯域) (0~21.6MPa)	弾性圧力検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 冷却材料温度 (広帯域) (0~500℃) (※2)	・1 冷却系最高使用圧力 (17.10MPa) の1.2倍 (取替時の種類基準) である 20.10MPa を監視可能。	原子炉水位	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (0~100%)	・重大事故等時において、原子炉水位計測範囲から燃料棒頂部までの水位を監視可能。	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位 (0~100%)	差圧式水位検出器 (※2)	・加圧器水位 (0~100%)	・重大事故等時において、加圧器の下流に設置した加圧器上流側と加圧器から下流側へ流出するまでの水位を監視可能。	原子炉水位 (0~100%)	・加圧器水位 (0~100%)	・重大事故等時において、加圧器の下流に設置した加圧器上流側と加圧器から下流側へ流出するまでの水位を監視可能。	<p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)				検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)																																																			
		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)																																																						
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度 (0~500℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) (※2)	・計測範囲の冷却失敗の判断 ・断熱 (300℃) を監視可能。																																																					
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA) (0~11MPa)	弾性圧力検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉圧力 (0~10MPa) ・原子炉圧力容器温度 (0~500℃) (※2)	・重大事故等時において、原子炉圧力容器最高使用圧力 (H. 42MPa) の1.2倍 (10.3 MPa) を監視可能。																																																					
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域) (※2) (-2,800~1,500mm)	差圧式水位検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (SA広帯域) (-2,800~1,500mm) (※2) ・原子炉水位 (SA燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2) (※2)	・重大事故等時において、原子炉水位 (広帯域) 及び原子炉水位 (燃料域) において、原子炉水位計測範囲から有効燃料棒底部まで監視可能。																																																					
	原子炉水位 (燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2)		・高圧代替注水ポンプ出口流量 (0~120m ³ /h) (※2) ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) 及び圧力抑制室圧力 (0~1MPa) (abs) (※2)																																																						
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)																																																						
			重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)																																																					
原子炉圧力容器内の温度	1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)	・1 及び冷却系最高使用温度 (0.4℃) 及び炉心の判断基準である 350℃ を超える温度を監視可能。																																																					
	1 冷却材料温度 (広帯域) (0~500℃)		・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 冷却材料温度 (広帯域) (0~500℃)																																																						
原子炉圧力容器内の圧力	1 冷却材料圧力 (広帯域) (0~21.6MPa)	弾性圧力検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 冷却材料温度 (広帯域) (0~500℃) (※2)	・1 冷却系最高使用圧力 (17.10MPa) の1.2倍 (取替時の種類基準) である 20.10MPa を監視可能。																																																					
	原子炉水位		・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (0~100%)	・重大事故等時において、原子炉水位計測範囲から燃料棒頂部までの水位を監視可能。																																																					
原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位 (0~100%)	差圧式水位検出器 (※2)	・加圧器水位 (0~100%)	・重大事故等時において、加圧器の下流に設置した加圧器上流側と加圧器から下流側へ流出するまでの水位を監視可能。																																																					
	原子炉水位 (0~100%)		・加圧器水位 (0~100%)	・重大事故等時において、加圧器の下流に設置した加圧器上流側と加圧器から下流側へ流出するまでの水位を監視可能。																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																								
	<p>表 58-13-1 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (2/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代表) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に記録の無いときとの場合 (※)</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m³) (※)</td> <td>重大事故等時の高圧炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (318m³/h, 1,650m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧代替注水系ポンプ出口流量 (0~120m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m³) (※)</td> <td>重大事故等時の高圧代替注水系ポンプの最大注水量 (99.8m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 (0~150m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m³) (※)</td> <td>重大事故等時の原子炉隔離時冷却系ポンプの最大注水量 (100.8m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・圧力制御室水位 (0~5m) (※)</td> <td>重大事故等時の炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (1,050m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替凝縮冷却ポンプ出口流量 (0~200m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・圧力制御室水位 (0~5m) (※)</td> <td>重大事故等時の代替凝縮冷却ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (150m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン(洗浄流量)) (0~220m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m³) (※)</td> <td>重大事故等時の復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系A系ライン) における最大注水量 (199m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系洗浄装置冷却ライン(洗浄流量)) (0~220m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m³) (※)</td> <td>重大事故等時の大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系B系ライン) における最大注水量 (199m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>直流原動機注水系ポンプ出口流量 (0~100m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m³) (※)</td> <td>重大事故等時の直流原動機注水系ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (80m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (0~1,500m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・圧力制御室水位 (0~5m) (※)</td> <td>重大事故等時の残留熱除去系ポンプの最大注水量 (1,130m³/h) を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) 漏洩ダイヤグラムにかかる送り機構前後の差圧を計測。 (※) 復水貯蔵タンク水位の変化量及び注水時間から注水量を推定。 (※) 圧力制御室水位の変化量及び注水時間から注水量を推定。</p>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)		重要計器に記録の無いときとの場合 (※)	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)	原子炉圧力容器への注水量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の高圧炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (318m ³ /h, 1,650m ³ /h) を監視可能。		高圧代替注水系ポンプ出口流量 (0~120m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の高圧代替注水系ポンプの最大注水量 (99.8m ³ /h) を監視可能。		原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 (0~150m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の原子炉隔離時冷却系ポンプの最大注水量 (100.8m ³ /h) を監視可能。		炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・圧力制御室水位 (0~5m) (※)	重大事故等時の炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (1,050m ³ /h) を監視可能。		代替凝縮冷却ポンプ出口流量 (0~200m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・圧力制御室水位 (0~5m) (※)	重大事故等時の代替凝縮冷却ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (150m ³ /h) を監視可能。		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン(洗浄流量)) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系A系ライン) における最大注水量 (199m ³ /h) を監視可能。		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系洗浄装置冷却ライン(洗浄流量)) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系B系ライン) における最大注水量 (199m ³ /h) を監視可能。		直流原動機注水系ポンプ出口流量 (0~100m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の直流原動機注水系ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (80m ³ /h) を監視可能。		残留熱除去系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・圧力制御室水位 (0~5m) (※)	重大事故等時の残留熱除去系ポンプの最大注水量 (1,130m ³ /h) を監視可能。	<p>第1表 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (2/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代表) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に記録の無いときとの場合 (※)</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時に、高圧炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (290m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧代替注水系ポンプ出口流量 (0~120m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時に、高圧代替注水系ポンプの最大注水量 (99.8m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 (0~150m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時に、原子炉隔離時冷却系ポンプの最大注水量 (100.8m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時に、炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (1,050m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替凝縮冷却ポンプ出口流量 (0~200m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時に、代替凝縮冷却ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (150m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン(洗浄流量)) (0~220m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時に、大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系A系ライン) における最大注水量 (199m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系洗浄装置冷却ライン(洗浄流量)) (0~220m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時に、大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系B系ライン) における最大注水量 (199m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>直流原動機注水系ポンプ出口流量 (0~100m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時に、直流原動機注水系ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (80m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (0~1,500m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時に、残留熱除去系ポンプの最大注水量 (1,130m³/h) を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) 漏洩ダイヤグラムにかかる送り機構前後の差圧を計測。 (※) 燃料取替用本水位の変化量及び注水時間より注水量を推定。 (※) 燃料取替用本水位及び凝縮本水位の変化量及び注水時間より注水量を推定。</p> <p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)		重要計器に記録の無いときとの場合 (※)	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)	原子炉圧力容器への注水量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、高圧炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (290m ³ /h) を監視可能。		高圧代替注水系ポンプ出口流量 (0~120m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、高圧代替注水系ポンプの最大注水量 (99.8m ³ /h) を監視可能。		原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 (0~150m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、原子炉隔離時冷却系ポンプの最大注水量 (100.8m ³ /h) を監視可能。		炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (1,050m ³ /h) を監視可能。		代替凝縮冷却ポンプ出口流量 (0~200m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、代替凝縮冷却ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (150m ³ /h) を監視可能。		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン(洗浄流量)) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系A系ライン) における最大注水量 (199m ³ /h) を監視可能。		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系洗浄装置冷却ライン(洗浄流量)) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系B系ライン) における最大注水量 (199m ³ /h) を監視可能。		直流原動機注水系ポンプ出口流量 (0~100m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、直流原動機注水系ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (80m ³ /h) を監視可能。		残留熱除去系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、残留熱除去系ポンプの最大注水量 (1,130m ³ /h) を監視可能。	
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)				検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)																																																																																																					
		重要計器に記録の無いときとの場合 (※)	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)																																																																																																								
原子炉圧力容器への注水量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の高圧炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (318m ³ /h, 1,650m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	高圧代替注水系ポンプ出口流量 (0~120m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の高圧代替注水系ポンプの最大注水量 (99.8m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 (0~150m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の原子炉隔離時冷却系ポンプの最大注水量 (100.8m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・圧力制御室水位 (0~5m) (※)	重大事故等時の炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (1,050m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	代替凝縮冷却ポンプ出口流量 (0~200m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・圧力制御室水位 (0~5m) (※)	重大事故等時の代替凝縮冷却ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (150m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン(洗浄流量)) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系A系ライン) における最大注水量 (199m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系洗浄装置冷却ライン(洗浄流量)) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系B系ライン) における最大注水量 (199m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	直流原動機注水系ポンプ出口流量 (0~100m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の直流原動機注水系ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (80m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	残留熱除去系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・圧力制御室水位 (0~5m) (※)	重大事故等時の残留熱除去系ポンプの最大注水量 (1,130m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)																																																																																																								
			重要計器に記録の無いときとの場合 (※)	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)																																																																																																							
原子炉圧力容器への注水量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、高圧炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (290m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	高圧代替注水系ポンプ出口流量 (0~120m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、高圧代替注水系ポンプの最大注水量 (99.8m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 (0~150m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、原子炉隔離時冷却系ポンプの最大注水量 (100.8m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	炉心スプレィ系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、炉心スプレィ系ポンプの最大注水量 (1,050m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	代替凝縮冷却ポンプ出口流量 (0~200m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、代替凝縮冷却ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (150m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン(洗浄流量)) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系A系ライン) における最大注水量 (199m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系洗浄装置冷却ライン(洗浄流量)) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、大容量送水ポンプ (タイプ1) を用いた低圧代替注水系 (残留熱除去系B系ライン) における最大注水量 (199m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	直流原動機注水系ポンプ出口流量 (0~100m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、直流原動機注水系ポンプを用いた原子炉圧力容器注水時における最大注水量 (80m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							
	残留熱除去系ポンプ出口流量 (0~1,500m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用本水位 (0~100%) (※)	重大事故等時に、残留熱除去系ポンプの最大注水量 (1,130m ³ /h) を監視可能。																																																																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																	
	<p>表58-13-1 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (3/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要計器等 (代表) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系→ドラスレイライン洗浄流量) (0~220m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m³) (※)</td> <td>重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系→ドラスライン) における最大注水量 (89m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系→格納容器冷却ライン洗浄流量) (0~220m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m³) (※)</td> <td>重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系→ドラスライン) における最大注水量 (89m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器代替スプレイ流量 (0~100m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)</td> <td>重大事故等時の大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系による最大注水量 (88m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替格納冷却ポンプ出口流量 (0~200m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)</td> <td>重大事故等時の代替格納冷却ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ時における最大注水量 (150m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器下部注水量 (0~110m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m³) (※)</td> <td>重大事故等時の復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器下部注水量による最大注水量 (89m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウエル温度 (0~300℃)</td> <td>熱電対</td> <td>・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・ドライウエル圧力 (0~1MPa(abs)) (※)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。さらに可搬型計測器にて350℃まで計測可能。</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室内空気温度 (0~300℃)</td> <td>熱電対</td> <td>・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・サブレンションプール水温度 (0~200℃) (※)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (854kPa) におけるサブレンションプール水の飽和温度 (約178℃) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>サブレンションプール水温度 (0~200℃)</td> <td>温度抵抗体</td> <td>・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・圧力抑制室内空気温度 (0~300℃) (※)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器下部に環状炉心が入り込んだ場合における原子炉格納容器の構造格納可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部温度 (0~700℃)</td> <td>熱電対</td> <td>・多重性を有する重要計器の他のチャンネル</td> <td>原子炉格納容器下部に環状炉心が入り込んだ場合における原子炉格納容器の構造格納可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) 原子炉格納容器下部水位及びドライウエル水位の測定値と注水時間から注水量を推定。 (※) 原子炉格納容器内の飽和状態と推定し、原子炉格納容器内の温度又は圧力を推定。 (※) 空気温度と水温が平衡状態と推定し、空気温度又は水温を推定。</p>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要計器等 (代表) (※)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)	原子炉格納容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系→ドラスレイライン洗浄流量) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系→ドラスライン) における最大注水量 (89m ³ /h) を監視可能。		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系→格納容器冷却ライン洗浄流量) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系→ドラスライン) における最大注水量 (89m ³ /h) を監視可能。		原子炉格納容器代替スプレイ流量 (0~100m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)	重大事故等時の大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系による最大注水量 (88m ³ /h) を監視可能。		代替格納冷却ポンプ出口流量 (0~200m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)	重大事故等時の代替格納冷却ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ時における最大注水量 (150m ³ /h) を監視可能。		原子炉格納容器下部注水量 (0~110m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器下部注水量による最大注水量 (89m ³ /h) を監視可能。	原子炉格納容器内の温度	ドライウエル温度 (0~300℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・ドライウエル圧力 (0~1MPa(abs)) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。さらに可搬型計測器にて350℃まで計測可能。	圧力抑制室内空気温度 (0~300℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・サブレンションプール水温度 (0~200℃) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (854kPa) におけるサブレンションプール水の飽和温度 (約178℃) を監視可能。	サブレンションプール水温度 (0~200℃)	温度抵抗体	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・圧力抑制室内空気温度 (0~300℃) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器下部に環状炉心が入り込んだ場合における原子炉格納容器の構造格納可能。	原子炉格納容器下部温度 (0~700℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他のチャンネル	原子炉格納容器下部に環状炉心が入り込んだ場合における原子炉格納容器の構造格納可能。	<p>第1表 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (3/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要計器等 (代表) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>格納容器代替スプレイ冷却ポンプ流量 (0~1,300m³/h) (0~10,000%) (※)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時において、格納容器代替スプレイポンプの流量 (1,000m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替格納冷却ポンプ出口流量 (0~200m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時において、代替格納冷却ポンプの流量 (200m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧注入流量 (0~350m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時において、高圧注入ポンプの流量 (200m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低圧注入流量 (0~1,100m³/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時において、低圧注入ポンプの流量 (1,000m³/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>格納容器内温度 (0~250℃)</td> <td>温度抵抗体</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) (※)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) 原子炉格納容器内の飽和状態と推定し、原子炉格納容器内の温度又は圧力を推定。 () 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要計器等 (代表) (※)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)	原子炉格納容器への注水量	格納容器代替スプレイ冷却ポンプ流量 (0~1,300m ³ /h) (0~10,000%) (※)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、格納容器代替スプレイポンプの流量 (1,000m ³ /h) を監視可能。		代替格納冷却ポンプ出口流量 (0~200m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、代替格納冷却ポンプの流量 (200m ³ /h) を監視可能。		高圧注入流量 (0~350m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、高圧注入ポンプの流量 (200m ³ /h) を監視可能。		低圧注入流量 (0~1,100m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、低圧注入ポンプの流量 (1,000m ³ /h) を監視可能。	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度 (0~250℃)	温度抵抗体	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。	
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)				検出器の種類	重要計器等 (代表) (※)																																																																														
		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)																																																																																	
原子炉格納容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系→ドラスレイライン洗浄流量) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系→ドラスライン) における最大注水量 (89m ³ /h) を監視可能。																																																																																
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系→格納容器冷却ライン洗浄流量) (0~220m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系→ドラスライン) における最大注水量 (89m ³ /h) を監視可能。																																																																																
	原子炉格納容器代替スプレイ流量 (0~100m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)	重大事故等時の大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系による最大注水量 (88m ³ /h) を監視可能。																																																																																
	代替格納冷却ポンプ出口流量 (0~200m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)	重大事故等時の代替格納冷却ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ時における最大注水量 (150m ³ /h) を監視可能。																																																																																
	原子炉格納容器下部注水量 (0~110m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m ³) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器下部注水量による最大注水量 (89m ³ /h) を監視可能。																																																																																
原子炉格納容器内の温度	ドライウエル温度 (0~300℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・ドライウエル圧力 (0~1MPa(abs)) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。さらに可搬型計測器にて350℃まで計測可能。																																																																																
	圧力抑制室内空気温度 (0~300℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・サブレンションプール水温度 (0~200℃) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (854kPa) におけるサブレンションプール水の飽和温度 (約178℃) を監視可能。																																																																																
	サブレンションプール水温度 (0~200℃)	温度抵抗体	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・圧力抑制室内空気温度 (0~300℃) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器下部に環状炉心が入り込んだ場合における原子炉格納容器の構造格納可能。																																																																																
	原子炉格納容器下部温度 (0~700℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他のチャンネル	原子炉格納容器下部に環状炉心が入り込んだ場合における原子炉格納容器の構造格納可能。																																																																																
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要計器等 (代表) (※)																																																																																	
			重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)																																																																																
原子炉格納容器への注水量	格納容器代替スプレイ冷却ポンプ流量 (0~1,300m ³ /h) (0~10,000%) (※)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、格納容器代替スプレイポンプの流量 (1,000m ³ /h) を監視可能。																																																																																
	代替格納冷却ポンプ出口流量 (0~200m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、代替格納冷却ポンプの流量 (200m ³ /h) を監視可能。																																																																																
	高圧注入流量 (0~350m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、高圧注入ポンプの流量 (200m ³ /h) を監視可能。																																																																																
	低圧注入流量 (0~1,100m ³ /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、低圧注入ポンプの流量 (1,000m ³ /h) を監視可能。																																																																																
原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度 (0~250℃)	温度抵抗体	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
	<p>表 58-13-1 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (4/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代表) (※¹)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力 (0~1MPa[abs]) 圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs])</td> <td>弾性圧力検出器 (※³)</td> <td>・圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs]) (※⁴) ・ドライウェル温度 (0~300℃) (※⁵) ・ドライウェル圧力 (0~1MPa[abs]) (※⁶) ・圧力抑制室内空気温度 (0~200℃) (※⁷)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (850kPa) をドライウェル圧力又は圧力抑制室圧力にて監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>圧力抑制室水位 (0~5m) (※⁸) 原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) ドライウェル水位 (0.02m, 0.25m, 0.34m)</td> <td>差圧式水位検出器 (※⁹) 電極式水位検出器 (※¹⁰)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・代替補償冷却ポンプ出口流量 (0~200t/h) (※¹¹)</td> <td>重大事故等時において、外部水漏注水流量 (通常運転水位約 2m (※¹²)) の範囲を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部への注水による圧力容器へブスバル部の露水状況を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部の清浄な水の冷却に必要な水深 (0.23m) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内空気水素濃度 (0~30vol%) / 0~100vol%</td> <td>熱伝導率式水素検出器</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内水素濃度 (0/%) (0~100vol%) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) (0~100vol%) (※¹³)</td> <td>重大事故等時において、炉心の著しい揺動時に変動する可能性ある範囲 (0~100vol%) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の酸素濃度</td> <td>格納容器内空気酸素濃度 (0~30vol%)</td> <td>熱伝導率式酸素検出器</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器内の酸素濃度の変動範囲 (0~4.3vol%) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内空気放射線モニタ (0/%) (10⁻²~10²Sv/h) 格納容器内空気放射線モニタ (S/C) (10⁻²~10²Sv/h)</td> <td>電離箱 電離箱</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・多重性を有する重要計器の他チャンネル</td> <td>炉心格納の判断値 (停止直後で約 195Sv/h) を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※¹) 漏洩ダイアフラムにおけるドライウェル圧力及び圧力抑制室圧力の絶対圧力を計測。 (※²) 圧力抑制室圧力はドライウェル圧力+12.0kPa からドライウェル圧力+6.99kPa の範囲で推移。 (※³) 基準点 (0m) は通常運転水位 (0.P.~3850mm)。 (※⁴) 漏洩ダイアフラムにおける圧力抑制室圧力 (補償槽からの水頭圧を含む) と圧力抑制室下部の差圧を計測。 (※⁵) 流量と注入時間から水位を推定。 (※⁶) 格納容器内水素濃度 (0/%) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) は、水素吸蔵材料式水素検出器を用いて計測。</p>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※ ¹)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※ ²)	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力 (0~1MPa[abs]) 圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs])	弾性圧力検出器 (※ ³)	・圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs]) (※ ⁴) ・ドライウェル温度 (0~300℃) (※ ⁵) ・ドライウェル圧力 (0~1MPa[abs]) (※ ⁶) ・圧力抑制室内空気温度 (0~200℃) (※ ⁷)	重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (850kPa) をドライウェル圧力又は圧力抑制室圧力にて監視可能。	原子炉格納容器内の水位	圧力抑制室水位 (0~5m) (※ ⁸) 原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) ドライウェル水位 (0.02m, 0.25m, 0.34m)	差圧式水位検出器 (※ ⁹) 電極式水位検出器 (※ ¹⁰)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・代替補償冷却ポンプ出口流量 (0~200t/h) (※ ¹¹)	重大事故等時において、外部水漏注水流量 (通常運転水位約 2m (※ ¹²)) の範囲を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部への注水による圧力容器へブスバル部の露水状況を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部の清浄な水の冷却に必要な水深 (0.23m) を監視可能。	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空気水素濃度 (0~30vol%) / 0~100vol%	熱伝導率式水素検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内水素濃度 (0/%) (0~100vol%) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) (0~100vol%) (※ ¹³)	重大事故等時において、炉心の著しい揺動時に変動する可能性ある範囲 (0~100vol%) を監視可能。	原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内空気酸素濃度 (0~30vol%)	熱伝導率式酸素検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル	重大事故等時において、原子炉格納容器内の酸素濃度の変動範囲 (0~4.3vol%) を監視可能。	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内空気放射線モニタ (0/%) (10 ⁻² ~10 ² Sv/h) 格納容器内空気放射線モニタ (S/C) (10 ⁻² ~10 ² Sv/h)	電離箱 電離箱	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・多重性を有する重要計器の他チャンネル	炉心格納の判断値 (停止直後で約 195Sv/h) を監視可能。	<p>第1表 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (4/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代表) (※¹)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) 格納容器圧力 (0~1.0MPa)</td> <td>弾性圧力検出器 (※³)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器圧力 (0~1.0MPa) (※⁴) ・原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) ・格納容器内温度 (0~220℃) (※⁵)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器の限界圧力 (0.203MPa) を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器の限界圧力 (2Pa ~ 0.000Pa) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>格納容器内補償センプ水位 (0~100%) 格納容器内補償センプ水位 (0~100%) 原子炉下部キャビティ水位 (0/0~90%)</td> <td>差圧式水位検出器 (※⁶) 電極式水位検出器 (※⁷)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内補償センプ水位 (0~100%) (※⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁹) ・格納容器内補償センプ水位 (0~100%) (※¹⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※¹¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※¹²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※¹³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※¹⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※¹⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※¹⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※¹⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※¹⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※¹⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※²⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※²¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※²²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※²³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※²⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※²⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※²⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※²⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※²⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※²⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※³⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※³¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※³²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※³³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※³⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※³⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※³⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※³⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※³⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※³⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁴⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁴¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁴²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁴³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁴⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁴⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁴⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁴⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁴⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁴⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁵⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁵¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁵²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁵³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁵⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁵⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁵⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁵⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁵⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁵⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁶⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁶¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁶²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁶³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁶⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁶⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁶⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁶⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁶⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁶⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁷⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁷¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁷²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁷³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁷⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁷⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁷⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁷⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁷⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁷⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁸⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁸¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁸²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁸³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁸⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁸⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁸⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁸⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁸⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁸⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁹⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁹¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁹²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁹³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁹⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁹⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁹⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁹⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁹⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※⁹⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※¹⁰⁰)</td> <td>重大事故等時において、再循環ポンプ上流 (約 100%) を監視可能。格納容器の 100% は、広域水位が約 48% に相当。 重大事故等時において、再循環ポンプ上流 (約 100%) を監視可能。格納容器の 100% は、広域水位が約 48% に相当。 重大事故等時において、原子炉下部キャビティに貯蔵中の水に必要な水量があることを監視可能。 重大事故等時において、格納容器内の水位の異常レベルに達したことを監視可能。 重大事故等時において、変動範囲 (0~30vol%) を監視可能。 重大事故等時において、変動範囲 (0~10vol%) を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※¹) 漏洩ダイアフラムにおける原子炉格納容器圧力を計測。 (※²) 漏洩ダイアフラムにおける原子炉格納容器内の圧力と格納容器内補償センプ下部の差圧を計測。 (※³) 各セットの水位変化及び各種異常監視により原子炉格納容器内の水位を推定する。 (※⁴) 格納容器内水素濃度及び格納容器内酸素濃度の測定から、作業状況を把握することにより、格納容器内の水素濃度が大幅な変動を生じない状態であることを確認する。</p>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※ ¹)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※ ²)	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) 格納容器圧力 (0~1.0MPa)	弾性圧力検出器 (※ ³)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器圧力 (0~1.0MPa) (※ ⁴) ・原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) ・格納容器内温度 (0~220℃) (※ ⁵)	重大事故等時において、原子炉格納容器の限界圧力 (0.203MPa) を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器の限界圧力 (2Pa ~ 0.000Pa) を監視可能。	原子炉格納容器内の水位	格納容器内補償センプ水位 (0~100%) 格納容器内補償センプ水位 (0~100%) 原子炉下部キャビティ水位 (0/0~90%)	差圧式水位検出器 (※ ⁶) 電極式水位検出器 (※ ⁷)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹) ・格納容器内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁰⁰)	重大事故等時において、再循環ポンプ上流 (約 100%) を監視可能。格納容器の 100% は、広域水位が約 48% に相当。 重大事故等時において、再循環ポンプ上流 (約 100%) を監視可能。格納容器の 100% は、広域水位が約 48% に相当。 重大事故等時において、原子炉下部キャビティに貯蔵中の水に必要な水量があることを監視可能。 重大事故等時において、格納容器内の水位の異常レベルに達したことを監視可能。 重大事故等時において、変動範囲 (0~30vol%) を監視可能。 重大事故等時において、変動範囲 (0~10vol%) を監視可能。	
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)				検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※ ¹)																																														
		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※ ²)																																																	
原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力 (0~1MPa[abs]) 圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs])	弾性圧力検出器 (※ ³)	・圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs]) (※ ⁴) ・ドライウェル温度 (0~300℃) (※ ⁵) ・ドライウェル圧力 (0~1MPa[abs]) (※ ⁶) ・圧力抑制室内空気温度 (0~200℃) (※ ⁷)	重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (850kPa) をドライウェル圧力又は圧力抑制室圧力にて監視可能。																																																
原子炉格納容器内の水位	圧力抑制室水位 (0~5m) (※ ⁸) 原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) ドライウェル水位 (0.02m, 0.25m, 0.34m)	差圧式水位検出器 (※ ⁹) 電極式水位検出器 (※ ¹⁰)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・代替補償冷却ポンプ出口流量 (0~200t/h) (※ ¹¹)	重大事故等時において、外部水漏注水流量 (通常運転水位約 2m (※ ¹²)) の範囲を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部への注水による圧力容器へブスバル部の露水状況を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部の清浄な水の冷却に必要な水深 (0.23m) を監視可能。																																																
原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空気水素濃度 (0~30vol%) / 0~100vol%	熱伝導率式水素検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内水素濃度 (0/%) (0~100vol%) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) (0~100vol%) (※ ¹³)	重大事故等時において、炉心の著しい揺動時に変動する可能性ある範囲 (0~100vol%) を監視可能。																																																
原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内空気酸素濃度 (0~30vol%)	熱伝導率式酸素検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル	重大事故等時において、原子炉格納容器内の酸素濃度の変動範囲 (0~4.3vol%) を監視可能。																																																
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内空気放射線モニタ (0/%) (10 ⁻² ~10 ² Sv/h) 格納容器内空気放射線モニタ (S/C) (10 ⁻² ~10 ² Sv/h)	電離箱 電離箱	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・多重性を有する重要計器の他チャンネル	炉心格納の判断値 (停止直後で約 195Sv/h) を監視可能。																																																
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※ ¹)																																																	
			重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※ ²)																																																
原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) 格納容器圧力 (0~1.0MPa)	弾性圧力検出器 (※ ³)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器圧力 (0~1.0MPa) (※ ⁴) ・原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) ・格納容器内温度 (0~220℃) (※ ⁵)	重大事故等時において、原子炉格納容器の限界圧力 (0.203MPa) を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器の限界圧力 (2Pa ~ 0.000Pa) を監視可能。																																																
原子炉格納容器内の水位	格納容器内補償センプ水位 (0~100%) 格納容器内補償センプ水位 (0~100%) 原子炉下部キャビティ水位 (0/0~90%)	差圧式水位検出器 (※ ⁶) 電極式水位検出器 (※ ⁷)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹) ・格納容器内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ²⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ³⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁴⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁵⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁶⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁷⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁸⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁰) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹¹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹²) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹³) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁴) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁵) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁶) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁷) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁸) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ⁹⁹) ・燃料貯蔵槽内補償センプ水位 (0~100%) (※ ¹⁰⁰)	重大事故等時において、再循環ポンプ上流 (約 100%) を監視可能。格納容器の 100% は、広域水位が約 48% に相当。 重大事故等時において、再循環ポンプ上流 (約 100%) を監視可能。格納容器の 100% は、広域水位が約 48% に相当。 重大事故等時において、原子炉下部キャビティに貯蔵中の水に必要な水量があることを監視可能。 重大事故等時において、格納容器内の水位の異常レベルに達したことを監視可能。 重大事故等時において、変動範囲 (0~30vol%) を監視可能。 重大事故等時において、変動範囲 (0~10vol%) を監視可能。																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表 58-13-1-1 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (7/8)

重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出部の種類	重要代替計器等 (代表) (注)	
			重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (注)
最終冷却ポンプの流量	流量計 (0~200%)	熱電対	・原子炉圧力管理温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの温度	温度計 (0~100%)	熱電対	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの圧力	圧力計 (0~1.500%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの水位	水位計 (0~1.300%) (注)	水位検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの流量	流量計 (0~200%)	熱電対	・原子炉圧力管理温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの温度	温度計 (0~100%)	熱電対	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの圧力	圧力計 (0~1.500%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの水位	水位計 (0~1.300%) (注)	水位検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)

(注) 原子炉圧力管理温度と冷却熱源温度と熱交換器入口温度の積積 (積積値) を基準に設定。
(注) 熱交換器入口温度と熱交換器 (設計値) を用いて水温を設定。
(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。
(注) 流量計に故障の疑いがある場合を併記。

表 58-13-1-2 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (8/8)

重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出部の種類	重要代替計器等 (代表) (注)	
			重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (注)
原子炉圧力	圧力計 (0~1.300%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
原子炉圧力	圧力計 (0~1.300%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
原子炉圧力	圧力計 (0~1.300%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
原子炉圧力	圧力計 (0~1.300%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
原子炉圧力	圧力計 (0~1.300%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
原子炉圧力	圧力計 (0~1.300%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
原子炉圧力	圧力計 (0~1.300%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
原子炉圧力	圧力計 (0~1.300%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
原子炉圧力	圧力計 (0~1.300%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)

(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。
(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。
(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。
(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。

第1表 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (6/7)

重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出部の種類	重要代替計器等 (代表) (注)	
			重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (注)
最終冷却ポンプの流量	流量計 (0~200%)	熱電対	・原子炉圧力管理温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの温度	温度計 (0~100%)	熱電対	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの圧力	圧力計 (0~1.500%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの水位	水位計 (0~1.300%) (注)	水位検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの流量	流量計 (0~200%)	熱電対	・原子炉圧力管理温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの温度	温度計 (0~100%)	熱電対	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの圧力	圧力計 (0~1.500%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの水位	水位計 (0~1.300%) (注)	水位検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)

(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。
(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。
(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。
(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。

第1表 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (7/7)

重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出部の種類	重要代替計器等 (代表) (注)	
			重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (注)
最終冷却ポンプの流量	流量計 (0~200%)	熱電対	・原子炉圧力管理温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの温度	温度計 (0~100%)	熱電対	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの圧力	圧力計 (0~1.500%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの水位	水位計 (0~1.300%) (注)	水位検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの流量	流量計 (0~200%)	熱電対	・原子炉圧力管理温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの温度	温度計 (0~100%)	熱電対	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの圧力	圧力計 (0~1.500%) (注)	圧力検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)
最終冷却ポンプの水位	水位計 (0~1.300%) (注)	水位検出器	・冷却熱源温度 (0~100%) (注)	・重大事故等時の冷却熱源温度 (0~100%) (注)

(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。
(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。
(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。
(注) 最終冷却ポンプの流量と水位を同時に計測。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
(第58条) 計装設備 (3/11)		(第58条) 計装設備 (2/10)																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備 (既設+新設)</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可観型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>代替監視冷却系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量) 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量</td> <td>高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(残留熱除去系ポンプ出口流量) 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備 (既設+新設)	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可観型	原子炉圧力容器への注水量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	—	代替監視冷却系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量) 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(残留熱除去系ポンプ出口流量) 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 残留熱除去系ポンプ出口流量	低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	<p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2：() 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1,*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可観型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>(高圧注入流量)</td> <td>高圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(低圧注入流量)</td> <td>低圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> <td>燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1,*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可観型	原子炉圧力容器への注水量	(高圧注入流量)	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	(低圧注入流量)	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	—	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	—	代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	<p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2：() 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>																				
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備 (既設+新設)	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可観型																																																																															
原子炉圧力容器への注水量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																															
	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																															
	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																															
	—	代替監視冷却系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																															
	(原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量) 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																															
	(高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																															
	(残留熱除去系ポンプ出口流量) 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																															
	(低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 残留熱除去系ポンプ出口流量	低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																															
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1,*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可観型																																																																															
原子炉圧力容器への注水量	(高圧注入流量)	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																															
	(低圧注入流量)	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																															
	—	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																															
	—	代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																															
(第58条) 計装設備 (4/11)		(第58条) 計装設備 (3/10)																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1,*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可観型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル温度 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉格納容器代替スプレィ出口流量</td> <td>原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル温度 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>代替監視冷却系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル温度 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉格納容器下部注水量</td> <td>原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウエル温度**</td> <td>ドライウエル温度</td> <td>主要パラメータの他検出器 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(圧力制御室内空気循環) (サブプレッションプール水温度)</td> <td>圧力制御室内空気循環 サブプレッションプール水温度</td> <td>主要パラメータの他検出器 サブプレッションプール水温度 圧力制御室内空気循環</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉格納容器下部注水量</td> <td>主要パラメータの他チャンネル</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウエル圧力**</td> <td>ドライウエル圧力</td> <td>圧力制御室圧力 ドライウエル温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室圧力**</td> <td>圧力制御室圧力</td> <td>ドライウエル圧力 圧力制御室内空気循環</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1,*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可観型	原子炉格納容器内の注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル温度 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉格納容器代替スプレィ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル温度 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設	—	代替監視冷却系ポンプ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル温度 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設	—	原子炉格納容器下部注水量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位	常設	原子炉格納容器内の温度	ドライウエル温度**	ドライウエル温度	主要パラメータの他検出器 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設	(圧力制御室内空気循環) (サブプレッションプール水温度)	圧力制御室内空気循環 サブプレッションプール水温度	主要パラメータの他検出器 サブプレッションプール水温度 圧力制御室内空気循環	常設	—	原子炉格納容器下部注水量	主要パラメータの他チャンネル	常設	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力**	ドライウエル圧力	圧力制御室圧力 ドライウエル温度	常設	圧力制御室圧力**	圧力制御室圧力	ドライウエル圧力 圧力制御室内空気循環	常設	<p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2：() 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。 *3：常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1,*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可観型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器への注水量</td> <td>—</td> <td>B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(高圧注入流量)</td> <td>高圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(低圧注入流量)</td> <td>低圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>(格納容器内温度)</td> <td>格納容器内温度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉格納容器圧力**</td> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>格納容器圧力 (AM用)</td> <td>原子炉格納容器圧力 格納容器内温度</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1,*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可観型	原子炉格納容器への注水量	—	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	—	代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	(高圧注入流量)	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	(低圧注入流量)	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	原子炉格納容器内の温度	(格納容器内温度)	格納容器内温度	主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	常設	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力**	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度	常設	—	格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器圧力 格納容器内温度	常設	<p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2：() 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。 *3：常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1,*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可観型																																																																															
原子炉格納容器内の注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル温度 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																															
	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉格納容器代替スプレィ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル温度 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																															
	—	代替監視冷却系ポンプ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル温度 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																															
	—	原子炉格納容器下部注水量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位	常設																																																																															
原子炉格納容器内の温度	ドライウエル温度**	ドライウエル温度	主要パラメータの他検出器 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																															
	(圧力制御室内空気循環) (サブプレッションプール水温度)	圧力制御室内空気循環 サブプレッションプール水温度	主要パラメータの他検出器 サブプレッションプール水温度 圧力制御室内空気循環	常設																																																																															
	—	原子炉格納容器下部注水量	主要パラメータの他チャンネル	常設																																																																															
原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力**	ドライウエル圧力	圧力制御室圧力 ドライウエル温度	常設																																																																															
	圧力制御室圧力**	圧力制御室圧力	ドライウエル圧力 圧力制御室内空気循環	常設																																																																															
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1,*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可観型																																																																															
原子炉格納容器への注水量	—	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																															
	—	代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																															
	(高圧注入流量)	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																															
	(低圧注入流量)	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																															
原子炉格納容器内の温度	(格納容器内温度)	格納容器内温度	主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	常設																																																																															
原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力**	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度	常設																																																																															
	—	格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器圧力 格納容器内温度	常設																																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
	<p>(第58条) 計装設備 (5/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等^{*1, *2}</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計装が同種となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設/可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の水位</td> <td rowspan="3">—</td> <td>圧力抑制室水位¹⁾</td> <td>主要パラメータの他チャンネル熱圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系3系格納容器冷却ライン洗浄流量) 蒸気駆動低圧注水系ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧中心スプレイ系ポンプ出口流量 原子炉格納容器代替スプレイ流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉格納容器下部水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系3系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>ドライケル水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系3系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td rowspan="3">—</td> <td>格納容器内雰囲気気水素濃度 (D/M)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気気水素濃度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気気水素濃度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル格納容器内水素濃度 (D/M) 格納容器内水素濃度 (S/C)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備等がないため「—」とする。 *2：() 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。 *3：常用計器としての計装設備。換装と設置場所を添付資料1に示す。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 ^{*1, *2}	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計装が同種となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型	原子炉格納容器内の水位	—	圧力抑制室水位 ¹⁾	主要パラメータの他チャンネル熱圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系3系格納容器冷却ライン洗浄流量) 蒸気駆動低圧注水系ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧中心スプレイ系ポンプ出口流量 原子炉格納容器代替スプレイ流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設	—	原子炉格納容器下部水位	主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系3系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設	—	ドライケル水位	主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系3系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設	原子炉格納容器内の水素濃度	—	格納容器内雰囲気気水素濃度 (D/M)	主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度	常設	格納容器内雰囲気気水素濃度	主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度	常設	格納容器内雰囲気気水素濃度	主要パラメータの他チャンネル格納容器内水素濃度 (D/M) 格納容器内水素濃度 (S/C)	常設	<p>(第58条) 計装設備 (4/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等^{*1, *2}</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計装が同種となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設/可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の水位</td> <td rowspan="4">—</td> <td>(格納容器再循環サンプ水位 (広域))</td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル格納容器再循環サンプ水位 (広域) 原子炉下部キャビティ水位 格納容器水位 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(格納容器再循環サンプ水位 (狭域))</td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域) 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>格納容器水位</td> <td>燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>—</td> <td>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</td> <td>主要パラメータの手摘 原子炉格納容器内水素処理装置風度 格納容器水素イグナイト温度</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td>アニュラス部の水素濃度</td> <td>—</td> <td>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット</td> <td>主要パラメータの手摘</td> <td>可搬型</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備等がないため「—」とする。 *2：() 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 ^{*1, *2}	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計装が同種となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型	原子炉格納容器内の水位	—	(格納容器再循環サンプ水位 (広域))	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	主要パラメータの他チャンネル格納容器再循環サンプ水位 (広域) 原子炉下部キャビティ水位 格納容器水位 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	常設	(格納容器再循環サンプ水位 (狭域))	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	—	原子炉下部キャビティ水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	常設	—	格納容器水位	燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	常設	原子炉格納容器内の水素濃度	—	可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	主要パラメータの手摘 原子炉格納容器内水素処理装置風度 格納容器水素イグナイト温度	可搬型	アニュラス部の水素濃度	—	可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	主要パラメータの手摘	可搬型	
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 ^{*1, *2}	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計装が同種となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型																																																													
原子炉格納容器内の水位	—	圧力抑制室水位 ¹⁾	主要パラメータの他チャンネル熱圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系3系格納容器冷却ライン洗浄流量) 蒸気駆動低圧注水系ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧中心スプレイ系ポンプ出口流量 原子炉格納容器代替スプレイ流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設																																																													
		—	原子炉格納容器下部水位	主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系3系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設																																																												
		—	ドライケル水位	主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系3系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設																																																												
原子炉格納容器内の水素濃度	—	格納容器内雰囲気気水素濃度 (D/M)	主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度	常設																																																													
		格納容器内雰囲気気水素濃度	主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度	常設																																																													
		格納容器内雰囲気気水素濃度	主要パラメータの他チャンネル格納容器内水素濃度 (D/M) 格納容器内水素濃度 (S/C)	常設																																																													
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 ^{*1, *2}	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計装が同種となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型																																																													
原子炉格納容器内の水位	—	(格納容器再循環サンプ水位 (広域))	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	主要パラメータの他チャンネル格納容器再循環サンプ水位 (広域) 原子炉下部キャビティ水位 格納容器水位 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	常設																																																												
		(格納容器再循環サンプ水位 (狭域))	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																												
		—	原子炉下部キャビティ水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	常設																																																												
		—	格納容器水位	燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	常設																																																												
原子炉格納容器内の水素濃度	—	可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	主要パラメータの手摘 原子炉格納容器内水素処理装置風度 格納容器水素イグナイト温度	可搬型																																																													
アニュラス部の水素濃度	—	可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	主要パラメータの手摘	可搬型																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																										
<p>(第58条) 計装設備 (6/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設 可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>(格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C) (格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C)</td> <td>格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W) 格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>本機界の維持又は監視</td> <td>起動循環モニタ 平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタ) 起動循環モニタ</td> <td>起動循環モニタ 平均出力領域モニタ 主要パラメータの他チャンネル 起動循環モニタ</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 平均出力領域モニタ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却系)</td> <td>—</td> <td>サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>主要パラメータの他 圧力制御室内空気温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>サブプレッションプール水温度</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記※1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 ※2：() 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型	原子炉格納容器内の放射線量率	(格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C) (格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C)	格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W) 格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)	主要パラメータの他チャンネル	常設	本機界の維持又は監視	起動循環モニタ 平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタ) 起動循環モニタ	起動循環モニタ 平均出力領域モニタ 主要パラメータの他チャンネル 起動循環モニタ	主要パラメータの他チャンネル 平均出力領域モニタ	常設	最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却系)	—	サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度	主要パラメータの他 圧力制御室内空気温度	常設	—	—	サブプレッションプール水温度	常設	<p>(第58条) 計装設備 (7/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設 可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力高がし装置)</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>フィルタ装置入口圧力 (広帯域)</td> <td>フィルタ装置入口圧力 ドライウェル圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>フィルタ装置出口圧力 (広帯域)</td> <td>フィルタ装置出口圧力 ドライウェル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>フィルタ装置流量</td> <td>フィルタ装置流量</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント系)</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>耐圧強化バント系放射線モニタ</td> <td>主要パラメータの他チャンネル</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系)</td> <td>(残留熱除去系熱交換器入口温度)</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>原子炉圧力容器温度 サブプレッションプール水温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(残留熱除去系熱交換器出口温度)</td> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度 原子炉補機冷却水系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保 (圧力制御系)</td> <td>(残留熱除去系ポンプ出口流量)</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>圧力制御室水位 残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記※1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 ※2：() 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型	最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力高がし装置)	残留熱除去系熱交換器入口温度	フィルタ装置入口圧力 (広帯域)	フィルタ装置入口圧力 ドライウェル圧力	常設	残留熱除去系熱交換器出口温度	フィルタ装置出口圧力 (広帯域)	フィルタ装置出口圧力 ドライウェル圧力 圧力制御室圧力	常設	残留熱除去系ポンプ出口流量	フィルタ装置流量	フィルタ装置流量	常設	—	フィルタ装置出口放射線モニタ	フィルタ装置出口放射線モニタ	常設	最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント系)	残留熱除去系熱交換器入口温度	耐圧強化バント系放射線モニタ	主要パラメータの他チャンネル	常設	残留熱除去系熱交換器出口温度	—	—	—	最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系)	(残留熱除去系熱交換器入口温度)	残留熱除去系熱交換器入口温度	原子炉圧力容器温度 サブプレッションプール水温度	常設	(残留熱除去系熱交換器出口温度)	残留熱除去系熱交換器出口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度 原子炉補機冷却水系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	常設	最終ヒートシンクの確保 (圧力制御系)	(残留熱除去系ポンプ出口流量)	残留熱除去系ポンプ出口流量	圧力制御室水位 残留熱除去系ポンプ出口圧力	常設	—	—	—	—	<p>(第58条) 計装設備 (5/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設 可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>(格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)) (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ))</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">本機界の維持又は監視</td> <td>(出力領域中性子束)</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 1次冷却材温度 (広域-高範囲) 1次冷却材温度 (広域-低範囲) ほうげんタンク水位</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(中間領域中性子束)</td> <td>中間領域中性子束</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 出力領域中性子束 中性子層領域中性子束 ほうげんタンク水位</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(中性子層領域中性子束)</td> <td>中性子層領域中性子束</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 ほうげんタンク水位</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記※1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 ※2：() 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型	原子炉格納容器内の放射線量率	(格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)) (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ))	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	常設	本機界の維持又は監視	(出力領域中性子束)	出力領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 1次冷却材温度 (広域-高範囲) 1次冷却材温度 (広域-低範囲) ほうげんタンク水位	常設	(中間領域中性子束)	中間領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 出力領域中性子束 中性子層領域中性子束 ほうげんタンク水位	常設	(中性子層領域中性子束)	中性子層領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 ほうげんタンク水位	常設	<p>(第58条) 計装設備 (6/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設 可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>(原子炉格納容器圧力)</td> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(原子炉補機冷却水サージタンク水位)</td> <td>原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)</td> <td>—</td> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)</td> <td>主要パラメータの子備 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力*1</td> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>—</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 又はループ 1次冷却材温度 (広域-低範囲) 1次冷却材温度 (広域-高範囲)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)*2</td> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>—</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-低範囲) 1次冷却材温度 (広域-高範囲)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>—</td> <td>蒸気発生器水位 (狭域) 1次冷却材温度 (広域-低範囲) 1次冷却材温度 (広域-高範囲)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(補助給水流量)</td> <td>補助給水流量</td> <td>補助給水流量</td> <td>補助給水ピント水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記※1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 ※2：() 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。 ※3：常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>	機能	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型	最終ヒートシンクの確保	(原子炉格納容器圧力)	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度	常設	(原子炉補機冷却水サージタンク水位)	原子炉補機冷却水サージタンク水位	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	常設	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	—	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	可搬型	—	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	主要パラメータの子備 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力	可搬型	主蒸気ライン圧力*1	主蒸気ライン圧力	—	主要パラメータの他チャンネル 又はループ 1次冷却材温度 (広域-低範囲) 1次冷却材温度 (広域-高範囲)	常設	蒸気発生器水位 (狭域)*2	蒸気発生器水位 (狭域)	—	主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-低範囲) 1次冷却材温度 (広域-高範囲)	常設	蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (広域)	—	蒸気発生器水位 (狭域) 1次冷却材温度 (広域-低範囲) 1次冷却材温度 (広域-高範囲)	常設	(補助給水流量)	補助給水流量	補助給水流量	補助給水ピント水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域)	常設
機能	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型																																																																																																																																									
原子炉格納容器内の放射線量率	(格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C) (格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C)	格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W) 格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)	主要パラメータの他チャンネル	常設																																																																																																																																									
本機界の維持又は監視	起動循環モニタ 平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタ) 起動循環モニタ	起動循環モニタ 平均出力領域モニタ 主要パラメータの他チャンネル 起動循環モニタ	主要パラメータの他チャンネル 平均出力領域モニタ	常設																																																																																																																																									
最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却系)	—	サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度	主要パラメータの他 圧力制御室内空気温度	常設																																																																																																																																									
	—	—	サブプレッションプール水温度	常設																																																																																																																																									
機能	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型																																																																																																																																									
最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力高がし装置)	残留熱除去系熱交換器入口温度	フィルタ装置入口圧力 (広帯域)	フィルタ装置入口圧力 ドライウェル圧力	常設																																																																																																																																									
	残留熱除去系熱交換器出口温度	フィルタ装置出口圧力 (広帯域)	フィルタ装置出口圧力 ドライウェル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																																																																																									
	残留熱除去系ポンプ出口流量	フィルタ装置流量	フィルタ装置流量	常設																																																																																																																																									
	—	フィルタ装置出口放射線モニタ	フィルタ装置出口放射線モニタ	常設																																																																																																																																									
最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント系)	残留熱除去系熱交換器入口温度	耐圧強化バント系放射線モニタ	主要パラメータの他チャンネル	常設																																																																																																																																									
	残留熱除去系熱交換器出口温度	—	—	—																																																																																																																																									
最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系)	(残留熱除去系熱交換器入口温度)	残留熱除去系熱交換器入口温度	原子炉圧力容器温度 サブプレッションプール水温度	常設																																																																																																																																									
	(残留熱除去系熱交換器出口温度)	残留熱除去系熱交換器出口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度 原子炉補機冷却水系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	常設																																																																																																																																									
最終ヒートシンクの確保 (圧力制御系)	(残留熱除去系ポンプ出口流量)	残留熱除去系ポンプ出口流量	圧力制御室水位 残留熱除去系ポンプ出口圧力	常設																																																																																																																																									
	—	—	—	—																																																																																																																																									
機能	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型																																																																																																																																									
原子炉格納容器内の放射線量率	(格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)) (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ))	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	常設																																																																																																																																									
本機界の維持又は監視	(出力領域中性子束)	出力領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 1次冷却材温度 (広域-高範囲) 1次冷却材温度 (広域-低範囲) ほうげんタンク水位	常設																																																																																																																																									
	(中間領域中性子束)	中間領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 出力領域中性子束 中性子層領域中性子束 ほうげんタンク水位	常設																																																																																																																																									
(中性子層領域中性子束)	中性子層領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 ほうげんタンク水位	常設																																																																																																																																										
機能	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型																																																																																																																																									
最終ヒートシンクの確保	(原子炉格納容器圧力)	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度	常設																																																																																																																																									
	(原子炉補機冷却水サージタンク水位)	原子炉補機冷却水サージタンク水位	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	常設																																																																																																																																									
	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	—	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	可搬型																																																																																																																																									
	—	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	主要パラメータの子備 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力	可搬型																																																																																																																																									
主蒸気ライン圧力*1	主蒸気ライン圧力	—	主要パラメータの他チャンネル 又はループ 1次冷却材温度 (広域-低範囲) 1次冷却材温度 (広域-高範囲)	常設																																																																																																																																									
蒸気発生器水位 (狭域)*2	蒸気発生器水位 (狭域)	—	主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-低範囲) 1次冷却材温度 (広域-高範囲)	常設																																																																																																																																									
蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (広域)	—	蒸気発生器水位 (狭域) 1次冷却材温度 (広域-低範囲) 1次冷却材温度 (広域-高範囲)	常設																																																																																																																																									
(補助給水流量)	補助給水流量	補助給水流量	補助給水ピント水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域)	常設																																																																																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																						
<p>(第50条) 計装設備 (10/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設 可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋内の水素濃度</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋内水素濃度</td> <td>主要パラメータの塩化チタンセル特約細目式水素再結合装置動作監視装置</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の酸素濃度</td> <td>(格納容器内雰囲気酸素濃度)</td> <td>格納容器内雰囲気酸素濃度</td> <td>主要パラメータの塩化チタンセル特約細目式酸素放射線モニタ (O₂/%) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) ドライウェル圧力 圧力制御圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">使用済燃料プールの監視</td> <td>使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール水温度</td> <td>使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式)</td> <td>使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール水温度 燃料貯蔵プール放射線モニタ</td> <td>使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式)</td> <td>使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール放射線モニタ</td> <td>使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式)</td> <td>使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール水温度</td> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>—</td> <td>常設 (可搬型)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2: () 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型	原子炉建屋内の水素濃度	—	原子炉建屋内水素濃度	主要パラメータの塩化チタンセル特約細目式水素再結合装置動作監視装置	常設	原子炉格納容器内の酸素濃度	(格納容器内雰囲気酸素濃度)	格納容器内雰囲気酸素濃度	主要パラメータの塩化チタンセル特約細目式酸素放射線モニタ (O ₂ /%) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) ドライウェル圧力 圧力制御圧力	常設	使用済燃料プールの監視	使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール水温度	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式)	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ	常設	使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール水温度 燃料貯蔵プール放射線モニタ	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式)	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ	常設	使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール放射線モニタ	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式)	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 使用済燃料プール監視カメラ	常設	使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール水温度	使用済燃料プール監視カメラ	—	常設 (可搬型)	<p>(第56条) 計装設備 (11/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>常設 可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発電所内の通信連絡</td> <td>(安全パラメータ表示システム (S P D S))</td> <td>安全パラメータ表示システム (S P D S)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>温度、圧力、水位、注水量の計測・監視</td> <td>各計器</td> <td>可搬型計測器</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">その他**</td> <td>(6-2D 母線電圧)</td> <td>0-2C 母線電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(6-2D 母線電圧)</td> <td>0-2D 母線電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(6-2B 母線電圧)</td> <td>0-2B 母線電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(4-2C 母線電圧)</td> <td>4-2C 母線電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(4-2D 母線電圧)</td> <td>4-2D 母線電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>6-2C 母線電圧</td> <td>6-2F-1 母線電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> <td>6-2F-2 母線電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>6-2B 母線電圧</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(125V 高圧主母線 2A 電圧)</td> <td>125V 高圧主母線 2A 電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(125V 高圧主母線 2B 電圧)</td> <td>125V 高圧主母線 2B 電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(HPCS125V 高圧主母線電圧)</td> <td>HPCS125V 高圧主母線電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>125V 高圧主母線 2A 電圧</td> <td>125V 高圧主母線 2A-1 電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>125V 高圧主母線 2B 電圧</td> <td>125V 高圧主母線 2B-1 電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(250V 高圧主母線電圧)</td> <td>250V 高圧主母線電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(高圧空室ガス供給系 ADS 入口圧力)</td> <td>高圧空室ガス供給系 ADS 入口圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(高圧空室ガス供給系 ADS 入口圧力)</td> <td>代替高圧空室ガス供給系空室ガス供給止め弁入口圧力</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2: () 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。 *3: 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	常設 可搬型	発電所内の通信連絡	(安全パラメータ表示システム (S P D S))	安全パラメータ表示システム (S P D S)	常設	温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	各計器	可搬型計測器	可搬型	その他**	(6-2D 母線電圧)	0-2C 母線電圧	常設	(6-2D 母線電圧)	0-2D 母線電圧	常設	(6-2B 母線電圧)	0-2B 母線電圧	常設	(4-2C 母線電圧)	4-2C 母線電圧	常設	(4-2D 母線電圧)	4-2D 母線電圧	常設	6-2C 母線電圧	6-2F-1 母線電圧	常設	6-2D 母線電圧	6-2F-2 母線電圧	常設	6-2B 母線電圧	—	—	(125V 高圧主母線 2A 電圧)	125V 高圧主母線 2A 電圧	常設	(125V 高圧主母線 2B 電圧)	125V 高圧主母線 2B 電圧	常設	(HPCS125V 高圧主母線電圧)	HPCS125V 高圧主母線電圧	常設	125V 高圧主母線 2A 電圧	125V 高圧主母線 2A-1 電圧	常設	125V 高圧主母線 2B 電圧	125V 高圧主母線 2B-1 電圧	常設	(250V 高圧主母線電圧)	250V 高圧主母線電圧	常設	(高圧空室ガス供給系 ADS 入口圧力)	高圧空室ガス供給系 ADS 入口圧力	常設	(高圧空室ガス供給系 ADS 入口圧力)	代替高圧空室ガス供給系空室ガス供給止め弁入口圧力	常設	<p>(第58条) 計装設備 (9/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設 可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">使用済燃料ピットの監視</td> <td>使用済燃料ピット水位</td> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用)</td> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位</td> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>主要パラメータの予備 使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度</td> <td>使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピットエアリアモニタ</td> <td>使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ</td> <td>主要パラメータの予備 使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>使用済燃料ピット監視カメラ (使用済燃料ピット空室装置**を含む。)</td> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ</td> <td>常設 (可搬型)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2: () 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。 *3: 使用済燃料ピット監視カメラ空室装置は可搬型重大事故等対処設備。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット水位 (AM用)	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラ	常設	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	主要パラメータの予備 使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラ	可搬型	使用済燃料ピット温度	使用済燃料ピット温度 (AM用)	使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ	常設	使用済燃料ピットエアリアモニタ	使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ	主要パラメータの予備 使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ	可搬型	—	使用済燃料ピット監視カメラ (使用済燃料ピット空室装置**を含む。)	使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ	常設 (可搬型)	<p>(第58条) 計装設備 (10/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>常設 可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発電所の通信連絡</td> <td>—</td> <td>データ伝送設備 (発電所内)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>温度、圧力、水位、注水量の計測・監視</td> <td>各計器</td> <td>可搬型計測器</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">その他**</td> <td>(6-A, B母線電圧)</td> <td>6-A, B母線電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(A, B-1直流コントロールセンタ母線電圧)</td> <td>A, B-1直流コントロールセンタ母線電圧</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> <td>A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> <td>A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2: () 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。 *3: 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	常設 可搬型	発電所の通信連絡	—	データ伝送設備 (発電所内)	常設	温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	各計器	可搬型計測器	可搬型	その他**	(6-A, B母線電圧)	6-A, B母線電圧	常設	(A, B-1直流コントロールセンタ母線電圧)	A, B-1直流コントロールセンタ母線電圧	常設	A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)	常設	A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	常設	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	常設	原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	常設
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型																																																																																																																																																					
原子炉建屋内の水素濃度	—	原子炉建屋内水素濃度	主要パラメータの塩化チタンセル特約細目式水素再結合装置動作監視装置	常設																																																																																																																																																					
原子炉格納容器内の酸素濃度	(格納容器内雰囲気酸素濃度)	格納容器内雰囲気酸素濃度	主要パラメータの塩化チタンセル特約細目式酸素放射線モニタ (O ₂ /%) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) ドライウェル圧力 圧力制御圧力	常設																																																																																																																																																					
使用済燃料プールの監視	使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール水温度	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式)	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ	常設																																																																																																																																																					
	使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール水温度 燃料貯蔵プール放射線モニタ	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式)	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ	常設																																																																																																																																																					
	使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール放射線モニタ	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式)	使用済燃料プール水位 / 温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 使用済燃料プール監視カメラ	常設																																																																																																																																																					
	使用済燃料プール水位 / 温度 (ガイドバルブ式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール水温度	使用済燃料プール監視カメラ	—	常設 (可搬型)																																																																																																																																																					
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	常設 可搬型																																																																																																																																																						
発電所内の通信連絡	(安全パラメータ表示システム (S P D S))	安全パラメータ表示システム (S P D S)	常設																																																																																																																																																						
温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	各計器	可搬型計測器	可搬型																																																																																																																																																						
その他**	(6-2D 母線電圧)	0-2C 母線電圧	常設																																																																																																																																																						
	(6-2D 母線電圧)	0-2D 母線電圧	常設																																																																																																																																																						
	(6-2B 母線電圧)	0-2B 母線電圧	常設																																																																																																																																																						
	(4-2C 母線電圧)	4-2C 母線電圧	常設																																																																																																																																																						
	(4-2D 母線電圧)	4-2D 母線電圧	常設																																																																																																																																																						
	6-2C 母線電圧	6-2F-1 母線電圧	常設																																																																																																																																																						
	6-2D 母線電圧	6-2F-2 母線電圧	常設																																																																																																																																																						
	6-2B 母線電圧	—	—																																																																																																																																																						
	(125V 高圧主母線 2A 電圧)	125V 高圧主母線 2A 電圧	常設																																																																																																																																																						
	(125V 高圧主母線 2B 電圧)	125V 高圧主母線 2B 電圧	常設																																																																																																																																																						
	(HPCS125V 高圧主母線電圧)	HPCS125V 高圧主母線電圧	常設																																																																																																																																																						
	125V 高圧主母線 2A 電圧	125V 高圧主母線 2A-1 電圧	常設																																																																																																																																																						
125V 高圧主母線 2B 電圧	125V 高圧主母線 2B-1 電圧	常設																																																																																																																																																							
(250V 高圧主母線電圧)	250V 高圧主母線電圧	常設																																																																																																																																																							
(高圧空室ガス供給系 ADS 入口圧力)	高圧空室ガス供給系 ADS 入口圧力	常設																																																																																																																																																							
(高圧空室ガス供給系 ADS 入口圧力)	代替高圧空室ガス供給系空室ガス供給止め弁入口圧力	常設																																																																																																																																																							
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設 可搬型																																																																																																																																																					
使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット水位 (AM用)	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラ	常設																																																																																																																																																					
	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	主要パラメータの予備 使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラ	可搬型																																																																																																																																																					
	使用済燃料ピット温度	使用済燃料ピット温度 (AM用)	使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ	常設																																																																																																																																																					
	使用済燃料ピットエアリアモニタ	使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ	主要パラメータの予備 使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ	可搬型																																																																																																																																																					
	—	使用済燃料ピット監視カメラ (使用済燃料ピット空室装置**を含む。)	使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ	常設 (可搬型)																																																																																																																																																					
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	常設 可搬型																																																																																																																																																						
発電所の通信連絡	—	データ伝送設備 (発電所内)	常設																																																																																																																																																						
温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	各計器	可搬型計測器	可搬型																																																																																																																																																						
その他**	(6-A, B母線電圧)	6-A, B母線電圧	常設																																																																																																																																																						
	(A, B-1直流コントロールセンタ母線電圧)	A, B-1直流コントロールセンタ母線電圧	常設																																																																																																																																																						
	A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)	常設																																																																																																																																																						
	A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	常設																																																																																																																																																						
	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	常設																																																																																																																																																						
原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	常設																																																																																																																																																							

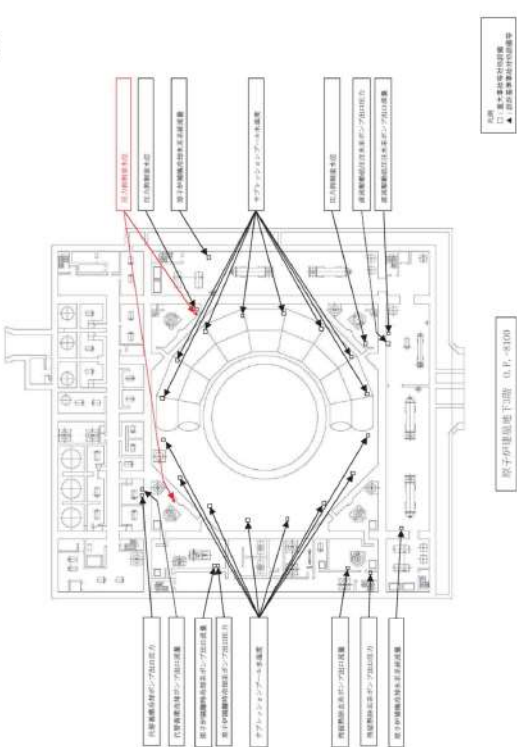
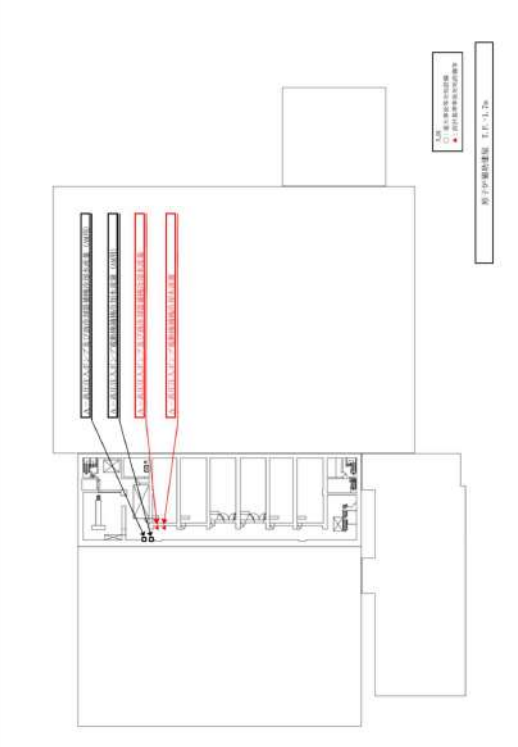
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																											
	<p style="text-align: center;">添付資料1</p> <p>設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所について</p> <p>設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所を表1及び図1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所</p> <table border="1" data-bbox="674 416 1223 863"> <thead> <tr> <th>計装設備</th> <th>個数</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器温度*</td> <td>14</td> <td>原子炉格納容器内 【図1(3/7)、(4/7)、(5/7)】</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル温度</td> <td>40</td> <td>原子炉格納容器内 【図1(2/7)、(3/7)、(4/7)、(5/7)】</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル圧力</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上2階 【図1(5/7)】</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室圧力</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下1階 【図1(3/7)】</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下3階 【図1(1/7)】</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵プール水位</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上1階 【図1(4/7)】</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵プール水温度</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】</td> </tr> <tr> <td>燃料交換フロア放射線モニタ</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉機排気放射線モニタ</td> <td>4</td> <td>原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】</td> </tr> <tr> <td>燃料取替エリア放射線モニタ</td> <td>4</td> <td>原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】</td> </tr> </tbody> </table> <p>*：一部の計装設備は異なる高さ方向に複数の検出器を設置</p>	計装設備	個数	設置場所	原子炉圧力容器温度*	14	原子炉格納容器内 【図1(3/7)、(4/7)、(5/7)】	ドライウェル温度	40	原子炉格納容器内 【図1(2/7)、(3/7)、(4/7)、(5/7)】	ドライウェル圧力	2	原子炉建屋地上2階 【図1(5/7)】	圧力抑制室圧力	2	原子炉建屋地下1階 【図1(3/7)】	圧力抑制室水位	2	原子炉建屋地下3階 【図1(1/7)】	燃料貯蔵プール水位	1	原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】	燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度	1	原子炉建屋地上1階 【図1(4/7)】	燃料貯蔵プール水温度	1	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】	燃料交換フロア放射線モニタ	1	原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】	原子炉建屋原子炉機排気放射線モニタ	4	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】	燃料取替エリア放射線モニタ	4	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】	<p style="text-align: center;">添付資料1</p> <p>設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所について</p> <p>設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所を第1表及び第1図に示す。</p> <p style="text-align: center;">第1表 設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所</p> <table border="1" data-bbox="1256 395 1809 943"> <thead> <tr> <th>計装設備</th> <th>個数</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> <td>1</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> <td>1</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td>4</td> <td>周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>2</td> <td>周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内 【第1図(5/9)】</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>6</td> <td>周辺補機棟 T.P. 33.1m 【第1図(7/9)】</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>2</td> <td>周辺補機棟 T.P. 17.8m 【第1図(5/9)】</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>6</td> <td>原子炉格納容器内 【第1図(6/9)】</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)</td> <td>1</td> <td>周辺補機棟 T.P. 43.6m 【第1図(9/9)】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟 【第1図(7/9)】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟 【第1図(7/9)】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピットエアモニタ</td> <td>1</td> <td>燃料取扱棟 【第1図(7/9)】</td> </tr> </tbody> </table>	計装設備	個数	設置場所	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	1	原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	1	原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	4	周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】	原子炉補機冷却水供給母管流量	2	周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】	加圧器水位	2	原子炉格納容器内 【第1図(5/9)】	主蒸気ライン圧力	6	周辺補機棟 T.P. 33.1m 【第1図(7/9)】	原子炉格納容器圧力	2	周辺補機棟 T.P. 17.8m 【第1図(5/9)】	蒸気発生器水位 (狭域)	6	原子炉格納容器内 【第1図(6/9)】	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	1	周辺補機棟 T.P. 43.6m 【第1図(9/9)】	使用済燃料ピット水位	2	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】	使用済燃料ピット温度	2	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】	使用済燃料ピットエアモニタ	1	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】	<p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。
計装設備	個数	設置場所																																																																												
原子炉圧力容器温度*	14	原子炉格納容器内 【図1(3/7)、(4/7)、(5/7)】																																																																												
ドライウェル温度	40	原子炉格納容器内 【図1(2/7)、(3/7)、(4/7)、(5/7)】																																																																												
ドライウェル圧力	2	原子炉建屋地上2階 【図1(5/7)】																																																																												
圧力抑制室圧力	2	原子炉建屋地下1階 【図1(3/7)】																																																																												
圧力抑制室水位	2	原子炉建屋地下3階 【図1(1/7)】																																																																												
燃料貯蔵プール水位	1	原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】																																																																												
燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度	1	原子炉建屋地上1階 【図1(4/7)】																																																																												
燃料貯蔵プール水温度	1	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】																																																																												
燃料交換フロア放射線モニタ	1	原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】																																																																												
原子炉建屋原子炉機排気放射線モニタ	4	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】																																																																												
燃料取替エリア放射線モニタ	4	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】																																																																												
計装設備	個数	設置場所																																																																												
A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	1	原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】																																																																												
A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	1	原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】																																																																												
原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	4	周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】																																																																												
原子炉補機冷却水供給母管流量	2	周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】																																																																												
加圧器水位	2	原子炉格納容器内 【第1図(5/9)】																																																																												
主蒸気ライン圧力	6	周辺補機棟 T.P. 33.1m 【第1図(7/9)】																																																																												
原子炉格納容器圧力	2	周辺補機棟 T.P. 17.8m 【第1図(5/9)】																																																																												
蒸気発生器水位 (狭域)	6	原子炉格納容器内 【第1図(6/9)】																																																																												
原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	1	周辺補機棟 T.P. 43.6m 【第1図(9/9)】																																																																												
使用済燃料ピット水位	2	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】																																																																												
使用済燃料ピット温度	2	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】																																																																												
使用済燃料ピットエアモニタ	1	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】																																																																												

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	 <p>図 1 配置図 (1/7)</p>	 <p>第 1 図 配置図 (1/9)</p>	<p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同図において同じ

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	<p>図 1 配置図 (2/F)</p>	<p>第 1 図 配置図 (2/F)</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図1 配置図 (3/7) 原子炉建屋地下階 0.F.4000</p>	<p>第1図 配置図 (3/9)</p>	

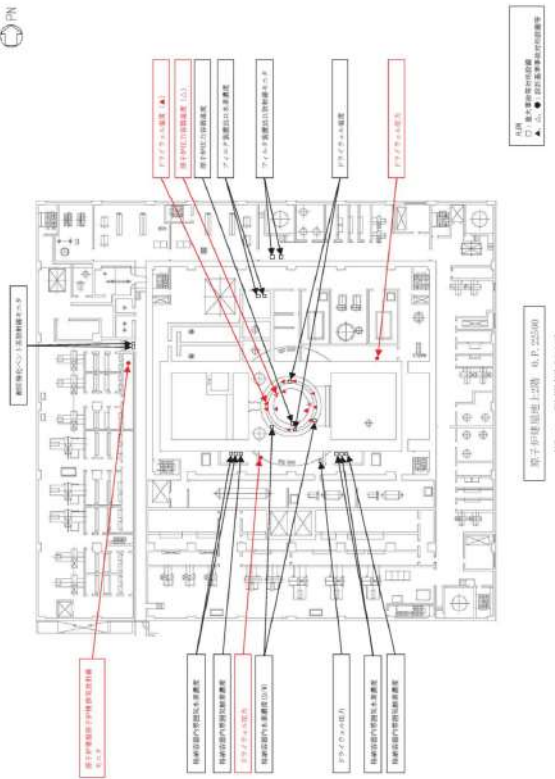
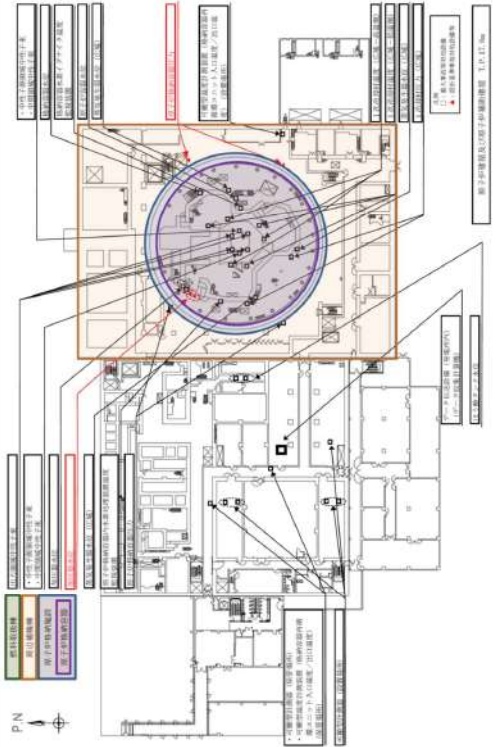
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	<p>図 1 配設図 (4/7)</p>	<p>第 1 図 配設図 (4/9)</p>	

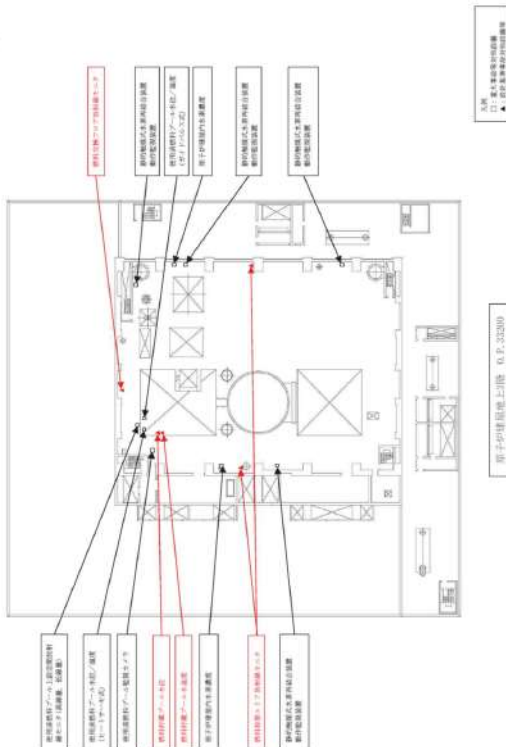
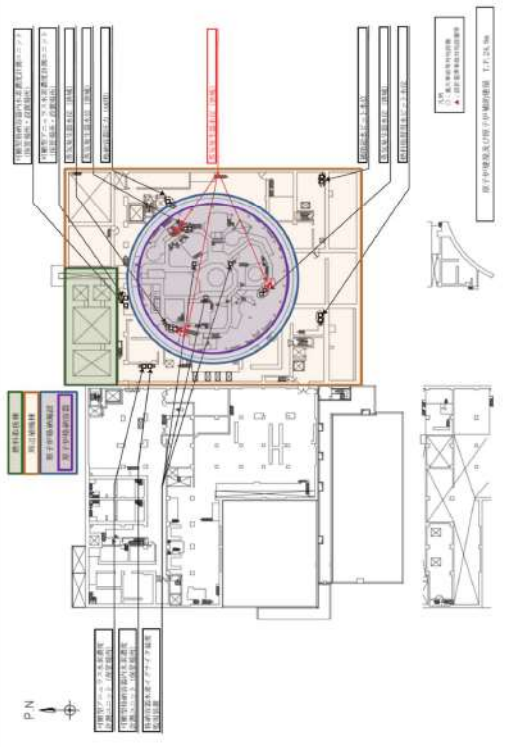
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図1 配置図 (5/7)</p>	 <p>第1図 配置図 (5/9)</p>	

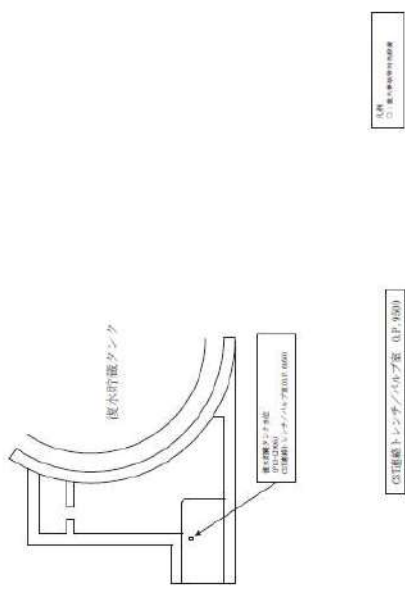
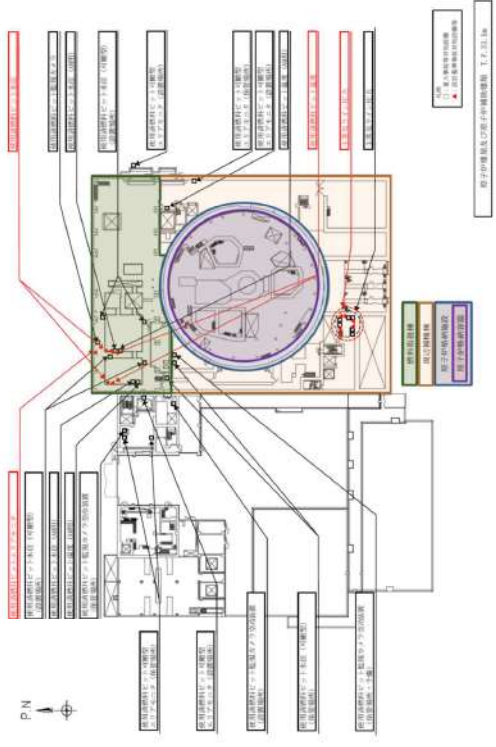
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	 <p>図 1 配置図 (6.7)</p>	 <p>第 1 図 配置図 (6.9)</p>	

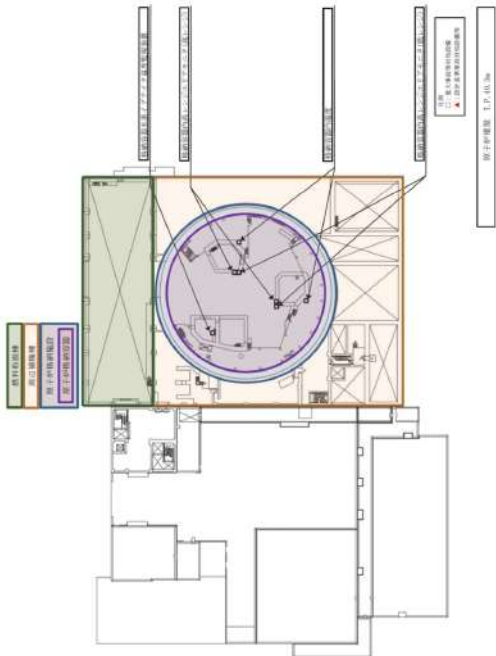
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>後小計電タンク</p> <p>後小計電タンク 後小計電タンク 後小計電タンク</p> <p>図1 配管図(7/7)</p>	 <p>図1 配管図(7/9)</p>	

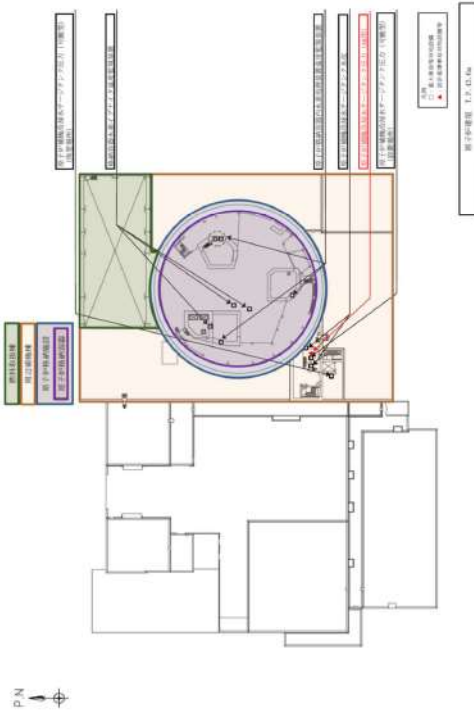
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p>第 1 図 配管図 (8/9)</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>第1図 配置図 (9/9)</p>	

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	SA59H-9 r.13.0
提出年月日	令和5年10月31日

泊発電所3号炉

設置許可基準規則等への適合状況について
(重大事故等対処設備)
補足説明資料
比較表

59条

令和5年10月
北海道電力株式会社

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 原子炉制御室等（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>59条 59-1 SA設備基準適合性一覧表 59-2 配置図</p> <p>59-3 アクセスルート</p> <p>59-4 試験・検査説明資料 59-5 系統図</p> <p>59-6 (欠番) 59-7 SAバウンダリ系統図(参考)</p>	<p>59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</p> <p>目次</p> <p>59-1 SA設備基準適合性一覧表 59-3 配置図 59-7 保管場所図</p> <p>59-5 試験及び検査 59-4 系統図 59-6 容量設定根拠</p>	<p>59条 59-1 SA設備基準適合性一覧表 59-2 配置図</p> <p>59-3 試験・検査説明資料 59-4 系統図 59-5 容量設定根拠</p>	<p>【女川・大飯】資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川とは資料の順序が異なるが、内容は同等である。 ・大飯との資料順序も異なる。 ・比較のため、次ページ以降は本ページに記載の順序で掲載する。 <p>【女川】資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では保管場所図を配置図に含めている。 <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、アクセスルート図は技術的能力1.0.2にて整理している。 <p>【大飯】資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯では「SAバウンダリ系統図」として示しているが、内容としては泊では「系統図」として記載している内容と同等であるため、作成していない。
<p>59-8 大飯3号炉および4号炉 原子炉制御室等（被ばく評価除く）について</p>	<p>59-8 原子炉制御室について（被ばく評価除く）</p>	<p>59-6 原子炉制御室等（被ばく評価除く）について</p>	<p>本資料については26条と共通の内容であり、26条で比較表を作成している。</p>
<p>59-9 大飯発電所3号炉及び4号炉 原子炉制御室の居住性に係る被ばく評価について</p> <p>59-10 大飯発電所3号炉及び4号炉 原子炉制御室等について</p>	<p>59-9 原子炉制御室の居住性に係る被ばく評価について</p> <p>59-2 単線結線図 59-10 非常用ガス処理系に流入するガスの水素濃度について 59-11 非常用ガス処理系の系統内における水素爆発防止について 59-12 原子炉建屋ブローアウトパネル及び原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置について</p>	<p>59-7 原子炉制御室の居住性に係る被ばく評価について</p> <p>59-8 単線結線図</p>	<p>【大飯】資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は59-8と59-9の補足的な事項を59-10として添付しているが、泊は女川同様59-6、59-7それぞれに添付している。 <p>②の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これらの資料はBWR特有の設備についての説明資料であるため、泊では作成していない。また、これらの資料は比較表への掲載も行わない。 ・水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備(53条)でもあるアンユラス空気浄化設備の水素対策については53条で説明する。

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
59-1 SA 設備基準適合性 一覧表	59-1 SA 設備基準適合性 一覧表	59-1 SA設備 基準適合性一覧表	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																	
	女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表（常設）																																																																																																																																																																																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">女川原子力発電所2号炉</th> <th style="width: 30%;">相違点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1号炉</td> <td>運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td>中央制御室の運用者</td> <td>相違点なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">第1号炉</td> <td>構造設備・配管・圧力 （燃料の圧縮・冷却機）</td> <td>その他の建設内</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>床盤</td> <td>（床盤に構造を参照する）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>床木</td> <td>（床木を透かししない）</td> <td>可処分</td> </tr> <tr> <td>燃料室からの排煙</td> <td>（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料室の排煙</td> <td>（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料室の排煙</td> <td>（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料室の排煙</td> <td>（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料室の排煙</td> <td>（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料室の排煙</td> <td>（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料室の排煙</td> <td>（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2号炉</td> <td>操作性</td> <td>操作手楽</td> <td>可処分</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第3号炉</td> <td>操作性</td> <td>操作手楽</td> <td>可処分</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第4号炉</td> <td>操作性</td> <td>操作手楽</td> <td>可処分</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第5号炉</td> <td>操作性</td> <td>操作手楽</td> <td>可処分</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第6号炉</td> <td>操作性</td> <td>操作手楽</td> <td>可処分</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		項目	女川原子力発電所2号炉	相違点	第1号炉	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	中央制御室の運用者	相違点なし	第1号炉	構造設備・配管・圧力 （燃料の圧縮・冷却機）	その他の建設内	○	床盤	（床盤に構造を参照する）	—	床木	（床木を透かししない）	可処分	燃料室からの排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—	燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—	燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—	燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—	燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—	燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—	燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—	第2号炉	操作性	操作手楽	可処分	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	第3号炉	操作性	操作手楽	可処分	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	第4号炉	操作性	操作手楽	可処分	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	第5号炉	操作性	操作手楽	可処分	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	第6号炉	操作性	操作手楽	可処分	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	防護設備	—	—	①の相違
項目	女川原子力発電所2号炉	相違点																																																																																																																																																																																																		
第1号炉	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	中央制御室の運用者	相違点なし																																																																																																																																																																																																	
	第1号炉	構造設備・配管・圧力 （燃料の圧縮・冷却機）	その他の建設内	○																																																																																																																																																																																																
		床盤	（床盤に構造を参照する）	—																																																																																																																																																																																																
		床木	（床木を透かししない）	可処分																																																																																																																																																																																																
		燃料室からの排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—																																																																																																																																																																																																
		燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—																																																																																																																																																																																																
	燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—																																																																																																																																																																																																	
	燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—																																																																																																																																																																																																	
	燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—																																																																																																																																																																																																	
	燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—																																																																																																																																																																																																	
燃料室の排煙	（燃料室からの排煙室）より排煙をしようがれない	—																																																																																																																																																																																																		
第2号炉	操作性	操作手楽	可処分																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
第3号炉	操作性	操作手楽	可処分																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
第4号炉	操作性	操作手楽	可処分																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
第5号炉	操作性	操作手楽	可処分																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
第6号炉	操作性	操作手楽	可処分																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	
	防護設備	—	—																																																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																																																						
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2 号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">第 59 条：運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>基準適合設備 (固定型)</th> <th>設備区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第 1 号</td> <td rowspan="10">環境条件・風雪・圧力 / 屋外の天候・放射線</td> <td>その他の建物内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>居室</td> <td>(省電) 機能を解除する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>海水</td> <td>(海水を溜めしない)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>地震観測点の設置</td> <td>(地震観測点からの距離等により機能を失ふことがない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>(電磁波により機能が低下しない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>②-2 参照</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第 2 号</td> <td rowspan="3">操作性</td> <td>中央制御室操作</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>②-2 参照</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第 3 号</td> <td rowspan="3">試験・検査 (検査性、点検検査、外部入力)</td> <td>通信連絡設備</td> <td>M</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>②-3 試験及び検査</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第 4 号</td> <td rowspan="3">切替操作性</td> <td>本館の用途として使用一切が不要</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>②-4 参照</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第 5 号</td> <td rowspan="3">監視設備 その他 (機器類)</td> <td>同施設と同じ監視構成</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>②-2 参照</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第 6 号</td> <td rowspan="3">設置場所</td> <td>中央制御室操作</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>②-2 参照</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第 7 号</td> <td rowspan="3">事故 A の発生</td> <td>設計基準時毎施設の事故発生時機能の設置電圧十分</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>②-4 事故発生時機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第 8 号</td> <td rowspan="3">本館の停止</td> <td>(非用) (V 監視)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第 9 号</td> <td rowspan="3">環境条件、自然現象、人為事故、海水、火</td> <td>従来設備一貫 (放射線監視設備あり) 一帯内</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>対象 (サボ一ト監視)</td> <td>対象 (サボ一ト監視) 一帯内と監視電圧又は監視</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>②-2 監視設備、②-2 参照、②-4 参照</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	第 59 条：運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		基準適合設備 (固定型)	設備区分	第 1 号	環境条件・風雪・圧力 / 屋外の天候・放射線	その他の建物内	C	居室	(省電) 機能を解除する	—	海水	(海水を溜めしない)	対象外	地震観測点の設置	(地震観測点からの距離等により機能を失ふことがない)	—	電磁的障害	(電磁波により機能が低下しない)	—	閉鎖資料	②-2 参照	—	第 2 号	操作性	中央制御室操作	A	閉鎖資料	②-2 参照	—	閉鎖資料	—	—	第 3 号	試験・検査 (検査性、点検検査、外部入力)	通信連絡設備	M	閉鎖資料	②-3 試験及び検査	—	閉鎖資料	—	—	第 4 号	切替操作性	本館の用途として使用一切が不要	B	閉鎖資料	②-4 参照	—	閉鎖資料	—	—	第 5 号	監視設備 その他 (機器類)	同施設と同じ監視構成	A	対象外	対象外	閉鎖資料	②-2 参照	—	第 6 号	設置場所	中央制御室操作	B	閉鎖資料	②-2 参照	—	閉鎖資料	—	—	第 7 号	事故 A の発生	設計基準時毎施設の事故発生時機能の設置電圧十分	B	閉鎖資料	②-4 事故発生時機能	—	閉鎖資料	—	—	第 8 号	本館の停止	(非用) (V 監視)	—	閉鎖資料	—	—	閉鎖資料	—	—	第 9 号	環境条件、自然現象、人為事故、海水、火	従来設備一貫 (放射線監視設備あり) 一帯内	A	対象 (サボ一ト監視)	対象 (サボ一ト監視) 一帯内と監視電圧又は監視	C	閉鎖資料	②-2 監視設備、②-2 参照、②-4 参照	—		①の相違
第 59 条：運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		基準適合設備 (固定型)	設備区分																																																																																																						
第 1 号	環境条件・風雪・圧力 / 屋外の天候・放射線	その他の建物内	C																																																																																																						
		居室	(省電) 機能を解除する	—																																																																																																					
		海水	(海水を溜めしない)	対象外																																																																																																					
		地震観測点の設置	(地震観測点からの距離等により機能を失ふことがない)	—																																																																																																					
		電磁的障害	(電磁波により機能が低下しない)	—																																																																																																					
		閉鎖資料	②-2 参照	—																																																																																																					
		第 2 号	操作性	中央制御室操作	A																																																																																																				
				閉鎖資料	②-2 参照			—																																																																																																	
				閉鎖資料	—	—																																																																																																			
		第 3 号	試験・検査 (検査性、点検検査、外部入力)	通信連絡設備	M																																																																																																				
閉鎖資料	②-3 試験及び検査			—																																																																																																					
閉鎖資料	—			—																																																																																																					
第 4 号	切替操作性	本館の用途として使用一切が不要	B																																																																																																						
		閉鎖資料	②-4 参照	—																																																																																																					
		閉鎖資料	—	—																																																																																																					
第 5 号	監視設備 その他 (機器類)	同施設と同じ監視構成	A																																																																																																						
		対象外	対象外																																																																																																						
		閉鎖資料	②-2 参照	—																																																																																																					
第 6 号	設置場所	中央制御室操作	B																																																																																																						
		閉鎖資料	②-2 参照	—																																																																																																					
		閉鎖資料	—	—																																																																																																					
第 7 号	事故 A の発生	設計基準時毎施設の事故発生時機能の設置電圧十分	B																																																																																																						
		閉鎖資料	②-4 事故発生時機能	—																																																																																																					
		閉鎖資料	—	—																																																																																																					
第 8 号	本館の停止	(非用) (V 監視)	—																																																																																																						
		閉鎖資料	—	—																																																																																																					
		閉鎖資料	—	—																																																																																																					
第 9 号	環境条件、自然現象、人為事故、海水、火	従来設備一貫 (放射線監視設備あり) 一帯内	A																																																																																																						
		対象 (サボ一ト監視)	対象 (サボ一ト監視) 一帯内と監視電圧又は監視	C																																																																																																					
		閉鎖資料	②-2 監視設備、②-2 参照、②-4 参照	—																																																																																																					

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA 設備基準適合性一覧表（常設）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">第1号炉</th> <th colspan="2">第2号炉</th> <th colspan="2">第3号炉</th> <th colspan="2">第4号炉</th> <th colspan="2">第5号炉</th> <th colspan="2">第6号炉</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1号炉</td> <td>設備基準・運用・圧力・圧力の定規/燃料棒</td> <td>第2号炉</td> <td>その他の建物内</td> <td>第3号炉</td> <td>◎</td> <td>第4号炉</td> <td>◎</td> <td>第5号炉</td> <td>◎</td> <td>第6号炉</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>第1号炉</td> <td>設備</td> <td>第2号炉</td> <td>（設備）機器（全機）</td> <td>第3号炉</td> <td>—</td> <td>第4号炉</td> <td>—</td> <td>第5号炉</td> <td>—</td> <td>第6号炉</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>第1号炉</td> <td>圧力</td> <td>第2号炉</td> <td>（機軸）機軸（全機）</td> <td>第3号炉</td> <td>対象外</td> <td>第4号炉</td> <td>対象外</td> <td>第5号炉</td> <td>対象外</td> <td>第6号炉</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>第1号炉</td> <td>他の設備からの影響</td> <td>第2号炉</td> <td>（機軸）機軸（全機）</td> <td>第3号炉</td> <td>—</td> <td>第4号炉</td> <td>—</td> <td>第5号炉</td> <td>—</td> <td>第6号炉</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>第1号炉</td> <td>電線経路表</td> <td>第2号炉</td> <td>（機軸）機軸（全機）</td> <td>第3号炉</td> <td>—</td> <td>第4号炉</td> <td>—</td> <td>第5号炉</td> <td>—</td> <td>第6号炉</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>第1号炉</td> <td>設備資料</td> <td>第2号炉</td> <td>（機軸）機軸（全機）</td> <td>第3号炉</td> <td>—</td> <td>第4号炉</td> <td>—</td> <td>第5号炉</td> <td>—</td> <td>第6号炉</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>第2号炉</td> <td>検査性</td> <td>第3号炉</td> <td>中央制御室確保</td> <td>第4号炉</td> <td>A</td> <td>第5号炉</td> <td>A</td> <td>第6号炉</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2号炉</td> <td>設備資料</td> <td>第3号炉</td> <td>（機軸）機軸（全機）</td> <td>第4号炉</td> <td>—</td> <td>第5号炉</td> <td>—</td> <td>第6号炉</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3号炉</td> <td>試験・検査（検査性、非破壊検査、再稼働力）</td> <td>第4号炉</td> <td>通信機器設備</td> <td>第5号炉</td> <td>M</td> <td>第6号炉</td> <td>M</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3号炉</td> <td>設備資料</td> <td>第4号炉</td> <td>（機軸）機軸（全機）</td> <td>第5号炉</td> <td>—</td> <td>第6号炉</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4号炉</td> <td>同等性能</td> <td>第5号炉</td> <td>本機の構造として同等・同等性能</td> <td>第6号炉</td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4号炉</td> <td>設備資料</td> <td>第5号炉</td> <td>（機軸）機軸（全機）</td> <td>第6号炉</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第5号炉</td> <td>事前設計</td> <td>第6号炉</td> <td>（機軸）機軸（全機）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第5号炉</td> <td>2.0mm（検査物）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第5号炉</td> <td>設備資料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第6号炉</td> <td>設備基準</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第6号炉</td> <td>設備資料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第7号炉</td> <td>設計者への依頼</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第7号炉</td> <td>設備資料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第8号炉</td> <td>共用の禁止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第8号炉</td> <td>設備資料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第9号炉</td> <td>環境条件、自然現象、人為事故、漏洩、火災</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第9号炉</td> <td>設備資料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	第1号炉		第2号炉		第3号炉		第4号炉		第5号炉		第6号炉		項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	第1号炉	設備基準・運用・圧力・圧力の定規/燃料棒	第2号炉	その他の建物内	第3号炉	◎	第4号炉	◎	第5号炉	◎	第6号炉	◎	第1号炉	設備	第2号炉	（設備）機器（全機）	第3号炉	—	第4号炉	—	第5号炉	—	第6号炉	—	第1号炉	圧力	第2号炉	（機軸）機軸（全機）	第3号炉	対象外	第4号炉	対象外	第5号炉	対象外	第6号炉	対象外	第1号炉	他の設備からの影響	第2号炉	（機軸）機軸（全機）	第3号炉	—	第4号炉	—	第5号炉	—	第6号炉	—	第1号炉	電線経路表	第2号炉	（機軸）機軸（全機）	第3号炉	—	第4号炉	—	第5号炉	—	第6号炉	—	第1号炉	設備資料	第2号炉	（機軸）機軸（全機）	第3号炉	—	第4号炉	—	第5号炉	—	第6号炉	—	第2号炉	検査性	第3号炉	中央制御室確保	第4号炉	A	第5号炉	A	第6号炉	A			第2号炉	設備資料	第3号炉	（機軸）機軸（全機）	第4号炉	—	第5号炉	—	第6号炉	—			第3号炉	試験・検査（検査性、非破壊検査、再稼働力）	第4号炉	通信機器設備	第5号炉	M	第6号炉	M					第3号炉	設備資料	第4号炉	（機軸）機軸（全機）	第5号炉	—	第6号炉	—					第4号炉	同等性能	第5号炉	本機の構造として同等・同等性能	第6号炉	B							第4号炉	設備資料	第5号炉	（機軸）機軸（全機）	第6号炉	—							第5号炉	事前設計	第6号炉	（機軸）機軸（全機）									第5号炉	2.0mm（検査物）											第5号炉	設備資料											第6号炉	設備基準											第6号炉	設備資料											第7号炉	設計者への依頼											第7号炉	設備資料											第8号炉	共用の禁止											第8号炉	設備資料											第9号炉	環境条件、自然現象、人為事故、漏洩、火災											第9号炉	設備資料												<p style="text-align: center;">①の相違</p>
第1号炉		第2号炉		第3号炉		第4号炉		第5号炉		第6号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
第1号炉	設備基準・運用・圧力・圧力の定規/燃料棒	第2号炉	その他の建物内	第3号炉	◎	第4号炉	◎	第5号炉	◎	第6号炉	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
第1号炉	設備	第2号炉	（設備）機器（全機）	第3号炉	—	第4号炉	—	第5号炉	—	第6号炉	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
第1号炉	圧力	第2号炉	（機軸）機軸（全機）	第3号炉	対象外	第4号炉	対象外	第5号炉	対象外	第6号炉	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
第1号炉	他の設備からの影響	第2号炉	（機軸）機軸（全機）	第3号炉	—	第4号炉	—	第5号炉	—	第6号炉	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
第1号炉	電線経路表	第2号炉	（機軸）機軸（全機）	第3号炉	—	第4号炉	—	第5号炉	—	第6号炉	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
第1号炉	設備資料	第2号炉	（機軸）機軸（全機）	第3号炉	—	第4号炉	—	第5号炉	—	第6号炉	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
第2号炉	検査性	第3号炉	中央制御室確保	第4号炉	A	第5号炉	A	第6号炉	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
第2号炉	設備資料	第3号炉	（機軸）機軸（全機）	第4号炉	—	第5号炉	—	第6号炉	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
第3号炉	試験・検査（検査性、非破壊検査、再稼働力）	第4号炉	通信機器設備	第5号炉	M	第6号炉	M																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第3号炉	設備資料	第4号炉	（機軸）機軸（全機）	第5号炉	—	第6号炉	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第4号炉	同等性能	第5号炉	本機の構造として同等・同等性能	第6号炉	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
第4号炉	設備資料	第5号炉	（機軸）機軸（全機）	第6号炉	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
第5号炉	事前設計	第6号炉	（機軸）機軸（全機）																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
第5号炉	2.0mm（検査物）																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第5号炉	設備資料																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第6号炉	設備基準																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第6号炉	設備資料																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第7号炉	設計者への依頼																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第7号炉	設備資料																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第8号炉	共用の禁止																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第8号炉	設備資料																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第9号炉	環境条件、自然現象、人為事故、漏洩、火災																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第9号炉	設備資料																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																	
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2 号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)</th> <th>中央制御室設置機</th> <th>型式記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第 1 項</td> <td>設備名称・型式・圧力・電圧の名称/別称</td> <td>その他(機室内)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>(機室内に設置し専用)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機室</td> <td>(機室を確保しない)</td> <td>可兼用</td> </tr> <tr> <td>設備間の位置</td> <td>(他の機室等から機室壁により機能を区分せられない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電線経路</td> <td>(電線管により機能区分されない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設備資料</td> <td>39-2 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>設備資料</td> <td>39-2 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験・検査 (種別別、当該機室・当該人力)</td> <td>アマン</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>設備資料</td> <td>39-5 試験及び検査</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 2 項</td> <td>設備名称</td> <td>本室の用途として機能し専用</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>設備資料</td> <td>39-4 基礎図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 3 項</td> <td>基礎設計</td> <td>種別設計にて品質確保</td> <td>A-d</td> </tr> <tr> <td>その他 (機室別)</td> <td>可兼用</td> <td>可兼用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 4 項</td> <td>設備資料</td> <td>39-4 基礎図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設備標準</td> <td>中央制御室操作</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 5 項</td> <td>設備資料</td> <td>39-2 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>規格/A/Aの適用</td> <td>設計基準自動機設計の最低及び機室の容量等が十分</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 6 項</td> <td>設備資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>共用の禁止</td> <td>(共用しない設備)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 7 項</td> <td>設備資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>環境条件、自然現象、人為事故、洪水、火災</td> <td>可兼用 (共通機室の考慮対象設備なし)</td> <td>可兼用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 8 項</td> <td>サボータ故障</td> <td>対策 (サボータあり) → 異常事態検知又は停機</td> <td>C-a</td> </tr> <tr> <td>設備資料</td> <td>39-2 基礎図/機室、39-3 配線図、39-4 基礎図</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)		中央制御室設置機	型式記号	第 1 項	設備名称・型式・圧力・電圧の名称/別称	その他(機室内)	C	構造	(機室内に設置し専用)	—	機室	(機室を確保しない)	可兼用	設備間の位置	(他の機室等から機室壁により機能を区分せられない)	—	電線経路	(電線管により機能区分されない)	—	設備資料	39-2 配線図	—	操作性	中央制御室操作	A	設備資料	39-2 配線図	—	試験・検査 (種別別、当該機室・当該人力)	アマン	A	設備資料	39-5 試験及び検査	—	第 2 項	設備名称	本室の用途として機能し専用	B	設備資料	39-4 基礎図	—	第 3 項	基礎設計	種別設計にて品質確保	A-d	その他 (機室別)	可兼用	可兼用	第 4 項	設備資料	39-4 基礎図	—	設備標準	中央制御室操作	D	第 5 項	設備資料	39-2 配線図	—	規格/A/Aの適用	設計基準自動機設計の最低及び機室の容量等が十分	B	第 6 項	設備資料	—	—	共用の禁止	(共用しない設備)	—	第 7 項	設備資料	—	—	環境条件、自然現象、人為事故、洪水、火災	可兼用 (共通機室の考慮対象設備なし)	可兼用	第 8 項	サボータ故障	対策 (サボータあり) → 異常事態検知又は停機	C-a	設備資料	39-2 基礎図/機室、39-3 配線図、39-4 基礎図	—	<p style="text-align: center;">泊発電所 3 号炉 SA 設備基準適合性 一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)</th> <th>中央制御室設置機</th> <th>型式記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第 1 項</td> <td>設備名称・型式・圧力・電圧の名称/別称</td> <td>その他(機室内)</td> <td>C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>(機室内に設置し専用)</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室</td> <td>(機室を確保しない)</td> <td>可兼用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備間の位置</td> <td>(他の機室等から機室壁により機能を区分せられない)</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電線経路</td> <td>(電線管により機能区分されない)</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備資料</td> <td>39-2 配線図</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備資料</td> <td>39-2 配線図</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験・検査 (種別別、当該機室・当該人力)</td> <td>アマン</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備資料</td> <td>39-5 試験及び検査</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 2 項</td> <td>設備名称</td> <td>本室の用途として機能し専用</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備資料</td> <td>39-4 基礎図</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 3 項</td> <td>基礎設計</td> <td>種別設計にて品質確保</td> <td>A-d</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 (機室別)</td> <td>可兼用</td> <td>可兼用</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 4 項</td> <td>設備資料</td> <td>39-4 基礎図</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備標準</td> <td>中央制御室操作</td> <td>D</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 5 項</td> <td>設備資料</td> <td>39-2 配線図</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>規格/A/Aの適用</td> <td>設計基準自動機設計の最低及び機室の容量等が十分</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 6 項</td> <td>設備資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共用の禁止</td> <td>(共用しない設備)</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 7 項</td> <td>設備資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>環境条件、自然現象、人為事故、洪水、火災</td> <td>可兼用 (共通機室の考慮対象設備なし)</td> <td>可兼用</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 8 項</td> <td>サボータ故障</td> <td>対策 (サボータあり) → 異常事態検知又は停機</td> <td>C-a</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備資料</td> <td>39-2 基礎図/機室、39-3 配線図、39-4 基礎図</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)		中央制御室設置機	型式記号	備考	第 1 項	設備名称・型式・圧力・電圧の名称/別称	その他(機室内)	C		構造	(機室内に設置し専用)	—		機室	(機室を確保しない)	可兼用		設備間の位置	(他の機室等から機室壁により機能を区分せられない)	—		電線経路	(電線管により機能区分されない)	—		設備資料	39-2 配線図	—		操作性	中央制御室操作	A		設備資料	39-2 配線図	—		試験・検査 (種別別、当該機室・当該人力)	アマン	A		設備資料	39-5 試験及び検査	—		第 2 項	設備名称	本室の用途として機能し専用	B		設備資料	39-4 基礎図	—		第 3 項	基礎設計	種別設計にて品質確保	A-d		その他 (機室別)	可兼用	可兼用		第 4 項	設備資料	39-4 基礎図	—		設備標準	中央制御室操作	D		第 5 項	設備資料	39-2 配線図	—		規格/A/Aの適用	設計基準自動機設計の最低及び機室の容量等が十分	B		第 6 項	設備資料	—	—		共用の禁止	(共用しない設備)	—		第 7 項	設備資料	—	—		環境条件、自然現象、人為事故、洪水、火災	可兼用 (共通機室の考慮対象設備なし)	可兼用		第 8 項	サボータ故障	対策 (サボータあり) → 異常事態検知又は停機	C-a		設備資料	39-2 基礎図/機室、39-3 配線図、39-4 基礎図	—		
設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)		中央制御室設置機	型式記号																																																																																																																																																																																																	
第 1 項	設備名称・型式・圧力・電圧の名称/別称	その他(機室内)	C																																																																																																																																																																																																	
	構造	(機室内に設置し専用)	—																																																																																																																																																																																																	
	機室	(機室を確保しない)	可兼用																																																																																																																																																																																																	
	設備間の位置	(他の機室等から機室壁により機能を区分せられない)	—																																																																																																																																																																																																	
	電線経路	(電線管により機能区分されない)	—																																																																																																																																																																																																	
	設備資料	39-2 配線図	—																																																																																																																																																																																																	
	操作性	中央制御室操作	A																																																																																																																																																																																																	
	設備資料	39-2 配線図	—																																																																																																																																																																																																	
	試験・検査 (種別別、当該機室・当該人力)	アマン	A																																																																																																																																																																																																	
	設備資料	39-5 試験及び検査	—																																																																																																																																																																																																	
第 2 項	設備名称	本室の用途として機能し専用	B																																																																																																																																																																																																	
	設備資料	39-4 基礎図	—																																																																																																																																																																																																	
第 3 項	基礎設計	種別設計にて品質確保	A-d																																																																																																																																																																																																	
	その他 (機室別)	可兼用	可兼用																																																																																																																																																																																																	
第 4 項	設備資料	39-4 基礎図	—																																																																																																																																																																																																	
	設備標準	中央制御室操作	D																																																																																																																																																																																																	
第 5 項	設備資料	39-2 配線図	—																																																																																																																																																																																																	
	規格/A/Aの適用	設計基準自動機設計の最低及び機室の容量等が十分	B																																																																																																																																																																																																	
第 6 項	設備資料	—	—																																																																																																																																																																																																	
	共用の禁止	(共用しない設備)	—																																																																																																																																																																																																	
第 7 項	設備資料	—	—																																																																																																																																																																																																	
	環境条件、自然現象、人為事故、洪水、火災	可兼用 (共通機室の考慮対象設備なし)	可兼用																																																																																																																																																																																																	
第 8 項	サボータ故障	対策 (サボータあり) → 異常事態検知又は停機	C-a																																																																																																																																																																																																	
	設備資料	39-2 基礎図/機室、39-3 配線図、39-4 基礎図	—																																																																																																																																																																																																	
設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)		中央制御室設置機	型式記号	備考																																																																																																																																																																																																
第 1 項	設備名称・型式・圧力・電圧の名称/別称	その他(機室内)	C																																																																																																																																																																																																	
	構造	(機室内に設置し専用)	—																																																																																																																																																																																																	
	機室	(機室を確保しない)	可兼用																																																																																																																																																																																																	
	設備間の位置	(他の機室等から機室壁により機能を区分せられない)	—																																																																																																																																																																																																	
	電線経路	(電線管により機能区分されない)	—																																																																																																																																																																																																	
	設備資料	39-2 配線図	—																																																																																																																																																																																																	
	操作性	中央制御室操作	A																																																																																																																																																																																																	
	設備資料	39-2 配線図	—																																																																																																																																																																																																	
	試験・検査 (種別別、当該機室・当該人力)	アマン	A																																																																																																																																																																																																	
	設備資料	39-5 試験及び検査	—																																																																																																																																																																																																	
第 2 項	設備名称	本室の用途として機能し専用	B																																																																																																																																																																																																	
	設備資料	39-4 基礎図	—																																																																																																																																																																																																	
第 3 項	基礎設計	種別設計にて品質確保	A-d																																																																																																																																																																																																	
	その他 (機室別)	可兼用	可兼用																																																																																																																																																																																																	
第 4 項	設備資料	39-4 基礎図	—																																																																																																																																																																																																	
	設備標準	中央制御室操作	D																																																																																																																																																																																																	
第 5 項	設備資料	39-2 配線図	—																																																																																																																																																																																																	
	規格/A/Aの適用	設計基準自動機設計の最低及び機室の容量等が十分	B																																																																																																																																																																																																	
第 6 項	設備資料	—	—																																																																																																																																																																																																	
	共用の禁止	(共用しない設備)	—																																																																																																																																																																																																	
第 7 項	設備資料	—	—																																																																																																																																																																																																	
	環境条件、自然現象、人為事故、洪水、火災	可兼用 (共通機室の考慮対象設備なし)	可兼用																																																																																																																																																																																																	
第 8 項	サボータ故障	対策 (サボータあり) → 異常事態検知又は停機	C-a																																																																																																																																																																																																	
	設備資料	39-2 基礎図/機室、39-3 配線図、39-4 基礎図	—																																																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																															
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名、運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>中央制御室設備</th> <th>設置状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保安設備・運用・圧力ノズルの欠陥/自動検出</td> <td>その他の中核内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>防護</td> <td>(防護)機能を解除する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>海水</td> <td>(海水)を確保している</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>施設固有の設備</td> <td>(施設固有)の設備により機能を生じさせている</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電網の保護</td> <td>(電網)により機能が生じさせている</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作台</td> <td>中央制御室操作台</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録・検定 (検定性、事故検出、再投入)</td> <td>プラン</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>同位体</td> <td>本所の用途として使用し、検定可能</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視装置</td> <td>同施設と同じ監視装置</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>その他 (数値物)</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>中央制御室操作台</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>施設固有の設備</td> <td>施設固有の設備により機能を生じさせている</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>共用の基法</td> <td>(共用)している</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>環境条件、自然現象、人為事故、漏洩、火災</td> <td>対象外 (高層階階の考慮対象外)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>その他 (事故) 発生</td> <td>対象 (事故) 発生</td> <td>C*</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備名、運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	中央制御室設備	設置状況	保安設備・運用・圧力ノズルの欠陥/自動検出	その他の中核内	C	防護	(防護)機能を解除する	—	海水	(海水)を確保している	対象外	施設固有の設備	(施設固有)の設備により機能を生じさせている	—	電網の保護	(電網)により機能が生じさせている	—	防護室	—	—	操作台	中央制御室操作台	A	防護室	—	—	記録・検定 (検定性、事故検出、再投入)	プラン	A	防護室	—	—	同位体	本所の用途として使用し、検定可能	あり	防護室	—	—	監視装置	同施設と同じ監視装置	あり	その他 (数値物)	対象外	対象外	防護室	—	—	設置場所	中央制御室操作台	B	防護室	—	—	施設固有の設備	施設固有の設備により機能を生じさせている	あり	防護室	—	—	共用の基法	(共用)している	—	防護室	—	—	環境条件、自然現象、人為事故、漏洩、火災	対象外 (高層階階の考慮対象外)	対象外	その他 (事故) 発生	対象 (事故) 発生	C*	防護室	—	—	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名、運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>中央制御室設備</th> <th>設置状況</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保安設備・運用・圧力ノズルの欠陥/自動検出</td> <td>その他の中核内</td> <td>あり</td> <td>(施設固有)の設備</td> </tr> <tr> <td>防護</td> <td>(防護)機能を解除する</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>海水</td> <td>(海水)を確保している</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>施設固有の設備</td> <td>(施設固有)の設備により機能を生じさせている</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電網の保護</td> <td>(電網)により機能を生じさせている</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作台</td> <td>中央制御室操作台 (中央制御室操作台)</td> <td>あり</td> <td>(施設固有)の設備</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録・検定 (検定性、事故検出、再投入)</td> <td>プラン</td> <td>あり</td> <td>(施設固有)の設備</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>同位体</td> <td>本所の用途として使用し、検定可能</td> <td>あり</td> <td>(施設固有)の設備</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視装置</td> <td>同施設と同じ監視装置</td> <td>あり</td> <td>(施設固有)の設備</td> </tr> <tr> <td>その他 (数値物)</td> <td>対象外</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>中央制御室操作台</td> <td>B</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>施設固有の設備</td> <td>施設固有の設備により機能を生じさせている</td> <td>あり</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>共用の基法</td> <td>(共用)している</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>環境条件、自然現象、人為事故、漏洩、火災</td> <td>対象外 (高層階階の考慮対象外)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他 (事故) 発生</td> <td>対象 (事故) 発生</td> <td>あり</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護室</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備名、運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	中央制御室設備	設置状況	設置場所	保安設備・運用・圧力ノズルの欠陥/自動検出	その他の中核内	あり	(施設固有)の設備	防護	(防護)機能を解除する	—	—	海水	(海水)を確保している	—	—	施設固有の設備	(施設固有)の設備により機能を生じさせている	—	—	電網の保護	(電網)により機能を生じさせている	—	—	防護室	—	—	—	操作台	中央制御室操作台 (中央制御室操作台)	あり	(施設固有)の設備	防護室	—	—	—	記録・検定 (検定性、事故検出、再投入)	プラン	あり	(施設固有)の設備	防護室	—	—	—	同位体	本所の用途として使用し、検定可能	あり	(施設固有)の設備	防護室	—	—	—	監視装置	同施設と同じ監視装置	あり	(施設固有)の設備	その他 (数値物)	対象外	—	—	防護室	—	—	—	設置場所	中央制御室操作台	B	—	防護室	—	—	—	施設固有の設備	施設固有の設備により機能を生じさせている	あり	—	防護室	—	—	—	共用の基法	(共用)している	—	—	防護室	—	—	—	環境条件、自然現象、人為事故、漏洩、火災	対象外 (高層階階の考慮対象外)	—	—	その他 (事故) 発生	対象 (事故) 発生	あり	—	防護室	—	—	—	<p style="text-align: center;">④の相違</p>
設備名、運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	中央制御室設備	設置状況																																																																																																																																																																																
保安設備・運用・圧力ノズルの欠陥/自動検出	その他の中核内	C																																																																																																																																																																																
防護	(防護)機能を解除する	—																																																																																																																																																																																
海水	(海水)を確保している	対象外																																																																																																																																																																																
施設固有の設備	(施設固有)の設備により機能を生じさせている	—																																																																																																																																																																																
電網の保護	(電網)により機能が生じさせている	—																																																																																																																																																																																
防護室	—	—																																																																																																																																																																																
操作台	中央制御室操作台	A																																																																																																																																																																																
防護室	—	—																																																																																																																																																																																
記録・検定 (検定性、事故検出、再投入)	プラン	A																																																																																																																																																																																
防護室	—	—																																																																																																																																																																																
同位体	本所の用途として使用し、検定可能	あり																																																																																																																																																																																
防護室	—	—																																																																																																																																																																																
監視装置	同施設と同じ監視装置	あり																																																																																																																																																																																
その他 (数値物)	対象外	対象外																																																																																																																																																																																
防護室	—	—																																																																																																																																																																																
設置場所	中央制御室操作台	B																																																																																																																																																																																
防護室	—	—																																																																																																																																																																																
施設固有の設備	施設固有の設備により機能を生じさせている	あり																																																																																																																																																																																
防護室	—	—																																																																																																																																																																																
共用の基法	(共用)している	—																																																																																																																																																																																
防護室	—	—																																																																																																																																																																																
環境条件、自然現象、人為事故、漏洩、火災	対象外 (高層階階の考慮対象外)	対象外																																																																																																																																																																																
その他 (事故) 発生	対象 (事故) 発生	C*																																																																																																																																																																																
防護室	—	—																																																																																																																																																																																
設備名、運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	中央制御室設備	設置状況	設置場所																																																																																																																																																																															
保安設備・運用・圧力ノズルの欠陥/自動検出	その他の中核内	あり	(施設固有)の設備																																																																																																																																																																															
防護	(防護)機能を解除する	—	—																																																																																																																																																																															
海水	(海水)を確保している	—	—																																																																																																																																																																															
施設固有の設備	(施設固有)の設備により機能を生じさせている	—	—																																																																																																																																																																															
電網の保護	(電網)により機能を生じさせている	—	—																																																																																																																																																																															
防護室	—	—	—																																																																																																																																																																															
操作台	中央制御室操作台 (中央制御室操作台)	あり	(施設固有)の設備																																																																																																																																																																															
防護室	—	—	—																																																																																																																																																																															
記録・検定 (検定性、事故検出、再投入)	プラン	あり	(施設固有)の設備																																																																																																																																																																															
防護室	—	—	—																																																																																																																																																																															
同位体	本所の用途として使用し、検定可能	あり	(施設固有)の設備																																																																																																																																																																															
防護室	—	—	—																																																																																																																																																																															
監視装置	同施設と同じ監視装置	あり	(施設固有)の設備																																																																																																																																																																															
その他 (数値物)	対象外	—	—																																																																																																																																																																															
防護室	—	—	—																																																																																																																																																																															
設置場所	中央制御室操作台	B	—																																																																																																																																																																															
防護室	—	—	—																																																																																																																																																																															
施設固有の設備	施設固有の設備により機能を生じさせている	あり	—																																																																																																																																																																															
防護室	—	—	—																																																																																																																																																																															
共用の基法	(共用)している	—	—																																																																																																																																																																															
防護室	—	—	—																																																																																																																																																																															
環境条件、自然現象、人為事故、漏洩、火災	対象外 (高層階階の考慮対象外)	—	—																																																																																																																																																																															
その他 (事故) 発生	対象 (事故) 発生	あり	—																																																																																																																																																																															
防護室	—	—	—																																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																	
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2 号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備名称</th> <th>中央制御室設置設備 イオロウ設置</th> <th>設置状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第 4 号機</td> <td>運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td>その他(制御室内)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>環境監視・監視・圧力 / 異常の検出 / 警報機</td> <td>その他(制御室内)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>消音機</td> <td>(有効に機能し稼働する)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>換気機</td> <td>(換気も兼ねている)</td> <td>稼働外</td> </tr> <tr> <td>換気機からの排気</td> <td>(換気機等から排気量により換気も兼ねている)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電圧調整機</td> <td>(電圧調整により機能は果たしている)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>温度計測機</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作機</td> <td>操作手帳</td> <td>稼働外</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 5 号機</td> <td>試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)</td> <td>空調ユニット</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 6 号機</td> <td>試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)</td> <td>空調ユニット</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備名称		中央制御室設置設備 イオロウ設置	設置状況	第 4 号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	その他(制御室内)	C	環境監視・監視・圧力 / 異常の検出 / 警報機	その他(制御室内)	C	消音機	(有効に機能し稼働する)	—	換気機	(換気も兼ねている)	稼働外	換気機からの排気	(換気機等から排気量により換気も兼ねている)	—	電圧調整機	(電圧調整により機能は果たしている)	—	温度計測機	—	—	監視装置	—	—	操作機	操作手帳	稼働外	監視資料	—	—	第 5 号機	試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)	空調ユニット	B	監視資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	第 6 号機	試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)	空調ユニット	B	監視資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	試験資料	—	—	<p style="text-align: center;">泊発電所 3 号炉 SA 設備基準適合性 一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備名称</th> <th>中央制御室設置設備 イオロウ設置</th> <th>設置状況</th> <th>差異理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第 4 号機</td> <td>運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>環境監視・監視・圧力 / 異常の検出 / 警報機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消音機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>換気機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>換気機からの排気</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電圧調整機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>温度計測機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視装置</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 5 号機</td> <td>試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 6 号機</td> <td>試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備名称		中央制御室設置設備 イオロウ設置	設置状況	差異理由	第 4 号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	—	—	—	環境監視・監視・圧力 / 異常の検出 / 警報機	—	—	—	消音機	—	—	—	換気機	—	—	—	換気機からの排気	—	—	—	電圧調整機	—	—	—	温度計測機	—	—	—	監視装置	—	—	—	操作機	—	—	—	監視資料	—	—	—	第 5 号機	試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)	—	—	—	監視資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	第 6 号機	試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)	—	—	—	監視資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	試験資料	—	—	—	<p style="text-align: center;">【女川】設備名称の相違</p>
設備名称		中央制御室設置設備 イオロウ設置	設置状況																																																																																																																																																																																																																																	
第 4 号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	その他(制御室内)	C																																																																																																																																																																																																																																	
	環境監視・監視・圧力 / 異常の検出 / 警報機	その他(制御室内)	C																																																																																																																																																																																																																																	
	消音機	(有効に機能し稼働する)	—																																																																																																																																																																																																																																	
	換気機	(換気も兼ねている)	稼働外																																																																																																																																																																																																																																	
	換気機からの排気	(換気機等から排気量により換気も兼ねている)	—																																																																																																																																																																																																																																	
	電圧調整機	(電圧調整により機能は果たしている)	—																																																																																																																																																																																																																																	
	温度計測機	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	監視装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	操作機	操作手帳	稼働外																																																																																																																																																																																																																																	
	監視資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
第 5 号機	試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)	空調ユニット	B																																																																																																																																																																																																																																	
	監視資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
第 6 号機	試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)	空調ユニット	B																																																																																																																																																																																																																																	
	監視資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
	試験資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																	
設備名称		中央制御室設置設備 イオロウ設置	設置状況	差異理由																																																																																																																																																																																																																																
第 4 号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	環境監視・監視・圧力 / 異常の検出 / 警報機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	消音機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	換気機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	換気機からの排気	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	電圧調整機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	温度計測機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	監視装置	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	操作機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	監視資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
第 5 号機	試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	監視資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
第 6 号機	試験・検査 (検査機、記録機等・熱線入力)	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	監視資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
	試験資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																								
		<p style="text-align: center;">泊発電所 3 号炉 SA 設備基準適合性 一覧表 (略設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">項目</th> <th style="width: 65%;">項目名 (設備名)</th> <th style="width: 10%;">規格</th> <th style="width: 20%;">適合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">設備</td> <td>緊急停止装置 (EAS)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">設備</td> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)</td> <td>原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	項目名 (設備名)	規格	適合性	設備	緊急停止装置 (EAS)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	設備	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○	<p>⑤の相違</p>
項目	項目名 (設備名)	規格	適合性																																																																								
設備	緊急停止装置 (EAS)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																									
設備	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
	緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																								
緊急停止装置 (EAS) 制御盤 (予備)	原子力発電所 3 号炉 緊急停止装置仕様書	○																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																							
	女川原子力発電所2号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (常設)																																																																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th style="width: 70%;">ポーナ型炉 (作業者)</th> <th style="width: 20%;">相違点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1号炉</td> <td>電圧降下・漏電・圧力・「屋外の気候」対策</td> <td>その機内</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>高圧</td> <td>(常設) 機器を閉鎖する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高圧</td> <td>(高圧を遮断しない)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>絶縁部からの放電</td> <td>(絶縁部等からの放電) より検定をよりおこなっている</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>絶縁的保護</td> <td>(絶縁部により検定をよりおこなっている)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>測定器</td> <td>29-3 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第2号炉</td> <td>検出機</td> <td>中央制御室操作</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>測定器</td> <td>29-3 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験・検査 (検出機、圧力検出機、検出機)</td> <td>検出機検出機</td> <td>M</td> </tr> <tr> <td>測定器</td> <td>29-3 試験及び検査</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第3号炉</td> <td>検出機</td> <td>本機の検出機として検出機・検出機</td> <td>M</td> </tr> <tr> <td>測定器</td> <td>29-4 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>系統設計</td> <td>その他</td> <td>A+</td> </tr> <tr> <td>その他 (高圧機)</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第4号炉</td> <td>測定器</td> <td>29-3 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>中央制御室操作</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>測定器</td> <td>29-3 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>検出機</td> <td>29-5 配置図</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第5号炉</td> <td>検出機</td> <td>29-5 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>検出機</td> <td>29-5 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>検出機</td> <td>29-5 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>検出機</td> <td>29-5 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第6号炉</td> <td>検出機</td> <td>29-5 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>検出機</td> <td>29-5 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>検出機</td> <td>29-5 配置図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>検出機</td> <td>29-5 配置図</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	ポーナ型炉 (作業者)	相違点	第1号炉	電圧降下・漏電・圧力・「屋外の気候」対策	その機内	◎	高圧	(常設) 機器を閉鎖する	—	高圧	(高圧を遮断しない)	対象外	絶縁部からの放電	(絶縁部等からの放電) より検定をよりおこなっている	—	絶縁的保護	(絶縁部により検定をよりおこなっている)	—	測定器	29-3 配置図	—	第2号炉	検出機	中央制御室操作	A	測定器	29-3 配置図	—	試験・検査 (検出機、圧力検出機、検出機)	検出機検出機	M	測定器	29-3 試験及び検査	—	第3号炉	検出機	本機の検出機として検出機・検出機	M	測定器	29-4 配置図	—	系統設計	その他	A+	その他 (高圧機)	対象外	対象外	第4号炉	測定器	29-3 配置図	—	設置場所	中央制御室操作	B	測定器	29-3 配置図	—	検出機	29-5 配置図	A	第5号炉	検出機	29-5 配置図	—	検出機	29-5 配置図	—	検出機	29-5 配置図	—	検出機	29-5 配置図	—	第6号炉	検出機	29-5 配置図	—	検出機	29-5 配置図	—	検出機	29-5 配置図	—	検出機	29-5 配置図	—	①の相違
第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	ポーナ型炉 (作業者)	相違点																																																																																								
第1号炉	電圧降下・漏電・圧力・「屋外の気候」対策	その機内	◎																																																																																							
	高圧	(常設) 機器を閉鎖する	—																																																																																							
	高圧	(高圧を遮断しない)	対象外																																																																																							
	絶縁部からの放電	(絶縁部等からの放電) より検定をよりおこなっている	—																																																																																							
	絶縁的保護	(絶縁部により検定をよりおこなっている)	—																																																																																							
	測定器	29-3 配置図	—																																																																																							
	第2号炉	検出機	中央制御室操作	A																																																																																						
		測定器	29-3 配置図	—																																																																																						
		試験・検査 (検出機、圧力検出機、検出機)	検出機検出機	M																																																																																						
		測定器	29-3 試験及び検査	—																																																																																						
第3号炉	検出機	本機の検出機として検出機・検出機	M																																																																																							
	測定器	29-4 配置図	—																																																																																							
	系統設計	その他	A+																																																																																							
	その他 (高圧機)	対象外	対象外																																																																																							
第4号炉	測定器	29-3 配置図	—																																																																																							
	設置場所	中央制御室操作	B																																																																																							
	測定器	29-3 配置図	—																																																																																							
	検出機	29-5 配置図	A																																																																																							
第5号炉	検出機	29-5 配置図	—																																																																																							
	検出機	29-5 配置図	—																																																																																							
	検出機	29-5 配置図	—																																																																																							
	検出機	29-5 配置図	—																																																																																							
第6号炉	検出機	29-5 配置図	—																																																																																							
	検出機	29-5 配置図	—																																																																																							
	検出機	29-5 配置図	—																																																																																							
	検出機	29-5 配置図	—																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																																																																																
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2 号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">項目</th> <th style="width: 45%;">設備名</th> <th style="width: 30%;">設置場所</th> <th style="width: 20%;">設置状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第 1 号機</td> <td>増設出力・出力 / 燃料の供給 / 監視器</td> <td>その他の増設内</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>高圧</td> <td>(増設) 増設を要する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高圧</td> <td>(増設) 増設を要しない</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力の増設</td> <td>(増設) 増設を要しない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>(増設) 増設を要しない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>(増設) 増設を要しない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>(増設) 増設を要しない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>(増設) 増設を要しない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>(増設) 増設を要しない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>(増設) 増設を要しない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 2 号機</td> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力 (高圧性、高圧機、高圧機)</td> <td>計測機設置</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>計測機設置</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 3 号機</td> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 4 号機</td> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>増設出力</td> <td>増設を要</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設備名	設置場所	設置状況	第 1 号機	増設出力・出力 / 燃料の供給 / 監視器	その他の増設内	○	高圧	(増設) 増設を要する	—	高圧	(増設) 増設を要しない	○	増設出力の増設	(増設) 増設を要しない	—	増設出力	(増設) 増設を要しない	—	増設出力	(増設) 増設を要しない	—	増設出力	(増設) 増設を要しない	—	増設出力	(増設) 増設を要しない	—	増設出力	(増設) 増設を要しない	—	増設出力	(増設) 増設を要しない	—	第 2 号機	増設出力	増設を要	○	増設出力	—	—	増設出力 (高圧性、高圧機、高圧機)	計測機設置	○	増設出力	計測機設置	—	増設出力	増設を要	○	増設出力	増設を要	—	増設出力	増設を要	○	増設出力	増設を要	—	増設出力	増設を要	○	増設出力	増設を要	—	第 3 号機	増設出力	増設を要	○	増設出力	—	—	増設出力	増設を要	○	増設出力	増設を要	—	増設出力	増設を要	○	増設出力	増設を要	—	増設出力	増設を要	○	増設出力	増設を要	—	増設出力	増設を要	○	増設出力	増設を要	—	第 4 号機	増設出力	増設を要	○	増設出力	—	—	増設出力	増設を要	○	増設出力	増設を要	—	増設出力	増設を要	○	増設出力	増設を要	—	増設出力	増設を要	○	増設出力	増設を要	—	増設出力	増設を要	○	増設出力	増設を要	—		<p style="text-align: center;">①の相違</p>
項目	設備名	設置場所	設置状況																																																																																																																																
第 1 号機	増設出力・出力 / 燃料の供給 / 監視器	その他の増設内	○																																																																																																																																
	高圧	(増設) 増設を要する	—																																																																																																																																
	高圧	(増設) 増設を要しない	○																																																																																																																																
	増設出力の増設	(増設) 増設を要しない	—																																																																																																																																
	増設出力	(増設) 増設を要しない	—																																																																																																																																
	増設出力	(増設) 増設を要しない	—																																																																																																																																
	増設出力	(増設) 増設を要しない	—																																																																																																																																
	増設出力	(増設) 増設を要しない	—																																																																																																																																
	増設出力	(増設) 増設を要しない	—																																																																																																																																
	増設出力	(増設) 増設を要しない	—																																																																																																																																
第 2 号機	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	—	—																																																																																																																																
	増設出力 (高圧性、高圧機、高圧機)	計測機設置	○																																																																																																																																
	増設出力	計測機設置	—																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	—																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	—																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	—																																																																																																																																
第 3 号機	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	—	—																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	—																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	—																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	—																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	—																																																																																																																																
第 4 号機	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	—	—																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	—																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	—																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	—																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	○																																																																																																																																
	増設出力	増設を要	—																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2 号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>主要な構成要素</th> <th>設置区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 2 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 3 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 4 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 5 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 6 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 7 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 8 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 9 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 10 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 11 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 12 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 13 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 14 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 15 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 16 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 17 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 18 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 19 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 20 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 21 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 22 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 23 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 24 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 25 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 26 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 27 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 28 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 29 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 30 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 31 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 32 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 33 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 34 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 35 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 36 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 37 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 38 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 39 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 40 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 41 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 42 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 43 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 44 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 45 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 46 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 47 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 48 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 49 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 50 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 51 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 52 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 53 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 54 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 55 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 56 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 57 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 58 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 59 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 60 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 61 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 62 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 63 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 64 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 65 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 66 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 67 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 68 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 69 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 70 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 71 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 72 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 73 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 74 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 75 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 76 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 77 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 78 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 79 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 80 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 81 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 82 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 83 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 84 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 85 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 86 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 87 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 88 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 89 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 90 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 91 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 92 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 93 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 94 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 95 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 96 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 97 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 98 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 99 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 100 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>	設備名	主要な構成要素	設置区分	第 1 号機	原子炉建屋	B	第 2 号機	原子炉建屋	B	第 3 号機	原子炉建屋	B	第 4 号機	原子炉建屋	B	第 5 号機	原子炉建屋	B	第 6 号機	原子炉建屋	B	第 7 号機	原子炉建屋	B	第 8 号機	原子炉建屋	B	第 9 号機	原子炉建屋	B	第 10 号機	原子炉建屋	B	第 11 号機	原子炉建屋	B	第 12 号機	原子炉建屋	B	第 13 号機	原子炉建屋	B	第 14 号機	原子炉建屋	B	第 15 号機	原子炉建屋	B	第 16 号機	原子炉建屋	B	第 17 号機	原子炉建屋	B	第 18 号機	原子炉建屋	B	第 19 号機	原子炉建屋	B	第 20 号機	原子炉建屋	B	第 21 号機	原子炉建屋	B	第 22 号機	原子炉建屋	B	第 23 号機	原子炉建屋	B	第 24 号機	原子炉建屋	B	第 25 号機	原子炉建屋	B	第 26 号機	原子炉建屋	B	第 27 号機	原子炉建屋	B	第 28 号機	原子炉建屋	B	第 29 号機	原子炉建屋	B	第 30 号機	原子炉建屋	B	第 31 号機	原子炉建屋	B	第 32 号機	原子炉建屋	B	第 33 号機	原子炉建屋	B	第 34 号機	原子炉建屋	B	第 35 号機	原子炉建屋	B	第 36 号機	原子炉建屋	B	第 37 号機	原子炉建屋	B	第 38 号機	原子炉建屋	B	第 39 号機	原子炉建屋	B	第 40 号機	原子炉建屋	B	第 41 号機	原子炉建屋	B	第 42 号機	原子炉建屋	B	第 43 号機	原子炉建屋	B	第 44 号機	原子炉建屋	B	第 45 号機	原子炉建屋	B	第 46 号機	原子炉建屋	B	第 47 号機	原子炉建屋	B	第 48 号機	原子炉建屋	B	第 49 号機	原子炉建屋	B	第 50 号機	原子炉建屋	B	第 51 号機	原子炉建屋	B	第 52 号機	原子炉建屋	B	第 53 号機	原子炉建屋	B	第 54 号機	原子炉建屋	B	第 55 号機	原子炉建屋	B	第 56 号機	原子炉建屋	B	第 57 号機	原子炉建屋	B	第 58 号機	原子炉建屋	B	第 59 号機	原子炉建屋	B	第 60 号機	原子炉建屋	B	第 61 号機	原子炉建屋	B	第 62 号機	原子炉建屋	B	第 63 号機	原子炉建屋	B	第 64 号機	原子炉建屋	B	第 65 号機	原子炉建屋	B	第 66 号機	原子炉建屋	B	第 67 号機	原子炉建屋	B	第 68 号機	原子炉建屋	B	第 69 号機	原子炉建屋	B	第 70 号機	原子炉建屋	B	第 71 号機	原子炉建屋	B	第 72 号機	原子炉建屋	B	第 73 号機	原子炉建屋	B	第 74 号機	原子炉建屋	B	第 75 号機	原子炉建屋	B	第 76 号機	原子炉建屋	B	第 77 号機	原子炉建屋	B	第 78 号機	原子炉建屋	B	第 79 号機	原子炉建屋	B	第 80 号機	原子炉建屋	B	第 81 号機	原子炉建屋	B	第 82 号機	原子炉建屋	B	第 83 号機	原子炉建屋	B	第 84 号機	原子炉建屋	B	第 85 号機	原子炉建屋	B	第 86 号機	原子炉建屋	B	第 87 号機	原子炉建屋	B	第 88 号機	原子炉建屋	B	第 89 号機	原子炉建屋	B	第 90 号機	原子炉建屋	B	第 91 号機	原子炉建屋	B	第 92 号機	原子炉建屋	B	第 93 号機	原子炉建屋	B	第 94 号機	原子炉建屋	B	第 95 号機	原子炉建屋	B	第 96 号機	原子炉建屋	B	第 97 号機	原子炉建屋	B	第 98 号機	原子炉建屋	B	第 99 号機	原子炉建屋	B	第 100 号機	原子炉建屋	B	<p style="text-align: center;">泊発電所 3 号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>主要な構成要素</th> <th>設置区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 2 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 3 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 4 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 5 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 6 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 7 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 8 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 9 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 10 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 11 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 12 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 13 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 14 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 15 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 16 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 17 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 18 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 19 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 20 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 21 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 22 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 23 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 24 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 25 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 26 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 27 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 28 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 29 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 30 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 31 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 32 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 33 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 34 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 35 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 36 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 37 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 38 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 39 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 40 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 41 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 42 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 43 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 44 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 45 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 46 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 47 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 48 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 49 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 50 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 51 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 52 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 53 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 54 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 55 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 56 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 57 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 58 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 59 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 60 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 61 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 62 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 63 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 64 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 65 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 66 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 67 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 68 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 69 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 70 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 71 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 72 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 73 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 74 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 75 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 76 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 77 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 78 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 79 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 80 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 81 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 82 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 83 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 84 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 85 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 86 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 87 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 88 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 89 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 90 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 91 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 92 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 93 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 94 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 95 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 96 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 97 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 98 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 99 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>第 100 号機</td> <td>原子炉建屋</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>	設備名	主要な構成要素	設置区分	第 1 号機	原子炉建屋	B	第 2 号機	原子炉建屋	B	第 3 号機	原子炉建屋	B	第 4 号機	原子炉建屋	B	第 5 号機	原子炉建屋	B	第 6 号機	原子炉建屋	B	第 7 号機	原子炉建屋	B	第 8 号機	原子炉建屋	B	第 9 号機	原子炉建屋	B	第 10 号機	原子炉建屋	B	第 11 号機	原子炉建屋	B	第 12 号機	原子炉建屋	B	第 13 号機	原子炉建屋	B	第 14 号機	原子炉建屋	B	第 15 号機	原子炉建屋	B	第 16 号機	原子炉建屋	B	第 17 号機	原子炉建屋	B	第 18 号機	原子炉建屋	B	第 19 号機	原子炉建屋	B	第 20 号機	原子炉建屋	B	第 21 号機	原子炉建屋	B	第 22 号機	原子炉建屋	B	第 23 号機	原子炉建屋	B	第 24 号機	原子炉建屋	B	第 25 号機	原子炉建屋	B	第 26 号機	原子炉建屋	B	第 27 号機	原子炉建屋	B	第 28 号機	原子炉建屋	B	第 29 号機	原子炉建屋	B	第 30 号機	原子炉建屋	B	第 31 号機	原子炉建屋	B	第 32 号機	原子炉建屋	B	第 33 号機	原子炉建屋	B	第 34 号機	原子炉建屋	B	第 35 号機	原子炉建屋	B	第 36 号機	原子炉建屋	B	第 37 号機	原子炉建屋	B	第 38 号機	原子炉建屋	B	第 39 号機	原子炉建屋	B	第 40 号機	原子炉建屋	B	第 41 号機	原子炉建屋	B	第 42 号機	原子炉建屋	B	第 43 号機	原子炉建屋	B	第 44 号機	原子炉建屋	B	第 45 号機	原子炉建屋	B	第 46 号機	原子炉建屋	B	第 47 号機	原子炉建屋	B	第 48 号機	原子炉建屋	B	第 49 号機	原子炉建屋	B	第 50 号機	原子炉建屋	B	第 51 号機	原子炉建屋	B	第 52 号機	原子炉建屋	B	第 53 号機	原子炉建屋	B	第 54 号機	原子炉建屋	B	第 55 号機	原子炉建屋	B	第 56 号機	原子炉建屋	B	第 57 号機	原子炉建屋	B	第 58 号機	原子炉建屋	B	第 59 号機	原子炉建屋	B	第 60 号機	原子炉建屋	B	第 61 号機	原子炉建屋	B	第 62 号機	原子炉建屋	B	第 63 号機	原子炉建屋	B	第 64 号機	原子炉建屋	B	第 65 号機	原子炉建屋	B	第 66 号機	原子炉建屋	B	第 67 号機	原子炉建屋	B	第 68 号機	原子炉建屋	B	第 69 号機	原子炉建屋	B	第 70 号機	原子炉建屋	B	第 71 号機	原子炉建屋	B	第 72 号機	原子炉建屋	B	第 73 号機	原子炉建屋	B	第 74 号機	原子炉建屋	B	第 75 号機	原子炉建屋	B	第 76 号機	原子炉建屋	B	第 77 号機	原子炉建屋	B	第 78 号機	原子炉建屋	B	第 79 号機	原子炉建屋	B	第 80 号機	原子炉建屋	B	第 81 号機	原子炉建屋	B	第 82 号機	原子炉建屋	B	第 83 号機	原子炉建屋	B	第 84 号機	原子炉建屋	B	第 85 号機	原子炉建屋	B	第 86 号機	原子炉建屋	B	第 87 号機	原子炉建屋	B	第 88 号機	原子炉建屋	B	第 89 号機	原子炉建屋	B	第 90 号機	原子炉建屋	B	第 91 号機	原子炉建屋	B	第 92 号機	原子炉建屋	B	第 93 号機	原子炉建屋	B	第 94 号機	原子炉建屋	B	第 95 号機	原子炉建屋	B	第 96 号機	原子炉建屋	B	第 97 号機	原子炉建屋	B	第 98 号機	原子炉建屋	B	第 99 号機	原子炉建屋	B	第 100 号機	原子炉建屋	B	<p>②の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR においては、アンユラス空気浄化ファンにより、原子炉格納容器からアンユラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンユラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することで放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。 ・また、全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合にはアンユラス全量排気弁等操作用可搬型窒素ガスポンプを用いて排気弁を開操作する。
設備名	主要な構成要素	設置区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 1 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 2 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 3 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 4 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 5 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 6 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 7 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 8 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 9 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 10 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 11 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 12 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 13 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 14 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 15 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 16 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 17 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 18 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 19 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 20 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 21 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 22 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 23 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 24 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 25 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 26 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 27 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 28 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 29 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 30 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 31 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 32 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 33 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 34 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 35 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 36 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 37 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 38 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 39 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 40 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 41 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 42 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 43 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 44 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 45 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 46 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 47 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 48 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 49 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 50 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 51 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 52 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 53 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 54 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 55 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 56 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 57 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 58 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 59 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 60 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 61 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 62 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 63 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 64 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 65 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 66 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 67 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 68 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 69 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 70 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 71 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 72 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 73 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 74 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 75 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 76 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 77 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 78 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 79 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 80 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 81 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 82 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 83 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 84 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 85 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 86 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 87 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 88 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 89 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 90 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 91 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 92 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 93 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 94 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 95 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 96 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 97 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 98 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 99 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 100 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設備名	主要な構成要素	設置区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 1 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 2 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 3 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 4 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 5 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 6 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 7 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 8 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 9 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 10 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 11 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 12 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 13 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 14 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 15 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 16 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 17 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 18 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 19 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 20 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 21 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 22 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 23 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 24 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 25 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 26 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 27 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 28 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 29 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 30 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 31 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 32 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 33 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 34 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 35 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 36 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 37 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 38 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 39 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 40 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 41 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 42 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 43 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 44 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 45 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 46 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 47 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 48 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 49 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 50 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 51 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 52 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 53 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 54 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 55 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 56 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 57 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 58 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 59 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 60 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 61 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 62 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 63 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 64 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 65 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 66 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 67 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 68 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 69 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 70 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 71 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 72 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 73 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 74 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 75 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 76 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 77 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 78 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 79 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 80 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 81 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 82 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 83 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 84 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 85 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 86 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 87 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 88 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 89 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 90 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 91 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 92 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 93 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 94 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 95 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 96 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 97 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 98 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 99 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 100 号機	原子炉建屋	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																														
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">注(対象) 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>原子炉建屋アリアウターレベル内設置</th> <th>物理区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1号機</td> <td>電圧・電流・圧力・放射線の監視/放射線</td> <td>原子炉建屋原子炉建屋</td> <td>Ⅱ、Ⅲ</td> </tr> <tr> <td>排気</td> <td>(右側)排気(左側)排気</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>海水</td> <td>海水を過さない</td> <td>別添付</td> </tr> <tr> <td>放射線からの影響</td> <td>(周辺機器から放射線により機能喪失をしない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td>(放射線により機能が劣化しない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-2 配管図、39-4 系統図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作、現場操作</td> <td>A、B</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-2 配管図、39-4 系統図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験・検査 (放射性、系統構成・再投入)</td> <td>その他</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2号機</td> <td>排気</td> <td>本機の排気として使用一切禁止</td> <td>Ⅱb</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-4 系統図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>排気</td> <td>排気口の構造</td> <td>A、B</td> </tr> <tr> <td>その他 (放射線)</td> <td>別添付</td> <td>別添付</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-4 系統図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作</td> <td>A、B</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-2 配管図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置SAの容量</td> <td>最大事故等への対策を本機の目的として設置するもの</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>放射線の発生</td> <td>(発生しない設備)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第3号機</td> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>排気</td> <td>放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)</td> <td>別添付</td> </tr> <tr> <td>放射線からの影響</td> <td>放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)</td> <td>別添付</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-2 配管図</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	注(対象) 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		原子炉建屋アリアウターレベル内設置	物理区分	第1号機	電圧・電流・圧力・放射線の監視/放射線	原子炉建屋原子炉建屋	Ⅱ、Ⅲ	排気	(右側)排気(左側)排気	—	海水	海水を過さない	別添付	放射線からの影響	(周辺機器から放射線により機能喪失をしない)	—	放射線防護	(放射線により機能が劣化しない)	—	関連資料	39-2 配管図、39-4 系統図	—	操作性	中央制御室操作、現場操作	A、B	関連資料	39-2 配管図、39-4 系統図	—	試験・検査 (放射性、系統構成・再投入)	その他	S	関連資料	—	—	第2号機	排気	本機の排気として使用一切禁止	Ⅱb	関連資料	39-4 系統図	—	排気	排気口の構造	A、B	その他 (放射線)	別添付	別添付	関連資料	39-4 系統図	—	設置場所	現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作	A、B	関連資料	39-2 配管図	—	設置SAの容量	最大事故等への対策を本機の目的として設置するもの	A	関連資料	—	—	放射線の発生	(発生しない設備)	—	第3号機	関連資料	—	—	排気	放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)	別添付	放射線からの影響	放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)	別添付	関連資料	39-2 配管図	—	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">注(対象) 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>原子炉建屋アリアウターレベル内設置</th> <th>物理区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1号機</td> <td>電圧・電流・圧力・放射線の監視/放射線</td> <td>原子炉建屋原子炉建屋</td> <td>Ⅱ、Ⅲ</td> </tr> <tr> <td>排気</td> <td>(右側)排気(左側)排気</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>海水</td> <td>海水を過さない</td> <td>別添付</td> </tr> <tr> <td>放射線からの影響</td> <td>(周辺機器から放射線により機能喪失をしない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td>(放射線により機能が劣化しない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-2 配管図、39-4 系統図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作、現場操作</td> <td>A、B</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-2 配管図、39-4 系統図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験・検査 (放射性、系統構成・再投入)</td> <td>その他</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2号機</td> <td>排気</td> <td>本機の排気として使用一切禁止</td> <td>Ⅱb</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-4 系統図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>排気</td> <td>排気口の構造</td> <td>A、B</td> </tr> <tr> <td>その他 (放射線)</td> <td>別添付</td> <td>別添付</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-4 系統図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作</td> <td>A、B</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-2 配管図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置SAの容量</td> <td>最大事故等への対策を本機の目的として設置するもの</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>放射線の発生</td> <td>(発生しない設備)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第3号機</td> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>排気</td> <td>放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)</td> <td>別添付</td> </tr> <tr> <td>放射線からの影響</td> <td>放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)</td> <td>別添付</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>39-2 配管図</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	注(対象) 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		原子炉建屋アリアウターレベル内設置	物理区分	第1号機	電圧・電流・圧力・放射線の監視/放射線	原子炉建屋原子炉建屋	Ⅱ、Ⅲ	排気	(右側)排気(左側)排気	—	海水	海水を過さない	別添付	放射線からの影響	(周辺機器から放射線により機能喪失をしない)	—	放射線防護	(放射線により機能が劣化しない)	—	関連資料	39-2 配管図、39-4 系統図	—	操作性	中央制御室操作、現場操作	A、B	関連資料	39-2 配管図、39-4 系統図	—	試験・検査 (放射性、系統構成・再投入)	その他	S	関連資料	—	—	第2号機	排気	本機の排気として使用一切禁止	Ⅱb	関連資料	39-4 系統図	—	排気	排気口の構造	A、B	その他 (放射線)	別添付	別添付	関連資料	39-4 系統図	—	設置場所	現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作	A、B	関連資料	39-2 配管図	—	設置SAの容量	最大事故等への対策を本機の目的として設置するもの	A	関連資料	—	—	放射線の発生	(発生しない設備)	—	第3号機	関連資料	—	—	排気	放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)	別添付	放射線からの影響	放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)	別添付	関連資料	39-2 配管図	—	<p>②の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR においては、アンユラス空気浄化ファンにより、原子炉格納容器からアンユラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンユラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することで放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。 ・また、全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合にはアンユラス全量排気弁等操作用可搬型窒素ガスボンベを用いて排気弁を開操作する。
注(対象) 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		原子炉建屋アリアウターレベル内設置	物理区分																																																																																																																																																														
第1号機	電圧・電流・圧力・放射線の監視/放射線	原子炉建屋原子炉建屋	Ⅱ、Ⅲ																																																																																																																																																														
	排気	(右側)排気(左側)排気	—																																																																																																																																																														
	海水	海水を過さない	別添付																																																																																																																																																														
	放射線からの影響	(周辺機器から放射線により機能喪失をしない)	—																																																																																																																																																														
	放射線防護	(放射線により機能が劣化しない)	—																																																																																																																																																														
	関連資料	39-2 配管図、39-4 系統図	—																																																																																																																																																														
	操作性	中央制御室操作、現場操作	A、B																																																																																																																																																														
	関連資料	39-2 配管図、39-4 系統図	—																																																																																																																																																														
	試験・検査 (放射性、系統構成・再投入)	その他	S																																																																																																																																																														
	関連資料	—	—																																																																																																																																																														
第2号機	排気	本機の排気として使用一切禁止	Ⅱb																																																																																																																																																														
	関連資料	39-4 系統図	—																																																																																																																																																														
	排気	排気口の構造	A、B																																																																																																																																																														
	その他 (放射線)	別添付	別添付																																																																																																																																																														
	関連資料	39-4 系統図	—																																																																																																																																																														
	設置場所	現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作	A、B																																																																																																																																																														
	関連資料	39-2 配管図	—																																																																																																																																																														
	設置SAの容量	最大事故等への対策を本機の目的として設置するもの	A																																																																																																																																																														
	関連資料	—	—																																																																																																																																																														
	放射線の発生	(発生しない設備)	—																																																																																																																																																														
第3号機	関連資料	—	—																																																																																																																																																														
	排気	放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)	別添付																																																																																																																																																														
	放射線からの影響	放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)	別添付																																																																																																																																																														
	関連資料	39-2 配管図	—																																																																																																																																																														
	注(対象) 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		原子炉建屋アリアウターレベル内設置	物理区分																																																																																																																																																													
	第1号機	電圧・電流・圧力・放射線の監視/放射線	原子炉建屋原子炉建屋	Ⅱ、Ⅲ																																																																																																																																																													
		排気	(右側)排気(左側)排気	—																																																																																																																																																													
		海水	海水を過さない	別添付																																																																																																																																																													
		放射線からの影響	(周辺機器から放射線により機能喪失をしない)	—																																																																																																																																																													
		放射線防護	(放射線により機能が劣化しない)	—																																																																																																																																																													
関連資料		39-2 配管図、39-4 系統図	—																																																																																																																																																														
操作性		中央制御室操作、現場操作	A、B																																																																																																																																																														
関連資料		39-2 配管図、39-4 系統図	—																																																																																																																																																														
試験・検査 (放射性、系統構成・再投入)		その他	S																																																																																																																																																														
関連資料		—	—																																																																																																																																																														
第2号機	排気	本機の排気として使用一切禁止	Ⅱb																																																																																																																																																														
	関連資料	39-4 系統図	—																																																																																																																																																														
	排気	排気口の構造	A、B																																																																																																																																																														
	その他 (放射線)	別添付	別添付																																																																																																																																																														
	関連資料	39-4 系統図	—																																																																																																																																																														
	設置場所	現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作	A、B																																																																																																																																																														
	関連資料	39-2 配管図	—																																																																																																																																																														
	設置SAの容量	最大事故等への対策を本機の目的として設置するもの	A																																																																																																																																																														
	関連資料	—	—																																																																																																																																																														
	放射線の発生	(発生しない設備)	—																																																																																																																																																														
第3号機	関連資料	—	—																																																																																																																																																														
	排気	放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)	別添付																																																																																																																																																														
	放射線からの影響	放射線 (放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線) (21500V以下放射線)	別添付																																																																																																																																																														
	関連資料	39-2 配管図	—																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																																																	
		<p style="text-align: center;">泊発電所 3 号炉 SA 設備基準適合性 一覧表 (常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">項目</th> <th style="width: 70%;">項目名</th> <th style="width: 5%;">適合性</th> <th style="width: 20%;">取組資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">設計</td> <td>設計方針</td> <td>○</td> <td>【施設設計方針】(施設設計)</td> </tr> <tr> <td>設備設計</td> <td>○</td> <td>【設備設計方針】(設備設計)</td> </tr> <tr> <td>配管設計</td> <td>○</td> <td>【配管設計方針】(配管設計)</td> </tr> <tr> <td>電気設計</td> <td>○</td> <td>【電気設計方針】(電気設計)</td> </tr> <tr> <td>機械設計</td> <td>○</td> <td>【機械設計方針】(機械設計)</td> </tr> <tr> <td>土木設計</td> <td>○</td> <td>【土木設計方針】(土木設計)</td> </tr> <tr> <td>建築設計</td> <td>○</td> <td>【建築設計方針】(建築設計)</td> </tr> <tr> <td>放射線設計</td> <td>○</td> <td>【放射線設計方針】(放射線設計)</td> </tr> <tr> <td>環境設計</td> <td>○</td> <td>【環境設計方針】(環境設計)</td> </tr> <tr> <td>安全設計</td> <td>○</td> <td>【安全設計方針】(安全設計)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">製造</td> <td>製造方針</td> <td>○</td> <td>【製造設計方針】(製造設計)</td> </tr> <tr> <td>設備製造</td> <td>○</td> <td>【設備製造方針】(設備製造)</td> </tr> <tr> <td>配管製造</td> <td>○</td> <td>【配管製造方針】(配管製造)</td> </tr> <tr> <td>電気製造</td> <td>○</td> <td>【電気製造方針】(電気製造)</td> </tr> <tr> <td>機械製造</td> <td>○</td> <td>【機械製造方針】(機械製造)</td> </tr> <tr> <td>土木製造</td> <td>○</td> <td>【土木製造方針】(土木製造)</td> </tr> <tr> <td>建築製造</td> <td>○</td> <td>【建築製造方針】(建築製造)</td> </tr> <tr> <td>放射線製造</td> <td>○</td> <td>【放射線製造方針】(放射線製造)</td> </tr> <tr> <td>環境製造</td> <td>○</td> <td>【環境製造方針】(環境製造)</td> </tr> <tr> <td>安全製造</td> <td>○</td> <td>【安全製造方針】(安全製造)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">運用</td> <td>運用方針</td> <td>○</td> <td>【運用設計方針】(運用設計)</td> </tr> <tr> <td>設備運用</td> <td>○</td> <td>【設備運用方針】(設備運用)</td> </tr> <tr> <td>配管運用</td> <td>○</td> <td>【配管運用方針】(配管運用)</td> </tr> <tr> <td>電気運用</td> <td>○</td> <td>【電気運用方針】(電気運用)</td> </tr> <tr> <td>機械運用</td> <td>○</td> <td>【機械運用方針】(機械運用)</td> </tr> <tr> <td>土木運用</td> <td>○</td> <td>【土木運用方針】(土木運用)</td> </tr> <tr> <td>建築運用</td> <td>○</td> <td>【建築運用方針】(建築運用)</td> </tr> <tr> <td>放射線運用</td> <td>○</td> <td>【放射線運用方針】(放射線運用)</td> </tr> <tr> <td>環境運用</td> <td>○</td> <td>【環境運用方針】(環境運用)</td> </tr> <tr> <td>安全運用</td> <td>○</td> <td>【安全運用方針】(安全運用)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	項目名	適合性	取組資料	設計	設計方針	○	【施設設計方針】(施設設計)	設備設計	○	【設備設計方針】(設備設計)	配管設計	○	【配管設計方針】(配管設計)	電気設計	○	【電気設計方針】(電気設計)	機械設計	○	【機械設計方針】(機械設計)	土木設計	○	【土木設計方針】(土木設計)	建築設計	○	【建築設計方針】(建築設計)	放射線設計	○	【放射線設計方針】(放射線設計)	環境設計	○	【環境設計方針】(環境設計)	安全設計	○	【安全設計方針】(安全設計)	製造	製造方針	○	【製造設計方針】(製造設計)	設備製造	○	【設備製造方針】(設備製造)	配管製造	○	【配管製造方針】(配管製造)	電気製造	○	【電気製造方針】(電気製造)	機械製造	○	【機械製造方針】(機械製造)	土木製造	○	【土木製造方針】(土木製造)	建築製造	○	【建築製造方針】(建築製造)	放射線製造	○	【放射線製造方針】(放射線製造)	環境製造	○	【環境製造方針】(環境製造)	安全製造	○	【安全製造方針】(安全製造)	運用	運用方針	○	【運用設計方針】(運用設計)	設備運用	○	【設備運用方針】(設備運用)	配管運用	○	【配管運用方針】(配管運用)	電気運用	○	【電気運用方針】(電気運用)	機械運用	○	【機械運用方針】(機械運用)	土木運用	○	【土木運用方針】(土木運用)	建築運用	○	【建築運用方針】(建築運用)	放射線運用	○	【放射線運用方針】(放射線運用)	環境運用	○	【環境運用方針】(環境運用)	安全運用	○	【安全運用方針】(安全運用)	<p>②の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR においては、アンユラス空気浄化ファンにより、原子炉格納容器からアンユラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンユラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することで放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。 ・また、全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合にはアンユラス全量排気弁等操作用可搬型窒素ガスポンベを用いて排気弁を開操作する。
項目	項目名	適合性	取組資料																																																																																																	
設計	設計方針	○	【施設設計方針】(施設設計)																																																																																																	
	設備設計	○	【設備設計方針】(設備設計)																																																																																																	
	配管設計	○	【配管設計方針】(配管設計)																																																																																																	
	電気設計	○	【電気設計方針】(電気設計)																																																																																																	
	機械設計	○	【機械設計方針】(機械設計)																																																																																																	
	土木設計	○	【土木設計方針】(土木設計)																																																																																																	
	建築設計	○	【建築設計方針】(建築設計)																																																																																																	
	放射線設計	○	【放射線設計方針】(放射線設計)																																																																																																	
	環境設計	○	【環境設計方針】(環境設計)																																																																																																	
	安全設計	○	【安全設計方針】(安全設計)																																																																																																	
製造	製造方針	○	【製造設計方針】(製造設計)																																																																																																	
	設備製造	○	【設備製造方針】(設備製造)																																																																																																	
	配管製造	○	【配管製造方針】(配管製造)																																																																																																	
	電気製造	○	【電気製造方針】(電気製造)																																																																																																	
	機械製造	○	【機械製造方針】(機械製造)																																																																																																	
	土木製造	○	【土木製造方針】(土木製造)																																																																																																	
	建築製造	○	【建築製造方針】(建築製造)																																																																																																	
	放射線製造	○	【放射線製造方針】(放射線製造)																																																																																																	
	環境製造	○	【環境製造方針】(環境製造)																																																																																																	
	安全製造	○	【安全製造方針】(安全製造)																																																																																																	
運用	運用方針	○	【運用設計方針】(運用設計)																																																																																																	
	設備運用	○	【設備運用方針】(設備運用)																																																																																																	
	配管運用	○	【配管運用方針】(配管運用)																																																																																																	
	電気運用	○	【電気運用方針】(電気運用)																																																																																																	
	機械運用	○	【機械運用方針】(機械運用)																																																																																																	
	土木運用	○	【土木運用方針】(土木運用)																																																																																																	
	建築運用	○	【建築運用方針】(建築運用)																																																																																																	
	放射線運用	○	【放射線運用方針】(放射線運用)																																																																																																	
	環境運用	○	【環境運用方針】(環境運用)																																																																																																	
	安全運用	○	【安全運用方針】(安全運用)																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																																																																																						
	女川原子力発電所 2 号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (可搬型)																																																																																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 40%;">中核制御室作業用設備 (2号炉専用)</th> <th style="width: 10%;">新設化項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第 1 号機</td> <td>構造強度・保安・圧力 / 圧力の監視 / 記録装置</td> <td>その他の機組内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>床板</td> <td>(専用)に構造を確保する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>(床板を確保)しない</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>(専用機組内から機組間)により構造を共有する(注)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>床設備からの影響</td> <td>(専用機組内から機組間)により構造を共有する(注)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電線配線管</td> <td>(電線架により構造が異なる)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>29-3 鋼管材</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>29-3 鋼管材</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>29-3 鋼管材</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>29-3 鋼管材</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 2 号機</td> <td>試験・検査 (簡易性、系統構成・外連入方)</td> <td>専用</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>29-3 試験用試験管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 4 号機</td> <td>制御室の床</td> <td>本床が共通として共用・共用不要</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>機組間から独立</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>対象外 (床設備)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>中核制御室専用</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>29-3 鋼管材</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>29-3 鋼管材</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 5 号機</td> <td>可搬式の床</td> <td>その機組内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>29-4 鋼管材</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の床設備</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の床設備の構造</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>(制御室の床)として共有する(注)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>29-3 鋼管材</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>専用</td> <td>専用</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>29-3 鋼管材</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 6 号機</td> <td>可搬式の床</td> <td>専用 (2号機専用)</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の床設備</td> <td>対象外 (2号機専用)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の床設備の構造</td> <td>対象外 (2号機専用)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>専用 (2号機専用)</td> <td>専用</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>専用 (2号機専用)</td> <td>専用</td> </tr> <tr> <td>配線管材</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		項目	中核制御室作業用設備 (2号炉専用)	新設化項目	第 1 号機	構造強度・保安・圧力 / 圧力の監視 / 記録装置	その他の機組内	C	床板	(専用)に構造を確保する	—	天井	(床板を確保)しない	対象外	壁	(専用機組内から機組間)により構造を共有する(注)	—	床設備からの影響	(専用機組内から機組間)により構造を共有する(注)	—	電線配線管	(電線架により構造が異なる)	—	配線管材	29-3 鋼管材	—	配線管材	29-3 鋼管材	—	配線管材	29-3 鋼管材	—	配線管材	29-3 鋼管材	—	第 2 号機	試験・検査 (簡易性、系統構成・外連入方)	専用	C	配線管材	29-3 試験用試験管	—	第 4 号機	制御室の床	本床が共通として共用・共用不要	B	配線管材	—	—	床	機組間から独立	A	壁	対象外	対象外	天井	対象外 (床設備)	対象外	床	—	—	配線管材	—	—	配線管材	中核制御室専用	B	配線管材	29-3 鋼管材	—	配線管材	29-3 鋼管材	—	第 5 号機	可搬式の床	その機組内	C	配線管材	29-4 鋼管材	—	可搬式の床設備	対象外	対象外	配線管材	—	—	可搬式の床設備の構造	対象外	対象外	配線管材	—	—	配線管材	(制御室の床)として共有する(注)	—	配線管材	29-3 鋼管材	—	配線管材	専用	専用	配線管材	29-3 鋼管材	—	第 6 号機	可搬式の床	専用 (2号機専用)	A	配線管材	—	—	可搬式の床設備	対象外 (2号機専用)	対象外	配線管材	—	—	可搬式の床設備の構造	対象外 (2号機専用)	対象外	配線管材	—	—	配線管材	専用 (2号機専用)	専用	配線管材	—	—	配線管材	専用 (2号機専用)	専用	配線管材	—	—	①の相違
項目	中核制御室作業用設備 (2号炉専用)	新設化項目																																																																																																																																							
第 1 号機	構造強度・保安・圧力 / 圧力の監視 / 記録装置	その他の機組内	C																																																																																																																																						
	床板	(専用)に構造を確保する	—																																																																																																																																						
	天井	(床板を確保)しない	対象外																																																																																																																																						
	壁	(専用機組内から機組間)により構造を共有する(注)	—																																																																																																																																						
	床設備からの影響	(専用機組内から機組間)により構造を共有する(注)	—																																																																																																																																						
	電線配線管	(電線架により構造が異なる)	—																																																																																																																																						
	配線管材	29-3 鋼管材	—																																																																																																																																						
	配線管材	29-3 鋼管材	—																																																																																																																																						
	配線管材	29-3 鋼管材	—																																																																																																																																						
	配線管材	29-3 鋼管材	—																																																																																																																																						
第 2 号機	試験・検査 (簡易性、系統構成・外連入方)	専用	C																																																																																																																																						
	配線管材	29-3 試験用試験管	—																																																																																																																																						
	第 4 号機	制御室の床	本床が共通として共用・共用不要	B																																																																																																																																					
		配線管材	—	—																																																																																																																																					
		床	機組間から独立	A																																																																																																																																					
		壁	対象外	対象外																																																																																																																																					
		天井	対象外 (床設備)	対象外																																																																																																																																					
		床	—	—																																																																																																																																					
		配線管材	—	—																																																																																																																																					
		配線管材	中核制御室専用	B																																																																																																																																					
配線管材		29-3 鋼管材	—																																																																																																																																						
配線管材		29-3 鋼管材	—																																																																																																																																						
第 5 号機	可搬式の床	その機組内	C																																																																																																																																						
	配線管材	29-4 鋼管材	—																																																																																																																																						
	可搬式の床設備	対象外	対象外																																																																																																																																						
	配線管材	—	—																																																																																																																																						
	可搬式の床設備の構造	対象外	対象外																																																																																																																																						
	配線管材	—	—																																																																																																																																						
	配線管材	(制御室の床)として共有する(注)	—																																																																																																																																						
	配線管材	29-3 鋼管材	—																																																																																																																																						
	配線管材	専用	専用																																																																																																																																						
	配線管材	29-3 鋼管材	—																																																																																																																																						
第 6 号機	可搬式の床	専用 (2号機専用)	A																																																																																																																																						
	配線管材	—	—																																																																																																																																						
	可搬式の床設備	対象外 (2号機専用)	対象外																																																																																																																																						
	配線管材	—	—																																																																																																																																						
	可搬式の床設備の構造	対象外 (2号機専用)	対象外																																																																																																																																						
	配線管材	—	—																																																																																																																																						
	配線管材	専用 (2号機専用)	専用																																																																																																																																						
	配線管材	—	—																																																																																																																																						
	配線管材	専用 (2号機専用)	専用																																																																																																																																						
	配線管材	—	—																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
女川原子力発電所 2 号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (可搬型)		泊発電所 3 号炉 SA 設備基準適合性 一覧表 (可搬)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<p>第 4 号表 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備構成</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第 1 号表</td> <td>温度測定・湿度・圧力 / 屋内の大気汚染監視</td> <td>その他の機器内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>音響</td> <td>(音源に機器を配置する)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>漏水</td> <td>(漏水を通知しない)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>放射線からの影響</td> <td>(放射線計からの影響により機能を失うおそれがない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電磁的妨害</td> <td>(電磁波により機能を失うおそれがない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 2 号表</td> <td>視覚・聴覚 (警告音、系統警報、再入力)</td> <td>非常警報設備</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>視覚・聴覚</td> <td>本来の使用として使用・監視不要</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>音</td> <td>騒音レベル低下</td> <td>A+</td> </tr> <tr> <td>音</td> <td>その他 (機器音)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 3 号表</td> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型 A の設置</td> <td>その他設備</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型 A の設置性</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>互換性確保の保証設備の確保</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 4 号表</td> <td>操作性</td> <td>(放射線量の低くなるおそれがない) (機内を確保)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>屋内 (放射線計の基準有無設備なし)</td> <td>A+</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>エアフィルター</td> <td>(エアフィルター)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設備構成	備考	第 1 号表	温度測定・湿度・圧力 / 屋内の大気汚染監視	その他の機器内	C	音響	(音源に機器を配置する)	—	漏水	(漏水を通知しない)	対象外	放射線からの影響	(放射線計からの影響により機能を失うおそれがない)	—	電磁的妨害	(電磁波により機能を失うおそれがない)	—	照度資料	照度調整機能	—	操作性	中央制御室操作	A	照度資料	照度調整機能	—	第 2 号表	視覚・聴覚 (警告音、系統警報、再入力)	非常警報設備	A	照度資料	照度調整機能	—	視覚・聴覚	本来の使用として使用・監視不要	対象外	照度資料	—	—	音	騒音レベル低下	A+	音	その他 (機器音)	対象外	照度資料	—	—	第 3 号表	操作性	中央制御室操作	B	照度資料	照度調整機能	—	可搬型 A の設置	その他設備	C	照度資料	照度調整機能	—	可搬型 A の設置性	対象外	対象外	照度資料	—	—	互換性確保の保証設備の確保	対象外	対象外	照度資料	—	—	第 4 号表	操作性	(放射線量の低くなるおそれがない) (機内を確保)	—	照度資料	照度調整機能	—	操作性	屋内 (放射線計の基準有無設備なし)	A+	照度資料	照度調整機能	—	エアフィルター	(エアフィルター)	対象外	照度資料	—	—	照度資料	—	—	照度資料	—	—	照度資料	—	—	照度資料	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備構成</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第 1 号表</td> <td>温度測定・湿度・圧力 / 屋内の大気汚染監視</td> <td>その他の機器内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>音響</td> <td>(音源に機器を配置する)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>漏水</td> <td>(漏水を通知しない)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>放射線からの影響</td> <td>(放射線計からの影響により機能を失うおそれがない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電磁的妨害</td> <td>(電磁波により機能を失うおそれがない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 2 号表</td> <td>視覚・聴覚 (警告音、系統警報、再入力)</td> <td>非常警報設備</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>視覚・聴覚</td> <td>本来の使用として使用・監視不要</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>音</td> <td>騒音レベル低下</td> <td>A+</td> </tr> <tr> <td>音</td> <td>その他 (機器音)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 3 号表</td> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型 A の設置</td> <td>その他設備</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型 A の設置性</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>互換性確保の保証設備の確保</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 4 号表</td> <td>操作性</td> <td>(放射線量の低くなるおそれがない) (機内を確保)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>屋内 (放射線計の基準有無設備なし)</td> <td>A+</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>エアフィルター</td> <td>(エアフィルター)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設備構成	備考	第 1 号表	温度測定・湿度・圧力 / 屋内の大気汚染監視	その他の機器内	C	音響	(音源に機器を配置する)	—	漏水	(漏水を通知しない)	対象外	放射線からの影響	(放射線計からの影響により機能を失うおそれがない)	—	電磁的妨害	(電磁波により機能を失うおそれがない)	—	照度資料	照度調整機能	—	操作性	中央制御室操作	A	照度資料	照度調整機能	—	第 2 号表	視覚・聴覚 (警告音、系統警報、再入力)	非常警報設備	A	照度資料	照度調整機能	—	視覚・聴覚	本来の使用として使用・監視不要	対象外	照度資料	—	—	音	騒音レベル低下	A+	音	その他 (機器音)	対象外	照度資料	—	—	第 3 号表	操作性	中央制御室操作	B	照度資料	照度調整機能	—	可搬型 A の設置	その他設備	C	照度資料	照度調整機能	—	可搬型 A の設置性	対象外	対象外	照度資料	—	—	互換性確保の保証設備の確保	対象外	対象外	照度資料	—	—	第 4 号表	操作性	(放射線量の低くなるおそれがない) (機内を確保)	—	照度資料	照度調整機能	—	操作性	屋内 (放射線計の基準有無設備なし)	A+	照度資料	照度調整機能	—	エアフィルター	(エアフィルター)	対象外	照度資料	—	—	照度資料	—	—	照度資料	—	—	照度資料	—	—	照度資料	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備構成</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第 1 号表</td> <td>温度測定・湿度・圧力 / 屋内の大気汚染監視</td> <td>その他の機器内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>音響</td> <td>(音源に機器を配置する)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>漏水</td> <td>(漏水を通知しない)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>放射線からの影響</td> <td>(放射線計からの影響により機能を失うおそれがない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電磁的妨害</td> <td>(電磁波により機能を失うおそれがない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 2 号表</td> <td>視覚・聴覚 (警告音、系統警報、再入力)</td> <td>非常警報設備</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>視覚・聴覚</td> <td>本来の使用として使用・監視不要</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>音</td> <td>騒音レベル低下</td> <td>A+</td> </tr> <tr> <td>音</td> <td>その他 (機器音)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 3 号表</td> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型 A の設置</td> <td>その他設備</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型 A の設置性</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>互換性確保の保証設備の確保</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第 4 号表</td> <td>操作性</td> <td>(放射線量の低くなるおそれがない) (機内を確保)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>屋内 (放射線計の基準有無設備なし)</td> <td>A+</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>照度調整機能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>エアフィルター</td> <td>(エアフィルター)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>照度資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設備構成	備考	第 1 号表	温度測定・湿度・圧力 / 屋内の大気汚染監視	その他の機器内	C	音響	(音源に機器を配置する)	—	漏水	(漏水を通知しない)	対象外	放射線からの影響	(放射線計からの影響により機能を失うおそれがない)	—	電磁的妨害	(電磁波により機能を失うおそれがない)	—	照度資料	照度調整機能	—	操作性	中央制御室操作	A	照度資料	照度調整機能	—	第 2 号表	視覚・聴覚 (警告音、系統警報、再入力)	非常警報設備	A	照度資料	照度調整機能	—	視覚・聴覚	本来の使用として使用・監視不要	対象外	照度資料	—	—	音	騒音レベル低下	A+	音	その他 (機器音)	対象外	照度資料	—	—	第 3 号表	操作性	中央制御室操作	B	照度資料	照度調整機能	—	可搬型 A の設置	その他設備	C	照度資料	照度調整機能	—	可搬型 A の設置性	対象外	対象外	照度資料	—	—	互換性確保の保証設備の確保	対象外	対象外	照度資料	—	—	第 4 号表	操作性	(放射線量の低くなるおそれがない) (機内を確保)	—	照度資料	照度調整機能	—	操作性	屋内 (放射線計の基準有無設備なし)	A+	照度資料	照度調整機能	—	エアフィルター	(エアフィルター)	対象外	照度資料	—	—	照度資料	—	—	照度資料	—	—	照度資料	—	—	照度資料	—	—	<p>差異理由</p>
	項目	設備構成	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第 1 号表	温度測定・湿度・圧力 / 屋内の大気汚染監視	その他の機器内	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	音響	(音源に機器を配置する)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	漏水	(漏水を通知しない)	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	放射線からの影響	(放射線計からの影響により機能を失うおそれがない)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	電磁的妨害	(電磁波により機能を失うおそれがない)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	操作性	中央制御室操作	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	第 2 号表	視覚・聴覚 (警告音、系統警報、再入力)	非常警報設備	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
視覚・聴覚		本来の使用として使用・監視不要	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
音		騒音レベル低下	A+																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
音		その他 (機器音)	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第 3 号表		操作性	中央制御室操作	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		可搬型 A の設置	その他設備	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	可搬型 A の設置性	対象外	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	互換性確保の保証設備の確保	対象外	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	第 4 号表	操作性	(放射線量の低くなるおそれがない) (機内を確保)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
操作性		屋内 (放射線計の基準有無設備なし)	A+																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
エアフィルター		(エアフィルター)	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
項目	設備構成	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 1 号表	温度測定・湿度・圧力 / 屋内の大気汚染監視	その他の機器内	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	音響	(音源に機器を配置する)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	漏水	(漏水を通知しない)	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	放射線からの影響	(放射線計からの影響により機能を失うおそれがない)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	電磁的妨害	(電磁波により機能を失うおそれがない)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	操作性	中央制御室操作	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	第 2 号表	視覚・聴覚 (警告音、系統警報、再入力)	非常警報設備	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
視覚・聴覚		本来の使用として使用・監視不要	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
音		騒音レベル低下	A+																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
音		その他 (機器音)	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第 3 号表		操作性	中央制御室操作	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		可搬型 A の設置	その他設備	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	可搬型 A の設置性	対象外	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	互換性確保の保証設備の確保	対象外	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	第 4 号表	操作性	(放射線量の低くなるおそれがない) (機内を確保)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
操作性		屋内 (放射線計の基準有無設備なし)	A+																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
エアフィルター		(エアフィルター)	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
項目	設備構成	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第 1 号表	温度測定・湿度・圧力 / 屋内の大気汚染監視	その他の機器内	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	音響	(音源に機器を配置する)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	漏水	(漏水を通知しない)	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	放射線からの影響	(放射線計からの影響により機能を失うおそれがない)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	電磁的妨害	(電磁波により機能を失うおそれがない)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	操作性	中央制御室操作	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	第 2 号表	視覚・聴覚 (警告音、系統警報、再入力)	非常警報設備	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
視覚・聴覚		本来の使用として使用・監視不要	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
音		騒音レベル低下	A+																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
音		その他 (機器音)	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第 3 号表		操作性	中央制御室操作	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		可搬型 A の設置	その他設備	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	可搬型 A の設置性	対象外	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	互換性確保の保証設備の確保	対象外	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	照度資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	第 4 号表	操作性	(放射線量の低くなるおそれがない) (機内を確保)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		照度資料	照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
操作性		屋内 (放射線計の基準有無設備なし)	A+																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		照度調整機能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
エアフィルター		(エアフィルター)	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
照度資料		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2 号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (可搬型)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目名</th> <th>運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>二酸化炭素濃度計</th> <th>監視地区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視・操作・仕立 / 屋外の天候/監視機</td> <td>その他の機組内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組</td> <td>(機組は機組を監視する)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組</td> <td>(機組を監視しない)</td> <td>監視機</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視の形態</td> <td>(国の機組からの監視機)より機組を監視する(有るがなし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(監視機により機組を監視する)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>中央監視機</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機 (機組監視機、監視機、監視機)</td> <td>機組監視機</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>SA 監視及び報告</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>本機の機組として機組を監視する</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>対象機</td> <td>監視機</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>中央監視機</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>その他機組</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>対象機</td> <td>監視機</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機のみを監視する)</td> <td>監視機</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機のみを監視する)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>監視機</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機のみを監視する)</td> <td>監視機</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機のみを監視する)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>監視機</td> </tr> </tbody> </table>	項目名		運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	二酸化炭素濃度計	監視地区分	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視・操作・仕立 / 屋外の天候/監視機	その他の機組内	C	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組	(機組は機組を監視する)	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組	(機組を監視しない)	監視機	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視の形態	(国の機組からの監視機)より機組を監視する(有るがなし)	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(監視機により機組を監視する)	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	監視機	(機組監視機)	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	中央監視機	A	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機 (機組監視機、監視機、監視機)	機組監視機	K	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	SA 監視及び報告	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	本機の機組として機組を監視する	D	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	対象機	監視機	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	中央監視機	B	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	その他機組	C	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	対象機	監視機	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	監視機	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	B	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	監視機	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	監視機	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	B	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	監視機	<p style="text-align: center;">泊発電所 3 号炉 SA 設備基準適合性 一覧表 (可搬)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目名</th> <th>運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>二酸化炭素濃度計</th> <th>監視地区分</th> <th>相違理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視・操作・仕立 / 屋外の天候/監視機</td> <td>その他の機組内</td> <td>C</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組</td> <td>(機組は機組を監視する)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組</td> <td>(機組を監視しない)</td> <td>監視機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視の形態</td> <td>(国の機組からの監視機)より機組を監視する(有るがなし)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(監視機により機組を監視する)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>中央監視機</td> <td>A</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機 (機組監視機、監視機、監視機)</td> <td>機組監視機</td> <td>K</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>SA 監視及び報告</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>本機の機組として機組を監視する</td> <td>D</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>A</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>対象機</td> <td>監視機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>中央監視機</td> <td>B</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>その他機組</td> <td>C</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>対象機</td> <td>監視機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機のみを監視する)</td> <td>監視機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機のみを監視する)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>A</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>B</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>監視機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機のみを監視する)</td> <td>監視機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機のみを監視する)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>(機組監視機)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>A</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>B</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機 組 機 組 機 組 機 組 機 組</td> <td>機組監視機</td> <td>機組監視機</td> <td>監視機</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目名		運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	二酸化炭素濃度計	監視地区分	相違理由	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視・操作・仕立 / 屋外の天候/監視機	その他の機組内	C	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組	(機組は機組を監視する)	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組	(機組を監視しない)	監視機	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視の形態	(国の機組からの監視機)より機組を監視する(有るがなし)	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(監視機により機組を監視する)	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	監視機	(機組監視機)	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	中央監視機	A	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機 (機組監視機、監視機、監視機)	機組監視機	K	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	SA 監視及び報告	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	本機の機組として機組を監視する	D	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	対象機	監視機	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	中央監視機	B	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	その他機組	C	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	対象機	監視機	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	監視機	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	B	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	監視機	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	監視機	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	B	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	—	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	監視機	—	<p>【再掲】</p>
項目名		運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	二酸化炭素濃度計	監視地区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視・操作・仕立 / 屋外の天候/監視機	その他の機組内	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組	(機組は機組を監視する)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組	(機組を監視しない)	監視機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視の形態	(国の機組からの監視機)より機組を監視する(有るがなし)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(監視機により機組を監視する)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	監視機	(機組監視機)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	中央監視機	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機 (機組監視機、監視機、監視機)	機組監視機	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	SA 監視及び報告	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	本機の機組として機組を監視する	D																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	対象機	監視機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	中央監視機	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	その他機組	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	対象機	監視機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	監視機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	監視機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	監視機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	監視機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
項目名		運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	二酸化炭素濃度計	監視地区分	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視・操作・仕立 / 屋外の天候/監視機	その他の機組内	C	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組	(機組は機組を監視する)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組	(機組を監視しない)	監視機	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視の形態	(国の機組からの監視機)より機組を監視する(有るがなし)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(監視機により機組を監視する)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	監視機	(機組監視機)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	中央監視機	A	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機 (機組監視機、監視機、監視機)	機組監視機	K	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	SA 監視及び報告	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	本機の機組として機組を監視する	D	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	対象機	監視機	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	中央監視機	B	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	その他機組	C	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	対象機	監視機	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	監視機	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	B	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	監視機	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	監視機	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機のみを監視する)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	(機組監視機)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	A	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	B	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機 組 機 組 機 組 機 組 機 組	機組監視機	機組監視機	監視機	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																							
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2 号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (可推型)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)</th> <th>可搬型機器 (Y/N)</th> <th>搬送状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機室扉扉・階段・圧力 / 加圧の互換 / 換気扇</td> <td>その他の機室内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>搬送</td> <td>(有蓋) (積込も搬送可能)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>扉</td> <td>(扉本を搬送しない)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>機室扉扉からの搬送</td> <td>(機室扉扉からの搬送) (機室扉扉を搬送しない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>(機室扉扉を搬送しない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉)</td> <td>その他の機室内</td> <td>J</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>本家の機室として使用・制御可能</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>機室扉扉からの搬送</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>機室扉扉 (機室扉扉)</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>中央制御室機室</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉 A の機室</td> <td>その他の機室</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉 A の機室</td> <td>上下機室の機室</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>機室扉扉からの搬送</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>(機室扉扉の高さをおおむね 1m 程度を確保)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>機室内 (機室扉扉の考慮対象外)</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>禁止でも扉扉でない設備 (自然発熱設備あり)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)	可搬型機器 (Y/N)	搬送状況	機室扉扉・階段・圧力 / 加圧の互換 / 換気扇	その他の機室内	C	搬送	(有蓋) (積込も搬送可能)	—	扉	(扉本を搬送しない)	対象外	機室扉扉からの搬送	(機室扉扉からの搬送) (機室扉扉を搬送しない)	—	機室扉扉	(機室扉扉を搬送しない)	—	搬送資料	図 3-3 搬送図		機室扉扉	図 3-3 搬送図	B	機室扉扉	図 3-3 搬送図		機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉)	その他の機室内	J	搬送資料	図 3-3 搬送図		機室扉扉	本家の機室として使用・制御可能	B	搬送資料	—		機室扉扉	機室扉扉からの搬送	A	機室扉扉 (機室扉扉)	対象外	対象外	搬送資料	—		機室扉扉	中央制御室機室	B	搬送資料	図 3-3 搬送図		機室扉扉 A の機室	その他の機室	C	搬送資料	—		機室扉扉 A の機室	上下機室の機室	C	搬送資料	—		機室扉扉	機室扉扉からの搬送	対象外	搬送資料	—		機室扉扉	(機室扉扉の高さをおおむね 1m 程度を確保)	—	搬送資料	図 3-3 搬送図		機室扉扉	機室内 (機室扉扉の考慮対象外)	A	搬送資料	図 3-3 搬送図		機室扉扉	図 3-3 搬送図	対象外	搬送資料	—		機室扉扉	禁止でも扉扉でない設備 (自然発熱設備あり)	B	搬送資料	対象外	対象外	搬送資料	—		<p style="text-align: center;">泊発電所 3 号炉 SA 設備基準適合性 一覧表 (可搬)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)</th> <th>可搬型機器 (Y/N)</th> <th>搬送状況</th> <th>搬送資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機室扉扉・階段・圧力 / 加圧の互換 / 換気扇</td> <td>その他の機室内 (機室扉扉からの搬送)</td> <td>B</td> <td>図 3-3 搬送図</td> </tr> <tr> <td>搬送</td> <td>(有蓋) (機室扉扉を搬送しない)</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>扉</td> <td>(機室扉扉を搬送しない)</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉からの搬送</td> <td>(機室扉扉からの搬送) (機室扉扉を搬送しない)</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>(機室扉扉を搬送しない)</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉) (機室扉扉を搬送しない)</td> <td>B</td> <td>図 3-3 搬送図</td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉)</td> <td>B</td> <td>図 3-3 搬送図</td> </tr> <tr> <td>機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉)</td> <td>その他の機室内</td> <td>J</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>本家の機室として使用・制御可能</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>機室扉扉からの搬送</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉 (機室扉扉)</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>中央制御室機室</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉 A の機室</td> <td>その他の機室</td> <td>C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉 A の機室</td> <td>上下機室の機室</td> <td>C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>機室扉扉からの搬送</td> <td>対象外</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>(機室扉扉の高さをおおむね 1m 程度を確保)</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>機室内 (機室扉扉の考慮対象外)</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>図 3-3 搬送図</td> <td>対象外</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室扉扉</td> <td>禁止でも扉扉でない設備 (自然発熱設備あり)</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送資料</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)	可搬型機器 (Y/N)	搬送状況	搬送資料	機室扉扉・階段・圧力 / 加圧の互換 / 換気扇	その他の機室内 (機室扉扉からの搬送)	B	図 3-3 搬送図	搬送	(有蓋) (機室扉扉を搬送しない)	—		扉	(機室扉扉を搬送しない)	—		機室扉扉からの搬送	(機室扉扉からの搬送) (機室扉扉を搬送しない)	—		機室扉扉	(機室扉扉を搬送しない)	—		搬送資料	図 3-3 搬送図			機室扉扉	機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉) (機室扉扉を搬送しない)	B	図 3-3 搬送図	機室扉扉	機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉)	B	図 3-3 搬送図	機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉)	その他の機室内	J		搬送資料	図 3-3 搬送図			機室扉扉	本家の機室として使用・制御可能	B		搬送資料	—			機室扉扉	機室扉扉からの搬送	A		機室扉扉 (機室扉扉)	対象外	対象外		搬送資料	—			機室扉扉	中央制御室機室	B		搬送資料	図 3-3 搬送図			機室扉扉 A の機室	その他の機室	C		搬送資料	—			機室扉扉 A の機室	上下機室の機室	C		搬送資料	—			機室扉扉	機室扉扉からの搬送	対象外		搬送資料	—			機室扉扉	(機室扉扉の高さをおおむね 1m 程度を確保)	—		搬送資料	図 3-3 搬送図			機室扉扉	機室内 (機室扉扉の考慮対象外)	A		搬送資料	図 3-3 搬送図			機室扉扉	図 3-3 搬送図	対象外		搬送資料	—			機室扉扉	禁止でも扉扉でない設備 (自然発熱設備あり)	B		搬送資料	対象外	対象外		搬送資料	—			
設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)	可搬型機器 (Y/N)	搬送状況																																																																																																																																																																																																																																								
機室扉扉・階段・圧力 / 加圧の互換 / 換気扇	その他の機室内	C																																																																																																																																																																																																																																								
搬送	(有蓋) (積込も搬送可能)	—																																																																																																																																																																																																																																								
扉	(扉本を搬送しない)	対象外																																																																																																																																																																																																																																								
機室扉扉からの搬送	(機室扉扉からの搬送) (機室扉扉を搬送しない)	—																																																																																																																																																																																																																																								
機室扉扉	(機室扉扉を搬送しない)	—																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	図 3-3 搬送図	B																																																																																																																																																																																																																																								
機室扉扉	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉)	その他の機室内	J																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	本家の機室として使用・制御可能	B																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	機室扉扉からの搬送	A																																																																																																																																																																																																																																								
機室扉扉 (機室扉扉)	対象外	対象外																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	中央制御室機室	B																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉 A の機室	その他の機室	C																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉 A の機室	上下機室の機室	C																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	機室扉扉からの搬送	対象外																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	(機室扉扉の高さをおおむね 1m 程度を確保)	—																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	機室内 (機室扉扉の考慮対象外)	A																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	図 3-3 搬送図	対象外																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	禁止でも扉扉でない設備 (自然発熱設備あり)	B																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	対象外	対象外																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
設備名 (運転員が原子炉制御室にとどまるための設備)	可搬型機器 (Y/N)	搬送状況	搬送資料																																																																																																																																																																																																																																							
機室扉扉・階段・圧力 / 加圧の互換 / 換気扇	その他の機室内 (機室扉扉からの搬送)	B	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																							
搬送	(有蓋) (機室扉扉を搬送しない)	—																																																																																																																																																																																																																																								
扉	(機室扉扉を搬送しない)	—																																																																																																																																																																																																																																								
機室扉扉からの搬送	(機室扉扉からの搬送) (機室扉扉を搬送しない)	—																																																																																																																																																																																																																																								
機室扉扉	(機室扉扉を搬送しない)	—																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉) (機室扉扉を搬送しない)	B	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																							
機室扉扉	機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉)	B	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																							
機室扉扉 (機室扉扉、機室扉扉、機室扉扉)	その他の機室内	J																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	本家の機室として使用・制御可能	B																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	機室扉扉からの搬送	A																																																																																																																																																																																																																																								
機室扉扉 (機室扉扉)	対象外	対象外																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	中央制御室機室	B																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉 A の機室	その他の機室	C																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉 A の機室	上下機室の機室	C																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	機室扉扉からの搬送	対象外																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	(機室扉扉の高さをおおむね 1m 程度を確保)	—																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	機室内 (機室扉扉の考慮対象外)	A																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	図 3-3 搬送図																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	図 3-3 搬送図	対象外																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									
機室扉扉	禁止でも扉扉でない設備 (自然発熱設備あり)	B																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	対象外	対象外																																																																																																																																																																																																																																								
搬送資料	—																																																																																																																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由																																																																		
		<p style="text-align: center;">泊発電所 3 号炉 S A 設備基準適合性 一覧表 (可読)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">項目</th> <th style="width: 70%;">設備名称</th> <th style="width: 10%;">規格</th> <th style="width: 15%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">設備</td> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">設備</td> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> <tr> <td>【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)</td> <td>炉内放射線計測装置</td> <td>炉内放射線計測装置</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設備名称	規格	備考	設備	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	設備	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置	<p>②の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR においては、アンユラス空気浄化ファンにより、原子炉格納容器からアンユラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンユラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することで放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。 ・また、全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合にはアンユラス全量排気弁等操作用可搬型窒素ガスポンプを用いて排気弁を開操作する。
項目	設備名称	規格	備考																																																																		
設備	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
設備	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		
	【設備】 炉内放射線計測装置 (炉内放射線計測装置)	炉内放射線計測装置	炉内放射線計測装置																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>大飯3、4号炉 SA設備基準適合性一覧表の記号説明</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第1号 重大事故等時の環境条件における健全性について</p> <p>①炉内温度・炉内圧力・炉内放射線 ②炉内圧力 ③炉内放射線による影響（熱びく／熱膨） ④炉内放射線 ⑤炉内温度・炉内圧力による影響（熱びく／熱膨） ⑥炉内放射線</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第2号 操作の健全性について</p> <p>● 緊急時対応 ● 異常時対応（熱びく影響等） ● 定常運転 ● 保守作業 ● 保守計画 ● 保守実施の記録、設置 ● 保守内容 ● 保守スケジュール ● 保守実施計画 ● 保守実施 ● 保守実施の記録、設置 ● 保守実施計画 ● 保守実施計画 ● その他、前記の対応事項</p> <p>①緊急時対応 ②異常時対応（熱びく影響等） ③定常運転 ④保守作業 ⑤保守計画 ⑥保守実施の記録、設置 ⑦保守内容 ⑧保守実施スケジュール ⑨保守実施計画 ⑩保守実施計画 ⑪その他、設備の可逆事項</p>		<p>泊3号炉 SA設備基準適合性一覧表の記号説明</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第1号 重大事故等時の環境条件における健全性について</p> <p>①炉内温度・炉内圧力・炉内放射線 ②炉内圧力 ③炉内放射線による影響（熱びく／熱膨） ④炉内放射線</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第2号 操作の健全性について</p> <p>● 緊急時対応 ● 異常時対応（熱びく影響等） ● 定常運転 ● 保守作業 ● 保守計画 ● 保守実施の記録、設置 ● 保守内容 ● 保守スケジュール ● 保守実施計画 ● 保守実施計画 ● その他、設備の可逆事項</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第3号 試験又は検査性について</p> <p>■設置許可基準規則 第45条 第1項 第4号 切り替え性について</p> <p>■設置許可基準規則 第45条 第1項 第5号 重大事故等対応設備の悪影響防止について</p> <p>※：Aについては、Aと考慮事項の番号を記載する。（例：A①、A②等）</p>		<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第3号 試験又は検査性について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第4号 切り替え性について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第5号 重大事故等対応設備の悪影響防止について</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

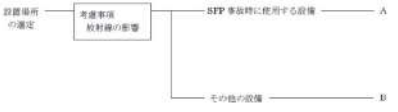



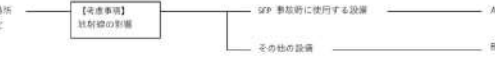
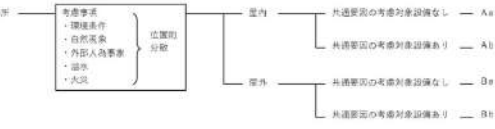

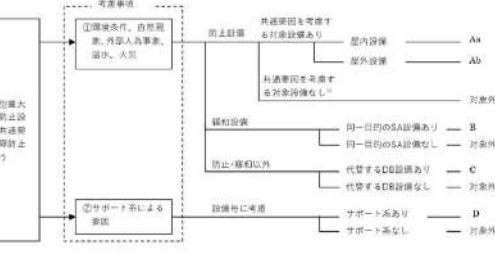
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由								
<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第6号 設置場所について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第1号 常設重大事故等対応設備の容量等について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第2号 発電用原子炉施設での共用の禁止について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第3号 常設重大事故防止設備の共通要因排除について</p> <p>注：記号の記載については、考慮事項の番号=a又はbを記載する。(例：①a、①b、②a、②b)</p>		<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第6号 設置場所について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第1号 常設重大事故等対応設備の容量等について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第2号 発電用原子炉施設での共用の禁止について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設計方針</th> <th>関連資料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第3号 常設重大事故防止設備の共通要因排除について</p>	区分	設計方針	関連資料	備考	-	2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。	-	-	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>
区分	設計方針	関連資料	備考								
-	2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。	-	-								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第1号 可観型重大事故等対応設備の容量等について</p> <p>必要数量</p> <ul style="list-style-type: none"> 【考慮事項】 <ul style="list-style-type: none"> ① 原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する設備かどうか ② 食料に直接接続する可観型式電圧設備、可観型パンナリ、可観型ポンプかどうか 原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可観型設備 — A 食料に直接接続する可観型式電圧設備、可観型パンナリ、可観型ポンプ等 — B ①、②以外 — C <p>半備数量の考え方</p> <p>半備数量</p> <ul style="list-style-type: none"> 【考慮事項】 <ul style="list-style-type: none"> ① プラント定機中等可観型重大事故等対応設備の機能を要求されない時期に保守点検を実施かどうか ② 保守点検中でも使用可能（外観目視、音響・振動、メータチェック、機能確認、一式取替（お除け等の設備との取替含む）の際に、事前に取替品を準備してから保守点検するかどうか等）であるかどうか プラント定機中等可観型重大事故等対応設備の機能を要求されない時期に保守点検を実施する設備 — A 保守点検中でも使用可能（外観目視、音響・振動、メータチェック、機能確認、一式取替（お除け等の設備との取替含む）の際に、事前に取替品を準備してから保守点検するかどうか等）である設備 — B ①、②以外 — C <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第2号 可観型重大事故等対応設備の常設設備との接続性について</p> <p>接続</p> <ul style="list-style-type: none"> 【考慮事項】 <ul style="list-style-type: none"> ① 容量かつ種別を接続 ② 接続部の規格の統一 ケーブル <ul style="list-style-type: none"> コネクタ接続 — A より簡便な接続規格等による接続 — C 配管 <ul style="list-style-type: none"> ボルト締フランジ接続 — B より簡便な接続規格等による接続 — C その他の構造 — D 接続なし — E <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第3号 異なる複数の接続箇所の確保について</p> <p>接続箇所（建屋外から供給するものに限る）</p> <ul style="list-style-type: none"> 【考慮事項】 <ul style="list-style-type: none"> - 放射線による影響因子 - 洪水、火災 - 自然現象 - 外部人為事象 水・電力 — 屋内（壁面含む） — A 屋内及び屋外 — B その他（空気） — C 接続箇所なし — D 		<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第1号 可観型重大事故等対応設備の容量等について</p> <p>必要数量</p> <ul style="list-style-type: none"> 【考慮事項】 <ul style="list-style-type: none"> ① 原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する設備かどうか ② 食料に直接接続する可観型パンナリ及び可観型ポンプ等かどうか 原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可観型設備 — A 食料に直接接続する可観型パンナリ及び可観型ポンプ等 — B ①、②以外 — C <p>半備数量もあわせて検討方針とする。</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第2号 可観型重大事故等対応設備の常設設備との接続性について</p> <p>接続</p> <ul style="list-style-type: none"> 【考慮事項】 <ul style="list-style-type: none"> ① 容量かつ種別を接続 ② 接続部の規格の統一 ケーブル <ul style="list-style-type: none"> 両子のサルト・ネジによる接続 — A 油継接続 <ul style="list-style-type: none"> 通信・計装用設備専用 — D 水・空気配管 <ul style="list-style-type: none"> ボルト締フランジ接続 — B 小口径等 — C 油配管、計装用配管 <ul style="list-style-type: none"> 専用の接続方法による接続 — D <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第3号 異なる複数の接続箇所の確保について</p> <p>接続箇所（建屋外から供給するものに限る）</p> <ul style="list-style-type: none"> 【考慮事項】 <ul style="list-style-type: none"> - 放射線 - 洪水、火災 - 自然現象 - 外部人為事象 水・電力 — 屋内（壁面含む） — A その他（空気） — 対象外 	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第4号 可能型重大事故等対応設備の設置場所について</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第5号 保管場所について</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第6号 アクセスルートについて</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第7号 重大事故防止設備のうち可能型のもの共通要因設備について</p>  <p>※：記号の記載については、考慮事項の番号+ a又はbを記載する。(例：①a、①b、②a、②b)</p>		<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第4号 可能型重大事故等対応設備の設置場所について</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第5号 保管場所について</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第6号 アクセスルートについて</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第7号 重大事故防止設備のうち可能型のもの共通要因設備について</p> 	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>59-2 配置図</p> <p>3号炉</p>	<p>59-3 配置図</p>	<p>59-2 配置図</p> <div data-bbox="1541 970 1816 1054" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>凡例</p> <p> : 設計基準対象施設</p> <p> : 重大事故等対処設備</p> </div>	<p>【大飯】記載順序の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 配置図については比較のため、大飯の掲載順を女川に合わせて再構成している。 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は3号炉と4号炉を区別して記載している。 <p>【女川・大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は凡例を記載。

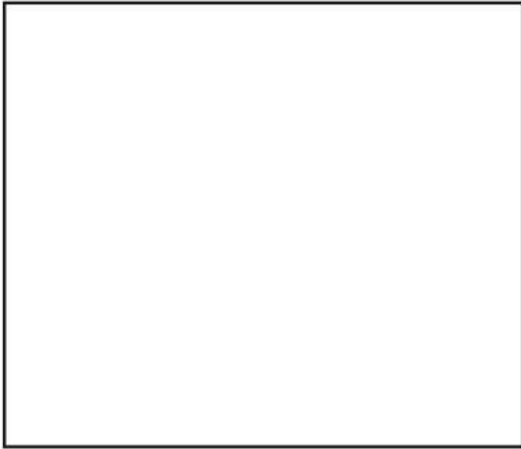
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

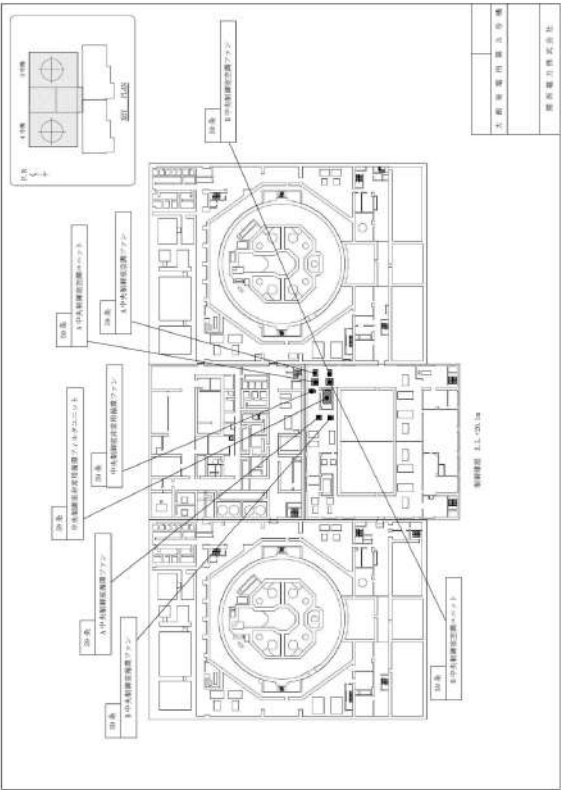
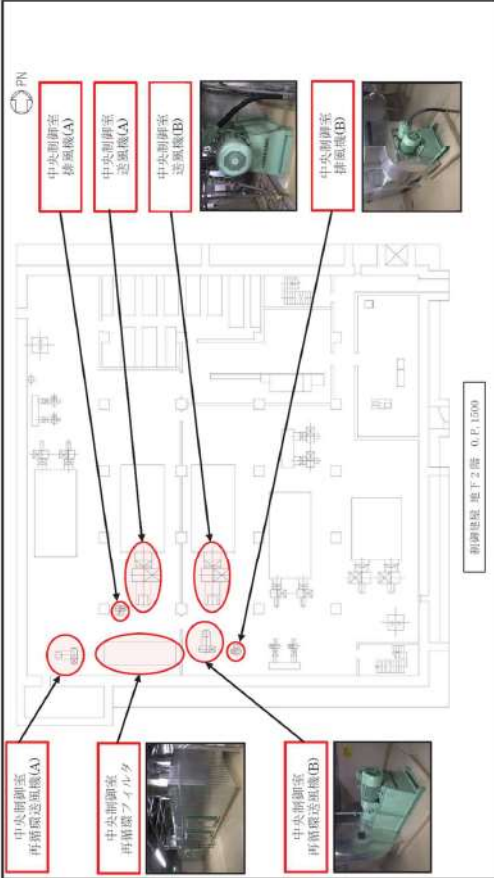
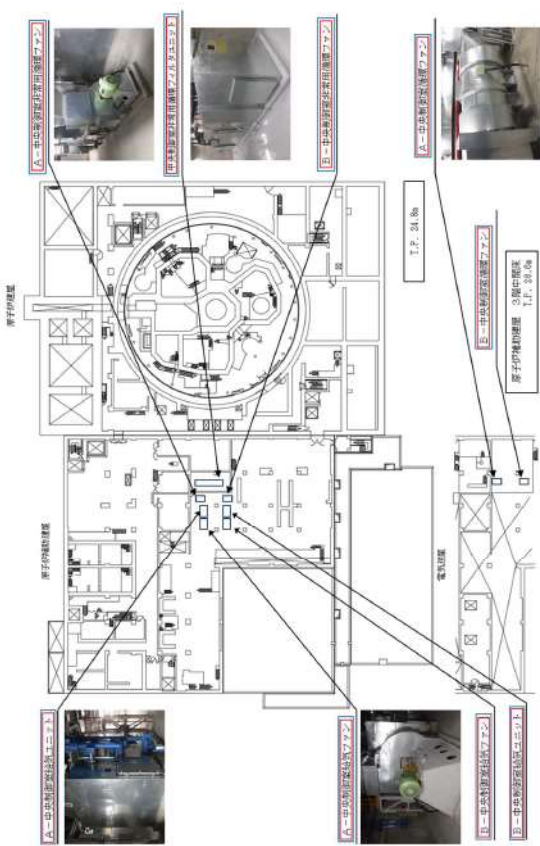
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>【大飯欄はp59-2-5を掲載】</p> <p>図59-3-1 中央制御室及び中央制御室待聴所 可搬型照明 (SA) 配置図 (使用時)</p>	<p>図59-2-1 中央制御室 可搬型照明 (SA) 配置図 (使用時)</p>	<p>図59-2-1 中央制御室 可搬型照明 (SA) 配置図 (使用時)</p>	<p>差異理由</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p data-bbox="750 710 1108 758">図 59-3-2 中央制御室待避所正圧化バウンダリ 配置図 (制御建屋地上3階)</p> <div data-bbox="916 770 1229 799" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="920 778 1225 799">特図みの内容は防護上の観点から公開できません。</p> </div>		<p data-bbox="1832 231 1915 252">①の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

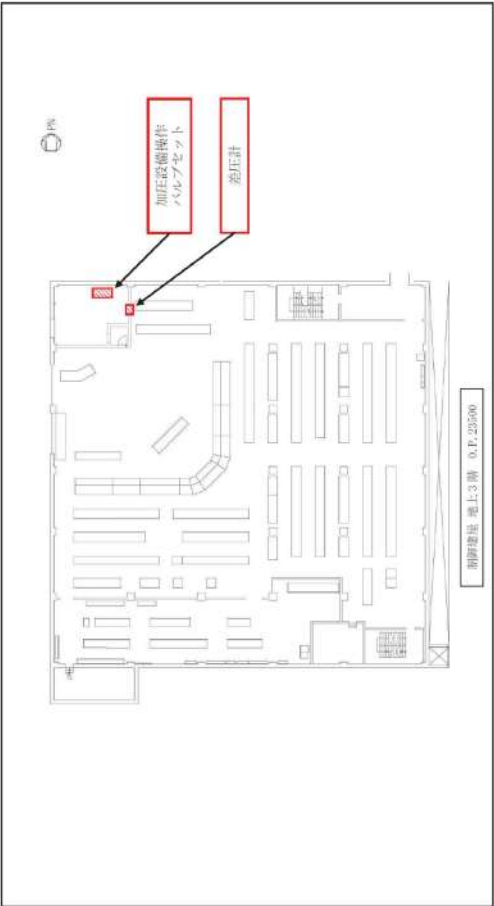
大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
<p>【大飯欄は p59-2-6 を掲載】</p> 	 <p>図 59-3-3 中央制御室換気空調系設備 配置図 (制御建屋地下 2 階)</p>	 <p>図 59-2-2 中央制御室空調装置 配置図</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
	<p>図 59-3-4 中央制御室燃気空調系結気及び排気隔離ダンパ配置図 (制御建屋地下 2 階)</p>	<p>図 59-2-3 中央制御室空調系設置 外気遮断に用いるダンパ配置図</p>	

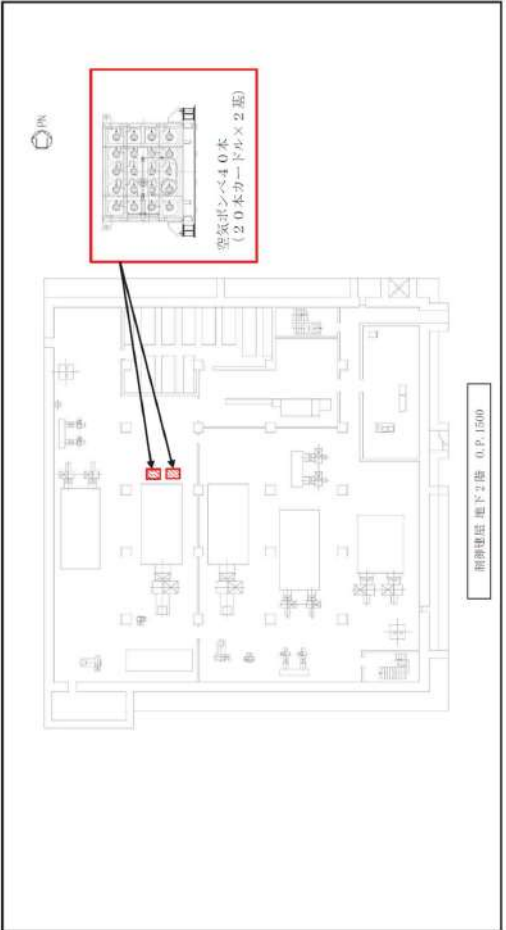
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p>図 59-3-5 中央制御室待機所加圧設備 配置図 (その1) (制御室地上3階)</p>		<p>①の相違</p>

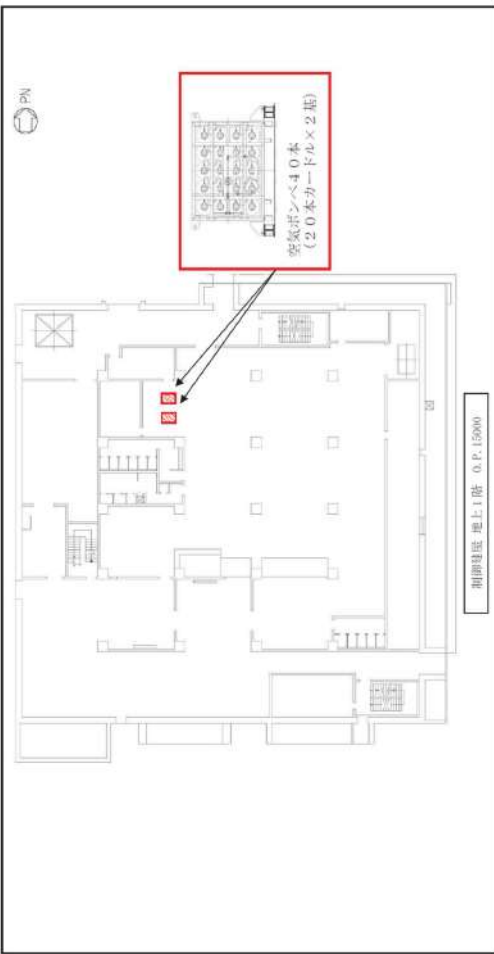
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p>緊急ポンプ40本 (20本カード×2基)</p> <p>制御室 地下2階 0.F.1500</p> <p>図 59-3-6 中央制御室待機所加压設備 配置図 (その2) (制御室地下2階)</p>		<p>①の相違</p>

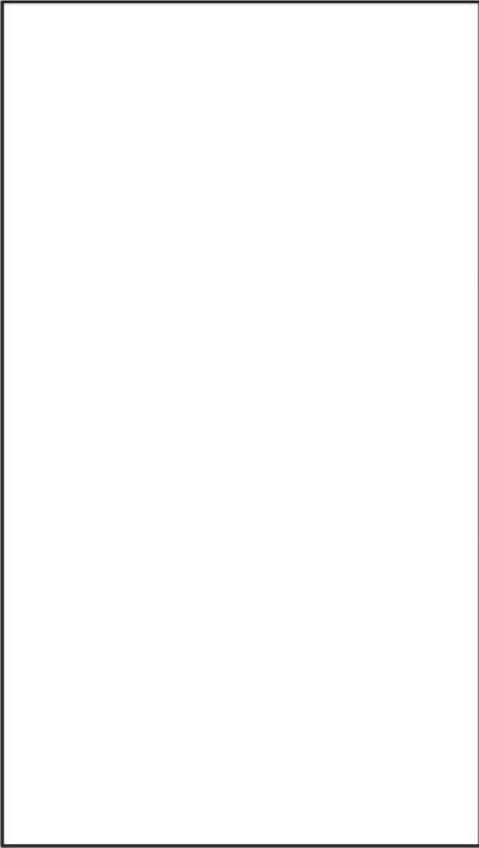
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

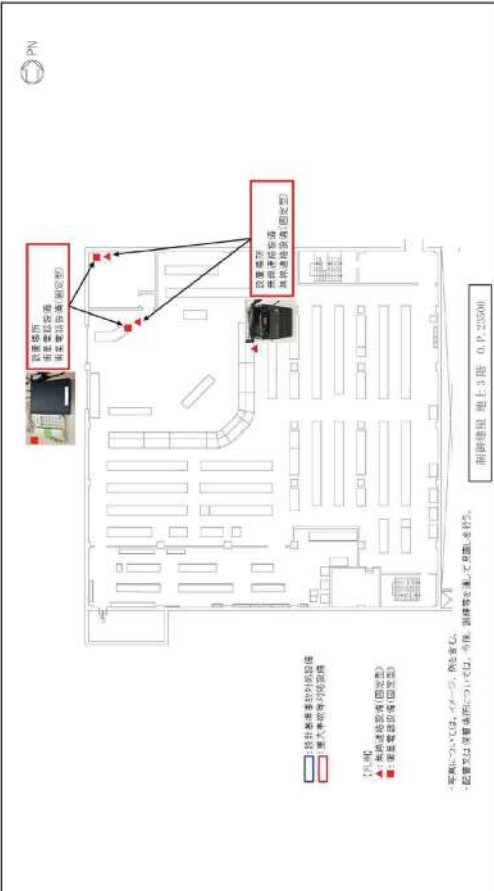
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p>図 59-9-7 中央制御室待機所加圧設備 配置図 (その3) (制御室屋上1階)</p> <p>制御室屋上1階 0.P.15000</p> <p>空気ポンプ×40本 (20本カーブドル×2基)</p>		<p>①の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

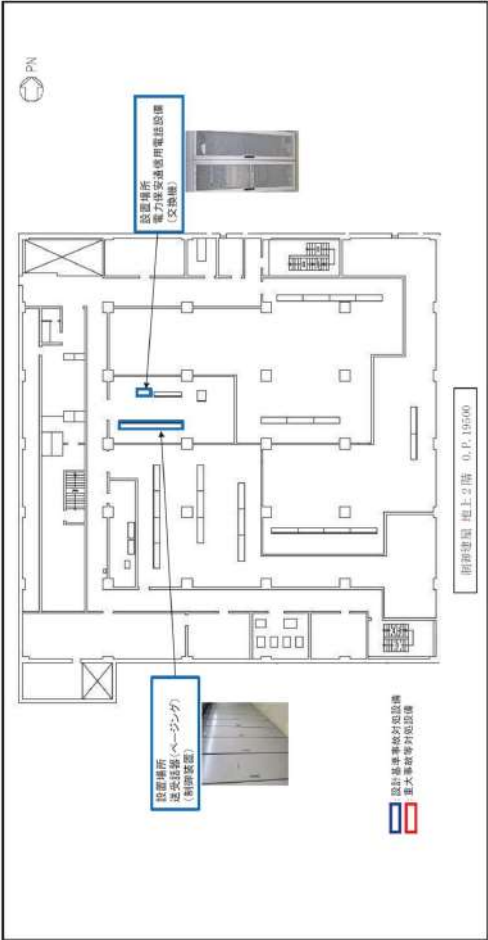
第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 10px; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-size: small;">中身の内容は商業機密の観点から公開できません。</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 10px; top: 20%; font-size: small;">図 54-3-9 中央制御室遮蔽及び中央制御室作動所遮蔽 配図図（その2）</p>		<p style="color: red;">①の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

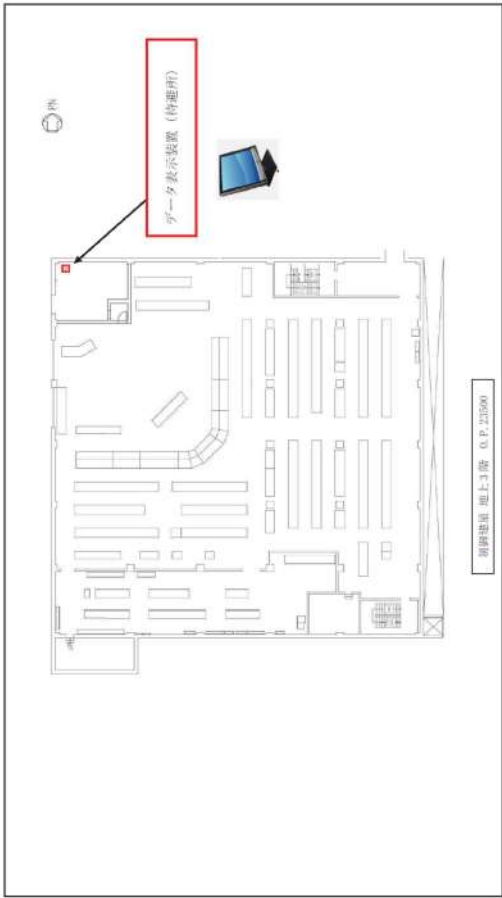
大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
	 <p>図 59-3-10 無線連絡設備 (固定型) 及び衛星電話設備 (固定型) 配置図 (制御建屋地上 3 階)</p>		<p>①の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

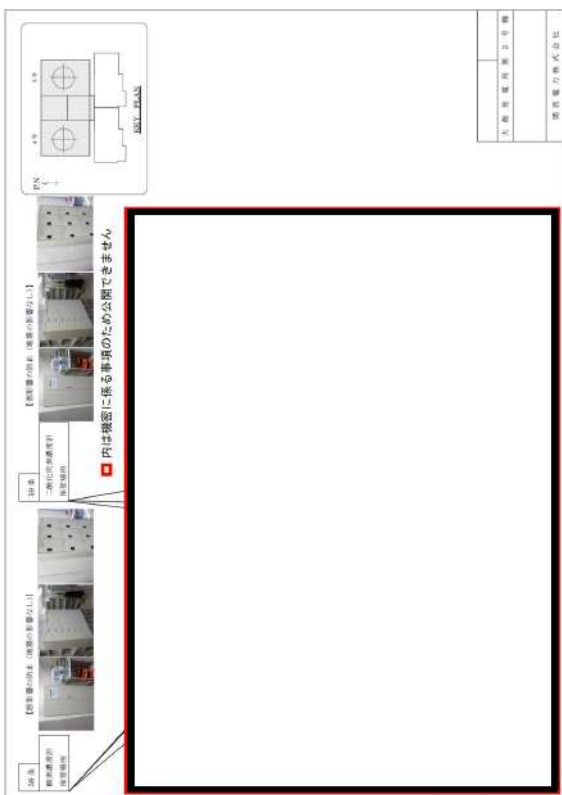

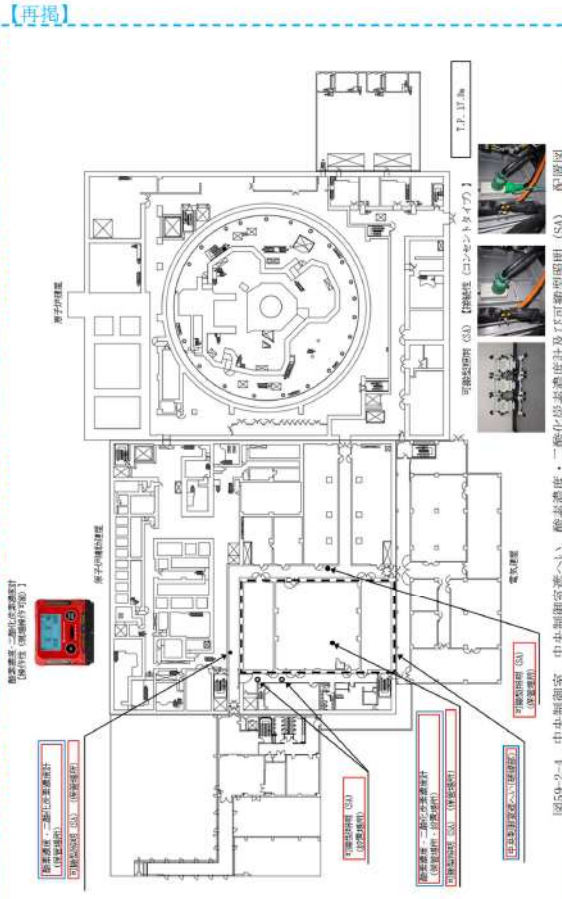
大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
	 <p>図 59-9-11 送受話器 (ページング) 及び電力停安通信用電話設備 (交換機) 配置図 (制御室地上 2 階)</p>		<p>①の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

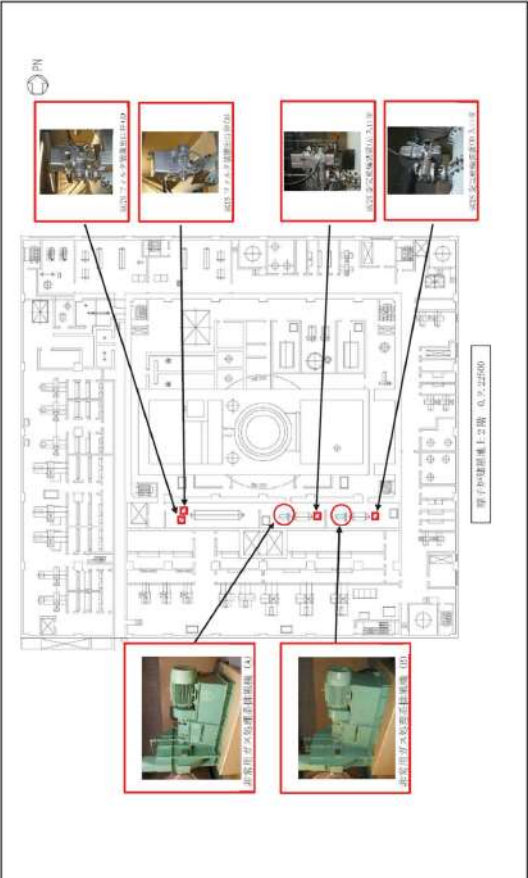
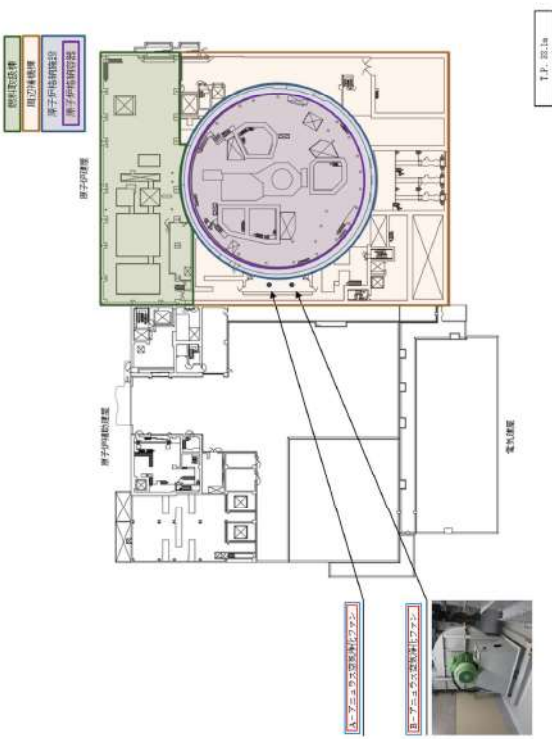
第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p data-bbox="1137 624 1160 815">制御室 地上3階 O.P.23500</p> <p data-bbox="1193 523 1238 858">図 59-3-12 データ表示装置（待避所）配置図 （制御建屋地上3階）</p>		<p data-bbox="1839 233 1910 252">①の相違</p>

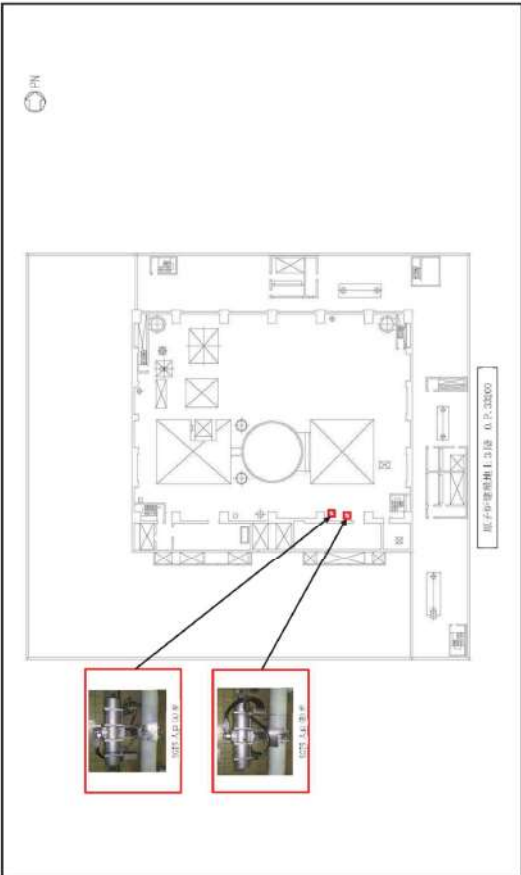
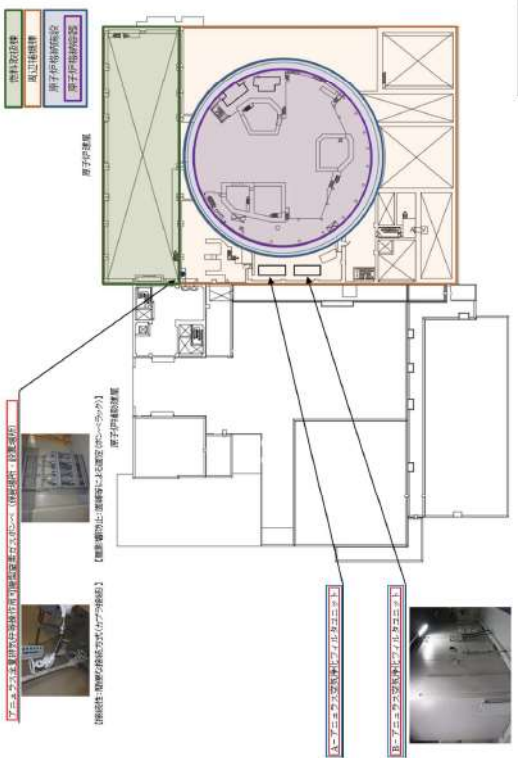
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>【大飯欄はp59-2-3を掲載】</p>  <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲：酸蒸濃度計 ■：二酸化炭素濃度計 ▲：酸蒸濃度計 (予備) ■：二酸化炭素濃度計 (予備) ■：酸蒸濃度計及び二酸化炭素濃度計の使用箇所 <p>制御室 地上3階 O.P.23300</p>	 <p>【再掲】</p> <p>図59-3-13 酸蒸濃度計及び二酸化炭素濃度計 配置図 (附側建屋地上3階)</p>	 <p>【再掲】</p> <p>図59-2-4 中央制御室 二酸化炭素濃度計、酸蒸濃度計、二酸化炭素濃度計及び二酸化炭素濃度計の使用箇所</p>	<p>差異理由</p> <p>【女川】記載箇所の相違 ・泊は複数設備をまとめて記載しているため、再掲して比較。</p>

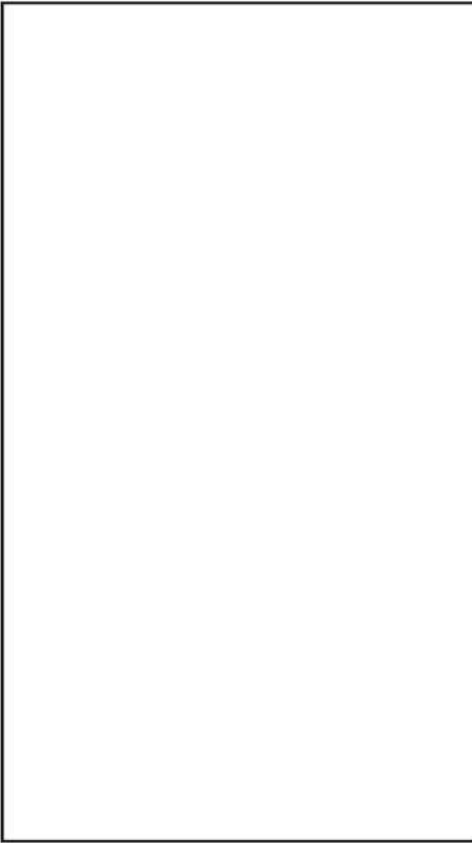
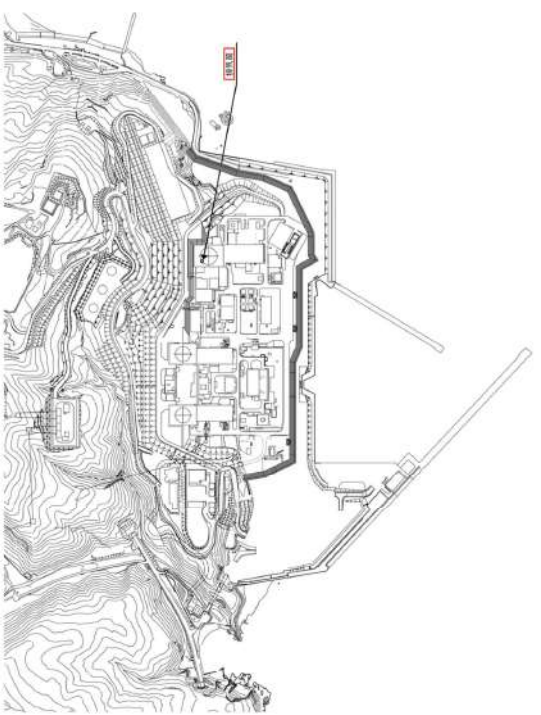
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
	 <p>図 59-3-14 非常用ガス処理系 配管図 (原子炉建屋地上 2 階)</p>	 <p>図 59-2-5 アニオクス空気浄化ファン 配管図</p>	<p>②の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

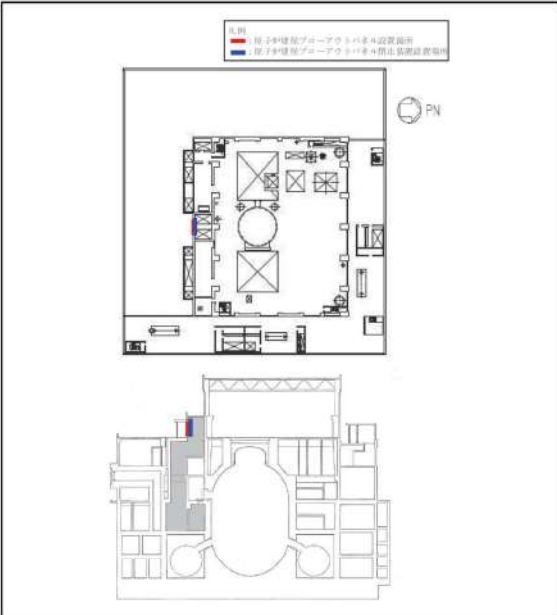
大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
	 <p>図 59-3-15 非常用ガス処理系 配置図 (原子炉建屋地上 3 階)</p>	 <p>図 59-2-6 中央制御室 アニュウラス空気浄化設備 配置図</p>	<p>②の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
	 <p style="text-align: center;">図 59-3-16 非常用ガス処理系 配置図 (中央制御室)</p> <p style="text-align: center;">枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <p style="text-align: center;">図 59-2-7 排気筒 配置図</p>	<p style="color: red;">②の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p data-bbox="734 868 1160 912">図 59-3-17 原子炉建屋フロアアウトパネル閉止装置 配置図 (原子炉建屋地上3階)</p>		<p data-bbox="1832 229 1912 252">②の相違</p>

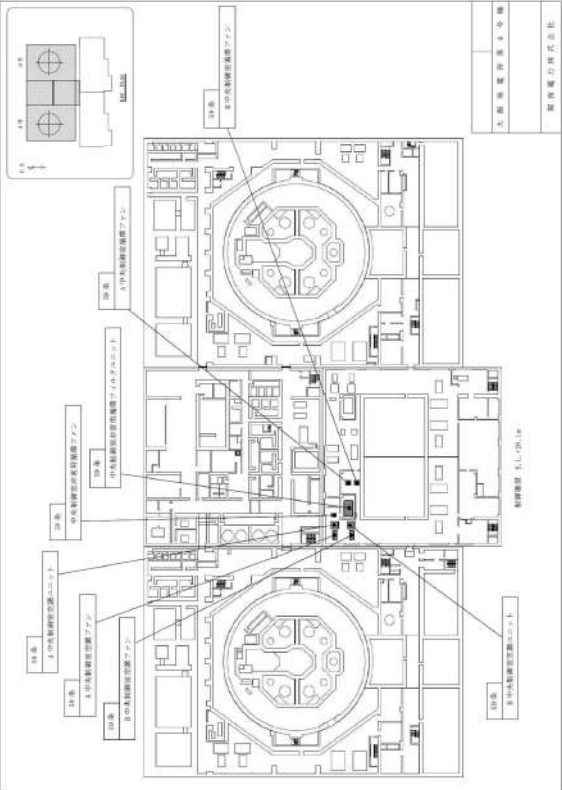
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>【大飯欄は p59-2-7 を掲載】</p> <p>4号炉</p>			<p>【大飯】共用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は4号炉の設備を記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>【大飯欄はp59-2-8を掲載】</p> 			<p>【大飯】共用の相違 ・大飯は4号炉の設備を記載している。</p>


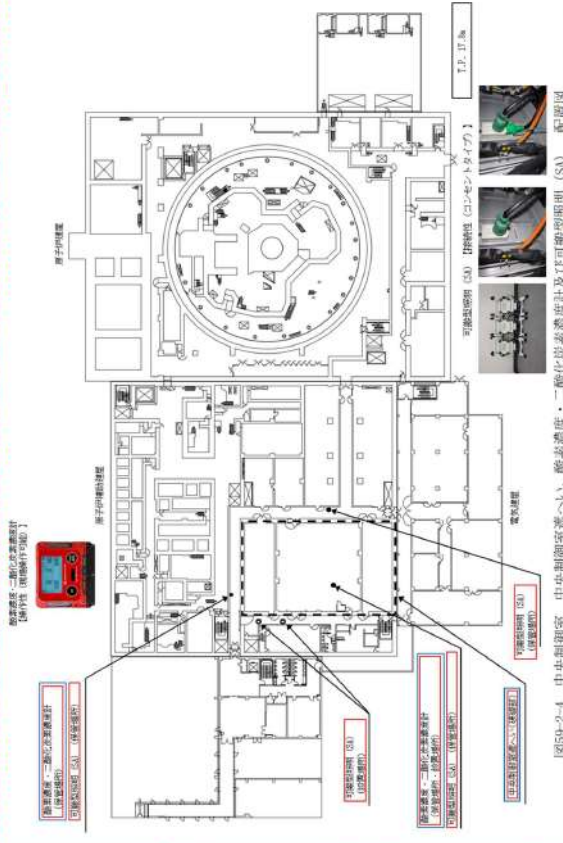
泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

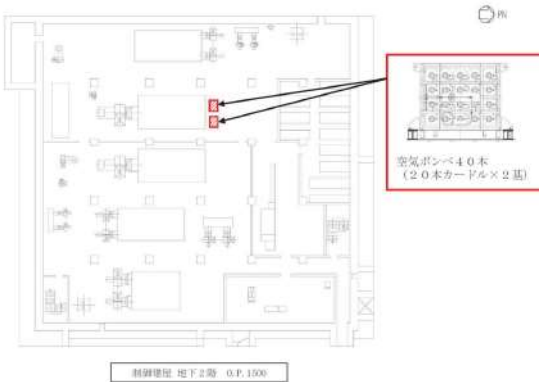
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	<p>59-7 保管場所図</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
	 <p>図 59-7-2 酸素濃度及び二酸化炭素濃度計 保管場所</p>	<p>【本ページの泊欄は 5 9 - 2 を一部掲載して比較する。】</p> <p>【再掲】</p>  <p>図 59-2-4 中央制御室 中央制御室へ、酸素濃度・二酸化炭素濃度計及び二酸化炭素濃度計 (待機用) 保管場所</p>	<p>差異理由</p> <p>【女川】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は「59-2 配置図」に保管場所も記載しており、比較のため再掲する。


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p data-bbox="683 662 1108 702">図 59-7-3 中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）保管場所（その1） （新御建屋地下2階）</p>		<p data-bbox="1836 231 1915 255">①の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p data-bbox="672 662 1108 702">図59-7-4 中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）保管場所（その2） （制御室屋地上1階）</p>		<p data-bbox="1827 223 1915 255">①の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>59-3 アクセスルート</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違 ・泊では、アクセスルート図は技術的能力1.0.2にて整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<div data-bbox="85 240 136 336" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>事件発生箇所 事故発生箇所 線路</p> </div> <div data-bbox="85 359 136 624" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>大飯発電所3、4号機 重大事故等時アクセスルート図(第59条関連)〔屋内〕 □ 内は機密に係る事項のため公開できません</p> </div> <div data-bbox="147 276 645 1023" style="border: 2px solid black; height: 468px; width: 222px; margin-top: 10px;"></div>			<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、アクセスルート図は技術的能力1.0.2にて整理している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<div data-bbox="85 274 129 367" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>図外は機密 アクセスルート 詳細</p> </div> <div data-bbox="107 427 129 896" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>大飯発電所3、4号機 重大事故等時アクセスルート図(第59条関連)〔屋内〕</p> </div> <div data-bbox="145 347 168 593" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>■ 内は機密に係る事項のため公開できません</p> </div> <div data-bbox="174 242 645 992" style="border: 2px solid black; height: 470px; width: 210px; margin: 10px auto;"></div>			<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、アクセスルート図は技術的能力1.0.2にて整理している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<div data-bbox="85 239 138 335" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>製作の順序 ● 設計 ■ 概算 □ 概算</p> </div> <div data-bbox="85 351 138 909" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>大飯発電所3、4号機 重大事故時アクセスルート図〔屋内〕 ■内は機密に係る事項のため公開できません</p> </div> <div data-bbox="145 236 645 1034" style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 223px;"></div>			<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、アクセスルート図は技術的能力1.0.2にて整理している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）


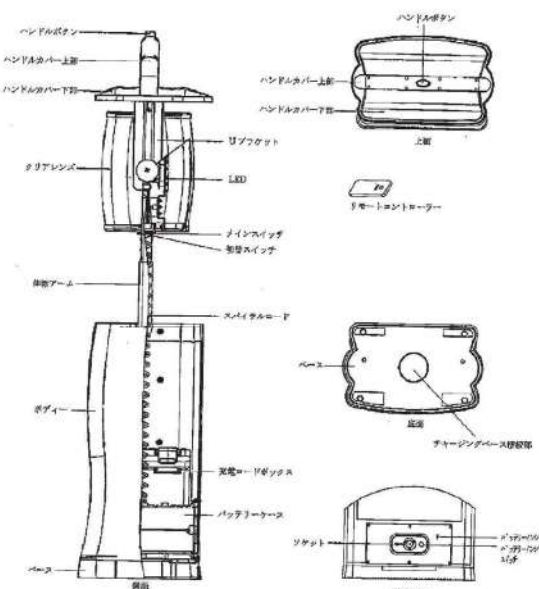
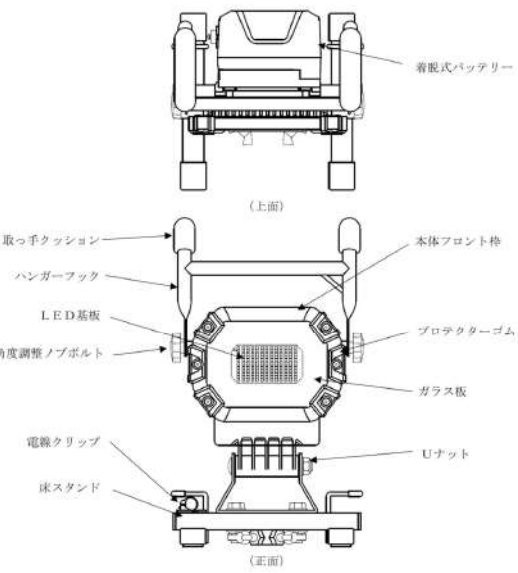
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<div data-bbox="85 263 134 359" style="float: left; margin-right: 5px;"> </div> <div data-bbox="85 375 134 933" style="float: left; margin-right: 5px;"> <p>大飯発電所3、4号機 重大事故等時アクセスルート図(第59条関連)〔屋内〕 □ 内は機密に係る事項のため公開できません</p> </div> <div data-bbox="129 236 645 1056" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>			<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、アクセスルート図は技術的能力1.0.2にて整理している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>59-4 試験・検査説明資料</p> <p>3号炉</p>	<p>59-5 試験及び検査</p>	<p>59-3 試験・検査説明資料</p>	<p>【大飯】記載表現の相違 ・大飯は3号炉と4号炉を区別して記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																
<p>可搬型照明 (SA) 外形図</p> 	<p>○可搬型照明 (SA) の試験及び検査について</p> <p>可搬型照明 (SA) は、原子炉の運転中及び停止中に表59-5-1に示す試験及び検査が可能な設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="683 335 1220 430"> <caption>表 59-5-1 可搬型照明 (SA) の試験及び検査</caption> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>項目</th> <th>試験・検査項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中 又は停止中</td> <td>外観確認</td> <td>外観の確認</td> </tr> <tr> <td>機能・性能試験</td> <td>点灯確認</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図 59-5-1 可搬型照明 (SA) の概略図</p>	状態	項目	試験・検査項目	運転中 又は停止中	外観確認	外観の確認	機能・性能試験	点灯確認	<p>○可搬型照明 (SA) の試験及び検査について</p> <p>可搬型照明 (SA) は、原子炉の運転中及び停止中に表 59-3-1 に示す試験及び検査が可能な設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="1288 335 1780 414"> <caption>表 59-3-1 可搬型照明 (SA) の試験及び検査</caption> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>項目</th> <th>試験・検査項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中又は 停止中</td> <td>外観検査</td> <td>外観の確認</td> </tr> <tr> <td>機能・性能確認</td> <td>点灯確認</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図 59-3-1 可搬型照明 (SA) の概略図</p>	状態	項目	試験・検査項目	運転中又は 停止中	外観検査	外観の確認	機能・性能確認	点灯確認	<p>【大飯】記載箇所の相違 ・比較のため大飯を移動して掲載した。</p>
状態	項目	試験・検査項目																	
運転中 又は停止中	外観確認	外観の確認																	
	機能・性能試験	点灯確認																	
状態	項目	試験・検査項目																	
運転中又は 停止中	外観検査	外観の確認																	
	機能・性能確認	点灯確認																	

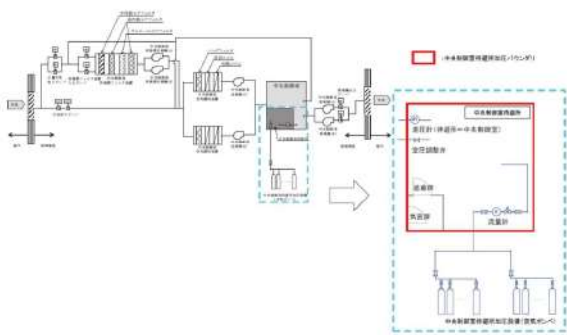
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由													
	<p>中央制御室待避所加圧設備の試験及び検査について</p> <p>中央制御室待避所加圧設備については、原子炉の運転中又は停止中に表59-5-2に示す試験・検査が可能な設計とする。</p> <p>表 59-5-2 中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の試験及び検査</p> <table border="1" data-bbox="696 359 1225 568"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>空気ポンプ残圧の確認</td> </tr> <tr> <td>外観検査</td> <td>中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>空気ポンプ残圧の確認 中央制御室待避所の正圧化試験</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>【中央制御室待避所の正圧化試験】</p> <p>(1) 概要 中央制御室待避所の気密性に関する試験・検査として、原子炉停止中において、正圧化試験を実施する。</p> <p>(2) 試験内容 中央制御室待避所加圧設備の操作対象弁を開として、中央制御室待避所を加圧し、中央制御室待避所と中央制御室で正圧化に必要な差圧を確保できることを確認する。（正圧化に必要な差圧については、(P. 59-5-2)を参照） 中央制御室待避所の正圧化試験のパウダリ構成図を図59-5-2に示す。</p>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中	機能・性能試験	空気ポンプ残圧の確認	外観検査	中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認	停止中	機能・性能試験	空気ポンプ残圧の確認 中央制御室待避所の正圧化試験	外観確認	中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認		<p>①の相違</p>
発電用原子炉の状態	項目	内容														
運転中	機能・性能試験	空気ポンプ残圧の確認														
	外観検査	中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認														
停止中	機能・性能試験	空気ポンプ残圧の確認 中央制御室待避所の正圧化試験														
	外観確認	中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p>図59-5-2 中央制御室待避所の正圧化試験におけるバウンダリ構成図</p>		<p>①の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

差異理由

建設段階 長期設備計画・設備表 (03-1034)

設備名	規格	型式	数量	設置場所	備考
中央制御室空調					
...

設備名	規格	型式	数量	設置場所	備考
...
...

【女川】大飯審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<div data-bbox="85 240 640 1050"> <p>第1号工機部(機務部)内(機1)1-3図 大飯発電所3号炉 運転室への扉の 構造図 (1/20)</p> <p>東京電力株式会社</p> <p>■ 内は機密に係る事項のため公開できません</p> </div>	<div data-bbox="840 113 1061 137"> <p>女川原子力発電所2号炉</p> </div>	<div data-bbox="1256 240 1809 1086"> <p>外観が視認可能である。</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1839 229 2063 253"> <p>【女川】大飯審査実績の反映</p> </div>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																														
	<p>○ 中央制御室換気空調系の試験及び検査について 中央制御室換気空調系における試験及び検査は、表59-5-3のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表59-5-3 中央制御室換気空調系の試験及び検査</p> <table border="1" data-bbox="674 331 1223 539"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の 状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>機器^(*)の表面状態の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認</td> </tr> <tr> <td>分解検査</td> <td>機器^(*)各部の状態を目視等で確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>機器^(*)の表面状態の確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*) 機器とは以下のとおり： 中央制御室送風機、中央制御室排風機、中央制御室再循環送風機、中央制御室再循環フィルタ装置</p>	発電用原子炉の 状態	項目	内容	運転中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認	外観確認	機器 ^(*) の表面状態の確認	停止中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認	分解検査	機器 ^(*) 各部の状態を目視等で確認	外観確認	機器 ^(*) の表面状態の確認	<p>○ 中央制御室空調装置の試験及び検査について 中央制御室空調装置の試験及び検査は、表59-3-2のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表59-3-2 中央制御室空調装置の試験及び検査</p> <table border="1" data-bbox="1301 331 1805 539"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の 状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>各機器^(*)の表面状態の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認</td> </tr> <tr> <td>分解検査</td> <td>各機器^(*)各部の状態を目視等で確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>各機器^(*)の表面状態の確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*) 各機器とは以下の通り： 中央制御室給気ファン、中央制御室循環ファン、中央制御室非常用循環ファン、 中央制御室非常用循環フィルタユニット及び中央制御室給気ユニット。ただし、 中央制御室非常用循環フィルタユニット及び中央制御室給気ユニットは分解検査として開放点検時の目視による確認を実施。</p>	発電用原子炉の 状態	項目	内容	運転中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認	外観確認	各機器 ^(*) の表面状態の確認	停止中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認	分解検査	各機器 ^(*) 各部の状態を目視等で確認	外観確認	各機器 ^(*) の表面状態の確認	<p>【女川】記載表現の相違 【大飯】女川審査実績の反映</p>
発電用原子炉の 状態	項目	内容																															
運転中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認																															
	外観確認	機器 ^(*) の表面状態の確認																															
停止中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認																															
	分解検査	機器 ^(*) 各部の状態を目視等で確認																															
	外観確認	機器 ^(*) の表面状態の確認																															
発電用原子炉の 状態	項目	内容																															
運転中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認																															
	外観確認	各機器 ^(*) の表面状態の確認																															
停止中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認																															
	分解検査	各機器 ^(*) 各部の状態を目視等で確認																															
	外観確認	各機器 ^(*) の表面状態の確認																															

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

差異理由

機器又は系統名	装置名(機種名)	点検及び試験の項目	検査の形式及び頻度	検査名	備考 (1)内点検する設備の区分(型式)
3号機	炉アミノ酸蒸気発生炉ファン・電動機	1.5分検点検 2.分検点検	検	CRM	電動機 監視装置:1M0
	A, B炉アミノ酸蒸気発生炉ファン・電動機	1.運転・性能試験 2.分検点検 (より高圧フィルタ)	検	IF	炉アミノ酸蒸気発生炉ファン・電動機 A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z, AA, AB, AC, AD, AE, AF, AG, AH, AI, AJ, AK, AL, AM, AN, AO, AP, AQ, AR, AS, AT, AU, AV, AW, AX, AY, AZ, BA, BB, BC, BD, BE, BF, BG, BH, BI, BJ, BK, BL, BM, BN, BO, BP, BQ, BR, BS, BT, BU, BV, BW, BX, BY, BZ, CA, CB, CC, CD, CE, CF, CG, CH, CI, CJ, CK, CL, CM, CN, CO, CP, CQ, CR, CS, CT, CU, CV, CW, CX, CY, CZ, DA, DB, DC, DD, DE, DF, DG, DH, DI, DJ, DK, DL, DM, DN, DO, DP, DQ, DR, DS, DT, DU, DV, DW, DX, DY, DZ, EA, EB, EC, ED, EE, EF, EG, EH, EI, EJ, EK, EL, EM, EN, EO, EP, EQ, ER, ES, ET, EU, EV, EW, EX, EY, EZ, FA, FB, FC, FD, FE, FF, FG, FH, FI, FJ, FK, FL, FM, FN, FO, FP, FQ, FR, FS, FT, FU, FV, FW, FX, FY, FZ, GA, GB, GC, GD, GE, GF, GG, GH, GI, GJ, GK, GL, GM, GN, GO, GP, GQ, GR, GS, GT, GU, GV, GW, GX, GY, GZ, HA, HB, HC, HD, HE, HF, HG, HH, HI, HJ, HK, HL, HM, HN, HO, HP, HQ, HR, HS, HT, HU, HV, HW, HX, HY, HZ, IA, IB, IC, ID, IE, IF, IG, IH, II, IJ, IK, IL, IM, IN, IO, IP, IQ, IR, IS, IT, IU, IV, IW, IX, IY, IZ, JA, JB, JC, JD, JE, JF, JG, JH, JI, JJ, JK, JL, JM, JN, JO, JP, JQ, JR, JS, JT, JU, JV, JW, JX, JY, JZ, KA, KB, KC, KD, KE, KF, KG, KH, KI, KJ, KK, KL, KM, KN, KO, KP, KQ, KR, KS, KT, KU, KV, KW, KX, KY, KZ, LA, LB, LC, LD, LE, LF, LG, LH, LI, LJ, LK, LL, LM, LN, LO, LP, LQ, LR, LS, LT, LU, LV, LW, LX, LY, LZ, MA, MB, MC, MD, ME, MF, MG, MH, MI, MJ, MK, ML, MM, MN, MO, MP, MQ, MR, MS, MT, MU, MV, MW, MX, MY, MZ, NA, NB, NC, ND, NE, NF, NG, NH, NI, NJ, NK, NL, NM, NO, NP, NQ, NR, NS, NT, NU, NV, NW, NX, NY, NZ, OA, OB, OC, OD, OE, OF, OG, OH, OI, OJ, OK, OL, OM, ON, OO, OP, OQ, OR, OS, OT, OU, OV, OW, OX, OY, OZ, PA, PB, PC, PD, PE, PF, PG, PH, PI, PJ, PK, PL, PM, PN, PO, PP, PQ, PR, PS, PT, PU, PV, PW, PX, PY, PZ, QA, QB, QC, QD, QE, QF, QG, QH, QI, QJ, QK, QL, QM, QN, QO, QP, QQ, QR, QS, QT, QU, QV, QW, QX, QY, QZ, RA, RB, RC, RD, RE, RF, RG, RH, RI, RJ, RK, RL, RM, RN, RO, RP, RQ, RR, RS, RT, RU, RV, RW, RX, RY, RZ, SA, SB, SC, SD, SE, SF, SG, SH, SI, SJ, SK, SL, SM, SN, SO, SP, SQ, SR, SS, ST, SU, SV, SW, SX, SY, SZ, TA, TB, TC, TD, TE, TF, TG, TH, TI, TJ, TK, TL, TM, TN, TO, TP, TQ, TR, TS, TT, TU, TV, TW, TX, TY, TZ, UA, UB, UC, UD, UE, UF, UG, UH, UI, UJ, UK, UL, UM, UN, UO, UP, UQ, UR, US, UT, UY, UZ, VA, VB, VC, VD, VE, VF, VG, VH, VI, VJ, VK, VL, VM, VN, VO, VP, VQ, VR, VS, VT, VU, VW, VX, VY, VZ, WA, WB, WC, WD, WE, WF, WG, WH, WI, WJ, WK, WL, WM, WN, WO, WP, WQ, WR, WS, WT, WU, WV, WW, WX, WY, WZ, XA, XB, XC, XD, XE, XF, XG, XH, XI, XJ, XK, XL, XM, XN, XO, XP, XQ, XR, XS, XT, XU, XV, XW, XX, XY, XZ, YA, YB, YC, YD, YE, YF, YG, YH, YI, YJ, YK, YL, YM, YN, YO, YP, YQ, YR, YS, YT, YU, YV, YW, YX, YZ, ZA, ZB, ZC, ZD, ZE, ZF, ZG, ZH, ZI, ZJ, ZK, ZL, ZM, ZN, ZO, ZP, ZQ, ZR, ZS, ZT, ZU, ZV, ZW, ZX, ZY, ZZ

○ 中央制御室換気空調系の点検計画について
 中央制御室換気空調系は、設計基準事故対処設備であるとともに、重大事故等時においても使用する既設設備であり、これまでに試験・検査を実施している。
 表59-5-4に、女川原子力発電所 第2号機の点検計画を示す。

表59-5-4 女川原子力発電所 第2号機 保全計画 (第11保全サイクル)
 (中央制御室換気空調系)

機器又は系統名	検査項目	検査頻度	検査形式	検査名	備考
中央制御室換気空調系	1.運転・性能試験	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	2.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	3.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	4.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	5.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	6.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	7.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	8.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	9.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	10.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	11.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	12.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	13.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	14.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系

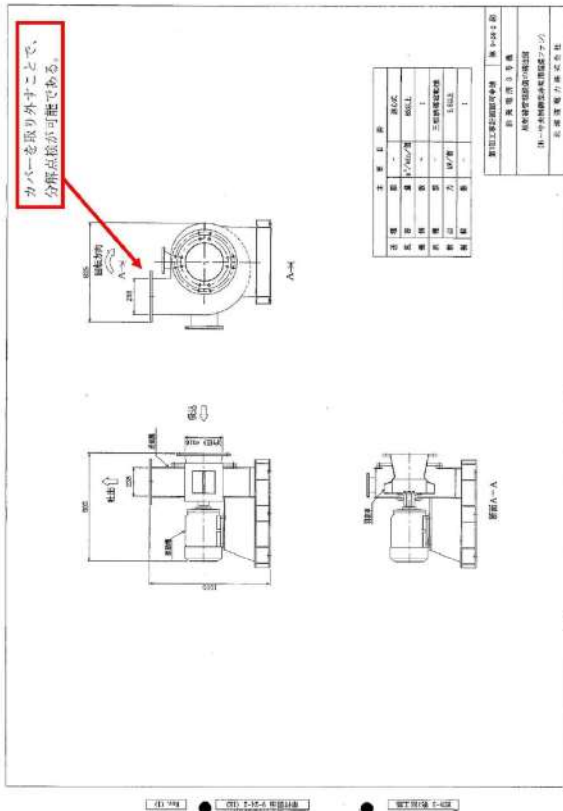
機器又は系統名	検査項目	検査頻度	検査形式	検査名	備考
中央制御室換気空調系	1.運転・性能試験	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	2.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	3.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	4.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	5.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	6.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	7.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	8.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	9.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	10.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	11.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	12.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	13.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系
	14.分検点検	1年1回	検	IF	中央制御室換気空調系

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p style="text-align: right;">改 1</p> <p style="text-align: center;">関西電力株式会社 大飯発電所 第3号機 第16保全サイクル 定期事業者検査要領書</p> <p>施設名：放射線管理施設 検査名：中央制御室非常用循環系機能検査 要領書番号：O3-16-144</p>		<p style="text-align: center;">北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書</p> <p>設備名：放射線管理設備 検査名：中央制御室非常用循環系機能検査 要領書番号：HT3-40</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
			<p>【大飯】記載方針の相違 ・泊は B 系を別途記載。 【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p style="text-align: right;"><u>改 4</u></p> <p style="text-align: center;">関西電力株式会社 大飯発電所 第3号機 第16保全サイクル 定期事業者検査要領書</p> <p>施設名：放射線管理施設 検査名：1次系換気空調設備検査 要領書番号：O3-16-315</p>		<p style="text-align: center;">北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書</p> <p>設備名：放射線管理設備 検査名：1次系換気空調設備検査 要領書番号：HT3-77</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
<p style="text-align: center;">横査系統図</p> <p style="text-align: center;">(凡例)</p> <p style="text-align: center;">F : フィルタ H/C : 加熱コイル C/W : 冷却コイル</p> <p style="text-align: center;">中央制御室関係空調設備</p>	<p style="text-align: center;">中央制御室空調、中央制御室非常用循環系系統図</p> <p style="text-align: center;">中央制御室</p> <p style="text-align: center;">注：本系統図は、本原子炉施設竣工時の運転仕様に基づきます。</p>	<p style="text-align: center;">中央制御室空調、中央制御室非常用循環系系統図</p> <p style="text-align: center;">中央制御室</p> <p style="text-align: center;">注：本系統図は、本原子炉施設竣工時の運転仕様に基づきます。</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
			<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
		<p style="text-align: center;">北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書</p> <p style="text-align: center;">設 備 名：放射線管理設備 検 査 名：1次系換気空調設備検査 要領書番号：HT3-77</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違 ・大飯は中央制御室循環ファンと中央制御室空調ファンをまとめて記載している。</p> <p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																												
<p>中央前側空気空調ファン</p> <p>ファンケーシングを取り外すことにより、 分解点検が可能である。</p> <table border="1"> <tr> <td>型式</td> <td>86-0712</td> </tr> <tr> <td>製造</td> <td>中興製作所</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>鋼</td> </tr> <tr> <td>重量</td> <td>約 100kg</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>φ1000×1000</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>1450rpm</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>380V</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>約 100A</td> </tr> <tr> <td>消費電力</td> <td>約 38kW</td> </tr> <tr> <td>騒音</td> <td>約 85dB(A)</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>原子炉制御室</td> </tr> </table>	型式	86-0712	製造	中興製作所	材料	鋼	重量	約 100kg	寸法	φ1000×1000	回転数	1450rpm	電圧	380V	電流	約 100A	消費電力	約 38kW	騒音	約 85dB(A)	設置場所	原子炉制御室		<p>カバーを取り外すことで、 分解点検が可能である。</p> <table border="1"> <tr> <td>型式</td> <td>86-0712</td> </tr> <tr> <td>製造</td> <td>中興製作所</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>鋼</td> </tr> <tr> <td>重量</td> <td>約 100kg</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>φ1000×1000</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>1450rpm</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>380V</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>約 100A</td> </tr> <tr> <td>消費電力</td> <td>約 38kW</td> </tr> <tr> <td>騒音</td> <td>約 85dB(A)</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>原子炉制御室</td> </tr> </table>	型式	86-0712	製造	中興製作所	材料	鋼	重量	約 100kg	寸法	φ1000×1000	回転数	1450rpm	電圧	380V	電流	約 100A	消費電力	約 38kW	騒音	約 85dB(A)	設置場所	原子炉制御室	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>
型式	86-0712																																														
製造	中興製作所																																														
材料	鋼																																														
重量	約 100kg																																														
寸法	φ1000×1000																																														
回転数	1450rpm																																														
電圧	380V																																														
電流	約 100A																																														
消費電力	約 38kW																																														
騒音	約 85dB(A)																																														
設置場所	原子炉制御室																																														
型式	86-0712																																														
製造	中興製作所																																														
材料	鋼																																														
重量	約 100kg																																														
寸法	φ1000×1000																																														
回転数	1450rpm																																														
電圧	380V																																														
電流	約 100A																																														
消費電力	約 38kW																																														
騒音	約 85dB(A)																																														
設置場所	原子炉制御室																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p style="text-align: right;">改 1</p> <p>関西電力株式会社 大飯発電所 第3号機 第16保全サイクル 定期事業者検査要領書</p> <p>施設名：放射線管理施設 検査名：中央制御室非常用循環系フィルター性能検査 要領書番号：O3-16-147</p>		<p>北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書</p> <p>設備名：放射線管理設備 検査名：中央制御室非常用循環系フィルター性能検査 要領書番号：HT3-41</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
<p style="text-align: right;">添付資料-6</p> <p style="text-align: center;">中央制御室非常用循環系統図</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ① : フッ素化炭素化合物ガス注入点 ② : 上流側フッ素化炭素化合物ガス濃度測定点 ③ : 下流側フッ素化炭素化合物ガス濃度測定点 Ⓣ : 流量測定点 EH/C : 電気加熱コイル 微粒子フィルタ よう素フィルタ Ⓜ : ② ファン使用時の下流側フッ素化炭素化合物ガス濃度測定点 <p>(注) 中央制御室非常用循環ファン運転については、検査時期の状態により異なる場合がある。 本図は、3 A 中央制御室非常用循環ファン運転時のダンパ開閉状態を示す。</p>		<p style="text-align: center;">よう素除去効率検査装置系統図</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ① : 試験ガス ② : 試験ガス流量 ③ : 試験ガス濃度 ④ : 試験ガス流量 	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p style="text-align: right;">改 4</p> <p style="text-align: center;">関西電力株式会社 大飯発電所 第3号機 第16保全サイクル 定期事業者検査要領書</p> <p>施設名：放射線管理施設 検査名：1次系換気空調設備検査 要領書番号：O3-16-315</p>		<p style="text-align: center;">北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書</p> <p>設備名：放射線管理設備 検査名：1次系換気空調設備検査 要領書番号：HT3-77</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	差異理由
<p style="text-align: center;">検査系統図</p> <p style="text-align: center;">中央制御室間換気空調設備</p> <p style="text-align: center;">(凡例)</p> <p style="text-align: center;">F : フィルタ H/C : 加熱コイル C/W : 冷却コイル</p>		<p style="text-align: center;">中央制御室空調、中央制御室非常用換気系統図</p> <p style="text-align: center;">中央制御室</p> <p style="text-align: center;">① 風量測定系 ② 今回の検査対象 ③ 旧フィルタ ④ 旧換気ファン ⑤ 旧ホパフィルタ ⑥ 旧ホパ ⑦ 旧電機制御コイル ⑧ 旧冷却コイル</p> <p>...注... 本系統図は、検査用図面を基に作成された図である。</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>中央制御室 非常用設備ファイルユニット</p>		<p>制御室</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
		<p style="text-align: center;">北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書</p> <p style="text-align: center;">設 備 名:放射線管理設備 検 査 名:1次系換気空調設備検査 (換気空調系の分解等) 要領書番号:HT3-93</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 ・大飯は空調ユニットについては表紙を個別に示していない。 【女川】大飯審査実績の反映</p>